

Lenovo

System x3850 X6/x3950 X6

インストールとサービスのガイド



マシン・タイプ: 6241

注

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[2225 ページの付録 F「注記」](#)に記載されている一般情報、サーバー付属の「安全情報」および「環境通知とユーザーズ・ガイド」、および「保証情報」をお読みください。

第 8 版 (2022 年 3 月)

© Copyright Lenovo 2014, 2022 年.

制限付き権利に関する通知: データまたはソフトウェアが米国一般調達局 (GSA: General Services Administration) 契約に準じて提供される場合、使用、複製、または開示は契約番号 GS-35F-05925 に規定された制限に従うものとします。

目次

目次	i	2.5 型および 1.8 型ホット・スワップ・ドライブの取り付け	83
安全について	v	ハーフサイズおよびフルサイズの I/O ブックの取り付け	85
トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン	xiii	ハーフサイズ I/O ブックの取り付け	86
危険な状況の検査	xiii	フルサイズ I/O ブックの取り付け	88
電気機器の保守ガイドライン	xiii	アダプターの取り付け	90
第 1 章 . Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 Type 6241 サーバー	1	サポートされているアダプターおよび Features on Demand ソフトウェア	92
関連資料	5	標準またはハーフサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け	98
本書で使用される注記	6	フルサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け	99
サーバーの機能および仕様	6	特定のオプションのアダプターの取り付け	101
サーバーが提供する機能	13	RAID キャッシュ・カードの取り付け	105
信頼性、可用性、および保守容易性	19	ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け	106
サーバーのスケラビリティ	22	標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け	107
FlexNode サポート	22	電源の取り付け	108
Lenovo XClarity Administrator	23	750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り付け	110
サーバー・コンポーネント	25	1400 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ電源の取り付け	114
サーバーの前面図	27	USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け	118
サーバーの背面図	35	ドライブ・バックプレーンの取り付け	119
標準 I/O ブック・ボード上のジャンパー、スイッチ、およびボタン	42	8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの取り付け	119
サーバーの電源機能	44	4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの取り付け	121
x3950 X6 4 ソケットから 8 ソケットへのアップグレード・キット	46	4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンの取り付け	124
第 2 章 . オプションのデバイスの取り付け	47	取り付けの完了	126
ビジネス・パートナー用の手順	47	サーバー構成の更新	126
DSA データの送信方法	48	第 3 章 . 構成情報と説明	127
取り付け作業上の注意事項	48	ファームウェアの更新	127
システムの信頼性に関するガイドライン	49	サーバーの構成	128
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い	50	ServerGuide セットアップおよびインストール DVD の使用	129
メモリー・モジュールの取り付け	50	Setup Utility の使用	132
eXFlash DIMM	54	Boot Manager の使用	139
メモリー・ミラーリング	56	サーバー・ファームウェアのバックアップの開始	139
メモリー・ランク・スペアリング	57	UpdateXpress System Pack Installer	140
独立メモリー・モード	58	マルチノード・システムの構成	140
ロック・ステップ・メモリー・モード	62	Integrated Management Module の使用	143
DIMM の取り付け手順	65	電源の電源ポリシーとシステム電源構成の設定	147
コンピュータ・ブックの取り付け	69		
ドライブの取り付け	73		
ドライブ ID	74		
サポートされるドライブ・バックプレーン構成	76		

組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアの使用	148	イーサネット・コントローラーの問題の解決	203
イーサネット・コントローラーの構成	149	未解決問題の解決	204
Features on Demand イーサネット・ソフトウェアの有効化	149	問題判別のヒント	205
Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化	150	UEFI 更新障害または UEFI イメージ破損からの回復	206
RAID アレイの構成	151	自動ブート・リカバリー (ABR)	208
Advanced Settings Utility プログラム	151	Nx 回ブートが失敗	208
汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データの更新	151		
第 4 章 . トラブルシューティング	155	第 5 章 . 部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241	211
ここから開始します	155	交換可能なサーバー・コンポーネント	211
問題の診断	155	消耗部品	228
文書化されていない問題	157	電源コード	230
Service Bulletin	158	第 6 章 . コンポーネントの取り外しと交換	233
チェックアウト手順	159	デバイスまたはコンポーネントの返却	233
チェックアウト手順について	159	サーバー・コンポーネントの取り外しと交換	233
チェックアウト手順の実行	160	消耗部品の取り外しと交換	233
診断ツール	161	Tier 1 CRU の取り外しと交換	234
Light path 診断	163	Tier 2 の CRU の取り外しと交換	281
イベント・ログ	173	FRU の取り外しと交換	292
POST	176	付録 A. LCD 表示パネル・メッセージ	319
Dynamic System Analysis プログラム	176	付録 B. DSA 診断テスト結果	325
自動サービス要求 (コール・ホーム)	179	DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果	325
Service Advisor 機能	179	DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果	325
Electronic Service Agent	180	DSA Brocade テスト結果	334
エラー・メッセージ	181	DSA Brocade テストのテスト結果	334
症状別トラブルシューティング	182	DSA チェックポイント・パネル・テスト結果	341
接続の問題	182	DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果	341
一般的な問題	184	DSA CPU ストレス・テスト結果	343
ハードディスク・ドライブの問題	184	DSA CPU ストレス・テストのテスト結果	343
ハイパーバイザーの問題	187	DSA Emulex アダプター・テスト結果	346
再現性の低い問題	189	DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果	346
キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題	189	DSA EXA ポート ping テスト結果	349
メモリーの問題	190	DSA EXA ポート ping テストのテスト結果	349
マイクロプロセッサの問題	191	DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果	351
モニターおよびビデオの問題	192	DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果	351
ネットワーク接続性の問題	192	DSA Intel ネットワーク・テスト結果	353
目視で確認できる問題	193	DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果	353
オプションのデバイスの問題	195	DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果	358
電源問題	196	DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストのテスト結果	359
シリアル・デバイスの問題	198		
ServerGuide の問題	198		
サーバーの始動の問題	199		
ソフトウェアの問題	202		
USB ポートの問題	202		
ビデオの問題	203		
電源の問題の解決	203		

DSA Mellanox アダプター・テスト結果	360
DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果	360
DSA メモリー分離テスト結果	362
DSA メモリー分離テストのテスト結果	362
DSA メモリー・ストレス・テスト結果	438
DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果	438
DSA Nvidia GPU テスト結果	441
DSA Nvidia GPU テストのテスト結果	441
DSA 光学式ドライブ・テスト結果	447
DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果	447
DSA システム管理テスト結果	452
DSA システム管理テストのテスト結果	452
DSA テープ・ドライブ・テスト結果	467
DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果	467

付録 C. Integrated Management Module II (IMM2) エラー・メッセージ	473
IMM イベントのリスト	474
自動的にサポートに通知する IMM イベント	2154

付録 D. UEFI/POST エラー・コード	2191
UEFI (POST) エラー・コードの検出	2191
UEFI イベントのリスト	2192

付録 E. ヘルプおよび技術サポートの入手	2221
依頼する前に	2221
資料の使用	2222
ヘルプおよび情報を WWW から入手する	2222

DSA データの送信方法	2222
個別設定したサポート Web ページの作成	2222
ソフトウェアのサービスとサポート	2223
ハードウェアのサービスとサポート	2223
台湾の製品サービス	2223

付録 F. 注記	2225
商標	2226
重要事項	2226
リサイクル情報	2226
粒子汚染	2227
通信規制の注記	2227
電波障害自主規制特記事項	2227
連邦通信委員会 (FCC) 宣言書	2227
カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言	2228
Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada	2228
オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書	2228
EU EMC 指令適合性宣言書	2228
ドイツ Class A 宣言書	2228
VCCI クラス A 情報技術装置	2229
1 相当の電流定格が 20A を超える電源ドメインに接続する製品の適合宣言 (日本)	2229
韓国放送通信委員会 (KCC) 宣言書	2230
ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書	2230
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書	2230
台湾 Class A 適合性宣言書	2230
台湾 BSMI RoHS 宣言	2231

索引	2233
---------------------	-------------

安全について

このトピックでは、サーバーを使用する前に読んでおく必要がある安全上の注意を記載しています。

Before installing this product, read the Safety Information.

قبل تركيب هذا المنتج، يجب قراءة الملاحظات الأمنية

Antes de instalar este produto, leia as Informações de Segurança.

在安装本产品之前，请仔细阅读 Safety Information (安全信息)。

安裝本產品之前，請先閱讀「安全資訊」。

Prije instalacije ovog produkta obavezno pročitajte Sigurnosne Upute.

Před instalací tohoto produktu si přečtěte příručku bezpečnostních instrukcí.

Læs sikkerhedsforskrifterne, før du installerer dette produkt.

Lees voordat u dit product installeert eerst de veiligheidsvoorschriften.

Ennen kuin asennat tämän tuotteen, lue turvaohjeet kohdasta Safety Information.

Avant d'installer ce produit, lisez les consignes de sécurité.

Vor der Installation dieses Produkts die Sicherheitshinweise lesen.

Πριν εγκαταστήσετε το προϊόν αυτό, διαβάστε τις πληροφορίες ασφάλειας (safety information).

לפני שתתקינו מוצר זה, קראו את הוראות הבטיחות.

A termék telepítése előtt olvassa el a Biztonsági előírásokat!

Prima di installare questo prodotto, leggere le Informazioni sulla Sicurezza.

製品の設置の前に、安全情報をお読みください。

본 제품을 설치하기 전에 안전 정보를 읽으십시오.

Пред да се инсталира овој продукт, прочитајте информацијата за безбедност.

تحتوي هذه الوثيقة على معلومات مهمة تتعلق بسلامة المنتج. يرجى قراءة هذه المعلومات بعناية قبل تركيب المنتج.

Les sikkerhetsinformasjonen (Safety Information) før du installerer dette produktet.

Przed zainstalowaniem tego produktu, należy zapoznać się z książką "Informacje dotyczące bezpieczeństwa" (Safety Information).

Antes de instalar este produto, leia as Informações sobre Segurança.

Перед установкой продукта прочтите инструкции по технике безопасности.

Pred inštaláciou tohto zariadenia si prečítajte Bezpečnostné predpisy.

Pred namestitvijo tega proizvoda preberite Varnostne informacije.

ཐོན་རྒྱུ་འདི་བདེ་སྤྱོད་མ་བྱས་གོང་། རྒྱུ་འདྲ་མིག་ཡིན་པའི་འོད་སྤེར་བལྟ་དགོས།

مەزكۇر مەھسۇلاتنى ئورنىتىشتىن بۇرۇن بىخەتەرلىك ئۇچۇرلىرىنى ئوقۇپ چىقىڭ.

Youq mwngz yungh canjbinj neix gaxgonq, itdingh aeu doeg aen canjbinj soengq cungj vahgangj ancien siusik.

Bu ürünü kurmadan önce güvenlik bilgilerini okuyun.

Antes de instalar este producto, lea la información de seguridad.

Läs säkerhetsinformationen innan du installerar den här produkten.

重要：本書の「注意」と「危険」の各注意書きには番号が付いています。この番号は、「*Safety Information*」の英語の Caution と Danger に対応する翻訳文の「注意」と「危険」を相互参照するのに使用します。

たとえば、「Caution」の注意書きが「Statement 1」となっている場合、「*Safety Information*」資料を見れば、その注意書きに対応した「安全 1」の翻訳文が見つかります。

手順を実施する前に、本書の「注意」と「危険」の注意書きをすべてお読みください。もし、サーバーあるいはオプションに追加の安全情報がある場合はそのデバイスの取り付けを開始する前にお読みください。

安全 1



電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。
感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨中にケーブルの接続および切り離し、本製品の設置、保守、再構成は行わないでください。
- すべての電源コードは正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置も正しく配線されたコンセントに接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示されている場合を除いて、デバイスのカバーを開く場合はその前に、必ず、接続されている電源コード、通信システム、ネットワーク、およびモデムを切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、すべてのケーブルをデバイスに接続します。
3. 信号ケーブルをコネクタに接続します。
4. 電源コードを電源コンセントに接続します。
5. デバイスの電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. すべての電源をオフにします。
2. 最初に、電源コードをコンセントから取り外します。
3. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
4. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

安全 2



警告:

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

安全 3



警告：

レーザー製品 (CD-ROM、DVD ドライブ、光ファイバー・デバイス、または送信機など) を取り付ける場合には以下のことに注意してください。

- カバーを外さないでください。カバーを取り外すと有害なレーザー光を浴びることがあります。このデバイスの内部には保守が可能な部品はありません。
- 本書に記述されていないコントロールや調整を使用したり、本書に記述されていない手順を実行すると、有害な光線を浴びることがあります。



一部のレーザー製品には、クラス 3A またはクラス 3B のレーザー・ダイオードが組み込まれています。次のことに注意してください。
カバーを開くとレーザー光線の照射があります。光線を見つめたり、光学装置を用いて直接見たり、光線を直接浴びることは避けてください。



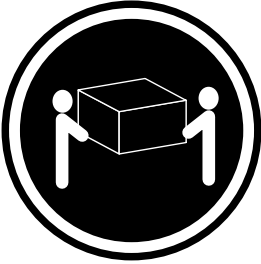
Class 1 Laser Product
Laser Klasse 1
Laser Klass 1
Luokan 1 Laserlaite
Appareil À Laser de Classe 1

安全 4

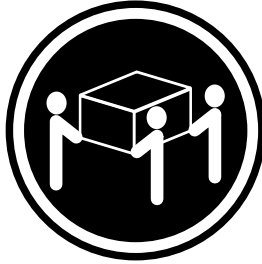


警告：
装置を持ち上げる場合には、安全に持ち上げる方法に従ってください。

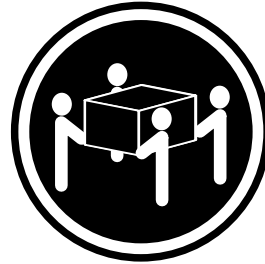
サーバーを安全に持ち上げる方法を示す3つの図



≥ 18 kg



≥ 32 kg



≥ 55 kg

安全 5



警告：
デバイスの電源制御ボタンおよび電源の電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



安全 6



警告：
棚として使用することを目的としたラック・マウント式デバイスの場合を除き、ラック・マウント式デバイスの上にはものを置かないでください。

安全 8



警告：

電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

安全 12



警告：

このラベルが貼られている近くには高温になる部品が存在します。

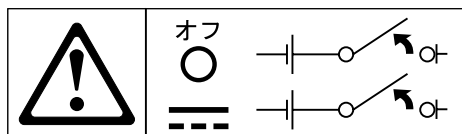


安全 19:



警告:

デバイスの電源制御ボタンは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには、DC 電源への複数の接続がある場合もあります。デバイスから完全に電気を取り除くには DC 電源入力端子からすべての DC 電源接続を切り離してください。

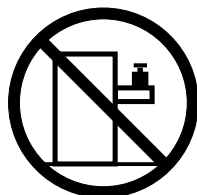


安全 26



警告：

ラックに装着されたデバイスの上には物を置かないでください。



安全 31:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の 設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線された電源に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、デバイスのカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. 本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
2. 信号ケーブルを製品に接続します。
3. 電源コードを製品に接続します。
 - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
 - DC システムの場合、-48 V DC 接続の正しい極性であることを確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。アース接地には、安全のために 2 つ穴ラグを使用する必要があります。
4. 信号ケーブルを他のデバイスに接続します。
5. 電源コードを電源に接続します。
6. すべての電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. 本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
 - AC システムの場合は、AC 電力配分装置で電源を遮断するため、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外します。
 - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を遮断するか、電源をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
3. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

安全 34:



警告:

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。
- 装置は適切に接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。
- 分岐回路の過電流保護のために必要な回路ブレーカーの定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。
- 銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 配線端子ねじの締め付けトルクに必要な値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。

安全 35:



警告:

危険な電力が存在します。危険なエネルギーを持つ電圧は、金属とショートすると加熱が生じる場合があります、金属が飛び散ったり、火傷したりする結果となる場合があります。

8U バージョンのサーバーは、最大 20 A の分岐回路保護を提供する電力配分装置 (PDU) または無停電電源装置 (UPS) の負荷側に常に取り付けられるシステム/ラックでの使用を目的としています。主電源へのシステム/ラック全体の接続には、プラグ可能タイプ B コネクターを使用します。

このサーバーは、いかなる配電障害状態においても最大位相間電圧が 240 V である IT 配電システムで使用する場合に適しています。

Important: Maschinenlärminformations-Verordnung - 3. GPSGV, der höchste Schalldruckpegel beträgt 70 dB(A) oder weniger.

本製品は、「German Ordinance for Work with Visual Display Units」の第 2 項に準じたディスプレイ作業用装置との使用には適していません。Das Produkt ist nicht für den Einsatz an Bildschirmarbeitsplätzen im Sinne § 2 der Bildschirmarbeitsverordnung geeignet.

トレーニングを受けたサービス技術員向けのガイドライン

このセクションには、トレーニングを受けたサービス技術員向けの情報が記載されています。

危険な状況の検査

このセクションの情報は、お客様が Lenovo 製品の保守を行う場合に、潜在する危険な状態を識別するために役立てていただくためのものです。製品が設計され組み立てられた時点で、それぞれの Lenovo 製品には、お客様やサービス技術員を傷害から保護するための安全項目を設定し組み込む必要があります。このセクションは、こうした項目のみを取り扱います。このセクションの対象になっていない、Lenovo 以外の代替品または Lenovo 以外の機構またはオプションの接続によって発生するおそれのある危険な可能性のある状態を識別するには、良識ある判断に従ってください。危険な状態を識別した場合、危険の重大度、および製品の作業を進める前に問題を解決する必要があるかどうかを判別してください。

以下の状態とそれがもたらす安全上の問題について考慮してください。

- 電氣的な危険。特に、1 次側電源(フレームの 1 次電圧が、重大または致命的な感電事故の原因になる場合があります)。
- 爆発の危険。たとえば、損傷を受けた CRT 表面またはコンデンサーの膨らみ。
- 機械的な危険。たとえば、ハードウェアのゆるみまたは脱落。

危険な可能性がある製品を検査する場合は、以下のステップを実行してください。

1. 電源がオフになっていて、電源コードが切断されていることを確認します。
2. 電源コードを検査します。
 - 接地線を含む 3 線式の電源コードのコネクターが良好な状態であるかどうかを確認します。3 線式接地線の導通が、外部接地ピンとフレーム・アース間を計器で測定して、0.1 オーム以下であることを確認します。
 - 電源コードが、230 ページの「電源コード」に指定されている正しいタイプであるか確認します。
 - 絶縁体が擦り切れたり摩耗していないことを確認します。
3. 明らかに Lenovo によるものでない改造箇所をチェックします。Lenovo 以外の改造箇所の安全については適切な判断を行ってください。
4. 金属のやすりくず、汚れ、水やその他の液体、あるいは火災や煙による損傷の兆候など、明らかに危険な状態でないか、サーバーの内部をチェックします。
5. 磨耗したケーブル、擦り切れたケーブル、または何かではさまれているケーブルがないかをチェックします。
6. 電源カバーの留め金具(ねじまたはリベット)が取り外されたり、不正な変更がされていないことを確認します。

電気機器の保守ガイドライン

このトピックでは、電気機器の保守の際に従う必要があるガイドラインを提供します。

電気機器の保守を行う際は次のガイドラインに従います。

- エリアに、湿ったフロア、接地されていない延長コード、電源の過電流、および安全接地の欠落などの電氣的危険がないことをチェックします。
- 承認済みのツールおよびテスト装置を使用してください。工具の中には、握りや柄の部分のソフト・カバーが感電防止のための絶縁性を持たないものがあります。

- 安全な操作状態のために電気ハンド・ツールを定期的に検査および保守してください。磨耗したり破損したツールやテスターは使用しないでください。
- デンタル・ミラーの反射面で、通電中の電気回路に触れないでください。この表面は導電性のため、これに触れた場合、人体の傷害や機械の損傷を起こす可能性があります。
- ゴム製のフロア・マットの中には、静電気の放電を減少させるために、小さい導電ファイバーを含むものがあります。このタイプのマットを感電の保護として使用しないでください。
- 危険な状態、または危険な電圧を持つ装置のそばで、1人で作業しないでください。
- 電気事故が発生した場合に、すぐに電源をオフにできるように、非常電源切断 (EPO) スイッチ、切断スイッチ、あるいは電源コンセントの場所を見つけておきます。
- 機械的な点検、電源近くでの作業、またはメイン・ユニットの取り外しや取り付けを行う前には、すべての電源を切り離してください。
- デバイスのホット・スワップを行う場合を除いて、機器での作業を開始する前に、電源コードを切り離しておきます。電源コードを抜くことができない場合は、この機器に電力を供給している配電盤の電源をオフにし、そのままの状態に保つようにお客様に依頼してください。
- 電源と回路が切断されていることを前提にしないでください。まず、電源がオフになっていることを確認してください。
- 電気回路がむき出しの状態である機器で作業する必要がある場合、次の予防手段に従ってください。
 - 必要に応じて、すぐに電源スイッチを切れるように、電源オフ制御機構を理解している別の人物に立ち会ってもらおう。
 - 電源がオンになっている電気装置の作業を行う際は、片手のみを使用する。もう一方の手は、ポケットの中に入れておくか、背中に回しておきます。こうすることで、感電の原因となる完全な回路が形成されるのを防ぐことができます。
 - テスターを使用する時は、制御を正しく設定し、テスター用の承認済みプローブ・リードおよび付属品を使用する。
 - 適切なゴム製マットの上に立ち、床の金属部分や機器の枠などのアースと自分の身体とを絶縁する。
- 高電圧の測定時には、細心の注意を払ってください。
- 電源、ポンプ、ブロワー、ファン、電動発電機などのコンポーネントの正しい接地状態を確保するために、これらのコンポーネントの保守は、その通常の作動位置以外の場所では行わないでください。
- 電氣的事故が発生した場合は、十分に用心し、電源をオフにして、別の人物に医療援助を求めに行かせてください。

第 1 章 Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 Type 6241 サーバー

Lenovo® System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーの製品概要、およびシステムのユーザーとビジネス・パートナー向けの追加情報へのリンクについては、以下の情報を参照してください。サーバー内でコンポーネントの取り付けと取り外しを行う前に、安全上の注意をお読みください。

注：この資料には、IBM® Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、Lenovo System x 製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

本書には、ご使用の Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 Type 6241 サーバーをセットアップするための手順および情報、いくつかのオプションのデバイスの取り付け手順、サーバーの配線および構成、デバイスの取り外しおよび交換、ならびに診断およびトラブルシューティング情報を記載しています。

注：特に指定がない限り、本書に記載されている情報とインストール手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を示します。

47 ページの第 2 章「オプションのデバイスの取り付け」に記載のオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアとデバイス・ドライバの更新、および取り付けの完了の各手順に加えて、ビジネス・パートナーは、47 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」の手順も実行する必要があります。

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーは、仮想化、データベース、および計算集約型コンピューティングに適した、ラック・モデル、モジュラー設計のサーバーです。モジュラー設計により、4 ソケット・サーバーに使用されるのと同じビルディング・ブロックを使用して、4 ソケット (4U の高さ) サーバーから 8 ソケット (8U の高さ) サーバーにアップグレードすることができます。これは、Intel Xeon™ EX E7-4xxx v2 および E7-8xxx v2 プロセッサ・テクノロジーに基づく次世代型エンタープライズ・サーバーです。この高性能で拡張が容易なサーバーは、優れた入出力 (I/O) の柔軟性と高度な管理の容易性を必要とする企業環境に最適です。

注：8 ソケット・サーバーにアップグレードするには、x3950 X6 の 4 ソケットから 8 ソケットへのアップグレード・キットを購入する必要があります。また、アップグレードは Lenovo 認定保証サービス提供者が行う必要があります。

サーバーの設計においては、パフォーマンス、使いやすさ、信頼性、および拡張機能などが重要な考慮事項でした。これらの設計機能を用いることで、現在のニーズに応じてシステム・ハードウェアをカスタマイズしたり、将来に備えて柔軟性の高い機能拡張を準備したりすることができます。

このサーバーには限定保証が適用されます。保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の Lenovo 「保証」資料を参照してください。

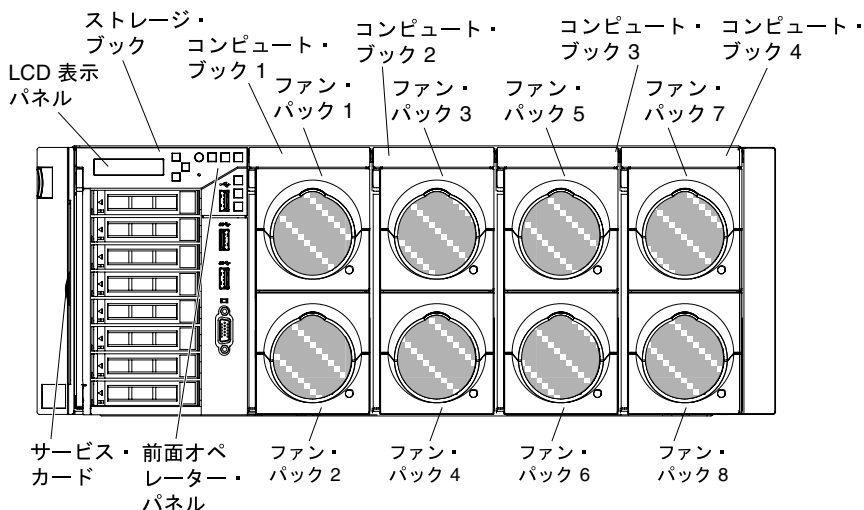
このサーバーには、パフォーマンスおよび信頼性を高めるのに役立つ次世代テクノロジーが使用されています。詳しくは、13 ページの「サーバーが提供する機能」および 19 ページの「信頼性、可用性、および保守容易性」を参照してください。

ご使用のサーバーおよびその他の Lenovo サーバー製品に関する最新の情報は、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/> から入手できます。<http://www.ibm.com/support/mysupport/> では、目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート・ページを作成することができます。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

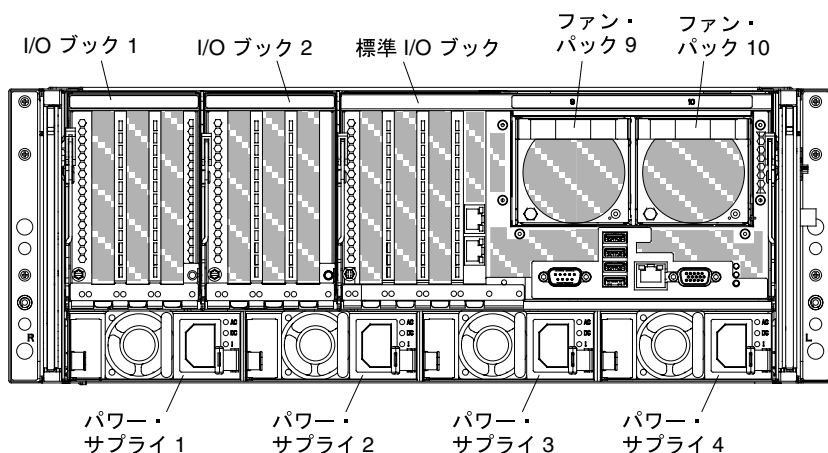
このサーバーは、サポートされているドライブ・バックプレーンを使用して、最大 8 個の 2.5 型ホット・スワップ・ドライブ、16 個の 1.8 型ホット・スワップ・ドライブ、または 2.5 型と 1.8 型の両方のドライブ

の組み合わせをサポートします。このサーバーは、2.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) または SATA ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SATA ソリッド・ステート・ドライブ (SSD)、あるいは 1.8 型ホット・スワップ SAS ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。サポートされる構成の完全なリストについては、76 ページの「サポートされるドライブ・バックプレーン構成」を参照してください。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

次の図は、サーバーの前面を示しています。



次の図は、サーバーの背面を示しています。



ファームウェアおよび資料の更新が利用可能な場合は、WWW からダウンロードすることができます。このサーバーには、サーバー付属資料に記載されていない機能が備わっている場合があります。そのような機能に関する情報を組み込むために、資料は随時更新される可能性があります。また、サーバーの資料に含まれていない追加情報を提供するための技術更新情報を利用できる場合があります。ファームウェア更新があるかどうかを確認するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。また、資料の更新については、<http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/index.jsp> を参照してください。

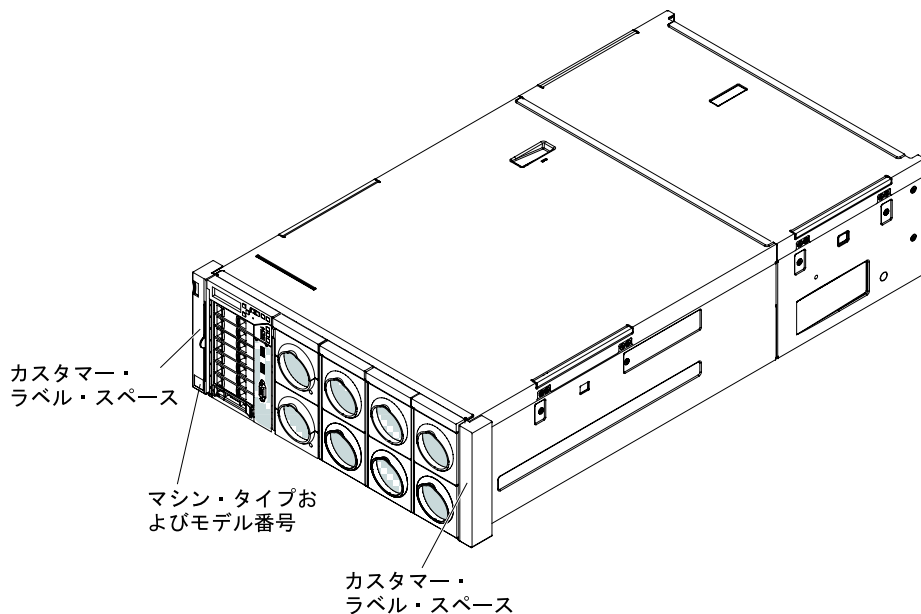
サーバーに関するデータを次の表に記録してください。

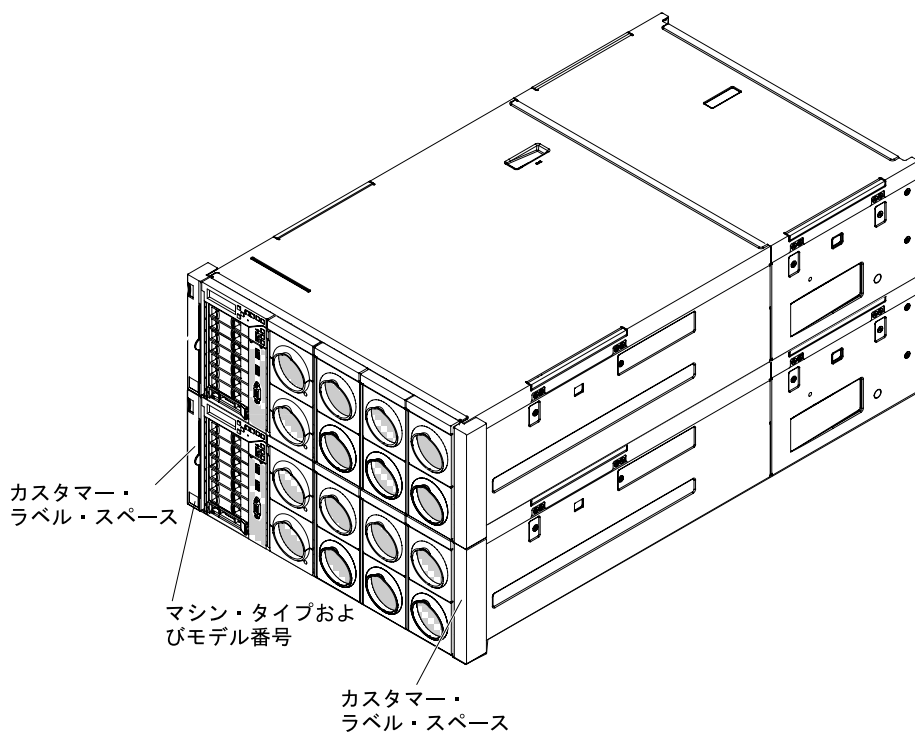
表 1. システム情報の記録

製品名	マシン・タイプ	型式番号	シリアル番号
Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6	Type 6241	(ここにモデルを記録してください)	(ここにシリアル番号を記録してください)

モデル番号とシリアル番号は、次の図に示すように、サーバー前面の ID ラベルに記載されています。また、お客様ラベル・スペースで、他のシステム情報ラベルをサーバーの前面に追加することもできます。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

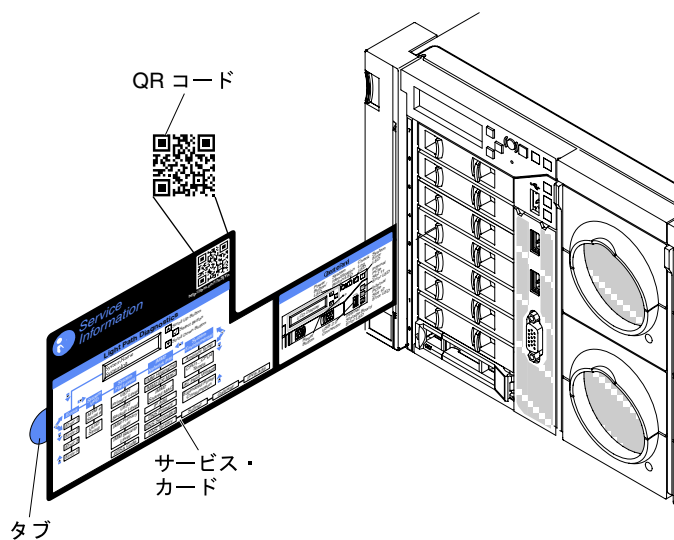




QR コード

さらに、サーバーの前面で左側の EIA ブラケットと X6 ストレージ・ブックとの間にあるシステム・サービス・カードには、サービス情報にモバイル・アクセスするためのクイック・リファレンス (QR) コードもあります。モバイル・デバイスで QR コード読み取りアプリケーションを使用して QR コードをスキャンすると、サービス情報 Web ページにすぐにアクセスすることができます。サービス情報 Web ページでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。

次の図は、QR コードを含むサーバー・サービス・カードの位置を示しています。サービス・カードを取り外すには、青いタブをつかんでカードを引き出してください。



Lenovo *ServerGuide™ Setup and Installation* DVD をダウンロードして、ハードウェアの構成、デバイス・ドライバのインストール、およびオペレーティング・システムのインストールに役立てることができます。

サーバーでサポートされるオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

詳細なラックの取り付けと取り外し方法を記載した「ラック搭載手順」については、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.6241.doc/printable_doc.html を参照してください。

関連資料

関連するサーバー資料を識別して見つけるには、この情報を使用します。

この「インストールとサービスのガイド」には、サーバーのセットアップと配線の方法、サポートされるオプションのデバイスの取り付け方法、サーバーの構成方法を含め、サーバーに関する一般情報が記載されています。また、ユーザーが自分自身で問題を解決するのに役立つ情報や、サービス技術員向けの情報も記載されています。以下の資料も入手可能です。

- **ラック搭載手順**

この資料の http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.6241.doc/printable_doc.html に進んでください。サーバーをラックに搭載するための手順が記載されています。

- **安全情報**

この資料には、各国語に翻訳された注意と危険の注記が含まれています。本書では「注意」と「危険」の注意事項には個々に番号が付いており、この番号を使用して、「*Safety Information*」資料内でご使用の言語で書かれた該当の注記を見つけることができます。

- **Important Notices (重要な注意事項)**

この資料には、ご使用の Lenovo 製品の安全、環境、および電波障害自主規制特記事項が記載されています。

- **保証情報**

この資料には、サーバー保証の条件に関する情報が記載されています。

- **環境通知とユーザー・ガイド**

この資料には、各国語に翻訳された環境に関する注記が収録されています。

- **機械コードのご使用条件**

この資料には、ご使用のサーバーの、各国語に翻訳された「機械コードのご使用条件」が記載されています。

- **Licenses and Attributions Document**

この資料には、オープン・ソースの特記事項に関する情報が記載されています。

更新された資料を確認するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

System x 製品に関連する資料は、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/> でも見つけることができます。

Lenovo x86 サーバーの ToolsCenter は、ファームウェア、デバイス・ドライバー、およびオペレーティング・システムの更新、管理、および展開用のツールに関する情報を記載しているオンライン・インフォメーション・センターです。Lenovo x86 サーバーの ToolsCenter は <https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-BOMC> にあります。

サーバーは、サーバー付属の資料では説明されていないフィーチャーを備えていることがあります。それらの機能に関する情報を記載するために資料が更新されていたり、ご使用のサーバーの資料に記載

されていない追加情報を提供する技術更新が入手可能になる場合があります。更新を確認するには、<http://www.lenovo.com/support>にアクセスしてください。

本書で使用される注記

本書に記載の注意および危険の注記は、複数言語による「*Safety Information*」資料にも記載されています。安全に関する各注記には番号が付いています。この番号を使用して、「*Safety Information*」資料の中で、対応する自国語の注記を見つけることができます。

本書では、次の注記が使用されます。

- **注:** これらの注記には、注意事項、説明、助言が書かれています。
- **重要:** この注記には、不都合な、または問題のある状態を避けるために役立つ情報または助言が書かれています。
- **注意:** また、これらの注記は、プログラム、デバイス、またはデータに損傷を及ぼすおそれのあることを示します。「重要」の注記は、損傷を起こすおそれのある指示や状態の記述の直前に書かれています。
- **警告:** この注記は、ユーザーに対して危険が生じる可能性がある状態を示します。「注意」の注記は、危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。
- **危険:** これらの注記は、ユーザーに対して致命的あるいはきわめて危険となりうる状態を示します。「危険」の注記は、致命的あるいはきわめて危険となりうる手順または状態の記述の直前に書かれています。

サーバーの機能および仕様

この情報は、サーバーの機能および仕様の概要を知る上で役に立ちます。

特に指定がない限り、以下の情報は、4ソケットおよび8ソケット・サーバーの機能および仕様の要約を示しています。ご使用のモデルによっては、使用できない機能があったり、一部の仕様が該当しない場合があります。

- **マイクロプロセッサ (モデルによって異なる):**

- このサーバーは、Intel Xeon™ EX バージョンの E7-48xx v2、E7-88xx v2、E7-48xx v3、E7-88xx v3、E7-48xx v4、および E7-88xx v4 シリーズのマイクロプロセッサを、最大 4 個 (4 ソケット・サーバー) または 8 個 (8 ソケット・サーバー) サポートします。
- 最大 37.5 MB キャッシュをコア間で共有する、最大 15 コアの Turbo 2.0
- 最大 37.5 MB のレベル 3 キャッシュ
- 以下を備えた 2 つの QuickPath Interconnect (QPI) リンク
 - 1 秒当たり最大 8 ギガ転送 (GT) の作動速度

注：リンク速度は 6.4 GT/秒、7.2 GT/秒、または 8 GT/秒の範囲です。

- マイクロプロセッサごとに 3 つの QPI リンク (マイクロプロセッサにより異なる)
- QPI リンクごとに 2 つの 20 レーン Point-to-Point データ・リンク (各方向に 1 つずつ)
- マイクロプロセッサごとに、4 つの Scalable Memory Interconnect 2 (SMI2) リンク、最大 6.4 GT/秒
- 各マイクロプロセッサには 4 つのメモリー・チャンネルがあり、各メモリー・チャンネルには 2 つの DDR チャンネルがあり、各 DDR チャンネルは 3 つの DIMM をサポート
- Intel EX マイクロプロセッサ + C600 シリーズ・チップ・セット (PCH)
- ハイパースレディング・テクノロジー
- プロセッサごとに最大 32 個の PCIe Gen3 レーン

注：サーバーに使用されているマイクロプロセッサのタイプと速度を判別するには、Setup Utility を使用します。

- **メモリー (モデルにより異なる):**

- DIMM コネクター: 4 ソケットの場合は 96 個、8 ソケットの場合は 192 個
- コンピュート・ブックごとに 24 個の DIMM コネクター
- DDR3 コンピュート・ブック:
 - タイプ: PC3-12800R 1600 MHz、PC3L-12800 1600 MHz または PC3L-10600 1333 MHz の Load Reduced (LR) single-rank、double-rank、または quad-rank、ECC、240 ピン、DDR3 Registered SDRAM DIMM のみ
 - 標準の 4 GB、8 GB、16 GB RDIMM、および 16 GB、32 GB、64 GB LR-DIMM をサポートします
 - 1.35 ボルトの registered DIMM をサポートします (詳細については、『50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」』を参照)
- DDR4 コンピュート・ブック:
 - タイプ: PC4-17000、registered、ECC、2400 MHz で 288 ピン、1333 MHz、1600 MHz、または 1866 MHz で実行可能
 - 標準の 4 GB、8 GB、16 GB RDIMM、および 16 GB、32 GB、64 GB LR-DIMM をサポートします
 - 1.2 ボルトの registered DIMM をサポートします (詳細については、『50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」』を参照)
- single rank x4、dual rank x4、quad rank x4、single rank x8、dual rank x8、quad rank x8 RDIMM 構成
- サーバーは 200 GB および 400 GB の eXFlash™ DIMM もサポートします。これを未使用の DIMM スロットに取り付けて、ハイパフォーマンス・ストレージ機能を高めることができます。

- **ドライブ拡張ベイ (モデルによって異なります):**

サーバーは、4 ソケット・システムごとに最大 16 個のドライブをサポートします (ドライブのバックプレーン構成によって異なります)。以下のタイプのドライブがサポートされます。

- 1.8 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ソリッド・ステート・ドライブ (SSD)

- 2.5 型ホット・スワップ Serial Attached SCSI (SAS) ハードディスク・ドライブ (HDD) およびソリッド・ステート・ドライブ (SSD)
- 2.5 型ホット・スワップ不揮発性メモリー Express (NVMe) PCIe ソリッド・ステート・ドライブ (SSD)
- **PCI 拡張スロット (モデルにより異なる):**
このサーバーは、以下にリストされている最大 12 個の PCIe アダプター・スロット (2 つの I/O ブックが取り付けられている) を提供します。
 - 基本システムは以下のスロットを備えています。
 - 2 つの x16 フルハイト・スロット、Gen3、16 レーン配線 (PCIe Gen3、x16)
 - 1 つの x16 フルハイト・スロット、Gen3、8 レーン配線 (PCIe Gen3、x16 (8、4、1))
 - 2 つの x16 ロー・プロファイル・ホスト・バス・アダプター・スロット (ストレージ・ブック内)、Gen3、各 8 レーン配線 (PCIe Gen3、x16 (8、4、1))
 - 1 つの x8 Gen3 専用 ML アダプター・スロット、8 レーン配線 (非標準 PCIe コネクター)
 - オプションのハーフサイズ I/O ブックは以下のスロットを備えています。
 - 1 つの x16 フルハイト・スロット、Gen3、16 レーン配線 (PCIe Gen3、x16)
 - 2 つの x8 フルハイト・スロット、Gen3、各 8 レーン配線 (PCIe Gen3、x8)
 - オプションのフルサイズ I/O ブックは以下のスロットを備えています。
 - 2 つの x16 フルハイト・スロット、Gen3、各 16 レーン配線 (PCI3 Gen3、x16)
 - 1 つの x8 フルハイト・スロット、Gen2、4 レーン配線 (PCIe Gen3、x8 (4、1))

注：また、オプションは、フルサイズ、フルハイト、およびロー・プロファイル PCIe アダプターをサポートします。

- **電源:**

サーバーは、最大 4 つの以下の電源をサポートします。

- 1400 ワット AC 入力電源
- 900 ワット AC 入力電源
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 入力電源

さらに、以下の情報も検討してください。

- 基本モデル (4 ソケット・ノード) には、1 個の 900 ワット電源または 1 個の 1400 ワット電源が標準装備されています (モデルによる)。
- サポートされている電源構成に対して、4 ソケット・システムごとに最大 4 個の 900 ワット (110 または 220 V AC 自動感知) もしくは 4 個の 1400 ワット AC (110 または 220 V AC 自動感知) ホット・スワップ電源。
- 220 V AC 入力ソースから給電される 4 つの 1400 ワットのホット・スワップ電源は、4 ソケット・ノードごとに完全構成用の N+N 冗長性サポートを提供します。
- -48 ボルトから -60 ボルトの DC 入力ソースから給電される 4 つの 750 ワットのホット・スワップ電源は、4 ソケット・ノードごとに限定された構成用に N+N 冗長性サポートを提供します。
- 110 V 入力ソースから給電される 4 つの 900 ワットまたは 4 つの 1400 ワットのホット・スワップ電源は、4 ソケット・ノードごとに限定された構成用に N+N 冗長性サポートを提供します。

- **ホット・スワップ・ファン:**

サーバーは、デュアル・モーター、反転、速度制御ホット・スワップ・ファンを備えた最大 10 個のファン・パックをサポートします (各ファン・パックに 2 つのファンで、合計 20 個のファン)。

- **RAID コントローラー:**

このサーバーには、以下の RAID アダプター・オプションが選択可能です。

- ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用)
- ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー (System x 用)

- **内蔵機能:**

- Integrated Management Module II (IMM2)。サービス・プロセッサの制御および監視機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・キーボード、ビデオ、マウス、ならびにリモート・ハードディスク・ドライブ機能を提供します。
- Light path 診断
- 8つのUSBポート:
 - サーバーの前面に3つ(3.0ポート2つと2.0ポート1つ)
 - サーバーの背面に4つ(すべて2.0ポート)
 - ハイパーバイザー・ソフトウェア・キー用に1つの内部2.0ポート
- サーバーの背面にシステム管理ネットワーク接続用の1Gb Base-Tイーサネット・ポート・システム管理コネクタ1個。このコネクタはIMM v2機能専用であり、1Gbの速度で稼働します。
- 1個のDB-15シリアル・ポート
- 2個のDB-9VGAポート

注：オプションのデュアル・ポートおよびクアド・ポート・イーサネット・アダプター (iSCSI、vNIC、TCP/IP オフロード・エンジン (TOE)、Fiber Channel over Ethernet (FCoE)、および Wake on LAN サポート付き) は、最大 10 Gb の能力を提供できます。

- **ビデオ・コントローラー (IMM2 に内蔵):**

Matrox G200eR コア (2つのアナログ・ポート、前面に1つ、背面に1つ、同時に接続可能)

注：最大ビデオ解像度は 1600 x 1200 (75 Hz) (UXGA) です。1680 x 1050 (WSXGA+) ワイド画面解像度をサポートします。

- DDR3 528 MHz SDRAM ビデオ・メモリー・コントローラー
- Avocent デジタル・ビデオ圧縮
- ビデオ・メモリーは拡張不可

- **サイズ:**

- 高さ (4ソケット): 172.8 mm (6.8 インチ)
- 高さ (8ソケット): 350.6 mm (13.8 インチ)
- 奥行き (4ソケットおよび8ソケット): 811.2 mm
- 幅 (4ソケットおよび8ソケット): 447 mm
- 最大重量 (4ソケット): 54.7 kg (完全構成時)
- 最大重量 (8ソケット): 110 kg (完全構成時)

- **音響放出ノイズ**

注：このサーバーでは、機能、出力、および必要とされる冷却能力がそれぞれ大きく異なる複数のオプションがサポートされます。それらのオプションで必要とされる冷却能力が高いほど、ファンの速度が上がり、音響出力レベルが高くなります。設置済み環境の実際の音圧レベルは、さまざまな要因によって異なります。これらの要因には、設置済み環境内のラックの台数、部屋のサイズ、材質、および構成、他の装置からのノイズ・レベル、部屋の周囲温度と圧力、および従業員と装置の位置関係が含まれます。

- 4ソケット・システム:
 - 公称音響出力、アイドル時: 6.3 ベル
 - 公称音響出力、動作時: 6.7 ベル

- 8 ソケット・システム:
 - 公称音響出力、アイドル時: 6.6 ベル
 - 公称音響出力、動作時: 7.0 ベル

- **環境:**

注：eXFlash DIMM がサーバーに取り付けられている場合、eXFlash DIMM がサポートする環境は次のとおりです:

- 温度: 5°C から 30°C (41°F から 86°F)
- 高度: 0 m から 1000 m
- 室温:
 - サーバー電源オン時: 5°C から 40°C。高度: 0 m から 3050 m。950 m を超える高度では、175 m 上昇するごとに最高乾球温度を 1°C ずつ下げてください。最大変化率 20°C/時間。
 - サーバー電源オフ時: 5°C から 45°C
 - 配送時: -40°C から +60°C

注：このサーバーは ASHRAE Class A3 ガイドラインに合わせて設計されています。

- 湿度範囲 (結露なし):
 - サーバー電源オン時: 最小 = -12°C 露点と 8% から 85% 相対湿度のどちらか高い (湿気が多い) 方。最大露点: 24 °C
 - サーバー電源オフ時: 8% から 85% 相対湿度。最大露点: 27°C
 - 出荷時: 5% から 100%
- 粒子汚染

注意：浮遊微小粒子や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、サーバーにリスクをもたらす可能性があります。微粒子およびガスの制限に関する情報は、[2227 ページの「粒子汚染」](#)を参照してください。

- **排気量:**

- 最適な排気量: 毎分 35 立方フィート (CFM)
- 標準的な排気量: 50 CFM
- 最大排気量: 160 CFM

- **発熱量 (消費電力):**

概算発熱量 (消費電力):

- アイドル時の最小構成 (4 ソケット): 145 ワット
- アイドル時の最小構成 (8 ソケット): 290 ワット
- 最大構成 (4 ソケット): 3470 ワット
- 最大構成 (8 ソケット): 6940 ワット

- **電源入力:**

- 正弦波入力 (50 または 60 Hz) 必須
- 低電圧入力
 - 最低: 100 V AC
 - 最高: 127 V AC

- 高電圧入力レンジ:
 - 最低: 200 V AC
 - 最高: 240 V AC
- 入力電力 (kVA) (近似値):
 - 最小 (4 ソケット): 0.030 kVA (システム電源オフ時)
 - 最小 (8 ソケット): 0.060 kVA (システム電源オフ時)
 - 最小 (4 ソケット): 0.146 kVA (アイドル時)
 - 最小 (8 ソケット): 0.292 kVA (アイドル時)
 - 標準 (4 ソケット): 1,260 kVA
 - 標準 (8 ソケット): 2,520 kVA
 - 最大 (4 ソケット): 3,505 kVA 最大 (8 ソケット): 7,010 kVA

注:

1. 電力消費量および発熱量は、取り付けたオプション機構の数とタイプ、および使用する電源管理オプション機構によって異なります。
2. 音響レベルは、管理された音響環境のもとで、米国規格協会 (ANSI) S12.10 および ISO 7779 によって指定された手順に従って測定されたもので、ISO 9296 に従って報告されています。特定の場所における実際の音圧レベルは、室内反響およびその他の近隣の騒音源によって、ここに示した平均値を超える場合があります。放出ノイズ・レベルは、無作為にサンプルとして抽出されたシステムの公称 (上限) 音響出力レベル (ベル単位) です。

● **セキュリティ:**

このサーバーは NIST 800-131A に完全に準拠しています。管理デバイス (Integrated Management Module II) で設定されたセキュリティ暗号化モードによって、サーバーが作動するセキュリティ・モードが決定されます。セキュリティ暗号化モードの設定または変更の方法の詳細については、『*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*』の「http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html」を参照してください。

● **製品タイプ:**

ラック・サーバー

● **初製造年:**

2014

● **内部/外部電源効率:**

- http://www.plugloadsolutions.com/psu_reports/IBM_7001606-XXXX_900W_SO-273_Report.pdf
- http://www.plugloadsolutions.com/psu_reports/IBM_DPS-900CB%20A_900W_SO-440_Report.pdf
- http://www.plugloadsolutions.com/psu_reports/IBM_7001616-XXX_1400W_SO-375_Report.pdf
- http://www.plugloadsolutions.com/psu_reports/IBM_DPS-1400BB%20A_1400W_SO-384_Report.pdf

● **最大電力 (ワット):**

「[ページの ステップ 電源](#)」を参照してください。

● **アイドル状態電力 (ワット):**

199

● **スリープ・モード電力 (ワット):**

サーバーには適用されません。

● **オフ・モード電力 (ワット):**

28

- **ノイズ・レベル (サーバーの公称測定音響パワー・レベル):**
「ページのステップ音響放出ノイズ」を参照してください。
- **テスト電圧および周波数:**
230V / 50 Hz または 60 Hz
- **電力供給システムの合計高調波ひずみ:**
入力電圧波形の最大高調波コンテンツは、2% 以下になります。制限は EN 61000-3-2 に準拠します。
- **計測装置のセットアップおよび電気テストに使用する回路に関する情報および資料:**
サーバー用の ENERGY STAR テスト方式: 内部 AC-DC および DC-DC 電源のエネルギー効率を計算するための ECOVA 一般テスト・プロトコル。
- **本書で情報の判別に使用する測定方法:**
ENERGY STAR サーバー・バージョン 2.0 プログラム要件: 内部 AC-DC および DC-DC 電源のエネルギー効率を計算するための ECOVA 一般テスト・プロトコル。

サーバーが提供する機能

サーバーの機能、フィーチャー、能力、およびテクノロジーの概要を理解するには、この情報を使用してください。

サーバーでは、以下の機能およびテクノロジーが使用されています。

- **Lenovo XClarity Energy Manager**

ご使用のサーバーは Lenovo XClarity Energy Manager をサポートしています。これは、サポートするサーバーの電力消費量と温度をモニターおよび管理できるスタンドアロンユーザー・インターフェースで、以下を含みます:

- エネルギー使用量の監視、電源の要求の見積もり、および必要に応じてサーバーに電源を再割り振りすること。
- サーバーの温度、および冷却能力の監視。
- 特定のイベントが発生、またはしきい値を超えた時に通知を送信。
- ポリシーを使用してエンドポイントが消費する電力の量の制限。
- リアルタイムの吸気温度の監視、アウト・オブ・バンド電源データに基づく低使用サーバーの識別、異なるサーバー・モデルの電源レンジの測定、リソースの可用性に基づいて新規ワークロードに適合する方法を評価し、エネルギー効率を最適化。
- 電源イベントの緊急時 (データ・センターの電源障害など) に、電力使用量を最小レベルにしサービス時間を拡張。

Lenovo XClarity Energy Manager をダウンロード インストール、および使用方法についての詳細は、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/software/systems-management> を参照してください。

- **Dynamic System Analysis (DSA)**

このサーバーは、サーバー上の内蔵 USB メモリーに Lenovo Dynamic System Analysis™ (DSA) Preboot 診断プログラムが格納されています。DSA は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、Integrated Management Module (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして Lenovo サポートに送信するか、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注: この資料には、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれていません。IBM は、Lenovo System x 製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

Dynamic System Analysis には、2つのエディション (DSA Portable と DSA Preboot) が使用可能です。両方のエディションの詳細については、[177 ページの「DSA のエディション」](#)を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポート**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。イーサネット・コントローラーにより提供される、Fiber Channel over Ethernet および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・アクティベーション・キーを購入できます。詳しくは、[149 ページの「Features on Demand イーサネット・ソフトウェアの有効化」](#)を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID サポート**

このサーバーは、RAID レベル 5、6、50、および 60 アップグレードに対する Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを提供します。Features on Demand ソフトウェアの RAID アップグレードは、Integrated Management Module II (IMM2) に組み込まれています。詳しくは、[150 ページの「Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化」](#)を参照してください。

- **FlexNode サポート**

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーは、マルチノード・サーバーを2つの独立したスタンドアロン・サーバー (FlexNode と呼ばれる) に再構成するためのサポートを提供します。FlexNode サポートが有効になっている場合、各スケラブル・パーティションは独自の独立したオペレーティング・システムをインストールできます。FlexNode が有効である間、各スケラブル・パーティションは、独立したサーバーとして独自のローカル・リソースを持つことができますが、別のスタンドアロン・サーバーのリソースにアクセスしたり、オペレーティング・システムをブートしたりすることはできません。FlexNode は、Integrated Management Module II (IMM2) の機能です。

追加情報については、[140 ページの「マルチノード・システムの構成」](#)を参照してください。

- **Integrated Management Module II (IMM2)**

Integrated Management Module II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が1つのチップに組み合わされています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、監視、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。また、IMM は、リモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3.0
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

追加情報については、[143 ページの「Integrated Management Module の使用」](#)、および「[Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html)」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html) を参照してください。

- **内蔵 Trusted Platform Module (TPM)**

この内蔵セキュリティー・チップは、暗号機能を実行し、セキュアな秘密鍵と公開鍵を保管します。これは Trusted Computing Group (TCG) 仕様に対するハードウェア・サポートを提供します。TCG 仕様をサポートするためのソフトウェアをダウンロードできます (ソフトウェアが利用可能な場合)。Setup ユーティリティの「System Security」メニュー選択で TPM サポートを使用可能にすることができます ([132 ページの「Setup Utility の使用」](#)を参照)。

- **大規模データ・ストレージ容量およびホット・スワップ機能**

サポートされている SAS/SATA バックプレーン構成を使用する場合、このサーバーは、最大 8 個の 2.5 型ドライブ、16 個の 1.8 型ドライブ、または 2.5 型と 1.8 型の両方のドライブの組み合わせをサポートできます。NVMe PCIe バックプレーンが取り付けられている場合、このサーバーは 2.5 型ホットスワッ

プ NVMe PCIe ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。このサーバーがサポートするドライブの詳細については、[73 ページの「ドライブの取り付け」](#)を参照してください。

● 大容量のシステム・メモリー

このサーバーは、最大で 6 TB (DDR3 コンピュート・ブックを備えたモデル) または 12 TB (DDR4 コンピュート・ブックを備えたモデル) のシステム・メモリーをサポートします。

- この DDR3 コンピュート・ブック・メモリー・コントローラーは、最大 96 個の業界標準 PC3-12800R 1600 MHz、PC3L-12800 1600 MHz または PC3L-10600 1333 MHz Load Reduced (LR)、single-rank、dual-rank、または quad-rank、DDR3 (第 3 世代 double-data-rate)、registered SDRAM (synchronous DRAM) DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。
- この DDR4 コンピュート・ブック・メモリー・コントローラーは、最大 96 個の業界標準 PC4-17000 2400 MHz、single rank x4、dual rank x4、quad rank x4、single rank x8、dual rank x8、および quad rank x8 RDIMM 構成、DDR4 (第 4 世代 double-data-rate)、registered SDRAM (synchronous DRAM) DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。

サーバーは 200 GB および 400 GB の eXFlash™ DIMM もサポートします。未使用の DIMM スロットを利用して eXFlash DIMM を使用すると、ハイパフォーマンス・ストレージ機能を高めることができます。eXFlash DIMM の取り付けに関する追加情報は、[54 ページの「eXFlash DIMM」](#)を参照してください。

● Light path 診断

Light path 診断は、問題の診断に役立つ LED を提供します。Light Path 診断および LED の詳細については、[30 ページの「LCD システム情報表示パネル」](#)および [171 ページの「Light path 診断 LED の説明」](#)を参照してください。

● メモリー・ミラーリング

メモリー・ミラーリングは、構成済みのメモリー・マップ内でアドレス可能なすべてのコードおよびデータの冗長コピーを提供します。マイクロプロセッサ・メモリー・コントローラー・チップ・セットを介して、メモリー・ミラーリングは 2 つまたは 4 つのメモリー・チャンネルの DIMM 全体でデータを同時に複製して保管します。障害が起こると、メモリー・コントローラーは、プライマリー・チャンネルの DIMM から、バックアップ・チャンネルの DIMM に切り替えます。Setup Utility を使ってメモリー・ミラーリングを有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」→「Mirroring」の順に選択します。メモリー・ミラーリングのための DIMM の取り付けについては、[56 ページの「メモリー・ミラーリング」](#)および [50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」](#)を参照してください。

● メモリー・スペアリング

このサーバーは、メモリー・スペアリングをサポートします。メモリー・スペアリングは、DIMM 障害のイベントが発生した場合のフェイルオーバー用にメモリー容量を予約します。予約された容量は使用可能メモリーの合計から減算されます。メモリー・スペアリングは、メモリー・ミラーリングと比較すると冗長性が低下します。訂正可能エラーが事前定義されたしきい値に達すると、障害が発生した DIMM の内容はスペア・メモリーにコピーされ、障害のある DIMM またはランクは無効にされます。Setup Utility を使ってメモリー・スペアリングを有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」→「Sparing」の順に選択します。メモリー・スペアリングのための DIMM の取り付けについては、[57 ページの「メモリー・ランク・スペアリング」](#)を参照してください。

● Lenovo サービス情報 Web ページへのモバイル・アクセス

サーバーには、システム・サービス・カードに QR (クイック・リファレンス) コードが記載されています。モバイル・デバイスで QR コード読み取りアプリケーションを使用してこのコードをスキャンすると、Lenovo サービス情報 Web ページにすぐにアクセスすることができます。サービス情報 Web ページでは、追加情報として部品の取り付けや交換用のビデオ、およびサーバー・サポートのためのエラー・コードが提供されます。システムのサービス・カードと QR コードの位置については、[4 ページの「QR コード」](#)を参照してください。

● マルチコア・プロセッサ

このサーバーは、最大 4 個の Intel Xeon™ EX バージョンの E7-48xx v2 または E7-88xx v2 シリーズの、最大 15 コアまでのマイクロプロセッサをサポートします (モデルにより異なる)。サーバーの基本モデルには、1 つのコンピュート・ブックが付属し、それ以外のすべてのモジュールには、2 つのコンピュート・ブックが付属しています。各コンピュート・ブックに 1 つのマイクロプロセッサが付属しています。

- ネットワーク・サポート

サーバーにはオプションのイーサネット・アダプターが付属し、このアダプターは、デュアル・ポート 1 Gb および 10 Gb 接続、ならびに 10 Mbps、100 Mbps、または 1000 Mbps ネットワークへの接続をサポートします。詳しくは、[149 ページの「イーサネット・コントローラーの構成」](#)を参照してください。

- PCI Express Gen3 アダプター機能

このサーバーは、最大 12 個の PCIe Gen3 アダプター・スロットを提供します。アダプターの取り付けの詳細については、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#)を参照してください。

- 冗長接続

デュアル・ポートおよびクワッド・ポートのイーサネット・コントローラーは、適切なアプリケーションをインストールすることで、冗長イーサネット接続に(デュアル・ポート)フェイルオーバー機能を提供します。プライマリー・イーサネット接続に問題が発生し、別のイーサネット・アダプターがサーバーに取り付けられている場合、このプライマリー接続に関連するすべてのイーサネット・トラフィックは、自動的にセカンダリー・イーサネット接続に切り替わります。適切なデバイス・ドライバをインストールすると、この切り替えはデータ損失なく、ユーザーの介入なしで実行されます。

- 冗長冷却およびオプションの電源機能

このサーバーは、デュアル・モーター、反転、速度制御ホット・スワップ・ファンを備えた最大 10 個のファン・パック(各ファン・パックに 2 つのファン)をサポートしています。これによって、最大構成での冗長性およびホット・スワップ機能が得られます。サーバー内のファンの冗長冷却により、ファン・モーターの 1 つに障害が起きても、サーバーの操作を続行できます。

サーバーには、1 個の 900 ワットまたは 1 個の 1400 ワット・ホット・スワップ電源が付属しています。サーバーは、最大 4 個の 750 ワット -48 ボルトから -60 ボルト DC 電源、4 個の 900 ワットまたは 4 個の 1400 ワットのホット・スワップ電源をサポートします。

冗長性をサポートするには、2 個または 4 個の 900 ワットまたは 1400 ワットの電源をサーバーに取り付ける必要があります。2 個または 4 個の 900 ワットまたは 1400 ワット電源は、いずれかの電源に障害が起きるか、オフラインになっても動作を継続することができます。750 ワット -48 V DC 電源の場合、サーバーは 4 電源構成のみをサポートします。

- リモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module (IMM) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

ブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出したときにサーバーを再起動する前に、ビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。

詳しくは、[144 ページの「リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用」](#)を参照してください。

- *ServerGuide* セットアップおよびインストール DVD

Web からダウンロードできる *Lenovo ServerGuide™* セットアップおよびインストール DVD には、ユーザーがサーバーをセットアップし、Windows オペレーティング・システムをインストールするのに役立つプログラムが提供されています。*ServerGuide* プログラムは、取り付け済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、適切な構成プログラムとデバイス・ドライバを提供します。*ServerGuide*

セットアップおよびインストールDVDの詳細については、129ページの「ServerGuide セットアップおよびインストールDVDの使用」を参照してください。

- **ServeRAID サポート**

ServeRAID™ アダプターは、構成を形成するためのハードウェア RAID (新磁気ディスク制御機構) サポートを提供します。サーバーには、RAID レベル 0、1 および 10 を提供する、オンボード RAID コントローラーが付属しています。RAID レベル 5、6、50、および 60 アップグレードには、追加でオプションの RAID アダプター、RAID キャッシュ・カード、および Features on Demand ソフトウェア RAID が選択可能です。

- **Service Advisor**

サーバーは、Service Advisor 機能を備えています。この機能は、システムが障害を検出したときに、システムに関するデータを収集し、そのデータを問題判別のために Lenovo サービスに送信します。また、この機能には、問題の発生時に自動的に Lenovo サービスを呼び出すコール・ホーム機能も含まれています。Service Advisor 機能は Integrated Management Module II (IMM2) に組み込まれています。Service Advisor の詳細については、179ページの「Service Advisor 機能」を参照してください。

- **システム管理機能**

サーバーには Integrated Management Module II (IMM2) が備わっています。サーバーに付属のシステム管理ソフトウェアで IMM を使用することで、サーバーの機能をローカル側およびリモート側で管理することができます。IMM は、システム・モニタリング、イベント記録、およびネットワーク・アラート機能も提供します。サーバー背面にあるシステム管理コネクタは IMM 専用です。専用のシステム管理コネクタは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup Utility を使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。

- **TCP/IP オフロード・エンジン (TOE) サポート**

ご使用のサーバー内のイーサネット・コントローラーは TOE をサポートします。これは、TCP/IP フローの速度を高めるために、マイクロプロセッサおよび I/O サブシステムから TCP/IP フローをオフロードするテクノロジーです。TOE をサポートするオペレーティング・システムがサーバー上で実行しており、TOE が有効になっている場合、サーバーは TOE の運用をサポートします。TOE を有効にする方法については、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

注：本書の時点では、Linux オペレーティング・システムは TOE をサポートしていません。

- **UEFI 準拠のサーバー・ファームウェア**

UEFI ファームウェアには、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) バージョン 2.1 準拠、Active Energy Management (AEM) テクノロジー、RAS (信頼性、可用性、保守容易性) 拡張機能、BIOS (基本入出力システム) 互換性サポートなどの機能が備わっています。UEFI は、BIOS に代わるものであり、オペレーティング・システム、プラットフォーム・ファームウェア、外部デバイス間の標準インターフェースを定義します。サーバーは、UEFI 準拠オペレーティング・システム、BIOS ベースのオペレーティング・システム、および BIOS ベースのアダプターのほか、UEFI 準拠アダプターをブートすることができます。UEFI 準拠のファームウェアの詳細については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnidocid=MIGR-5083207> にアクセスしてください。

注：このサーバーは、DOS をサポートしません。

- **VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー**

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。標準 I/O ブックの USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクタに USB フラッシュ・デバイスを取り付けます (USB フラッシュ・デバイス・コネクタの位置については、35ページの「標準 I/O ブック」を参照)。ハイパーバイザー・ソフトウェアを使用可能にする方法については、148ページの「組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアの使用」を参照してください。

- **Lenovo XClarity Administrator**

Lenovo XClarity Administrator は、管理者がより速く手間をかけずにインフラストラクチャーをデプロイできるリソース集中管理ソリューションです。このソリューションは、Flex System が統合されたインフラストラクチャー・プラットフォームに加え、System x、ThinkServer、NeXtScale サーバーにシームレスに統合されます。

Lenovo XClarity Administrator には次のような機能があります。

- 自動検出
- エージェントなしのハードウェア管理
- 監視
- ファームウェア更新とコンプライアンス
- パターン・ベースの構成管理
- オペレーティング・システムとハイパーバイザーのデプロイメント

管理者は、ダッシュボードで機能する整頓されたグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を使用して、正しい情報を参照し、よりすばやく重大なタスクを実行できます。一元化され自動化されたインフラストラクチャーの基本デプロイメントと大規模なシステムを横断したライフサイクル管理によって、管理者がそれに関わる時間を解放し、エンドユーザーに対するリソースの提供がより早くなります。

Lenovo XClarity は、Lenovo XClarity と呼ばれるソフトウェア・プラグインを使用して Microsoft や Vmware から簡単に最先端の仮想化管理プラットフォームに拡張できます。このソリューションを使用すると、サーバーのローリング・リポートやファームウェア更新中、またはハードウェアの障害予知が発生している場合に、クラスター内のアタッチされたホストからワークロードを動的に再配置することで、ワークロードの稼働時間やサービス・レベルの保証が向上します。

Lenovo XClarity Administrator の詳細については、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/software/systems-management/xclarity/> および http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/topic/com.lenovo.lxca.doc/aug_product_page.html を参照してください。

信頼性、可用性、および保守容易性

このトピックでは、サーバーの信頼性、可用性、および保守容易性 (RAS) 機能の概要を記載しています。

コンピューターの設計上で、最も重要な要素は、信頼性 (reliability)、可用性 (availability)、および保守容易性 (serviceability) (RAS) です。RAS 機能によって、サーバーに保管されているデータの保全性を保ち、サーバーが必要なときに使用できるようにし、問題を容易に診断して修理することができます。

ご使用のサーバーには、次の RAS 機能があります。

- 部品に対して 3 年間、作業に対して 3 年間の限定保証
- 24 時間サポート・センター
- 自動エラー再試行およびリカバリー
- マスク不可割り込み (NMI) 時の自動再起動
- 電源障害後の自動再起動
- Integrated Management Module (IMM) の制御下での基本入出力システム・スイッチングのバックアップ
- ファン、電源、温度、電圧、および電源の冗長性のための組み込み監視
- 大半のコネクター上のケーブル存在の検出
- Chipkill メモリー保護
- Corrected Machine Check Interrupt (CMCI)
- x4 DRAM テクノロジー DIMM のための SDDC (Single Device Data Correction) (16 GB の DIMM でのみ使用可能)。これにより、ハード障害の後に、最大 2 つの DRAM DIMM のうち単一の x4 DRAM DIMM でデータが使用可能になります。各ランクにある 1 つの x4 DRAM DIMM は、スペース・デバイスとして予約されています。
- ServeRAID およびイーサネット・アダプターの診断サポート
- DRAM Single Device Data Correction (SDDC)
- 動的メモリー・マイグレーション

- 拡張 DRAM Single Device Data Correction (SDDC+1)
- 拡張 DRAM Double Device Data Correction (SDDC+1)
- エラー・コードとメッセージ
- エラー修正コード (ECC) L3 キャッシュおよびシステム・メモリー
- 障害 DIMM の識別
- フル・アレイ・メモリー・ミラーリング (FAMM) 冗長性
- 速度感知機能付きのホット・スワップ冷却ファン
- ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブ
- ホット・スワップ冗長電源
- 内蔵ベースボード管理コントローラー (BMC) サブシステム
- Integrated Management Module (IMM)
- LCD システム情報表示パネル
- DIMM、マイクロプロセッサ、PCIe アダプター、ハードディスク・ドライブ、ソリッド・ステート・ドライブ、電源、ファン、PCIe モジュール、および I/O モジュールの light path LED
- メモリー・アドレス・パリティ保護
- メモリー・デマンドおよびパトロール・スクラビング
- メモリー・エラー修正コードおよびパリティ・テスト
- メモリー・サイズの縮小 (非ミラーリング・メモリー)。ミラーリングされていない修正不能なエラーをメモリー・コントローラーが検出した後にサーバーを再起動し、メモリー・コントローラーが操作上の回復をできない場合、IMM は修正不能なエラーをログに記録して POST に通知します。POST は、修正不能なエラーがあるメモリーを論理的にマップから外し、サーバーは残りの取り付け済みメモリーを使用して再起動します。
- メモリー・ミラーリングとメモリー・ランク・スペアリングのサポート
- メモリー・サーマル・スロットル
- メニュー方式によるシステム構成、および、RAID 構成プログラムのセットアップ
- マイクロプロセッサの組み込みセルフテスト (BIST)、内部エラー・シグナル監視、内部サーマル・トリップ・シグナル監視、構成検査、および light path 診断によるマイクロプロセッサと電圧調節モジュールの障害識別
- マスク不可能割り込み (NMI) ボタン
- オペレーティング・システム・メモリー・オンライニング (容量変更)
- PCIe バスのパリティ・チェック
- PCIe ホット・アドおよび取り外しのサポート
- PCIe ホット・プラグ (マイクロプロセッサ 2 および 3 のみ)
- 電源管理: 拡張構成と電力インターフェース (ACPI) 準拠
- 電源オン・セルフテスト (POST)
- メモリー、SAS/SATA ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ、およびファンの障害予知 (PFA) アラート
- フェイルオーバー・サポート付きの冗長イーサネット機能
- 冗長ホット・スワップ電源および冗長ホット・スワップ・ファン
- 冗長ネットワーク・インターフェース・カード (NIC) サポート
- 一時的にシステム・エラー LED をオフにするためのリマインド・ボタン
- リモートのシステム問題判別のサポート
- ROM ベース診断および Flash ROM ベース・コードと診断のアップグレード
- ROM チェックサム
- メモリー上の Serial Presence Detection (SPD)、システム・ボード上の VPD、電源、およびハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブのバックプレーン、マイクロプロセッサおよびメモリー拡張トレイ、ならびにイーサネット・アダプター
- Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) による過度の訂正可能エラーまたは複数 bit エラーの単一 DIMM 分離
- SMI クロック・フェイルオーバー
- SMI レーン・フェイルオーバー
- SMI パケット再試行
- ソリッド・ステート・ドライブ
- システム管理機能や監視用のスタンバイ電圧

- リモート初期プログラム・ロード (RIPL) または動的ホスト構成プロトコル/ブート・プロトコル (DHCP/BOOTP) の使用による LAN からの始動 (ブート)
- 構成メニューからのシステム自動構成
- システム・エラー・ログ (UEFI/POST および IMM)
- Inter-Integrated Circuit (I2C) プロトコル・バスを通じたシステム管理監視
- 温度およびファンの監視
- 修正不能なエラー (UE) の検出
- ローカルでの、または LAN 経由による、アップグレード可能 POST、Unified Extensible Firmware Interface (UEFI)、診断、IMM ファームウェア、および読み取り専用メモリー (ROM) 常駐コード
- マイクロプロセッサおよびメモリー拡張モジュール、PCIe 拡張モジュール、基本 I/O モジュール、ストレージおよび I/O モジュール、電源、および SAS/SATA (ホット・スワップ・ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ) バックプレーンに関する重要プロダクト・データ (VPD)
- Wake on LAN 機能

サーバーのスケラビリティ

このトピックでは、4ソケット構成から8ソケット構成への拡張について説明します。

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーは、ミッドプレーンを通じた直接 QPI 接続トポロジーを使用して、x3850 X6 (4ソケット構成) から x3950 X6 (8ソケット構成) サーバーに拡張します。x3950 X6 は、x3850 X6 に使用されるすべてのコンポーネントに加えて、8ソケット・シャーシ、8ソケット・ミッドプレーン、および8ソケット・シャトル(x3950 X6 4ソケットから8ソケットへのアップグレード・キットに付属)を使用して実装します。シャーシ、ミッドプレーン、シャトル、および E7-8xxx v2 マイクロプロセッサを除き、すべてのコンポーネントは x3850 X6 構成と x3950 X6 構成の両方の間で交換可能です。

注：4ソケット・システムから8ソケット・システムへのサーバーのアップグレードは、サービス技術員が行う必要があります。

x3950 X6 には2つのノードがあり、それぞれ独立したサーバーとして独自のリソースを所有しています。

サーバーの電源は、サーバーのミッドプレーンを通じて分配されます。x3950 X6 (8ソケット) 構成では、電源サブシステムは2つの個別ノード(上部ノードと下部ノード)に分割されます。

注：電源は、x3950 X6 構成の上部ノードと下部ノードの間で共有されません。各ノードが独自の電源セットを備えている必要があります。

追加情報については、[22 ページの「FlexNode サポート」](#)と[140 ページの「マルチノード・システムの構成」](#)を参照してください。

FlexNode サポート

このトピックでは、マルチノード8ソケット構成を2つのスタンドアロン4ソケット構成に再構成するための FlexNode サポートの使用について説明します。

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーは、マルチノード・サーバーを2つの独立したスタンドアロン・サーバーに再構成するためのサポートを提供しています。これは、FlexNode サポートと呼ばれます(スケラブル・マルチノード・システムとも呼ばれます)、FlexNode サポートが有効になっている場合、各スケラブル・パーティションは独自の独立したオペレーティング・システムをインストールできます。FlexNode が有効である間、各スケラブル・パーティションは、独立したサーバーとして独自のローカル・リソースを持つことができますが、別のスタンドアロン・サーバーのリソースにアクセスしたり、オペレーティング・システムをブートしたりすることはできません。x3950 X6 (8ソケット) システムのデフォルト設定は、8ソケット・パーティション1つです。FlexNode (スケラブル・マルチノード・システム) は、Integrated Management Module II (IMM2) の機能です。

注：FlexNode サポートを有効にする際には、サーバーの電源をオフにする必要があります。

FlexNode サポートの管理は、次の2つの方法で行えます。

- IMM2 Web インターフェースを使用する
- IMM2 telnet インターフェースを使用する

ノードを管理するための IMM2 Web インターフェースおよび IMM2 telnet インターフェースの使用の詳細については、[140 ページの「マルチノード・システムの構成」](#)を参照してください。

Lenovo XClarity Administrator

Lenovo XClarity Administrator は、Lenovo® サーバー・システムおよびソリューションのインフラストラクチャ管理を単純化し、応答性と可用性を高めることを目的としてリソースを一元的に管理するソリューションです。安全な環境で Lenovo サーバー、Flex System サーバーおよび RackSwitch スイッチにおける検出、インベントリ、追跡、監視、プロビジョニングを自動化する仮想アプライアンスとして機能します。

Lenovo XClarity Administrator には一元管理インターフェースが用意されており、すべての管理対象エンドポイントに対して以下の機能を実行します。

- **ハードウェア管理**

Lenovo XClarity Administrator はエージェントなしでハードウェアを管理します。これは、Flex System シャーシおよびコンポーネント、System x、NeXtScale、ThinkServer サーバー、RackSwitch スイッチなどの管理可能エンドポイントを自動的に検出します。また、検出されたエンドポイントのインベントリが収集されるため、管理対象ハードウェア・インベントリとそのステータスをひと目で把握できます。

- **ハードウェアの監視**

Lenovo XClarity Administrator では、管理対象エンドポイントから生成されるすべてのイベントとアラートの一元管理ビューを利用できます。CMM または IMM によって問題が検出されると、アラートやイベントが Lenovo XClarity Administrator に渡され、イベント・ログまたはアラート・ログに表示されます。すべてのアラートやイベントのサマリーは、ダッシュボードおよびステータス・バーから確認できます。特定のエンドポイントに関するイベントとアラートは、そのエンドポイントのアラートとイベントの詳細ページから確認できます。

- **オペレーティング・システム・デプロイメント**

Lenovo XClarity Administrator を使用してオペレーティング・システム・イメージのリポジトリを管理し、オペレーティング・システム・イメージを管理対象サーバーにデプロイできます。

- **構成の管理**

一貫した構成を使用して、すべてのサーバーを簡単にプロビジョニングおよび事前プロビジョニングできます。構成設定 (ローカル・ストレージ、I/O アダプター、ブート設定、ファームウェア、ポート、IMM や UEFI の設定など) はサーバー・パターンとして保管され、1 つ以上の管理対象サーバーに適用できます。サーバー・パターンが更新されると、その変更は適用対象サーバーに自動的にデプロイされます。

- **ファームウェアのコンプライアンスと更新**

ファームウェア管理は管理対象エンドポイントに対してファームウェア・コンプライアンス・ポリシーを割り当てることによって簡略化されます。コンプライアンス・ポリシーを作成して管理対象エンドポイントに割り当てると、Lenovo XClarity Administrator はこれらのエンドポイントに対するインベントリの変更を監視し、コンプライアンス違反のエンドポイントにフラグを付けます。

- **ユーザーの管理**

Lenovo XClarity Administrator には集中型認証サーバーが用意されており、ユーザー・アカウントを作成して管理します。また、ユーザー資格情報を管理して認証します。認証サーバーは、管理サーバーを初めて起動する際に自動的に作成されます。Lenovo XClarity Administrator 用に作成したユーザー・アカウントは、管理対象シャーシやサーバーにログインするときにも使用されます。

- **Security**

お使いの環境が NIST SP 800-131A 標準または FIPS 140-2 標準に従う必要がある場合、それらに完全に準拠した環境を作成するのに Lenovo XClarity Administrator が役立ちます。自己署名 SSL 証明書 (内部証明機関によって発行されたもの) および外部 SSL 証明書 (プライベートまたは商用 CA によって発行されたもの) がサポートされています。シャーシおよびサーバーのファイアウォールを、Lenovo XClarity Administrator からの受信要求のみを受け入れるように構成できます。

- **サービスおよびサポート**

一定の保守可能イベントが Lenovo XClarity Administrator および管理対象エンドポイントで発生した場合に、診断ファイルを収集し自動的に優先サービス・プロバイダーに送信するように Lenovo XClarity Administrator をセットアップできます。コール・ホームを使用して診断ファイルを Lenovo サポートに送信するか、SFTP を使用して別のサービス・プロバイダーに送信するかを選択できます。また、手動で診断ファイルを収集したり、問題レコードを開いたり、診断ファイルを Lenovo サポート・センターに送信したりもできます。

- **スクリプトによるタスクの自動化**

Lenovo XClarity Administrator は、オープンな REST アプリケーション・プログラミング・インターフェース (API) を使用して、外部のより高レベルな管理プラットフォームや自動化プラットフォームに組み込むことができます。REST API を使用して、Lenovo XClarity Administrator は既存の管理インフラストラクチャーに容易に統合できます。また、Microsoft PowerShell セッションで Lenovo XClarity コマンドレットを実行して、特定の管理機能を自動化することができます。コマンドレットは Lenovo XClarity Administrator REST API を使用し、次のような機能を自動化できます。

- **他の管理ソフトウェアとの統合**

Lenovo XClarity Administrator は、スタンドアロンまたは Lenovo XClarity Pro と呼ばれるバンドル・サービスとして入手できます。Lenovo XClarity Pro はベースとなる管理製品と 2 台の Lenovo XClarity Integrator モジュールで構成され、Microsoft Systems Center または VMware vCenter に組み込むことができます。これらのツールは、検出、監視、構成、および管理機能を提供し、System x、NeXtScale、および Flex System のエンドポイントのルーチン・システム管理に付き物のコストや複雑さを軽減します。

Lenovo XClarity Administrator に関する詳細は、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/software/systems-management/xclarity/> で入手できます。

サーバー・コンポーネント

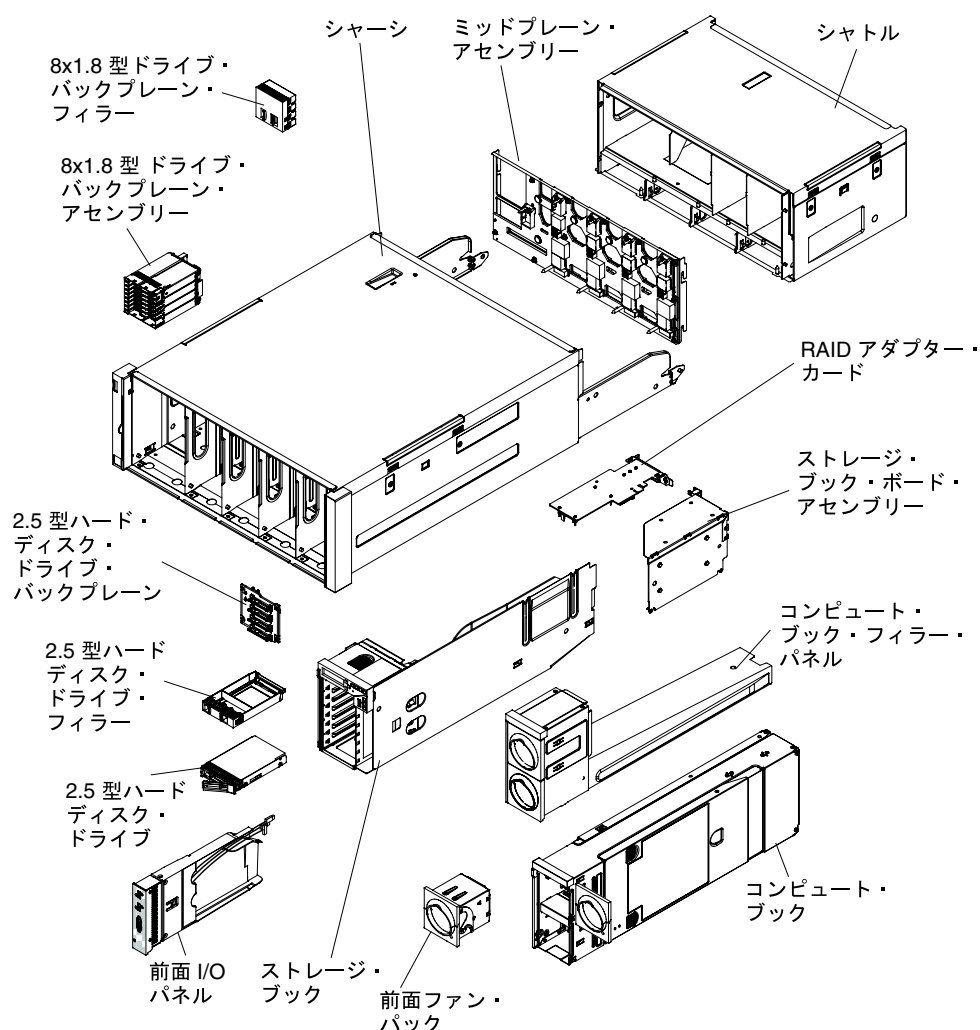
ここでは、サーバー内の主要コンポーネントの概要について説明しています。

サーバーの主要コンポーネントには、X6 ストレージ・ブック、LCD システム情報表示パネル、コンピュータ・ブック、X6 標準 I/O ブック、X6 ハーフサイズ I/O ブック、X6 フルサイズ I/O ブック、ファン・パック、および電源があります。

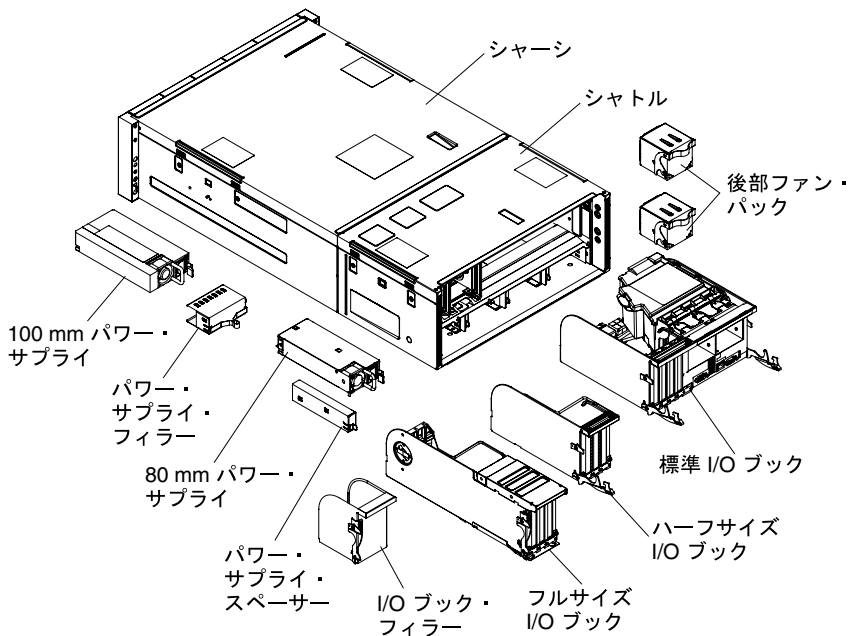
次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

注：シャーシ、ミッドプレーン、シャトル、および一部のマイクロプロセッサを除き、すべてのコンポーネントは4ソケット・サーバーと8ソケット・サーバーの間で交換可能です。

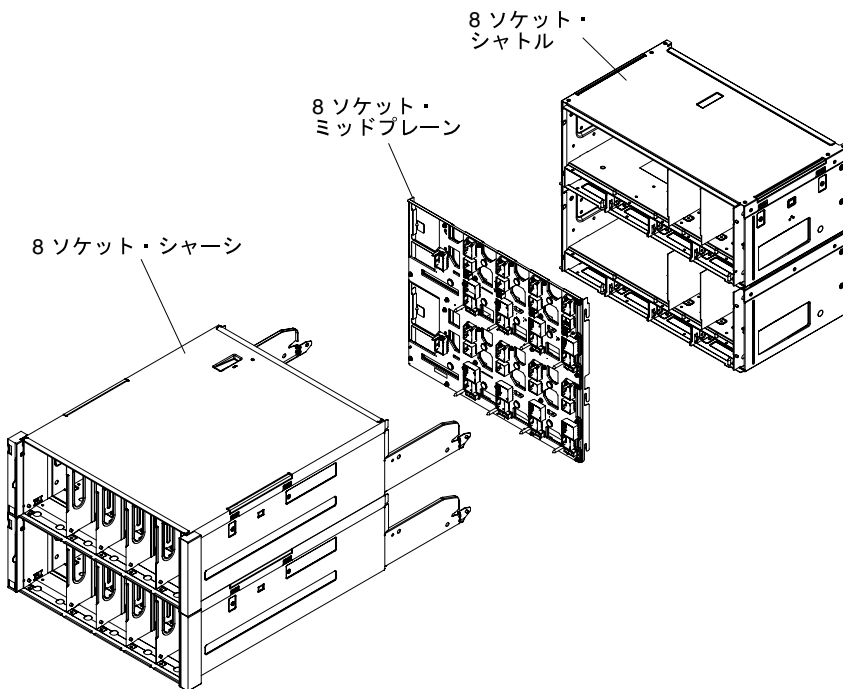
次の図は、サーバーの前面にある主要コンポーネントを示しています。



次の図は、サーバーの背面にある主要コンポーネントを示しています。



次の図は、8ソケットのシャーシ、ミッドプレーン、およびシャトルを示しています。



コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。

コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバー稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けが行えます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。)特定のホット・スワップ・コン

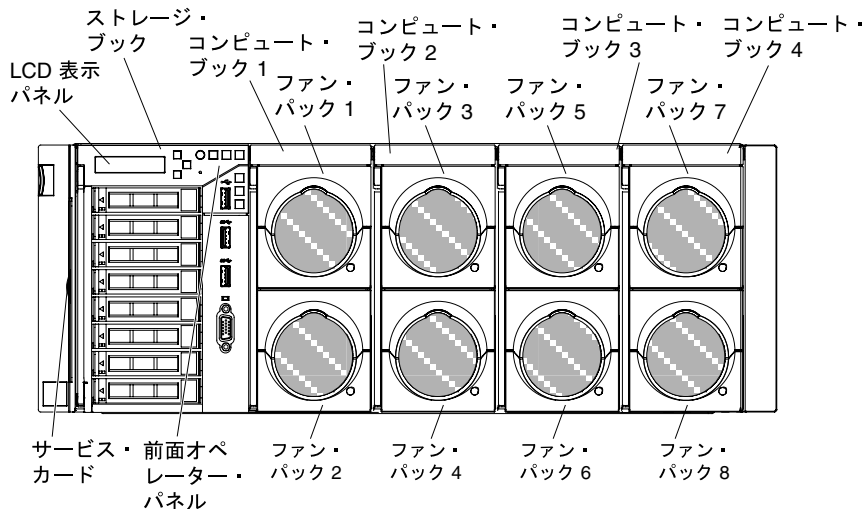
ポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。

サーバーの前面図

ここでは、サーバーの前面からアクセス可能なコンポーネントの概要を説明しています。

ストレージ・ブック、LCD システム情報表示パネル、および前面オペレーター・パネル、前面 I/O パネル、ファン・パック 1 から 8、およびコンピュート・ブックが、サーバーの前面にあります。

次の図は、サーバーの前面にある主要コンポーネントを示しています。



ストレージ・ブック

ストレージ・ブック上のコントロール部、コネクタ、LED、およびコンポーネントの概要については、以下の情報を参照してください。

ストレージ・ブックには、ドライブとドライブ・バックプレーン、前面オペレーター・パネル、LCD システム情報表示パネル、前面 I/O パネル (USB 3.0/ビデオ・コネクタ)、およびストレージ・ホスト・バス・アダプター用の PCIe スロットが収められています。

注：

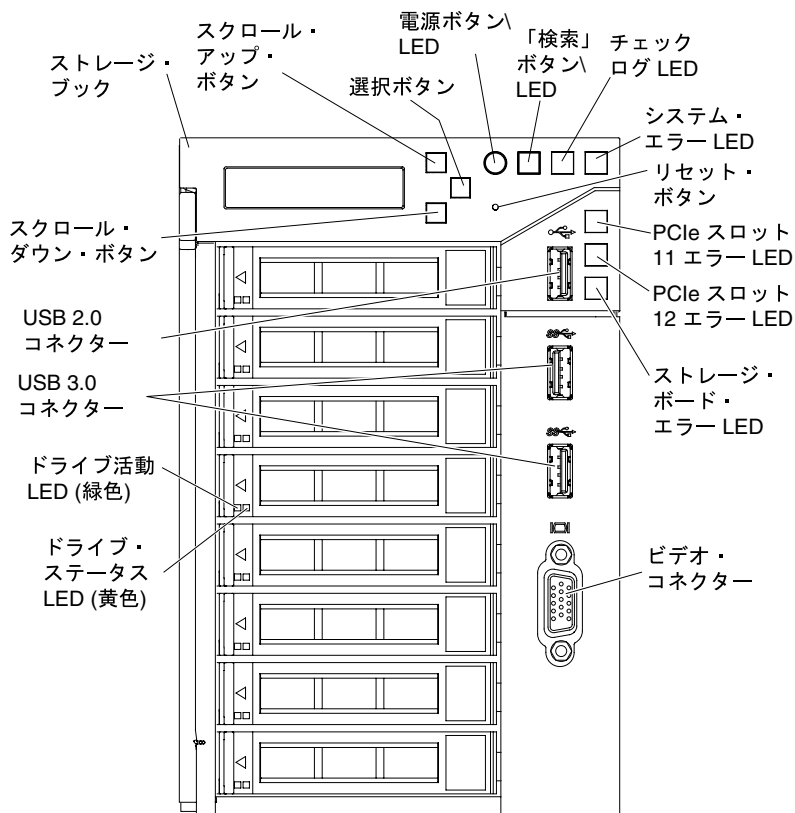
- ストレージ・ブックおよびストレージ・バックプレーンへの電力は、標準 I/O ブックによって供給されます。
- ストレージ・ブック上の PCIe スロットは、専用ストレージ・ホスト・バス・アダプター・スロットです。これ以外のアダプターをこれらのスロットに取り付けしないでください。これ以外のアダプターは、これらのスロットではサポートされません。
- ストレージ・ブック上の PCIe スロット内のアダプターの取り外しや追加を行うには、サーバーの電源を切り、すべての電源コードを切り離す必要があります。PCIe スロットはホット・スワップ可能ではありません。
- 内蔵 RAID アダプターおよびアダプターのフラッシュ電源モジュールは、ストレージ・ブック・コンポーネントに取り付けてください。

ストレージ・ブックは、以下のスロットとコネクタを備えています。

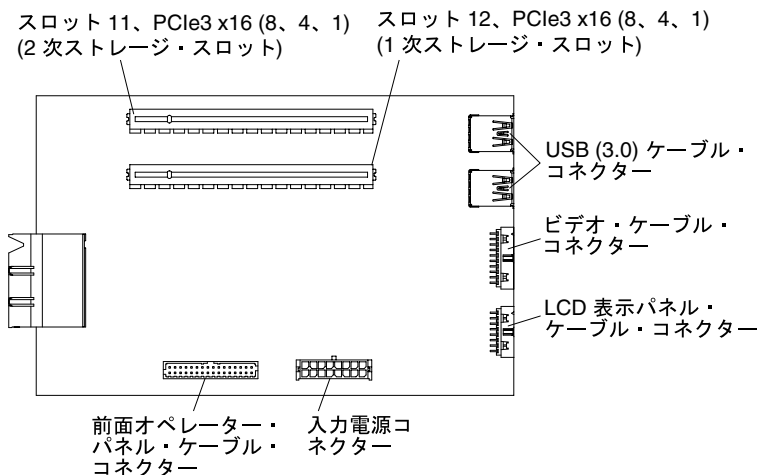
- ストレージ・ホスト・バス・アダプター用の 2 つの x16 (8、4、1) PCIe Gen3 ロー・プロファイル・スロット (8 GT/秒)
 - PCIe スロット 12 はプライマリー・ストレージ・スロットです

- PCIe スロット 11 はセカンダリー・ストレージ・スロットです
- 1つのVGA コネクター
- 1つのUSB 2.0 コネクター
- 2つのUSB 3.0 コネクター
- 前面オペレーター・パネル・コネクター
- LCD システム情報表示パネル・コネクター

次の図は、ストレージ・ブック上でアクセスできるコネクター、LED、およびコントロール部を示しています。



次の図は、ストレージ・ブック・ボード上のコネクターを示しています。



- **ドライブ・ステータス LED:** これらの LED は、SAS または SATA ハードディスク・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ上にあります。これらの LED のうち 1 つが点灯している場合は、そのドライブに障害があることを示します。この LED がゆっくりと点滅 (1 秒間に 1 回) しているときは、ドライブが再ビルド中であることを示しています。LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。
- **ドライブ動作 LED:** これらの緑色の LED はすべてのホット・スワップ・ドライブ上で使用されます。
 - この LED が点滅しているときは、ドライブがアクティブでデータの読み取りまたは書き込みをしていることを示します。
 - SAS および SATA ドライブの場合、この LED は、ドライブの電源がオンになっていてもドライブがアクティブでないときにはオフになります。
 - NVMe (PCIe SSD) のソリッド・ステート・ドライブの場合、この LED は、ドライブの電源がオンになっていてもドライブがアクティブでないときには点灯します。
- **LCD システム情報表示パネル:** このパネルには、LCD 表示域に表示したいシステム情報のナビゲートと選択に使用するボタンが含まれています。LCD システム情報表示パネルは、以下のボタンを備えています。
 - **スクロールアップ・ボタン:** メインメニューで上にスクロールするか、メインメニュー内でスクロールして、表示したいシステム情報を見つけて選択するには、このボタンを押します。
 - **選択ボタン:** メニュー・オプションの中から選択するには、このボタンを押します。
 - **スクロールダウン・ボタン:** メインメニューで下にスクロールするか、メインメニュー内でスクロールして、表示したいシステム情報を見つけて選択するには、このボタンを押します。
- **前面オペレーター・パネル:** このパネルには、コントロール部と、サーバー・ステータスに関する情報を提供する LED が装備されています。前面オペレーター・パネル上のコントロール部と LED の詳細については、[30 ページの「前面オペレーター・パネル」](#)を参照してください。
- **電源ボタン/LED:** サーバーの電源を手動でオンまたはオフにしたり、サーバーを電力低下状態からウェイクさせるには、このボタンを押します。電源オン LED の状態は次のとおりです。
 - オフ:** 入力電力が存在しないか、あるいは、電源または LED 自体に障害が起きている状態です。
 - 高速で点滅 (毎秒 3 回):** サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源オン・ボタンは無効です。これは、入力電力が供給または復元された後、約 10 秒続きます。
 - 低速で点滅 (1 秒あたり 1 回):** サーバーの電源がオフになっており、オンにできる状態です。電源オン・ボタンを押して、サーバーをオンにすることができます。
 - 点灯:** サーバーの電源はオンになっています。
- **「検索」ボタン/LED:** 複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるには、このボタンを押します。「検索」ボタンを押すと LED が点灯し、もう一度ボタンを押してオフにするまで点灯したままになります。このボタンは、Trusted Platform Module (TPM) に対する物理的プレゼンスとしても使用されます。Lenovo XClarity Administrator ソフトウェアなどの管理ソフトウェアまたは IMM2 インターフェースを使用して、この LED をリモート側から点灯させることができます。この LED は IMM2 によって制御されます。
- **チェック・ログ LED:** この LED が黄色に点灯しているときは、さらに診断が必要なエラーがあることを示します。IMM イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。イベント・ログについての詳細は、[173 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。
- **システム・エラー LED:** この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。この LED は IMM2 によって制御されます。LCD 表示パネルに追加情報が表示される場合もあります (詳細については、[30 ページの「LCD システム情報表示パネル」](#)を参照してください)。
- **リセット・ボタン:** サーバーをリセットし、電源オン・セルフテスト (POST) を実行するときに、このボタンを押します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。リセット・ボタンは、前面オペレーター・パネル上の選択ボタンの近くにあります。

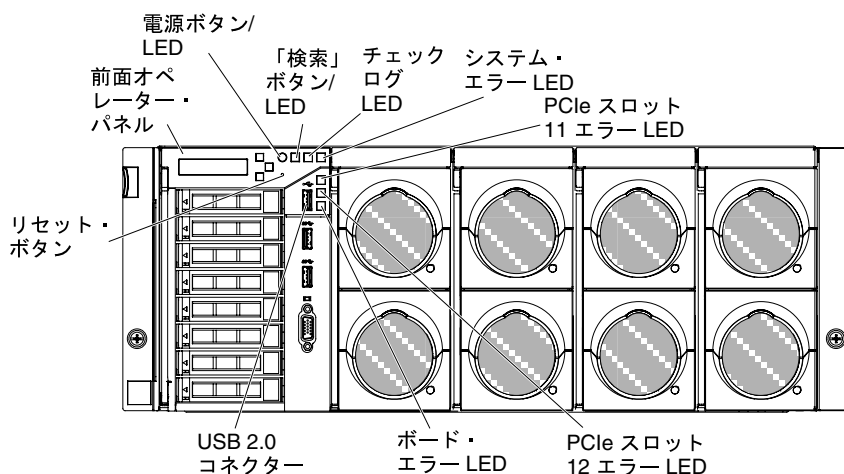
- **PCIe スロット 11 および 12 エラー LED:** これらの LED が点灯しているときは、ストレージ・ブック・ボード上の PCIe スロット 11 および 12 でエラーが発生したことを示します。
- **ストレージ・ボード・エラー LED:** この黄色の LED が点灯しているときは、ストレージ・ブック・ボードのエラーが発生したことを示しています。
- **USB 2.0 コネクター:** USB マウス、キーボード、またはその他のデバイスなど、USB デバイスは、このコネクターのいずれかに接続します。
- **USB 3.0 コネクター:** USB マウス、キーボード、またはその他のデバイスなど、USB デバイスは、これらのコネクターのいずれかに接続します。
- **ビデオ・コネクター:** モニターをこのコネクターに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクターは同時に使用することができます。

Light Path 診断の詳細については、163 ページの「[Light path 診断](#)」および 171 ページの「[Light path 診断 LED の説明](#)」を参照してください。

前面オペレーター・パネル

サーバーの前面オペレーター・パネルにあるコネクター、LED、およびボタンの概要については、以下の情報を参照してください。

前面オペレーター・パネルは、ストレージ・ブックの前面にあります。次の図は、前面オペレーター・パネル上の LED およびコントロールを示しています。



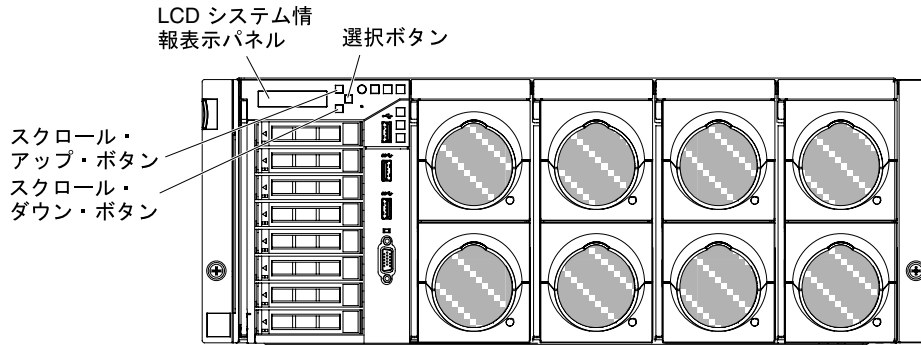
Light Path 診断および LED の詳細については、163 ページの「[Light path 診断](#)」および 171 ページの「[Light path 診断 LED の説明](#)」を参照してください。

注：サーバー前面の左側の EIA ブラケットと X6 ストレージ・ブックの間にあるシステムのサービス・カードにも、light path 診断 LED の位置に関する情報が記載されています。

LCD システム情報表示パネル

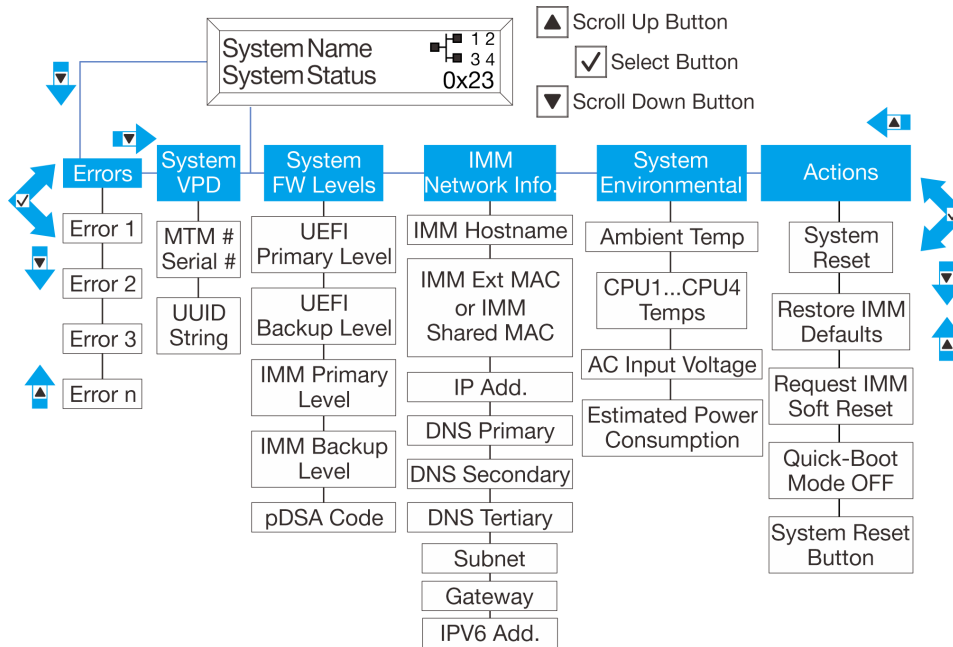
サーバーに関するさまざまなタイプの情報を表示する LCD システム情報表示パネルの概要については、以下の情報を使用してください。

LCD システム情報表示パネルは、サーバーの前面にあるストレージ・ブックに取り付けられています。LCD システム情報表示パネルでは、システム・ステータス、ファームウェア、ネットワーク、およびヘルス情報に簡単にアクセスできます。次の図は、LCD システム情報表示パネル上のコントロール部を示しています。

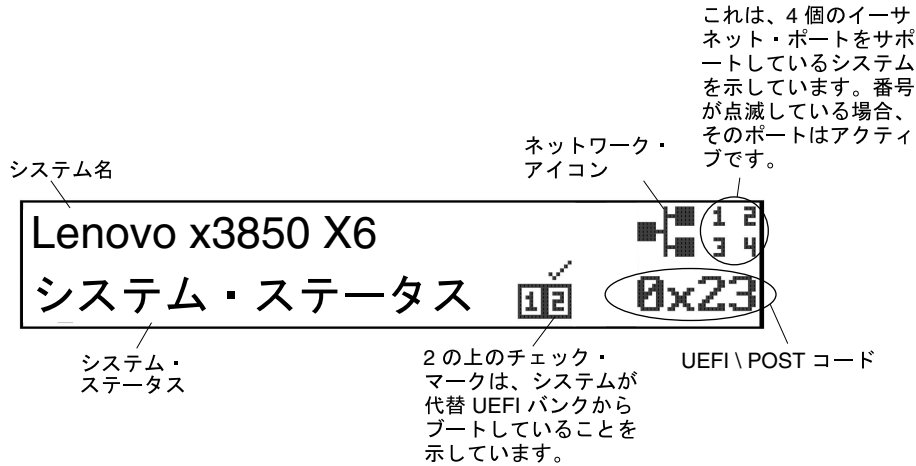


- **スクロールアップ・ボタン**: メインメニューで上にスクロールするか、左にスクロールして、表示したいシステム情報を見つけて選択するには、このボタンを押します。
- **選択ボタン**: メニュー・オプションの中から選択するには、このボタンを押します。
- **スクロールダウン・ボタン**: メインメニューで下にスクロールするか、右にスクロールして、表示したいシステム情報を見つけて選択するには、このボタンを押します。

次の図は、LCD システム情報表示パネルのメニュー・オプション・フローを示しています。



表示パネルに表示される情報の例は次のとおりです。この例は、デバッグ機能が有効であるときにメインメニュー内の情報のレイアウトを示しています。



LCD システム情報表示パネル上のメニュー・オプションの階層をナビゲートすると、表示パネルにはそのオプションの情報が表示され、表示パネルの側面に上矢印と下矢印が表示されます。メニュー・オプションの階層の一番下に達すると、上矢印のみが選択可能です。メニュー・オプションの階層の一番上に達すると、下矢印のみが選択可能です。

エラー・サブメニュー・セットの場合、1つのみのエラーが生じると、LCD 表示パネルにそのエラーが表示されます。複数のエラーが生じると、LCD 表示パネルには、発生したエラー数が表示されます。エラーが生じない場合、ナビゲーションでエラー・メニューは選択できません。

メニュー・オプション内で移動するには、スクロールアップ・ボタンまたはスクロールダウン・ボタンを使用してから、選択ボタンを使用してサブメニュー・セットを入力します。

LCD システム情報表示パネルは、サーバーに関する次のタイプの情報を表示します。

- IMM システム・エラー・ログ (SEL)

注：このメニュー・オプションに対してスクロールダウン・ボタンが機能するのは、エラーが発生した場合のみです。システムによって報告された現在のエラーのリストが表示されます。システム・エラー・ログ (SEL) を確認し、エラーの完全なリストを入手するには、IMM Web ページに進んでください (145 ページの「[IMM Web インターフェースへのログオン](#)」を参照)。

- システム VPD 情報:

- マシン・タイプおよびシリアル番号
- 汎用固有 ID (UUID) ストリング

- システム・ファームウェア・レベル:

- UEFI コード・レベル
- IMM コード・レベル
- pDSA コード・レベル

- IMM ネットワーク情報:

- IMM ホスト名
- IMM 専用 MAC アドレス

注：現在使用中の MAC アドレスのみが表示されます (専用または共用)

- IMM 共用 MAC アドレス
- IP v4 情報
- IP v6 アドレス

- システム環境情報:

- 周辺温度
- CPU 温度
- AC 入力電圧
- 推定電力使用量

コンピュータ・ブック

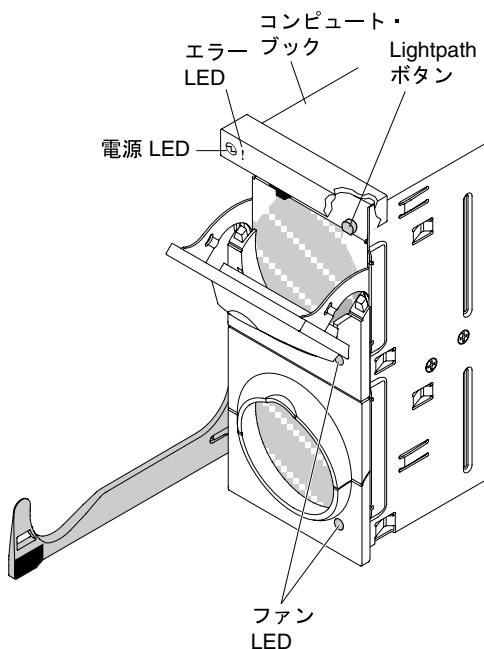
ここでは、コンピュータ・ブックの概要について説明しています。

コンピュータ・ブックは、サーバーの前面にあります。各コンピュータ・ブックには、少なくとも1つのマイクロプロセッサ、1つの DIMM、および1つのファン・パックが取り付けられていなければなりません。以下のコネクタとスロットを備えています。

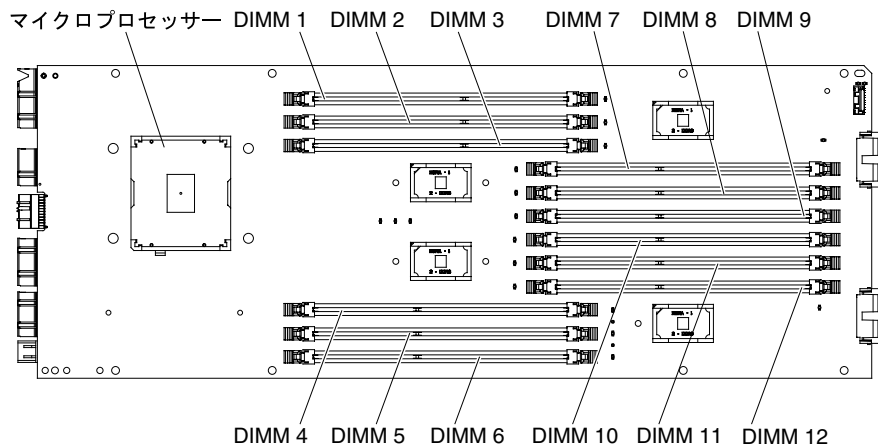
- 1つのマイクロプロセッサ・ソケット
- 24 DDR3 DIMM コネクタ (DDR3 コンピュータ・ブックを備えたモデル)
- 24 DDR4 DIMM コネクタ (DDR4 コンピュータ・ブックを備えたモデル)
- 2つの 60 mm 反転ファン・ベイ

コンピュータ・ブックは、**Light path ボタン**も備えています。サーバーからコンピュータ・ブックが取り外されている場合にボード上の LED を点灯させるには、このボタンを押します。コンピュータ・ブックがサーバーから取り外される前に点灯していた LED はすべて、light path ボタンを押すと点灯します。

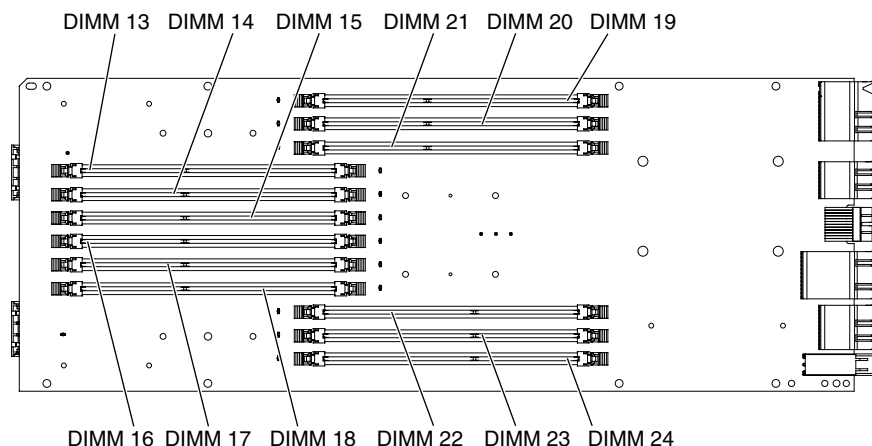
次の図は、コンピュート・ブックの前面図を示しています。



次の図は、コンピュート・ブック・ボードのマイクロプロセッサ側にあるマイクロプロセッサと DIMM コネクタの位置を示しています。



次の図は、コンピュータ・ブック・ボードのマイクロプロセッサのない側にある DIMM コネクタの位置を示しています。



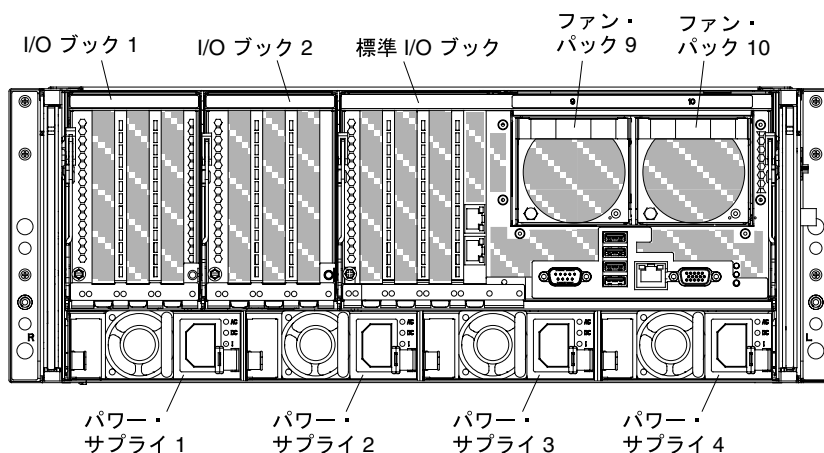
このコンピュータ・ブックを取り付ける際に考慮する必要がある事項および取り付け手順に関する詳しい注記と情報については、[69 ページの「コンピュータ・ブックの取り付け」](#)を参照してください。DIMM の取り付けに関する詳細については、[50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」](#)を参照してください。

サーバーの背面図

このセクションでは、サーバーの背面からアクセス可能なモジュラー・コンポーネントの概要を示しています。

標準 I/O ブック、ハーフサイズ I/O ブック、フルサイズ I/O ブック、ファン・パック 9 および 10、ならびに電源は、サーバーの背面からアクセスできます。

次の図は、サーバーの背面にあるコンポーネントとベイを示しています。



標準 I/O ブック

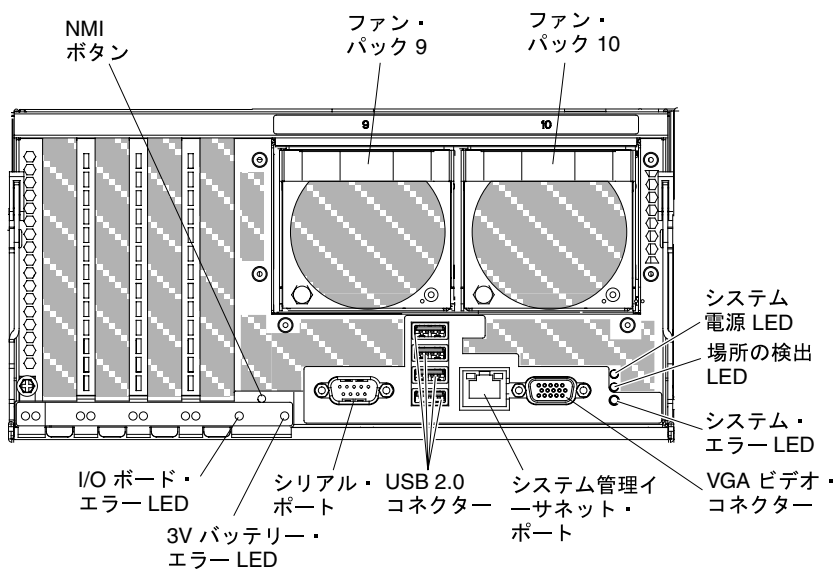
システムの標準 I/O ブックの概要については、以下の情報を参照してください。

サーバーの標準 I/O ブック内のコンポーネントは、サーバーを形成するための最小限の I/O コンポーネントの集合です。標準 I/O ブックは、ホット・スワップ・モジュールではありません。そのため、サーバーの電源をオフにし、すべての電源コードを切断してから、標準 I/O ブックのコンポーネントの取り付けおよび取り外しを行う必要があります。

注：

- フラッシュ電源モジュールに付属している外部 RAID アダプターを取り付ける場合、これらのアダプターは、標準 I/O ブックの PCIe スロット 7、8、および 9 に取り付ける必要があります。アダプター・フラッシュ電源モジュールは、標準 I/O ブックのエアー・バッフル内のスロットに取り付けます。フラッシュ電源モジュールに付属していない他の PCIe アダプターも、標準 I/O ブックに取り付けることができます。
- 標準 I/O ブックには、最大 3 つのフラッシュ電源モジュールを取り付けることができます。
- 標準 I/O ブックの PCIe スロット 10 には、ML2 イーサネット・アダプターのみを取り付けることができます。イーサネット・アダプターの詳細については、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」を参照してください。
- 標準 I/O ブックはマイクロプロセッサ 1 および 2 に接続されます。標準 I/O ブックの PCIe バスもマイクロプロセッサ 1 および 2 に接続されます。

次の図は、標準 I/O ブックを示しています。

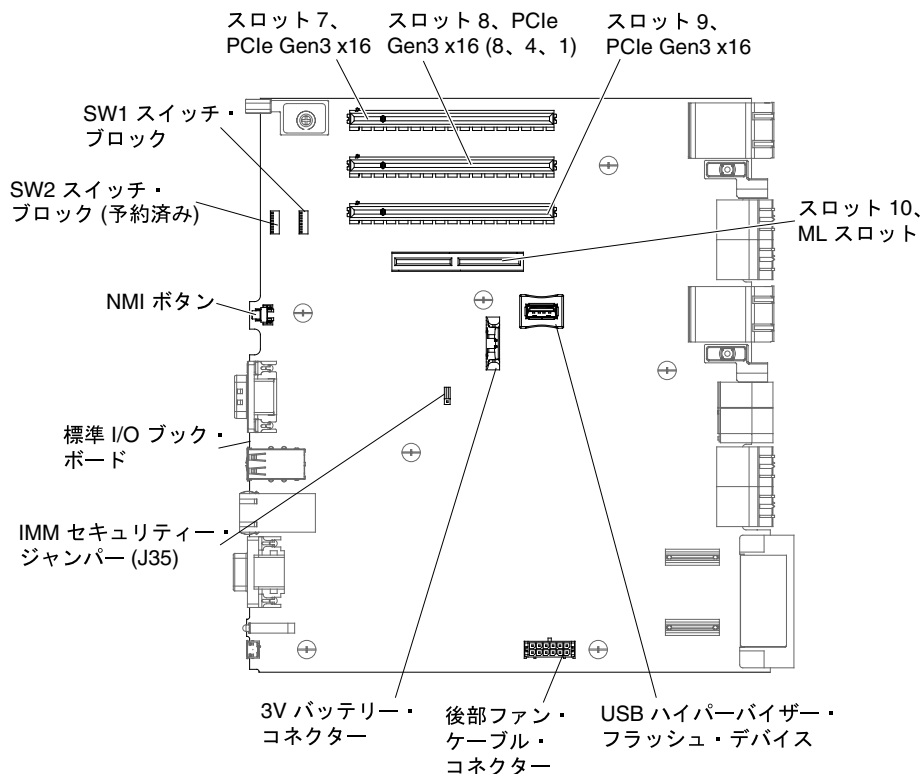


- **3V バッテリー・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、標準 I/O ブックのバッテリー・エラーが起こったことを示しています。
- **イーサネット・コネクター:** これらのコネクターのいずれかを使用して、サーバーをネットワークに接続します。イーサネット 1 コネクターを使用する場合、単一のネットワーク・ケーブルを使用してネットワークを IMM と共有できます。
- **イーサネット活動 LED:** これらの LED が点灯している場合、サーバーがイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送受信していることを示します。
- **イーサネット・リンク LED:** これらの LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 100BASE-TX、1000BASE-TX、または 10GBASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
- **イーサネット・アダプター・スロット:** これらのスロットには、デュアル・ポートまたはクワッド・ポートのイーサネット・アダプターを挿入します。
- **I/O ボード・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、標準 I/O ブック・ボードでエラーが起こったことを示しています。
- **場所の検出 LED:** 複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるときに、この LED を使用します。この LED をリモートで点灯させるには、Lenovo XClarity Administrator ソフトウェアなどの管理ソフトウェアが使用できます。IMM も、この LED をオン/オフするのに使用できます。この LED は、サーバーの前面にある場所の検出 LED と同等の機能です。

- **NMI ボタン:** このボタンは、マイクロプロセッサにマスク不可能割り込みを強制する場合に押しします。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。このボタンを使用して、ブルー・スクリーン・メモリー・ダンプを強制することも可能です。このボタンは、Lenovo サポートから指示があった場合にのみ使用してください。
- **シリアル・コネクタ:** 9 ピンのシリアル・デバイスは、このコネクタに接続します。シリアル・ポートは、Integrated Management Module (IMM) と共有されます。IMM は、Serial over LAN (SOL) を使用して、共有シリアル・ポートを制御してシリアル・トラフィックのリダイレクトを行えます。
- **システム・エラー LED:** この LED が点灯しているときは、システム・エラーが起こったことを示します。エラーの切り分けに役立つように、オペレーター・パネル上の LED も点灯します。この LED は、サーバーの前面にあるシステム・エラー LED と同等の機能です。
- **システム管理イーサネット・コネクタ:** このコネクタには、専用管理ネットワークを使用してサーバーを管理するために接続します。このコネクタを使用すると、実動ネットワークから IMM に直接アクセスできなくなります。専用の管理ネットワークは、管理ネットワーク・トラフィックを実動ネットワークから物理的に分離することによってセキュリティを強化します。Setup Utility を使用して、専用のシステム管理ネットワークまたは共用ネットワークを使用するようにサーバーを構成できます。
- **USB 2.0 コネクタ:** USB マウス、キーボード、またはその他のデバイスなど、USB デバイスは、これらのコネクタのいずれかに接続します。
- **ビデオ・コネクタ:** モニターをこのコネクタに接続します。サーバーの前面および背面のビデオ・コネクタは同時に使用することができます。

注：最大ビデオ解像度は、75 Hz で 1600 x 1200 です。

次の図は、標準 I/O ブック・ボードを示しています。



サーバーの標準 I/O ブック・ボードは、以下のスロット、コネクタ、および統合された機能を提供します。

- Integrated Management Module v.2 (IMM2)

- リアルタイム管理モジュール (RTMM)
- 1 個の ML アダプター・スロット
- 3 個の PCIe Gen3 スロット (1 秒当たり 8 ギガ転送 (GT/秒))
- 5 個の USB 2.0 コネクタ
 - ハイパーバイザーのフラッシュ USB デバイス用の 1 個の内部 USB 2.0 コネクタ
 - 4 個の背面 USB 2.0 コネクタ
- 2 個の Trusted Platform Module (TPM)

標準 I/O ブックは、コンピュータ・ブック 1 およびコンピュータ・ブック 2 に接続されます。標準 I/O ブックの PCIe バスもコンピュータ・ブック 1 および 2 に接続されます。

ハーフサイズ I/O ブック

ここでは、ハーフサイズ I/O ブック の概要について説明しています。

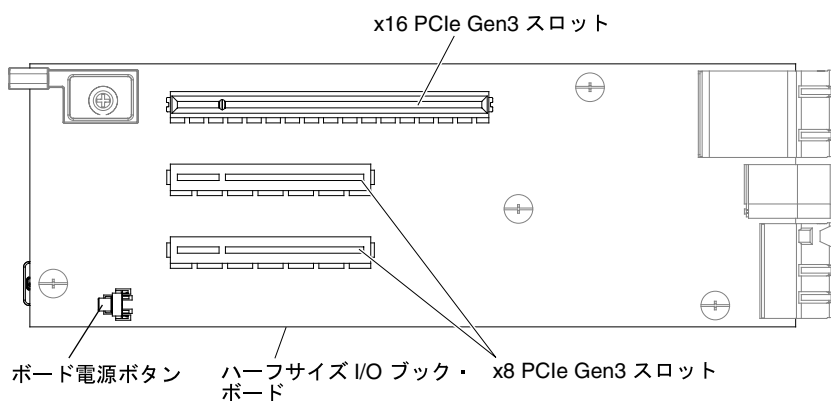
ハーフサイズ I/O ブックは、サーバーの背面に取り付けます。サーバーは、この I/O ブック内の PCIe アダプターのホット・アドまたはホット・リムーブを並行して行う機能を提供します。

注：ハーフサイズ I/O ブックのホット・プラグの機能は、オペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムが PCIe のホット・プラグをサポートしていない場合、ハーフサイズ I/O ブックの追加または取り外しを行うと、リカバリー不能なシステム・エラーが発生する可能性があります。

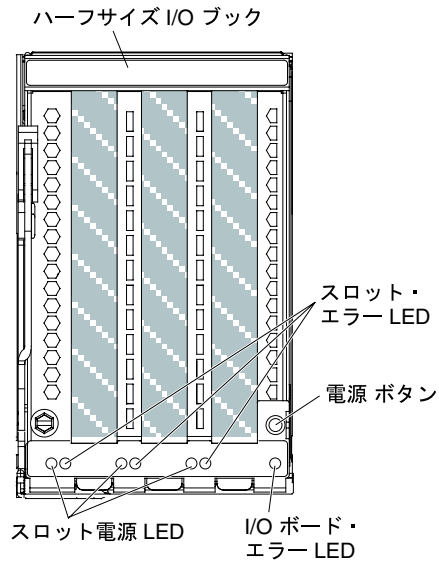
ハーフサイズ I/O ブックは、ハーフサイズ・アダプター用に 3 個の PCIe Gen3 スロットを提供します。I/O ブックは、以下のスロットを提供します。

- 3 個の PCIe Gen3 スロット
 - 2 個の x8 スロット
 - 1 個の x16 スロット

下図は、ハーフサイズ I/O ブックのボード上の PCIe スロットを示しています。



次の図は、ハーフサイズ I/O ブック 上のコネクタ、LED、およびコントロールを示しています。



- **スロット・エラー LED:** スロット・エラー LED の状態は次のとおりです。
 - オフ: スロットまたはアダプターは正常に稼働しています。
 - オン: スロット・エラーが発生しました。
- **スロット電源 LED:** 電源 LED の状態は次のとおりです。
 - オフ: スロットへの入力電源は存在しません。
 - オン: スロットへの電源は存在します。3 個のスロットのすべての電源 LED がオフになるまで、I/O ブックをサーバーから取り外すことはできません。
 - 明滅: スロットの電源オンまたは電源オフが進行中です。ハーフサイズ I/O ブックをサーバーから取り外さないでください。
- **電源ボタン:** I/O ブックの PCIe スロットの電源をオフまたはオンにするために、このボタンを押します。スロットの電源 LED のすべてがオンまたはオフになる (明滅しなくなる) まで、各スロットの電源 LED は明滅します。

この I/O ブックの取り付け時に考慮する必要がある注意や情報と、サーバーへの取り付け手順については、[86 ページの「ハーフサイズ I/O ブックの取り付け」](#)を参照してください。

フルサイズ I/O ブック

ここでは、フルサイズ I/O ブック の概要を示します。

フルサイズ I/O ブックは、サーバーの背面に取り付けます。サーバーは、I/O ブック内の PCIe アダプターのホット・アドまたはホット・リムーブを並行して行う機能を提供します。

注：

- フルサイズ I/O ブックのホット・アドを行う機能は、オペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムがホット・プラグをサポートしていない場合、フルサイズ I/O ブックの追加または取り外しを行うと、リカバリー不能なシステム・エラーが発生する可能性があります。**注意:**
 - オペレーティング・システムのブート時、またはオペレーティング・システムがまだ実行されているときに、I/O ベイにフルサイズ I/O ブックが取り付けられていない場合、(リソース不足のために) I/O ベイへのフルサイズ I/O ブックのホット・アドを行うことはできません。
 - オペレーティング・システムのブート時に I/O ベイにフルサイズ I/O ブックが取り付けられている場合は、フルサイズ I/O ブックをホット・スワップすることができます。

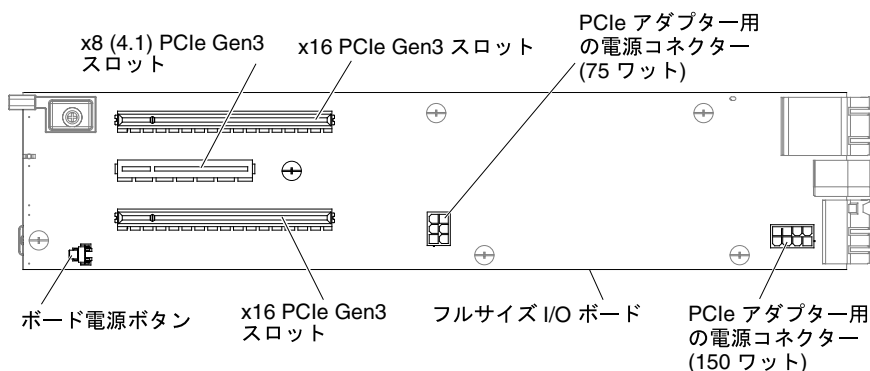
- このI/O ブックは、ハーフサイズ、フルハイトおよびフルサイズ、フルハイトの両方の PCIe Gen3 および Gen2 のアダプターをサポートします。
- このI/O ブックには、2 個の PCIe 補助電源コネクタ (75W の追加電源用の 6 ピン 1 個と 150W の追加電源用の 8 ピン 1 個) があります。
- このI/O ブックのいずれかの x16 スロットにダブル幅のアダプターを取り付けると、I/O ブックで使用できる電力が限られるため、x8 スロットを使用できなくなります。また、もう 1 個の x16 スロットを使用できなくなる可能性があります。

オプションのフルサイズ I/O ブックは、フルサイズ・アダプターおよびロー・プロファイル・アダプター用の 3 個の PCIe Gen3 および Gen2 のスロットを提供します。このI/O ブックは、以下のスロットを提供します。

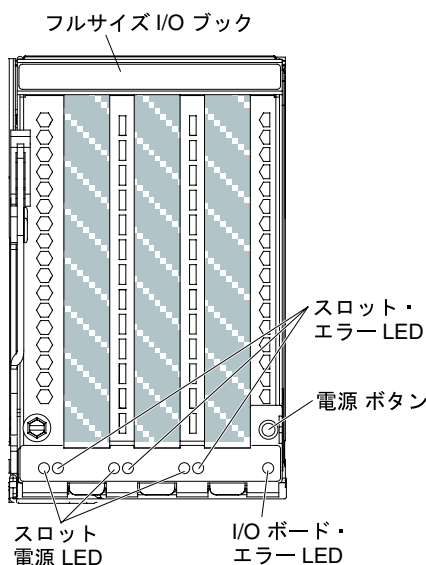
注：フルサイズ I/O ブックは、フルサイズ・アダプターをサポートするために、サーバー・シャーシの基本の長さの寸法を機械的に 3 インチ延長します。

- 3 個の PCIe スロット
 - 2 個の PCIe Gen3 x16 スロット
 - 1 個の PCIe Gen2 x8 (4, 1) スロット

下図は、フルサイズ I/O ブックのボード上の PCIe スロットを示しています。



次の図は、フルサイズ I/O ブック上のコネクタ、LED、およびコントロールを示しています。



- **スロット・エラー LED:** スロット・エラー LED の状態は次のとおりです。
 - オフ: スロットまたはアダプターは正常に稼働しています。
 - オン: スロット・エラーが発生しました。
- **スロット電源 LED:** 電源 LED の状態は次のとおりです。
 - オフ: スロットへの入力電源は存在しません。
 - オン: スロットへの電源は存在します。3 個のアダプター・スロットのすべての電源 LED がオフになるまで、I/O ブックをサーバーから取り外すことはできません。
 - 明滅: スロットの電源オンまたは電源オフが進行中です。I/O ブックをサーバーから取り外さないでください。
- **電源ボタン:** フルサイズ I/O ブックの PCIe スロットの電源をオフまたはオンにするために、このボタンを押します。スロットの電源 LED のすべてがオンまたはオフになる (明滅しなくなる) まで、各スロットの電源 LED は明滅します。

この I/O ブックの取り付け時に考慮する必要がある注意や情報と、サーバーへの取り付け手順については、[88 ページの「フルサイズ I/O ブックの取り付け」](#)を参照してください。

電源

サーバーがサポートするタイプの電源モジュールの概要については、この情報を参照してください。

サーバーは、最大4つの900ワットAC電源、1400ワットAC電源、または750ワット-48ボルトDC電源をサポートします。サポートされている電源、および電源の取り付け手順に関する詳細については、[108ページの「電源の取り付け」](#)、[114ページの「1400ワットまたは900ワットのホット・スワップ電源の取り付け」](#)、および[110ページの「750ワット、-48ボルトから-60ボルトのDC電源の取り付け」](#)を参照してください。

以下の注記には、このサーバーがサポートする電源のタイプと、電源の取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

注：

- 出荷時のサーバーのデフォルト電源構成は、ACとDCの両方の電源モデルでスロットルが有効になった非冗長モードです。このモードを冗長モードに変更したい場合は、IMM2 Web インターフェースを使用して、電源の電源ポリシーとシステム電源構成オプションの設定および変更を行う必要があります。IMM2 Web インターフェース、CIM、または Advanced Settings Utility を使用して、ポリシーおよび構成を設定および変更することができます。UEFI Setup Utility を使用して電源ポリシーまたはシステム電源構成オプションの設定も変更も行うことはできません。詳しくは、[147ページの「電源の電源ポリシーとシステム電源構成の設定」](#)を参照してください。
- サーバー内でAC電源とDC電源を混用することはできません。
- サーバーは、220V ACと110V ACの両方でAC電源構成をサポートします。
- 電源ベイは2つの電源ドメインに分けられています。電源ベイ1と3は電源ドメインA、電源ベイ2と4は電源ドメインBにあります。
- 750ワット-48ボルトDC電源と900ワット電源を取り付ける場合は、電源スパーサーを使用する必要があります。

電源モジュールには以下のLEDがあります。

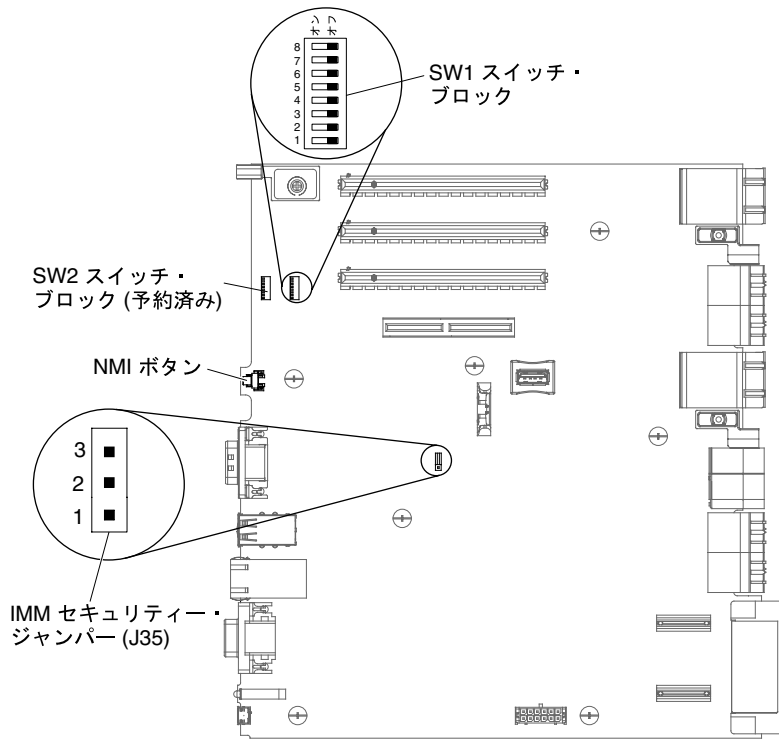
- **AC電源LED:** 各ホット・スワップ電源にはAC電源LEDとDC電源LEDがあります。AC電源LEDが点灯している場合、電源コードを介して十分な電力が電源に供給されていることを示します。通常の動作時には、ACとDCの両方の電源LEDが点灯します。その他のLEDの組み合わせについては、[170ページの「電源LED」](#)を参照してください。
- **DC電源LED:** 各ホット・スワップ電源には、DC電源LEDとAC電源LEDが備わっています。DC電源LEDが点灯している場合は、電源がシステムに対して十分なDC電源を供給していることを示します。通常の動作時には、ACとDCの両方の電源LEDが点灯します。その他のLEDの組み合わせについては、[170ページの「電源LED」](#)を参照してください。
- **電源エラーLED:** この黄色のLEDが点灯している場合、電源エラーが発生したことを示しています。

標準 I/O ブック・ボード上のジャンパー、スイッチ、およびボタン

このトピックでは、標準 I/O ブック・ボード上のジャンパー、スイッチ、およびボタンに関する位置と情報を記載します。

次の図は、サーバー上のスイッチ、ジャンパー、およびボタンの位置を示しています。

注：スイッチ・ブロックの上に透明な保護ステッカーが張られている場合、スイッチにアクセスするためにステッカーを取り除いて廃棄する必要があります。



以下の表は、標準 I/O ブックのボード上のジャンパーについて説明しています。

表 2. 標準 I/O ブック・ジャンパー

ジャンパー番号	ジャンパー名	ジャンパーの設定
J35	IMM セキュリティー・ジャンパー	<ul style="list-style-type: none"> ピン1 および 2: セキュリティー検査を排除し、未署名の IMM ファームウェアを許可します。 ピン2 および 3: (デフォルト) 署名付き IMM ファームウェアのみのフラッシュを許可します。
注: ジャンパーがない場合、サーバーはピンがデフォルトに設定されているものとして対応します。		

以下の表は、標準 I/O ブックのボード上にある SW1 スイッチ・ブロックについて説明しています。

表 3. 標準 I/O ブックのボードの SW1 スイッチ・ブロックの説明

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
1	オフ	<p>始動パスワードのオーバーライド。このスイッチの位置を変更すると、次回にサーバーの電源を入れたときに始動パスワード検査をバイパスして、Setup Utility を開始するため、始動パスワードを変更または削除できるようになります。始動パスワードのオーバーライド後に、スイッチをデフォルト位置に戻す必要はありません。</p> <p>管理者パスワードが設定されている場合、このスイッチの位置を変更しても管理者パスワード検査に影響を及ぼすことはありません。</p>

表 3. 標準 I/O ブックのボードの SW1 スイッチ・ブロックの説明 (続き)

スイッチ番号	デフォルトの位置	説明
		パスワードに関する追加情報については、137 ページの「パスワード」を参照してください。
2	オフ	予約済み
3	オフ	予約済み
4	オフ	予約済み
5	オフ	予約済み
6	オフ	予約済み
7	オフ	UEFI バックアップ・バンクを強制します。スイッチの位置を ON に変更すると、システムはバックアップ UEFI バンクから強制的にブートします。

重要:

1. スイッチの設定を変更する、あるいはジャンパーを移動する前には、サーバーの電源をオフにしてください。次に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。v ページの「安全について」、48 ページの「取り付け作業上の注意事項」、50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」、および 45 ページの「サーバーの電源をオフにする」に記載されている情報を確認します。
2. 標準 I/O ブックのボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックのうち、本書の図に示されていないものは予約済みです。

次の表は、標準 I/O ブックのボード上にあるボタンの機能について説明しています。

表 4. 標準 I/O ブック・サーバー上のボタン

ボタン名	機能
NMI ボタン	このボタンは標準 I/O ブックサーバーの背面にあります。このボタンを押すと、マイクロプロセッサにマスク不能割り込みを強制します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。また、このボタンを使用して、ブルー・スクリーン・メモリー・ダンプを強制することも可能です (このボタンは、Lenovo サポートから指示があった場合のみ使用してください)。

サーバーの電源機能

このトピックでは、サーバーの電源機能の概要について説明します。

サーバーが適切な入力電源に接続されているがオンになっていない場合、オペレーティング・システムは実行されず、サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) を除くすべてのコア・ロジックがシャットダウンされています。ただし、サーバーはサービス・プロセッサへの要求 (サーバーをオンにするリモート要求など) には応答できます。電源オン LED は点滅し、サーバーが入力電源に接続されているがオンになっていないことを示します。

サーバーの電源をオンにする

このトピックでは、サーバーの始動について説明します。

サーバーが入力電力に接続されてから約5秒すると、1つ以上のファンが稼働し始め、電源オンLEDが高速で点滅します。電源オン・ボタンがアクティブになった後、電源オンLEDは1秒間に1回点滅します。電源オン・ボタンを押すことにより、サーバーの電源をオンにできます。

サーバーの電源がオンのときにシステムの電源に障害が発生した場合、電源が復元するとサーバーは自動的に再起動します。

注：サーバーの Setup ユーティリティでこの機能を無効にする (132 ページの「[Setup Utility の使用](#)」を参照) には、「System Settings」→「Integrated Management Module」→「Power Restore Policy」の順に選択してください。

サーバーの電源をオフにする

このトピックでは、サーバーの電源オフについて説明します。

サーバーの電源をオフにしても、入力電力に接続したままにしておくと、リモートからのサーバー電源オン要求など、サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) に対する要求にサーバーが応答することができます。サーバーが入力電力に接続されたままになっていると、1つ以上のファンが回転を続けることがあります。サーバーからすべての電源を切るには、電気コンセントから電源コードを抜く必要があります。

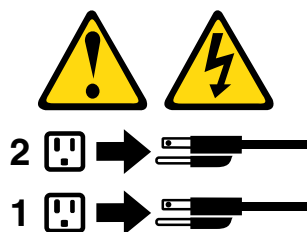
オペレーティング・システムによっては、サーバーの電源をオフにする前に正常シャットダウンが必要です。オペレーティング・システムのシャットダウンについては、オペレーティング・システムの資料を参照してください。

安全 5



警告：

デバイスの電源制御ボタンは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



次のいずれの方法でも、サーバーの電源をオフにすることができます。

- オペレーティング・システムからサーバーの電源をオフにできます (オペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合)。オペレーティング・システムが正常シャットダウンをすると、サーバーは自動的にオフになります。
- 電源オン・ボタンを押すと、オペレーティング・システムが正常にシャットダウンしてからサーバーの電源がオフになります (オペレーティング・システムがこの機能をサポートしている場合)。
- オペレーティング・システムの機能が停止した場合は、電源オン・ボタンを4秒を超えて押し続けると、サーバーをオフにできます。

- Integrated Management Module (IMM) は、クリティカルなシステム障害に対する自動応答として、サーバーをオフにすることができます。

x3950 X6 4 ソケットから 8 ソケットへのアップグレード・キット

このトピックでは、x3950 X6 アップグレード・キットの取り付けについて説明します。

オプションの x3950 X6 4 ソケットから 8 ソケットへのアップグレード・キットには、4 ソケット (x3850 X6) システムを 8 ソケット (x3950 X6) システムにアップグレードするために必要な基本ハードウェアのみが含まれています。その他のオプションはすべて、アップグレード・オプション (電源、コンピュータ・ブック、ストレージ・デバイス、ストレージ・コントローラー、メモリーなど) に追加して注文する必要があります。システムの部品の詳細については、[211 ページの「交換可能なサーバー・コンポーネント」](#)を参照してください。

注：4 ソケットから 8 ソケットへのサーバーのアップグレードは、Lenovo 認定サービス技術員が行う必要があります。

第 2 章 オプションのデバイスの取り付け

注：特に指定がない限り、本書に記載されている情報と手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を使用しています。

ここでは、オプションのハードウェア・デバイスをサーバーに取り付ける詳細な手順について説明しています。

この章で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、ビジネス・パートナーは [47 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」](#) の手順も完了する必要があります。

重要: 取り付けるデバイスが正しく作動し、問題が発生しないことを確認するために、以下の予防措置に従ってください。

1. オプションのハードウェア・デバイスを取り付けの前に、サーバーが正しく作動していることを確認してください。サーバーを始動し、オペレーティング・システムがインストール済みのときはオペレーティング・システムを開始することを確認してください。あるいは、オペレーティング・システムがインストールされていない場合は、オペレーティング・システムはインストールされていないがサーバーは正常に作動していることを示すエラー・コード 19990305 が表示されることを確認してください。サーバーが正常に作動しない場合は、[178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」](#)に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
2. サーバーおよびインストール済みのファームウェア・レベルが、取り付けるデバイスをサポートしていることを確認します。必要に応じて、UEFI および IMM ファームウェア、標準 I/O ブックのボードに格納されているその他のファームウェアを更新します。サーバー内でファームウェアが格納されている場所については、[127 ページの「ファームウェアの更新」](#)を参照してください。サーバーでサポートされているオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

注意: 誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

3. ベスト・プラクティスを使用して、サーバーおよびオプションのデバイスに現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用します。追加のヒントは、以下のサイトから入手可能です。
 - Lenovo サポート: <http://www.lenovo.com/support>
 - System x 構成ツール: [http://shop.lenovo.com/us/en/systems/server-library/#comboFilters\[category\]=Tools](http://shop.lenovo.com/us/en/systems/server-library/#comboFilters[category]=Tools)
4. 取り付け手順に従い、正しいツールを使用してください。誤って取り付けられたデバイスは、ソケットやコネクターのピンの損傷、配線の緩み、あるいはコンポーネントの緩みによって、システム障害の原因となる可能性があります。

ビジネス・パートナー用の手順

このトピックでは、ビジネス・パートナー用の追加の手順について説明します。

本書で説明するオプションのハードウェア・デバイスの取り付け、ファームウェアおよびデバイス・ドライバーの更新、取り付けの完了に関する手順に加えて、ビジネス・パートナーは以下の手順も完了する必要があります。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

1. サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認した後、Lenovo Dynamic System Analysis (DSA) ストレス・テストを実行します。DSA の使用については、[176 ページの「Dynamic System Analysis プログラム」](#)を参照してください。
2. サーバーを複数回シャットダウンおよび再起動し、サーバーが正しく構成され、新しく取り付けたデバイスが正しく機能していることを確認します。
3. DSA ログをファイルとして保存し、そのファイルを Lenovo に送信します。データおよびログの転送については、[48 ページの「DSA データの送信方法」](#)を参照してください。
4. サーバーを出荷する場合は、損傷を受けていないオリジナルの配送用資材で再梱包し、Lenovo の配送手順に従ってください。

ビジネス・パートナー用のサポート情報は、<http://www.ibm.com/partnerworld> で入手できます。

DSA データの送信方法

このトピックでは、DSA 診断データを Lenovo に送信する方法について説明します。

注：この資料には、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、Lenovo System x 製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

診断データを Lenovo に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれかの方式を使用して、診断データを Lenovo に送信することができます。

- 標準アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード: https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

取り付け作業上の注意事項

サーバーの取り付けと、サーバーへのデバイスの取り付けを行う際に従う必要があるガイドラインを理解するには、この情報を使用してください。

注意：サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、システムが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないように、ホット・スワップ・デバイスの取り外しまたは取り付けを行うときは、静電気放電用のリスト・ストラップを使用し、それをサーバーの前面にある静電気放電コネクタ (ビデオ・コネクタの近く) に差し込むか、その他の接地システムを使用してください。

オプションのデバイスを取り付ける前に、以下の情報をお読みください。

- 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」](#)のガイドラインをお読みください。この情報は、安全に取り扱うために役立ちます。
- 取り付けるデバイスがサポートされていることを検証します。このサーバーでサポートされているオプションのデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

- オプションのハードウェアを取り付ける場合は、サーバーが正しく作動していることを確認してから取り付けてください。サーバーを始動した後、オペレーティング・システムがインストール済みの場合はオペレーティング・システムが始動すること、またはPOSTを通じてブートすることを確認します。サーバーが正常に作動しない場合は、178 ページの「[DSA Preboot 診断プログラムの実行](#)」に記載の診断の実行方法についての情報を参照してください。
- 新規のサーバーを取り付ける場合は、最新のファームウェア更新をダウンロードし、適用してください。この手順を行うことにより既知の問題に対応し、ご使用のサーバーが最高レベルのパフォーマンスで機能できるように準備します。サーバーのファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral>に進みます。
重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
 ファームウェアの更新、管理、およびデプロイ用のツールに関する追加情報については、Lenovo x86 サーバー Web サイトの ToolsCenter (<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-BOMC>) を参照してください。
- 作業を行う区域の整理整頓を心掛けてください。取り外した部品は安全な場所に置いてください。
- 自分 1 人では重すぎると思われる物体を持ち上げようとしないでください。重い物体を持ち上げる必要がある場合は、以下の予防措置に従ってください。
 - 足元が安全で、滑るおそれがないことを確認します。
 - 足の間でオブジェクトの重量が同量になるよう分散します。
 - ゆっくりと力を入れて持ち上げます。重い物体を持ち上げるときは、決して身体を急に動かしたり、ひねったりしないでください。
 - 背筋を痛めないよう、脚の筋肉を使用して立ち上がるか、押し上げるようにして持ち上げます。
- サーバー、モニター、およびその他のデバイス用に、適切に接地されたコンセントの数量が十分にあることを確認してください。
- ディスク・ドライブを変更する場合は重要なデータをすべてバックアップします。
- ヒートシンクに使用できるプラス・ドライバーを用意してください。
- ホット・スワップ電源、ホット・スワップ・ファン、またはホット・プラグ USB デバイスを取り付けたり、交換するのに、サーバーの電源をオフにする必要はありません。ただし、アダプター・ケーブルの取り付けや取り外しを含むステップを実行する場合は、その前にサーバーの電源を切る必要があります。
- コンポーネント上の青色は、コンポーネントをサーバーから取り外したり、取り付けたり、あるいはラッチの開閉などを行う際につかむことができるタッチ・ポイントを示します。
- コンポーネント上のオレンジ色の表示、またはコンポーネント上やその付近にあるオレンジ色のラベルは、そのコンポーネントがホット・スワップ可能であることを示しています。ホット・スワップが可能な場合、サーバーとオペレーティング・システムがホット・スワップ機能をサポートしていれば、サーバーの稼働中でもそのコンポーネントの取り外しや取り付けが行えます。(オレンジのラベルは、ホット・スワップ・コンポーネントのタッチ・ポイントも示しています。)特定のホット・スワップ・コンポーネントの取り外しまたは取り付けを行う前に、そのコンポーネントの取り外しまたは取り付けに関して行う可能性があるすべての追加指示を参照してください。
- サーバーでの作業が終わったら、すべての安全シールド、ガード、ラベル、および接地ワイヤーを再取り付けします。

システムの信頼性に関するガイドライン

システムの冷却とシステムの信頼性の要件が満たされていることを確実にするのに必要な項目を理解するには、この情報を使用してください。

システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- 各ドライブ・ベイに、ドライブまたはフィラー・パネルと電磁適合性 (EMC) シールドが取り付けられていること。
- それぞれの電源ベイに電源またはフィラーが取り付けられていること。
- サーバー冷却システムが正しく機能できるように、サーバーの回りに十分なスペースを確保してあること。約 50 mm の空きスペースをサーバーの前面および背面の周囲に確保してください。ファンの前には物を置かないでください。冷却と通気を確保するため、サーバーの電源を入れる前にサーバー・カバーを元の位置に戻してください。
- オプションのアダプターに付属する配線手順に従っていること。
- ホット・スワップ・ファンを、取り外してから 30 秒以内に交換していること。
- ホット・スワップ・ドライブは、取り外してから 2 分以内に元どおりに取り付けること。
- 障害のあるホット・スワップ電源は、取り外してから 2 分以内に置き換えること。
- エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを作動させていないこと。エアー・バッフルを取り付けずにサーバーを動作させると、デバイスがオーバーヒートする原因となる場合があります。

静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い

サーバーやその他の電子デバイスが静電気による損傷を受けないようにするには、この情報を使用してください。

注意：静電気は、サーバーやその他の電子デバイスを損傷します。損傷を避けるために、静電気の影響を受けやすいデバイスは、取り付けの準備ができるまで帯電防止パッケージに入れておいてください。

静電気の放電による損傷のおそれを減らすために、次の注意事項を守ってください。

- 動きを制限してください。動くとき、周囲に静電気が蓄積されることがあります。
- デバイスは、端またはフレームを持って慎重に取り扱ってください。
- はんだの接合部、ピン、または露出した回路には触れないでください。
- 他の人が手で触ったり、デバイスに損傷を与える可能性のある場所に放置しないでください。
- 部品を帯電防止パッケージに入れたまま、サーバーの外側の塗装されていない金属面に 2 秒以上接触させてください。これにより、パッケージとご自分の身体から静電気が排出されます。
- 部品をそのパッケージから取り出して、それを下に置かずに直接サーバーに取り付けてください。デバイスを下に置く必要がある場合は、その帯電防止パッケージに入れます。部品をサーバーのカバーや金属面の上には置かないでください。
- 寒い季節には、デバイスの取り扱いに特に注意してください。暖房で室内の湿度が下がり、静電気が増えるからです。

メモリー・モジュールの取り付け

ここでは、サーバーがサポートする DIMM のタイプと、サーバーに DIMM を取り付けの際に考慮すべきその他の情報について説明します。

ここには、サーバーがサポートするデュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) のタイプの説明と、DIMM を取り付けるときに考慮すべき事項が記載されています (DIMM コネクタの位置については、33 ページの「[コンピュータ・ブック](#)」を参照)。

注：特に指定がない限り、本書に記載されている情報とインストール手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を示します。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認します (<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照)。

- DIMM を取り付けまたは取り外すと、サーバー構成情報が変更されます。サーバーを再起動すると、システムにより、メモリー構成が変更されたことを示すメッセージが表示されます。サーバー構成情報の表示は、Setup ユーティリティを使用して行うことができます。詳しくは、[132 ページの「Setup Utility の使用」](#)を参照してください。
 - DDR3 コンピュート・ブックを備えたサーバー・モデルは、最大 96 個の業界標準 PC3-12800R 1600 MHz、PC3L-12800 1600 MHz、または PC3L-10600 1333 MHz Load Reduced (LR)、single-rank、dual-rank、または quad-rank、DDR3 (第 3 世代 double-data-rate)、registered SDRAM (synchronous DRAM) DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。
 - DDR4 コンピュート・ブックを備えたサーバー・モデルは、最大 96 個の業界標準 PC4-17000 2400 MHz、single rank x4、dual rank x4、quad rank x4、single rank x8、dual rank x8、および quad rank x8 RDIMM 構成、DDR4 (第 4 世代 double-data-rate)、registered SDRAM (synchronous DRAM) DIMM に対するエラー修正コード (ECC) をサポートします。
 - サーバーは 200 GB および 400 GB の eXFlash DIMM もサポートします。未使用の DIMM スロットを利用して eXFlash DIMM を使用すると、ハイパフォーマンス・ストレージ機能を高めることができます。eXFlash DIMM は、ブロック・ストレージまたはストレージ・キャッシュとして使用できます。eXFlash DIMM の取り付けおよび要件に関する追加情報については、[54 ページの「eXFlash DIMM」](#)を参照してください。サポートされる eXFlash DIMM の詳細については、[53 ページの表 7「サポートされる eXFlash DDR3 DIMM」](#)を参照してください。
 - eXFlash DIMM の取り外しや取り付けを行う際には、サーバー内の他の DIMM の取り外しや取り付けを行うときと同じ取り付け手順を使用します。
 - 容量の多い (ランク付けした) DIMM を最初に取り付ける必要があります。該当するモードの装着順序に従ってください。
 - サーバーは、DDR3 または DDR4 チャンネルあたり最大 8 つのランク (octal-rank) をサポートします。
- 注：ランクの増大により、LR-DIMM がチャンネルあたり 8 ランクを超える可能性があります。
- 同じサーバー内で RDIMM と LR-DIMM を混用しないでください。
 - このサーバーは以下の DDR3 DIMM をサポートします。

表 5. サポートされる DDR3 DIMM

容量	密度	ランク	組織	フォーム・ファクター	電圧	タイプ	帯域幅 (MHz)
4 GB	2 Gb	1R	512Mb x4	ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz
8 GB	4 Gb	1R	1024Mb x4	ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz
16 GB	4 Gb	2R	1024Mb x4	ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz
32 GB	4 Gb	4R	1024Mb x4	ロー・プロファイル	1.35V	LR-DIMM	1600 MHz
64 GB	4 Gb	8R	1024Mb x4	ロー・プロファイル	1.35V	LR-DIMM	1333 MHz

- このサーバーは以下の DDR4 DIMM をサポートします。

表 6. サポートされる DDR4 DIMM

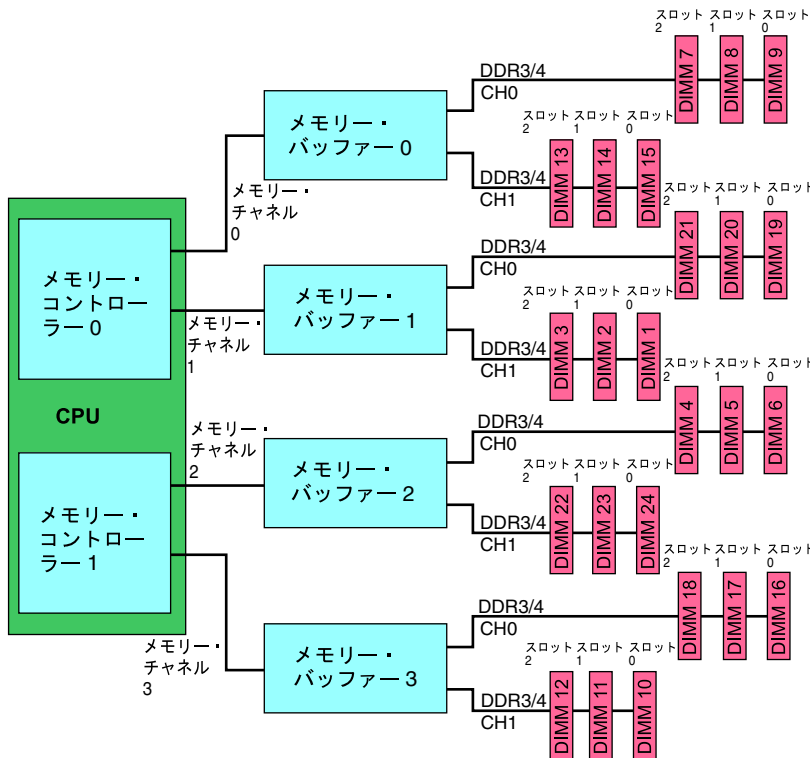
容量	密度	ランク	組織	フォーム・ファクター	電圧	タイプ	帯域幅 (MHz)
8 GB	4 Gb	1R	1024Mb x4	ロー・プロファイル	1.2 V	RDIMM	2133 MHz
16 GB	4 Gb	2R	1024Mb x4	ロー・プロファイル	1.2 V	RDIMM	2133 MHz
32 GB	8 Gb	2R	2048Mb x4	ロー・プロファイル	1.2 V	RDIMM	2133 MHz
64 GB	8 Gb	4R	2048Mb x4	ロー・プロファイル	1.2 V	LR-DIMM	2133 MHz

- このサーバーは以下の eXFlash DDR3 DIMM をサポートします。

表 7. サポートされる eXFlash DDR3 DIMM

Storage	SDRAM 相当の容量	SDRAM 相当の密度	SDRAM 相当のランク	SDRAM 相当の編成	フォーム・ファクター	電圧	タイプ	帯域幅 (MHz)
200 GB eXFlash DIMM	8 GB	4 Gb	1R	1024Mb x 4	DDR3 ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz
400 GB eXFlash DIMM	8 GB	4 Gb	1R	1024Mb x4	DDR3 ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz

- DDR3 コンピュート・ブックを備えたサーバー・モデルは、Setup Utility のメモリー構成設定値に応じて、1.35 ボルト (低電圧) registered DIMM をサポートします。1.5 ボルトでも作動できます。
- DDR4 コンピュート・ブックを備えたサーバー・モデルは、Setup Utility のメモリー構成設定値に応じて、1.2 ボルト (低電圧) registered DIMM をサポートします。1.5 ボルトでも作動できます。
- 各コンピュート・ブックには、4つのメモリー・チャンネル、8つのDDR3またはDDR4チャンネル(メモリー・チャンネル当たり2つのDDR3またはDDR4チャンネル)があり、各DDR3またはDDR4チャンネルは3つのDIMMをサポートします(次の図を参照)。



- DIMM を交換すると、サーバーは DIMM の自動有効化機能を提供するため、Setup Utility を使用して新しい DIMM を手動で有効にする必要はありません。
- サーバーの最大作動速度は、サーバーに取り付けられた最も遅い DIMM により決まります。

- コンピュート・ブックごとに、少なくとも1つのDIMMを取り付ける必要があります。たとえば、サーバーに2つのコンピューターブックがある場合、少なくとも2つのDIMMを取り付ける必要があります(コンピューターブックごとに1つずつ)。サーバーに4つのコンピューターブックを取り付ける場合は、少なくとも4つのDIMMを取り付ける必要があります(コンピューターブックごとに1つずつのDIMM)。

注：

- コンピューターブック当たり1つのDIMMが取り付けられる場合、システムのパフォーマンスが低下する可能性があります。
- 最良のパフォーマンスを確保するために、コンピューターブックごとに4つのすべてのメモリー・チャンネル間で均等にDIMMを取り付けてください。
- サーバーは、独立メモリー・モードとロック・ステップ・メモリー・モードの2つの動作モードをサポートします。どちらのモードもメモリー・ミラーリングとメモリー・ランク・スペアリングをサポートします。メモリー・ミラーリングについての詳細は、[56 ページの「メモリー・ミラーリング」](#)を参照してください。メモリー・ランク・スペアリングについての詳細は、[57 ページの「メモリー・ランク・スペアリング」](#)を参照してください。
 - **独立メモリー・モード:** このモードが、最も効率の良いパフォーマンスを提供します。x4 SDRAM テクノロジーに対して、Single-Device Data Correction (SDDC) をサポートします。すべてのキャッシュ・ラインは、メモリー・コントローラーによって個々に処理されます。各DDR3またはDDR4チャンネルは、8x8バイトのデータ転送を提供します(チャンネルごとに64バイト・キャッシュ・ラインが提供されます)。独立メモリー・モードについての詳細は、[58 ページの「独立メモリー・モード」](#)を参照してください。
 - **ロック・ステップ・メモリー・モード:** このモードが、最良のメモリーRAS機能を提供します。x4 SDRAM テクノロジーに対して、Dual-Device Data Correction (DDDC) をサポートします。メモリー・コントローラーが、各メモリー・チャンネルで2つのDDR3またはDDR4チャンネル(チャンネル0とチャンネル1)にわたるすべてのキャッシュ・ラインを処理します。各DDR3またはDDR4チャンネルは、4x8バイトのデータ転送を提供します(チャンネル・ペアごとに64バイト・キャッシュ・ラインが提供されます)。ロック・ステップ・メモリー・モードについての詳細は、[62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」](#)を参照してください。

独立メモリー・モードの詳細およびDIMM装着順序については、[59 ページの「独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング」](#)および[60 ページの「独立モードでのメモリー・ランク・スペアリング」](#)を参照してください。ロック・ステップ・メモリー・モードの詳細およびDIMM装着順序については、[63 ページの「ロック・ステップ・モードでのメモリー・ミラーリング」](#)および[65 ページの「ロック・ステップ・モードでのメモリー・ランク・スペアリング」](#)を参照してください。

eXFlash DIMM

このトピックでは、eXFlash DIMM の取り付けおよび要件について説明します。

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーは、eXFlash™ DIMM をサポートします。サーバー上のソリッド・ステート・ドライブ・ストレージ用の未使用のDIMMスロットを利用して、eXFlash DIMM を使用できます。DIMM の取り付けについての詳細および注意については、[50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」](#)を参照してください。eXFlash DIMM は、独立メモリー・モードでのみサポートされています。独立メモリー・モードのDIMM取り付け順序の詳細については、[58 ページの「独立メモリー・モード」](#)を参照してください。eXFlash DIMM のDIMM取り付け順序は、独立モード(パフォーマンス)の取り付け順序に従います。

eXFlash DIMM を取り付け際には、以下の情報を考慮してください。

- eXFlash DIMM を使用するサーバーには、RDIMM が取り付けられている必要があります。サーバー内にすべてeXFlash DIMM を取り付けすることはできません。
- 最初にRDIMM を取り付けの必要があり、その後でeXFlash DIMM を取り付けることができます。

- eXFlash DIMM を取り付ける場合、取り付けられた DIMM の相互間に空の DIMM スロットを残してはなりません。
- 4 ソケット構成と 8 ソケット構成は両方とも、各 DDR3 または DDR4 チャンネルに 1 つの eXFlash DIMM を取り付けることができます。各コンピュート・ブックに、最大 8 個の eXFlash DIMM を取り付けることができます。サーバー内には、最大 32 個の eXFlash DIMM を取り付けることができます。8 ソケット構成のサーバーでは、eXFlash DIMM は下部ノードにのみ取り付けする必要があります。
- 同じサーバー内での LRDIMM と eXFlash DIMM の混用はサポートされません。
- eXFlash DIMM は、独立メモリー・モードでのみサポートされます。
- eXFlash DIMM は、ロック・ステップ・モード、メモリー・ミラーリング、およびメモリー・ランク・スペアリングではサポートされません。
- サポートされている eXFlash DIMM は、どの構成でもサーバーに取り付けることができます (最大 32 個まで)。
- サーバー内のすべての eXFlash DIMM に、同じレベルのファームウェアがインストールされている必要があります。
- eXFlash DIMM をサーバーに取り付ける場合、eXFlash DIMM がサポートする環境の情報については、6 ページの「サーバーの機能および仕様」セクションの「環境」を参照してください。
- Red Hat および SLES オペレーティング・システムに eXFlash DIMM を取り付ける場合は、サーバーがサポートするのは、Red Hat Enterprise Linux バージョン 6.5 以降および SUSE Linux Enterprise Server (SLES) バージョン 11 SP3 以降のオペレーティング・システムのみであることをことに注意してください。eXFlash DIMM の詳細については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?indocid=SERV-FLASHDM> にアクセスしてください。

サポートされている eXFlash DIMM の仕様を次の表に示します。

表 8. eXFlash DDR3 DIMM の仕様

Storage	SDRAM 相当の容量	SDRAM 相当の密度	SDRAM 相当のランク	SDRAM 相当の編成	フォーム・ファクター	電圧	タイプ	帯域幅 (MHz)
200 GB eXFlash DIMM	8 GB	4 Gb	1R	1024Mb x 4	DDR3 ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz
400 GB eXFlash DIMM	8 GB	4 Gb	1R	1024Mb x4	DDR3 ロー・プロファイル	1.35V	RDIMM	1600 MHz

eXFlash DIMM を取り付ける際には、次の表に示すように、ミラーリングが無効に設定された独立メモリー・モードの場合と同じ取り付け順序に従ってください。

表 9. 独立メモリー・モードの DIMM 装着順序

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になった独立モード	メモリー・ミラーリングが有効に設定された独立モード
1	DIMM コネクター 9	DIMM コネクター 9 および 19
2	DIMM コネクター 6	DIMM コネクター 6 および 16
3	DIMM コネクター 1	DIMM コネクター 1 および 15

表 9. 独立メモリー・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になった独立モード	メモリー・ミラーリングが有効に設定された独立モード
4	DIMM コネクタ 10	DIMM コネクタ 10 および 24
5	DIMM コネクタ 15	DIMM コネクタ 8 および 20
6	DIMM コネクタ 24	DIMM コネクタ 5 および 17
7	DIMM コネクタ 19	DIMM コネクタ 2 および 14
8	DIMM コネクタ 16	DIMM コネクタ 11 および 23
9	DIMM コネクタ 8	DIMM コネクタ 7 および 21
10	DIMM コネクタ 5	DIMM コネクタ 4 および 18
11	DIMM コネクタ 2	DIMM コネクタ 3 および 13
12	DIMM コネクタ 11	DIMM コネクタ 12 および 22
13	DIMM コネクタ 14	
14	DIMM コネクタ 23	
15	DIMM コネクタ 20	
16	DIMM コネクタ 17	
17	DIMM コネクタ 7	
18	DIMM コネクタ 4	
19	DIMM コネクタ 3	
20	DIMM コネクタ 12	
21	DIMM コネクタ 13	
22	DIMM コネクタ 22	
23	DIMM コネクタ 21	
24	DIMM コネクタ 18	

メモリー・ミラーリング

メモリー・ミラーリングの概要については、この情報を使用してください。

メモリー・ミラーリングは、コンピュータ・ブックと DDR3 または DDR4 チャンネルの 4 つのすべてのメモリー・チャンネル間で同時にデータを複製して、DIMM に保管します。障害が起こると、メモリー・コントローラーは、プライマリー・チャンネルの DIMM から、バックアップ・チャンネルの DIMM に切り替えます。Setup Utility を使ってメモリー・ミラーリングを有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」の順に選択します。詳しくは、132 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。DIMM の取り付けについての詳細情報および注意については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。メモリー・ミラーリングの詳細および DIMM 装着順序については、59 ページの「独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング」および 63 ページの「ロック・ステップ・モードでのメモリー・ミラーリング」を参照してください。

メモリー・ミラーリングは、独立モードとロック・ステップ・モードでサポートされます。

メモリー・ミラーリング機能を使用する際には、以下の情報を考慮してください。

- サーバーは単一ソケットのメモリー・ミラーリングをサポートします。コンピュータ・ブックのメモリー・チャンネル0はメモリー・チャンネル1をミラーリングし、メモリー・チャンネル2はメモリー・チャンネル3をミラーリングします。このミラーリングでは、メモリーの冗長性が確保されますが、合計メモリー容量が半分に減ります。
- メモリー・ミラーリング機能を使用する場合は、コンピュータ・ブックごとにDIMMをペアで取り付ける必要があります。
- メモリー・チャンネル0とメモリー・チャンネル1のDIMM装着は(サイズ、編成などが)同一でなければなりません。また、メモリー・チャンネル2とメモリー・チャンネル3のDIMM装着は同一でなければなりません。
- メモリー・ミラーリングにより、最大使用可能メモリーは取り付けられているメモリーの半分に減少します。たとえば、サーバーに64GBのメモリーが取り付けられている場合、メモリー・ミラーリングを有効にすると32GBのアドレス可能メモリーのみが有効です。

メモリー・ランク・スペアリング

ここでは、メモリー・ランク・スペアリングの概要について説明しています。

このサーバーは、メモリー・ランク・スペアリングをサポートします。DIMMに障害が発生した場合にフェイルオーバーを行うために、メモリー・ランク・スペアリングによってメモリー容量が予約されます。予約された容量は、使用可能メモリーの合計から減算されます。メモリー・スペアリングは、メモリー・ミラーリングと比較すると冗長性が低下します。訂正可能エラーが事前定義されたしきい値に達すると、障害が発生したDIMMの内容はスペア・メモリーにコピーされ、障害のあるDIMMまたはランクは無効にされます。

Setup Utility を使ってメモリー・スペアリングを有効にするには、「**System Settings**」→「**Memory**」→「**Memory Mode**」の順に選択します。DIMMの取り付けについての詳細情報および注意については、[50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」](#)を参照してください。メモリー・ランク・スペアリングの詳細およびDIMM装着順序については、[60 ページの「独立モードでのメモリー・ランク・スペアリング」](#)および[65 ページの「ロック・ステップ・モードでのメモリー・ランク・スペアリング」](#)を参照してください。

メモリー・スペアリングは、独立メモリー・モードとロック・ステップ・メモリー・モードの両方でサポートされます。

メモリー・ランク・スペアリングのDIMM取り付け順序は、選択した操作モードに基づいて、独立モード(パフォーマンス)またはロック・ステップ・モード(RAS)の取り付け順序に従います。詳しくは、[58 ページの「独立メモリー・モード」](#)、および[62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」](#)を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリング機能を使用する際、以下の情報を考慮してください。

- メモリー・ミラーリングが有効である場合、メモリー・ランク・スペアリングはサポートされません。
- スペア・ランクのメモリー容量は、同じDDR3またはDDR4チャンネル上のその他すべてのランクと同一、またはそれより大きくなければなりません。
- single-rank DIMM (すなわち、4GB および8GB) が使用される場合、メモリー・スペアリングをサポートするために、メモリー・チャンネル当たり少なくとも2つのランクDIMMを取り付ける必要があります。
- multi-rank DIMM (すなわち、16GB、32GB、および64GB) が使用される場合、メモリー・スペアリングをサポートするために、メモリー・チャンネル当たり1つのmulti-rank DIMMを取り付けることができます。
- システムで使用可能な合計メモリーは、スペア・ランク用に割り振られたメモリー量の分が減少します。

独立メモリー・モード

このトピックでは、独立メモリー・モードおよびDIMM取り付け順序について説明します。

独立メモリー・モードは、メモリー・ミラーリングとメモリー・ランク・スペアリングの機能をサポートしています。独立メモリー・モードを使用する場合は、次の情報を考慮してください。DIMMの取り付けについての詳細情報および注意については、50ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。DIMM装着順序の詳細については、59ページの「独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング」および60ページの「独立モードでのメモリー・ランク・スペアリング」を参照してください。

- 独立メモリー・モードは、最も効率的なパフォーマンスを提供します。
- DIMMを任意の順序で装着でき、一致させなければならない要件はありません。ただし、サポートされているメモリー・モードで作動する場合、以下の表のDIMM装着順序が最良のパフォーマンスを提供します。
- このモードで作動する場合、メモリー・チャンネルはDDR3の2倍のデータ転送速度で作動します。
- x4 SDRAMテクノロジーに対して、Single-device data correction (SDDC) がサポートされます。

次の表は、独立モードでの取り付け順序をリストしています。

表 10. 独立メモリー・モードのDIMM装着順序

DIMMの取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になった独立モード	メモリー・ミラーリングが有効に設定された独立モード
1	DIMMコネクタ9	DIMMコネクタ9および19
2	DIMMコネクタ6	DIMMコネクタ6および16
3	DIMMコネクタ1	DIMMコネクタ1および15
4	DIMMコネクタ10	DIMMコネクタ10および24
5	DIMMコネクタ15	DIMMコネクタ8および20
6	DIMMコネクタ24	DIMMコネクタ5および17
7	DIMMコネクタ19	DIMMコネクタ2および14
8	DIMMコネクタ16	DIMMコネクタ11および23
9	DIMMコネクタ8	DIMMコネクタ7および21
10	DIMMコネクタ5	DIMMコネクタ4および18
11	DIMMコネクタ2	DIMMコネクタ3および13
12	DIMMコネクタ11	DIMMコネクタ12および22
13	DIMMコネクタ14	
14	DIMMコネクタ23	
15	DIMMコネクタ20	
16	DIMMコネクタ17	
17	DIMMコネクタ7	
18	DIMMコネクタ4	
19	DIMMコネクタ3	
20	DIMMコネクタ12	
21	DIMMコネクタ13	
22	DIMMコネクタ22	

表 10. 独立メモリー・モードの DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になった独立モード	メモリー・ミラーリングが有効に設定された独立モード
23	DIMM コネクタ 21	
24	DIMM コネクタ 18	

独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング

このトピックでは、独立メモリー・モードにおけるメモリー・ミラーリング機能の使用について説明します。

Setup Utility を使って独立メモリー・モードでメモリー・ミラーリング機能を有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」の順に選択します。詳しくは、132 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。DIMM の取り付けについての詳細情報および注意は、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」および 58 ページの「独立メモリー・モード」を参照してください。

独立メモリー・モードでメモリー・ミラーリング機能を使用する場合は、以下の情報を検討してください。

- 独立メモリー・モードは、最も効率的なパフォーマンスを提供します。
- DIMM を任意の順序で装着でき、一致させなければならない要件はありません。ただし、サポートされているメモリー・モードで作動する場合、以下の表の DIMM 装着順序が最良のパフォーマンスを提供します。
- このモードで作動する場合、メモリー・チャンネルは DDR3 の 2 倍のデータ転送速度で作動します。
- x4 SDRAM テクノロジーに対して、Single-device data correction (SDDC) がサポートされます。

次の表は、独立モードでのメモリー・ミラーリングの取り付け順序をリストしています。

表 11. 独立メモリー・モードでメモリー・ミラーリングが有効または無効になっている DIMM 装着順序

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になった独立モード	メモリー・ミラーリングが有効に設定された独立モード
1	DIMM コネクタ 9	DIMM コネクタ 9 および 19
2	DIMM コネクタ 6	DIMM コネクタ 6 および 16
3	DIMM コネクタ 1	DIMM コネクタ 1 および 15
4	DIMM コネクタ 10	DIMM コネクタ 10 および 24
5	DIMM コネクタ 15	DIMM コネクタ 8 および 20
6	DIMM コネクタ 24	DIMM コネクタ 5 および 17
7	DIMM コネクタ 19	DIMM コネクタ 2 および 14
8	DIMM コネクタ 16	DIMM コネクタ 11 および 23
9	DIMM コネクタ 8	DIMM コネクタ 7 および 21
10	DIMM コネクタ 5	DIMM コネクタ 4 および 18
11	DIMM コネクタ 2	DIMM コネクタ 3 および 13
12	DIMM コネクタ 11	DIMM コネクタ 12 および 22
13	DIMM コネクタ 14	
14	DIMM コネクタ 23	

表 11. 独立メモリー・モードでメモリー・ミラーリングが有効または無効になっている DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になった独立モード	メモリー・ミラーリングが有効に設定された独立モード
15	DIMM コネクタ 20	
16	DIMM コネクタ 17	
17	DIMM コネクタ 7	
18	DIMM コネクタ 4	
19	DIMM コネクタ 3	
20	DIMM コネクタ 12	
21	DIMM コネクタ 13	
22	DIMM コネクタ 22	
23	DIMM コネクタ 21	
24	DIMM コネクタ 18	

独立モードでのメモリー・ランク・スペアリング

このトピックでは、独立メモリー・モードにおけるメモリー・ランク・スペアリング機能の使用について説明します。

このサーバーは、メモリー・ランク・スペアリングをサポートします。DIMM に障害が発生した場合にフェイルオーバーを行うために、メモリー・ランク・スペアリングによってメモリー容量が予約されます。予約された容量は、使用可能メモリーの合計から減算されます。メモリー・スペアリングは、メモリー・ミラーリングと比較すると冗長性が低下します。訂正可能エラーが事前定義されたしきい値に達すると、障害が発生した DIMM の内容はスペア・メモリーにコピーされ、障害のある DIMM またはランクは無効にされます。

メモリー・ランク・スペアリングの DIMM 取り付け順序は、選択した操作モードに基づいて、独立モード (パフォーマンス) またはロック・ステップ・モード (RAS) の取り付け順序に従います。

Setup Utility を使ってメモリー・ランク・スペアリングを有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」の順に選択します。詳しくは、[132 ページの「Setup Utility の使用」](#)を参照してください。DIMM の取り付けについての詳細情報および注意については、[50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」](#)を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリングの DIMM 取り付け順序は、選択した操作モードに基づいて、独立モード (パフォーマンス) またはロック・ステップ・モード (RAS) の取り付け順序に従います。詳しくは、[58 ページの「独立メモリー・モード」](#)、および [62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」](#)を参照してください。

独立メモリー・モードでメモリー・ランク・スペアリング機能を使用する場合は、以下の情報を検討してください。

- メモリー・ミラーリングが有効である場合、メモリー・ランク・スペアリングはサポートされません。
- スペア・ランクのメモリー容量は、同じ DDR3 または DDR4 チャンネル上のその他すべてのランクと同一、またはそれより大きくなければなりません。
- single-rank DIMM (すなわち、4 GB および 8 GB) が使用される場合、メモリー・スペアリングをサポートするために、メモリー・チャンネル当たり少なくとも 2 つのランク DIMM を取り付ける必要があります。

- multi-rank DIMM (すなわち、16 GB、32 GB、および 64 GB) が使用される場合、メモリー・スペアリングをサポートするために、メモリー・チャンネル当たり 1 つの multi-rank DIMM を取り付けることができます。
- システムで使用可能な合計メモリーは、スペア・ランク用に割り振られたメモリー量の分が減少します。

ロック・ステップ・メモリー・モード

このトピックでは、ロック・ステップ・メモリー・モードおよびDIMM 装着順序について説明します。

ロック・ステップ・メモリー・モードは、メモリー・ミラーリング機能とメモリー・ランク・スペアリング機能をサポートします。ロック・ステップ・メモリー・モードを使用する場合は、以下の情報を検討してください。

- ロック・ステップ・メモリー・モードが、最良のメモリー RAS 機能を提供します。
- DIMM は、DDR3 または DDR4 チャンネル間で交互に、ペアでメモリー・チャンネル全体に (各メモリー・チャンネルに 2 つの DIMM) 取り付けする必要があります。
- DDR3 または DDR4 チャンネル内の DIMM の各ペアには、同一の DIMM が装着されなければなりません。すなわち、これらの DIMM は、サイズ、編成などが同一でなければなりません。たとえば、スロット 9 (DDR3 または DDR4 チャンネル 0) および 15 (DDR3 チャンネル 1) 内の DIMM は同一でなければなりません。
- メモリー・チャンネルは、DDR3 または DDR4 チャンネル転送速度で作動します。
- ロック・ステップ・メモリー・モードで取り付けられたメモリーの量が、使用できるメモリー量です。

ロック・ステップ・メモリー・モードの DIMM 装着順序の詳細については、63 ページの「[ロック・ステップ・モードでのメモリー・ミラーリング](#)」および 65 ページの「[ロック・ステップ・モードでのメモリー・ランク・スペアリング](#)」を参照してください。DIMM の取り付けについての詳細情報および注意については、50 ページの「[メモリー・モジュールの取り付け](#)」を参照してください。

次の表は、ロック・ステップ・メモリー・モードでの DIMM 取り付け順序をリストしています。

表 12. ロック・ステップ・メモリー・モードの DIMM 装着順序

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になったロック・ステップ・モード	メモリー・ミラーリングが有効になったロック・ステップ・モード
1	DIMM コネクタ 9 および 15	DIMM コネクタ 1 および 9、ならびに DIMM コネクタ 15 および 19
2	DIMM コネクタ 6 および 24	DIMM コネクタ 6 および 10、ならびに DIMM コネクタ 16 および 24
3	DIMM コネクタ 1 および 19	DIMM コネクタ 2 および 8、ならびに DIMM コネクタ 14 および 20
4	DIMM コネクタ 10 および 16	DIMM コネクタ 5 および 11、ならびに DIMM コネクタ 17 および 23
5	DIMM コネクタ 8 および 14	DIMM コネクタ 3 および 7、ならびに DIMM コネクタ 13 および 21
6	DIMM コネクタ 5 および 23	DIMM コネクタ 4 および 12、ならびに DIMM コネクタ 18 および 22
7	DIMM コネクタ 2 および 20	
8	DIMM コネクタ 11 および 17	
9	DIMM コネクタ 7 および 13	
10	DIMM コネクタ 4 および 22	
11	DIMM コネクタ 3 および 21	
12	DIMM コネクタ 12 および 18	

ロック・ステップ・モードでのメモリー・ミラーリング

ロック・ステップ・メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング機能の使用に関する注記と詳細については、この情報を使用してください。

メモリー・ミラーリングは、コンピュート・ブックと DDR3 または DDR4 チャンネルの 4 つのすべてのメモリー・チャンネル間で同時にデータを複製して、DIMM に保管します。障害が起こると、メモリー・コントローラーは、プライマリー・チャンネルの DIMM から、バックアップ・チャンネルの DIMM に切り替えます。

Setup Utility を使ってメモリー・ミラーリングを有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」の順に選択します。詳しくは、132 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。DIMM の取り付けについての詳細情報および注意は、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」および 62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」を参照してください。

ロック・ステップ・メモリー・モードでメモリー・ミラーリング機能を使用する場合は、以下の情報を検討してください。

- コンピュート・ブックのメモリー・チャンネル 0 はメモリー・チャンネル 1 をミラーリングし、メモリー・チャンネル 2 はメモリー・チャンネル 3 をミラーリングします。このミラーリングでは、メモリーの冗長性が確保されますが、合計メモリー容量が半分に減ります。
- ロック・ステップ・モードでメモリー・ミラーリング機能を使用する場合は、コンピュート・ブックごとにメモリー・チャンネル全体に DIMM を取り付ける必要があります。
- メモリー・チャンネル 0 とメモリー・チャンネル 1 の DIMM 装着は（サイズ、編成などが）同一でなければなりません。また、メモリー・チャンネル 2 とメモリー・チャンネル 3 の DIMM 装着は同一でなければなりません。
- メモリー・ミラーリングにより、最大使用可能メモリーは取り付けられているメモリーの半分に減少します。たとえば、サーバーに 64 GB のメモリーが取り付けられている場合、メモリー・ミラーリングを有効にすると 32 GB のアドレス可能メモリーのみが有効です。
- 次の表は、ロック・ステップ・メモリー・モードでのメモリー・ミラーリングの DIMM 取り付け順序をリストしています。

表 13. ロック・ステップ・モードでメモリー・ミラーリングが有効または無効になっている場合の DIMM 装着順序

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になったロック・ステップ・モード	メモリー・ミラーリングが有効になったロック・ステップ・モード
1	DIMM コネクタ 9 および 15	DIMM コネクタ 1 および 9、ならびに DIMM コネクタ 15 および 19
2	DIMM コネクタ 6 および 24	DIMM コネクタ 6 および 10、ならびに DIMM コネクタ 16 および 24
3	DIMM コネクタ 1 および 19	DIMM コネクタ 2 および 8、ならびに DIMM コネクタ 14 および 20
4	DIMM コネクタ 10 および 16	DIMM コネクタ 5 および 11、ならびに DIMM コネクタ 17 および 23
5	DIMM コネクタ 8 および 14	DIMM コネクタ 3 および 7、ならびに DIMM コネクタ 13 および 21
6	DIMM コネクタ 5 および 23	DIMM コネクタ 4 および 12、ならびに DIMM コネクタ 18 および 22
7	DIMM コネクタ 2 および 20	
8	DIMM コネクタ 11 および 17	
9	DIMM コネクタ 7 および 13	
10	DIMM コネクタ 4 および 22	

表 13. ロック・ステップ・モードでメモリー・ミラーリングが有効または無効になっている場合の DIMM 装着順序 (続き)

DIMM の取り付け順序	メモリー・ミラーリングが無効になったロック・ステップ・モード	メモリー・ミラーリングが有効になったロック・ステップ・モード
11	DIMM コネクタ 3 および 21	
12	DIMM コネクタ 12 および 18	

ロック・ステップ・モードでのメモリー・ランク・スペアリング

この情報は、ロック・ステップ・メモリー・モードのメモリー・ランク・スペアリング機能の使用について説明しています。

このサーバーは、メモリー・ランク・スペアリングをサポートします。DIMM に障害が発生した場合にフェイルオーバーを行うために、メモリー・ランク・スペアリングによってメモリー容量が予約されます。予約された容量は、使用可能メモリーの合計から減算されます。メモリー・スペアリングは、メモリー・ミラーリングと比較すると冗長性が低下します。訂正可能エラーが事前定義されたしきい値に達すると、障害が発生した DIMM の内容はスペア・メモリーにコピーされ、障害のある DIMM またはランクは無効にされます。

Setup Utility を使ってメモリー・スペアリングを有効にするには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」の順に選択します。詳しくは、132 ページの「Setup Utility の使用」を参照してください。DIMM の取り付けについての詳細情報および注意については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。

メモリー・ランク・スペアリングの DIMM 取り付け順序は、選択した操作モードに基づいて、独立モード (パフォーマンス) またはロック・ステップ・モード (RAS) の取り付け順序に従います。詳しくは、58 ページの「独立メモリー・モード」、および 62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」を参照してください。

独立メモリー・モードでメモリー・ランク・スペアリング機能を使用する場合は、以下の情報を検討してください。

- メモリー・ミラーリングが有効である場合、メモリー・ランク・スペアリングはサポートされません。
- スペア・ランクのメモリー容量は、同じ DDR3 または DDR4 チャンネル上のその他すべてのランクと同一、またはそれより大きくなければなりません。
- single-rank DIMM (すなわち、4 GB および 8 GB) が使用される場合、メモリー・スペアリングをサポートするために、メモリー・チャンネル当たり少なくとも 2 つのランク DIMM を取り付ける必要があります。
- multi-rank DIMM (すなわち、16 GB、32 GB、および 64 GB) が使用される場合、メモリー・スペアリングをサポートするために、メモリー・チャンネル当たり 1 つの multi-rank DIMM を取り付けることができます。
- システムで使用可能な合計メモリーは、スペア・ランク用に割り振られたメモリー量の分が減少します。

DIMM の取り付け手順

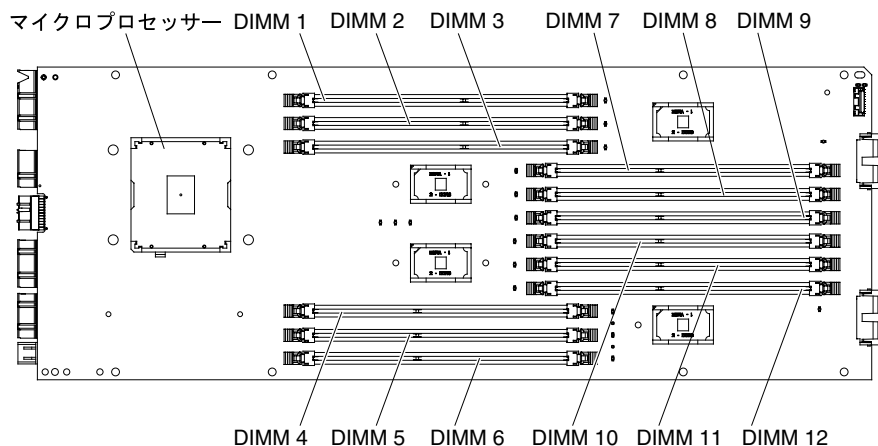
メモリー・ミラーリング・モードでの DIMM の取り付け手順については、以下の情報を参照してください。

注：

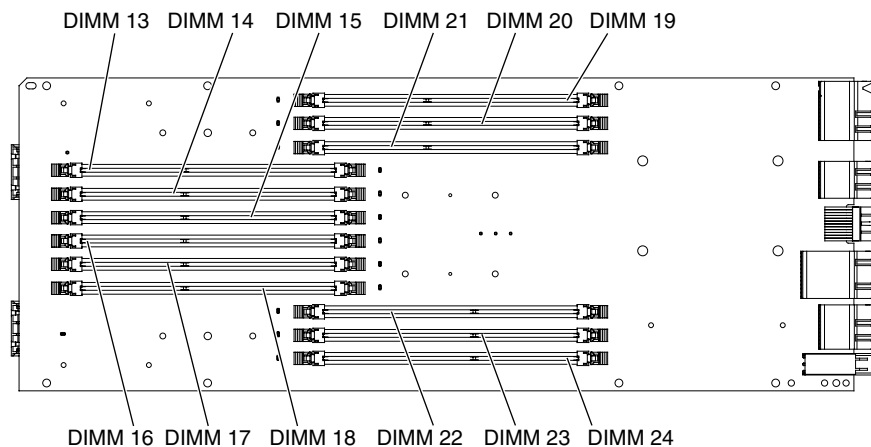
- 特に指定がない限り、本書に記載されている情報とインストール手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を示します。
- DIMM を取り付ける際に考慮する必要がある追加情報および注意については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」および 54 ページの「eXFlash DIMM」を参照してください。

注意：サーバーの電源が入っているときに、サーバー内のコンポーネントへ静電気が放出されると、サーバーが停止して、結果的にデータが失われるおそれがあります。こうした潜在的な問題が起きないように、電源をオンにしたサーバーの内部で作業を行うときは、常に静電気放電用のリスト・ストラップを使用し、それをサーバーの前面にある静電気放電コネクタ (このコネクタの位置については、27 ページの「サーバーの前面図」を参照) に差し込むか、その他の接地システムを使用してください。

次の図は、コンピュータ・ブック・ボードのマイクロプロセッサがある側の DIMM コネクタを示しています。



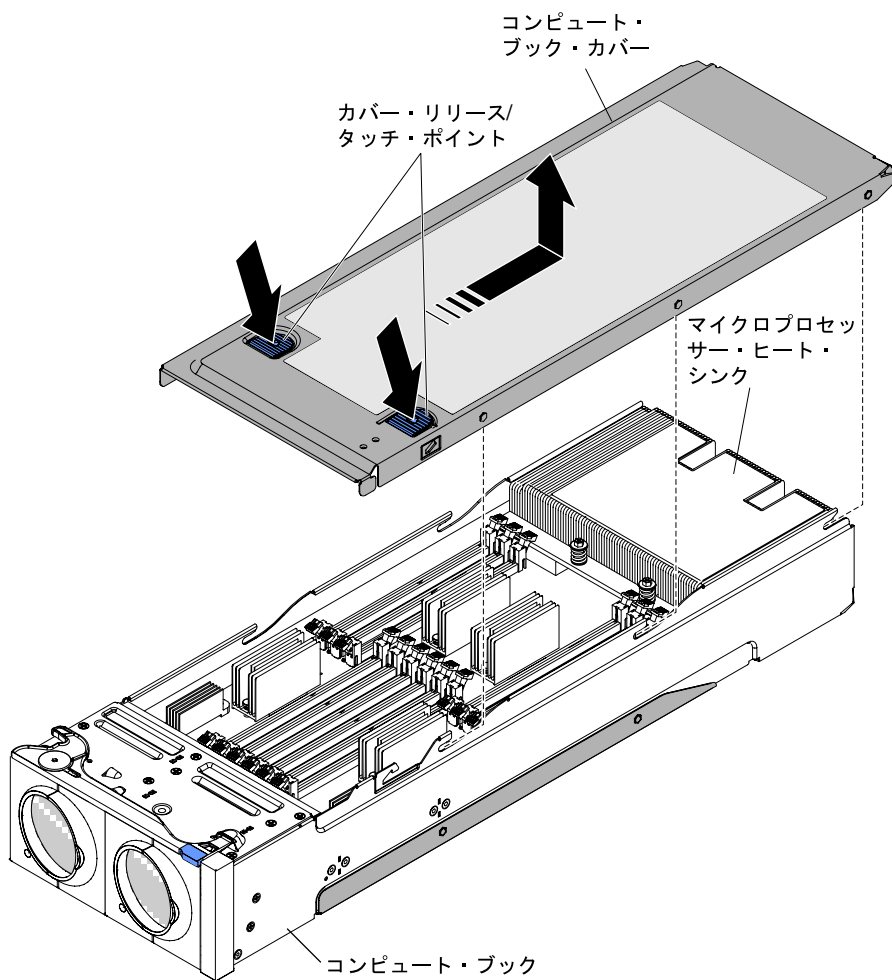
次の図は、コンピュータ・ブック・ボードのマイクロプロセッサがない側の DIMM コネクタを示しています。



DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。

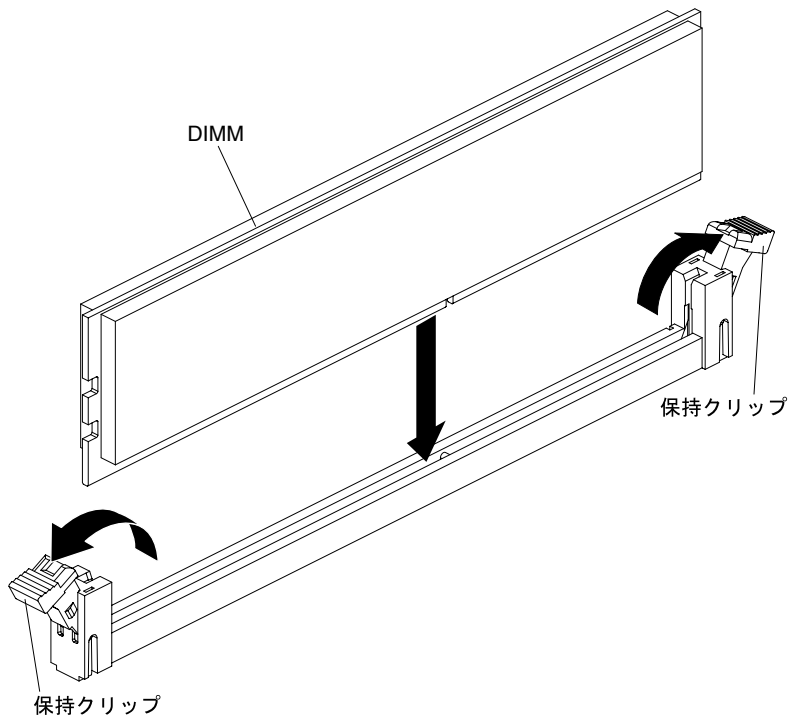
1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
3. サーバーからコンピュータ・ブックを取り外します ([300 ページの「コンピュータ・ブックの取り外し」](#) を参照)。
4. コンピュータ・ブックのカバーを取り外します (DIMM を取り付けられている DIMM コネクタに応じて左または右のカバー)。カバーにある両方の青色のタッチ・ポイントを押し、カバーを拡張モジュールの後部に向けてスライドさせます。

注意： コンピュータ・ブックのもう一方の側にあるコンピュータ・ブック・コンポーネントが損傷しないように、一度に 1 つ (片側) のカバーのみを取り外してください。



5. DIMM コネクター両端にある保持クリップを開きます。

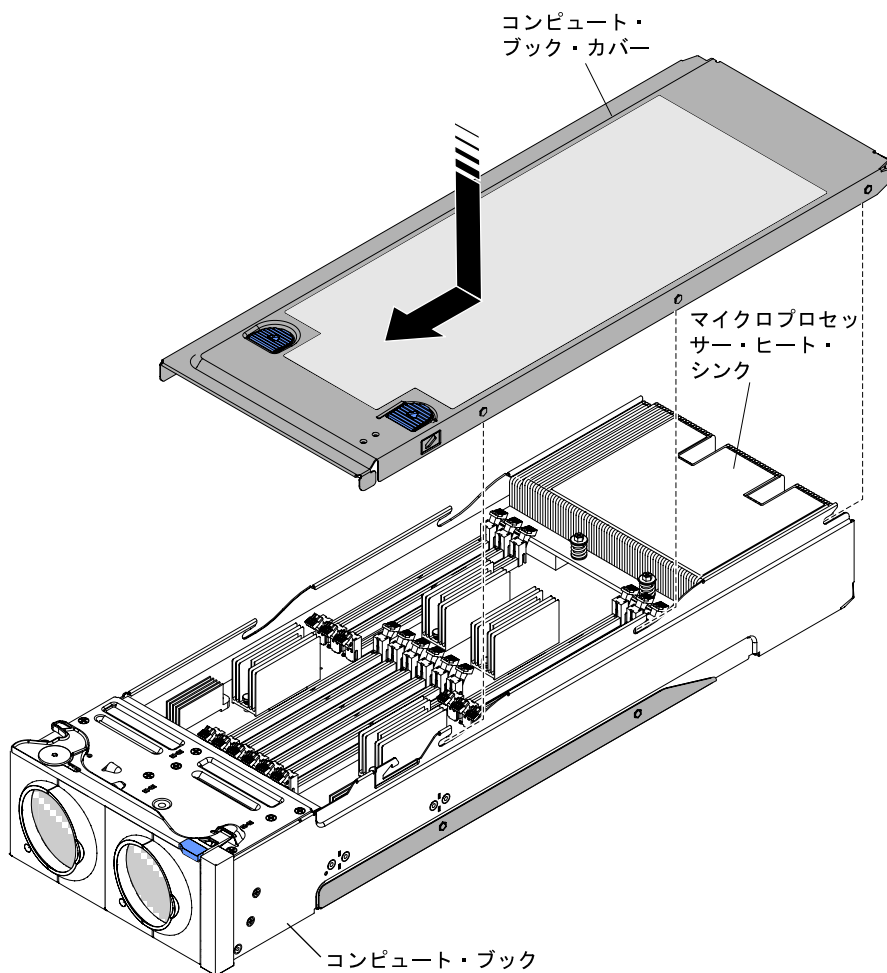
注：保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



6. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
7. DIMM のキーがコネクターの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
8. DIMM の両端を DIMM コネクターの両端のスロットに位置合わせして、DIMM をコネクターに挿入します。
9. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクターにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクターにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注：DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

10. コンピュート・ブック・カバーを交換します。コンピュート・ブックのカバーを位置合わせして、しっかりと取り付けられるまで、拡張モジュールの前面に向かって前方にスライドさせます。



11. サーバーにコンピュータ・ブックを再取り付けします (300 ページの「コンピュータ・ブックの交換」を参照)。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、126 ページの「取り付けの完了」に進みます。

コンピュータ・ブックの取り付け

コンピュータ・ブックを取り付けるときに考慮する必要がある注意および情報と、コンピュータ・ブックを取り付ける手順については、以下の情報を参照してください。

重要：

1. E7-x8xx v3 シリーズのマイクロプロセッサをサポートするコンピュータ・ブックを取り付けるとき、E7-x8xx v2 シリーズのマイクロプロセッサが取り付けられたコンピュータ・ブックが以前サーバーに含まれていた場合は、新しいコンピュータ・ブックを取り付ける前に、E7-x8xx v3 マイクロプロセッサをサポートする最小のファームウェア・レベルにファームウェアを更新する必要があります。サーバーはファームウェアを更新しないと動作しません。最小 UEFI コード・レベルは A9e122W です。最小 IMM ファームウェア・レベルは TC0o08S です。ファームウェアを最小レベルに更新できない場合は、E7-x8xx v2 シリーズのマイクロプロセッサを取り付けたコンピュータ・ブックを再度取り付けることができます。その後、ファームウェアを更新し、古いコンピュータ・ブックを取り外して、新しいコンピュータ・ブックの取り付けに進んでください。
2. E7-x8xx v2 シリーズのマイクロプロセッサをサポートするコンピュータ・ブックと E7-x8xx v3 シリーズのマイクロプロセッサをサポートするコンピュータ・ブックを混用することはできません。

せん。サーバー内のすべてのコンピュート・ブックは、同じシリーズのマイクロプロセッサをサポートしている必要があります。

下記は、コンピュート・ブックをサーバーに取り付ける際に考慮する必要のある注意と情報です。

注：特に指定がない限り、本書に記載されている情報とインストール手順は、サーバーの4ソケット構成と8ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの4ソケット構成を示します。

- コンピュート・ブックは、(サーバーの前面に向かって)左から右に取り付ける必要があります。
- 4ソケット(x3850 X6)サーバーに少なくとも2つのコンピュート・ブックを取り付ける必要があります。
- 8ソケット(x3950 X6)サーバーに少なくとも4つのコンピュート・ブックを取り付ける必要があります。
- 各コンピュート・ブックには、少なくとも1つのマイクロプロセッサと1つのDIMMが取り付けられていなければなりません。
- 4ソケット(x3850 X6)サーバーは、2つまたは4つのコンピュート・ブック構成をサポートします。これらの構成のみがサポートされます。以下の表では、サポートされているコンピュート・ブック構成の取り付け順序をリストします。

表 14. 4ソケット・サーバーの2コンピュート・ブック構成の場合の取り付け順序

コンピュート・ブック	ベイ 1	ベイ 2	ベイ 3	ベイ 3
1	コンピュート・ブック 1			
2		コンピュート・ブック 2		

表 15. 4ソケット・サーバーの4コンピュート・ブック構成の場合の取り付け順序

コンピュート・ブック	ベイ 1	ベイ 2	ベイ 3	ベイ 4
1	コンピュート・ブック 1			
2		コンピュート・ブック 2		
3			コンピュート・ブック 3	
4				コンピュート・ブック 4

- 8ソケット(x3950 X6)サーバーは、4つ、6つ、または8つのコンピュート・ブック構成をサポートします。これらの構成のみがサポートされます。以下の表では、サポートされているコンピュート・ブック構成の取り付け順序をリストします。

表 16. 8 ソケット・サーバーの 4 コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序

コン ピュー ト・ブッ ク	上部ノー ド (ベイ 1)	上部ノー ド (ベイ 2)	上部ノー ド (ベイ 3)	上部ノー ド (ベイ 4)	下部ノー ド (ベイ 1)	下部ノー ド (ベイ 2)	下部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)
1	コン ピュー ト・ブッ ク 1							
2		コン ピュー ト・ブッ ク 2						
3					コン ピュー ト・ブッ ク 3			
4						コン ピュー ト・ブッ ク 4		

表 17. 8 ソケット・サーバーの 6 コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序

コン ピュー ト・ブッ ク	上部ノー ド (ベイ 1)	上部ノー ド (ベイ 2)	上部ノー ド (ベイ 3)	上部ノー ド (ベイ 4)	下部ノー ド (ベイ 1)	下部ノー ド (ベイ 2)	下部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)
1	コン ピュー ト・ブッ ク 1							
2		コン ピュー ト・ブッ ク 2						
3					コン ピュー ト・ブッ ク 3			
4						コン ピュー ト・ブッ ク 4		
5							コン ピュー ト・ブッ ク 5	
6								コン ピュー ト・ブッ ク 6

表 18. 8 ソケット・サーバーの 8 コンピュート・ブック構成の場合の取り付け順序

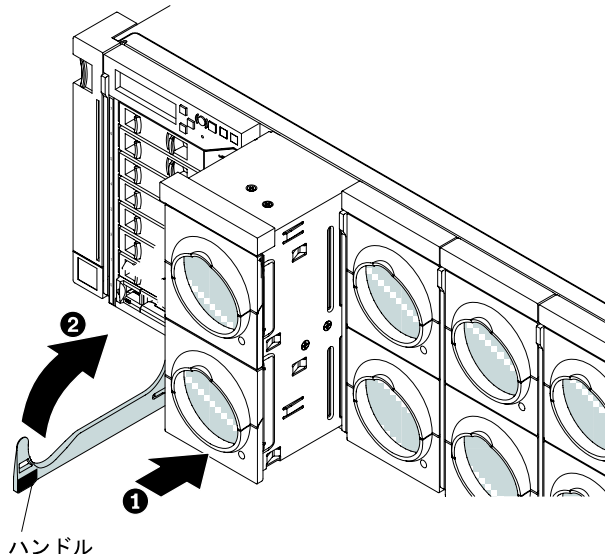
コン ピュー ト・ブッ ク	上部ノー ド (ベイ 1)	上部ノー ド (ベイ 2)	上部ノー ド (ベイ 3)	上部ノー ド (ベイ 4)	下部ノー ド (ベイ 1)	下部ノー ド (ベイ 2)	下部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)
1	コン ピュー ト・ブッ ク 1							
2		コン ピュー ト・ブッ ク 2						
3			コン ピュー ト・ブッ ク 3					
4				コン ピュー ト・ブッ ク 4				
5					コン ピュー ト・ブッ ク 5			
6						コン ピュー ト・ブッ ク 6		
7							コン ピュー ト・ブッ ク 7	
8								コン ピュー ト・ブッ ク 8

- コンピュート・ブックの詳細については、33 ページの「コンピュート・ブック」を参照してください。DIMM の取り付けに関する詳細については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。
- サポートされるデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

コンピュート・ブックを取り付けるには、次の手順で行います。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. DIMM を取り付けのために、コンピュート・ブックのカバーを取り外します (234 ページの「コンピュート・ブックのカバーの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. DIMM を取り付けます (50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照)。

- ステップ5. コンピュート・ブックのカバーを交換します (235 ページの「[コンピュート・ブック・カバーの交換](#)」を参照)。
- ステップ6. コンピュート・ブック上のカム・ハンドルを開きます。上部のファン・パック・ハンドルを下に引いて、青いリリース・ラッチ(ファン・ハンドルの背後にある)を右にスライドさせて、コンピュート・ブックのカム・ハンドルを解放します。
- ステップ7. コンピュート・ブックをサーバーのベイと位置合わせして、サーバーの中にスライドさせて入れます。サーバーの中にスライドさせて入れる間、片手をコンピュート・ブックの中央の下に置いて支えます。



- ステップ8. カム・ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

ドライブの取り付け

サーバーがサポートするタイプのドライブの概要については、この情報を使用してください。

以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。サポートされるドライブのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。

- サーバーはサポートされる SAS/SATA ドライブ・バックプレーン構成を使用して、最大 8 個の 2.5 型 HDD または SSD ドライブ、最大 16 個の 1.8 型 SSD ドライブ、または 2.5 型と 1.8 型の両方のホット・スワップ・ドライブの組み合わせをサポートすることができます (詳細については、[76 ページの「サポートされるドライブ・バックプレーン構成」](#)を参照)。
- サーバーは次のタイプのドライブをサポートします。
 - 2.5 型 SAS ハードディスク・ドライブまたはソリッド・ステート・ドライブ
 - 2.5 型 SATA ソリッド・ステート・ドライブ
 - 2.5 型 NVMe PCIe ソリッド・ステート・ドライブ
 - 1.8 型 SAS ソリッド・ステート・ドライブ
- 2.5 型ホット・スワップ SAS および SATA ハードディスク・ドライブ、2.5 型ホット・スワップ SATA ソリッド・ステート・ドライブ、および 1.8 型ホット・スワップ SATA ソリッド・ステート・ドラ

ドライブを同一のサーバーで混用することができます。ただし、同一のレイ内では同じタイプのドライブを使用する必要があります。

- ドライブ・バックプレーン構成を混合する場合は、すべての1.8型ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを、すべての2.5型ハードディスク・ドライブまたは2.5型ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンの上に取り付ける必要があります。ドライブIDの割り当て情報については74ページの「[ドライブID](#)」を、サポートされるドライブ・バックプレーン構成の組み合わせに関する情報については76ページの「[サポートされるドライブ・バックプレーン構成](#)」を参照してください。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよびPCIe スロットをカバーするか、使用することによって保護されます。

注：ドライブを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイから外したEMCシールドとフィルター・パネルを保存しておきます。

ドライブ ID

このトピックでは、ドライブ・ベイに関連付けられているドライブIDについて説明します。

各ドライブに割り当てられたホット・スワップ・ドライブIDはサーバーの前面に印刷されています。次の図は、ドライブのIDの位置を示しています。このID番号とドライブ・ベイ番号は同じです。

注：

1. ドライブ・バックプレーン構成を混合する場合は、IMMにより自動的にドライブ・ベイIDが再番号付けされます。
2. ドライブ・バックプレーン構成を混合する場合は、すべての1.8型ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを、すべての2.5型ハードディスク・ドライブまたは2.5型ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンの上に取り付ける必要があります。
3. 8x1.8型ドライブ・バックプレーン・アセンブリーを取り付けると、サーバーの前面ベゼルに示されているドライブIDは無効ではなくなります。バックプレーンに付属のドライブ・ラベルを使用して、ベゼルのドライブIDを再番号付けしてください。
4. 詳しくは、以下の例、および76ページの「[サポートされるドライブ・バックプレーン構成](#)」の図を参照してください。

次の図は、1.8型ドライブ・バックプレーンと2.5型ドライブ・バックプレーンが取り付けられている場合の順次ドライブ・ベイIDの例を示しています。

11	1.8 型 SSD ドライブ
10	1.8 型 SSD ドライブ
9	1.8 型 SSD ドライブ
8	1.8 型 SSD ドライブ
7	1.8 型 SSD ドライブ
6	1.8 型 SSD ドライブ
5	1.8 型 SSD ドライブ
4	1.8 型 SSD ドライブ
3	2.5 型 HDD/SSD ドライブ
2	2.5 型 HDD/SSD ドライブ
1	2.5 型 HDD/SSD ドライブ
0	2.5 型 HDD/SSD ドライブ

サポートされるドライブ・バックプレーン構成

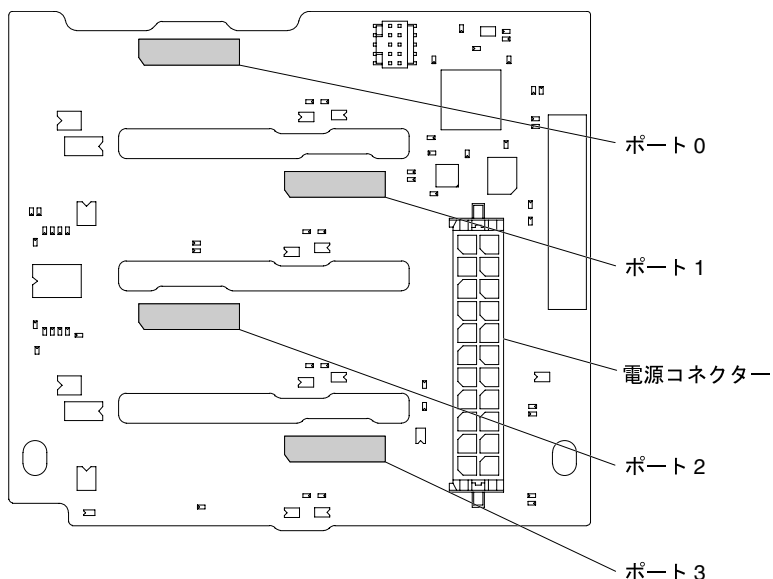
ここでは、サーバーのサポートされるドライブ・バックプレーン構成について説明しています。

注：

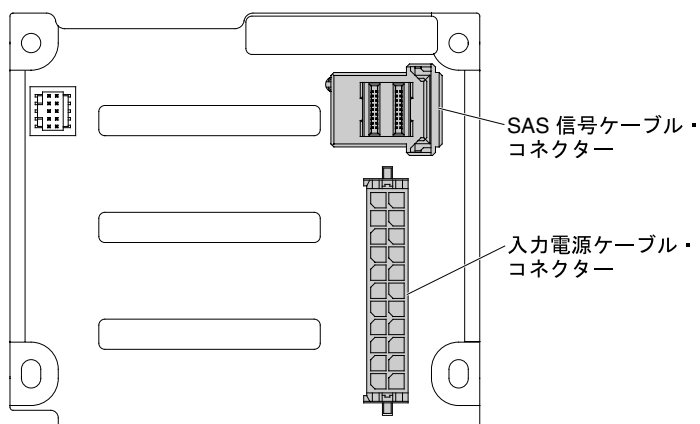
1. ドライブ・バックプレーン構成を混合する場合、すべての 1.8 型 SSD ドライブ・バックプレーンを、すべての 2.5 型ドライブ・バックプレーンの上に取り付ける必要があります。
2. ドライブ・バックプレーン構成を混合する場合は、IMM により自動的にドライブ・ベイ ID が再番号付けされます。
3. ドライブの取り付けの詳細については、73 ページの「ドライブの取り付け」を参照してください。

以下の図は、サーバーがサポートするホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンを示しています。

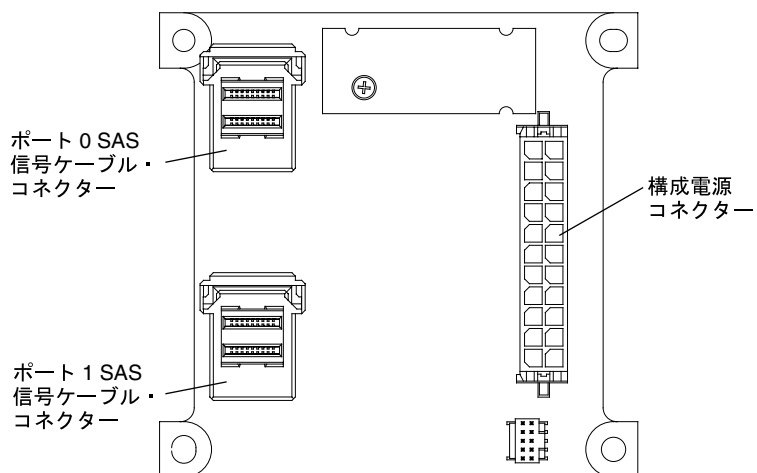
4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンの背面図: このドライブ・バックプレーンは、最大 4 個の 2.5 型 NVMe PCIe ソリッド・ステート・ドライブをサポート可能です。バックプレーン信号ケーブルは、NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターに接続します。各 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターは、2 つの NVMe PCIe ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。



4x2.5 型 SAS Gen3 12 Gb ドライブ・バックプレーンの背面図: このドライブ・バックプレーンは、最大 4 つの 2.5 型 SAS ハードディスク・ドライブまたは 4 つの 2.5 型 SATA ソリッド・ステート・ドライブをサポートできます。バックプレーン電源および構成の信号は、ケーブルを使用して標準 I/O ブックから提供されます。



8x1.8 型ソリッド・ステート 12 Gb ドライブ・バックプレーンの背面図: このバックプレーンで使用するどの SAS アダプターも、2つの内部 4 レーン SAS 信号コネクタを駆動できなければなりません。バックプレーン電源および構成の信号は、ケーブルを使用して標準 I/O ブックから提供されます。



ドライブ容量を最大にするために、2.5 型と 1.8 型の SAS/SATA ドライブ・バックプレーンを組み合わせてサーバーに取り付けることができます。ただし、バックプレーンを制御するためにサーバーに取り付ける SAS/SATA アダプターは、2つの内部 4 レーン SAS/SATA 信号コネクタに対応している必要があります。また、コントローラー、バックプレーン、およびドライブをサポートするために、このサーバーには、マイクロプロセッサとメモリーが取り付けられたコンピュート・ブックが少なくとも 2 つ必要です。

NVMe バックプレーン構成

サポートされている NVMe バックプレーン構成の概要については、以下の情報を参照してください。

注意：システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- バックプレーンが取り付けられていない場合は、下部バックプレーン・ベイにバックプレーン・フィルターを取り付けます。
- 個別のドライブ・フィルターをすべての未使用のドライブ・ベイに取り付けます。

次の図は、4 個の NVMe PCIe ドライブを使用するためにサポートされる NVMe PCIe バックプレーン構成を示しています。この構成は、1 つの 4x2.5 型 NVMe PCIe ドライブ・バックプレーンから構成され、2 つの NVMe PCIe コントローラーおよび 4 本の PCIe 信号ケーブルが必要です。

- 追加の SAS/SATA バックプレーンを下部バックプレーン・ベイに取り付けることができます。
- IMM2 が割り当てるドライブ ID は、サーバーの前面ベゼルに示された ID に一致します。
- オペレーティング・システムと uEFI は、4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンに取り付けられたハードディスク・ドライブを PCI デバイスとして報告します。

7 2.5 型 NVMe PCIe SSD ドライブ PCIe スロット 19
6 2.5 型 NVMe PCIe SSD ドライブ PCIe スロット 18
5 2.5 型 NVMe PCIe SSD ドライブ PCIe スロット 17
4 2.5 型 NVMe PCIe SSD ドライブ PCIe スロット 16
空の状態

4 個のドライブのバックプレーン構成

4 個のドライブでサポートされているバックプレーン構成の概要については、以下の情報を参照してください。

次の図は、4 個のドライブを使用するためにサポートされるバックプレーン構成を示しています。この構成は、1 つの 4x2.5 型ドライブ・バックプレーンから構成され、1 本の SAS 信号ケーブルが必要です。



8 個のドライブのバックプレーン構成

8 個のドライブでサポートされているバックプレーン構成の概要については、以下の情報を参照してください。

次の図は、8 個のドライブを使用するためにサポートされるバックプレーン構成を示しています。

この構成は、2 つの 4x2.5 型ドライブ・バックプレーンから構成され、2 本の SAS 信号ケーブルが必要です。

7 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
6 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
5 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
4 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
3 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
2 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
1 2.5 型 HDD/SSD ドライブ
0 2.5 型 HDD/SSD ドライブ

この構成は、1つの 8x1.8 型ドライブ・バックプレーンから構成され、2本の SAS 信号ケーブルが必要です。



7	1.8 型 SSD ドライブ
6	1.8 型 SSD ドライブ
5	1.8 型 SSD ドライブ
4	1.8 型 SSD ドライブ
3	1.8 型 SSD ドライブ
2	1.8 型 SSD ドライブ
1	1.8 型 SSD ドライブ
0	1.8 型 SSD ドライブ

12 個のドライブのバックプレーン構成

12 個のドライブでサポートされているバックプレーン構成の概要については、以下の情報を参照してください。

次の図は、12 個のドライブを使用するためにサポートされるバックプレーン構成を示しています。この構成は、1 つの 4x2.5 型ドライブ・バックプレーンと 1 つの 8x1.8 型ドライブ・バックプレーンから構成され、3 本の SAS 信号ケーブルが必要です。

11	1.8 型 SSD ドライブ
10	1.8 型 SSD ドライブ
9	1.8 型 SSD ドライブ
8	1.8 型 SSD ドライブ
7	1.8 型 SSD ドライブ
6	1.8 型 SSD ドライブ
5	1.8 型 SSD ドライブ
4	1.8 型 SSD ドライブ
3	2.5 型 HDD/SSD ドライブ
2	2.5 型 HDD/SSD ドライブ
1	2.5 型 HDD/SSD ドライブ
0	2.5 型 HDD/SSD ドライブ

16 個のドライブのバックプレーン構成

16 個のドライブでサポートされているバックプレーン構成の概要については、以下の情報を参照してください。

次の図は、16 個のドライブを使用するためにサポートされるバックプレーン構成を示しています。この構成は、2 つの 8x1.8 型ドライブ・バックプレーンから構成され、4 本の SAS 信号ケーブルが必要です。

15	1.8 型 SSD ドライブ
14	1.8 型 SSD ドライブ
13	1.8 型 SSD ドライブ
12	1.8 型 SSD ドライブ
11	1.8 型 SSD ドライブ
10	1.8 型 SSD ドライブ
9	1.8 型 SSD ドライブ
8	1.8 型 SSD ドライブ
7	1.8 型 SSD ドライブ
6	1.8 型 SSD ドライブ
5	1.8 型 SSD ドライブ
4	1.8 型 SSD ドライブ
3	1.8 型 SSD ドライブ
2	1.8 型 SSD ドライブ
1	1.8 型 SSD ドライブ
0	1.8 型 SSD ドライブ

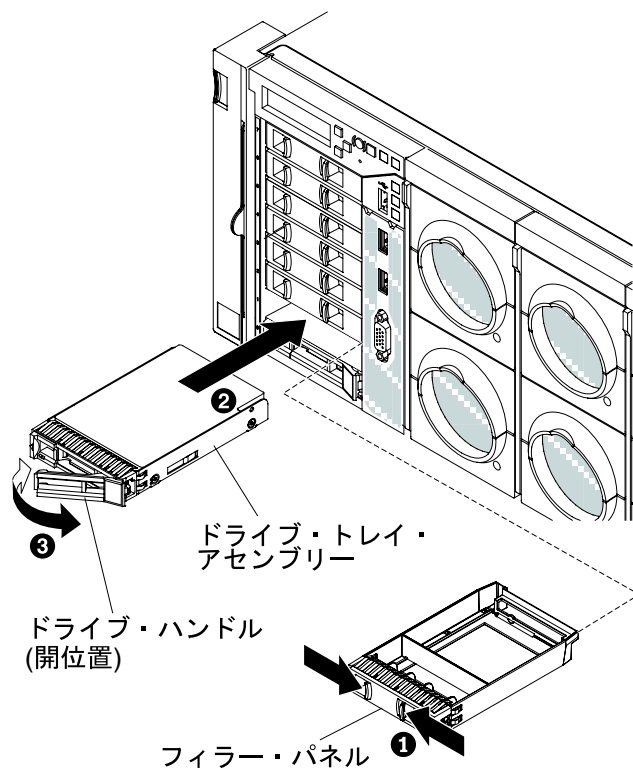
2.5 型および 1.8 型ホット・スワップ・ドライブの取り付け

このトピックでは、2.5 型および 1.8 型ホット・スワップ・ドライブの取り付け手順について説明します。

ホット・スワップ SAS または SATA ドライブを取り付けるには、以下の手順を実行してください。ドライブの取り付けについては、[73 ページの「ドライブの取り付け」](#)を参照してください。

注：取り付けるドライブが 1 つのみの場合は、ドライブ・ベイ 0 に取り付ける必要があります。

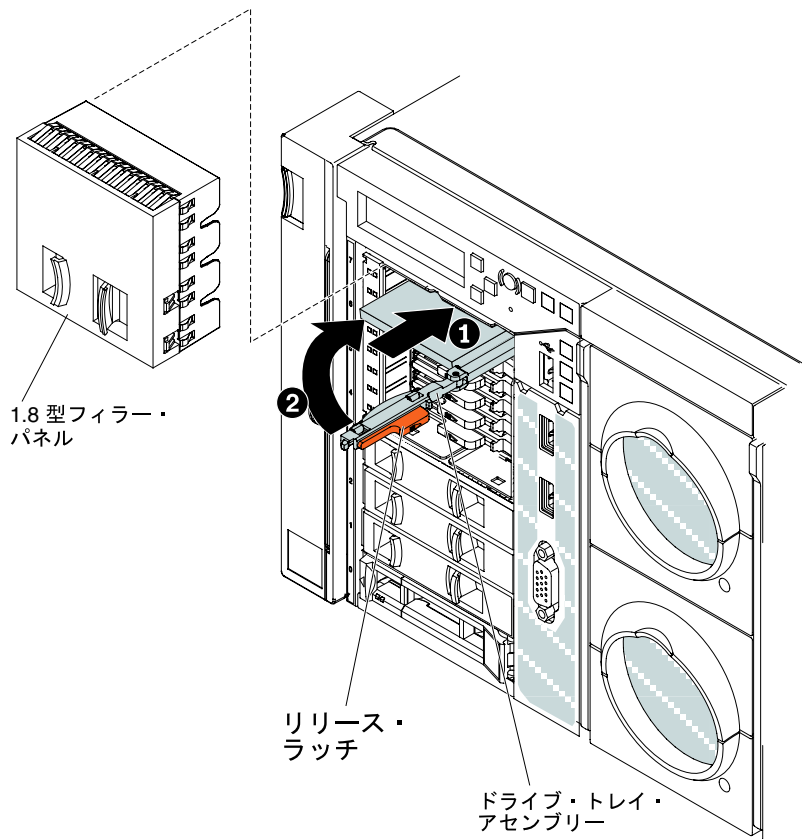
- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. ストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ 3. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。
- ステップ 4. 2.5 型ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。
 - a. 空のドライブ・ベイからフィラーを取り外します。
 - b. ドライブ・トレイのハンドルが開いた (ロック解除) 位置にあることを確認します。
 - c. ドライブ・アSEMBリーをベイのガイド・レールと位置合わせします。



- d. ドライブ・アセンブリーを、ドライブが停止するまで静かにドライブ・ベイに挿入します。
- e. ドライブ・トレイのハンドルを「閉」位置(ロック位置)に回転させます。
- f. ステップ6に進みます。

ステップ5. 1.8型ドライブを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- a. フィラー・パネル (EMC フィラー・パネル) を取り外します。
- b. ドライブを取り付けるドライブ・トレイのドライブ・トレイ・ハンドルにある黒色とオレンジ色のリリース・ラッチをつかみ、リリース・ラッチを右にスライドさせてドライブ・トレイ・ハンドルをロック解除します。次に、ドライブ・トレイ・ハンドルを右に回転させます。



- c. ドライブのラベルが付いている側を上に向けて、ドライブをドライブ・トレイに挿入します。次に、カチッと音がして所定の位置にしっかり収まるまで、ドライブ・トレイをドライブ・ベイに押し込みます。
- d. ドライブ・トレイ・ハンドルをクローズ位置まで回転させ、リリース・ラッチを左にスライドさせてドライブ・トレイ・ハンドルを所定の位置に固定します。
- e. フィラー・パネル (EMC フィラー・パネル) を取り付け直します。

ステップ 6. ドライブのステータス LED をチェックして、ドライブが正しく作動しているか確認します。ドライブのオレンジ色のドライブ・ステータス LED が点灯したままの場合は、ドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセスされています。

注：ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID アダプター用に構成されている場合は、ドライブを取り付けた後にディスク・アレイを再構成しなければならない場合があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。

ステップ 7. 追加のホット・スワップ・ドライブを取り付ける場合は、ここで実行してください。

ステップ 8. [47 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」](#)の追加手順を実行します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

ハーフサイズおよびフルサイズの I/O ブックの取り付け

サポートされている I/O ブックの概要については、以下の情報を参照してください。

このサーバーは、サポートされているI/O ブックを使用して最大 12 個の PCIe Gen3 アダプター・スロットを提供します。サーバーは、オプションのハーフサイズ I/O ブックおよびオプションのフルサイズ I/O ブックをサポートします。どちらのI/O ブックもサーバーの背面に取り付けます。サポートされているI/O ブックの詳細については、[86 ページの「ハーフサイズ I/O ブックの取り付け」](#) および [88 ページの「フルサイズ I/O ブックの取り付け」](#) を参照してください。

取り付けるI/O ブックをサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

サポートされているアダプターの詳細については、[93 ページの「サポートされる RAID アダプター」](#) で、サポートされている RAID アダプターに関する詳細情報を参照してください。サポートされるイーサネット・アダプターの詳細については、[95 ページの「サポートされる ML2 \(イーサネット\) アダプター」](#) を参照してください。サポートされる RAID キャッシュ・カードの詳細については、[94 ページの表 23「サポートされている RAID キャッシュ・カードとそのキャッシュ・カードを取り付けられる位置」](#) を参照してください。サポートされる Features on Demand (FoD) ソフトウェアの詳細については、[98 ページの表 25「サポートされる Features on Demand ソフトウェアおよび Features on Demand ソフトウェアに関する情報」](#) を参照してください。

ハーフサイズ I/O ブックの取り付け

ハーフサイズ I/O ブックを取り付けるときに考慮する必要のある注意およびその他の情報と、I/O ブックをサーバーに取り付ける手順については、以下の情報を参照してください。

以下の注では、ハーフサイズ I/O ブック の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

- サポートされているアダプターの詳細については、[98 ページの「標準またはハーフサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け」](#)、[95 ページの「サポートされる ML2 \(イーサネット\) アダプター」](#)、[93 ページの「サポートされる RAID アダプター」](#)、[94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」](#)、および [92 ページの「サポートされるホスト・バス・アダプター」](#) を参照してください。
- I/O ブックにアダプターが取り付けられていない場合、ハーフサイズ I/O ブックはホット・スワップ可能です。ただし、I/O ブックにアダプターが取り付けられている場合は、I/O ブックをサーバーから取り外す前に、最初にI/O ブックの電源ボタンを押して、3 個の PCIe スロットのすべての電源を切る必要があります。スロットがオフラインになると、スロット LED ライトが消えます。
- このI/O ブックでは、サーバーの電源をオフにせずに、PCIe アダプターの取り外しと取り付けを行うことができます。
- このI/O ブックは、フルハイトまたはロー・プロファイルのいずれかの Gen3 ハーフサイズ・アダプターをサポートします。
- このI/O ブックは、サーバーに取り付けられると、コンピュータ・ブック 3 またはコンピュータ・ブック 4 に接続されます。詳細は、[86 ページの表 19「PCIe スロットの番号付けおよび関連付けられているコンピュータ・ブック」](#) を参照してください。
- 最大 2 個のハーフサイズ I/O ブックをサーバーに取り付けることができます。
- 1 個のハーフサイズ I/O ブックおよび 1 個のフルサイズ I/O ブックをサーバーに取り付けることもできます。
- このI/O ブックの詳細については、[38 ページの「ハーフサイズ I/O ブック」](#) を参照してください。

次の表に、I/O ブック PCIe スロットの番号付けと、各コンピュータ・ブックに関連付けられているスロット (2 個のI/O ブックが取り付けられている場合) をリストします。

表 19. PCIe スロットの番号付けおよび関連付けられているコンピュータ・ブック

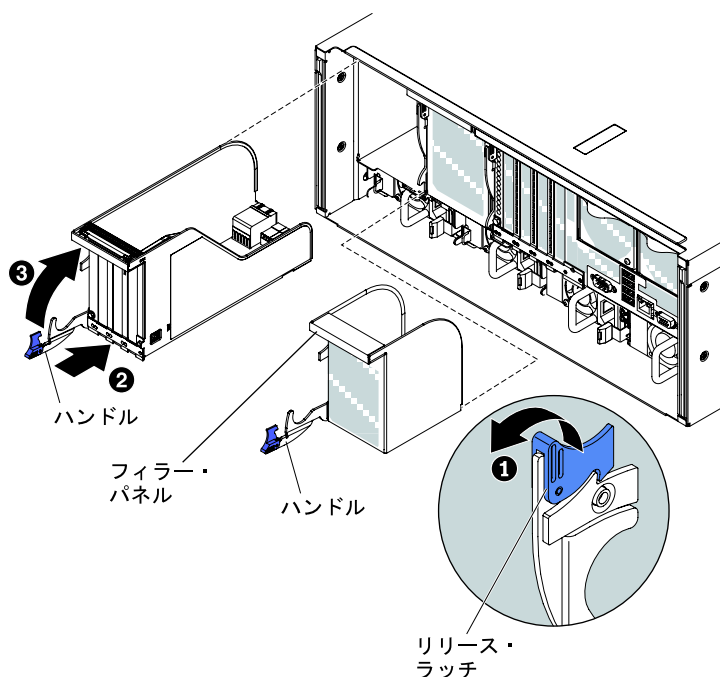
PCIe スロットとコンピュータ・ブックの関連を示す、2 列の表

表 19. PCIe スロットの番号付けおよび関連付けられているコンピュート・ブック (続き)

PCIe スロット番号 (サーバーの背面から見て)	PCIe スロットに関連付けられているコンピュート・ブック
1	コンピュート・ブック 4
2	コンピュート・ブック 4
3	コンピュート・ブック 4
4	コンピュート・ブック 3
5	コンピュート・ブック 3
6	コンピュート・ブック 3

ハーフサイズ I/O ブックを取り付けるには、次の手順で行います。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. I/O ベイからフィラー・パネルを取り外します。
- ステップ 3. 新しい I/O ブックが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させた後、I/O ブックをパッケージから取り出します。
- ステップ 4. I/O ブックのカム・ハンドルを開きます。
- ステップ 5. I/O ブックをサーバーのスロットと位置合わせして、サーバーの中にスライドさせて入れます。



- ステップ 6. ハンドルを止まるまで上に回転させ、ハンドルが所定の位置にロックされるまでサーバーの中に押し込みます。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

フルサイズ I/O ブックの取り付け

フルサイズ I/O ブックを取り付けるときに考慮する必要のある注意およびその他の情報と、I/O ブックをサーバーに取り付ける手順については、以下の情報を参照してください。

以下の注では、フルサイズ I/O ブック の取り付け時に考慮すべき事項について説明します。

注：フルサイズ I/O ブックは、フルサイズ・アダプターをサポートするために、サーバー・シャーシの基本の長さの寸法を機械的に 3 インチ延長します。

- サポートされているアダプターの詳細については、98 ページの「標準またはハーフサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け」、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」、93 ページの「サポートされる RAID アダプター」、および 94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」を参照してください。
- フルサイズ I/O ブックのホット・アドを行う機能は、オペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムがホット・プラグをサポートしていない場合、フルサイズ I/O ブックの追加または取り外しを行うと、リカバリー不能なシステム・エラーが発生する可能性があります。

注意：

- オペレーティング・システムがブート時、またはオペレーティング・システムがまだ実行されているときに、I/O ベイにフルサイズ I/O ブックが装着されていない場合、(リソースが十分でないため) フルサイズ I/O ブックを I/O ベイにホット・アドすることはできません。
- オペレーティング・システムのブート時に I/O ベイにフルサイズ I/O ブックが取り付けられている場合は、フルサイズ I/O ブックをホット・スワップすることができます。
- アダプターが I/O ブックに取り付けられている場合、I/O ブックをサーバーから取り外す前に、最初にフルサイズ I/O ブックの電源ボタンを押して、3 個の PCIe スロットのすべての電源を切る必要があります。スロットがオフラインになると、スロット LED ライトが消えます。
- この I/O ブックでは、サーバーの電源をオフにせずに、PCIe アダプターの取り外しと取り付けを行うことができます。
- この I/O ブックには、2 個の PCIe 補助電源コネクタ (75 W の追加電源用の 1 個の 6 ピンと 150 W の追加電源用の 1 個の 8 ピン) があります。
- この I/O ブックのいずれかの x16 スロットにダブル幅のアダプターを取り付けると、I/O ブックで使用できる電力が限られるため、x8 スロットを使用できなくなります。また、もう 1 個の x16 スロットを使用できなくなる可能性があります。
- この I/O ブックは、ハーフサイズ、フルハイトおよびフルサイズ、フルハイト、ロー・プロファイルの両方の PCIe Gen3 および Gen2 のアダプターをサポートします。
- この I/O ブックは、サーバーに取り付けられると、コンピュータ・ブック 3 またはコンピュータ・ブック 4 に接続されます。89 ページの表 20「PCIe スロット番号および関連付けられているコンピュータ・ブック」を参照してください。
- 最大 2 個のフルサイズ I/O ブックをサーバーに取り付けることができます。
- 1 個のフルサイズ I/O ブックおよび 1 個のハーフサイズ I/O ブックをサーバーに取り付けることもできます。
- PCIe スロット 2 および 5 (2 個のフルサイズ I/O ブックが取り付けられている場合) は、x4 PCIe Gen 2 バスとして再構成されたコンピュータ・ブック 3 および 4 の DMI バスに接続されます。
- PCIe スロット 2 および 5 (2 個のフルサイズ I/O ブックが取り付けられている場合) は、x4 用に配線されている x8 スロットです。x8 アダプターを x4 の帯域幅にダウンシフト可能なスロット 2 および 5 に取り付けると、このアダプターは x4 の帯域幅で稼働します。x8 コネクタは、x4 アダプターまたは x8 アダプターに使用することができます。互換性情報については、アダプターに付属の情報を確認してください。
- PCIe スロット 1、3、4、および 6 (2 個のフルサイズ I/O ブックが取り付けられている場合) は、x16 Gen 3 アダプター・スロットです。

- ダブル幅のアダプターは、PCIe スロット 1 または 4 にのみ取り付けることができます。ダブル幅のアダプターをスロット 1 または 4 に取り付けるとき、スロット 2 および 5 にアダプターを取り付けることはできません。
- この I/O ブックは、最大 300 ワットの電力を必要とするアダプターをサポートするために、2 個の補助電源コネクタも提供します。
- この I/O ブックに関する追加情報については、フルサイズ I/O ブックを参照してください。

次の表に、I/O ブック PCIe スロットの番号付けと、各コンピュータ・ブックに関連付けられているスロット (2 個の I/O ブックが取り付けられている場合) をリストします。

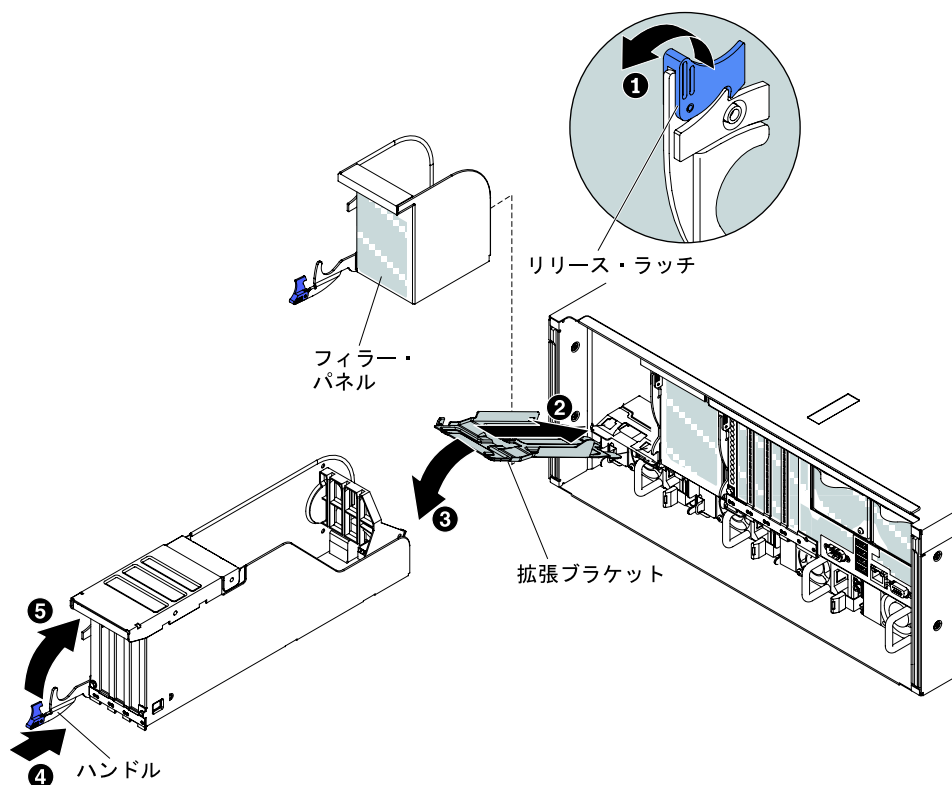
表 20. PCIe スロット番号および関連付けられているコンピュータ・ブック

PCIe スロットとコンピュータ・ブックの関連を示す、2 列の表

PCIe スロット番号 (サーバーの背面から見て)	PCIe スロットに関連付けられているコンピュータ・ブック
1	コンピュータ・ブック 4
2	コンピュータ・ブック 4
3	コンピュータ・ブック 4
4	コンピュータ・ブック 3
5	コンピュータ・ブック 3
6	コンピュータ・ブック 3

フルサイズ I/O ブックを取り付けるには、次の手順で行います。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. I/O ベイからフィラー・パネルを取り外します。
- ステップ 3. 新しい I/O ブックが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させた後、I/O ブックをパッケージから取り出します。
- ステップ 4. 以下のようにして、I/O ブックのカバーを取り外します。カバーをサーバー前面方向にスライドさせ、持ち上げて I/O ブックから取り外します。
- ステップ 5. アダプターを取り付けます ([99 ページの「フルサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け」](#)を参照)。
- ステップ 6. I/O ブックに付属の拡張ブラケットを取り付けます。ブラケットを I/O ベイのスロットに挿入します (図を参照)。



- ステップ 7. I/O ブックのカム・ハンドルを開きます。
- ステップ 8. I/O ブックをサーバーの I/O ベイに位置合わせして、サーバーの中にスライドさせて入れます。
- ステップ 9. ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

アダプターの取り付け

サーバーがサポートするアダプターのタイプの概要、および取り付け規則については、以下の情報を参照してください。

以下の注意書きは、サーバーがサポートするアダプターのタイプと、アダプターを取り付けるときに考慮すべきその他の情報について説明します。

注意：オプションの NVIDIA Grid K1 および K2、NVIDIA Tesla K20 および K40、NVIDIA Quadro K4000 および K6000 の各アダプターは、1TB 以上のシステム・メモリーを搭載したシステムには取り付けられないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこれらのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。これらのオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 ([http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay? Indocid=migr-5096047](http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047)) を参照してください。

- 取り付けるアダプターをサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。
- このセクションの説明に追加して、アダプターに付属の資料に記載の説明にも従ってください。
- このサーバーは、PCI-X アダプターおよび既存の 5 V PCI アダプターをサポートしません。
- サーバーは、購入可能なオプション・イーサネット・アダプターをサポートします。サポートされるアダプターの詳細については、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」を参照してください。

注：<http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、ML2 イーサネット・アダプターの最新のデバイス・ドライバーをダウンロードする必要があります。NIC アダプターの下でイーサネット・アダプターを探します。デバイス・ドライバーのインストール方法については、リリース・ノートおよび *read.txt* ファイルを使用してください。

- このサーバーは、最大 12 個の PCIe Gen 3 および Gen 2 スロットを提供します。
- また、サーバーは、購入可能な複数のオプションの NVIDIA アダプターをサポートします。

注意：NVIDIA Grid K1 および K2、NVIDIA Tesla K20 および K40、NVIDIA Quadro K4000 および K6000 の各アダプター・オプションは、1TB 以上のシステム・メモリーを搭載したシステムには取り付けられないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこれらのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。これらのオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 ([http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay? Indocid=migr-5096047](http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047)) を参照してください。

- 個々の I/O ブックに取り付けることができる特定のアダプターについては、27 ページの「ストレージ・ブック」、33 ページの「コンピュータ・ブック」、38 ページの「ハーフサイズ I/O ブック」、39 ページの「フルサイズ I/O ブック」、および 35 ページの「標準 I/O ブック」を参照してください。
- サーバーは、RAID レベル 0、1、10、5、6、50、および 60 のサポートのために購入できる、オプションの RAID コントローラー、RAID キャッシュ・カード、および Feature On Demand ソフトウェア RAID をサポートします。構成情報については、アダプターに付属の説明書、または ServeRAID 資料 (<http://www.lenovo.com/support>) を参照してください。サポートされる RAID アダプターの詳細については、93 ページの表 22「サポートされる RAID アダプターおよびアダプターを取り付ける位置」を参照してください。サポートされる RAID キャッシュ・カードの詳細については、94 ページの表 23「サポートされている RAID キャッシュ・カードとそのキャッシュ・カードを取り付けられる位置」を参照してください。サポートされるイーサネット・アダプターの詳細については、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」を参照してください。サポートされる Features on Demand (FoD) ソフトウェアの詳細については、98 ページの表 25「サポートされる Features on Demand ソフトウェアおよび Features on Demand ソフトウェアに関する情報」を参照してください。サポートされるホスト・バス・アダプターの詳細については、92 ページの「サポートされるホスト・バス・アダプター」を参照してください。

サポートされているアダプターおよび Features on Demand ソフトウェア

これらのトピックでは、Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 でサポートされるアダプターおよび Features on Demand ソフトウェアについて説明します。

次のトピックでは、サーバーでサポートされるタイプ別アダプターおよびサーバーで利用可能な Features on Demand ソフトウェアについて一覧表示しています。

サポートされるホスト・バス・アダプター

サーバーがサポートするホスト・バス・アダプターのタイプの概要、およびそれらのアダプターに関する注記については、以下の情報を参照してください。

次の表は、サーバーがサポートするホスト・バス・アダプターをリストしたものです。アダプターの取り付けの詳細については、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#)を参照してください。

表 21. サポートされるホスト・バス・アダプターおよびそれらのアダプターに関する情報

アダプターの名前	注
N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプター (System x 用)	<ul style="list-style-type: none">このソリッド・ステート・ドライブ・コントローラーは、RAID サポートを提供していません。これは、RAID のサポートを必要としないアプリケーションで最適化されたパフォーマンスの提供に役立ちます。ロー・プロファイル・アダプター12 Gb SAS/SATA 内蔵非 RAID アダプターPCIe Gen 3 x88 ポート・コントローラー

サポートされているアダプターの詳細については、[93 ページの「サポートされる RAID アダプター」](#)、[95 ページの「サポートされる ML2 \(イーサネット\) アダプター」](#)、および[94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」](#)を参照してください。

サポートされる RAID アダプター

サーバーでサポートされる RAID アダプターの概要については、この情報を参照してください。

次の表は、サポートされている RAID アダプターをリストしたものです。Features on Demand Software RAID の使用可能化の詳細については、150 ページの「Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化」を参照してください。これらのアダプターの取り付けの詳細については、27 ページの「ストレージ・ブック」および 90 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。

表 22. サポートされる RAID アダプターおよびアダプターを取り付ける位置

RAID アダプター	アダプターを取り付ける位置	注
ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用)	このアダプターは、標準 I/O ブック、ハーフサイズ I/O ブック、またはフルサイズ I/O ブックの PCIe スロットに取り付けることができます。これらの I/O ブックは、サーバーの背面からアクセスできます。 注：このアダプターと一緒にフラッシュ電源モジュールを使用しようとする場合は、そのフラッシュ電源モジュールを標準 I/O ブックのエアー・バッフルに取り付ける必要があります。	<ul style="list-style-type: none"> 内蔵 RAID アダプター 8 つの外部 6 Gbps SAS/SATA ポート 2 つの外部 mini-SAS コネクタ ベース RAID レベル 0、1、5、10、および 50 を提供 (このアダプターにはキャッシュ・カードがあらかじめ取り付けられています): <ul style="list-style-type: none"> このアダプター上で ServeRAID M5100 Series RAID 6 Upgrade (System x 用) (Features On Demand software RAID) が有効になっていると、RAID レベル 6 および 60 のサポートも得られます。 このアダプターに以下の RAID キャッシュ・カードを取り付けて、RAID レベル 5 および 50 のサポートを得ることもできます: <ul style="list-style-type: none"> System x 用 ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB キャッシュ/RAID 5 のアップグレード System x 用 ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ/RAID 5 のアップグレード System x 用 ServeRAID M5100 シリーズ 1 GB フラッシュ/RAID 5 のアップグレード <p>注：これらの 3 つのキャッシュ・カードのいずれか 1 つがこのアダプターに取り付けられていると、ServeRAID M5100 Series RAID 6 Upgrade (System x 用) (Features On Demand Software RAID) を有効にして、RAID レベル 6 および 60 のサポートを得ることもできます。オプションで、このアダプター上で ServeRAID M5100 Series SSD Caching Enabler (System x 用) (Features On Demand Software RAID) を有効にして、ソリッド・ステート・ドライブ RAID デバイスを加速するとともにキャッシングに関連する処理オーバーヘッドを減少させることもできます。</p> <ul style="list-style-type: none"> MegaRAID ファームウェアを実行するためには、このアダプターに RAID キャッシュ・カードを取り付ける必要があります。 アダプターは外部ケーブリングをサポートしています。 バッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは、常に標準 I/O ブックのエアー・バッフルに取り付ける必要があります。
ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー (System x 用)	このアダプターは、ストレージ・ブック上の PCIe スロットのみに取り付けることができます。ストレージ・ブックは、サーバーの前面からアクセスできます。	<ul style="list-style-type: none"> 12 Gb SAS/SATA 内蔵 RAID アダプター PCIe Gen 3 x8 RAID レベル 0、1、および 10 をサポート DDR3 メモリー用の 72 ビット・メモリー・インターフェース (1866 MT/秒)

サポートされるイーサネット・アダプターの詳細については、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」を参照してください。サポートされる RAID キャッシュ・カードについては、94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」を参照してください。サポートされるホスト・バス・アダプターの詳細については、92 ページの「サポートされるホスト・バス・アダプター」を参照してください。サポートされる Features on Demand Software RAID については、97 ページの「サポートされる Features on Demand ソフトウェア」を参照してください。

サポートされる RAID キャッシュ・カード

サーバーがサポートする RAID キャッシュ・カードの概要、およびそのキャッシュ・カードに関する注記については、以下の情報を参照してください。

次の表は、サポートされている RAID キャッシュ・カードをリストしたものです。Features on Demand RAID ソフトウェアの使用可能化の詳細については、150 ページの「Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化」を参照してください。

表 23. サポートされている RAID キャッシュ・カードとそのキャッシュ・カードを取り付けられる位置

RAID キャッシュ・カード	カードを取り付ける位置	注
ServeRAID M5100 Series 512 MB Cache/RAID 5 Upgrade (System x 用) (RAID キャッシュ・カード)	このキャッシュ・カードは、以下の ServeRAID コントローラー上のオプションの SAS アダプター・コネクタに取り付けることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) 	<ul style="list-style-type: none"> • RAID レベル 5 および 50 アップグレードのサポートを提供します。 • このキャッシュ・カード上の SDRAM をセルフ・リフレッシュ状態しておくために、オプションの ServeRAID M5100 Series Battery Kit (System x 用) を購入して接続することができます。 • MegaRAID ファームウェアを実行するために ServeRAID コントローラーを有効にします。 • 40 ビットのメモリーをもっています。
ServeRAID M5100 Series 512 MB Flash/RAID 5 Upgrade (System x 用) (RAID キャッシュ・カード)	このキャッシュ・カードは、以下の ServeRAID コントローラー上のオプションの SAS アダプター・コネクタに取り付けることができます。 <ul style="list-style-type: none"> • ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) 	<ul style="list-style-type: none"> • RAID レベル 5 および 50 アップグレードのサポートを提供します。 • このキャッシュ・カードには、このカードに接続できるフラッシュ電源モジュール (Supercap パック) が付属しています。この電源は、統合された RAID サブシステムが電源喪失の発生時にキャッシュのコンテンツをフラッシュするまで保管しておける十分な時間、電源を供給します。サーバー内でフラッシュ電源モジュールを取り付ける位置については、106 ページの「ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」および 107 ページの「標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照してください。 • MegaRAID ファームウェアを実行するために ServeRAID コントローラーを有効にします。 • 72 ビットのメモリーをもっています。
ServeRAID M5100 Series 1 GB Flash/RAID 5 Upgrade (System x 用) (RAID キャッシュ・カード)	このキャッシュ・カードは、以下の ServeRAID コントローラー上のオプションの SAS アダプター・コネクタに取り付けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • RAID レベル 5 および 50 アップグレードのサポートを提供します。 • このキャッシュ・カードには、このカードに接続できるフラッシュ電源モジュール (Supercap パック) が付属しています。この電源は、統合された RAID サブシステムが電源喪失の発生時にキャッシュのコンテンツをフラッシュするまで保管しておける十分な時間、電源を供給します。リモート側からサーバー内にフラッシュ電

表 23. サポートされている RAID キャッシュ・カードとそのキャッシュ・カードを取り付けられる位置 (続き)

RAID キャッシュ・カード	カードを取り付ける位置	注
	<ul style="list-style-type: none"> • ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) 	<p>源モジュールを取り付ける位置については、106 ページの「ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」および 107 ページの「標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MegaRAID ファームウェアを実行するために ServeRAID コントローラーを有効にします。 • 72 ビットのメモリーをもっています。

サポートされる RAID アダプターについては、93 ページの「サポートされる RAID アダプター」を参照してください。サポートされる Features on Demand Software RAID については、97 ページの「サポートされる Features on Demand ソフトウェア」を参照してください。

サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター

サーバーでサポートされる ML2 (イーサネット) アダプターの概要については、以下の情報を参照してください。

以下の表では、サポートされるイーサネット・アダプターを示しています。これらのアダプターの取り付けに関する追加情報については、90 ページの「アダプターの取り付け」、98 ページの「標準またはハーフサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け」、および 35 ページの「標準 I/O ブック」を参照してください。

注：

- Lenovo サポート Web サイト (<http://www.lenovo.com/support>) にアクセスして、ML2 イーサネット・アダプターの最新のデバイス・ドライバーをダウンロードする必要があります。NIC アダプターの下でイーサネット・アダプターを探します。デバイス・ドライバーのインストール方法については、リリース・ノートおよび *read.txt* ファイルを使用してください。
- 各 ML2 (イーサネット) アダプターには、標準のプロファイル・ブラケットとロー・プロファイル・ブラケットが付属しています。1つのブラケットがすでに取り付けられている場合があります。

表 24. サポートされる ML2 (イーサネット) アダプターおよびアダプターを取り付ける位置

イーサネット・アダプター	アダプターを取り付ける位置	注記とフィーチャー
System x 向けの Intel X540 ML2 クアッド・ポート 1 Gb-T イーサネット・アダプター	このアダプターは、標準 I/O ブックのボードのスロット 10 にのみ取り付けることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • アダプターのポート 1 は、UEFI により有効にされた場合の IMM 共用モードのデフォルト・ポートです。 • このアダプターは以下のフィーチャーを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> - シングル・チップ、クアッド・ポート 1 Gb Base-T コントローラー (統合 MAC および PHY 付き) - PCI Express v2.1 (x1, x2, および x4 リンク幅に対する 5.0 GT/秒および 2.5 GT/秒サポート付き) - 側波帯インターフェースを介したパススルー (PT) 機能 - DMTF Network Controller Sideband Interface (NC-SI) - 1000BASE-T、100BASE-TX、および 10Base-T リンク・モード

表 24. サポートされる ML2 (イーサネット) アダプターおよびアダプターを取り付ける位置 (続き)

イーサネット・アダプター	アダプターを取り付ける位置	注記とフィーチャー
		<ul style="list-style-type: none"> - 柔軟なポート・パーティショニング (クアド・ポートでの 32 個の仮想機能またはデュアル・ポートでの 16 個の仮想機能)
<p>System x 向けの Intel I350-T4 ML2 デュアル・ポート 10 Gb-T イーサネット・アダプター</p>	<p>このアダプターは、標準 I/O ブックのボードのスロット 10 にのみ取り付けることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アダプターのポート 1 は、UEFI により有効にされた場合の IMM 共用モードのデフォルト・ポートです。 • このアダプターは以下のフィーチャーを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> - シングル・チップ、デュアル・ポート 10 Gb Base-T コントローラー (統合 MAC および PHY 付き) - 最大電力 12.5 ワット - LAN、iSCSI、および FCoE over 10 Gb Base-T を実現するユニファイド・ネットワーキング - 2 つの独立した 10 Gb Base-T インターフェース (SR-IOV サポート付き) - PCI Express v2.1 (x1、x2、x4、および x8 リンク幅に対する 5.0 GT/秒および 2.5 GT/秒サポート付き) - 10BASE-T、1000BASE-T、および 100BASE-TX リンク・モード
<p>System x 向けの Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10 Gb-SFP+ イーサネット・アダプター</p>	<p>このアダプターは、標準 I/O ブックのボードのスロット 10 にのみ取り付けることができます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • アダプターのポート 1 は、UEFI により有効にされた場合の IMM 共用モードのデフォルト・ポートです。 • このアダプターは FoD をサポートします。FCoE および iSCSI 拡張機能にアクセスしたい場合は、ライセンスまたはキー (System x 用の Emulex VFA5 ML2 FCoE/iSCSI ライセンス (FoD)) が必要です。 • このアダプターの場合、ファイバー接続に接続するには、サポートされる SFP トランシーバーまたは DAC ケーブルが必要です。 • このアダプターは以下のフィーチャーを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> - 4 つの SFI 10 Gb Base-R イーサネット・インターフェース - PCIe Gen3 x8 インターフェース - シングル・ルート I/O 仮想化 (SR-IOV) - イーサネット・ネットワーク・インターフェース (Layer 2 NIC) および TCP/IP - Fibre Channel over Ethernet (FCoE) - リモート・ダイレクト・メモリー・アクセス (RDMA)

表 24. サポートされる ML2 (イーサネット) アダプターおよびアダプターを取り付ける位置 (続き)

イーサネット・アダプター	アダプターを取り付ける位置	注記とフィーチャー
Broadcom NetXtremeII ML2 デュアル・ポート 10 Gb-T イーサネット・アダプター (System x 用)	このアダプターは、標準 I/O ブックのボードの slots 10 にのみ取り付けすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • アダプターのポート 1 は、UEFI により有効にされた場合の IMM 共有モードのデフォルト・ポートです。 • このアダプターは以下のフィーチャーを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> - 50 mm 幅 ML2 フォーム・ファクターで PCIe Gen2 x8 デュアル・ポート 10 Gb Base-T コントローラー - TCP/IP Offload (TOE)、Wake on LAN (WOL)、UCM および CIM 対応 - 標準の pNIC または vNIC2 モードをサポート - LAN および iSCSI over 10 Gb Base-T を実現するユニファイド・ネットワークング - 2 つの独立した 10 Gbp Base-T インターフェース (SR-IOV 機能付き) - PCI Express v2.1 (x8 リンク幅 10 Gb Base-T および 1000Base-T リンク・モードのサポート付き) - IMM2 共有ポート・アクセスに対応する DMTV Network Controller Sideband Interface (NC-SI)
Broadcom NetXtremeII ML2 デュアル・ポート 10 Gb-SFP+ イーサネット・アダプター (System x 用)	このアダプターは、標準 I/O ブックのボードの slots 10 にのみ取り付けすることができます。	<ul style="list-style-type: none"> • アダプターのポート 1 は、UEFI により有効にされた場合の IMM 共有モードのデフォルト・ポートです。 • このアダプターは以下のフィーチャーを提供します。 <ul style="list-style-type: none"> - 50 mm 幅 ML2 フォーム・ファクターで PCIe Gen2 x8 デュアル・ポート 10 Gb SFP+ コントローラー - TCP/IP Offload (TOE)、Wake on LAN (WoL)、UCM および CIM 対応 - 標準の pNIC または vNIC2 モードをサポート - LAN および iSCSI over 10 Gb SFP+ を実現するユニファイド・ネットワークング - 2 つの独立した 10 Gbp SFP+ インターフェース (SR-IOV 機能付き) - FTP+ SR 光ケーブルと SFP+ DAC ケーブルの両方を受け入れる PCI Express v2.1 (x8 リンク幅のサポート付き) - IMM2 共有ポート・アクセスに対応する DMTV Network Controller Sideband Interface (NC-SI)

サポートされる Features on Demand ソフトウェア

サポートされる Features on Demand ソフトウェアの概要については、以下の情報を参照してください。

次の表は、サポートされる Features on Demand (FoD) ソフトウェアのリストです。詳しくは、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#)を参照してください。Features on Demand ソフトウェアの使用可能化の詳細については、[149 ページの「Features on Demand イーサネット・ソフトウェアの有効化」](#)を参照してください。

表 25. サポートされる Features on Demand ソフトウェアおよび Features on Demand ソフトウェアに関する情報

Features On Demand ソフトウェア	注
System x 用 ServeRAID M1100 シリーズ・ゼロ・キャッシュ/RAID 5 のアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> RAID レベル 5 および 50 のサポートを提供します。
System x 用 ServeRAID M5100 シリーズ RAID 6 のアップグレード	<ul style="list-style-type: none"> RAID レベル 6 および 60 のサポートを提供します。
System x 用 ServeRAID M5100 シリーズ・パフォーマンス・アクセラレーター (FoD FastPath)	<ul style="list-style-type: none"> キャッシングに関連する処理オーバーヘッドを削減することによって、ソリッド・ステート・ドライブ RAID デバイスを加速します。 この機能を有効にするためには、RAID キャッシュ・カードの 1 つを RAID コントローラー上の RAID キャッシュ・カード・コネクタに取り付ける必要があります。
System x 用 ServeRAID M5100 シリーズ SSD キャッシング・イネーブラ (FoD Cachecade 1 または 2)	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク・ドライブ RAID アレイが独自のソリッド・ステート・ドライブ・キャッシュをもてるようにします。ソリッド・ステート・ドライブ・キャッシュは、コントローラー上の DRAM キャッシュよりはるかに大きく、よりよいパフォーマンスの加速を提供することができます。Cachecade 1 は読み取りキャッシュのみで、Cachecade 2 は書き込みキャッシングを追加します。

サポートされる RAID キャッシュ・カードおよび RAID コントローラーについては、94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」および 93 ページの「サポートされる RAID アダプター」を参照してください。サポートされるイーサネット・アダプターの詳細については、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」を参照してください。

標準またはハーフサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け

標準サイズまたはハーフサイズの I/O ブックにアダプターを取り付ける際の注意と手順については、以下の情報を参照してください。

注：

- アダプター取り付けに関する概要情報については、90 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。サポート対象のアダプターを取り付けられる I/O ブックの詳細については、93 ページの「サポートされる RAID アダプター」、94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」、および 92 ページの「サポートされる ホスト・バス・アダプター」を参照してください。
- 以下の説明は、サポートされているどのアダプター (たとえば、ネットワーク・アダプター) にも適用されます。

アダプターを取り付けるには、次のステップを実行してください。

注意： オプションの NVIDIA Grid K1 および K2、NVIDIA Tesla K20 および K40、NVIDIA Quadro K4000 および K6000 の各アダプターは、1TB 以上のシステム・メモリーを搭載したシステムには取り付けられないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこれらのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。これらのオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (<http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047>) を参照してください。

ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. アダプターに配線指示書がある場合は、その指示に従います。アダプターを取り付ける前に、アダプター・ケーブルを配線しておきます。
- ステップ 4. 障害が起きたアダプターが取り付けられている I/O ブックを取り外します。I/O ブックについて記載されている取り外し手順に従ってください。
- ステップ 5. PCIe 保持レバーを開き、アダプターを取り付けようとしているスロットから拡張スロット・カバーを取り外します。
- ステップ 6. PCIe 保持レバーが開いた位置にあることを確認します。
- ステップ 7. アダプターの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、アダプターの上端または上部の隅をつかんで、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 8. 切り欠きがボード上のコネクターの位置に正しく合うように、アダプターの位置を合わせます。
- ステップ 9. アダプターをコネクターに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクターを I/O ブックのボード上のコネクターの位置に合わせます。アダプター上のコネクターの端をコネクターにしっかり押し込みます。アダプターが I/O ブックのボード上のコネクターにカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

注意: サーバーの電源を入れる前に、アダプターがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します。アダプターを正しく取り付けないと、I/O ブックのボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。

- ステップ 10. PCIe 保持レバーを閉じます。
- ステップ 11. 該当する場合は、すべてのケーブルをアダプターに接続します。

注: アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、およびアダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプに応じて) に接続します。

- ステップ 12. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。

フルサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け

フルサイズ I/O ブックにアダプターを取り付ける方法については、以下の情報を参照してください。

注:

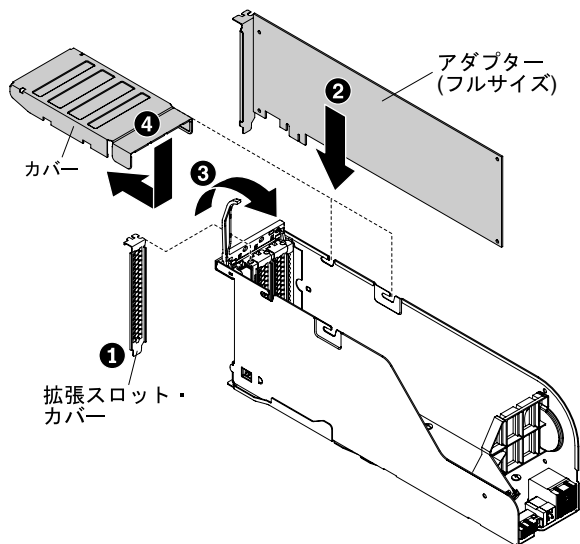
- サーバーにアダプターを取り付けるときに考慮する必要があるその他の注意および情報については、90 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。
- フルサイズ I/O ブックおよびボード上のコネクターの位置に関する詳細については、39 ページの「フルサイズ I/O ブック」を参照してください。

アダプター フルサイズ I/O ブック を取り付けるには、次のステップを実行してください。

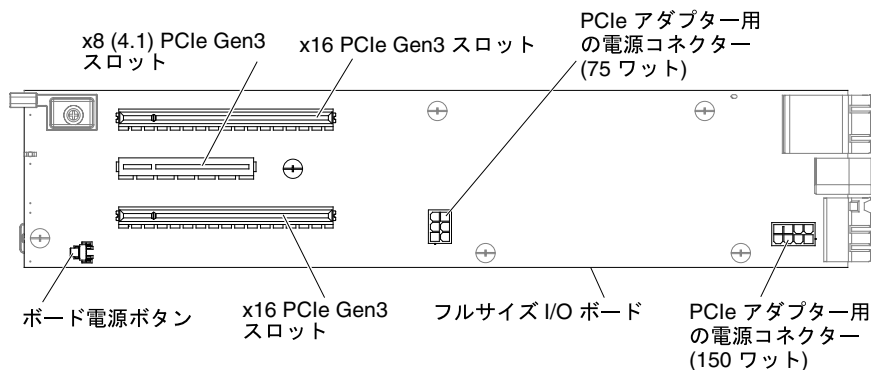
- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. アダプターに配線指示書がある場合は、その指示に従います。アダプターを取り付ける前に、内部アダプターのケーブルを配線します。

- ステップ3. サーバーからフルサイズ I/O ブックを取り外します (243 ページの「フルサイズ I/O ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ4. 以下のようにして、I/O ブックのカバーを取り外します。カバーを上方向にスライドさせ、持ち上げてI/O ブックから外します。
- ステップ5. PCIe 保持レバーが開いた位置にあることを確認します。
- ステップ6. 拡張スロット・カバーを取り外します。
- ステップ7. アダプターが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させた後、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ8. アダプターをボード上のコネクタに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクタをI/O ブックのボード上のコネクタの位置に合わせます。
- ステップ9. アダプター上のコネクタの端をボード上のコネクタにしっかり押し込みます。アダプターがコネクタにカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

注意：アダプターを取り付けるときに、アダプターが正しくボード上のコネクタに接続されていることを確認してから、サーバーの電源をオンにしてください。アダプターを正しく取り付けないと、ボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。



- ステップ10. 補助電源ケーブルをアダプターからボードに接続します (ボード上のコネクタの位置については、次の図を参照)。



- ステップ11. PCIe 保持レバーを閉じて、アダプターを所定の場所にしっかり固定します。
- ステップ12. 必要があれば、ケーブルをアダプターに接続します。
- ステップ13. フルサイズ I/O ブック でカバーを再取り付けします。

ステップ 14. サーバーに I/O ブックを再取り付けします。

ステップ 15. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

ステップ 16. 取り外してあったサーバーの電源コードとすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 17. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

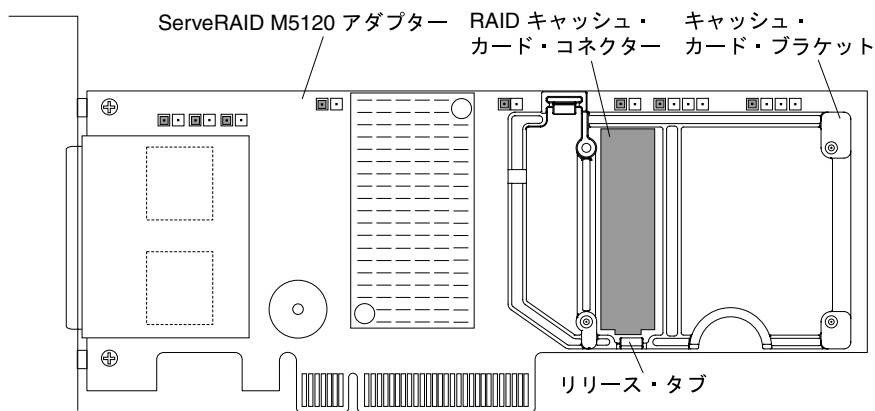
特定のオプションのアダプターの取り付け

以下のトピックでは、サーバーにオプションのアダプターを取り付ける具体的な手順を説明します。

以下のトピックでは、特別なインストール要件があるアダプターのインストール手順を説明します。

オプションの ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラーの取り付け

ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラーの取り付け方法については、以下の情報を参照してください。



オプションの ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) を購入することができます。このアダプターは、93 ページの「サポートされる RAID アダプター」にリストされている PCIe スロットにのみ取り付けすることができます。構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.lenovo.com/support>) を参照してください。

注意：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

注：

- このアダプターは外部 RAID 用で、サーバーに外部ストレージ拡張ユニットが接続されている場合に使用することができます。
- アダプターの取り付けの詳細および注意事項については、90 ページの「アダプターの取り付け」および 93 ページの「サポートされる RAID アダプター」を参照してください。
- ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプターは、ベース RAID レベル 0、1、および 10 のサポートを提供します。
- このアダプターには RAID キャッシュ・カードが付属しています。キャッシュ・カードには、フラッシュ電源モジュールが付属しています。フラッシュ電源モジュールをこのアダプターに接続する場合は、アダプターとフラッシュ電源モジュールを標準 I/O ブックに取り付ける必要があります。サーバー内で RAID フラッシュ電源モジュールを取り付ける場所については、107 ページの「標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」および 106 ページの「ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照してください。

ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. 障害が起きたアダプターが取り付けられている I/O ブックを取り外します。I/O ブックについて記載されている取り外し手順に従ってください。
- ステップ 4. PCIe 保持レバーを開き、アダプターを取り付けようとしているスロットから拡張スロット・カバーを取り外します。
- ステップ 5. PCIe 保持レバーが開いた位置にあることを確認します。
- ステップ 6. アダプターの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、アダプターの上端または上部の隅をつかんで、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 7. RAID キャッシュ・カードがまだアダプターに接続されていない場合には、キャッシュ・カードの取り付けと配線の方法について、105 ページの「RAID キャッシュ・カードの取り付け」を参照してください。フラッシュ電源モジュールがキャッシュ・カードに付属している場合は、フラッシュ電源モジュールを保管する場所について、106 ページの「ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」および 107 ページの「標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照してください。
- ステップ 8. 切り欠きが I/O ブックのボード上のコネクターの位置に正しく合うように、アダプターの位置を合わせます。
- ステップ 9. アダプターをコネクターに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクターを I/O ブックのボード上のコネクターの位置に合わせます。アダプター上のコネクターの端をコネクターにしっかり押し込みます。アダプターが I/O ブックのボード上のコネクターにカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。
- 注意: サーバーの電源を入れる前に、アダプターがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します。アダプターを正しく取り付けないと、I/O ブックのボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。
- ステップ 10. PCIe 保持レバーを閉じます。
- ステップ 11. 取り外した I/O ブックの再取り付け手順を実行します。
- ステップ 12. 必要があれば、すべての外部ケーブルをアダプターに接続します。

注: アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、およびアダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプに応じて) に接続します。

- ステップ 13. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、126 ページの「取り付けの完了」に進みます。

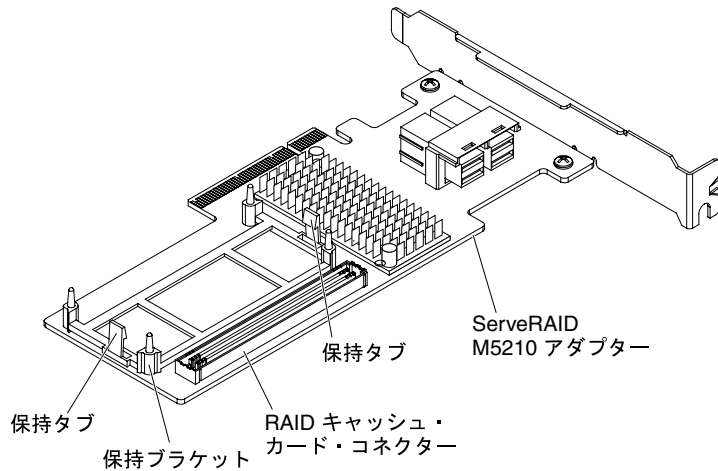
ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラーの取り付け

このアダプターをサーバーに取り付ける際に考慮する必要のある注意および情報と、サーバーへのアダプターの取り付け手順については、以下の情報を参照してください。

オプションの ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー (System x 用) を購入できます。構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.lenovo.com/support>) を参照してください。

注意：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

次の図は、ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー (System x 用) を示しています。



注：

- このアダプターは、ストレージ・ブックのPCIe スロットにのみ取り付けする必要があります。詳細については、[27 ページの「ストレージ・ブック」](#) を参照してください。
- アダプターの取り付けの詳細および注意事項については、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#) および [93 ページの「サポートされる RAID アダプター」](#) を参照してください。
- アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、アダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプによって異なります) に接続します。

ServeRAID M5210 SAS/SATA アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. ストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#) を参照)。
- ステップ 4. PCIe 保持レバーを開き、アダプターを取り付けようとしているスロットから拡張スロット・カバーを取り外します。
- ステップ 5. アダプターの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、アダプターの上端または上部の隅をつかんで、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 6. 切り欠きが I/O ブックのボード上のコネクタの位置に正しく合うように、アダプターの位置を合わせます。
- ステップ 7. アダプターをコネクタに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクタを I/O ブックのボード上のコネクタの位置に合わせます。アダプター上のコネクタの端をコネクタにしっかり押し込みます。アダプターが I/O ブックのボード上のコネクタにカチッ

と音を立ててしっかり収まったか確認してください。SAS/SATA アダプターを、しっかりと取り付けられるまでコネクタに挿入します。

注意：サーバーの電源を入れる前に、アダプターがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します。アダプターを正しく取り付けないと、I/O ブックのボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。

ステップ 8. PCIe 保持レバーを閉じます。

ステップ 9. 該当する場合は、すべてのケーブルをアダプターに接続します。

注：アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、およびアダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプに応じて) に接続します。

ステップ 10. ストレージ・ブックを再取り付けします。

ステップ 11. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

System x 用 N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターの取り付け

N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターを取り付ける方法については、以下の情報を参照してください。

System x 向けの N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターをオプションで購入することができます。このソリッド・ステート・ドライブ・コントローラーは RAID をサポートしていませんが、RAID のサポートを必要としないアプリケーションで最適化されたパフォーマンスの提供に役立ちます。構成情報については、アダプターに付属の資料を参照してください。

注意：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

注：

- このアダプターは、ストレージ・ブック内の PCIe スロットにのみ取り付ける必要があります。コネクタの場所については、[27 ページの「ストレージ・ブック」](#)を参照してください。
- アダプターの取り付けの詳細および注意事項については、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#)を参照してください。
- アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、アダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプによって異なります) に接続します。

アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。

ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。

ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#)を参照)。

- ステップ 4. PCIe 保持レバーを開き、アダプターを取り付けようとしているスロットから拡張スロット・カバーを取り外します。
- ステップ 5. アダプターの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、アダプターの上端または上部の隅をつかんで、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 6. 切り欠きがストレージ・ブックのボード上のコネクターの位置に正しく合うように、アダプターの位置を合わせます。
- ステップ 7. アダプターをコネクターに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクターをストレージ・ブックのボード上のコネクターの位置に合わせます。アダプター上のコネクターの端をコネクターにしっかり押し込みます。アダプターがストレージ・ブックのボード上のコネクターにカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

注意: サーバーの電源を入れる前に、アダプターがコネクターに正しく取り付けられていることを確認します。アダプターを正しく取り付けないと、ストレージ・ブックのボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。

- ステップ 8. 該当する場合は、すべてのケーブルをアダプターに接続します。

注: アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、およびアダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプに応じて) に接続します。

- ステップ 9. PCIe 保持レバーを閉じます。
- ステップ 10. ストレージ・ブック を再取り付けします。
- ステップ 11. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページ](#)の「**取り付けの完了**」に進みます。

RAID キャッシュ・カードの取り付け

RAID キャッシュ・カードを取り付ける方法については、以下の情報を参照してください。

サーバーは、オプションの RAID キャッシュ・カードをサポートします。このカードを RAID アダプターの RAID キャッシュ・カード・コントローラーに取り付けると、RAID レベル 5 および 50 のサポートにアップグレードすることができます。キャッシュ・カードの詳細、および RAID アダプターでサポートされるキャッシュ・カードについては、[94 ページ](#)の「**サポートされる RAID キャッシュ・カード**」を参照してください。

RAID キャッシュ・カードを取り付けるには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページ](#)の「**安全について**」、および [48 ページ](#)の「**取り付け作業上の注意事項**」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページ](#)の「**サーバーの電源をオフにする**」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. アダプターにキャッシュ・カードを取り付けようとしている I/O ブックを取り外す手順に従います。
- ステップ 4. キャッシュ・カードの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、キャッシュ・カードの端をつかんで、パッケージから取り出します。

- ステップ 5. キャッシュ・カードをアダプター上の RAID キャッシュ・カード・スロットと位置合わせし、コネクタの上に下ろしてはめます。
- ステップ 6. カチッと音がしてキャッシュ・カードがコネクタ上の定位置に収まり、しっかり取り付けられるまで、キャッシュ・カードの中央をゆっくり押し下げます。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページ](#)の「[取り付けの完了](#)」に進みます。

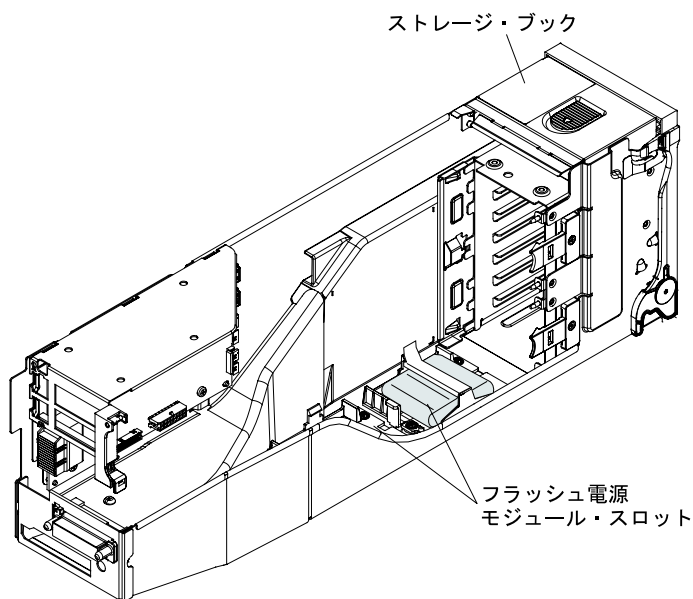
ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け

ストレージ・ブックに RAID フラッシュ電源モジュールを取り付ける手順については、以下の情報を参照してください。

注：ストレージ・ブックには、最大 2 個の RAID フラッシュ電源モジュールを取り付けることができます。

フラッシュ電源モジュールが付属している複数の RAID アダプターを取り付ける場合、それらをストレージ・ブック内部のスロットに取り付けてください。ストレージ・ブックに RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページ](#)の「[安全について](#)」、および [48 ページ](#)の「[取り付け作業上の注意事項](#)」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、すべての電源コードと外部デバイスを切り離します。
- ステップ 3. ストレージ・ブックを取り外します ([281 ページ](#)の「[ストレージ・ブックの取り外し](#)」を参照)。
- ステップ 4. 必要な場合は、下部のドライブ・バックプレーンからケーブルを切り離します。
- ステップ 5. フラッシュ電源モジュール・スロットの保持クリップを開きます。青色のタブを外側に押し、保持クリップを開きます (フラッシュ電源のスロットの位置については、次の図を参照)。



- ステップ 6. 保持クリップを止まるまで上に回転させます。
- ステップ 7. ストレージ・ブックの背面から、ケーブルを下にしてフラッシュ電源モジュールをフラッシュ電源モジュール・スロットに挿入します。

ステップ 8. 電源モジュールに付属の延長ケーブルの一方の端をフラッシュ電源モジュール・ケーブルに接続して、延長ケーブルのもう一方の端をアダプターに接続します。

ステップ 9. 保持クリップを下に向かって回転させ、カチッと音がするまで押します。

ステップ 10. ケーブルをドライブ・バックプレーンに再接続します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

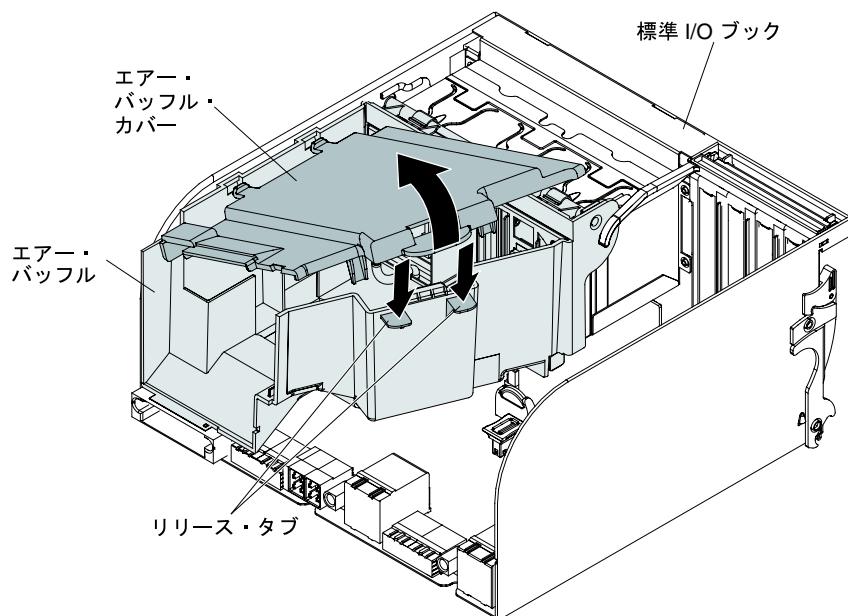
標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け

標準 I/O ブックに RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールを取り付ける手順については、以下の情報を参照してください。

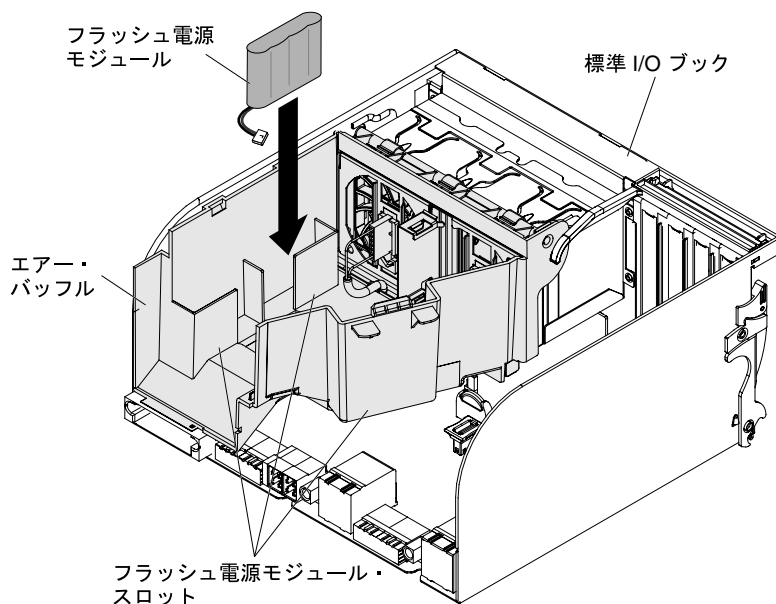
注：標準 I/O ブックには、最大 3 個の RAID フラッシュ電源モジュールを取り付けることができます。

フラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを標準 I/O ブックに取り付ける場合は、過熱を防止するために、標準 I/O ブックのエアール・バッフル内のスロットにフラッシュ電源モジュールを取り付けてください。RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールをエアール・バッフル内に取り付けるには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーおよび周辺デバイスの電源をオフにし、すべての電源コードと外部デバイスを切り離します。
- ステップ 3. 標準 I/O ブックを取り外します ([236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ 4. エアール・バッフルの本体の下部タブを押し下げながら、エアール・バッフルのトップ・カバー・タブを引き上げます。



ステップ 5. ケーブルを下にしてフラッシュ電源モジュールをエアール・バッフルのスロットに挿入します。



- ステップ 6. フラッシュ電源モジュールを(標準 I/O ブックの前面から見て) エアール・バッフルの左側にある 2 個のスロットに取り付ける場合、エアール・バッフルの横にあるクリップと穴にケーブルを通します。エアール・バッフルの右側にあるスロットにフラッシュ電源モジュールを取り付ける場合は、フラッシュ電源モジュール・スロットの下にある穴にケーブルを通します。
- ステップ 7. 電源モジュールに付属の延長ケーブルの一方の端をフラッシュ電源モジュール・ケーブルに接続して、延長ケーブルのもう一方の端をアダプターに接続します。
- ステップ 8. エアール・バッフル・カバーを交換します。カバーのタブをエアール・バッフルのスロットと位置合わせして、カバーを下に向かって回転させてから、ラッチが掛かるまでカバーを押し下げます。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

電源の取り付け

サーバーがサポートする電源のタイプと、取り付けの規則と装着順序に関する情報の概要については、以下の情報を参照してください。

このサーバーは、900 ワット AC 電源、1400 ワット AC 電源、および 750 ワット、-48 ボルトの DC 電源をサポートします。サポートされている電源、および電源の取り付け手順に関する詳細については、[114 ページの「1400 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ電源の取り付け」](#)および[110 ページの「750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り付け」](#)を参照してください。

注：本書に記載されている情報および手順は、4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの両方に適用されます。

以下のリストには、このサーバーがサポートする電源のタイプと、電源の取り付け時に考慮すべきその他の情報が記載されています。

- 工場出荷時のサーバーのデフォルトの電源構成設定は、非冗長モードで、AC と DC の両方の電源モデルに対してスロットルが有効に設定されています。このモードを冗長モードに変更したい場合は、IMM2 Web インターフェースを使用して、電源の電源ポリシーとシステム電源構成オプションの設定および変更を行う必要があります。IMM2 Web インターフェース、CIM、または Advanced Settings Utility を使用して、ポリシーおよび構成を設定および変更することができます。UEFI Setup Utility を使用して「Power Policy」または「System Power Configurations」の設定を設定または変更することはできません。詳しくは、[147 ページの「電源の電源ポリシーとシステム電源構成の設定」](#)を参照してください。

- 2 個の電源入力フィードを使用する場合は、電源 1 および 3 を入力フィード A に接続して、電源 2 および 4 を入力フィード B に接続します。
- 同一サーバー内で AC 電源と DC 電源を混用することはできません。
- 電源ベイは 2 つの電源ドメインに分けられています。電源ベイ 1 と 3 は電源ドメイン A、電源ベイ 2 と 4 は電源ドメイン B にあります。
- 750 ワット -48 ボルト DC 電源と 900 ワット電源を取り付ける場合は、電源スペーサーを使用する必要があります。
- 次の表に、サポートされている電源構成での装着順序をリストします。これらの構成は、8 ソケット・サーバーのそれぞれの 4 ソケット・ノードに適用されます。

表 26. 各 4 ソケット・ノードのサポートされる電源構成の装着順序

電源構成	注:
1 つの電源	電源をベイ 3 に取り付けます。この構成は、電源の冗長性をサポートしません。ベイ 1、2、および 4 には、電源フィルターを取り付ける必要があります。
2 つの電源	電源をベイ 2 および 3 に取り付けて、フィードの冗長性のために各電源を別々の電源フィードに接続します。両方の電源のタイプが同じでなければなりません(つまり、同じワット数、AC 電源または DC 電源)。ベイ 1 および 4 には、電源フィルターを取り付ける必要があります。
4 つの電源	電源 1、2、3、および 4 の入力タイプが同じでなければなりません(つまり、すべてが AC 電源、またはすべてが DC 電源)。

- 4 つの 750 ワット、-48 ボルト DC 電源は、サーバーがサポートする唯一の 750 ワット、-48 ボルトの DC 電源構成です(4 ソケット・ノードごとに)。
- 次の表に、220 V AC と 110 V AC の両方でサポートされる AC 電源構成をリストします。これらの構成は、8 ソケット・サーバーのそれぞれの 4 ソケット・ノードに適用されます。

表 27. 各 4 ソケット・ノードのサポートされる AC 電源構成 (220 V AC および 110 V AC の両方)

電源数	電源のワット数
1	900 ワット
1	1400 ワット
2	900 ワット
2	1400 ワット
4	900 ワット 2 つと 1400 ワット 2 つ
4	900 ワット
4	1400 ワット

- サーバーで 900 ワットと 1400 ワットの電源を混用する場合、下表にリストされているように電源を取り付ける必要があります。これらの構成は、8 ソケット・サーバーのそれぞれの 4 ソケット・ノードに適用されます。

表 28. 各 4 ソケット・ノードで 900 ワットと 1400 ワットの AC 電源を混用する場合のサポート構成

注: 2 個の電源入力フィードを使用する場合は、電源 1 および 3 を入力フィード A に接続して、電源 2 および 4 を入力フィード B に接続します。

表 28. 各 4 ソケット・ノードで 900 ワットと 1400 ワットの AC 電源を混用する場合のサポート構成 (続き)

電源のベイ番号	電源のワット数
ベイ 1 および 4	900 ワット
ベイ 2 および 3	1400 ワット
または	
ベイ 1 および 4	1400 ワット
ベイ 2 および 3	900 ワット

750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り付け

750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源を取り付ける際に注意すべき考慮事項と、750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源をサーバーに取り付ける手順については、以下の情報を参照してください。

注：

- 以下の情報は、4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの両方に適用されます。
- 4 つの 750 ワット、-48 DC 電源は、サーバーがサポートする唯一の 750 ワット、-48 ボルトの DC 電源構成です (4 ソケット・ノードごとに)。
- -48 ボルトから -60 ボルトの DC 入力ソースから給電される 4 つの 750 ワットのホット・スワップ電源は、限定された構成用に N+N 冗長性サポートを提供します。
- サーバーに電源を取り付けるときに考慮する必要があるその他の注意および情報については、[108 ページ](#)の「電源の取り付け」を参照してください。

以下の注意書きでは、750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源を取り付ける際に考慮する必要がある事項について説明します。取り付ける電源をサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。

注意:

- 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源の取り付けと取り外し、および 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源への接続およびここからの切り離しは、Lenovo 認定サービス技術員以外の訓練を受けたサービス担当員のみ許可されています。
- Lenovo サービス技術員は、750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを認定もしくは許可されていません。750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源ケーブルの取り付けまたは取り外しは訓練を受けたサービス技術員のみが行うように、お客様の責任でご手配ください。
- サーバーには最大 4 つの DC 電源 (4 ソケット・ノードあたり) または最大 4 つの AC 電源 (4 ソケット・ノードあたり) を取り付けることができますが、同じサーバー内で DC と AC の電源を混用することはできません。
- 電源ベイは 2 つの電源ドメインに分割されています (それぞれ 4 ソケット・ノード)。電源ベイ 1 と 3 は電源ドメイン A、電源ベイ 2 と 4 は電源ドメイン B にあります。
- 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源を取り付ける際には、感電あるいは電力災害のリスクを減らすために、次の手順に従ってください。
 - 定格 40 アンペアの回路ブレーカーを使用します。
 - 4 mm² (10 AWG) 60° C 銅線を使用します。
 - 電源ケーブルを正しい長さに切断します。ただし、150 mm より短く切断しないでください。
 - 配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めてください。

安全 8



警告:

電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



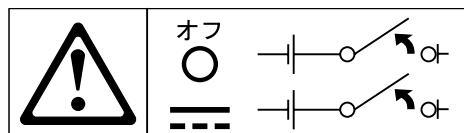
このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部に、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

安全 19:



警告:

デバイスの電源制御ボタンは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには、DC 電源への複数の接続がある場合もあります。デバイスから完全に電気を取り除くには DC 電源入力端子からすべての DC 電源接続を切り離してください。



安全 31:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の 設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線された電源に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、デバイスのカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

- 1.本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
- 2.信号ケーブルを製品に接続します。
- 3.電源コードを製品に接続します。
 - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
 - DC システムの場合、-48 V DC 接続の正しい極性であることを確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。アース接地には、安全のために 2 つ穴ラグを使用する必要があります。
- 4.信号ケーブルを他のデバイスに接続します。
- 5.電源コードを電源に接続します。
- 6.すべての電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

- 1.本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
 - AC システムの場合は、AC 電力配分装置で電源を遮断するため、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外します。
 - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を切断するか、電源をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
- 2.信号ケーブルをコネクタから取り外します。
- 3.すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

安全 34:



警告:

感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。
- 装置は適切に接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。
- 分岐回路の過電流保護のために必要な回路ブレーカーの定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。
- 銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 配線端子ねじの締め付けトルクに必要な値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。

注：以下の説明は、4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの両方に適用されます。

750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源を取り付けるには、以下のステップを実行します。

注：750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源の取り付けと取り外し、および 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源への接続およびここからの切り離しは、Lenovo 認定サービス技術員以外の訓練を受けたサービス担当員のみ許可されています。Lenovo 認定サービス技術員は、750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを認定もしくは許可されていません。750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源ケーブルの取り付けまたは取り外しは訓練を受けたサービス技術員のみが行うように、お客様の責任でご手配ください。

ステップ 1. 作業を開始する前に、このセクションの最初にある注意、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。サーバーからすべての外部ケーブルを切り離します。

注意：静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法については、50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」を参照してください。

ステップ 3. DC 電源の回路ブレーカー (複数の場合もあり) の電源をオフにします。

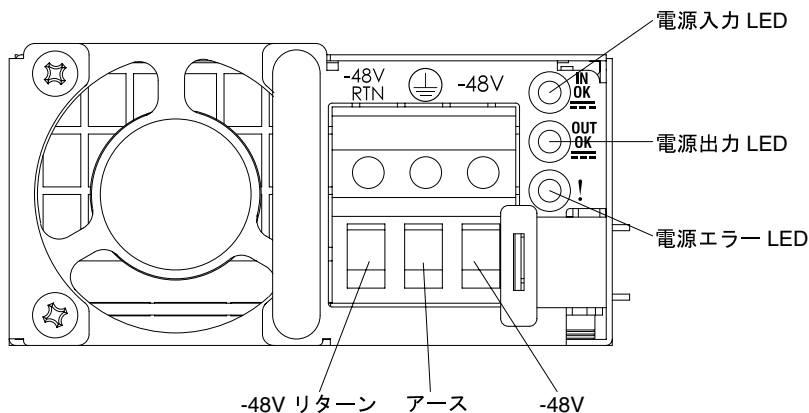
注：定格 40 アンペアの回路ブレーカーを使用していることを確認します。

ステップ 4. 電源を取り付ける電源ベイから、電源フィルター・パネルを取り外します。フィルターは、後で使用するために保存しておきます。

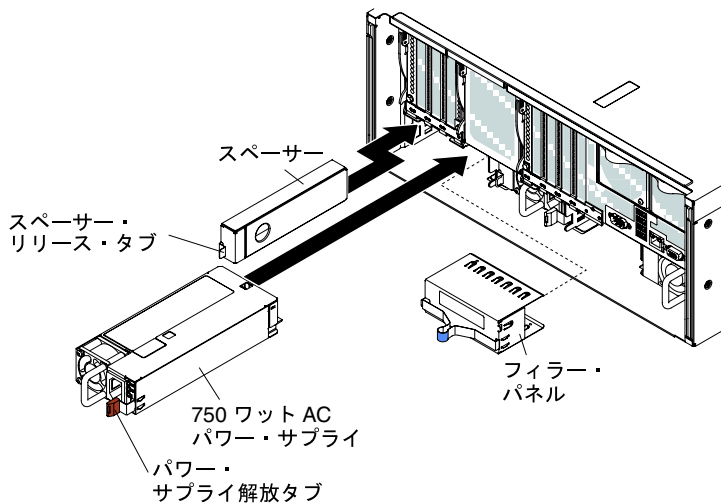
ステップ 5. サーバーの塗装されていない金属面に、電源が入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、電源をパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。

ステップ 6. 新しい電源に DC 電源ケーブルを取り付けます。電源ケーブルのワイヤーが -48 V、アース、および -48 V リターン端子 (以下の図に示します) に確実に接続されていることを確認します。次の点を確認します。

1. 4 mm² (10 AWG) 60° C 銅線を使用します。
2. 電源ケーブルを正しい長さに切断します。ただし、150 mm より短く切断しないでください。
3. 配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めてください。



ステップ 7. 電源ベイの (ベイの壁面に向かって) 左側に電源スパーサーを挿入し、電源ベイの側面のタブに収まってカチッと音がするまでスライドさせます。



ステップ 8. 電源背面にあるハンドルをつかみ、電源を、カチッと音がしてコネクタにしっかりと収まるまでスライドさせ、ベイ (スペーサーの隣) に挿入します。

ステップ 9. DC 電源ケーブルのもう一方の端を DC 電源に接続します。

注：追加の電源を取り付ける場合は、電源オプションに付属している電源定格ラベルをサーバー背面に貼り付けます。



ステップ 10. DC 電源の回路ブレーカー (複数の場合もあり) の電源をオンにします。

ステップ 11. 電源ケーブルが誤って抜けないように、サーバー背面にあるケーブル用の面ファスナーを使用して電源コードを配線します。

ステップ 12. すべてのケーブルを周辺デバイスに再び取り付けます。

ステップ 13. サーバーを再起動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認してください。

1400 ワットまたは 900 ワットのホット・スワップ電源の取り付け

1400 ワットまたは 900 ワットの AC ホット・スワップ電源をサーバーに取り付ける際に考慮する必要のある取り付け手順と注意については、以下の情報を参照してください。

注：以下の情報および手順は、4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの両方に適用されます。

以下のリストは、サーバーにホット・スワップ 1400 ワットまたは 900 ワットの AC ホット・スワップを取り付ける際に考慮すべき情報について、説明しています。

- 追加の電源または別の電源を取り付ける場合は、新しい電源オプションに付属している電源定格ラベルをサーバー背面に貼り付けます。
- 110 V 入力ソースから給電される 4 つの 900 ワットまたは 4 つの 1400 ワットのホット・スワップ電源は、(4 ソケット・ノードごとに) 限定された構成用の N+N 冗長性サポートを提供します。
- 220 V AC 入力ソースから給電される 4 つの 1400 ワットのホット・スワップ電源は、(4 ソケット・ノードごとに) 完全構成用の N+N 冗長性サポートを提供します。
- 電源ベイは 2 つの電源ドメインに分けられています。電源ベイ 1 と 3 は電源ドメイン A、電源ベイ 2 と 4 は電源ドメイン B にあります。
- 取り付ける電源をサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

- サーバーに電源を取り付けるときに考慮する必要があるその他の注意および情報については、108ページの「電源の取り付け」を参照してください。
- 次の表に、サポートされている電源構成での装着順序をリストします。これらの構成は、8ソケット・サーバーのそれぞれの4ソケット・ノードに適用されます。

表 29. 各 4 ソケット・ノードのサポートされる電源構成の装着順序

電源構成	注:
1つの電源	電源をベイ3に取り付けます。この構成は、電源の冗長性をサポートしません。ベイ1、2、および4には、電源フィルターを取り付ける必要があります。
2つの電源	電源をベイ2および3に取り付けて、フィードの冗長性のために各電源を別々の電源フィードに接続します。両方の電源のタイプが同じでなければなりません(つまり、同じワット数、AC電源またはDC電源)。ベイ1および4には、電源フィルターを取り付ける必要があります。
4つの電源	電源1、2、3、および4の入力タイプが同じでなければなりません(つまり、すべてがAC電源、またはすべてがDC電源)。

- サーバーで900ワットと1400ワットの電源を混用する場合、下記にリストされているように電源を取り付ける必要があります。

表 30. 4電源構成で900ワットと1400ワットのAC電源を混用する場合の装着順序(4ソケット・ノードごとに)

注: 2個の電源入力フィードを使用する場合は、電源1および3を入力フィードAに接続して、電源2および4を入力フィードBに接続します。

電源の装着順序	電源のワット数
ベイ1および4	900ワット
ベイ2および3	1400ワット
または	
ベイ1および4	1400ワット
ベイ2および3	900ワット

- 次の表に、220V ACと110V ACの両方でサポートされるAC電源構成をリストします。:

表 31. 各 4 ソケット・ノードのサポートされるAC電源構成(220V ACおよび110V ACの両方)

電源数	電源のワット数
1	900ワット
1	1400ワット
2	900ワット
2	1400ワット
4	900ワット2つと1400ワット2つ
4	900ワット
4	1400ワット

安全 5



警告：

デバイスの電源制御ボタンおよび電源の電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには2本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



警告：

電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

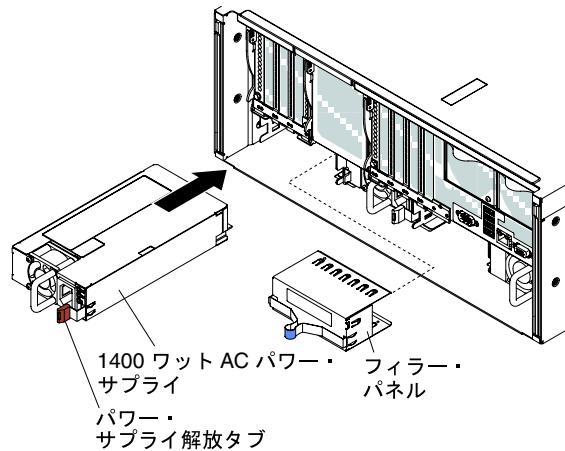


このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ電源を取り付けるには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの塗装されていない金属面に、電源が入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、電源をパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
- ステップ 3. 電源を空のベイに取り付ける場合は、電源ベイから電源フィルター・パネルを取り外します。
- ステップ 4. 電源を取り付けるには、以下のいずれかの手順を使用します。
 - a. 1400 ワット電源を取り付けるには、次の手順に従ってください。

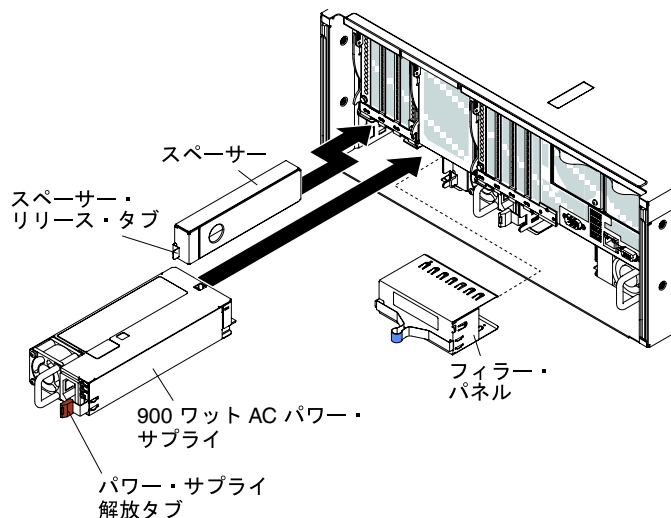
1. 電源後部のハンドルをつかみ、電源の前方にスライドして、しっかり収まるまで電源ベイに入れます。電源が電源コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。



2. 117 ページの **ステップ 5** に進みます。

b. 900 ワット電源を取り付けるには、次の手順に従ってください。

1. 電源ベイの(ベイの壁面に向かって)左側に電源スペーサーを挿入し、カチッと音がしてベイの側面のタブに収まるまでスライドさせます。



2. 電源背面にあるハンドルをつかみ、電源を前方にスライドさせて、カチッと音がするまで電源ベイ(スペーサーの隣)に挿入します。電源が電源コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。

3. 117 ページの **ステップ 5** に進みます。

ステップ 5. 電源コードが誤って抜けないように、サーバー背面にあるケーブル用の面ファスナーを使用して電源コードを配線します。

ステップ 6. 新しい電源の電源コードを、電源の電源コード・コネクタに接続します。

ステップ 7. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。

ステップ 8. 電源の AC 電源 LED が点灯していることを確認します。これは、十分な電力が電源コードを介して電源に供給されていることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。その他の LED の組み合わせについては、170 ページの「電源 LED」を参照してください。エラー LED が点灯していないことを確認します。

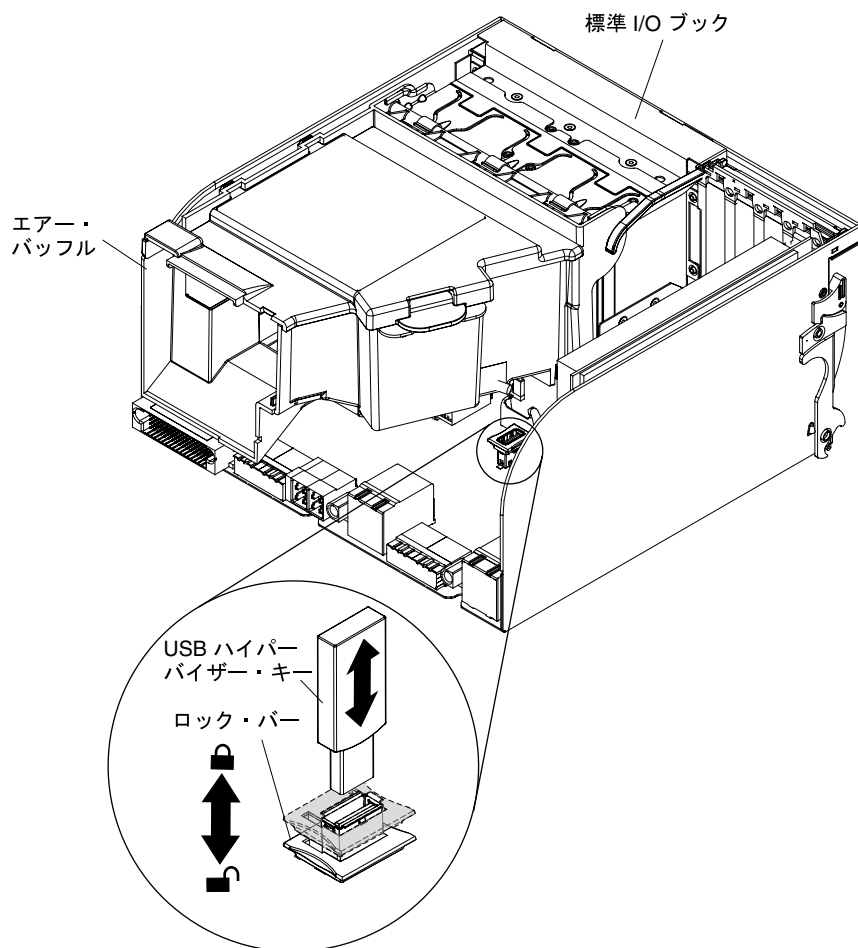
ステップ9. サーバーを再起動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラーLEDが点灯していないことを確認します。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り付け方法については、以下の情報を参照してください。

ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ3. 標準 I/O ブックを取り外します ([236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ4. 標準 I/O ブック・ボード上の USB フラッシュ・デバイス (ハイパーバイザー) コネクタを見つけます (コネクタの位置については、[35 ページの「標準 I/O ブック」](#)を参照してください)。
- ステップ5. USB (ハイパーバイザー) コネクタ上のロック・バーが、ロック解除位置 (下) にあることを確認します。
- ステップ6. USB フラッシュ・デバイスを標準 I/O ブックのボード上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクタに押し込みます。
- ステップ7. ロック・バーがしっかりと収まるまで、ロック・バーをロック位置までスライドさせます。



他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページ](#)の「取り付けの完了」に進みます。

ドライブ・バックプレーンの取り付け

ここでは、ドライブ・バックプレーンをサーバーに取り付ける手順について説明しています。

以下のトピックでは、サポートされているドライブ・バックプレーンをサーバーに取り付ける手順について説明します。

8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの取り付け

ここでは、サーバーに 8x1.8 型ドライブ・バックプレーンを取り付ける手順について説明しています。

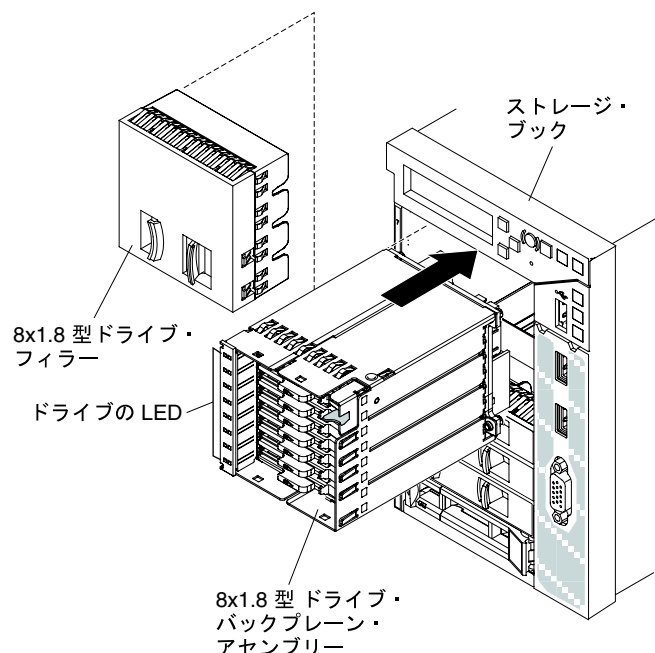
注：

- バックプレーンを制御するためにサーバーに取り付ける SAS/SATA アダプターは、2つの内部 4 レーン SAS/SATA 信号コネクターに対応している必要があります。
- コントローラー、バックプレーン、およびドライブをサポートするために、このサーバーには、マイクロプロセッサとメモリーが取り付けられたコンピュート・ブックが少なくとも 2 つ必要です。
- 8x1.8 型ドライブ・バックプレーン・アセンブリを取り付けると、サーバーの前面ベゼルに示されているドライブ ID は有効ではなくなります。バックプレーンに付属のドライブ・ラベルを使用して、ベゼルのドライブ ID を再番号付けしてください。

- ドライブ ID の詳細については、74 ページの「[ドライブ ID](#)」を参照してください。サポートされるドライブ・バックプレーン構成の詳細については、76 ページの「[サポートされるドライブ・バックプレーン構成](#)」を参照してください。

8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーを取り付けるには、以下の手順を実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「[安全について](#)」、および 48 ページの「[取り付け作業上の注意事項](#)」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「[サーバーの電源をオフにする](#)」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. ストレージ・ブックを取り外します (281 ページの「[ストレージ・ブックの取り外し](#)」を参照)。
- ステップ 4. バックプレーンと取り付けようとしているバックプレーン・ベイに関連するベイについて、サーバー前面からドライブ・ベイ・フィルターを取り外します。
- ステップ 5. バックプレーン・アセンブリーを取り付けるバックプレーン・ベイにバックプレーン・フィルター・パネルが取り付けられている場合は、そのバックプレーン・フィルター・パネルを取り外します。
- ステップ 6. バックプレーン・アセンブリーを、アセンブリーを取り付けるバックプレーン・ベイに位置合わせします。



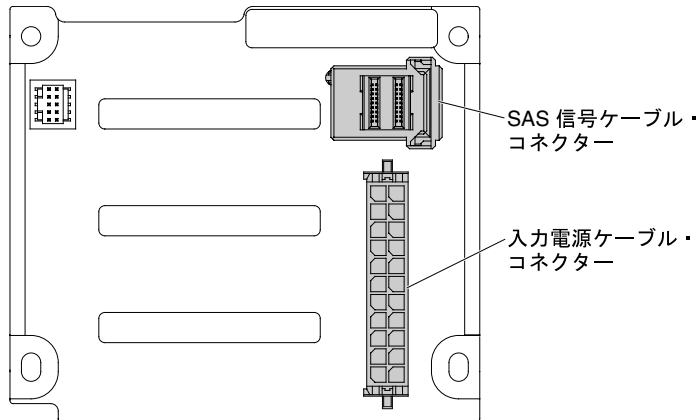
- ステップ 7. ドライブ・バックプレーン・アセンブリーを、カチッと音がして所定の位置に収まるまでバックプレーン・ベイにスライドさせます。
- ステップ 8. ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの電源コネクタに電源ケーブルを接続します (電源ケーブルの一方の端はストレージ・ブックの背面に接続されます)。
注：ケーブルが正しく接続されないと、サーバーの電源オン時に、バックプレーン内のすべてのドライブの LED が点灯して、構成エラーを示します。
- ステップ 9. SAS/SATA 信号ケーブルをドライブ・バックプレーンとアダプターに接続します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページ](#)の「取り付けの完了」に進みます。

4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの取り付け

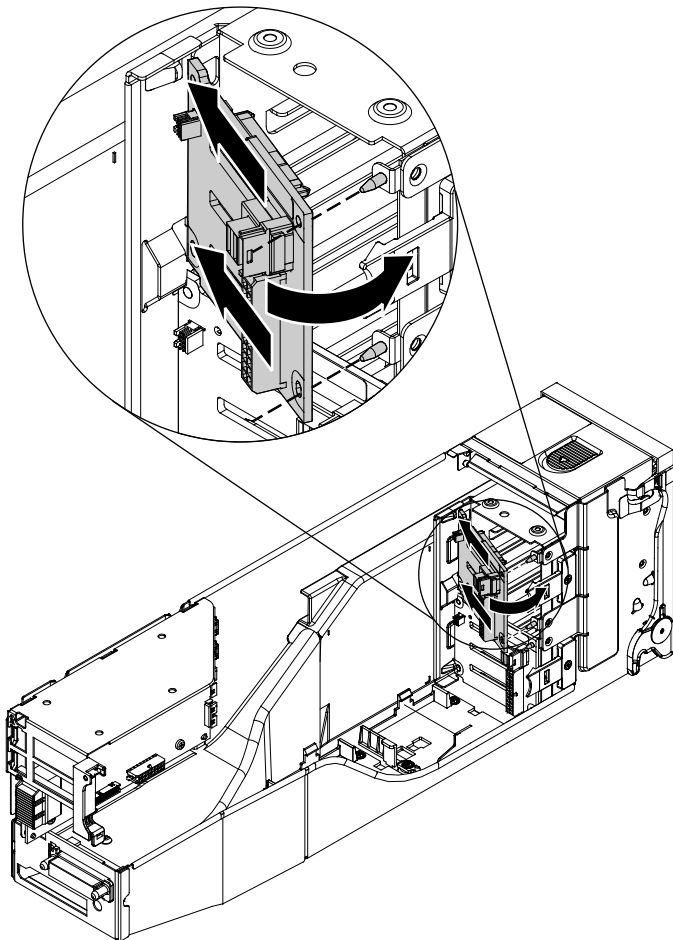
4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの取り付け方法については、以下の情報を参照してください。

次の図は、4x2.5 型ドライブ・バックプレーンを示しています。



4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、以下の手順を実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します (281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. バックプレーンを取り付けるバックプレーン・ベイにバックプレーン・フィラー・パネルが取り付けられている場合は、そのバックプレーン・フィラー・パネルを取り外します。
- ステップ 5. バックプレーンのタブをバックプレーン・ケージの左側にあるスロットに挿入し、ドライブ・バックプレーン・アセンブリを前方に回転させて、バックプレーンを保持ラッチの所定の位置にロックします。



- ステップ 6. 電源ケーブルをドライブ・バックプレーンの電源コネクタに接続します。

注：ハードディスク・ドライブの ID 番号付けがサーバーの前面にあるドライブ ID の番号付けと一致するように、短い青色の電源ケーブル・コネクタを下部のバックプレーンに接続し、グレーの電源ケーブル・コネクタを上部のバックプレーンに接続してください。

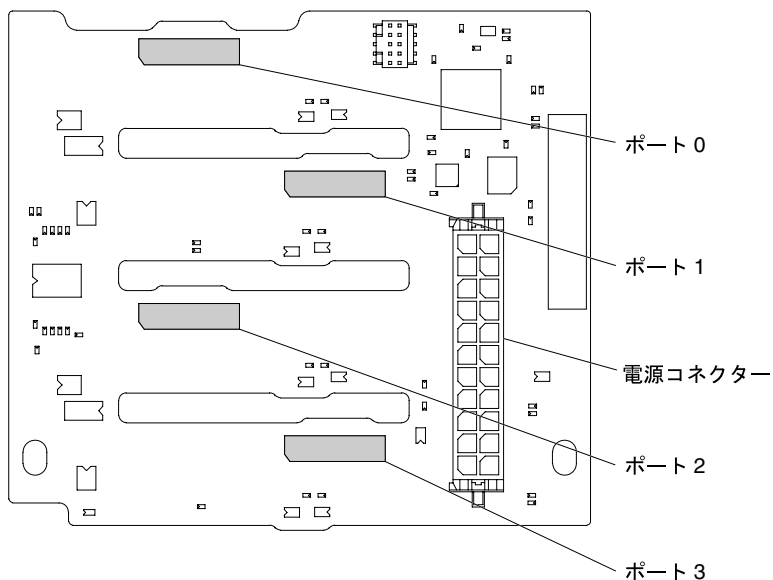
- ステップ 7. SAS/SATA 信号ケーブルをバックプレーンとアダプターに接続します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページ](#)の「[取り付けの完了](#)」に進みます。

4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンの取り付け

4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの取り付け方法については、以下の情報を参照してください。

次の図は、4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを示しています。



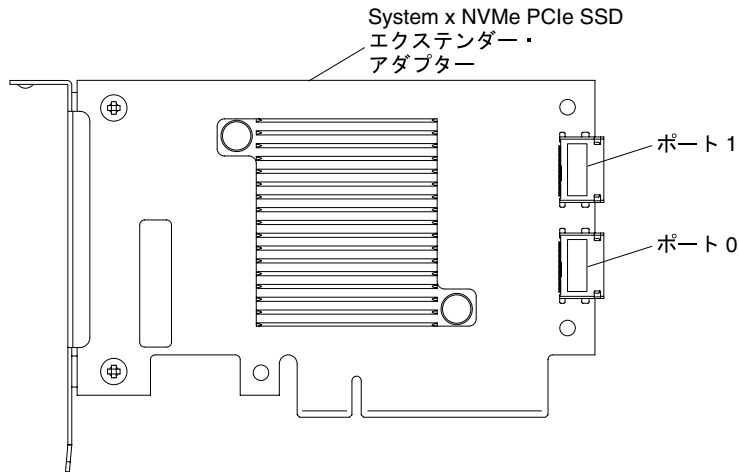
注意：システムの適切な冷却と信頼性を確保するために、以下の要件を満たしていることを確認してください。

- バックプレーンが取り付けられていない場合は、下部バックプレーン・ベイにバックプレーン・フィルターを取り付けます。
- 個別のドライブ・フィルターをすべての未使用のドライブ・ベイに取り付けます。

4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを取り付ける前に、以下の情報を考慮してください。

- 4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンは、最大 4 個の 2.5 型 NVMe PCIe ソリッド・ステート・ドライブをサポート可能です。
- 1 つの 4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを取り付け可能です。
- 4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンは、上部バックプレーン・ベイのみに取り付けます。
- 追加の SAS/SATA バックプレーンを下部バックプレーン・ベイに取り付けることができます。
- IMM2 が割り当てるドライブ ID は、サーバーの前面ベゼルに示された ID に一致します。
- オペレーティング・システムと uEFI は、4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンに取り付けられたハードディスク・ドライブを PCI デバイスとして報告します。

バックプレーン PCIe 信号ケーブルは、NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターに接続します。次の図は、アダプターのコネクタを示しています。



NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターに接続する前に、以下の情報を考慮してください。

- 各 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターは、2つの NVMe ソリッド・ステート・ドライブをサポートします。
- 4つの PCIe ドライブをサポートするには、2つの NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターを取り付ける必要があります。
- 次の表は、NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターに接続するための配線と取り付け方法を示しています。

表 32. NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・エクステンダー・アダプターに接続するための配線と取り付け方法

NVMe PCIe アダプターの取り付け	PCI スロットへの取り付け	PCIe 信号ケーブルの接続
1 番目の NVMe PCIe アダプター	標準 I/O ブック・スロット 11	アダプター・ポート 0 をバックプレーン・ポート 0 に接続
		アダプター・ポート 1 をバックプレーン・ポート 1 に接続
2 番目の NVMe PCIe アダプター	標準 I/O ブック・スロット 12	アダプター・ポート 0 をバックプレーン・ポート 2 に接続
		アダプター・ポート 1 をバックプレーン・ポート 3 に接続

4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、以下の手順を実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#) を参照)。
- ステップ 4. バックプレーンを取り付けるバックプレーン・ベイにバックプレーン・フィラー・パネルが取り付けられている場合は、そのバックプレーン・フィラー・パネルを取り外します。

ステップ 5. バックプレーンのタブをバックプレーン・ケージの左側にあるスロットに挿入し、ドライブ・バックプレーン・アセンブリーを前方に回転させて、バックプレーンを保持ラッチの所定の位置にロックします。

ステップ 6. 電源ケーブルをドライブ・バックプレーンの電源コネクタに接続します。

ステップ 7. PCIe 信号ケーブルをドライブ・バックプレーンとアダプターに接続します。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、[126 ページの「取り付けの完了」](#)に進みます。

取り付けの完了

サーバーにデバイスを取り付けた後、取り付けプロセスを完了するために必要な作業の手順については、以下の情報を参照してください。

取り付けを完了するには、次のステップを実行してください。

ステップ 1. すべてのケーブルが正しく接続されていることを確認します。

ステップ 2. サーバー構成を更新します ([126 ページの「サーバー構成の更新」](#)を参照)。

ステップ 3. 電源コードを再接続します。

ステップ 4. サーバーを始動します。サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認します。

ステップ 5. ビジネス・パートナーのみ) [47 ページの「ビジネス・パートナー用の手順」](#)の追加ステップを実行します。

ステップ 6. サーバーをラックに取り付ける場合、詳細なラックの取り付けと取り外し方法を記載した「[ラック搭載手順](#)」については、http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.6241.doc/printable_doc.htmlを参照してください。

サーバー構成の更新

このトピックでは、デバイスの追加と取り外しを行う際に実行する必要があるサーバー構成タスクについて説明します。

デバイスの追加または取り外し後に初めてサーバーを始動すると、構成が変更されたことを示すメッセージが表示される場合があります。お客様の新規構成設定値を保存できるように、Setup Utility が自動的に開始します。

オプションのデバイスの中には、デバイス・ドライバーをインストールしなければならないものがあります。デバイス・ドライバーのインストールについては、各デバイスに付属の資料を参照してください。

サーバーにオプションの RAID アダプターが装備されていて、ハードディスク・ドライブの取り付けまたは取り外しを行った場合は、RAID アダプターに付属の資料を参照して、ディスク・アレイの再構成に関する説明を確認してください。

サーバーには、少なくとも 1 つのマイクロプロセッサが付いています。複数のマイクロプロセッサを取り付けると、このサーバーは対称多重処理 (SMP) サーバーとして機能します。SMP をサポートするには、オペレーティング・システムのアップグレードが必要になる場合があります。詳しくは、[130 ページの「標準的なオペレーティング・システムのインストール」](#) およびオペレーティング・システムの資料を参照してください。

内蔵イーサネット・コントローラーの構成については、[149 ページの「イーサネット・コントローラーの構成」](#)を参照してください。

第 3 章 構成情報と説明

このトピックでは、ファームウェアの更新方法と構成ユーティリティの使用法について説明します。

ファームウェアの更新

このトピックでは、サーバー・ファームウェアの更新について説明します。

注：

- 一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。
- Trusted Platform Module (TPM) の特性が新しいファームウェアによって変更される場合があるため、ファームウェアを更新する前に、必ず TPM に格納されているすべてのデータをバックアップしてください。手順については、ご使用の暗号化ソフトウェアの資料を参照してください。

UEFI ファームウェア、重要プロダクト・データ (VPD)、デバイス・ドライバー、および Integrated Management Module (IMM) ファームウェアなどのファームウェアの最新レベルを確認するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

Update*Xpress* システム・パックまたは Update*Xpress* CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。Update*Xpress* System Pack には、ご使用のサーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバー更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。Update*Xpress* System Pack インストーラーを使用して、Update*Xpress* System Pack および個々のファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を獲得し、適用してください。Update*Xpress* システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、Lenovo x86 サーバーの ToolsCenter (<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER>) にアクセスし、「Update*Xpress* System Pack Installer」をクリックします。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていなくても、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

リストされたクリティカルな更新の中に、リリースの日付が Update*Xpress* システム・パックあるいは Update*Xpress* イメージのリリース日以降のものがあれば、必ず別にインストールしてください。

サーバーのファームウェアは、定期的に更新されます。サーバーの最新のファームウェアをダウンロードし、次に、ダウンロード・ファイルに含まれている説明を使用して、ファームウェアをインストールします。

サーバー内のデバイスを交換した場合、そのデバイスのメモリーに保管されているファームウェアを更新するか、CD または DVD イメージから既存のファームウェアを復元することが必要な場合があります。

以下のリストは、ファームウェアが格納されている場所を示しています。

- UEFI ファームウェアは、標準 I/O ブックのボード上の ROM に保管されています。
- IMM2 ファームウェアは、標準 I/O ブックのボード上の ROM に保管されています。
- イーサネット・ファームウェアは、イーサネット・コントローラーの ROM に格納されます。
- ServeRAID ファームウェアは、I/O ボードおよび RAID アダプター (取り付けられている場合) 上の ROM に保管されています。
- SAS/SATA ファームウェアは、SAS/SATA コントローラーの ROM に格納されます。

サーバーの構成

このトピックでは、サーバーと構成プログラムの構成について説明します。

ご使用のサーバーでは、次のような構成プログラムが提供されます。

• Setup Utility

Setup Utility は、UEFI ファームウェアの一部です。このユーティリティーを使用して、割り込み要求 (IRQ) 設定の変更、始動デバイス・シーケンスの変更、日時の設定、およびパスワードの設定などの構成タスクを実行します。このプログラムの使用については、[132 ページの「Setup Utility の使用」](#)を参照してください。

• Boot Manager

Boot Manager は、UEFI ファームウェアの一部です。このプログラムを使用して、Setup Utility でセットされる始動シーケンスをオーバーライドし、始動シーケンスの先頭になるようにデバイスを一時的に割り当てます。このプログラムの使用については、[139 ページの「Boot Manager の使用」](#)を参照してください。

• ServerGuide のセットアップおよびインストール CD

Lenovo ServerGuide プログラムは、サーバー専用設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールとインストール・ツールを提供します。RAID 機能付きオンボード SAS/SATA コントローラーなどの基本のハードウェア機能を構成し、オペレーティング・システムを簡単にインストールするには、サーバーの取り付け時にこの CD を使用してください。この CD の使用については、[129 ページの「ServerGuide セットアップおよびインストール DVD の使用」](#)を参照してください。

• Integrated Management Module

Integrated Management Module II (IMM2) は、構成、ファームウェアおよびセンサー・データ・レコード/現場交換可能ユニット (SDR/FRU) データの更新、およびネットワークのリモート管理のために使用します。IMM の使用については、[143 ページの「Integrated Management Module の使用」](#)および「[Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html)」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html) を参照してください。

• VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェア付きのオプションの USB フラッシュ・デバイスを購入することができます。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスは、システム・ボード上の USB コネクター 3 および 4 に取り付けることができます。組み込みハイパーバイザーの使用法の詳細については、[148 ページの「組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアの使用」](#)を参照してください。

• リモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module (IMM2) の内蔵機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。

- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスクレット・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスクレット・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスクレット・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

ブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出したときにサーバーを再起動する前に、ビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者がブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用すると、停止状態の原因の判別に役立ちます。

- **イーサネット・コントローラーの構成**

イーサネット・コントローラーの構成については、[149 ページの「イーサネット・コントローラーの構成」](#)を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・ソフトウェア**

このサーバーは、Features on Demand ソフトウェアのイーサネット・サポートを提供します。イーサネット・コントローラーにより提供される、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand ソフトウェア・アップグレード・キーを購入できます。詳しくは、[149 ページの「Features on Demand イーサネット・ソフトウェアの有効化」](#)を参照してください。

- **Features on Demand ソフトウェアの RAID ソフトウェア**

このサーバーは、RAID レベル 5、6、50、および 60 アップグレードに対する Features on Demand ソフトウェアの RAID サポートを備えています。ソフトウェア RAID アップグレードは、Integrated Management Module II (IMM2) を使用して可能になります。詳しくは、[150 ページの「Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化」](#)を参照してください。

- **RAID アレイの構成**

RAID アレイの構成については、[151 ページの「RAID アレイの構成」](#)を参照してください。

- **Advanced Settings ユーティリティ (ASU) プログラム**

このプログラムは、UEFI 設定および IMM 設定を変更するための Setup Utility の代替手段として使用します。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、Setup Utility を実行するためにサーバーを再起動する必要なしに、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができます。このプログラムの使用については、[151 ページの「Advanced Settings Utility プログラム」](#)を参照してください。

ServerGuide セットアップおよびインストール DVD の使用

このトピックでは、ServerGuide セットアップおよびインストール DVD の使用方法について説明します。

Lenovo *ServerGuide* セットアップおよびインストール DVD には、ご使用のサーバー用に設計されたソフトウェア・セットアップ・ツールとインストール・ツールが収録されています。ServerGuide プログラムは、サーバーのモデルとインストール済みのオプション・ハードウェア・デバイスを検出し、セットアップ時にその情報を使用してハードウェアを構成します。ServerGuide は、更新済みデバイス・ドライバを提供し、場合によっては自動的にインストールすることによりオペレーティング・システムのインストールを単純化します。

ServerGuide セットアップおよびインストール DVD のイメージを無料でダウンロードするか、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-GUIDE> の ServerGuide フルフィルムメント Web サイトで DVD を購入することができます。無料のイメージをダウンロードするには、「**Service and Support Site**」をクリックします。

注：Lenovo WWW は定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

ServerGuide プログラムは、サポートされた Lenovo サーバーおよび有効になっている始動可能 (ブート可能) USB DVD ドライブを必要とします。*ServerGuide* セットアップおよびインストール DVD の他に、オペレーティング・システムをインストールするためのオペレーティング・システム DVD が必要です。

ServerGuide セットアップおよびインストールDVD を開始するには、以下のステップを実行します。

1. USB DVD を取り付けて、サーバーを再起動します。USB DVD が始動しない場合は、[198 ページの「ServerGuide の問題」](#)を参照してください。
2. 画面上の指示に従い、次のステップを実行します。
 - a. 言語を選択します。
 - b. 使用するキーボードのレイアウトと国を選択します。
 - c. 概要を表示して、ServerGuide の機能を確認します。
 - d. README ファイルを表示して、使用するオペレーティング・システムおよびアダプターのインストールに関するヒントを確認します。
 - e. オペレーティング・システムのインストールを開始します。オペレーティング・システムの USB DVD が必要です。

ServerGuide の機能

このトピックでは、ServerGuide プログラム機能の概要について説明します。

フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。ご使用のバージョンについて詳しく知るためには、*ServerGuide Setup and Installation* USB DVD を開始し、オンラインの概説を表示します。すべてのサーバー・モデルにおいてすべての機能がサポートされているわけではありません。

ServerGuide プログラムは、以下のタスクを実行します。

- システム日付と時刻の設定
- RAID アダプターまたはコントローラーの検出、および SAS/SATA RAID 構成プログラムの実行
- ServeRAID アダプターのマイクロコード (ファームウェア) レベルの検査、およびそれ以降のレベルが DVD から入手可能かどうかの判別
- インストール済みのハードウェア・オプションの検出と、ほとんどのアダプターおよびデバイス用の更新済みデバイス・ドライバの提供
- サポートされる Windows オペレーティング・システム用にディスク不要のインストールの提供。
- ご使用のハードウェアおよびオペレーティング・システムのインストール済み環境に対するヒントにリンクしたオンライン README ファイルの包含

セットアップおよび構成の概要

このトピックでは、ServerGuide プログラムを使用してサーバーのセットアップと構成を行う方法の概要を示します。

ServerGuide Setup and Installation USB DVD を使用する場合、セットアップ CD は必要ありません。この DVD を使用して、サポートされているサーバー・モデルを構成できます。セットアップ・プログラムは、ご使用のサーバー・モデルをセットアップするのに必要なタスクのリストを提供します。ServeRAID アダプターまたは RAID 機能付き SAS/SATA コントローラーを使用するサーバーでは、SAS/SATA RAID 構成プログラムを実行して、論理ドライブを作成することができます。

注：フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

標準的なオペレーティング・システムのインストール

このトピックでは、標準的なオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

ServerGuide プログラムは、オペレーティング・システムをインストールするために要する時間を削減することができます。このプログラムは、ハードウェアやインストールしようとするオペレーティング・システムに必要なデバイス・ドライバを提供します。このセクションでは、標準的な ServerGuide オペレーティング・システムのインストールについて説明します。

注：フィーチャーおよび機能は、ServerGuide プログラムのバージョンによって少し異なることがあります。

1. セットアップ処理が完了すると、オペレーティング・システムのインストール・プログラムが開始します。(インストールを完了するために、ご使用のオペレーティング・システム DVD が必要になります。)
2. ServerGuide プログラムは、サーバー・モデル、サービス・プロセッサ、ハードディスク・ドライブ、コントローラー、およびネットワーク・アダプターに関する情報を保管します。次に、プログラムは最新のデバイス・ドライバがあるか DVD を調べます。この情報は保管された後、オペレーティング・システムのインストール・プログラムに渡されます。
3. ServerGuide プログラムは、選択されたオペレーティング・システムとインストール済みハードディスク・ドライブに基づき、オペレーティング・システム区画のオプションを表示します。
4. ServerGuide プログラムは、ご使用のオペレーティング・システムの DVD を挿入して、サーバーを再起動するように指示してきます。この時点から、オペレーティング・システムのインストール・プログラムがインストールの完了まで制御します。

ServerGuide を使用しないオペレーティング・システムのインストール

このトピックでは、ServerGuide プログラムを使用しないオペレーティング・システムのインストールについて説明します。

サーバーのハードウェアを既に構成しており、オペレーティング・システムのインストールに ServerGuide プログラムを使用しない場合、<http://www.lenovo.com/support> からこのサーバー用のオペレーティング・システムのインストール手順をダウンロードすることができます。

Setup Utility の使用

このトピックでは、サーバーの Setup Utility の概要を示します。

Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) の Setup Utility を使用すると、次のようなタスクを実行できます。

- 構成情報の表示
- デバイスと I/O ポートの設定の表示と変更
- 日時の設定
- パスワードの設定と変更
- サーバーの始動特性および始動デバイス順位の設定
- 拡張ハードウェア機構の設定と変更
- 省電力機能の設定値の表示、設定、および変更
- エラー・ログの表示および消去
- 割り込み要求 (IRQ) 設定値の変更
- 構成競合の解決

Setup Utility の開始

このトピックでは、サーバーの Setup Utility を開始する手順について説明します。

Setup Utility を開始するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが入力電力に接続されてから約 10 秒後に、電源オン・ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。

ステップ 3. 表示または変更する設定を選択します。

Setup Utility のメニュー選択項目

このトピックでは、サーバー Setup Utility のメニュー選択項目について説明します。

UEFI Setup Utility のメインメニューには、以下の選択項目があります。UEFI ファームウェアのバージョンによっては、メニュー選択項目がここでの説明と少し異なる場合があります。UEFI 準拠ファームウェアの詳細については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5083207> にアクセスしてください。

- System Information

この項目を選択して、ご使用のサーバーに関する基本情報を表示します。Setup Utility の他の選択項目を通じて変更を行うと、「System Information」にそれらの変更の一部が反映されます。「System Information」の設定値を直接変更することはできません。

– **System Summary**

マイクロプロセッサの ID、速度、およびキャッシュ・サイズ、サーバーのマシン・タイプおよびモデル、QPI リンク速度、シリアル番号、システム UUID、インストール済みのメモリー容量などの構成情報を表示するには、この項目を選択します。Setup Utility の他の選択項目を使用して構成の変更を行った場合、その変更はシステム・サマリーに反映されますが、システム・サマリーから直接設定を変更することはできません。

– **Product Data**

ファームウェアの改訂レベルまたは発行日、Integrated Management Module および診断コード、およびバージョンと日付を表示するには、この項目を選択します。

• **System Settings**

サーバー・コンポーネントの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

– **Adapters and UEFI Drivers**

旧世代の UEFI デバイス・ドライバーの構成機能を使用してデバイスを構成する場合に、この項目を選択します。

– **Devices and I/O Ports**

この項目を選択し、デバイスと入出力 (I/O) ポートの設定を表示あるいは変更します。シリアル・ポートの構成、リモート・コンソール・リダイレクトの構成、イーサネット・コントローラー、SAS/SATA コントローラー、SATA 光学式ドライブ・チャンネル、および PCI スロットの有効または無効を行うことができます。デバイスを無効にすると、そのデバイスは構成することができず、オペレーティング・システムはそのデバイスを検出できません (これは、デバイスを切り離すことと同じです)。

– **Driver Health**

デバイス・ドライバーによって報告される、サーバー内のコントローラーのヘルスを表示するには、この項目を選択します。

– **Integrated Management Module**

Integrated Management Module の設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。

– **Power Restore Policy**

電源異常の発生後にサーバーをリストアする操作モードを決定する場合に、この項目を選択します。「Always Off」、「Restore」または「Always On」を選択して、電源異常の時点で設定されていた状態にサーバーをリストアすることができます。

– **Commands on USB Interface Preference**

この項目は、IMM の Ethernet over USB インターフェースを有効または無効にする場合に選択します。

– **Network Configuration**

この項目は、以下のことを行う場合に選択します。システム管理ネットワークのインターフェース・ポート、IMM MAC アドレス、現行 IMM IP アドレス、システム・イーサネット MAC アドレス、およびホスト名の表示。静的 IMM IP アドレス、サブネット・マスク、およびゲートウェイ・アドレスの定義。静的 IP アドレスを使用するか DHCP で IMM IP アドレスを割り当てるかの指定。ネットワーク変更の保存。IMM のリセット。

– **IMM をデフォルトにリセット**

この項目を選択し、IMM をデフォルト設定にリセットします。

– **IMM のリセット**

IMM 設定をリセットする場合に、この項目を選択します。

– Legacy Support

レガシー・サポートを表示または設定する場合、この項目を選択します。

– Force Legacy Video on Boot

この項目は、オペレーティング・システムが UEFI ビデオ出力規格をサポートしない場合、レガシー・ビデオ・サポートを強制するために選択します。

– Rehook INT 19H

デバイスがブート処理を制御することを有効または無効に設定するには、この項目を選択します。デフォルトは「Disable」です。

– Legacy Thunk Support

UEFI が UEFI 未対応の PCI 大容量ストレージ・デバイスと相互作用することを有効または無効にするには、この項目を選択します。

– Infinite Boot Retry

レガシー・ブートの無限の再試行を有効または無効にする場合に、この項目を選択します。

– BBS Boot

BBS のレガシー・ブートを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。

– Non-Planar PXE

レガシー・モード用の非プレーナー PXE を有効または無効に設定するには、この項目を選択します。

– Memory

メモリーの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。メモリー・ミラーリングを構成するには、「System Settings」→「Memory」→「Memory Mode」→「Mirroring」の順に選択します。

– Network

iSCSI、PXE、およびネットワーク・デバイスなどのオプションを表示または構成する場合、この項目を選択します。UEFI 2.1 以降に準拠するオプションのネットワーク・デバイス用に追加の構成選択項目がある場合があります。

– Operating Modes

オペレーティング・プロファイルの表示または変更するには、この項目を選択します (パフォーマンス (performance) および電力使用率 (power utilization))。この項目は、事前設定された動作モードを指定して、省電力、効率性、およびパフォーマンスが最大になるようにサーバーを構成します。

– Minimal Power mode

稼働時のシステムの絶対電力使用量を最小限に抑える場合に、この項目を選択します。実行中のアプリケーションによっては、このモードでサーバーのパフォーマンスが低下する可能性があります。

– Efficiency-Favor Power mode

サーバーが引き出す電力量が最小になるように構成し、生成されるノイズを最も少なくする場合に、この項目を選択します。実行中のアプリケーションによっては、サーバーのパフォーマンスが低下する場合があります。このモードは、最大バス速度が重要でないアプリケーションで電力を削減し、パフォーマンスを向上させるのに最適な機能を提供します。

– Efficiency-Favor Performance mode

パフォーマンスと電力使用量のバランスを最適の状態に維持する場合は、この項目を選択します。サーバーがこのモードである場合は通常、ワット当たりで最高のパフォーマンスが生み出されます。このモードでは、バス速度は下がりにません。これはデフォルト・モードです。

- **Custom mode**
低レベルの IMM 設定の機能を理解している場合にのみ、この項目を選択します。これは、サーバーのパフォーマンスと電力使用量に影響する低レベルの IMM 設定変更を可能にする、唯一の項目です。
- **Maximum Performance mode**
ほとんどのサーバー・アプリケーションにおいて最大のパフォーマンスを実現する場合に、この項目を選択します。多くの場合、このモードでの電力使用量は、Efficiency-Favor Power または Efficiency-Favor Performance mode の場合より高くなります。
- **Power**
電力消費量、プロセッサ、およびパフォーマンス状態を制御するための電源キャッピングを表示または変更する場合、この項目を選択します。
 - **Active Energy Manager**
電源キャッピングを有効または無効にする場合に、この項目を選択します。電源キャッピングを有効にすると、Active Energy Manager プログラムによって、サーバーが消費する最大電力が制限されます。
 - **Workload Configuration**
ワークロードに十分な周波数を可能にするために、マイクロプロセッサ・コアがアイドルであるときに高い I/O 帯域幅を必要とする拡張カードの設定を表示して変更するには、この項目を選択します。
- **Processors**
プロセッサの設定値を表示または変更するには、この項目を選択します。
- **Recovery and RAS**
POST 試行回数を表示または設定し、リカバリー開始試行回数とバックアップ・バンク管理設定を構成するには、この項目を選択します。
 - **Advanced RAS**
拡張 RAS オプションを有効にするには、この項目を選択します。
 - **Backup Bank Management**
バックアップ・バンク管理設定を構成するには、このオプションを選択します。
 - **Disk GPT Recovery**
ディスク GPT (GUID パーティション・テーブル) リカバリー・オプションを表示および設定するには、このオプションを選択します。
 - **POST attempts**
リカバリーの開始前の POST 試行回数を表示または設定するには、この項目を選択します。
 - **System Recovery**
システム・リカバリー試行を開始する時間を表示または設定するには、この項目を選択します。
 - **POST Watchdog Timer**
POST ウォッチドッグ・タイマーを表示する、または有効に設定する場合、この項目を選択します。
 - **Reboot System on NMI**
マスク不可能割り込み (NMI) が発生するたびにサーバーを再起動することを有効または無効にするには、この項目を選択します。デフォルトは「有効」です。
 - **Halt On Server Error**
POST 中に重大エラーが検出されるときに、サーバーがオペレーティング・システムをブートしたり、POST イベント・ビューアーを表示したりするのを妨げるには、この項目を選択します。

– Security

セキュア・ブート機能および Trusted Platform Module (TPM 1.2) を表示または構成するには、このオプションを選択します。

– Secure Boot Configuration

セキュア・ブート機能を有効および無効にしたり、セキュア・ブート・モードを設定したりするには、この項目を選択します。

– Trusted Platform Module (TPM 1.2)

TPM セットアップ・オプションを表示または構成するには、この項目を選択します。

– Storage

RAID コントローラー構成を表示し、管理するには、この項目を選択します。

• Date and Time

この項目を選択して、サーバーの日時を 24 時間形式 (時:分:秒) で設定します。

この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

• Start Options

始動シーケンスを表示したり、即時にブートしようとするオプションを選択したりするには、この項目を選択します。始動オプションの変更は、サーバーを始動すると有効になります。

• Boot Manager

この項目は、デバイスのブート順序の表示、追加、削除、または変更、ファイルからのブート、デバイスからのブート、または UEFI シェルのブートを行う場合に選択します。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

• System Event Logs

この項目は、UEFI/POST イベント・ログおよびシステム・イベント・ログを表示できるシステム・イベント・マネージャーに入る場合に選択します。矢印キーを使用して、エラー・ログ内のページ間を移動できます。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

POST イベント・ログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードおよびメッセージが含まれています。

システム・イベント・ログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、Integrated Management Module (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。

重要: サーバーの前面のシステム・エラー LED が点灯しているが、その他にはエラー表示が何もない場合は、システム・イベント・ログを消去してください。また、修復を完了するかエラーを修正した後も、システム・イベント・ログを消去して、サーバー前面のシステム・エラー LED をオフにしてください。

– POST Event Viewer

POST イベント・ビューアーに入って、POST イベント・ログのエラー・メッセージを表示する場合に、この項目を選択します。

– System Event Log

この項目は、システム・イベント・ログを表示する場合に選択します。

– Clear System Event Log

システム・イベント・ログを消去する場合に、この項目を選択します。

• User Security

パスワードを設定、変更、または削除する場合、この項目を選択します。Setup Utility の完全メニューでは、「User Security」オプションのすべてのオプションが有効です。詳細については、[137 ページの「パスワード」](#)を参照してください。

この項目は、Setup Utility の完全および限定メニューにあります。

- **Set Power-on Password**

始動パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。詳細については、[137 ページの「始動パスワード」](#)を参照してください。

- **Clear Power-on Password**

この項目を選択して、始動パスワードをクリアします。

- **Set Administrator Password**

管理者パスワードを設定または変更する場合、この項目を選択します。管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードを設定している場合、パスワード・プロンプトが出されたときに管理者パスワードを入力したときにのみ、Setup Utility の完全メニューを使用できます。詳しくは、[138 ページの「管理者パスワード」](#)を参照してください。

- **Clear Admin Password**

この項目を選択して、管理者パスワードをクリアします。

- **Save Settings**

設定値に加えた変更を保存する場合、この項目を選択します。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

- **Restore Settings**

この項目を選択し、設定値に加えた変更をキャンセルし、前の設定値に戻します。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

- **Load Default Settings**

設定値に加えた変更を取り消し、工場出荷時設定値を復元する場合に、この項目を選択します。この項目は、Setup Utility の完全メニューにのみあります。

- **Exit Setup**

この項目を選択し、Setup Utility を終了します。設定値に加えた変更内容を保存していなかった場合は、変更を保存するか保存しないで終了するかを尋ねられます。

パスワード

このトピックでは、サーバーの Setup Utility におけるパスワードの設定について説明します。

Setup Utility の「**User Security**」メニュー選択項目から、電源オンパスワードおよび管理者パスワード。「**User Security**」選択項目は、Setup Utility の完全メニューにのみ表示されます。

始動パスワードのみを設定している場合、システム始動を完了するため、および Setup Utility の完全メニューにアクセスするために、始動パスワードを入力する必要があります。

管理者パスワードは、システム管理者が使用するためのものであり、Setup Utility の完全メニューへのアクセスを制限します。管理者パスワードのみを設定している場合、システムの始動を完了するためにパスワードを入力する必要はありませんが、Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。

ユーザー用に始動パスワードを設定し、システム管理者用には管理者パスワードを設定している場合は、いずれかのパスワードを入力して、システムの始動を完了できます。システム管理者は、管理者パスワードを入力すると、Setup Utility の完全メニューにアクセスできます。システム管理者は、始動パスワードを設定、変更、および削除するためのユーザー権限を与えることができます。始動パスワードを入力したユーザーは、Setup Utility の限定メニューにのみアクセスできます。ユーザーは、システム管理者から権限が与えられている場合、始動パスワードの設定、変更、および削除を行うことができます。

始動パスワード

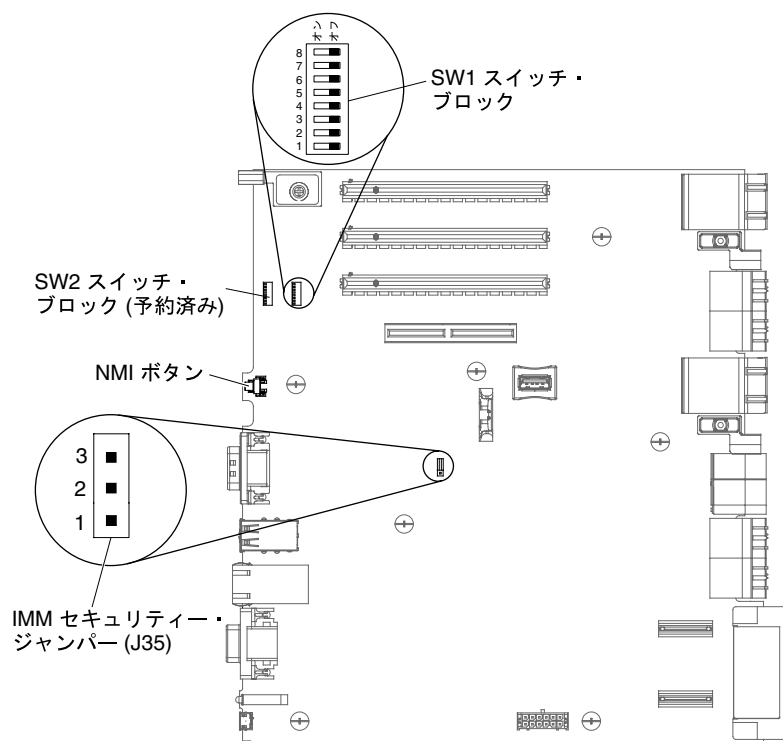
このトピックでは、サーバーの Setup Utility を使用した始動パスワードの設定について説明します。

始動パスワードが設定されているときに、サーバーの電源をオンにした場合、始動パスワードを入力するまでシステムの始動は完了しません。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

始動パスワードを設定すると、Unattended Start モードを有効にできます。このモードでは、キーボードとマウスはロックしたままでオペレーティング・システムを始動できます。始動パスワードを入力することにより、キーボードとマウスのロックを解除できます。

始動パスワードを忘れた場合は、次のいずれかの方法でサーバーへのアクセスを回復できます。

- 管理者パスワードが設定されている場合は、パスワード・プロンプトで管理者パスワードを入力します。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットします。
- サーバーからバッテリーを取り外し、30 秒待ってから、再度取り付けます。
- SW1 スイッチ・ブロックの始動パスワード・スイッチの位置を 1 に変更して、始動パスワード検査をバイパスします。



注意：スイッチの設定を変更する、あるいはジャンパーを移動する前には、サーバーの電源をオフにしてください。次に、すべての電源コードおよび外部ケーブルを切り離してください。作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。本書に表示されていないシステム・ボード上のスイッチ・ブロックまたはジャンパー・ブロックでは、設定の変更またはジャンパーの移動を行わないでください。

スイッチ・ブロック SW1 上のすべてのスイッチのデフォルトは、「オフ」です。

サーバーの電源がオフの間に、スイッチ・ブロック SW1 のスイッチ 1 を「オン」位置に移動して、始動パスワード・オーバーライドを有効にします。Setup Utility を開始して、始動パスワードをリセットできます。スイッチを前の位置に戻す必要はありません。

始動パスワード・オーバーライド・スイッチは、管理者パスワードには影響しません。

管理者パスワード

このトピックでは、サーバーの Setup Utility を使用した管理者パスワードの設定について説明します。

管理者パスワードを設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードには、6 から 20 個の印刷可能な ASCII 文字の任意の組み合わせを使用できます。

注意：管理者パスワードを設定したがそれを忘れてしまった場合、管理者パスワードを変更、オーバーライド、または削除することはできません。標準 I/O ブックを交換するしかありません。

Boot Manager の使用

このトピックでは、サーバーの Setup Utility メニューで Boot Manager オプションを使用する手順について説明します。

Boot Manager は標準装備されたメニュー方式の構成ユーティリティー・プログラムであり、Setup Utility の設定を変更することなく、一時的に最初の始動デバイスを再定義するために使用できます。

Boot Manager を使用するには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。
- ステップ 2. サーバーを再起動します。
- ステップ 3. 「<F12> Select Boot Device」というプロンプトが表示されたら、F12 キーを押します。
- ステップ 4. 上矢印キーと下矢印キーを使用してメニューから項目を選択し、Enter を押します。

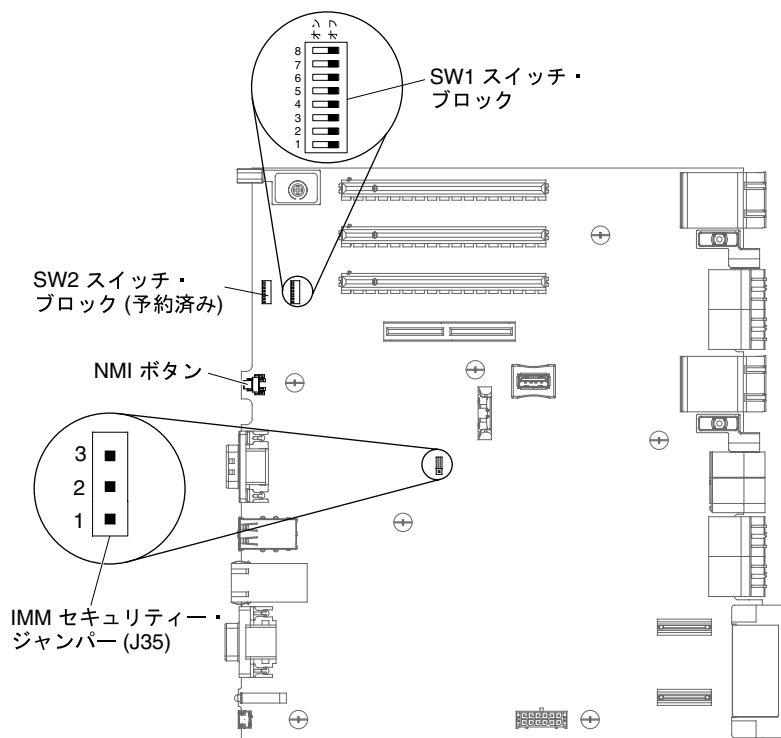
次回にサーバーが始動するときには、Setup Utility で設定された始動シーケンスに戻ります。

サーバー・ファームウェアのバックアップの開始

このトピックでは、ファームウェアのプライマリー・コピーが損傷するか、壊れた場合に、サーバー・ファームウェアのバックアップ・コピーを開始する方法について説明します。

標準 I/O ブックのボードには、サーバー・ファームウェア用のバックアップ・コピー領域があります。これは、サーバー・ファームウェアのセカンダリー・コピーで、サーバー・ファームウェアの更新プロセス時にのみ更新されます。サーバー・ファームウェアのプライマリー・コピーが損傷した場合、このバックアップ・コピーを使用してください。

サーバーにバックアップ・コピーから始動することを強制するには、サーバーの電源をオフにし、SW1 スイッチ・ブロックのスイッチ 7 の位置を ON に変更します。サーバー上のジャンパー、スイッチ、およびボタンの詳細については、[42 ページの「標準 I/O ブック・ボード上のジャンパー、スイッチ、およびボタン」](#)を参照してください。次の図は、SW1 スイッチ・ブロックの位置を示しています。



サーバー・ファームウェアのプライマリー・コピーがリストアされるまでは、バックアップ・コピーを使用してください。プライマリー・コピーがリストアされたら、サーバーの電源をオフにし、スイッチ7の位置をOFF (デフォルト) に戻します。

UpdateXpress System Pack Installer

このトピックでは、UpdateXpress System Pack Installer プログラムについて説明します。

UpdateXpress System Pack Installer は、ご使用のサーバーでサポートされ、インストールされているデバイス・ドライバーおよびファームウェアを検出し、使用可能なアップデートをインストールします。UpdateXpress システム・パック・インストーラーの追加情報およびダウンロードについては、Lenovo x86 サーバー Web サイトの ToolsCenter (<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER>) にアクセスし、「UpdateXpress System Pack Installer」をクリックします。

マルチノード・システムの構成

このトピックでは、マルチノード・システムの構成について説明します。

マルチノード・サーバーは、単一の論理サーバーとして構成することも、2つのスタンドアロン・パーティションに区分することもできます。

単一の論理サーバーとして、サーバーはすべてのスケーラブル・パーティションからのリソースを使用できます。

注：サーバーが単一の論理サーバーとして構成されている場合、ノード (パーティション) の1つで AC システム電源障害が発生すると、正常に作動している残りのノードは電源を自動的にダウンさせ、障害が発生したノードが AC 電源消失から回復するまではオフのままです。電源が復旧すると、両方のノードは自動的に電源がオンになり、2 ノード・パーティションとしてブートします。

スタンドアロン・サーバーでは、各スケーラブル・パーティションは、独立したオペレーティング・システムのインストールをサポートします。さらに、各スケーラブル・パーティションは、独立したシステム

として独自の個別リソースを使用します。スタンドアロン・サーバーは、別のスタンドアロン・サーバー上のオペレーティング・システムをブートすることはできません。

以下は、8U x3950 X6 構成をサポートするために必要な最小コンポーネントのリストです。

- E7-8xxx v2 マイクロプロセッサを搭載した コンピュータ・ブック 4 つ (各ノードに 2 つ)。マイクロプロセッサは、同じキャッシュ・サイズ、タイプ、およびクロック・スピードでなければなりません。
- 8 ソケット・シャーシ
- 標準 I/O ブック 2 つ
- ストレージ・ブック 2 つ
- 電源、最小 4 つ (各ノードに電源 2 つ)

マルチノード・システムを作成する前に、マルチノード構成内のすべてのノードに以下のソフトウェアおよびハードウェアが含まれていることを確認してください。

- 現行レベルの UEFI ファームウェアと IMM ファームウェア (すべてのノードが同じレベルでなければなりません)
- キャッシュ・サイズ、タイプ、およびクロック・スピードが同一のマイクロプロセッサ

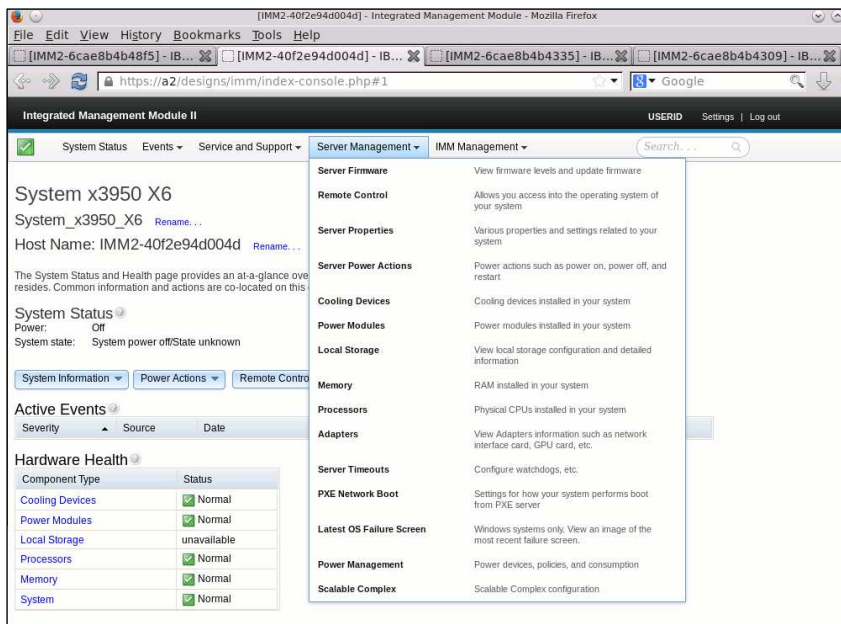
最新のファームウェア・レベルを確認し、ファームウェア更新をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

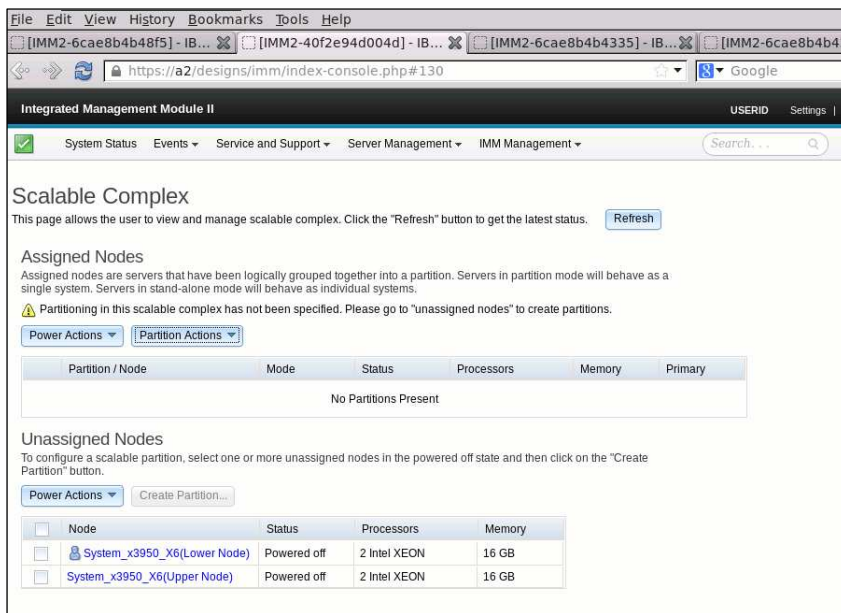
IMM2 Web インターフェースまたは IMM2 Telnet インターフェースを使用して、スケーラブル・パーティションを管理できます。

マルチノード・システムを管理するには、IMM2 Web ユーザー・インターフェースの「Server Management」タブの下にある「Scalable Complex」オプションを使用できます。「Scalable Complex」オプションを使用すると、ノードを個別のパーティションとして、つまり独立したノードとして区分することが可能になります。

次の図は、IMM2 Web ユーザー・インターフェースのホーム・ページの「Server Management」タブの下にあるオプションを示しています。



「Scalable Complex」 オプションを選択すると、次の図のような「Scalable Complex」ページが表示されます。



「Scalable Complex」 ホーム・ページには、利用可能なすべてのノードの使用可能な状態が表示されます。

IMM2 Web インターフェイスにログインするには、[145 ページの「IMM Web インターフェイスへのログイン」](#)を参照してください。

IMM2、IMM2 Web インターフェイス、および IMM2 telnet インターフェイスを使用したサーバーの管理およびパーティションの詳細については、[143 ページの「Integrated Management Module の使用」](#) および http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html の「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」を参照してください。

Integrated Management Module の使用

このトピックでは、Integrated Management Module II (IMM2) のシステム管理機能の概要を示します。

Integrated Management Module II (IMM2) は、以前にベースボード管理コントローラーのハードウェアで提供されていた機能の第 2 世代です。これは、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能を単一のチップにまとめています。

IMM2 についての詳細は、「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html) を参照してください。

IMM は、以下の基本的なシステム管理機能をサポートしています。

- Active Energy Manager。
- アラート (インバンドおよびアウト・オブ・バンドのアラート、PET トラップ - IPMI スタイル、SNMP、E メール)。
- 自動ブート障害リカバリー (ABR)。
- 複数のマイクロプロセッサ構成で、1 個のマイクロプロセッサが内部エラーをシグナル通知した場合の、障害時の自動マイクロプロセッサ無効および再起動。1 個のマイクロプロセッサが障害を起こした場合、サーバーは障害のあるマイクロプロセッサを無効にし、もう 1 個のマイクロプロセッサを使用して再起動します。

注：4 マイクロプロセッサ構成で 1 個のマイクロプロセッサに障害が起きると、2 個のマイクロプロセッサが無効になります。

- POST が完了しなかったか、オペレーティング・システムが停止し、オペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーがタイムアウトになった場合の自動サーバー再起動 (ASR)。ASR 機能が有効になっている場合、IMM はオペレーティング・システム・ウォッチドッグ・タイマーを監視し、タイムアウト後にシステムをリブートするように構成されている場合があります。そうでない場合、IMM は、管理者がオペレーティング・システム・メモリー・ダンプのために、サーバーの背面にある NMI ボタンを押して、マスク不可能割り込み (NMI) を生成することを許可します。ASR は IPMI でサポートされています。
- リモート・プレゼンス・サポート (リモート・ビデオ、リモート・キーボード/マウス、およびリモート・ストレージ)。
- ブート・シーケンス操作。
- コマンド・ライン・インターフェース。
- 構成の保存とリストア。
- DIMM エラー・アシスタンス。Unified Extensible Firmware Interface (UEFI) は、POST 中に検出された障害のある DIMM を無効にし、IMM は、関連したシステム・エラー LED および障害のある DIMM のエラー LED を点灯します。
- ファン速度、温度、電圧、ファン障害、電源障害、および電源バックプレーン障害の環境モニター。
- First Failure Data Capture (FFDC) のサポート。
- Intelligent Platform Management Interface (IPMI) Specification V2.0 および Intelligent Platform Management Bus (IPMB) のサポート。
- 無効システム構成 (CONFIG) LED サポート。
- ファン、電源、マイクロプロセッサ、ハードディスク・ドライブで発生したエラーとシステム・エラーを報告する light path 診断 LED インジケーター。
- ローカル・ファームウェア・コード・フラッシュ更新。
- マスク不可能割り込み (NMI) の検出、生成、およびレポート作成。

- オペレーティング・システム障害のブルー・スクリーン・キャプチャー。
- PCI 構成データ。
- PECI 3 サポート。
- 電源/リセット制御 (電源投入、ハードおよびソフト・シャットダウン、ハードおよびソフト・リセット、スケジュール電源制御)。
- 電源の入力電力の照会。
- ROM ベースの IMM ファームウェアのフラッシュ更新。
- Serial over LAN (SOL)。
- Telnet または SSH を介したシリアル・ポート・リダイレクト。
- SMI 処理。
- システム・イベント・ログ (SEL) - ユーザーが読み取り可能なイベント・ログ。

IMM は、OSA SMBridge 管理ユーティリティ・プログラムを使用して、以下のリモート・サーバー管理機能も提供します。

- **コマンド・ライン・インターフェース (IPMI シェル)**

コマンド・ライン・インターフェースにより、IPMI 2.0 プロトコルを介してサーバー管理機能に直接アクセスできます。コマンド・ライン・インターフェースを使用し、サーバーの電源の制御、システム情報の表示、およびサーバーの識別を行うコマンドを発行します。1つ以上のコマンドをテキスト・ファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行することもできます。

- **Serial over LAN**

リモートの場所からサーバーを管理するには、Serial over LAN (SOL) 接続を確立します。リモートで UEFI 設定の表示および変更、サーバーの再起動、サーバーの識別、およびその他の管理機能を実行することができます。すべての標準 Telnet クライアント・アプリケーションは、SOL 接続へのアクセスが可能です。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の使用

このトピックでは、IMM2 に組み込まれているリモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能の概要を示しています。

リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、Integrated Management Module II (IMM2) に組み込まれた機能です。リモート・プレゼンス機能は、以下の機能を備えています。

- システムの状態に関係なく、75 Hz で最大 1600 x 1200 のグラフィックス解像度のビデオをリモート側で表示できます。
- リモート・クライアントからキーボードとマウスを使用して、リモート側でサーバーにアクセスできます。
- リモート・クライアント上の CD または DVD ドライブ、ディスク・ドライブ、および USB フラッシュ・ドライブをマッピングし、また、ISO イメージ・ファイルおよびディスク・イメージ・ファイルを仮想ドライブとしてマッピングして、サーバーで使用できるようにします。
- ディスク・イメージを IMM メモリーにアップロードし、これを仮想ドライブとしてサーバーにマッピングします。

ブルー・スクリーン・キャプチャー機能は、IMM がオペレーティング・システムのハング状態を検出したときにサーバーを再起動する前に、ビデオの表示内容をキャプチャーします。システム管理者は、ハング状態の原因を判別するためにブルー・スクリーン・キャプチャー機能を使用できます。

IMM ホスト名の取得

このトピックでは、IMM のホスト名を取得する方法について説明します。

インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP サーバーが利用不能の場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を使用します。デフォルトの IPv4 ホスト名は「IMM-」(IMM MAC アドレスの最後の 12 文字を追加)です。デフォルトのホスト名は、サーバーの背面にある電源についている IMM ネットワーク・アクセス・タグにも示されています。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

注：LCD 表示パネルから IMM ホスト名、MAC アドレス、および IP アドレスを取得することもできます。詳細については、30 ページの「LCD システム情報表示パネル」を参照してください。

IPv6 リンク・ローカル・アドレス (LLA) は、IMM のデフォルトのホスト名から導き出されます。IMM LLA は、サーバーの背面にある電源の IMM ネットワーク・アクセス・タグにあります。リンク・ローカル・アドレスを導き出すには、以下の手順を実行します。

1. IMM MAC アドレスの最後の 12 文字をとります (たとえば、5CF3FC5EAAD0)。
2. この番号を 16 進文字のペアに分けます (たとえば、5C:F3:FC:5E:AA:D0)。
3. 16 進文字を最初の 6 文字と最後の 6 文字に分けます。
4. 12 文字の中央に「FF」と「FE」を追加します (たとえば、5C F3 FC FFFE 5E AA D0)。
5. 最初の 16 進文字のペアを 2 進数に変換します (たとえば 5=0101、C=1100 で、結果は 01011100 F3 FC FFFE 5E AA D0)。
6. 左から 7 番目の 2 進文字数を (0 なら 1 に、1 なら 0 に) 反転させます。結果は 01011110 F3 FFFE 5E AA D0 となります。
7. 2 進数を 16 進数に戻します (たとえば、5E F3FCFFFE5EAAD0)。

IMM 用の IP アドレスの取得

このトピックでは、IMM の IP アドレスを取得する方法について説明します。

Web インターフェースにアクセスしてリモート・プレゼンス機能を使用するには、IMM の IP アドレスまたはホスト名が必要です。IMM の IP アドレスは、Setup Utility を使用して取得できます。また、IMM のホスト名は、IMM ネットワーク・アクセス・タグから取得できます。サーバーには、IMM 用のデフォルト IP アドレス 192.168.70.125 があります。IP アドレスを入手するには、以下のステップを実行します。

注：LCD 表示パネルから IMM ホスト名、MAC アドレス、および IP アドレスを取得することもできます。詳細については、30 ページの「LCD システム情報表示パネル」を参照してください。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが AC 電源に接続されてから約 10 秒後に、電源オン・ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。(このプロンプトは、数秒間しか画面に表示されません。素早く F1 を押してください。)始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定している場合、Setup Utility の完全メニューにアクセスするには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. Setup Utility のメインメニューから「System Settings」を選択します。

ステップ 4. 次の画面で「Integrated Management Module」を選択します。

ステップ 5. 次の画面で「Network Configuration」を選択します。

ステップ 6. IP アドレスを見つけ、書き留めます。

ステップ 7. Setup Utility を終了します。

IMM Web インターフェースへのログオン

このトピックでは、IMM Web インターフェースにログオンする方法について説明します。

IMM2 Web インターフェースにログオンするには、次の手順を実行してください。

ステップ 1. サーバーに接続されているシステムで、Web ブラウザーを開きます。「アドレス」または「URL」フィールドに、接続する IMM の IP アドレスまたはホスト名を入力します。

注：インストール後初めて IMM にログオンする場合、IMM のデフォルトは DHCP になっています。DHCP ホストが使用できない場合、IMM は静的 IP アドレス 192.168.70.125 を割り当てます。IMM ネットワーク・アクセス・タグは IMM のデフォルトのホスト名を提供するため、サーバーを始動する必要はありません。

ステップ 2. ログイン・ページで、ユーザー名とパスワードを入力します。IMM を初めて使用する場合、ユーザー名とパスワードはシステム管理者から入手できます。ログインの試行はシステム・イベント・ログにすべて記録されます。

注：IMM は、最初はユーザー名 USERID とパスワード PASSWORD (英字の O でなくゼロ) を使用して設定されます。読み取り/書き込み権限が付与されています。このデフォルトのパスワードは、初回ログオン時に変更する必要があります。

ステップ 3. 「Log in」をクリックしてセッションを開始します。「System Status and Health」ページにシステム・ステータスのクイック・ビューが表示されます。

注：IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「System Status」→「System State」でメッセージ「Booting OS or in unsupported OS」が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」状況に変わります。

Telnet を使用した IMM CLI インターフェースへのログオン

このトピックでは、Telnet を使用した IMM CLI インターフェースにログオンする方法について説明します。

Telnet を使用して IMM CLI インターフェースにログオンするには、以下のステップを実行します。

注：IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「System Status」-->「System State」でメッセージ「Booting OS or in unsupported OS」が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type=8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」ステータスに変わります。

ステップ 1. コマンド・プロンプトで **telnet** と入力してから、ログオンする IMM の IP アドレスを入力し、**Enter** を押します。

ステップ 2. IMM のユーザー ID とパスワードを入力し、**Enter** を押します。

ステップ 3. システム・プロンプトで、使用するコマンドを入力します。

注：使用可能なコマンドのリストを表示するには、コマンド・プロンプトで **help** と入力します。

ステップ 4. 完了したら **Exit** と入力し、セッションを終了します。

SSH を使用した IMM CLI インターフェースへのログオン

このトピックでは、SSH を使用した IMM CLI インターフェースにログオンする方法について説明します。

SSH を使用して IMM CLI インターフェースにログオンするには、以下のステップを実行します。

注：IMM GUI を使用中にブートしてオペレーティング・システムをロードするときに、「System Status」->「System State」でメッセージ「Booting OS or in unsupported OS」が表示される場合は、Windows 2008 ファイアウォールを無効にするか、Windows 2008 コンソールに次のコマンドを入力してください。これは、ブルー・スクリーン・キャプチャー機能にも影響を与える場合があります。

```
netsh firewall set icmpsetting type-8 mode=ENABLE
```

デフォルトで、icmp パケットは Windows ファイアウォールによってブロックされます。Web インターフェースと CLI インターフェースの両方で上記に示されたように設定を変更した後、IMM GUI は「OS booted」ステータスに変わります。

ステップ 1. コマンド・プロンプトに `ssh` と入力し、**Enter** キーを押します。

ステップ 2. コマンド・プロンプトで `USERID@IPADDRESS` (USERID および IP ADDRESS は、ログオンする IMM のユーザー ID および IP アドレス) と入力し、**Enter** キーを押します。

ステップ 3. IMM のパスワードを入力し、**Enter** キーを押します。

ステップ 4. システム・プロンプトで、使用するコマンドを入力します。

注：使用可能なコマンドのリストを表示するには、コマンド・プロンプトで `help` と入力します。

ステップ 5. 完了したら `Exit` と入力し、セッションを終了します。

電源の電源ポリシーとシステム電源構成の設定

このトピックでは、電源の電源ポリシーとシステム電源構成の設定について説明します。

出荷時のサーバーのデフォルト電源構成は、AC と DC の両方の電源モデルでスロットルが有効になった非冗長モードです。このモードを冗長モードに変更したい場合は、IMM2 Web インターフェースを使用して、電源の電源ポリシーとシステム電源構成オプションの設定および変更を行う必要があります。IMM2 Web インターフェース、CIM、または Advanced Settings Utility を使用して、ポリシーおよび構成を設定および変更することができます。UEFI Setup Utility を使用して電源ポリシーまたはシステム電源構成オプションの設定も変更も行うことはできません。

以下の情報に従わないと、エラーが生じたり、サーバーがブート(始動)しない可能性があります。

- サーバーは、以下の電源冗長モードをサポートします。
 - 冗長性なし
 - 完全冗長 (Fully Redundant)
 - スロットルありの冗長 (Redundant with Throttle)
- 電源ポリシーとシステム電源構成の設定および変更には、IMM2 を使用する必要があります。
- 電源ポリシーとシステム電源構成の変更には、UEFI を使用できません。
- 電源構成と電源ポリシーを変更できるのは、IMM2 Web インターフェース、CIM、または Advanced Settings Utility (ASU) を使用する場合です。
- 1+1 および 2+2 に対して 5 つの N+N 構成がサポートされます (IMM2 Web インターフェースのシステム電源構成画面にリストされています)。
- 冗長性を確保するために、電源 1 および 3 への給電と、電源 2 および 4 への給電は別々に配線されなければなりません (これはワット数の混合に重要です)。
- 選択したポリシー設定に十分な電力が使用可能でない場合、サーバーはブートしません。この状態が生じる可能性があるのは、ポリシー設定に 2+2 1400W を選択し、電源の 1 つが 110 V AC である場合です。
- 電源スロットのバランスが取られていない (1 と 3、および 2 と 4 など) 場合、電源のワット数を混合する (900W および 1400W) と、サーバーはブートしません。
- 1400W 電源は、高回線 (200 V AC) では 1400W であり、低回線 (100 V AC) では 900W にすぎません。

- 900W 電源は高回線と低回線の両方で 900W です。
- 900W AC と 750W DC の場合、電源が入っているベイには機械的なスパーサーを取り付ける必要があります。
- 電源の推奨取り付け順序は、ベイ 2、3、1、次に 4 です。
- 使用可能な電力がシステム負荷要件を満たすことを確認するために、システムのブート時に Power Maximizer が実行されます。
- 750W DC 電源は、4 電源構成でのみサポートされます。

次の図は、冗長モード用に AC 電源を構成するための IMM2 におけるシステム電源構成の設定例です。

注：電源構成設定を変更する場合は、必ず、冗長モードを選択してから、必要な電源システム構成を選択してください。

System power configuration				
Power supply configuration:				
	Nominal Rating	Voltage	Effective Rating	
Bay 1	1400W @	220Vac	= 1400W	
Bay 2	1400W @	220Vac	= 1400W	
Bay 3	1400W @	220Vac	= 1400W	
Bay 4	1400W @	220Vac	= 1400W	
Available power: 5320W				
Maximum power consumption:				
	With Full Throttling	With No Throttling	Configuration to Budget For	
As currently configured	2032W	2505W	●	
With all hot-plug components	2207W	2680W	○	
<input checked="" type="checkbox"/> Allow throttling to keep system within power budget				
<input checked="" type="checkbox"/> N+N redundancy (specify desired configuration/budget):				
		N+0	N+N	
○ 1+1 with one 900W power supply per feed		900W	1080W	
○ 1+1 with one 1400W power supply per feed		1400W	1680W	
○ 2+2 with two 900W power supplies per feed		1710W	2052W	
○ 2+2 with one 900W and 1400W power supply per feed		2185W	2622W	
● 2+2 with two 1400W power supplies per feed		2660W	3192W	

IMM2 Web インターフェースにログオンするには、145 ページの「IMM Web インターフェースへのログオン」を参照してください。

IMM2 Web インターフェースにログオンした後、「Server Management」タブを選択してから、「Power Management」オプションを選択して、電源構成情報の設定と変更を行ってください。

注：IMM2 ユーザー・インターフェースのアイコン (緑、黄、赤) は、それらのアイコンの上でカーソルを動かすと追加情報を表示します。

IMM2 の使用の詳細については、『*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*』 (http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html) を参照してください。

組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアの使用

USB フラッシュ・デバイスで組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアを有効にする方法については、以下の情報を参照してください。

VMware ESXi 組み込みハイパーバイザー・ソフトウェアは、オプションの組み込みハイパーバイザー付き USB フラッシュ・デバイスで使用可能です。USB フラッシュ・デバイスは、標準 I/O ブック上の USB フラッシュ・デバイス・コネクタに取り付けることができます (このコネクタの位置については、35

ページの「標準 I/O ブック」を参照してください)。ハイパーバイザーは、複数のオペレーティング・システムが1つのホスト・システム上で同時に稼働できるようにする仮想化ソフトウェアです。USB フラッシュ・デバイスは、ハイパーバイザー機能をアクティブにするために必要です。

組み込みハイパーバイザー機能の使用を開始するには、Setup Utility の始動シーケンスに USB フラッシュ・デバイスを追加する必要があります。

USB フラッシュ・デバイスを始動シーケンスに追加するには、以下の手順を実行してください。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが AC 電源に接続されてから約 10 秒後に、電源オン・ボタンがアクティブになります。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。

ステップ 3. Setup Utility のメインメニューから「Boot Manager」を選択します。

ステップ 4. 「Add Boot Option」を選択し、次に「Generic Boot Option」と「Embedded Hypervisor」を選択します。Enter キーを押してから、Esc を押します。

ステップ 5. 「Change Boot Order」を選択し、次に「Change the order」を選択します。上矢印キーと下矢印キーを使用して「Embedded Hypervisor」を選択し、プラス(+)キーとマイナス(-)キーを使用して、ブート順序内で「Embedded Hypervisor」を移動します。「Embedded Hypervisor」がブート順序内の正しい位置になったら、Enter キーを押します。「Commit Changes」を選択して Enter キーを押します。

ステップ 6. 「Save Settings」を選択し、次に「Exit Setup」を選択します。

組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・イメージが破損した場合、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/software/> からイメージをダウンロードすることができます。

追加情報と手順については、「VMware vSphere Installation and Setup Guide」(vSphere のインストールとセットアップ・ガイド)を参照してください。

イーサネット・コントローラーの構成

このトピックでは、イーサネット・コントローラーの構成について説明します。

イーサネット・コントローラーは、1 Gbps または 10 Gbps ネットワークに接続するためのインターフェースであり、全二重 (FDX) 機能 (ネットワーク上でデータの送信と受信を同時に行うことができる) を提供します。イーサネット・ポートが自動ネゴシエーションをサポートしている場合、このコントローラーは、ネットワークのデータ転送速度 (100BASE-T、1000BASE-T、または 10GBASE-T) と二重モード (全二重または半二重) を検出し、自動的にその速度とモードで稼働します。

ジャンパーを設定したり、コントローラーを構成したりする必要はありません。ただし、デバイス・ドライバーをインストールして、オペレーティング・システムがコントローラーをアドレッシングできるようにする必要があります。イーサネット・コントローラーのデバイス・ドライバーおよび構成に関する情報については、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

Features on Demand イーサネット・ソフトウェアの有効化

このトピックでは、Features on Demand イーサネット・ソフトウェアの有効化について説明します。

Integrated Management Module に組み込まれている、Fibre Channel over Ethernet (FCoE) および iSCSI ストレージ・プロトコル用の Features on Demand (FoD) ソフトウェア・アップグレード・キーをアクティブにすることができます。Features on Demand イーサネット・ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「Features on Demand ユーザーズ・ガイド」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5089568>) を参照してください。この資料をダウンロードしたり、Features on

Demand について詳しい情報を検索したりするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「Help」をクリックしてください。

Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化

このトピックでは、Features on Demand RAID ソフトウェアの有効化について説明します。

RAID レベル 5 と 50 または 6 と 60 (Features on Demand キーに応じて) のサポートを受けるためにアクティブにすることができる Features on Demand RAID ソフトウェア・アップグレード・キーが、Integrated Management Module に組み込まれています。Feature On Demand RAID ソフトウェア・キーのアクティブ化に関する詳細情報と方法については、「*Features on Demand ユーザーズ・ガイド*」(<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=migr-5089568>) を参照してください。この資料のダウンロードまたは Features on Demand に関する詳しい情報の検索を行うには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/> にアクセスしてログインし、「Help」をクリックしてください。

RAID アレイの構成

このトピックでは、サーバーの Setup Utility を使用して RAID アレイを構成する手順について説明します。

Setup Utility を使用して、RAID アレイを構成するユーティリティーにアクセスすることができます。アレイを構成する特定の手順は、ご使用の RAID コントローラーによって異なります。詳しくは、ご使用の RAID コントローラー用の説明書を参照してください。ご使用の RAID コントローラー用のユーティリティーにアクセスするには、次の手順を実行してください。

1. サーバーの電源をオンにします。

注：サーバーが AC 電源に接続されてから約 10 秒後に、電源オン・ボタンがアクティブになります。

2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。管理者パスワードが設定されている場合、すべての Setup Utility メニューにアクセスするには、管理者パスワードを入力しなければなりません。管理者パスワードを入力しないと、Setup Utility の限られたメニューしか使用できません。
3. 「System Settings」→「Storage」を選択します。
4. Enter キーを押して、デバイス・ドライバーのリストを最新表示します。
5. ご使用の RAID コントローラーに適したデバイス・ドライバーを選択し、Enter キーを押します。
6. ご使用の RAID コントローラーの説明書にある指示に従います。

Advanced Settings Utility プログラム

ここでは、Advanced Settings Utility プログラムについて説明します。

Advanced Settings ユーティリティー (ASU) プログラムは、UEFI 設定の変更を行うための、Setup Utility の代替となるプログラムです。ASU プログラムをオンラインまたはアウト・オブ・バンドで使用すると、コマンド・ラインから UEFI 設定を変更することができるので、Setup Utility にアクセスするためにシステムを再起動する必要がありません。

また、ASU プログラムを使用して、オプションのリモート・プレゼンス機能またはその他の IMM 設定を構成することができます。リモート・プレゼンス機能は、システム管理の拡張機能を提供します。

また、ASU プログラムには、コマンド・ライン・インターフェースを使用して IMM の IPMI 機能を構成するための限定された設定もあります。

セットアップ・コマンドを実行するには、コマンド・ライン・インターフェースを使用します。すべての設定をファイルとして保存し、そのファイルをスクリプトとして実行できます。ASU プログラムは、バッチ処理モードを使用してスクリプト環境をサポートします。

ASU プログラムの詳しい説明とダウンロードについては、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-ASU> にアクセスしてください。

汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データの更新

このトピックでは、サーバー上の汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データの更新について説明します。

標準 I/O ブックを交換した後は、新しい標準 I/O ブック・ボード上の Integrated Management Module (IMM) の汎用固有 ID (UUID) データおよび DMI/SMBIOS データを更新する必要があります。UUID データおよび DMI/SMBIOS データの更新は、Advanced Settings Utility (ASU) および以下のアクセス方式を使用して行うことができます。

- ローカル (インバンド)
 - キーボード・コントローラー・スタイル (KCS) インターフェース経由
 - LAN over USB インターフェース経由
- リモート: LAN 経由

サポートされている任意のオペレーティング・システムで ASU を使用できます。あるいは、Bootable Media Creator か、Windows または Linux ベースのツールキットを使用して、ASU を組み込んだブート可能メディアを作成できます。Advanced Settings Utility (ASU) については「*Advanced Settings Utility ユーザーズ・ガイド*」を参照し、ASU コードのダウンロードと解凍について <https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-ASU> を参照してください。

IMM にアクセスする以外の方法で UUID および DMI/SMBIOS データを更新する手順については、152 ページの「ローカル: キーボード・コントローラー・スタイル (KCS)」、152 ページの「ローカル: LAN over USB」、および 153 ページの「リモート: LAN 経由」を参照してください。以下の規則がコマンド構文に適用されます。

- 変数はイタリックで示されます。
- オプション・パラメーターは、大括弧 ([]) で囲まれています。大括弧はコマンドに入力しないでください。オプション・パラメーターを省略した場合は、デフォルトが使用されます。
- コマンド構文は大/小文字混合で示されていますが、コマンドは大/小文字を区別しません。

ローカル: キーボード・コントローラー・スタイル (KCS)

このトピックでは、キーボード・コントローラー・スタイル (KCS) 方式を使用して、サーバー上でローカル側から汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データを更新する方法について説明します。

このアクセス方式は IPMI/KCS インターフェースを使用します。IPMI ドライバーがインストールされている必要があります。一部のオペレーティング・システムでは、IPMI ドライバーはデフォルトでインストールされています。Advanced Settings Utility (ASU) は、対応するマッピング・レイヤーを提供します。

UUID を更新するには、ASU コマンドライン・インターフェースで以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID uuid
```

ここで、*uuid* はユーザーが割り当てた最大 16 バイトの 16 進値で、サーバーを識別します。

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. ASU コマンドライン・インターフェースで、以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName xxxxyyy
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xxxx

サーバーの 4 桁のマシン・タイプです。

yyy

サーバーの 3 桁の型式番号です。

ステップ 2. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum zzzzzzz
```

ここで *zzzzzzz* は、サーバーの 7 文字のシリアル番号です。

ステップ 3. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa
```

ここで *aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は、サーバーの 33 文字の資産タグ番号です。

ローカル: LAN over USB

このトピックでは、LAN over USB を使用して、サーバー上でローカル側から汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データを更新する方法について説明します。

UUID を更新するには、ASU コマンドライン・インターフェースで以下のコマンドを入力します。

注：オプション・パラメーターを省略した場合は、デフォルト値が使用されます。1つ以上のデフォルト値が使用され、ASUがLAN over USB アクセス方式を使用してIMMにアクセスできない場合、ASUは自動的にKCS アクセス方式を使用します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID uuid [-host ipaddress] [-user userid][-password password]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

uuid

ユーザーが割り当てた最大 16 バイトの 16 進値で、サーバーを識別します。

ipaddress

IMM の内部 LAN/USB IP アドレスです。デフォルトは 169.254.95.118 です。

userid

IMM アカウント名です (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルトは USERID です。

パスワード

IMM アカウントのパスワードです (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O(オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. ASU コマンドライン・インターフェースで、以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName xxxxyyy [-host ipaddress] [-user userid][-password password]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xxxx

サーバーの 4 桁のマシン・タイプです。

yyy

サーバーの 3 桁の型式番号です。

ipaddress

IMM の内部 LAN/USB IP アドレスです。デフォルトは 169.254.95.118 です。

userid

IMM アカウント名です (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルトは USERID です。

パスワード

IMM アカウントのパスワードです (12 アカウントのうちの一つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O(オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

ステップ 2. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum zzzzzzz [-host ipaddress] [-user userid][-password password]
```

ここで *zzzzzzz* は、サーバーの 7 文字のシリアル番号です。

ステップ 3. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa [-host ipaddress] [-user userid][-password password]
```

ここで *aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は、サーバーの 33 文字の資産タグ番号です。

リモート: LAN 経由

このトピックでは、LAN 経由でリモート側から、サーバー上の汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データを更新する方法について説明します。

ASU コマンドライン・インターフェースで UUID を更新するには、以下のコマンドを入力します。

注：オプション・パラメーターを省略した場合は、デフォルト値が使用されます。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoUUID uuid -host ipaddress [-user userid][-password password]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

uuid

ユーザーが割り当てた最大 16 バイトの 16 進値で、サーバーを識別します。

ipaddress

IMM の外部 LAN IP アドレスです。

userid

IMM アカウント名です (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルトは USERID です。

パスワード

IMM アカウントのパスワードです (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O (オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

DMI/SMBIOS データを更新するには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. ASU コマンドライン・インターフェースで、以下のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoProdName xxxxyyy -host ipaddress [-user userid][-password password]
```

ここで、それぞれ以下の意味があります。

xxxx

サーバーの 4 桁のマシン・タイプです。

yyy

サーバーの 3 桁の型式番号です。

ipaddress

IMM の外部 LAN IP アドレスです。

userid

IMM アカウント名です (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルトは USERID です。

パスワード

IMM アカウントのパスワードです (12 アカウントのうちの 1 つ)。デフォルトは PASSWORD (0 は文字の「O (オー)」ではなく、数字の「ゼロ」) です。

ステップ 2. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysInfoSerialNum zzzzzzz -host ipaddress [-user userid][-password password]
```

ここで *zzzzzzz* は、サーバーの 7 文字のシリアル番号です。

ステップ 3. 次のコマンドを入力します。

```
asu set SYSTEM_PROD_DATA.SysEncloseAssetTag aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa -host ipaddress [-user userid][-password password]
```

ここで *aaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaaa* は、サーバーの 33 文字の資産タグ番号です。

第 4 章 トラブルシューティング

ここでは、サーバーで発生した問題を解決するために役立つ診断ツールとトラブルシューティング情報について説明します。

この章の情報を使用して問題の診断および修正ができない場合は、[2221 ページの付録 E「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#)で詳細を確認してください。

ここから開始します

多くの問題は、本書およびワールド・ワイド・ウェブ (WWW) にあるトラブルシューティング手順に従うことで、外部の支援を得ずに解決することができます。

本書には、お客様が実行できる診断テスト、トラブルシューティング手順、およびエラー・メッセージとエラー・コードの説明が記載されています。ご使用のオペレーティング・システムおよびソフトウェアに付属の資料にも、トラブルシューティング情報が含まれています。

問題の診断

認定保証サービス提供者に連絡する前に、以下の手順を、ここに示されている順序で実行して、サーバーに関する問題を診断してください。

ステップ 1. **問題が発生する前の状態にサーバーを戻します。**

問題が発生する前に変更したハードウェア、ソフトウェア、あるいはファームウェアがある場合は、可能であればそれらの変更を元に戻します。これを行う対象には、以下の項目があります。

- ハードウェア・コンポーネント
- デバイス・ドライバーおよびファームウェア
- システム・ソフトウェア
- UEFI ファームウェア
- システム入力電力またはネットワーク接続

ステップ 2. **Light path 診断 LED およびイベント・ログを確認します。**

このサーバーは、ハードウェアおよびソフトウェアの問題診断が容易に行えるように設計されています。

- **Light path 診断 LED** Light path 診断 LED の使用については、[163 ページの「Light path 診断」](#)を参照してください。
- **イベント・ログ**: 通知イベントおよび診断については、[173 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。
- **ソフトウェアまたはオペレーティング・システムのエラー・コード**: 特定のエラー・コードに関する情報は、ソフトウェアまたはオペレーティング・システムの資料を参照してください。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。

ステップ 3. **Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、システム・データを収集します。**

ハードウェア、ファームウェア、ソフトウェア、およびオペレーティング・システムについての情報を収集するには、Dynamic System Analysis (DSA) を実行します。認定保証サービス提供者に連絡する際に、この情報を提供してください。DSA の実行方法については、「[Dynamic System Analysis インストールおよびユーザーズ・ガイド](#)」を参照してください。

最新バージョンの DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis* インストールおよびユーザーズ・ガイド」をダウンロードするには、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA> にアクセスしてください。

ステップ 4. コードの更新を確認して、適用します。

多くの問題に対応するフィックスまたは回避策が、更新済みの UEFI ファームウェア、デバイス・ファームウェア、またはデバイス・ドライバで使用可能である場合があります。サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバ・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

重要：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

a. UpdateXpress システム更新をインストールします。

UpdateXpress システム・パックまたは UpdateXpress CD イメージとしてパッケージされているコード更新をインストールできます。UpdateXpress System Pack には、サーバー用のオンライン・ファームウェア更新とデバイス・ドライバ更新の統合テスト済みバンドルが収録されています。さらに、ToolsCenter Bootable Media Creator を使用して、ファームウェア更新の適用およびプリブート診断の実行に適切なブート可能メディアを作成することができます。UpdateXpress System Pack の詳細については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=SERV-XPRESS> および 127 ページの「ファームウェアの更新」を参照してください。Bootable Media Creator の詳細については、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-BOMC> を参照してください。

リストされたクリティカルな更新の中に、リリースの日付が UpdateXpress System Pack または UpdateXpress イメージのリリース日以降のものがある場合は、必ず個別にインストールしてください(ステップ b を参照)。

b. 手動のシステム更新をインストールします。

1. 既存のコード・レベルを判別します。

DSA で、「Firmware/VPD」をクリックしてシステム・ファームウェア・レベルを表示するか、「Software」をクリックしてオペレーティング・システム・レベルを表示します。

2. 最新レベルではないコードの更新をダウンロードして、インストールします。

サーバー用に使用可能な更新のリストを表示するには、<http://www.ibm.com/support/fixcentral> にアクセスしてください。

更新をクリックすると、情報ページが表示され、その更新で修正された問題のリストが記載されています。このリストにお客様の特定の問題がないか調べてください。ただし、お客様の問題がリストされていない場合でも、更新をインストールすると問題が解決される場合があります。

ステップ 5. 構成の誤りを確認して、訂正します。

サーバーが誤って構成されている場合、それを有効にするとシステム機能に障害が起きることがあります。サーバー構成を誤って変更した場合、有効であったシステム機能が作動を停止することがあります。

- a. インストール済みのすべてのハードウェアおよびソフトウェアがサポートされていることを検証します。
<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照して、サーバーがインストール済みのオペレーティング・システム、オプションのデバイス、およびソフトウェア・レベルをサポートしていることを確認してください。サポートされていないハードウェアまたはソフトウェア・コンポーネントがある場合、それをアンインストールして、それが問題の原因ではないかどうかを判別します。認定保証サービス提供者に連絡して支援を求める前に、サポートされていないハードウェアを取り外す必要があります。
- b. サーバー、オペレーティング・システム、およびソフトウェアのインストールおよび構成が正しく行われていることを確認します。
多くの構成問題は、電源ケーブルや信号ケーブルの緩み、あるいはしっかり取り付けられていないアダプターに原因があります。サーバーの電源をオフにし、ケーブルを接続し直し、アダプターを取り付け直して、サーバーの電源をオンに戻すことで、問題を解決できる場合があります。チェックアウト手順の実行については、[159 ページの「チェックアウト手順について」](#)を参照してください。サーバーの構成については、[128 ページの「サーバーの構成」](#)を参照してください。

ステップ 6. **コントローラーおよび管理ソフトウェアの資料を参照します。**

問題が特定の機能に関連している場合(たとえば、RAID ハードディスク・ドライブが RAID アレイにオフラインとしてマークされる場合)には、関連のコントローラーと管理または制御ソフトウェアの資料を参照して、コントローラーが正しく構成されていることを確認してください。

RAID アダプターおよびネットワーク・アダプターなど、さまざまなデバイスの問題判別に関する情報を入手できます。

オペレーティング・システム、ソフトウェア、デバイスに関する問題については、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

ステップ 7. **トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを確認します。**

トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントには、既知の問題および推奨される解決策が文書化されています。トラブルシューティング手順および RETAIN のヒントを検索するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

ステップ 8. **トラブルシューティング表を使用します。**

識別可能な現象が発生している問題の解決方法を見つけるには、[182 ページの「症状別トラブルシューティング」](#)を参照してください。

単一の問題が複数の現象の原因になっていることがあります。最も顕著な現象のトラブルシューティング手順に従ってください。その手順で問題を診断できない場合は、可能であれば、別の現象に関する手順を使用してください。

問題が解決しない場合は、認定保証サービス提供者に連絡して、追加の問題判別および場合によってはハードウェアの交換について支援を求めてください。オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コードおよび収集されたデータに関する情報を提供できるように準備してください。

文書化されていない問題

診断手順を完了しても問題が残る場合、その問題はこれまでに確認されていない可能性があります。すべてのコードが最新レベルであり、すべてのハードウェアおよびソフトウェアの構成が有効であり、どの light path 診断 LED およびログ項目もハードウェア・コンポーネントの障害を示していないことを確認した後で、認定保証サービス提供者に連絡して支援を得てください。

オンライン・サービス要求を開くには、http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスしてください。エラー・コード、収集されたデータ、および使用した問題判別手順についての情報を提供できるように準備してください。

Service Bulletin

システムの問題を解決するための最新のヒントと技法を見つけるには、以下の情報を参照してください。

サポート Web サイトでは、Lenovo サーバーで発生する可能性がある問題を解決するためにお客様が利用できる最新のヒントと技法についての情報を常時更新しています。

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーに対して使用可能な Service Bulletin を検索するには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、マシン・タイプ「6241」および「retain」を検索します。

チェックアウト手順

チェックアウト手順は、サーバーの問題を診断するために行う必要がある一連の作業です。

チェックアウト手順について

このトピックでは、サーバーのチェックアウト手順について説明します。

ハードウェアの問題を診断するためのチェックアウト手順を行う前に、以下の情報をよくお読みください。

- 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- Dynamic System Analysis (DSA) は、サーバーの主要コンポーネント (イーサネット・コントローラー、キーボード、マウス (ポインティング・デバイス)、シリアル・ポート、およびハードディスク・ドライブなど) の基本テスト方式を提供します。これらのプログラムを使用して、一部の外部デバイスをテストすることもできます。問題の原因がハードウェアにあるか、ソフトウェアにあるかが不確実な場合は、診断プログラムを使用して、ハードウェアが正しく作動しているかどうかを確認することができます。
- DSA を実行すると、1 つの問題で複数のエラー・メッセージが出されることがあります。その場合は、最初のエラー・メッセージの原因を解決してください。通常、次回に DSA を実行するときは、他のエラー・メッセージは出なくなります。

複数のエラー・コードあるいは複数の light path 診断 LED が 1 つのマイクロプロセッサ・エラーを示す場合、エラーはマイクロプロセッサ内またはマイクロプロセッサ・ソケット内にある可能性があります。マイクロプロセッサ問題の診断については、[191 ページの「マイクロプロセッサの問題」](#)を参照してください。

- 診断プログラムを実行する前に、障害のあるサーバーが共用ハードディスク・ドライブ・クラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のシステム) の一部であるかどうかを判別する必要があります。クラスターの一部である場合は、記憶装置 (つまり、記憶装置内のハードディスク・ドライブ) または記憶装置に接続されているストレージ・アダプターをテストするプログラムを除いて、すべての診断プログラムを実行できます。以下の場合には、障害のあるサーバーがクラスターの一部である可能性があります。
 - ユーザーが、障害のあるサーバーがクラスター (外部ストレージ・デバイスを共用する複数のサーバー) の一部であると確認した場合。
 - 1 つ以上の外部記憶デバイスが障害を起こしているサーバーに接続されており、接続されている記憶デバイスの少なくとも 1 つは別のサーバーまたは未確認デバイスにも接続されている場合。
 - 1 つ以上のサーバーが、障害を起こしているサーバーの近くに配置されている場合。

重要：サーバーが共用ハードディスク・ドライブ・クラスターの一部である場合は、一度に 1 つだけテストを実行してください。「クイック」テストや「通常」テストなど、一組になっているテストを実行しないでください。これを行うと、一連のハードディスク・ドライブ診断テストが有効にされることがあります。

- サーバーが停止され、POST エラー・コードが表示される場合は、[2191 ページの付録 D「UEFI/POST エラー・コード」](#)を参照してください。サーバーが停止されるが、エラー・メッセージが表示されない場合は、[182 ページの「症状別トラブルシューティング」](#)および [204 ページの「未解決問題の解決」](#)を参照してください。
- 電源の問題については、[203 ページの「電源の問題の解決」](#)および [170 ページの「電源 LED」](#)を参照してください。
- 偶発的な問題が生じる場合は、イベント・ログをチェックしてください。これについては、[173 ページの「イベント・ログ」](#)および [325 ページの付録 B「DSA 診断テスト結果」](#)を参照してください。

チェックアウト手順の実行

このトピックでは、チェックアウト手順を実行して、サーバーのハードウェア障害を診断する方法について説明します。

チェックアウト手順を実行するには、次のステップを行います。

ステップ 1. サーバーはクラスターの一部ですか。

- **いいえ:** [160 ページのステップ 2](#)に進みます。
- **はい:** クラスターに関連した、障害のあるすべてのサーバーをシャットダウンします。 [160 ページのステップ 2](#)に進みます。

ステップ 2. 次の手順を実行してください。

- a. 電源 LED を検査します ([170 ページの「電源 LED」](#)を参照)。
- b. サーバーおよび接続されているすべての外部デバイスの電源をオフにします。
- c. すべての内蔵デバイスおよび外付けデバイスの互換性を <http://www.lenovo.com/serverproven/>でチェックします。
- d. ケーブルおよび電源コードをすべてチェックします。
- e. すべてのディスプレイ制御装置を中間位置に設定します。
- f. すべての外部デバイスの電源を入れます。
- g. サーバーの電源をオンにします。サーバーが起動しない場合は、[182 ページの「症状別トラブルシューティング」](#)を参照してください。
- h. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED を確認します。それが点灯している場合は、light path 診断 LED をチェックします ([163 ページの「Light path 診断」](#)を参照)。
- i. 以下の結果が生じているかどうかを確認します。
 - POST の正常終了 (詳細については、[176 ページの「POST」](#)を参照)
 - 始動の正常終了 (オペレーティング・システム・デスクトップの読み取り可能な表示によって示されます)

ステップ 3. 判読可能なイメージがモニター画面に表示されていますか。

- **いいえ:** [182 ページの「症状別トラブルシューティング」](#)で障害の徴候を見つけ出します。必要があれば、[204 ページの「未解決問題の解決」](#)を参照してください。
- **はい:** DSA を実行します ([178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」](#)を参照)。
 - DSA がエラーを報告する場合は、[325 ページの付録 B「DSA 診断テスト結果」](#)の指示に従ってください。
 - DSA がエラーを報告しなくても、なお問題があると思われる場合は、[204 ページの「未解決問題の解決」](#)を参照してください。

診断ツール

このトピックでは、サーバーの問題の診断に役立つツールの概要について説明します。

次のツールは、ハードウェア関連の問題の診断と解決に役立ちます。

- **LCD システム情報表示パネル**

サーバーの LCD システム情報表示パネルは、問題の診断に役立つメッセージを表示します。メッセージのリストについては、[319 ページの付録 A「LCD 表示パネル・メッセージ」](#)を参照してください。LCD システム情報表示パネルの詳細については、[30 ページの「LCD システム情報表示パネル」](#)を参照してください。

- **Light path 診断**

Light path 診断を使用して、システム・エラーを迅速に診断します。詳細については、[163 ページの「Light path 診断」](#)を参照してください。

- **イベント・ログ**

イベント・ログには、サブシステム IMM2、POST、DSA、およびサーバー・ベースボード管理コントローラーのエラーの検出時に生成されるエラー・コードとメッセージがリストされます。詳細については、[173 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

- **Integrated Management Module II**

Integrated Management Module II (IMM2) では、サービス・プロセッサ機能、ビデオ・コントローラー、およびリモート・プレゼンス機能とブルー・スクリーン・キャプチャー機能が1つのチップに組み合わせられています。IMM は、高度なサービス・プロセッサの制御、監視、およびアラート機能を提供します。環境条件がしきい値を超えたり、システム・コンポーネントに障害が起きたりすると、IMM は、問題の診断に役立つよう LED を点灯して、IMM イベント・ログにエラーを記録し、ユーザーに問題のアラートを出します。オプションで、IMM はリモート・サーバー管理機能のための仮想プレゼンス機能も提供します。IMM は、以下の業界標準インターフェースを通してリモート・サーバー管理を行います。

- Intelligent Platform Management Protocol (IPMI) バージョン 2.0
- Simple Network Management Protocol (SNMP) バージョン 3
- 共通情報モデル (CIM)
- Web ブラウザー

Integrated Management Module II (IMM2) についての詳細は、[143 ページの「Integrated Management Module の使用」](#)、[473 ページの付録 C「Integrated Management Module II \(IMM2\) エラー・メッセージ」](#)、および「[Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド](http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html)」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html)を参照してください。

- **Lenovo Dynamic System Analysis**

問題を診断するために、DSA Portable および DSA Preboot の2つのエディションの Dynamic System Analysis (DSA) が使用可能です。

- DSA Portable DSA Portable は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA Portable は、サーバーのオペレーティング・システム上で稼働し、サーバーに関する以下の情報を収集します。
 - Drive Health 情報
 - ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
 - 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
 - インストールされているアプリケーションとホット・フィックス
 - カーネル・モジュール

- Light path 診断の状況
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Portable は DSA ログを作成します。これはシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、Integrated Management Module (IMM) イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。この DSA ログをファイルとして Lenovo サポートに送信する (Lenovo サポートに必要な場合) か、テキスト・ファイルまたは HTML ファイルとして情報を表示することができます。

注：最新の構成データを使用していることを確認するために、使用可能な最新バージョンの DSA を使用してください。DSA の資料とダウンロード情報については、<http://shop.lenovo.com/us/en/systems/solutions/> を参照してください。

追加情報については、176 ページの「Dynamic System Analysis プログラム」と 325 ページの付録 B 「DSA 診断テスト結果」を参照してください。

- DSA Preboot DSA Preboot 診断プログラムは、サーバーの内蔵 USB メモリーに格納されます。DSA Preboot は、サーバーの問題を診断する際に役立つシステム情報を収集して分析し、サーバーにおける主要コンポーネントの診断テストの豊富なセットを提供します。DSA Preboot は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- Drive Health 情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- 取り付け済みハードウェア (PCI および USB 情報を含む)
- Light path 診断のステータス
- マイクロプロセッサ、I/O ハブ、および UEFI エラー・ログ
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) の状況および構成
- システム構成
- 重要プロダクト・データ、ファームウェア、および UEFI 構成

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付け済みの場合) の診断も提供します。

1. Emulex ネットワーク・アダプター
2. IMM I2C バス
3. Light path 診断パネル
4. メモリー・モジュール
5. マイクロプロセッサ
6. 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
7. SAS または SATA ドライブ

DSA Preboot プログラムを Lenovo サーバーで実行する場合の詳細については、178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。

- 現象別トラブルシューティング

これらの表には、問題の現象と、問題を訂正するための処置がリストされています。詳細については、[182 ページの「症状別トラブルシューティング」](#)を参照してください。

Light path 診断

このトピックでは、light path 診断 LED の概要を示しています。

Light path 診断は、サーバーの各種外部コンポーネントおよび内部コンポーネント上にある LED のシステムで、これを使用して障害のあるコンポーネントを特定することができます。エラーが発生すると、サーバーの前面にある前面オペレーター・パネルで LED が点灯し、次に障害が起こったコンポーネント上で点灯します。特定の順序で LED を確認することにより、多くの場合、エラーの原因を確認できます。

エラーを示す LED が点灯すると、サーバーが電源に接続されたままであり、電源が正しく作動していれば、それらの LED はサーバーの電源がオフになってもそのまま点灯しています。

Light path 診断 LED を確認するためサーバー内部で作業する前に、[v ページの「安全について」](#)、[48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)、および[50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」](#)をお読みください。

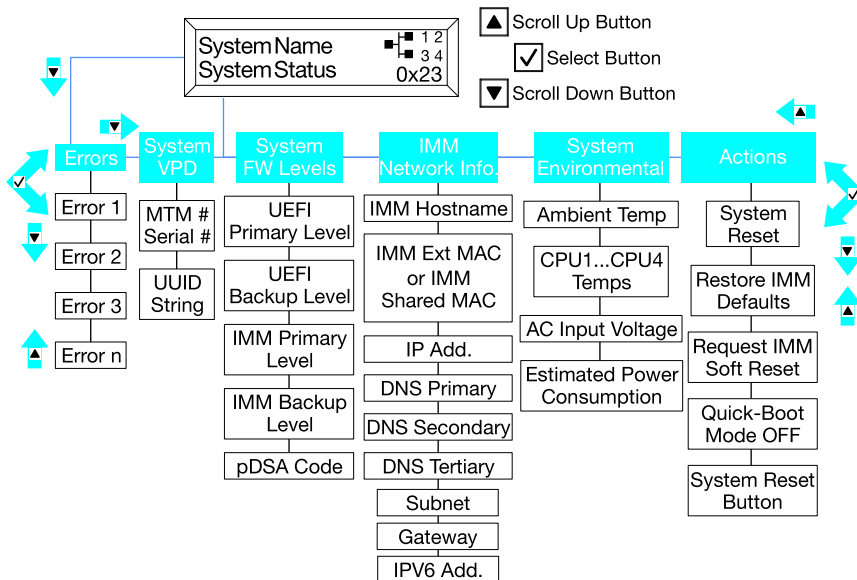
エラーが発生した場合は、次の順序で light path 診断 LED を見てください。

1. サーバーの前面にある前面オペレーター・パネルを見ます ([30 ページの「前面オペレーター・パネル」](#)を参照)。
 - チェック・ログ LED が点灯している場合、サーバーの分離されていない障害状態に関する情報が IMM イベント・ログまたはシステム・イベント・ログで入手可能であることを示しています。
 - システム・エラー LED が点灯している場合、エラーが発生したことを示しています。ステップ 2 に進んでください。

注：リセット・ボタン: サーバーをリセットして、電源オン・セルフテスト (POST) を実行するには、前面オペレーター・パネルでこのボタンを押します。ボタンを押すには、ペンまたは真っすぐに伸ばしたペーパー・クリップの先を使用することが必要な場合があります。

2. サーバー内のモジュール (前面と背面) には LED があり、点灯して問題の場所を示します。

Light path 診断 LED に加えて、サーバーの LCD システム情報表示パネルも、システムによって報告されたエラーの現在のリストなどの情報を表示します。次の図は、LCD 表示パネルを示しています。LCD 表示パネルの詳細については、[30 ページの「LCD システム情報表示パネル」](#)を参照してください。



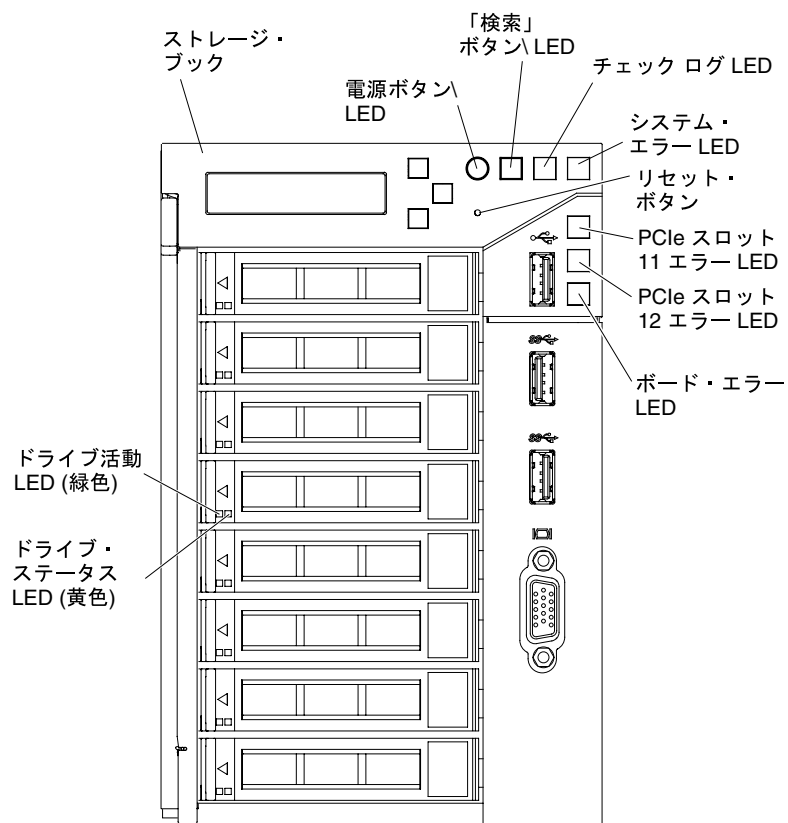
サーバーの前面にあるモジュールのLEDの位置については、164ページの「ストレージ・ブックLED」、166ページの「コンピュート・ブックLED」、および167ページの「DIMMおよびマイクロプロセッサLED」を参照してください。

サーバーの背面にあるモジュールのLEDの位置については、168ページの「ハーフサイズI/OブックLED」、169ページの「フルサイズI/OブックLED」、169ページの「標準I/OブックLED」、および170ページの「電源LED」を参照してください。

ストレージ・ブックLED

ストレージ・ブックのLEDの位置を判別するには、この情報を使用します。

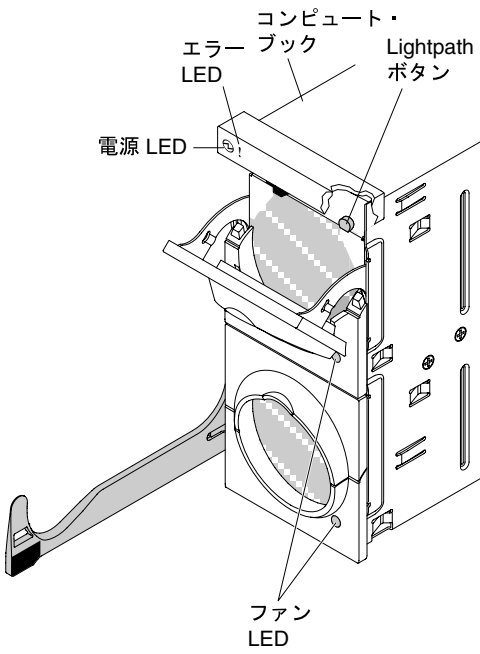
次の図は、ストレージ・ブックのLEDの位置を示しています。



コンピュータ・ブック LED

コンピュータ・ブックのLEDの位置を判別するには、この情報を使用します。

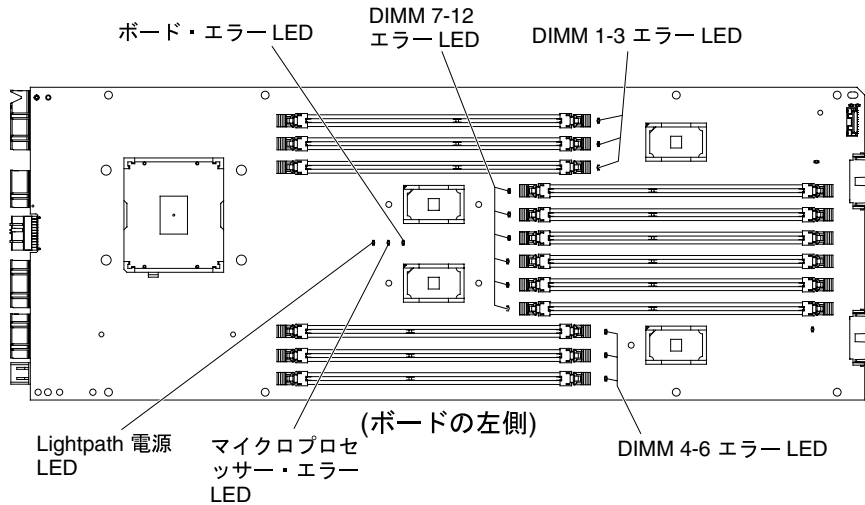
次の図は、コンピュータ・ブックのLEDの位置を示しています。



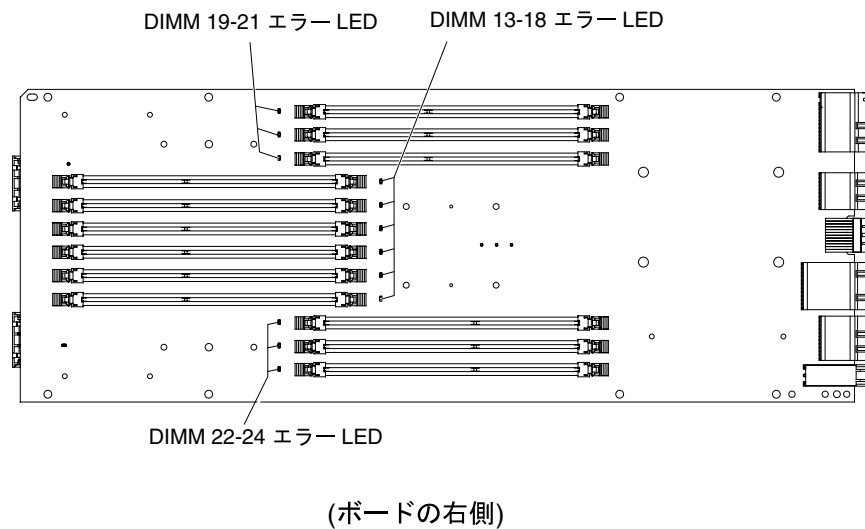
DIMM およびマイクロプロセッサ LED

DIMM およびマイクロプロセッサ LED の位置を判別するには、この情報を使用します。

次の図は、コンピュート・ブック・ボードのマイクロプロセッサがある側の DIMM およびマイクロプロセッサ LED の位置を示しています。



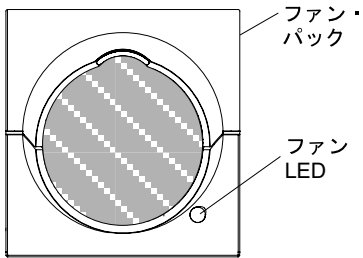
次の図は、コンピュート・ブック・ボードのマイクロプロセッサがない側の DIMM LED の位置を示しています。



ファン LED

以下のトピックは、ファン LED の位置について説明します。

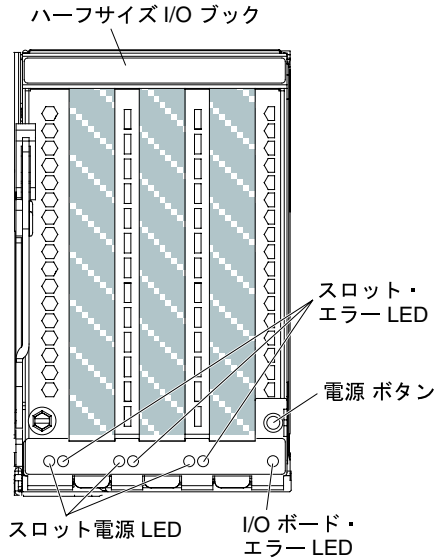
次の図は、ファン LED の位置を示しています。



ハーフサイズ I/O ブック LED

ハーフサイズ I/O ブック LED の位置を判別するには、この情報を使用します。

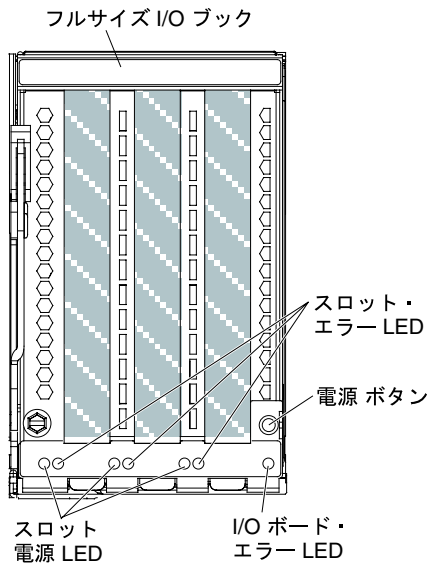
次の図は、ハーフサイズ I/O ブック LED の位置を示しています。



フルサイズ I/O ブック LED

フルサイズ I/O ブック LED の位置を判別するには、この情報を使用します。

次の図は、フルサイズ I/O ブック LED の位置を示しています。

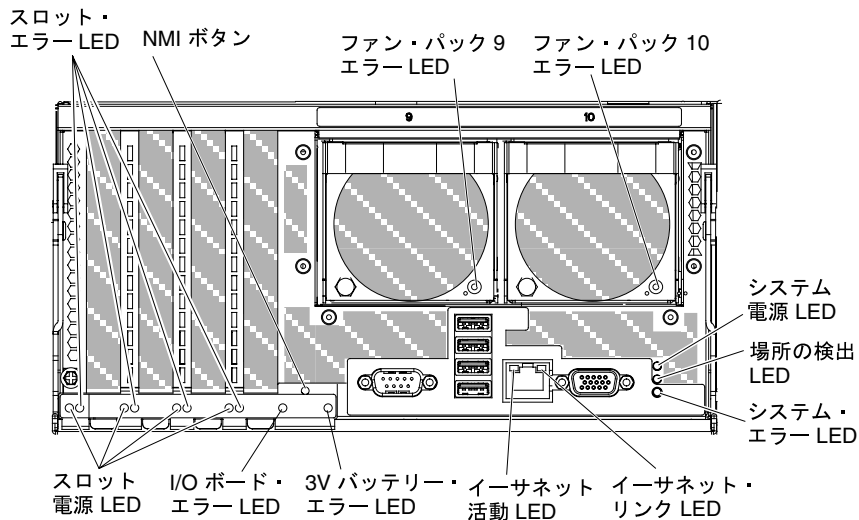


標準 I/O ブック LED

標準 I/O ブックの LED の位置を判別するには、この情報を使用します。

標準 I/O ブック

次の図は、標準 I/O ブックの LED の位置を示しています。



電源 LED

以下のトピックは、電源 LED の位置について説明します。

電源の AC 電源 LED が点灯するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- 電源
- 電源コード
- 電源からの適切な入力電源

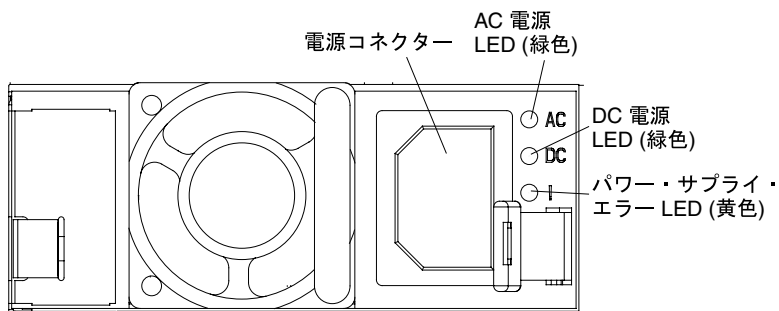
4 ソケット・サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- コンピュート・ブック 1 つ、および DIMM コネクター 9 に 4 GB DIMM 1 つ
- 標準 I/O ブック
- ストレージ・ブック
- 1 個の電源
- 電源コード

8 ソケット (x3950 X6) サーバーを始動するために必要な最小構成は、以下のとおりです。

- E7-8xxx v2 マイクロプロセッサを搭載した コンピュート・ブック、最小 4 つ (各ノードに 2 つ)。マイクロプロセッサは、同じキャッシュ・サイズ、タイプ、およびクロック・スピードでなければなりません。
- 8 ソケット・シャーシ
- 標準 I/O ブック 2 つ
- ストレージ・ブック 2 つ
- 電源、最小 4 つ (各ノードに電源 2 つ)

次の図は、電源 LED の位置を示しています。



次の表では、電源 LED と前面オペレーター・パネル上の電源オン LED の種々の組み合わせで示される問題、および検出された問題を修正するための推奨アクションについて説明しています。

表 33. 電源 LED と前面オペレーター・パネル上の電源オン LED で示される問題、および問題を解決するための推奨アクション

電源 LED			説明	操作	注
AC	DC	エラー			
オン	オン	オフ	正常に作動		サーバーは正常に機能しています。
オフ	オフ	オフ	サーバーに AC 電源が供給されていないか、AC 電源に問題があるか、電源に障害が起きた。	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーへの AC 電源をチェックします。 2. 電源コードが正常に機能している電源に接続さ 	AC 電源を接続していないときは、これが正常な状態です。

表 33. 電源 LED と前面オペレーター・パネル上の電源オン LED で示される問題、および問題を解決するための推奨アクション (続き)

電源 LED			説明	操作	注
AC	DC	エラー			
				れていることを確認します。 3. サーバーを再起動します。エラーが解決されない場合は、電源 LED を確認します。 4. 電源を交換します。	
オフ	オフ	オン	電源への入力電源がない、または電源が内部の問題を検出した。	1. 電源コードが正常に機能している電源に接続されていることを確認します。 2. 電源を交換してください。	第2電源がサーバーに電力を供給している場合にのみ発生します。
オフ	オン	オフ	電源に障害が起きている。	電源を交換してください。	
オフ	オン	オン	障害のある電源	電源を交換してください。	
オン	オフ	オフ	システムはオフになっている: システムは電源に接続されている。		サーバーは正常に機能しています。
			システムはオンになっている: 電源が完全に取り付けられていないか、標準 I/O ブックに障害があるか、電源に障害がある。	1. 電源を取り付け直します。 2. 電源を交換します。 3. 標準 I/O ブック を交換します。	一般的には、電源が完全に差し込まれていない状態を示します。
オン	オフ	オン	障害のある電源	電源を交換してください。	
オン	オン	オン	電源に障害がある	電源を交換してください。	

Light path 診断 LED の説明

このトピックでは、light path 診断 LED について説明します。

以下の表は、問題の場所を検出するのに役立つサーバー LED について説明しています。サーバー LED の位置については、164 ページの「ストレージ・ブック LED」、166 ページの「コンピュート・ブック LED」、167 ページの「DIMM およびマイクロプロセッサ LED」、168 ページの「ハーフサイズ I/O ブック LED」、169 ページの「フルサイズ I/O ブック LED」、169 ページの「標準 I/O ブック LED」、および 170 ページの「電源 LED」を参照してください。

注: FRU を交換する前に、IMM イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを参照して、追加情報がないかどうか調べてください。どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。

表 34. Light path 診断 LED の説明

LED	説明
3V バッテリー・エラー LED	この LED が点灯している場合、標準 I/O ブックのバッテリー・エラーが発生したことを示しています。
AC 電源 LED	各ホット・スワップ電源には、AC 電源 LED と DC 電源 LED が備わっています。AC 電源 LED が点灯している場合、電源コードを介して十分な電力が電源に供給されていることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
ボード・エラー LED	この黄色の LED が点灯している場合、ブック・ボード・エラーが発生したことを示しています。
チェック ログ LED	この LED が点灯 (黄色) している場合、さらに診断が必要なエラーがあることを示します。IMM イベント・ログを調べて、追加情報があるかどうか確認してください。イベント・ログについての詳細は、173 ページの「イベント・ログ」を参照してください。
DC 電源 LED	各ホット・スワップ電源には DC 電源 LED と AC 電源 LED があります。DC 電源 LED が点灯している場合は、電源がシステムに対して十分な DC 電源を供給していることを示します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。
DIMM エラー LED	この LED が点灯している場合、メモリー・エラーが発生したことを示しています。
ドライブ活動 LED	これらの LED は、SAS または SATA ハードディスク・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ上にあります。それぞれのホット・スワップ・ドライブには活動 LED があり、この LED が点滅しているときは、ドライブが使用中であることを示します。この LED が点灯しているときは、ドライブの電源がオンであるものの、使用中ではないことを示します。
ドライブ・ステータス LED	これらの LED は、SAS または SATA ハードディスク・ドライブおよびソリッド・ステート・ドライブ上にあります。これらの LED のうち 1 つが点灯している場合は、そのドライブに障害があることを示します。この LED がゆっくりと点滅 (1 秒間に 1 回) しているときは、ドライブが再ビルド中であることを示しています。LED が素早く (1 秒に 3 回) 点滅するときは、コントローラーがドライブを識別していることを示します。
イーサネット活動 LED	これらの LED が点灯している場合、サーバーがイーサネット・ポートに接続されたイーサネット LAN との間で信号を送受信していることを示します。
イーサネット・リンク LED	これらの LED が点灯している場合、イーサネット・ポート用の 100BASE-TX、1000BASE-TX、または 10GBASE-TX インターフェース上にアクティブなリンク接続が存在することを示します。
ファン・エラー LED	この LED が点灯しているときは、ファンが障害を起こしたか、作動速度が遅すぎるか、取り外されたことを示します。
「検索」ボタン/LED	複数のサーバーの中から該当のサーバーを視覚的に見つけるには、このボタンを押します。「検索」ボタンを押すと LED が点灯し、もう一度ボタンを押してオフにするまで点灯したままになります。このボタンは、Trusted Platform Module (TPM) に対する物理的プレゼンスとしても使用されます。この LED をリモートで点灯させるには、Lenovo XClarity Administrator ソフトウェアなどの管理ソフトウェアが使用できます。この LED は IMM2 によって制御されます。
マイクロプロセッサ・エラー LED	この LED が点灯している場合、マイクロプロセッサ・エラーが発生したことを示しています。

表 34. Light path 診断 LED の説明 (続き)

LED	説明
PCIe スロット・エラー LED	これらの LED が点灯している場合、PCIe スロットでエラーが発生したことを示します。
電源ボタン/LED	<p>サーバーの電源を手動でオン/オフしてサーバーを省電力状態からウェイクさせるには、このボタンを押します。電源オン LED の状態は次のとおりです。</p> <p>オフ: 入力電力が存在しないか、あるいは、電源または LED 自体に障害が起こっています。</p> <p>高速で点滅 (毎秒 3 回): サーバーの電源がオフになっていて、オンにする準備ができていません。電源オン・ボタンは無効です。これは、入力電力が供給または復元された後、約 10 秒続きます。</p> <p>低速で点滅 (1 秒あたり 1 回): サーバーの電源がオフになっており、オンにできる状態です。電源オン・ボタンを押して、サーバーをオンにすることができます。</p> <p>点灯: サーバーの電源はオンになっています。</p>
電源エラー LED	この黄色の LED が点灯しているときは、電源エラーが発生したことを示します。
システム・エラー LED	この黄色の LED が点灯している場合、システム・エラーが発生したことを示しています。システム・エラー LED は、サーバーの背面にもあります。この LED は IMM2 によって制御されます。LCD 表示パネルに追加情報が表示される場合もあります (詳細については、 30 ページの「LCD システム情報表示パネル」 を参照してください)。

イベント・ログ

このトピックでは、問題を解決するためのエラー・コードとメッセージが入っている、サーバーが生成したイベント・ログの概要について説明します。

エラー・コードおよびメッセージが、以下のタイプのイベント・ログに表示されます。

- POST イベント・ログ:** このログには、POST 中に生成された最新のエラー・コードとメッセージが入っています。POST イベント・ログの内容は、Setup Utility から表示できます ([132 ページの「Setup Utility の開始」](#)を参照)。POST エラー・コードの詳細については、[2191 ページの付録 D「UEFI/POST エラー・コード」](#)を参照してください。
- システム・イベント・ログ:** このログには、POST およびシステム管理割り込み (SMI) のイベントと、Integrated Management Module (IMM) に組み込まれたベースボード管理コントローラーが生成したすべてのイベントが入っています。システム・イベント・ログの内容は、Setup Utility および Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (IPMI イベント・ログとして) 表示することができます。システム・イベント・ログにはサイズの制限があります。ログがフルになっても、新しい項目が既存の項目を上書きしません。したがって、Setup Utility を使用して、定期的にシステム・イベント・ログを消去する必要があります。エラーのトラブルシューティング中に最新のイベントを分析できるようにするには、システム・イベント・ログを保存してからクリアする必要がある場合があります。システム・イベント・ログの詳細については、[473 ページの付録 C「Integrated Management Module II \(IMM2\) エラー・メッセージ」](#)を参照してください。

メッセージは画面の左側にリストされ、選択されたメッセージの詳細は画面の右側に表示されます。1 つの項目から次の項目に移動するには、上矢印キー (↑) および下矢印キー (↓) を使用します。

一部の IMM センサーでは、それぞれの設定値に達すると、検出イベントがログに記録されます。設定値の条件がなくなると、対応する解消検出イベントがログに記録されます。ただし、すべてのイベントが検出タイプのイベントというわけではありません。

- **Integrated Management Module (IMM2) イベント・ログ:** このログには、すべての IMM イベント、POST イベント、およびシステム管理割り込み (SMI) イベントのフィルタリングされたサブセットが含まれます。IMM Web インターフェースから IMM イベント・ログを表示することができます。詳しくは、145 ページの「[IMM Web インターフェースへのログオン](#)」を参照してください。IMM イベント・ログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムから (ASM イベント・ログとして) 表示することもできます。IMM エラー・メッセージの詳細については、473 ページの [付録 C 「Integrated Management Module II \(IMM2\) エラー・メッセージ」](#) を参照してください。
- **DSA イベント・ログ:** このログは、Dynamic System Analysis (DSA) プログラムによって生成されるもので、システム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、IMM シャーシ・イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、およびオペレーティング・システム・イベント・ログを時系列でまとめたものです。DSA イベント・ログは DSA プログラムから表示できます (174 ページの「[サーバーを再起動せずにイベント・ログを表示する](#)」を参照)。DSA および DSA メッセージの詳細については、176 ページの「[Dynamic System Analysis プログラム](#)」および 325 ページの [付録 B 「DSA 診断テスト結果」](#) を参照してください。

ログの表示またはログの消去の詳細については、174 ページの「[Setup Utility からのイベント・ログの表示](#)」、174 ページの「[サーバーを再起動せずにイベント・ログを表示する](#)」、および 176 ページの「[エラー・ログの消去](#)」を参照してください。

Setup Utility からのイベント・ログの表示

このトピックでは、サーバーの Setup Utility からイベント・ログを表示する手順について説明します。

UEFI/POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示するには、次のステップを実行します。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. 「System Event Logs」を選択して、以下のいずれかの手順を使用します。

- POST イベント・ログを表示するには、「POST Event Viewer」を選択します。
- システム・イベント・ログを表示するには、「System Event Log」を選択します。

サーバーを再起動せずにイベント・ログを表示する

サーバーを再起動することなく、イベント・ログを表示する方法を確認するには、この情報を使用します。

サーバーがハングしていない状態で IMM がネットワークに接続されているときは、サーバーを再起動しないで 1 つ以上のイベント・ログを表示するいくつかの方法があります。

Dynamic System Analysis (DSA) の Portable エディションをすでにインストールしてある場合は、それを使用してシステム・イベント・ログ (IPMI イベント・ログとして)、または IMM イベント・ログ (ASM イベント・ログとして)、オペレーティング・システム・イベント・ログ、またはマージされた DSA ログを表示することができます。また、DSA Preboot を使用してこれらのログを表示することもできますが、DSA Preboot を使用するにはサーバーを再起動する必要があります。サーバーの出荷時には、内蔵 USB メモリー内に DSA Preboot が格納されています。DSA Portable をインストールする場合、あるいは DSA Preboot の CD イメージの新バージョンの有無を確認し、ダウンロードする場合は、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA> にアクセスしてください。

IPMItool がサーバーにインストール済みの場合、これを使用してシステム・イベント・ログを表示できます。最新バージョンの Linux オペレーティング・システムには、現行バージョンの IPMItool が付属しています。

IMM イベント・ログは、Integrated Management Module (IMM) Web インターフェースの「Event Log」リンクを通して表示できます。詳しくは、145 ページの「IMM Web インターフェースへのログオン」を参照してください。

次の表は、サーバーの状態に応じてイベント・ログを表示するために使用できる方法を説明しています。最初の3つの状態では、サーバーの再起動は通常必要ありません。

表 35. イベント・ログを表示する方法

状態	操作
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されている。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • DSA Portable を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、Lenovo サービスおよびサポートに (FTP またはローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。
サーバーは停止しておらず、(オペレーティング・システムが制御するネットワーク・ポートを使用して) ネットワーク・ポートに接続されていない。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Portable DSA を実行して診断イベント・ログを表示する (IPMI ドライバーが必要) か、Lenovo サービスおよびサポートに (ローカル・コピーを使用して) 送信可能な出力ファイルを作成します。 • IPMItool を使用して、システム・イベント・ログを表示します (IPMI ドライバーが必要)。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログをローカル側で表示します (RNDIS USB LAN ドライバーが必要)。詳しくは、145 ページの「IMM 用の IP アドレスの取得」および 145 ページの「IMM Web インターフェースへのログオン」を参照してください。
Integrated Management Module (IMM) はネットワークに接続されており、AC 電源が供給されています。サーバーの状態は、ハング、非ハング、または電源オフのいずれかの可能性があります。	<p>以下の方法のいずれかを使用します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IPMItool をネットワーク全体で IMM の外部 IP アドレスに使用して、システム・イベント・ログを表示します。 • IMM に対して Web ブラウザー・インターフェースを使用して、システム・イベント・ログを表示します。Web ブラウザーで IMM の IP アドレスを入力し、「イベント・ログ」ページに進みます。詳しくは、145 ページの「IMM 用の IP アドレスの取得」および 145 ページの「IMM Web インターフェースへのログオン」を参照してください。
サーバーは停止しており、IMM との間で通信を行うことができない。	<p>サーバーを再起動し、F2 を押して DSA Preboot を開始して、診断イベント・ログを表示します (詳細については、178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。</p> <p>代わりに、サーバーを再起動し、F1 を押して Setup Utility を開始して、POST イベント・ログまたはシステム・イベント・ログを表示することもできます。詳しくは、174 ページの「Setup Utility からのイベント・ログの表示」を参照してください。</p>

エラー・ログの消去

このトピックでは、Setup Utility を使用してサーバーのエラー・ログを消去する方法について説明します。

イベント・ログを消去する場合は、以下のステップを実行してください。

注：POST イベント・ログはサーバーが再起動されるたびに自動的に消去されます。

ステップ 1. サーバーの電源をオンにします。

ステップ 2. プロンプト「<F1> Setup」が表示されたら、F1 を押します。始動パスワードと管理者パスワードの両方を設定してある場合、イベント・ログを表示するには管理者パスワードを入力する必要があります。

ステップ 3. IMM システム・イベント・ログを消去するには、「System Event Logs」-->「Clear System Event Log」を選択します。

POST

このトピックでは、サーバーの始動時に行われる電源オン・セルフテスト (POST) について説明します。

サーバーの電源をオンにすると、サーバーのコンポーネントとサーバー内の一部のオプションのデバイスの動作を検査する一連のテストが実行されます。この一連のテストを電源オン・セルフテストまたは POST と呼びます。

注：このサーバーでは、サーバー・ステータスに関するビープ・コードは使用されません。

始動パスワードが設定されている場合、POST が実行されるようにするには、プロンプトに従ってパスワードを入力し、Enter キーを押す必要があります。

POST で問題が検出された場合は、エラー・メッセージが表示されます。詳細については、[2191 ページの付録 D「UEFI/POST エラー・コード」](#)を参照してください。

POST で問題が検出されると、エラー・メッセージが POST イベント・ログに送信されます。詳しくは、[173 ページの「イベント・ログ」](#)を参照してください。

Dynamic System Analysis プログラム

このトピックでは、Lenovo Dynamic System Analysis プログラムの概要を示しています。

Lenovo Dynamic System Analysis™ (DSA) は、サーバーの問題を診断するときに役立つシステム情報を収集して分析します。DSA は、サーバーに関する次の情報を収集します。

- ドライブのヘルス情報
- ServeRAID コントローラーおよびサービス・プロセッサのイベント・ログ
- ハードウェア・インベントリ情報 (PCI および USB 情報を含む)
- インストール済みのアプリケーションおよびホット・フィックス (DSA Portable のみで使用可能)
- カーネル・モジュール (DSA Portable のみで使用可能)
- Light path 診断のステータス
- ネットワーク・インターフェースおよび設定
- パフォーマンス・データおよび実行中のプロセスの詳細
- RAID コントローラー構成
- サービス・プロセッサ (Integrated Management Module) のステータスおよび構成
- システム構成

- 重要プロダクト・データおよびファームウェア情報

Dynamic System Analysis (DSA) を実行すると、テキスト・メッセージが画面に表示され、DSA ログに保存されます。診断テキスト・メッセージは問題が検出されたことを示し、そのテキスト・メッセージの結果として取るべき処置を提供します。

以下のリストは、診断プログラムが生成する可能性があるテキスト結果およびメッセージと、検出された問題を解決するための推奨アクションを示しています。「アクション」の欄の推奨アクションを、リストされている順に実行してください。

DSA が生成したメッセージの結果を受けて取るべきアクションについての、システム固有の情報については、[325 ページの付録 B「DSA 診断テスト結果」](#)を参照してください。

DSA を使用して問題が検出できない場合は、[204 ページの「未解決問題の解決」](#)を参照してサーバーのテストに関する情報を見つけてください。

注：DSA プリブートは、プログラムを始動した際、応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

サーバーの DSA コードが最新バージョンであることを確認してください。DSA コードおよび「*Dynamic System Analysis* インストールおよびユーザーズ・ガイド」を入手するには、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA> にアクセスしてください。

DSA のエディション

このトピックでは、Lenovo Dynamic System Analysis プログラムの 2 つのエディションについて説明します。

以下の 2 つのエディションの Dynamic System Analysis が使用可能です。

- **DSA Portable**

DSA Portable エディションは、オペレーティング・システムの内部で実行されます。実行するためにサーバーを再起動する必要はありません。このエディションは、Web からダウンロードする自己解凍型ファイルとしてパッケージされています。このファイルは、実行すると一時フォルダーに自己解凍され、ハードウェアおよびオペレーティング・システムに関する情報の包括的な収集を実行します。実行後には、一時ファイルおよびフォルダーを自動的に削除し、データ収集および診断の結果をサーバーに残します。

サーバーを始動できる場合は、DSA Portable を使用してください。

- **DSA Preboot**

DSA Preboot は、オペレーティング・システムの外部で実行されます。実行するためにはサーバーを再起動する必要があります。DSA Preboot はサーバー上でフラッシュ・メモリーとして提供されるか、Lenovo ToolsCenter Bootable Media Creator (BoMC) を使用して、CD、DVD、ISO、USB、または PXE などのブート可能メディアを作成することができます。詳細については、BoMC の「*ユーザー・ガイド*」(<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-BOMC>) を参照してください。他のエディションの DSA の機能に加えて、DSA Preboot には診断ルーチンが組み込まれているため、オペレーティング・システム環境の内部で実行するとサーバーが停止する場合があります (デバイスのリセットやネットワーク接続性の喪失など)。このエディションのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを使用して、実行する診断を指定したり、診断とデータ収集の結果を表示することができます。

DSA Preboot は、以下のシステム・コンポーネント (取り付けられている場合) に対する診断を行います。

- ネットワーク・アダプター
- 光ディスク・デバイス (CD または DVD)
- テープ・ドライブ (SCSI、SAS、または SATA)
- メモリー

- マイクロプロセッサ
- チェックポイント・パネル
- I2C バス
- SAS ドライブおよび SATA ドライブ

サーバーを再起動できない場合、または包括的な診断が必要な場合は、DSA Preboot を使用してください。

Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバーには、内蔵 USB フラッシュ・メモリー上に DSA Preboot 診断コードが付属しています。診断パーティションが損傷を受け DSA Preboot 診断プログラムが開始できない場合、内蔵 USB フラッシュ・デバイス上の診断コードをリセットおよび更新するためにユーティリティーが使用可能です。ユーティリティーの詳細な説明とダウンロードについては、<https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-DSA>に進んでください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行方法については、178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照してください。

DSA Preboot 診断プログラムの実行

このトピックでは、DSA Preboot 診断プログラムの実行方法について説明します。

注： DSA メモリー・テストは、実行するのに最大 30 分かかります。問題がメモリーの問題でない場合は、メモリー・テストをスキップしてください。

サーバーの内蔵フラッシュ・メモリーに格納されている DSA Preboot 診断プログラムを実行するには、次のステップを実行します。

- ステップ 1. サーバーが稼働中の場合は、サーバーとそれに接続されているすべてのデバイスの電源をオフにします。
- ステップ 2. すべての接続されているデバイスの電源をオンにしてから、サーバーの電源を入れます。
- ステップ 3. プロンプト「<F2> Diagnostics」が表示されたら、F2 を押します。

注： DSA Preboot 診断プログラムは、プログラムを起動した際、異常なほど長時間応答しないように見える場合があります。これは、プログラムのロード中は正常な動作です。

- ステップ 4. オプションで、スタンドアロン・メモリー診断プログラムを終了する場合は「Quit to DSA」を選択します。

注： スタンドアロン・メモリー診断環境を終了した後、再びスタンドアロン・メモリー診断環境にアクセスするためにはサーバーを再起動する必要があります。

- ステップ 5. 「gui」を選択するとグラフィカル・ユーザー・インターフェースを表示することができます。または、「cmd」を選択して DSA インタラクティブ・メニューを表示することもできます。
- ステップ 6. 画面の指示に従って、実行する診断テストを選択してください。

テストの途中でサーバーが停止し、続行できなくなった場合には、サーバーを再起動し、もう一度 DSA Preboot 診断プログラムの実行を試みてください。問題が解決しない場合は、サーバーの停止時にテストされていたコンポーネントを交換してください。

診断テキスト・メッセージ

このトピックでは、診断テキスト・メッセージの結果について説明します。

診断テキスト・メッセージは、テストの実行中に表示されます。診断テキスト・メッセージには、以下の結果のいずれかが示されます。

Passed (パス): テストはエラーなしに完了しました。

Failed (失敗): テストでエラーが検出されました。

Aborted: サーバー構成が原因で、テストが進行できませんでした。

テストの失敗に関する追加情報が、それぞれのテストの拡張診断結果から入手可能です。

テスト・ログ結果の表示および DSA コレクションの転送

このトピックでは、DSA テスト・ログ結果を表示する方法、および DSA コレクションのデータを外部 USB デバイスまたは Lenovo サポートに転送する方法について説明します。

注：この資料には、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、Lenovo System x 製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

テストの完了時に結果を確認するためにテスト・ログを表示するには、DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェースを実行している場合は「Status」列で「Success」リンクをクリックし、DSA 対話式メニューを実行している場合は :x と入力して「Execute Tests」メニューを終了するか、グラフィカル・ユーザー・インターフェースの「Diagnostic Event Log」を選択します。DSA Preboot コレクションを外付け USB デバイスに転送するには、DSA 対話式メニューで copy コマンドを入力します。

- DSA グラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) を実行している場合は、「Status」列で「Success」リンクをクリックします。
- DSA 対話式メニュー (CLI) を実行している場合は、:x と入力して「Execute Tests」メニューを終了してから、「completed tests」を選択して結果を表示します。

サーバーの問題の診断に役立てるために、DSA エラー・ログを Lenovo サポートに送信することもできます。

自動サービス要求 (コール・ホーム)

このトピックでは、自動的にデータを収集して Lenovo サポートに送信するためのコール・ホーム・ツールについて説明します。

注：この資料には、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、Lenovo System x 製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

Lenovo は、データを自動的に収集して送信できるツール、またはエラーが検出された場合に Lenovo サポートをコールできるツールを提供しています。これらのツールは、サポートによる問題診断処理の迅速化に役立ちます。以下のセクションでは、コール・ホーム・ツールについて説明します。

Service Advisor 機能

このトピックでは、Service Advisor 機能に関する一般情報を記載しています。Service Advisor 機能は、システムが障害を検出した場合にシステムに関するデータを収集し、その情報を Lenovo サービスに送信するために使用します。

サーバーは、Service Advisor 機能を備えています。この機能は、システムが障害を検出したときに、システムに関するデータを収集し、そのデータを問題判別のために Lenovo サービスに送信します。また、この機能には、問題の発生時に自動的に Lenovo サービスを呼び出すコール・ホーム機能も含まれています。Service Advisor 機能は Integrated Management Module II (IMM2) に組み込まれています。Service Advisor 機能は、使用する前にセットアップして構成する必要があります。Service Advisor 機能のセットアップと構成の方法の詳細については、「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html) を参照してください。

Electronic Service Agent

このトピックでは、Lenovo サーバーのデータを収集するための Electronic Service Agent ツールについて説明します。

Electronic Service Agent は、システム・ハードウェア・エラーおよびハードウェアとソフトウェアのインベントリー情報の監視、追跡、取り込みを行い、ご使用の Lenovo サーバーについての保守可能な問題を Lenovo サポートに直接報告します。データを手動で収集するよう選択することもできます。Electronic Service Agent は最小のシステム・リソースしか使用しません。ダウンロードすることができません。Electronic Service Agent の詳しい説明とダウンロードについては、<http://www.ibm.com/support/esa> にアクセスしてください。

IMM First Failure Data Capture (FFDC) 機能

このトピックでは、サーバー・データを収集するための IMM First Failure Data Capture (FFDC) 機能について説明します。

Integrated Management Module (IMM) には First Failure Data Capture 機能が備わっており、この機能を使用して、システム・ハードウェア・エラーに関するログ・データをファイルに収集することができます。このファイルは、問題判別支援のために Lenovo サポートに送信することができます。以下のセクションでは、この IMM 機能を使用して、FFDC ログ・データ・ファイルを生成およびダウンロードする方法について説明します。

IMM Web インターフェースを使用した FFDC ログ・データの収集

このトピックでは、FFDC ログ・データを収集するための IMM Web インターフェースの使用法について説明します。

First Failure Data Capture (FFDC) ログ・データを、IMM Web インターフェースを使用して生成およびダウンロードするには、以下のステップを実行します。

1. IMM にログインします。
2. 「Server and Support」タブから「Download Server Data」オプションをクリックします。
3. 次に、「Download Now」ボタンをクリックします。進行状況のウィンドウに、ファイルが生成中であることが表示されます。

IMM CLI コマンドを使用した FFDC ログ・データの収集

このトピックでは、FFDC ログ・データを収集するための IMM CLI コマンドの使用法について説明します。

First Failure Data Capture (FFDC) ログ・データを、IMM CLI コマンドを使用して生成およびダウンロードするには、以下のステップを実行します。

1. Telnet または SSH サーバーを使用して IMM にログインします。
2. コマンド・プロンプトで `ffdc generate` と入力します。

注：status コマンドを使用して、ファイル生成の進行ステータスを確認することもできます。copy コマンドを使用して既存のログ・データ・ファイルのコピーを取得し、delete コマンドを使用して既存のログ・データ・ファイルを削除することができます。

3. 次に、`ffdc status` と入力してステータスを確認します。
4. ファイルが生成されるのを待つことも、`ffdc copy -IP host address` (ここで *IP host address* は IMM の IP アドレス) と入力することもできます。ファイルは、TFTP サーバーまたは SFTP サーバーにコピーされます。
5. 作業が終了したら、`exit` を入力してセッションを終了します。

IPMI コマンドを使用した FFDC ログの収集

このトピックでは、FFDC ログ・データを収集するための IPMI コマンドの使用法について説明します。

First Failure Data Capture (FFDC) ログ・データを、IPMI コマンドを使用して生成およびダウンロードするには、以下のステップを実行します。

1. ホスト・システムからコマンド `ipmitool -I lanplus -H 169.254.95.118 -U USERID -P PASSWORD raw 0x3a 0x49 0x1` (ここで 169.254.95.118 は IMM の IP アドレス) を入力します。この IP アドレスを、ご自分の IP アドレスに置き換えたことを確認してください。
2. 2 分から 3 分待ってから、`ipmitool -I lanplus -H 169.254.95.118 -U USERID -P PASSWORD raw 0x3a 0x4d 0x01` と入力します。応答 01 を受け取った場合、FFDC ログ・データはダウンロードできる状態です。応答 01 を受け取らなかった場合、もうしばらく待ってからこのコマンドを再送信してください。
3. 次に、コマンド `wget ftp://192.168.5.199:121/download/ffdc/*.tgz -user immftp -password imm4tw` を入力します。このコマンドによって、FFDC ファイルがご使用のローカル環境にダウンロードされます。

エラー・メッセージ

このトピックでは、問題が検出されたときに生成されるエラー・コードとメッセージについて説明します。

問題が検出された場合に生成される UEFI/POST、IMM2、および DSA の結果に関するエラー・コードおよびメッセージのリストについては、[2191 ページの付録 D「UEFI/POST エラー・コード」](#)、[473 ページの付録 C「Integrated Management Module II \(IMM2\) エラー・メッセージ」](#)、および [325 ページの付録 B「DSA 診断テスト結果」](#) を参照してください。

POST 中に LCD システム情報表示パネルに表示される可能性のあるメッセージおよび問題を解決するための処置のリストについては、[319 ページの付録 A「LCD 表示パネル・メッセージ」](#) を参照してください。

症状別トラブルシューティング

この情報を参照して、識別可能な現象がある問題の解決策を見つけてください。

これらの表の中に該当の問題の解決方法が見つからない場合、DSA Preboot プログラムを実行する方法については、178 ページの「[DSA Preboot 診断プログラムの実行](#)」を参照してください。問題の解決に役立つ追加情報については、155 ページの「[ここから開始します](#)」を参照してください。

新しいソフトウェアまたは新しいオプションのデバイスを追加した直後に、サーバーが作動しなくなった場合は、トラブルシューティング表を使用する前に、次のステップを実行してください。

1. オペレーター情報パネル上のシステム・エラー LED をチェックします。それが点灯している場合は、light path 診断 LED (163 ページの「[Light path 診断](#)」を参照) をチェックします。
2. 追加したソフトウェアを除去、または追加したデバイスを取り外します。
3. Dynamic System Analysis (DSA) を実行して、サーバーが正常に稼働しているかどうかを判断します (DSA の使用方法については、325 ページの [付録 B 「DSA 診断テスト結果」](#) を参照)。
4. 新しいソフトウェアをインストールまたは新しいデバイスを取り付け直します。

接続の問題

ここには、接続に関する問題を解決するための情報が含まれています。

表 36. 接続の問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none">• 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。• どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。• 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。	
現象	操作
サーバーが SAN と通信できない。	次の点を確認します。 <ol style="list-style-type: none">1. SAN デバイスの電源がオンで正常に機能していること。2. I/O アダプターと SAN デバイスの間のすべてのケーブルが適切にしっかりと接続されていること、および適切なポートの活動 LED が点灯していること。3. SAN 接続またはネットワーク接続性の問題のトラブルシューティングの詳細については、I/O アダプターに付属の資料を参照してください。
サーバーがデータ・ネットワーク (イーサネット) に接続できない。	初期セットアップ中にサーバーがデータ・ネットワークに接続できない場合、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none">1. 次の点を確認します。<ol style="list-style-type: none">a. I/O アダプターの電源がオンになっていて、ポートが有効になっていること。b. I/O アダプターとネットワーク・デバイス (スイッチまたはルーター) の間のすべてのケーブルが正しくしっかりと接続されていること、および該当するポートの活動 LED が点灯していること。2. サーバーのオペレーティング・システムから、アダプターのネットワーク設定 (IP アドレス、サブネット・マスク (IPv4 を使用している場合)、DHCP、および vLAN) を確認し、それらの設定がネットワーク・デバイス (スイッチまたはルーター) の設定と一致していることを確認します。ネットワーク設定の確認については、オペレーティング・システムに付属の資料を参照してください。

表 36. 接続の問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> 3. サーバー・ネットワーク・デバイス用に適切なデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。 4. Lenovo サポート Web サイトで、この問題に適用できる可能性があるファームウェア更新またはヒントがないかを確認します。ファームウェア更新のリリース・ノートを参照すると、その更新で対応されている問題を判別できます。 5. 次の手順を実行してください。 <ol style="list-style-type: none"> a. リンク/二重速度を強制します。 b. I/O アダプターを取り外して、機能している同一の I/O アダプターを同じ I/O スロットに取り付けます。 c. 問題が解決した場合は、取り外した I/O アダプターを交換します。 d. 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートにお問い合わせください。 <p>サーバーのネットワーク接続性が突然切断される場合、オペレーティング・システムと IMM のイベント・ログを調べて、適切な処置を実行します。</p>
サーバーが IMM にログインできない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーに DC 電源が供給されていることを確認します。 2. 正しいログイン情報を使用していることを確認します。フィールドでは大文字と小文字が区別されます。 3. システム管理者と共に正しいログイン・パラメーターを確認して、パラメーターが IMM にログインできる場合は、以下を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> a. IMM がアクセス可能であることが (システム管理者によって) 証明された場合、ログイン情報を確認します。 b. システム管理者が IMM にアクセスできない場合、Setup Utility を使用して IMM をデフォルトにリセットします。 c. ログインを再試行します。IMM に依然としてアクセスできない場合は、標準 I/O ブックを交換します (236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」および 237 ページの「標準 I/O ブックの交換」を参照)。
サーバーが管理ネットワーク上の IMM を ping できない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーに DC 電源が供給されていることを確認します。 2. Setup Utility で、サーバーの IMM が IP アドレスを取得済みであることを確認します。 <p>注：最近、IMM が DHCP サーバーへの接続を失った場合は、IMM をリセットして、新規 IP アドレスを取得できるようにする必要があります。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. Lenovo サポート Web サイトで、この問題に適用できる可能性があるファームウェア更新がないかを確認します (http://www.lenovo.com/support を参照)。ファームウェア更新のリリース・ノートを読み、その更新によって解決される問題を判別します。

一般的な問題

一般的な問題を解決するには、この情報を使用します。

表 37. 一般的な問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
LED が機能しない、または類似の問題が発生した。	部品が CRU であれば、交換してください。その部品が FRU の場合は、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が部品を交換する必要があります (部品が CRU または FRU であるかどうかを判断するには、233 ページの第 6 章「コンポーネントの取り外しと交換」を参照してください)。

ハードディスク・ドライブの問題

ハードディスク・ドライブの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 38. ハードディスク・ドライブの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
サーバーが 1 つのドライブの認識に失敗した。	<ol style="list-style-type: none"> ドライブが、このサーバーでサポートされていることを検証します。サポートされるハードディスク・ドライブのリストについては、ServerProven Web サイト (http://www.lenovo.com/serverproven/) で確認してください。 ドライブがドライブ・ベイに正しく装着されていること、およびドライブ・コネクタに物理的損傷がないことを確認します。 DSA SAS Fixed Disk または SAS Attached Disk 診断テストを実行します (178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。次に以下の作業を行います。 <ol style="list-style-type: none"> ドライブの診断テストが失敗する場合は、そのドライブを交換します。 ドライブの診断テストはパスするが、そのドライブが認識されない場合は、次のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> ドライブを交換します。 ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを交換します。 標準 I/O ブックを交換します (236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」および 237 ページの「標準 I/O ブックの交換」)。
DSA ハードディスク・ドライブ診断テストで認識されないドライブがある。	<ol style="list-style-type: none"> DSA 診断を実行する前に、RAID 構成をセットアップします。 DSA で示されたドライブを取り外し (246 ページの「2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し」を参照)、もう一度ハードディスク・ドライブ診断テストを実行します (178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 残りのドライブが認識された場合、取り外したドライブを新しいドライブと交換します。

表 38. ハードディスク・ドライブの問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
ハードディスク・ドライブ診断テスト中にサーバーが応答しなくなる。	<ol style="list-style-type: none"> DSA 診断を実行する前に、RAID 構成をセットアップします。 サーバーが応答を停止したときにテストされていたハードディスク・ドライブを取り外し (246 ページの「2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し」を参照)、診断テストをもう一度実行します (178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 ハードディスク・ドライブ診断テストが正常に終了する場合は、取り外したドライブを新しいドライブと交換します (248 ページの「2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換」を参照)。
新たに取り付けられたハードディスク・ドライブが認識されない。	<ol style="list-style-type: none"> RAID 構成をセットアップします (151 ページの「RAID アレイの構成」を参照)。 IMM イベント・ログを参照してハードディスク・ドライブのイベントがないかを確認し、問題を解決します。 LED が点灯している場合、ドライブ・ベイからドライブを外し、45 秒間待ちます。その後ドライブ・アセンブリーがハードディスク・ドライブ・バックプレーンに接続していることを確認して、ドライブを再度取り付けます。 関連する緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED およびオレンジ色のステータス LED を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 緑色の活動 LED が点滅していて、オレンジ色のステータス LED が点灯していない場合、コントローラーがドライブを認識し、正常に作動していることを示します。DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行して、ドライブが検出されているかどうかを判断してください (178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 緑色の活動 LED が点滅していて、オレンジ色のステータス LED がゆっくり点滅している場合、コントローラーがドライブを認識し、再作成していることを示します。 いずれの LED も点灯または点滅していない場合は、ハードディスク・ドライブ・バックプレーンを確認します (ステップ 186 ページのステップ 5 に進む)。 緑色の活動 LED が点滅していて、オレンジ色のステータス LED が点灯している場合、ドライブを交換します。LED の活動状況が変わらない場合、ステップ 186 ページのステップ 5 に進んでください。LED の活動に変化がある場合は、ステップ 186 ページのステップ 1 に戻ります。 ドライブ取り付け先のハードディスク・ドライブ・バックプレーンがあることを確認します。 ハードディスク・ドライブ・バックプレーンが正しく取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられている場合、バックプレーンを曲げたり、動かすことなく、ドライブ・アセンブリーをバックプレーンに正常に接続することができます。 バックプレーン電源ケーブルを取り付け直し、ステップ 186 ページのステップ 11 から 186 ページのステップ 3 までを繰り返します。 バックプレーン信号ケーブルを取り付け直し、ステップ 186 ページのステップ 11 から 186 ページのステップ 3 までを繰り返します。

表 38. ハードディスク・ドライブの問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> バックプレーン信号ケーブルまたはバックプレーンに問題がある可能性があります。 <ol style="list-style-type: none"> 影響を受けたバックプレーン信号ケーブルを交換します。 影響を受けたバックプレーンを交換します。 SAS/SATA アダプターおよびハードディスク・ドライブに対して DSA テストを実行します (178 ページの「DSA Preboot 診断プログラムの実行」を参照)。 <ul style="list-style-type: none"> アダプターがテストに合格したがドライブが認識されない場合は、バックプレーン信号ケーブルを交換してテストを再度実行します。 バックプレーンを交換します。 アダプターがテストに失敗する場合は、バックプレーン信号ケーブルをアダプターから切り離してから再度テストを実行します。 アダプターがこのテストに失敗する場合は、アダプターを交換します。 詳細については、205 ページの「問題判別のヒント」を参照してください。 Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で RETAIN のヒントを参照して、関連する問題がないか確認します。 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。
複数のハードディスク・ドライブが認識されないか、オフラインである。	<ol style="list-style-type: none"> サーバーが最近取り付けられた、移動された、または保守された場合には、ドライブが正しく取り付けられているか、バックプレーン・ケーブルがバックプレーンとストレージ・ブックのボードにしっかり接続されているか、また RAID アダプターが正しく構成されているかを確認します。 ドライブ・コネクタ、バックプレーン、またはケーブルに物理的損傷がないことを確認します (ケーブルが挟まれたり、損傷したりしていないことを確認します)。 ドライブが、このサーバーでサポートされていることを検証します。サポートされるハードディスク・ドライブのリストについては、ServerProven Web サイト (http://www.lenovo.com/serverproven/) を参照してください。 IMM イベント・ログを参照して RAID ハードディスク・ドライブのイベントがないかを確認し、問題を解決します。
ハードディスク・ドライブがサーバーに取り付けられていますが、SAS コントローラーによって検出されない。	<p>次の手順を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ドライブが、このサーバーでサポートされていることを検証します。サポートされるハードディスク・ドライブのリストについては、ServerProven Web サイト (http://www.lenovo.com/serverproven/) を参照してください。 IMM イベント・ログを参照して RAID ハードディスク・ドライブのイベントがないかを確認し、問題を解決します。 ドライブが正しく取り付けられているか、SAS 信号ケーブルがしっかり接続されているか、バックプレーン・ケーブルがバックプレーンとストレージ・ブックのボードにしっかり接続されているか、また RAID アダプターが正しく構成されているかを確認します。 問題が残っている場合は、次のようにします。

表 38. ハードディスク・ドライブの問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> バックプレーン、SAS 信号ケーブル、およびバックプレーン電源ケーブルを取り付け直します。 サーバーを再起動します。
交換したハードディスク・ドライブが再ビルドされない。	<ol style="list-style-type: none"> サーバーが最近取り付けられた、移動された、または保守された場合には、ドライブが正しく取り付けられているか、バックプレーン・ケーブルがバックプレーンとシステム・ボードにしっかり接続されているか、また RAID アダプターが正しく構成されているかを確認します。 ハードディスク・ドライブがアダプターに認識されているか (緑色のハードディスク・ドライブ活動 LED が点滅しているか) 確認します。認識されていない場合は、ページ 186 ページのステップ 1 の「新たに取り付けたハードディスク・ドライブが認識されない」現象のアクションを参照してください。 SAS/SATA RAID アダプターの資料を検討して、正しい構成パラメーターおよび設定値か判別します。
オレンジ色のハードディスク・ドライブ・ステータス LED が、関連するドライブの実際の状態を正確に表示しない。	<ol style="list-style-type: none"> サーバーが最近取り付けられた、移動された、または保守された場合には、ドライブが正しく取り付けられているか、バックプレーン・ケーブルがバックプレーンとシステム・ボードにしっかり接続されているか、また RAID アダプターが正しく構成されているかを確認します。 次の手順を実行してください。 <ol style="list-style-type: none"> ドライブがホット・スワップ・ドライブでない場合は、サーバーの電源をオフにします。 ハードディスク・ドライブを取り付け直します。 サーバーの電源を入れ、ハードディスク・ドライブ LED の活動を確認します。 問題のドライブをサポートするために適切なファームウェアがインストールされていることを確認します。 Support Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、この問題に関連した RETAIN のヒントがないか確認します。 問題が解決しない場合は、サポートに連絡してください。

ハイパーバイザーの問題

ハイパーバイザーの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 39. ハイパーバイザーの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
<p>オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが予期したブート順序にリストされない、ブート・デバイスのリストに表示されない、または類似の問題が発生した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスが、始動時にブート・マネージャーの「<F12> Select Boot Device」で選択されていることを確認します。 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します (260 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し」および 262 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換」を参照)。 オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 他のソフトウェアがサーバー上で動作することを確認します。

再現性の低い問題

サーバーの再現性の低い問題を解決するには、この情報を使用します。

表 40. 再現性の低い問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
再現性の低い外部デバイスの問題	<ol style="list-style-type: none"> 正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認します。資料については、製造メーカーの Web サイトをご覧ください。 USB デバイスの場合、次の手順を実行します。 <ol style="list-style-type: none"> デバイスが正しく構成されていることを確認します (132 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。 デバイスを別のポートに接続します。USB ハブを使用している場合は、ハブを取り外し、デバイスをサーバーに直接接続します。デバイスがポートに対して正しく構成されていることを確認します (132 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。
再現性の低い KVM の問題	<p>ビデオの場合は、以下の手順を実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> すべてのケーブルおよびコンソール・ブレイクアウト・ケーブルが正しく接続され、保護されていることを確認します。 モニターを別のサーバーでテストして、正常に機能していることを確認します。 正常に機能しているサーバーでコンソール・ブレイクアウト・ケーブルをテストして、そのケーブルが正常に機能していることを確認します。コンソール・ブレイクアウト・ケーブルに障害がある場合は交換します。

キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題

以下の情報を使用して、キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題を解決します。

表 41. キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
キーボードのすべてのキーまたは一部のキーが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> キーボード・ケーブルがしっかりと接続されている。 サーバーとモニターの電源がオンになっているか。 キーボードの互換性の詳細については、http://www.lenovo.com/serverproven/を参照してください。 USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。 USB キーボードを使用しており、キーボードが USB ハブに接続されている場合、キーボードをハブから切り離し、直接サーバーに接続します。サーバー

表 41. キーボード、マウス、またはポインティング・デバイスの問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<p>に直接接続されている場合は、別のポートで試行します。キーボードが機能する場合は、USB ハブを交換します。</p> <p>5. キーボードを交換します。</p>
マウスまたはポインティング・デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none"> マウスの互換性の詳細については、http://www.lenovo.com/serverproven/を参照してください。 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> マウスまたはポインティング・デバイスのケーブルがサーバーにしっかり接続されている。 マウスまたはポインティング・デバイスのデバイス・ドライバーが正しくインストールされている。 サーバーとモニターの電源がオンになっている。 マウス・オプションが Setup ユーティリティーで有効にされている (132 ページの「Setup Utility の開始」を参照)。 ご使用のマウスが USB ハブに接続されている場合は、マウスをハブから切り離してサーバーに直接接続します。サーバーに接続されている場合は、別のポートで試行します。マウスが機能する場合は、USB ハブを交換します。 マウスまたはポインティング・デバイスを交換します。

メモリーの問題

メモリーの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 42. メモリーの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
表示されているシステム・メモリー容量が、取り付けられている物理メモリー容量より少ない。	<p>注：メモリーを変更する場合は、セットアップ・ユーティリティーを使用してメモリー構成を更新する必要があります (132 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。DIMM および DIMM 装着順序の取り付けの詳細については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」、58 ページの「独立メモリー・モード」、62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」、56 ページの「メモリー・ミラーリング」、および 57 ページの「メモリー・ランク・スペアリング」を参照してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> サーバーが最近取り付けられた、移動された、または保守された場合には、すべての DIMM が正しく取り付けられているかを確認します。 新しい DIMM が最近取り付けられた場合には、イベント・ログに構成イベントを受信していないことを確認します。そうでない場合は、IMM イベント・

表 42. メモリーの問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<p>ログを確認します。何らかの DIMM 構成イベントがリストされている場合は、最初にその DIMM イベントの問題を解決します。</p> <p>3. 次の点を確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> オペレーター情報パネル上または コンピュート・ブック 上でエラー LED が点灯していない。 メモリーのミラーリングが不一致の原因ではない (56 ページの「メモリー・ミラーリング」を参照)。 メモリー・モジュールが正しく取り付けられている (254 ページの「メモリー・モジュールの取り外し」および 255 ページの「メモリー・モジュールの交換」を参照)。 正しいタイプのメモリーを取り付けた (50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照)。 メモリーを変更した場合、Setup ユーティリティでメモリー構成を更新した (132 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。 すべてのメモリー・バンクが有効になっている。サーバーが問題を検出したときにメモリー・バンクを自動的に無効にしたか、メモリー・バンクが手動で無効にされた可能性がある。 <p>4. 以下のようにして、POST イベント・ログをチェックします。</p> <ul style="list-style-type: none"> DIMM がシステム管理割り込み (SMI) によって無効にされていた場合は、その DIMM を交換します。 DIMM がユーザーまたは POST によって無効にされた場合は、Setup Utility を実行して、DIMM を有効にします。 <p>5. メモリー診断を実行します (176 ページの「Dynamic System Analysis プログラム」を参照)。エラーが検出された場合は、以下のステップに従ってエラーを修正します。</p> <p>6. サーバーを再起動します。</p>

マイクロプロセッサの問題

マイクロプロセッサの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 43. マイクロプロセッサの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。

表 43. マイクロプロセッサの問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> • 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
サーバーをオンにすると、サーバーが直接 POST イベント・ビューアーになる。	IMM イベント・ログを参照して、発生したエラーがあれば解決します。

モニターおよびビデオの問題

モニターおよびビデオの問題を解決するには、この情報を使用してください。

一部のモニターには、独自のセルフテスト機能が備わっています。モニターに問題があると思われる場合は、そのモニターに付属している資料を参照して、モニターをテストおよび調整します。問題を診断できない場合は、保守サービスを依頼してください。

表 44. モニターおよびビデオの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> • 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 • どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 • 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
モニターまたはビデオが利用できないか、ブランク・イメージまたはゆがんだイメージが表示される。	<ol style="list-style-type: none"> 1. モニター・ケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。 2. サーバーが KVM スイッチに接続されている場合は、問題の原因を除去するために KVM スイッチをバイパスします。モニター・ケーブルをサーバーの背面にある正しいコネクタに接続します。これでビデオが動作する場合は、KVM スイッチを交換します。 3. 標準 I/O ブック を交換します。
サーバーの電源をオンにした時点ではモニターが作動するが、一部のアプリケーション・プログラムを開始すると画面がブランクになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーション・プログラムが、モニターの能力を超える表示モードを設定していない。 • アプリケーションに必要なデバイス・ドライバーがインストールされている。 • ビデオのアプリケーション要件が、サーバーのビデオ機能と互換性がある。
画面に誤った文字が表示される。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語および局所性の設定が、キーボードおよびオペレーティング・システムに対して正しいことを確認します。 2. 誤った言語が表示される場合は、サーバーのファームウェアを正しい言語の最新レベルに更新します (127 ページの「ファームウェアの更新」を参照)。 3. モニター・ケーブルを取り付け直します。

ネットワーク接続性の問題

ネットワーク接続性の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 45. ネットワーク接続性の問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
サーバーがネットワークに接続しない。	<ol style="list-style-type: none"> ネットワーク・アダプターが新たに取り付けられた場合は、そのアダプターがサーバーでサポートされていることを検証します (http://www.lenovo.com/serverproven/ を参照)。 ネットワーク・アダプター・スロットの電源状態と構成を確認します (132 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。 サーバーがネットワークに正しく接続されていること、およびネットワーク・ケーブルに損傷がないことを確認します。 ファームウェアのデバイス・ドライバーを確認します。 Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で RETAIN のヒントを参照して、関連する問題がないか確認します。
サーバーが断続的に接続不良になる。	<ol style="list-style-type: none"> ネットワーク・ルーターまたはスイッチが正しく動作していることを確認します。 サーバーがネットワークに正しく接続されていることを確認します。 ファームウェアのデバイス・ドライバーを確認します。 Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で RETAIN のヒントを参照して、関連する問題がないか確認します。

目視で確認できる問題

目視で確認できるサーバーの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 46. 目視で確認できる問題の現象とアクション

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
電源 - キーキー音、引っかき音、または粉碎音のノイズ。	<ol style="list-style-type: none"> サーバーが冗長電源で稼働している場合は、各電源を一度に1つずつ引っ張り出してから元の位置に戻して、ノイズの原因となる電源を判別します。 単一の電源が問題の原因として特定された場合は、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 騒音の原因となる電源に障害物(ケーブル、ケーブルのラベルなど)がないことを確認します。 電源を交換してください。 騒音を単一の電源に関連付けできない場合は、冷却ファンが原因の可能性あります。
電源 - ジェット・ノイズまたは高速のエア・ノイズ。	熱、冷却装置、ファンに関連したイベントがないか、IMM イベント・ログを調べます。

表 46. 目視で確認できる問題の現象とアクション (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
電源 - カチッ音またはガタガタ音のノイズ	<ol style="list-style-type: none"> サーバーが冗長電源で稼働している場合は、各電源を一度に1つずつ引っ張り出してから元の位置に戻して、ノイズの原因となる電源を判別します。 単一の電源が問題の原因として特定された場合は、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 騒音の原因となる電源に障害物 (ケーブル、ケーブルのラベルなど) がないことを確認します。 電源を交換してください。 騒音を単一の電源に関連付けできない場合は、冷却ファンが原因の可能性がります。
ファン - キーキー音、引っかき音、または粉碎音のノイズ。	<ol style="list-style-type: none"> このサーバーには冗長ホット・スワップ冷却装置があります。各ファン・アセンブリーを一度に1つずつ取り外してから元の位置に戻して、ノイズの原因となるアセンブリーを判別してください。 単一のファン・アセンブリーが問題の原因として特定された場合は、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 騒音の原因となるファン・アセンブリーに、動作時にファン・ブレードに接触する障害物 (ケーブル、ケーブルのラベルなど) がないことを確認します。 ファン・アセンブリーを取り替えます。 騒音を単一のファン・アセンブリーに関連付けできない場合は、電源内の冷却ファンが原因の可能性がります。
ファン - ジェット・ノイズまたは高速のエア・ノイズ。	熱、冷却装置、ファンに関連したイベントがないか、IMM イベント・ログを調べます。
ファン - カチッ音またはガタガタ音のノイズ。	<ol style="list-style-type: none"> このサーバーには冗長ホット・スワップ冷却装置があります。各ファン・アセンブリーを一度に1つずつ取り外してから元の位置に戻して、ノイズの原因となるアセンブリーを判別してください。 <ol style="list-style-type: none"> 騒音の原因となるファン・アセンブリーに、動作時にファン・ブレードに接触する障害物 (ケーブル、ケーブルのラベルなど) がないことを確認します。 ファン・アセンブリーを取り替えます。 騒音を単一のファン・アセンブリーに関連付けできない場合は、電源内の冷却ファンが原因の可能性がります。
目に見える物理的損傷、破損、損傷、または誤動作のドア、ベゼル、カバー、またはシャーシの部分。	部品が CRU であれば、交換してください。その部品が FRU の場合は、必ずトレーニングを受けたサービス技術員が部品を交換する必要があります (部品が FRU であるか、CRU であるかを判別するには、 211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」 を参照してください)。 233 ページの第 6 章「コンポーネントの取り外しと交換」 を参照してください。

表 46. 目視で確認できる問題の現象とアクション (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
サーバーが応答しない (POST が完了し、オペレーティング・システムが稼働している)	<p>サーバーの設置場所にいる場合は、以下のステップを実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> KVM 接続を使用している場合、その接続が正常に機能していることを確認します。使用していない場合は、キーボードおよびマウスが正常に機能していることを確認します。 可能な場合、サーバーにログインし、すべてのアプリケーションが稼働している (ハングしているアプリケーションがない) ことを確認します。 サーバーを再起動します。 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。 ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。 <p>リモート・ロケーションからサーバーにアクセスしている場合は、以下のステップを実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> すべてのアプリケーションが稼働している (ハングしているアプリケーションがない) ことを確認します。 システムからログアウトしてから、再度ログインしてみます。 コマンド・ラインからサーバーに対して ping または trace route を実行してネットワーク・アクセスを検証します。 <ol style="list-style-type: none"> ping テスト中に応答が得られない場合は、シャーシ内の別のサーバーに ping を試行し、接続の問題であるのか、サーバーの問題であるのかを判別します。 trace route を実行し、接続が切断されている場所を判別します。VPN あるいは接続が切断されているポイントの接続の問題の解決を試行します。 管理インターフェースからサーバーをリモートで再起動します。 問題が解決しない場合は、すべての新規ソフトウェアが正しくインストールおよび構成されていることを確認します。 ソフトウェアの購入先またはソフトウェア・プロバイダーに連絡します。
異臭	<p>問題が解決するまで、以下のステップを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 異臭は、新規に取り付けた装置から発生している可能性があります。 問題が解決しない場合は、Lenovo サポートに連絡してください。
サーバーが高温になっているように見える	<p>室温が指定の範囲内であることを確認します (6 ページの「サーバーの機能および仕様」を参照)。</p>

オプションのデバイスの問題

オプションのデバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 47. オプションのデバイスの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
取り付けたばかりのオプションのデバイスが動作しない。	<ol style="list-style-type: none"> IMM イベント・ログを参照し、そのデバイスに関連するイベントがないか確認します。 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスが正しいポートに取り付けられている。 デバイスがサーバー用に設計されている (http://www.lenovo.com/serverproven/ を参照)。 デバイスに付属の取り付け手順に従い正しい取り付けがされている。 取り付けた他のデバイスやケーブルを外していない。 Setup Utility で構成情報を更新した。メモリーまたは他のデバイスを変更する場合は、必ず構成を更新する必要があります。 取り付けたデバイスを取り付け直します。 取り付けたデバイスを交換します。
前に動作していたオプションのデバイスが動作しなくなった。	<ol style="list-style-type: none"> IMM イベント・ログを参照し、そのデバイスに関連するイベントがないか確認します。 デバイスのケーブルがすべてしっかりと接続されていることを確認してください。 デバイスにテスト手順が付属している場合は、その手順を使用してデバイスをテストします。 障害が起きたデバイスが SCSI デバイスである場合は、以下の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> 外付け SCSI デバイスのケーブルが、すべて正しく接続されているか。 各 SCSI チェーン内の最後のデバイスまたは SCSI ケーブル端が正しく終端されているか。 外付け SCSI デバイスの電源がオンになっているか。サーバーの電源をオンにする前に、外付け SCSI デバイスの電源をオンにする必要があります。 障害のあるデバイスを取り付け直します。 障害のあるデバイスを交換します。
PCIe アダプターが認識されない/機能していない	<ol style="list-style-type: none"> IMM イベント・ログを参照して、デバイスに関連したエラーがあれば解決します。 該当のアダプターが該当するマシン・タイプの Server Proven リストに記載されていることを確認します (http://www.lenovo.com/serverproven/ を参照)。 アダプターを正しいスロットに取り付けたことを確認します。 オペレーション・システム上に、該当するデバイスの正しいデバイス・ドライバがインストールされていることを確認します。 レガシー・モード (UEFI) を実行中の場合、リソースの競合があれば解決します。Service Bulletin を調べて、これに関するヘルプがないかを確認します。 アダプター外付け接続が正しいこと、また物理的に損傷を受けていないことを確認します。

電源問題

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 48. 電源の問題の現象とユーザー操作

現象	操作
<p>電源オン・ボタンを押してもサーバーが始動しない。</p>	<p>1. 前面情報パネルの電源オン・ボタン LED がオンであり、1 秒に 2 回以上明滅する場合は、以下のステップを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. IMM イベント・ログを調べて、電源状態が電源オン・ボタン LED と一致することを確認します。 b. 電源 AC 電源 LED と DC 電源 LED がオンであり、緑色に点灯していることを確認します。そうでない場合は、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> 1) サーバーへの AC 電源入力を 20 秒間取り除き、サーバーを再度電源オンします。 2) 電源 AC 電源 LED がオンで緑色に点灯し、DC 電源 LED がオフであり、障害 LED がオンでない場合、およびサーバーの保守または移動が最近行われた場合は、標準 I/O ブックを取り付け直します。 <p>2. 前面情報パネルの電源オン・ボタン LED がオンであり、1 秒に約 1 回明滅する場合は、以下のステップを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 電源障害がないか IMM イベント・ログを調べて、電源状態が電源 LED と一致することを確認します。 b. 電源 LED を調べて、電源障害の問題があれば対処します。 c. 電源オン・ボタンを押して、電源の復元を試みます。 d. リモート側から電源の復元を試みます。電源が復元した場合は、前面オペレーター・パネルを交換します。 e. サーバーへの AC 電源入力を 20 秒間取り除き、サーバーを再度電源オンします。 <p>3. 前面情報パネルの電源オン・ボタン LED がオフである場合は、以下のステップを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> a. 各電源にある AC 電源 LED を調べて、AC 電源入力があることを確認します。 b. 各電源の DC 電源 LED を調べて、電源が DC 電源入力を生成していることを確認します。 c. サーバーの保守または移動が最近行われた場合は、標準 I/O ブックが正しく取り付けられていることを確認します。
<p>サーバーの電源がオフにならない。</p>	<p>オペレーティング・システムまたは電源オン・ボタンを使用しても、サーバーの電源が切れません。この場合は、以下のステップを実行します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張構成と電力インターフェース (ACPI) オペレーティング・システムを使用しているか、非 ACPI オペレーティング・システムかを調べます。非 ACPI オペレーティング・システムを使用している場合は、以下のステップを実行します。 <ol style="list-style-type: none"> a. Ctrl + Alt + Delete を押します。 b. 電源オン・ボタンを 5 秒間押したままにして、サーバーの電源をオフにします。 c. サーバーを再起動します。 d. サーバーの POST が失敗し、電源オン・ボタンが機能しない場合は、AC 電源コードを 20 秒間切り離しておき、AC 電源コードを再接続して、サーバーを再起動します。

表 48. 電源の問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<ol style="list-style-type: none"> それでも問題が解決しない場合、または ACPI 対応オペレーティング・システムを使用している場合は、標準 I/O ブックを交換します。
サーバーが予期せずにシャットダウンし、オペレーター情報パネル上の LED が点灯していない。	<ol style="list-style-type: none"> IMM イベント・ログを参照して、そのデバイスに関連したエラーがあれば解決します。 LCD 表示パネルを調べて、他のエラー情報がないか確認します。 問題が解決しない場合は、204 ページの「未解決問題の解決」を参照してください。

シリアル・デバイスの問題

シリアル・デバイスの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 49. シリアル・デバイスの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
オペレーティング・システムがシリアル・ポートを識別できない。	<ol style="list-style-type: none"> Setup Utility で各ポートに固有のアドレスが割り当てられており、どのシリアル・ポートも無効にされていないことを確認します。 I/O ブックを交換します。
シリアル・デバイスが動作しない。	<ol style="list-style-type: none"> 次の点を確認します。 <ul style="list-style-type: none"> デバイスはサーバーと互換性がある。 シリアル・ポートは有効になっており、固有のアドレスが割り当てられている。 デバイスが正しいコネクタに接続されている。 以下のコンポーネントを取り付け直します。 <ol style="list-style-type: none"> 障害を起こしているシリアル・デバイス シリアル・ケーブル ステップ 2 にリストされているコンポーネントを、示されている順序で、一度に 1 つずつ交換し、そのつどサーバーを再起動します。 標準 I/O ブック を交換します。

ServerGuide の問題

ServerGuide の問題を解決するには、この情報を使用します。

表 50. ServerGuide の問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判断するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
ServerGuide Setup and Installation DVD またはブート可能デバイスが始動しない。	<ol style="list-style-type: none"> 始動 (ブート) シーケンスの設定を変更した場合は、DVD ドライブまたはブート可能デバイスが始動シーケンスの最初になっていることを確認します。 サーバーが ServerGuide プログラムをサポートし、始動可能 (ブート可能) DVD ドライブまたはブート可能デバイスを備えていることを確認します。 https://support.lenovo.com/us/en/documents/LNVO-CENTER で、ISO イメージの一部である README ファイルを参照してください。 イメージから DVD または USB を焼き付けたことを確認します (データ・ディスクとして DVD または USB ISO ファイルを焼き付けないでください)。
MegaRAID Storage Manager プログラムが、取り付けられている一部のドライブを検出できない、あるいはオペレーティング・システムがインストールできない。	<ol style="list-style-type: none"> ハードディスク・ドライブが正しく接続されていることを確認します。 SAS/SATA ハードディスク・ドライブのケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。 ページ・トピックの「ハードディスク・ドライブの問題」の186 ページの ステップ 1「新たに取り付けたハードディスク・ドライブが認識されない。」 現象のアクションの手順に従います。
オペレーティング・システムのインストール・プログラムがよくループする。	オペレーティング・システムのインストール・ガイドラインに従っていることを確認します。
ServerGuide プログラムがオペレーティング・システムのインストール・メディアを開始しない。	オペレーティング・システム・メディアが ServerGuide プログラムによってサポートされていることを検証します。サポートされるオペレーティング・システムのバージョンのリストについては、 http://shop.lenovo.com/us/en/systems/solutions/ にアクセスし、ご使用の ServerGuide バージョンのリンクとサポートされる Microsoft Windows オペレーティング・システムを参照します。
オペレーティング・システムをインストールできない。	<ol style="list-style-type: none"> http://www.lenovo.com/serverproven/ で ServerProven® リストを調べて、オペレーティング・システムがサポートされていることを検証します。 論理ドライブが正しく定義され、セットアップされていることを確認します。 ServerGuide プログラムがインストール可能なパーティションを検出できることを確認します。 Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で RETAIN のヒントを参照して、関連する問題がないか確認します。

サーバーの始動の問題

POST 後のサーバー・ブートの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 51. サーバーの始動の問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に (トレーニングを受けたサービス技術員) と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
サーバーがブート中に停止する。	サーバーの LCD 表示パネルで UEFI/Post コードを探し、サポートに連絡してこの数値を提供して支援を受けてください。
組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスがブート・リストにない。	<ol style="list-style-type: none"> サーバーの取り付け、移動、あるいは保守を最近行った場合、あるいは組み込みハイパーバイザーを初めて使用する場合は、デバイスが適切に接続されていること、およびコネクタに物理的損傷がないことを確認します (260 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し」および 262 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換」を参照)。 Lenovo ServerProven Web サイト (http://www.lenovo.com/serverproven/) で、組み込みハイパーバイザー・デバイスがサーバーでサポートされていることを検証します。 Setup Utility を使用して、組み込みハイパーバイザー・デバイス (USB キー) が始動シーケンスに入っていることを確認します。Setup Utility から「Start Options」を選択します。 オプションの組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスに付属の資料を参照して、セットアップおよび構成情報を確認します。 Lenovo サポート Web サイト (http://www.lenovo.com/support) で、組み込みハイパーバイザーおよびサーバーに関連する Service Bulletin がないかを確認します。 サーバーが適切に作動していることを確実にするために、他のすべてのサーバー・ソフトウェアが問題なく実行していることを確認します。
外部 USB デバイスが認識されない。	<ol style="list-style-type: none"> 標準 I/O ブックに適切なドライバーがインストールされていることを確認します。デバイス・ドライバーについては、USB デバイスに付属の資料を参照してください。 Setup Utility を使用して、デバイスが正しく構成されていることを確認します。 USB デバイスがハブまたはコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに差し込まれている場合は、そのデバイスを引き抜き、標準 I/O ブックの背面にある USB ポートに直接差し込みます。 DSA USB 診断テストを実行します。
サーバーが予期せずリセット (再起動) する。	<ol style="list-style-type: none"> IMM イベント・ログを参照し、再起動イベントに関連するメッセージがないか確認して、問題を解決します。一部の訂正可能エラーでは、マシンが正常に起動できるようにするためにメモリー DIMM やマイクロプロセッサなどのデバイスを無効にできるように、サーバーをリブートする必要があります。 POST 中にサーバーの再起動が発生し、POST ウォッチドッグ・タイマーが有効になっている場合は (POST ウォッチドッグの設定を確認するには、Setup Utility で「System Settings」→「Recovery」→「System Recovery」→「POST Watchdog Timer」を選択します (132 ページの「Setup Utility の開始」を参照)。ウォッチドッグ・タイムアウト値 (「POST Watchdog Timer」) に十分な時間が設定されていることを確認します。POST 中にサーバーが引き続きリセットする場合は、2191 ページの付録 D「UEFI/POST エラー・コード」および 325 ページの付録 B「DSA 診断テスト結果」を参照してください。 オペレーティング・システムの始動後にサーバーの再起動が発生する場合は、Automatic Server Restart IPMI Application (Windows 用) などの自動サーバー

表 51. サーバーの始動の問題の現象とユーザー操作 (続き)

<ul style="list-style-type: none"> 問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。 どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。 処置のステップの先頭に (トレーニングを受けたサービス技術員) と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。 	
現象	操作
	<p>再起動 (ASR) ユーティリティ、または ASR デバイス (取り付けられている場合) を無効にしてください。</p> <p>注：ASR ユーティリティはオペレーティング・システムのユーティリティとして作動し、IPMI デバイス・ドライバーと関連しています。オペレーティング・システム始動後のリセットが続く場合は、問題がオペレーティング・システムにある可能性があります。202 ページの「ソフトウェアの問題」を参照してください。</p>

ソフトウェアの問題

ソフトウェアの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 52. ソフトウェアの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none">問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。	
現象	操作
ソフトウェアが原因と思われる問題	<ol style="list-style-type: none">ソフトウェアの問題が存在するかどうかを確認するには、以下を確認します。<ol style="list-style-type: none">新しいハードウェア、ソフトウェア、ファームウェア、またはデバイス・ドライバがインストールまたは更新された場合は、http://www.lenovo.com/serverproven/ で ServerProven リストを調べて、サーバーでサポートされていることを検証します。ソフトウェアの使用中にエラー・メッセージを受け取った場合は、そのソフトウェアに付属の説明書を参照して、メッセージの内容と問題の解決方法を調べてください。オペレーティング・システム・ログを確認し、使用しているソフトウェアに関連したイベントがないかを調べ、解決を試みます。追加の問題解決について、ソフトウェア・プロバイダーに問い合わせます。ソフトウェア・ベンダーに連絡してください。

USB ポートの問題

Universal Serial Bus (USB) ポートの問題を解決するには、この情報を使用します。

表 53. USB ポートの問題の現象とユーザー操作

<ul style="list-style-type: none">問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。どのコンポーネントがお客様交換可能ユニット (CRU) で、どのコンポーネントが現場交換可能ユニット (FRU) であるか判別するには、211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」を参照してください。処置のステップの先頭に「(トレーニングを受けたサービス技術員のみ)」と書かれている場合、そのステップを実行できるのは、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。	
現象	操作
USB デバイスが機能しない。	<ol style="list-style-type: none">Setup ユーティリティを使用して、装置が正しく構成されていることを確認します (132 ページの「Setup Utility の使用」を参照)。サーバーに正しいドライバがインストールされていることを確認します。デバイス・ドライバに関する情報については、USB デバイスの製造資料または製造業者の Web サイトを参照してください。USB デバイスがハブまたはコンソール・ブレイクアウト・ケーブルに接続されている場合、デバイスの接続を抜き、サーバー前面にある USB ポートに接続します。

ビデオの問題

ビデオの問題を解決するには、この情報を使用します。

[192 ページの「モニターおよびビデオの問題」](#)を参照してください。

電源の問題の解決

電源の問題を解決するには、この情報を使用します。

電源の問題、解決

電源の問題を解決する際に困難が伴う可能性があります。たとえば、短絡がいずれかの配電バスのどこかに存在している可能性があります。通常は、短絡により、過電流状態が原因で電源サブシステムがシャットダウンします。電源の問題を診断するために使用する一般的な手順は、次のとおりです。

- ステップ 1. IMM イベント・ログを参照して、電源に関連したエラーがあれば解決します ([196 ページの「電源問題」](#)を参照)。
- ステップ 2. また、短絡がないか (たとえば、回路ボード上に短絡の原因となる緩んだねじがないかどうか)を確認します。
- ステップ 3. サーバーがサーバーの始動に必要な最小構成になるまで、アダプターを取り外し、すべての内部装置および外部装置へのケーブルおよび電源コードを切り離します (最小構成については、[204 ページの「未解決問題の解決」](#)を参照)。
- ステップ 4. すべての AC 電源コードを再接続し、サーバーの電源をオンにします。サーバーが正常に始動した場合は、問題が特定されるまで、アダプターおよびデバイスを一度に 1 つずつ取り付け直します。

サーバーが最小構成でも起動しない場合は、[170 ページの「電源 LED」](#)を参照して、問題が特定されるまで、最小構成のコンポーネントを一度に 1 つずつ交換します。

イーサネット・コントローラーの問題の解決

イーサネット・コントローラーの問題を解決するには、この情報を使用します。

イーサネット・コントローラーをテストするために使用する方法は、使用しているオペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムの資料でイーサネット・コントローラーに関する情報を調べ、イーサネット・コントローラーのデバイス・ドライバーの `readme` ファイルを参照してください。

以下の手順を試してみてください。

- サーバーに付属した正しいデバイス・ドライバーがインストール済みであること、およびそれらが最新レベルのものであることを確認してください。
- イーサネット・ケーブルが正しく取り付けられていることを確認します。
 - ケーブルは、すべての接続部がしっかり接続されていることが必要です。ケーブルが接続されているにもかかわらず、問題が解決しない場合は、別のケーブルで試してみてください。
 - イーサネット・コントローラーを 100 Mbps または 1000 Mbps で動作するように設定した場合は、カテゴリ 5 のケーブルを使用する必要があります。
- ハブが自動ネゴシエーションをサポートしているかどうかを調べます。サポートしていない場合は、内蔵イーサネット・コントローラーを、ハブの速度と二重モードに合わせて手動で構成してください。
- サーバーの背面パネルにあるイーサネット・コントローラー LED をチェックします。これらの LED は、コネクタ、ケーブル、またはハブに問題があるかどうかを示します。
 - イーサネット・コントローラーがハブからリンク・パルスを受信すると、イーサネット・リンク・ステータス LED が点灯します。LED がオフの場合は、コネクタまたはケーブルに欠陥があるか、ハブに問題がある可能性があります。

- イーサネット・コントローラーがイーサネット・ネットワークを介してデータを送信または受信すると、イーサネット送信/受信活動 LED が点灯します。イーサネットの送信/受信活動がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- サーバー背面の LAN 活動 LED をチェックしてください。LAN 活動 LED は、イーサネット・ネットワークでデータがアクティブであるときに点灯します。LAN 活動 LED がオフの場合は、ハブとネットワークが作動していること、および正しいデバイス・ドライバーがインストールされていることを確認してください。
- 問題を引き起こしているオペレーティング・システム固有の原因がないかどうかをチェックし、オペレーティング・システムのドライバーが正しくインストールされていることを確認します。
- クライアントとサーバーのデバイス・ドライバーが同じプロトコルを使用していることを確認します。

ハードウェアが正常に機能しているように見えるのに、イーサネット・コントローラーがネットワークに接続できない場合は、ネットワーク管理者は、ほかにエラーの原因が考えられないかどうかを調べる必要があります。

未解決問題の解決

未解決問題を解決するには、この情報を使用します。

Dynamic System Analysis (DSA) で障害を診断できなかった場合、またはサーバーが機能しない場合は、このセクションの情報を使用してください。

ソフトウェア問題が障害 (連続的または断続的) の原因であると思われる場合は、[202 ページの「ソフトウェアの問題」](#)を参照してください。

UEFI ファームウェアの破損が原因で、未解決問題が生じる場合があります。UEFI ファームウェアが破損していると思われる場合は、[206 ページの「UEFI 更新障害または UEFI イメージ破損からの回復」](#)を参照してください。

電源が正しく動作している場合は、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. サーバーの電源を切ります。
- ステップ 2. サーバーのケーブルが正しく接続されていることを確認します。
- ステップ 3. 障害を特定できるまで、以下のデバイスを一度に 1 つずつ、取り外すかまたは切り離します。そのたびに、サーバーの電源をオンにして再構成を行ってください。
 - 外付けデバイス
 - サージ抑制デバイス (サーバー上)
 - プリンター、マウス、および Lenovo 以外のデバイス
 - 各アダプター
 - ハードディスク・ドライブ
 - メモリー・モジュール。必要最小構成はコンピュータ・ブック ごとに 1 つの DIMM です。
- ステップ 4. サーバーの電源をオンにします。

あるアダプターをサーバーから取り外すと問題が解消され、再び同じアダプターを取り付けると問題が再発する場合は、そのアダプターに原因があると考えられます。そのアダプターを別のアダプターと交換しても問題が再発する場合は、異なる PCIe スロットを試行します。

ネットワーキングの問題があると思われ、サーバーがすべてのシステム・テストに合格した場合は、サーバーの外部のネットワーク配線に問題がある可能性があります。

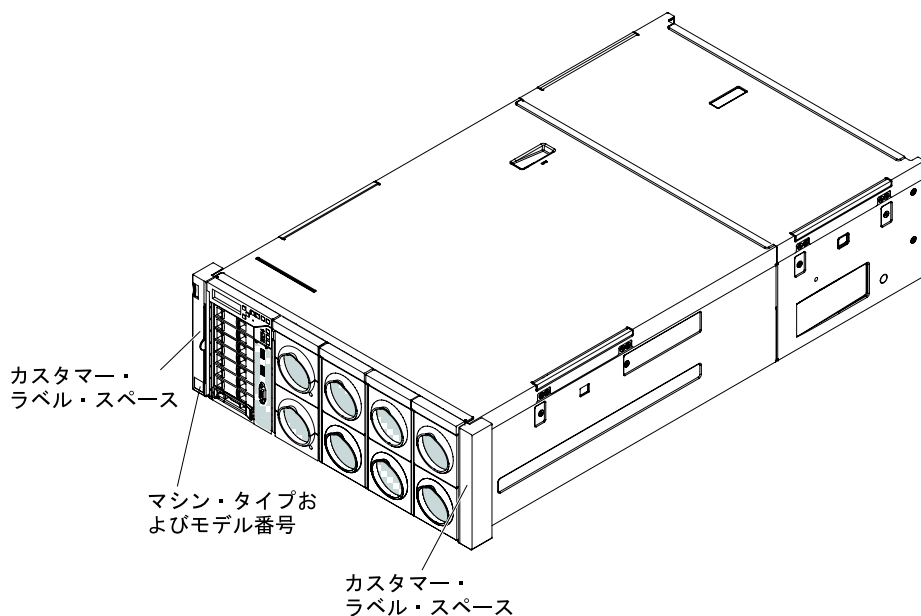
問題判別のヒント

このトピックでは、サーバーの問題の解決に役立つ問題判別のヒントを提供します。

ハードウェアとソフトウェアにはさまざまな組み合わせがあるため、以下の情報を利用して問題判別の補助としてください。

モデル番号とマシン・タイプは、次の図で示されるように、サーバー前面にある ID ラベル上で見つけることができます。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。



- マシン・タイプおよびモデル
- マイクロプロセッサまたはハードディスク・ドライブのアップグレード
- 障害の現象
 - サーバーは Dynamic System Analysis の診断テストに失敗したか。
 - 何が起きたか。いつ起きたか。どこで起きたか。
 - 障害は単一のサーバーで起きたか、それとも複数のサーバーで起きたか。
 - その障害は再現可能か。
 - この構成が正常に作動したことがあったか。
 - 構成が失敗する前に何か変更が行われたか。
 - これは、元々報告されていた障害か。
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- ハードウェア構成 (システム・サマリーの画面印刷)
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- オペレーティング・システム・ソフトウェア

問題によっては、作動するサーバーと作動しないサーバーの間で構成およびソフトウェア・セットアップを比較することで、解決できる場合があります。診断の目的でサーバーを相互に比較するときは、すべてのサーバーにおいて以下の要素が厳密に同じである場合に限り、サーバーが同じであると見なしてください。

- マシン・タイプおよびモデル
- UEFI ファームウェア・レベル
- IMM ファームウェア・レベル
- アダプターおよび接続機構、およびそれぞれの位置
- アドレス・ジャンパー、ターミネーター、およびケーブル配線
- ソフトウェアのバージョンとレベル
- 診断プログラムのタイプとバージョン・レベル
- Setup Utility の設定
- オペレーティング・システム制御ファイルのセットアップ

サービスの依頼の詳細については、[2221 ページの 付録 E「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#)を参照してください。

UEFI 更新障害または UEFI イメージ破損からの回復

このトピックでは、UEFI 更新障害または UEFI イメージ破損からの回復方法について説明します。

重要:一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

更新中の電源障害などによってサーバー・ファームウェアが損傷した場合は、次のいずれかの方法でサーバー・ファームウェアをリカバリーできます。

- **インバンド方式:** SW1 スイッチ・ブロック (自動ブート・リカバリー) またはサーバーの Firmware Update Package Service Pack を使用して、サーバー・ファームウェアをリカバリーする。
- **アウト・オブ・バンド方式:** 最新のサーバー・ファームウェア更新パッケージを使用し、IMM Web インターフェースからファームウェアを更新する。

注:サーバー更新パッケージは、以下のいずれかから入手できます。

- ワールド・ワイド・ウェブからサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードする。
- サービス技術員に連絡する。

ワールド・ワイド・ウェブ (WWW) からサーバー・ファームウェア更新パッケージをダウンロードするには、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

注意:誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

サーバーのフラッシュ・メモリーは、プライマリー・バンクとバックアップ・バンクから構成されます。UEFI ファームウェアのブート可能イメージを、バックアップ・バンクに維持しておく必要があります。1 次バンク内のサーバー・ファームウェアが破損した場合、SW1 スイッチ・ブロックのスイッチ 7 の位置を手動で ON に変更することができます (詳細については、[139 ページの「サーバー・ファーム](#)

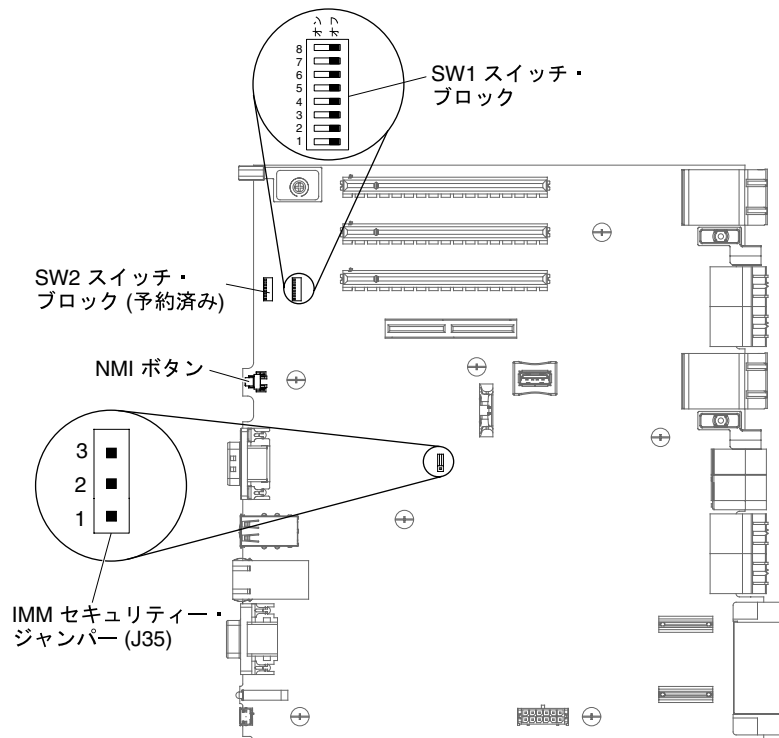
ウェアのバックアップの開始」を参照)。イメージが破損している場合は、Automated Boot Recovery 機能で自動的に行われます。

インバンドの手動リカバリー方式

サーバー・ファームウェアをリカバリーし、サーバー操作をプライマリー・バンクに復元するには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。

ステップ 2. 標準 I/O ブックで SW1 スイッチ・ブロックを見つけます。



ステップ 3. SW1 スイッチ・ブロックのスイッチ 7 の位置を ON に変更して、UEFI リカバリー・モードを有効にします。

ステップ 4. すべての電源コードを再接続します。

ステップ 5. サーバーを再起動します。電源オン・セルフテスト (POST) が開始されます。

ステップ 6. ダウンロードした Flash UEFI 更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムでサーバーをブートします。

ステップ 7. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。

ステップ 8. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージをディレクトリーにコピーします。

ステップ 9. コマンド・ラインで、*filename-s* と入力します。*filename* は、ファームウェア更新パッケージとともにダウンロードした実行可能ファイルの名前です。

ステップ 10. サーバーの電源をオフにして、すべての電源コードおよび外部ケーブルを外します。

ステップ 11. スイッチ 7 の位置を OFF (デフォルト) に戻します。

ステップ 12. 電源ケーブルをすべて再接続します。

ステップ 13. サーバーを再起動します。

インバンドの自動ブート・リカバリー方式

注：標準 I/O ブック・ボード LED が点灯し、ログ項目が表示される場合、または **Booting Backup Image** がファームウェア・スプラッシュ画面に表示される場合は、この方式を使用します。それ以外の場合はインバンド手動リカバリー方式を使用してください。

1. ダウンロードしたファームウェア更新パッケージがサポートするオペレーティング・システムにサーバーをブートします。
2. ファームウェア更新パッケージの README ファイルの指示に従って、ファームウェア更新を実行します。
3. サーバーを再起動します。
4. プライマリー・バンクの復元のプロンプトが出されたら、ファームウェア・スプラッシュ画面で F3 キーを押します。サーバーはプライマリー・バンクからブートします。

アウト・オブ・バンド方式 http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html にある IMM2 の資料 (「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」) を参照してください。

UEFI 準拠のファームウェアの詳細については、<http://www.ibm.com/support/entry/portal/docdisplay?lnocid=MIGR-5083207> にアクセスしてください。

自動ブート・リカバリー (ABR)

このトピックでは、サーバーのプライマリー・バンク・ファームウェアをリカバリーする方法について説明します。

サーバーがブートしてから IMM がプライマリー・バンクのサーバー・ファームウェアに問題を検出した場合、バックアップ・ファームウェア・バンクへの切り替えが自動的に行われ、ユーザーはプライマリー・バンクのリカバリーを行う機会が与えられます。サーバー・ファームウェアのプライマリー・バンクに回復するには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. サーバーを再起動します。

ステップ 2. 「F3 to restore to primary」のプロンプトが表示されたら、F3 キーを押して、プライマリー・バンクを回復します。F3 キーを押すと、サーバーが再起動します。

Nx 回ブートが失敗

このトピックでは、Nx 回ブート失敗機能を設定して、POST 障害後に自動的にサーバーを再起動する試行回数を設定する方法について説明します。

デバイスの追加やアダプター・ファームウェア更新などの構成の変更、およびファームウェアまたはアプリケーションのコーディングの問題が原因で、サーバーが POST (電源オン自己診断テスト) に失敗する場合があります。これが発生した場合、サーバーは以下のいずれかの方法で応答します。

- サーバーは自動的に再起動し、POST を再試行します。
- サーバーは停止し、ユーザーはサーバーの POST を再試行するために、サーバーを手動で再起動する必要があります。

指定された回数の連続試行 (自動でも手動でも) の後、Nx 回ブート失敗機能により、サーバーはデフォルトの UEFI 構成に復帰し、Setup Utility が開始され、ユーザーが構成に対し必要な修正を加えてサーバーを再起動できるようにします。サーバーがデフォルト構成で POST を正常に完了できない場合、システム・ボードに問題がある可能性があります。

Setup Utility で Nx 回ブート失敗機能をトリガーする連続再起動試行の回数を指定するには、以下のステップを実行してください。選択できる値は 3、6、9、および Disable (Nx 回ブート失敗を無効にする) です。

- ステップ 1. Setup Utility のメインメニューから、「System Settings」を選択します。
- ステップ 2. 次に「Recovery」を選択します。
- ステップ 3. 「POST Attempts」を選択し、次に「POST Attempts Limit」を選択します。
- ステップ 4. 構成設定を変更し、「Save Settings」を選択します。それから、Setup を終了します。

第 5 章 部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241

このトピックでは、サーバーの交換可能なコンポーネントのリストについて説明します。

この章で説明する交換可能なコンポーネントは、211 ページの「交換可能なサーバー・コンポーネント」で特に指定されている場合を除き、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241 サーバーで利用可能です。更新された部品リストについては、<http://www.lenovo.com/support> にアクセスしてください。

交換可能なサーバー・コンポーネント

このトピックでは、交換可能なサーバー・コンポーネントの部品および部品番号のリストを示しています。

交換可能なコンポーネントは、消耗部品、構造部品、および現場交換可能ユニット (FRU) から構成されています。

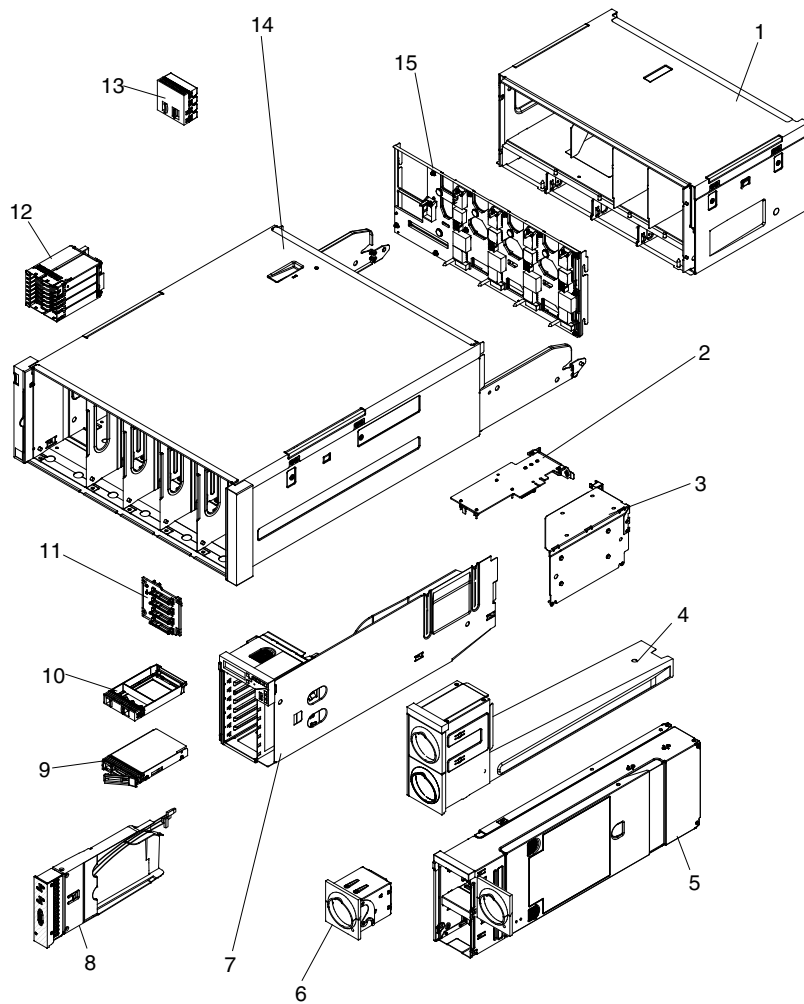
- **消耗品:** 消耗品 (寿命のあるバッテリーやプリンター・カートリッジなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo 認定保証サービス提供者が消耗品コンポーネントの入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。消耗部品のリストについては、228 ページの「消耗部品」を参照してください。
- **構造部品:** 構造部品 (シャーシ・アセンブリー、トップ・カバー、ベゼルなどのコンポーネント) の購入および交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo 認定保証サービス提供者が構造部品の入手または取り付けを行った場合は、サービス料金を請求させていただきます。
- **現場交換可能ユニット (FRU):** FRU を取り付けることができるのは、お客様交換可能ユニット (CRU) に分類されている場合を除き、トレーニングを受けたサービス技術員のみです。
 - **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo 認定保証サービス提供者が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
 - **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo 認定保証サービス提供者に取り付け作業を依頼することもできます。

保証の条件およびサービスと支援の利用については、サーバーに付属の Lenovo 「保証」資料を参照してください。サービスと支援を受ける方法の詳細については、221 ページの付録 E 「ヘルプおよび技術サポートの入手」を参照してください。

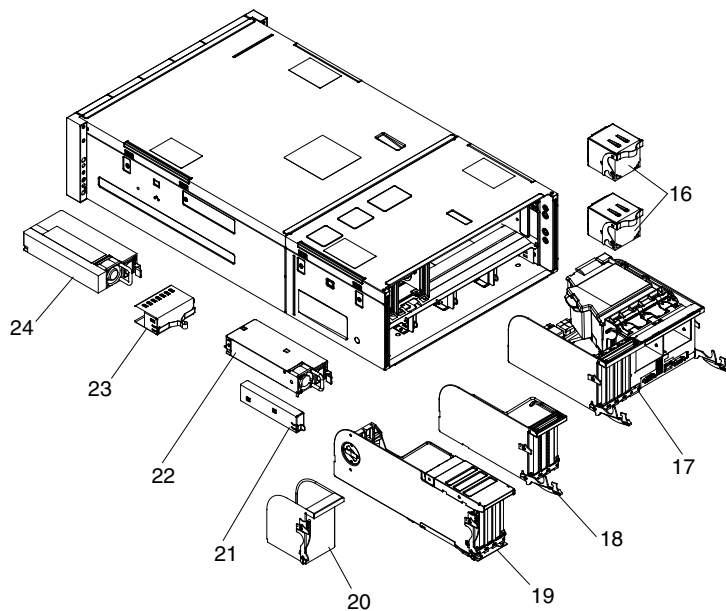
次の図は、このサーバーの主なコンポーネントを示しています。本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。消耗部品のリストについては、228 ページの「消耗部品」を参照してください。

注：シャーシ、ミッドプレーン、シャトル、および一部のマイクロプロセッサを除き、すべてのコンポーネントは 4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの間で交換可能です。

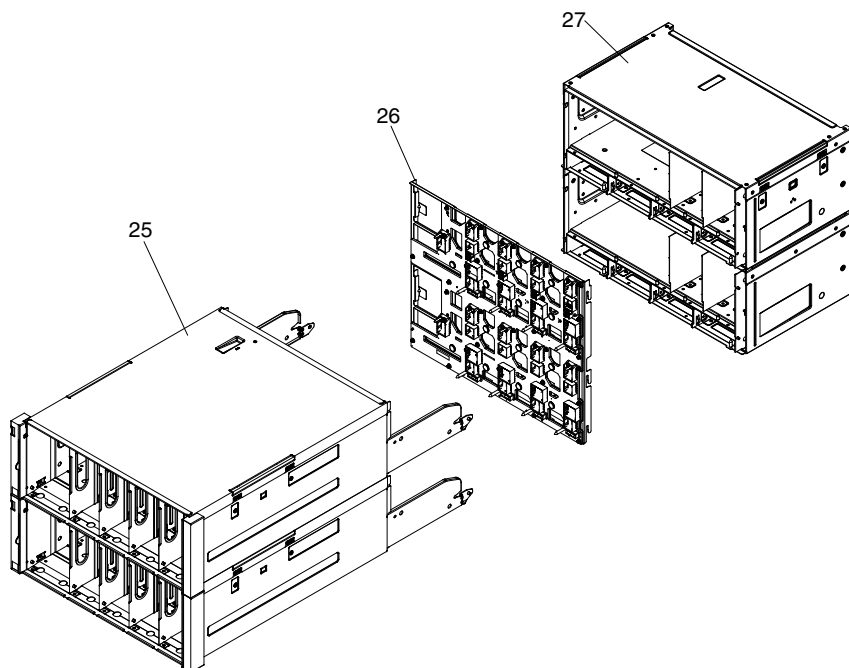
次の図は、サーバーの前面にあるコンポーネントを示しています。



次の図は、サーバーの背面にあるコンポーネントを示しています。



次の図は、8 ソケットのシャーシ、ミッドプレーン、およびシャトルを示しています。



注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 ([http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay? Indocid=migr-5096047](http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047)) を参照してください。

下表にはサーバー交換可能コンポーネントの部品番号が記載されています。

表 54. 部品リスト、Type 6241

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)	FRU の部品番号
1	シャトル、4U 用 x3850 X6 4 ソケット (部品番号 00FN661 に付属)			
2	ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー	46C9111		
2	ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー	00AE811		
3	ボード、ストレージ I/O ブック、アセンブリー		00D0055	
4	フィルター、コンピュータ・ブック	95Y4378		
5	コンピュータ・ブック (E7-x8xx v2 および v3 シリーズ用)			00FN785
5	コンピュータ・ブック (E7-x8xx v3 シリーズ、DDR4 用)			00D0402
5	コンピュータ・ブック (E7-x8xx v3 シリーズ用、12-DIMM、DDR4、コンピュータ・ブック・モデル 6241AAx、6241ABx、6241ACx、6241ADx、および 6241AEx)			00WA069
6	ファン、前面ホット・スワップ	00WC281		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
7	ストレージ・ブック、X6 (電源ケーブル、背面エア・ダクト、およびスーパーキャップ/フラッシュ電源モジュール・ブラケット付き)		95Y4380	
8	前面 I/O パネル、アSEMBリー (USB/ビデオおよび前面エア・ダクト)	95Y4382		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、900 GB 10K、6 Gbps	00AJ072		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、300 GB 15K、6 Gbps	00AJ082		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 NL ホット・スワップ、1 TB 7.2K、6 Gbps	00AJ087		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、600 GB 10K、6 Gbps	00AJ092		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、300 GB 10K、6 Gbps	00AJ097		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、146 GB 15K、6 Gbps	00AJ112		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 NL ホット・スワップ、500 GB 7.2K、6 Gbps	00AJ122		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 NL ホット・スワップ、250 GB 7.2K、6 Gbps	00AJ132		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 NL ホット・スワップ、500 GB 7.2K、6 Gbps	00AJ137		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SATA Gen3 NL ホット・スワップ、1 TB 7.2K、6 Gbps	00AJ142		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、1.2 TB 10K、6 Gbps	00AJ147		
9	ハードディスク・ドライブ、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、600 GB 15K、6Gbps (x3950 X6 8U 用)	00AJ127		
9	ハードディスク・ドライブ、IBM 300 GB 15K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA222		
9	ハードディスク・ドライブ、IBM 600 GB 15K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA232		
9	ハードディスク・ドライブ、IBM 600 GB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA242		
9	ハードディスク・ドライブ、IBM 900 GB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA252		
9	ハードディスク・ドライブ、IBM 1.2 TB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA262		
9	ハードディスク・ドライブ、IBM 1.8 TB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA272		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
9	ハードディスク・ドライブ、300GB 15K 12Gbps SAS、2.5 型、Gen3	00WG661		
9	ハードディスク・ドライブ、600GB 15K 12Gbps SAS、2.5 型、Gen3	00WG666		
9	ハードディスク・ドライブ、300GB 10K 12Gbps SAS、2.5 型、Gen3	00WG686		
9	ハードディスク・ドライブ、600GB 10K 12Gbps SAS、2.5 型、Gen3	00WG691		
9	ハードディスク・ドライブ、900GB 10K 12Gbps SAS、2.5 型、Gen3	00WG696		
9	ハードディスク・ドライブ、1.2TB 10K 12Gbps SAS、2.5 型、Gen3	00WG701		
9	ハードディスク・ドライブ、1 TB 2.5 型 SAS NL 7.2K ホッ ト・スワップ	00NA492		
9	ハードディスク・ドライブ、1 TB 2.5 型 SAS NL 7.2K ホッ ト・スワップ	00NA497		
9	ハードディスク・ドライブ、2 TB 2.5 型 SATA NL 7.2K ホッ ト・スワップ	00NA527		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 300 GB 15K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e SED	00NA282		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 600 GB 15K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA287		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 600 GB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA292		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 900 GB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA297		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 1.2 TB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA302		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 1.8 TB 10K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e	00NA307		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 300 GB 15K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e ハイブリッド	00NA312		
	自己暗号化ドライブ (SED)、IBM 600 GB 15K 12 Gbps SAS 2.5 型、G3HS 512e ハイブリッド	00NA322		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・ス ワップ、900 GB 10K、6 Gbps	00AJ077		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・ス ワップ、600 GB 10K、6 Gbps	00AJ102		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・ス ワップ、300 GB 10K、6 Gbps	00AJ107		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・ス ワップ、146 GB 15K、6 Gbps	00AJ117		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、1.2 TB 10K、6 Gbps	00AJ152		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、300GB 10K 12Gbps	00WG706		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、600GB 10K 12Gbps	00WG711		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、900GB 10K 12Gbps	00WG716		
	自己暗号化ドライブ (SED)、2.5 型、SAS Gen3 ホット・スワップ、1.2TB 10K 12Gbps	00WG721		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3700 Enterprise (System x 用)、2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、200 GB	00AJ157		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3700 Enterprise (System x 用)、2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、400 GB	00AJ162		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3700 Enterprise (System x 用)、2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、800 GB	00AJ167		
	ソリッド・ステート・ドライブ、Enterprise 2.5 型、SAS Gen3 MLC ホット・スワップ、200 GB	00AJ208		
	ソリッド・ステート・ドライブ、Enterprise 2.5 型、SAS Gen3 MLC ホット・スワップ、400 GB	00AJ213		
	ソリッド・ステート・ドライブ、Enterprise 2.5 型、SAS Gen3 MLC ホット・スワップ、800 GB	00AJ218		
	ソリッド・ステート・ドライブ、Enterprise 2.5 型、SAS Gen3 MLC ホット・スワップ、1.6 TB	00AJ223		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、120 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ396		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、240 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ401		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、480 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ406		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 2.5 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、800 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ411		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3600 400 GB NVMe 2.5 型、G3HS エンタープライズ値 PCIe (System x 用)	90Y3228		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3600 800 GB NVMe 2.5 型、G3HS エンタープライズ値 PCIe (System x 用)	90Y3231		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3600 1.6 TB NVMe 2.5 型、G3HS エンタープライズ値 PCIe (System x 用)	90Y3234		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3600 2.0 TB NVMe 2.5 型、G3HS エンタープライズ値 PCIe (System x 用)	90Y3237		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 200 GB 12G SAS 2.5 型、MLC G3HS Enterprise	00FN380		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 400 GB 12G SAS 2.5 型、MLC G3HS Enterprise	00FN390		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 800 GB 12G SAS 2.5 型、MLC G3HS Enterprise	00FN400		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 1.6 TB 12G SAS 2.5 型、MLC G3HS Enterprise	00FN410		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 400 GB 12G SAS 2.5 型、MLC G3HS Enterprise	00FN420		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 800 GB 12G SAS 2.5 型、MLC G3HS Enterprise	00FN425		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3500 エンタープライズ値 SSD (System x 用)、1.8 型、SATA MLC、800 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ456		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3700 Enterprise (System x 用)、1.8 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、200 GB	41Y8367		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3700 Enterprise (System x 用)、1.8 型、SATA Gen3 MLC ホット・スワップ、400 GB	41Y8372		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 1.8 型、SATA MLC 120 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ336		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 1.8 型、SATA MLC 240 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ341		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 1.8 型、SATA MLC 480 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ346		
	ソリッド・ステート・ドライブ、エンタープライズ値 1.8 型、SATA MLC 800 GB (x3950 X6 8U 用)	00AJ351		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3510 120GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00WG621		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3510 240GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00WG626		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3510 480GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00WG631		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3510 800GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00WG636		
	ソリッド・ステート・ドライブ、120GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC386		
	ソリッド・ステート・ドライブ、240GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC391		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	ソリッド・ステート・ドライブ、480GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC396		
	ソリッド・ステート・ドライブ、960GB Enterprise Entry SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC401		
	ソリッド・ステート・ドライブ、400GB Enterprise Mainstream 12Gb SAS 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC461		
	ソリッド・ステート・ドライブ、800GB Enterprise Mainstream 12Gb SAS 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC466		
	ソリッド・ステート・ドライブ、1600GB Enterprise Mainstream 12Gb SAS 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC471		
	ソリッド・ステート・ドライブ、3.84TB Enterprise Capacity 6Gb SAS MLC Gen3 ホット・スワップ	00NA672		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3700 400GB Enterprise Performance NVMe 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ PCIe	00YA819		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3700 800GB Enterprise Performance NVMe 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ PCIe	00YA822		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3700 1.6TB Enterprise Performance NVMe 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ PCIe	00YA825		
	ソリッド・ステート・ドライブ、P3700 2.0TB Enterprise Performance NVMe 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ PCIe	00YA828		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3710 200GB Enterprise Performance SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC321		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3710 400GB Enterprise Performance SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC326		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3710 800GB Enterprise Performance SATA 2.5 型、Gen3 ホット・スワップ	00YC331		
	ソリッド・ステート・ドライブ、S3500 1.6 TB SATA 2.5 型 MLC G3HS エンタープライズ値 (IBM System x 用)	00FN279		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 240 GB SATA 2.5 型 MLC G3HS Entry	00FN338		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 480 GB SATA 2.5 型 MLC G3HS Entry	00FN343		
	ソリッド・ステート・ドライブ、IBM 960 GB SATA 2.5 型 MLC G3HS Entry	00FN348		
10	ドライブ・フィラー、2.5 型ハードディスク・ドライブ (部品 番号 95Y4383 に付属)			
10	ドライブ・フィラー、2.5 型ハードディスク・ドライブ	00FW856		
	ドライブ・フィラー、2.5 型ハードディスク・ドライブ・ク ワッド・フィラー	00KF417		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
11	バックプレーン、4x2.5 型ホット・スワップ、SAS Gen3	00KH403		
12	バックプレーン、8x1.8 型ホット・スワップ、12Gb、SAS/SATA HDD/SSD	47C9941		
13	バックプレーン・フィラー、8x1.8 型ハードディスク・ドライブ(部品番号 95Y4383 に付属)			
14	シャーシおよびシャトル、x3850 X6 4 ソケット (4U アセンブリー)			00FN661
	シャーシおよびシャトル、x3950 X6 8 ソケット (8U アセンブリー)			00FN662
15	ミッドプレーン、x3850 X6 4 ソケット (4U シャーシ用)			00D0051
16	ファン、背面ホット・スワップ	00WC276		
17	I/O ブック、X6 標準 (ファン・ケーブルとエア・ダクト付き)			00YA701
18	I/O ブック、X6 ハーフサイズ (モデル A4X、H1X)	00FN822		
19	I/O ブック、X6 フルサイズ (ブラケットと 2 本の補助電源ケーブル付き)	00FN812		
20	フィラー、I/O ブック	95Y4379		
21	電源スベアーサー (900W および 750W の電源用) (部品番号 95Y4383 に付属)			
22	電源、900 ワット、Emerson/Artesyn (この部品は、部品番号 94Y8301 と交換可能)	94Y8310		
22	電源、900 ワット、Delta (この部品は、部品番号 94Y8310 と交換可能)	94Y8301		
23	電源フィラー (部品番号 95Y4383 に付属)			
24	電源、1400 ワット、Emerson (この部品は、部品番号 94Y8295 と交換可能)	94Y8293		
24	電源、1400 ワット、Delta (この部品は、部品番号 94Y8293 と交換可能)	94Y8295		
	電源、750 ワット - 48 V DC			94Y8311
25, 26, 27	アップグレード・キット、x3950 4 ソケットから 8 ソケット (8 ソケット・シャーシ、8 ソケット・ミッドプレーン、および 8 ソケット・シャトルを含む) - 8U			00MY849
	エアー・バッフルおよびダクト・キット	95Y4385		
	ケーブル、内部 SAS	00FN501		
	ケーブル、前面オペレーター・パネル (部品番号 00D0333 に付属)			
	ケーブル管理アーム・キット	95Y4390		
	シャーシ・ハンドル・キット	95Y4384		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	バッテリー・ホルダー	94Y7609		
	EIA トリム・ベゼル・キット	00FN669		
	EIA トリム・ベゼル・キット (Lenovo ブランド)	00FN670		
	フィルター・キット (電源ベイおよびハードディスク・ドライブ・ベイ用)	95Y4383		
	ハードディスク・ドライブ・バックプレーン・フィルター	69Y2286		
	前面オペレーター・パネル・アSEMBリー (ブラケット、ライト・パイプ・アSEMBリーを含む)		00FG825	
	ハンドル、カム (前面)	00FN594		
	ハンドル、カム (背面)	00FN595		
	ラベル、4U	00WC269		
	ラベル、8U	00WC270		
	LCD 表示パネル		00D0464	
	メモリー、4 GB (2 Gb、1Rx4、1.35 V)、PC3-12800 DDR3 ECC 1600 MHz LP RDIMM	00D5026		
	メモリー、8 GB (4Gb、1Rx4、1.35 V)、PC3-12800 DDR3 ECC 1600 MHz LP RDIMM	00D5038		
	メモリー、16 GB (4Gb、2Rx4、1.35 V)、PC3-12800 DDR3 ECC 1600 MHz LP RDIMM	46W0674		
	メモリー、32 GB (4Gb、4Rx4、1.35 V)、PC3-12800 DDR3 ECC 1600 MHz LP LR-DIMM	46W0678		
	メモリー、64 GB (4Gb、8Rx4、1.35 V)、PC3-10600 DDR3 ECC 1333 MHz LP LR-DIMM	46W0743		
	メモリー、8 GB (4 Gb、1Rx4、1.20 V) PC4-17000 DDR4 2133 MHz LP RDIMM	46W0790		
	メモリー、16 GB (4 Gb、2Rx4、1.20 V) PC4-17000 DDR4 2133 MHz LP RDIMM	46W0798		
	メモリー、32 GB (8 Gb、2Rx4、1.20 V) PC4-17000 DDR4 2133 MHz LP RDIMM	95Y4810		
	メモリー、64 GB (8 Gb、4Rx4、1.20 V) PC4-17000 DDR4 2133 MHz LP LR-RDIMM	95Y4814		
	メモリー、8GB (4Gb、1Rx4、1.20V) PC4-17000 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0823		
	メモリー、16GB (4Gb、2Rx4、1.20V) PC4-17000 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0831		
	メモリー、32GB (8Gb、2Rx4、1.20V) PC4-17000 TruDDR4 2400MHz LP RDIMM	46W0835		
	メモリー、64GB (8Gb、4Rx4、1.20V) PC4-17000 TruDDR4 2400MHz LP LRDIMM	46W0843		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	ストレージ DIMM、eXFlash 200 GB DDR3	90Y3246		
	ストレージ DIMM、eXFlash 400 GB DDR3	90Y3247		
	ヒート・シンク・アセンブリー (DDR3 コンピュート・ブック用)			95Y4388
	ヒート・シンク・アセンブリー (DDR4 コンピュート・ブック用)			00FN671
	マイクロプロセッサ、1.9 GHz、12 MB、105W、6C、E7-4809 v2			44X3963
	マイクロプロセッサ、2.0 GHz、16 MB、105W、8C、E7-4820 v2			44X3968
	マイクロプロセッサ、2.2 GHz、20 MB、105W、10C、E7-4830 v2			44X3973
	マイクロプロセッサ、2.3 GHz、24 MB、105W、12C、E7-4850 v2			44X3978
	マイクロプロセッサ、2.6 GHz、30 MB、130W、12C、E7-4860 v2			44X3983
	マイクロプロセッサ、2.3 GHz、30 MB、130W、15C、E7-4870 v2			44X3988
	マイクロプロセッサ、2.5 GHz、37.5 MB、130W、15C、E7-4880 v2			44X3993
	マイクロプロセッサ、2.8 GHz、37.5 MB、155W、15C、E7-4890 v2			44X3998
	マイクロプロセッサ、2.3 GHz、24 MB、105W、12C、E7-8850 v2			44X4003
	マイクロプロセッサ、3.0 GHz、30 MB、130W、12C、E7-8857 v2			44X4033
	マイクロプロセッサ、2.3 GHz、30 MB、130W、15C、E7-8870 v2			44X4013
	マイクロプロセッサ、2.5 GHz、37.5 MB、130W、15C、E7-8880 v2			44X4018
	マイクロプロセッサ、2.2 GHz、37.5 MB、105W、15C、E7-8880L v2			44X4038
	マイクロプロセッサ、2.8 GHz、37.5 MB、155W、15C、E7-8890 v2			44X4023
	マイクロプロセッサ、3.2 GHz、37.5 MB、155W、10C、E7-8891 v2			44X4028

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	マイクロプロセッサ、3.4 GHz、37.5 MB、155W、6C、 E7-8893 v2			44X4008
	マイクロプロセッサ、E7-4809 v3			00FP677
	マイクロプロセッサ、E7-4820 v3			00FP678
	マイクロプロセッサ、E7-4850 v3			00FP680
	マイクロプロセッサ、E7-8860 v3			00FP682
	マイクロプロセッサ、E7-8870 v3			00FP683
	マイクロプロセッサ、E7-8890 v3			00FP685
	マイクロプロセッサ、E7-4830 v3			00FP679
	マイクロプロセッサ、E7-8880 v3			00FP684
	マイクロプロセッサ、E7-8880L v3			00FP686
	マイクロプロセッサ、E7-8891 v3			00FP687
	マイクロプロセッサ、E7-8893 v3			00FP688
	マイクロプロセッサ、E7-8867 v3			00FP689
	マイクロプロセッサ、E7-4809 v4			00MT484
	マイクロプロセッサ、E7-4820 v4			00MT485
	マイクロプロセッサ、E7-4850 v4			00MT487
	マイクロプロセッサ、E7-8860 v4			00MT489
	マイクロプロセッサ、E7-8870 v4			00MT490
	マイクロプロセッサ、E7-8890 v4			00MT492
	マイクロプロセッサ、E7-4830 v4			00MT486
	マイクロプロセッサ、E7-8880 v4			00MT491
	マイクロプロセッサ、E7-8891 v4			00MT494
	マイクロプロセッサ、E7-8893 v4			00MT495
	マイクロプロセッサ、E7-8867 v4			00MT488
	マイクロプロセッサ、E7-8855 v4			00MT493
	マイクロプロセッサ取り付けツール (E7-x8xx v2 シリーズ 用)			94Y9971
	マイクロプロセッサ取り付けツール (E7-x8xx v3 シリーズ および v4 シリーズ用)			00AF376
	熱伝導グリース・キット			41Y9292
	アルコール・ワイプ (少なめのアルコール)			00MP352

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	アルコール・ワイブ			59P4739
	ミッドプレーン、x3950 X6 8 ソケット (8U)			00FN638
	N2125 SAS/SATA ホスト・バス・アダプター (System x 用)	46C9011		
	N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプター (System x 用)	47C8676		
	インテル Xeon Phi 3120A PCI Express x16 アダプター	90Y2403		
	DVI から VGA アダプター	25R9043		
	NVIDIA Grid K1 PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されることがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2355		
	NVIDIA Grid K2 Actively Cooled PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2395		
	NVIDIA Quadro K4000 PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されないことがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?Indocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2375		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	NVIDIA Quadro K6000 PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されることがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2371		
	NVIDIA Quadro M5000 Actively Cooled PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されることがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2488		
	NVIDIA Quadro M6000 PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されることがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2476		
	NVIDIA Tesla K20 Actively Cooled PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプターを取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシステムにこのオプションを取り付けると、データが破損したりシステムが不安定になったときに正しく検出されることがあります。このオプションは、メモリーが 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay?lnocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2391		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	NVIDIA Tesla K40c PCI Express x16 アダプター 注：メモリーが 1TB 以上のシステムに、このアダプター を取り付けしないでください。メモリーが 1TB 以上のシ ステムにこのオプションを取り付けると、データが破損 したりシステムが不安定になったときに正しく検出さ れないことがあります。このオプションは、メモリー が 1TB 未満のシステムでのみサポートされます。この 制限は、4 ソケット (4U) 構成および 8 ソケット (8U) 構 成の両方に適用されます。詳しくは、RETAIN のヒント H213010 (http://www.ibm.com/support/entry/myportal/docdisplay? lndocid=migr-5096047) を参照してください。	90Y2408		
	NVIDIA Tesla M60 GPU アダプター	90Y2472		
	Intel X540 ML2 デュアル・ポート 10 Gb-T イーサネット・ア ダプター	00JY912		
	Intel X550 PCIe 2x10GbE BaseT アダプター	00MM862		
	インテル I350-T4 ML2 クワッド・ポート 1 Gb-T イーサネッ ト・アダプター	00JY932		
	Broadcom NetXtremeII ML2 デュアル・ポート 10 Gb-T イーサ ネット・アダプター (System x 用)	94Y5233		
	Broadcom NetXtremeII ML2 デュアル・ポート 10 Gb-SFP+ イー サネット・アダプター (System x 用)	94Y5231		
	Broadcom NetXtreme デュアル・ポート 10GbE SFP+ アダプ ター	94Y5182		
	デュアル・ポート 10GB SFP+ イーサネット・アダプター	94Y5195		
	Intel X710 2x10GbE SFP+ アダプター (Lenovo System x 用)	81Y3522		
	レール・キット	88Y6721		
	PCIe-SSD SFF-8639 ホット・スワップおよびシンプル・ス ワップ・エクステンダー	47C8304		
	ハードディスク・ドライブ・バックプレーン	47C8333		
	Mellanox CX-3 Pro 40 GbE / FDR IB VPI ML2 (IBM System x 用)	00FP652		
	Intel X710 ML2 クワッド・ポート 10 GbE SFP+ アダプター	94Y5203		
	ServeRAID M5200 Series 1 GB Flash/RAID 5 Adapter	44W3393		
	ServeRAID M5100 シリーズ用フラッシュ電源モジュール・ キット	46C9067		
	メモリー・フラッシュ 2 GB USB キー	42D0545		
	メモリー・フラッシュ 4 GB USB キー	00WH143		
	32 GB USB キー	00ML201		
	ServeRAID M5200 Series 1 GB Cache/RAID 5 Adapter	44W3392		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	ServeRAID M5200 Series 2 GB Flash/RAID 5 Adapter	44W3394		
	ServeRAID M5200 Series 4 GB Flash/RAID 5 Adapter	44W3395		
	ServeRAID M5100 Series 1 GB Flash/RAID 5 Adapter	46C9029		
	ServeRAID M5100 Series 2 GB Flash/RAID 5 Adapter	47C8671		
	ServeRAID M5100 シリーズ 512 MB フラッシュ/RAID 5 ア ダプター	46C9027		
	ServeRAID M5100 / M5200 シリーズ・フラッシュ電源モ ジュール	00JY023		
	ServeRAID M5225-2 GB SAS/SATA Controller	00AE939		
	N2225 SAS/SATA HBA (IBM System x 用)	00AE914		
	N2226 SAS/SATA HBA (IBM System x 用)	00KH483		
	IBM 1.2 TB High IOPS MLC Mono Adapter	90Y4378		
	IBM 2.4 TB High IOPS MLC Duo Adapter	90Y4398		
	IBM 365 GB High IOPS MLC Mono Adapter	46C9079		
	IBM 785 GB High IOPS MLC Duo Adapter	46C9082		
	IBM 1250 GB Enterprise Value io3 Flash Adapter (System x 用)	00AE985		
	IBM 1600 GB Enterprise Value io3 Flash Adapter (System x 用)	00AE988		
	IBM 3200 GB Enterprise Value io3 Flash Adapter (System x 用)	00AE991		
	IBM 6400 GB Enterprise Value io3 Flash Adapter (System x 用)	00AE994		
	IBM 1000 GB Enterprise io3 Flash Adapter (System x 用)	00AE997		
	IBM 1300 GB Enterprise io3 Flash Adapter (System x 用)	00JY000		
	IBM 2600 GB Enterprise io3 Flash Adapter (System x 用)	00JY003		
	IBM 5200 GB Enterprise io3 Flash Adapter (System x 用)	00JY006		
	io3 1.25 TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッ シュ・アダプター	00YA801		
	io3 1.6TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッ シュ・アダプター	00YA804		
	io3 3.2TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッ シュ・アダプター	00YA807		
	io3 6.4TB エンタープライズ・メインストリーム・フラッ シュ・アダプター	00YA810		
	P3700 1.6 TB NVMe エンタープライズ・パフォーマンス・フ ラッシュ・アダプター	00YA813		
	P3700 2.0 TB NVMe エンタープライズ・パフォーマンス・フ ラッシュ・アダプター	00YA816		
	Emulex 8 GB FC シングル・ポート HBA	00JY847		
	Emulex 8 GB FC デュアル・ポート HBA	00JY848		
	Qlogic 8 GB FC シングル・ポート HBA (IBM System x 用)	00Y5628		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品 番号 (Tier 1)	CRU の部品 番号 (Tier 2)	FRU の部 品番号
	Qlogic 8 GB FC デュアル・ポート HBA (IBM System x 用)	00Y5629		
	Brocade 8 GB FC シングル・ポート HBA (IBM System x 用)	46M6061		
	Brocade 8 GB FC デュアル・ポート HBA (IBM System x 用)	46M6062		
	Qlogic 16 GB FC シングル・ポート HBA (IBM System x 用)	00Y3340		
	Qlogic 16GB FC シングル・ポート HBA (Lenovo System X 用)	01CV753		
	Qlogic 16 GB FC デュアル・ポート HBA (IBM System x 用)	00Y3344		
	Qlogic 16GB FC デュアル・ポート HBA (Lenovo System X 用)	01CV763		
	Emulex 16 GB FC シングル・ポート HBA	00D8546		
	Emulex 16 GB FC デュアル・ポート HBA	00JY849		
	Emulex 16 GB FC シングル・ポート HBA	81Y1658		
	Emulex 16 GB FC デュアル・ポート HBA	81Y1665		
	Emulex 16 Gb FC シングル・ポート HBA	01CV833		
	Emulex 16 Gb FC デュアル・ポート HBA	01CV843		
	Broadcom 16 GB FC シングル・ポート HBA (IBM System x 用)	81Y1671		
	Broadcom 16 GB FC デュアル・ポート HBA (IBM System x 用)	81Y1678		
	Intel デュアル・ポート・イーサネット・サーバー・アダプ ター I340-T2	94Y5166		
	Intel クアッド・ポート・イーサネット・サーバー・アダプ ター I340-T4	94Y5167		
	Intel I350-F1 1xGbE ファイバー・アダプター (IBM System x 用)	00AG502		
	Intel I350-T2 2xGbE BaseT アダプター (IBM System x 用)	00AG512		
	Intel I350-T4 4xGbE BaseT アダプター (IBM System x 用)	00AG522		
	Solarflare SFN5162F MR デュアル・ポート 10 GbE SFP+ ア ダプター	47C9955		
	Solarflare SFN6122F LL デュアル・ポート 10 GbE SFP+ アダ プター	47C9963		
	Intel x520 デュアル・ポート 10 GbE SFP+ アダプター (IBM System x 用)	49Y7962		
	Intel x710 ML2 2x10GbE SFP+ アダプター	00JY942		
	Broadcom NetXtreme II デュアル・ポート 10 G BaseT アダプ ター (IBM System x 用)	49Y7912		
	Emulex 10 GbE 仮想ファブリック・アダプター III-R (IBM System x 用)	00D8543		
	Broadcom NetXtreme I デュアル・ポート GbE アダプター (IBM System x 用)	90Y9373		
	Broadcom NetXtreme I クワッド・ポート GbE アダプター (IBM System x 用)	90Y9355		

表 54. 部品リスト、Type 6241 (続き)

索引	説明	CRU の部品番号 (Tier 1)	CRU の部品番号 (Tier 2)	FRU の部品番号
	Intel X540-T2 デュアル・ポート 10 GBase-T アダプター (IBM System x 用)	49Y7972		
	Mellanox FDR VPI IB/E アダプター (IBM System x 用)	00D9552		
	Mellanox 10 GbE アダプター (IBM System x 用)	00D9692		
	Mellanox CX4-LX ML2 1x25GbE アダプター	00MN993		
	Broadcom NetXtreme 2x10 GbE BaseT アダプター (IBM System x 用)	95Y3759		
	Qlogic 8200 デュアル・ポート 10 GbE SFP+ VFA (IBM System x 用)	90Y4605		
	Brocade 10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	46C9297		
	Qlogic 10 Gb SFP+ SR 光トランシーバー	42C1816		
	Mellanox QSFP to SFP+ アダプター (IBM System x 用)	00D9678		
	Mellanox ConnectX-4 Lx 1x40GbE QSFP+ アダプター	00MM953		
	Mellanox ConnectX-4 2x100GbE/EDR IB QSFP28 VPI アダプター	00MM963		
	Emulex VFA5 2x10 GbE SFP+ PCIe アダプター (IBM System x 用)	00JY823		
	Emulex VFA5 2x10 GbE SFP+ アダプターおよび FCoE/iSCSI SW (System x 用)	00JY833		
	Emulex VFA5 2x10 GbE SFP+ P2 アダプター	00AG573		
	Emulex VFA5 2x10 GbE SFP+ P2 アダプター (FCoE/iSCSI ソフトウェアを含む)	00AG583		
	Lenovo ML2 2x10 Gb SFP+ P2 アダプター	00AG563		
	ServeRAID M5200 シリーズ・フラッシュ電源モジュール・ケーブル	46C9793		
	ServeRAID M5100 シリーズ・フラッシュ電源モジュール・ケーブル	90Y7310		
	GPU 補助電源ケーブル	00FN567		
	SCSI Express ケーブル	00FG818		

消耗部品

このトピックでは、サーバーの消耗部品のリストを示しています。

Lenovo 保証の内容と制限では消耗部品はカバーされません。以下の消耗部品は、小売店で購入可能です。

表 55. 消耗部品 - Type 6241

索引	説明	部品番号
	ServeRAID M5200 シリーズ用フラッシュ電源モジュール・キット	47C8696
	ServeRAID M5100 シリーズ用フラッシュ電源モジュール・キット	81Y4579

消耗部品は、以下の手順で注文してください。

注：WWW は定期的に変更されます。実際の手順は、本書の説明とは少々異なる場合があります。

1. <http://www.ibm.com> に進みます。
2. 「製品」メニューから、「アップグレード、アクセサリ、および部品」を選択します。
3. 「保守部品の入手」をクリックし、説明に従って小売店に部品を注文します。

注文の際にヘルプが必要な場合は、小売部品ページにリストされているフリーダイヤル番号に電話するか、最寄りの Lenovo 担当員にお問い合わせください。

電源コード

このトピックでは、各国または各地域で使用する電源コードのリストを示しています。

本製品を安全に使用するために、接地接続機構プラグ付き電源コードが提供されています。感電事故を避けるため、常に正しく接地されたコンセントで電源コードおよびプラグを使用してください。

米国およびカナダで使用される本製品の電源コードは、Underwriter's Laboratories (UL) によってリストされ、Canadian Standards Association (CSA) によって認可されています。

115 ボルト用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、平行ブレード型、15 アンペア 125 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国における) 用の装置には、次の構成の、UL 登録、CSA 認定の電源コードをご使用ください。最小 18 AWG、タイプ SVT または SJT、3 線コード、最大長 4.5 m (15 フィート)、タンデム・ブレード型、15 アンペア 250 ボルト定格の接地端子付きプラグ。

230 ボルト (米国以外における) 用の装置には、接地端子付きプラグを使用した電源コードをご使用ください。これは、装置を使用する国の安全についての適切な承認を得たものでなければなりません。

特定の国または地域用の電源コードは、通常その国または地域でだけお求めいただけます。

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5206	中国
39M5102	オーストラリア、フィジー、キリバス、ナウル、ニュージーランド、パプアニューギニア
39M5123	アフガニスタン、アルバニア、アルジェリア、アンドラ、アンゴラ、アルメニア、オーストリア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ベルギー、ベニン、ボスニア・ヘルツェゴビナ、ブルガリア、ブルキナ・ファソ、ブルンジ、カンボジア、カメルーン、カーボベルデ、中央アフリカ共和国、チャド、コモロ、コンゴ民主共和国、コンゴ共和国、コートジボワール (アイボリー・コースト)、クロアチア共和国、チェコ共和国、ダホメ、ジブチ、エジプト、赤道ギニア、エリトリア、エストニア、エチオピア、フィンランド、フランス、フランス領ギアナ、フランス領ポリネシア、ドイツ、ギリシャ、グアドループ、ギニア、ギニア・ビサウ、ハンガリー、アイスランド、インドネシア、イラン、カザフスタン、キルギスタン、ラオス人民民主共和国、ラトビア、レバノン、リトアニア、ルクセンブルク、マケドニア (旧ユーゴスラビア共和国)、マダガスカル、マリ、マルチニーク島、モーリタニア、モーリシャス、マイヨット島、モルドバ共和国、モロッコ、モンゴル、モロッコ、モザンビーク、オランダ、ニュー・カレドニア、ニジェール、ノルウェー、ポーランド、ポルトガル、レユニオン、ルーマニア、ロシア連邦、ルワンダ、サントメ・プリンシペ、サウジアラビア、セネガル、セルビア、スロバキア、スロベニア共和国、ソマリア、スペイン、スリナム、スウェーデン、シリア・アラブ共和国、タジキスタン、タヒチ、トーゴ、チュニジア、トルコ、トルクメニスタン、ウクライナ、オートボルタ、ウズベキスタン、バヌアツ、ベトナム、ウォリス・フツナ、ユーゴスラビア連邦共和国、ザイール
39M5130	デンマーク
39M5144	バングラデシュ、レソト、マカオ、モルジブ、ナミビア、ネパール、パキスタン、西サモア、南アフリカ、スリランカ、スワジランド、ウガンダ

電源コードの部品番号	使用される国または地域
39M5151	アブダビ、バーレーン、ボツワナ、ブルネイ・ダルサラーム、チャネル諸島、中国(香港)、キプロス、ドミニカ、ガンビア、ガーナ、グレナダ、イラク、アイルランド、ヨルダン、ケニヤ、クウェート、リベリア、マラウィ、マレーシア、マルタ、ミャンマー(ビルマ)、ナイジェリア、オマーン、ポリネシア、カタール、セントクリストファー・ネイビス、サントルチア、セントビンセント・グレナディーン、セイシェル、シエラ・レオネ、シンガポール、スーダン、タンザニア(共和国)、トリニダード・トバゴ、UAE(ドバイ)、英国、イエメン、ザンビア、ジンバブエ
39M5158	リヒテンシュタイン、スイス
39M5165	チリ、イタリア、社会主義人民リビア・アラブ国
39M5172	イスラエル
39M5095	220 - 240 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミューダ、ボリビア、カイコス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア(連邦)、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ
39M5076	110 - 120 V アンティグア・バーブーダ、アルバ、バハマ、バルバドス、ベリーズ、バーミューダ、ボリビア、カイコス諸島、カナダ、ケイマン諸島、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ共和国、エクアドル、エルサルバドル、グアム島、グアテマラ、ハイチ、ホンジュラス、ジャマイカ、メキシコ、ミクロネシア(連邦)、オランダ領アンティル諸島、ニカラグア、パナマ、ペルー、フィリピン、サウジアラビア、タイ、台湾、アメリカ合衆国、ベネズエラ
39M5219	朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国
39M5199	日本
39M5226	インド
39M5240	ブラジル

第 6 章 コンポーネントの取り外しと交換

このトピックでは、お客様交換可能ユニットまたは現場交換可能ユニットの取り外しと交換について説明します。

注：特に指定がない限り、本書に記載されている情報と手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を使用しています。

交換可能なコンポーネントには、次の 3 つのタイプがあります。

- **Tier 1 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換はお客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo 認定保証サービス提供者が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。
- **Tier 2 の、お客様交換可能ユニット (CRU):** Lenovo が Tier 2 と指定する CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo 認定保証サービス提供者に取り付け作業を依頼することもできます。
- **現場交換可能ユニット (FRU):** FRU の取り付け作業は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが行う必要があります。

コンポーネントが Tier 1 の CRU、Tier 2 の CRU、またはトレーニングを受けたサービス技術員のみが交換を行う必要のある FRU のいずれであるか判別するには、[211 ページの第 5 章「部品リスト、System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241」](#)を参照してください。

保証の条件に関する情報については、サーバーに付属の資料 Lenovo 「[保証情報](#)」を参照してください。

サービスと支援を受ける方法の詳細については、[2221 ページの付録 E「ヘルプおよび技術サポートの入手」](#)を参照してください。

デバイスまたはコンポーネントの返却

このトピックでは、デバイスまたはコンポーネントの返却について説明します。

デバイスまたはコンポーネントの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

サーバー・コンポーネントの取り外しと交換

このトピックでは、サーバー・コンポーネントの取り外しと交換について説明します。

このセクションでは、サーバー内のコンポーネントの取り外しと交換について説明します。

注：特に指定がない限り、本書に記載されているコンポーネントの取り外しと交換に関する情報および手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を使用しています。

消耗部品の取り外しと交換

このトピックでは、消耗部品の取り外しと交換について説明します。

消耗部品の交換はお客様の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo 認定保証サービス提供者が消耗部品の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

Tier 1 CRU の取り外しと交換

このトピックでは、Tier 1 CRU の取り外しと交換について説明します。

Lenovo が Tier 1 と指定する CRU の交換は、お客様ご自身の責任で行っていただきます。お客様の要請により Lenovo 認定保証サービス提供者が Tier 1 CRU の導入を行った場合は、その料金を請求させていただきます。

本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

コンピュータ・ブックのカバーの取り外し

ここでは、コンピュータ・ブック・カバーの取り外し手順について説明しています。

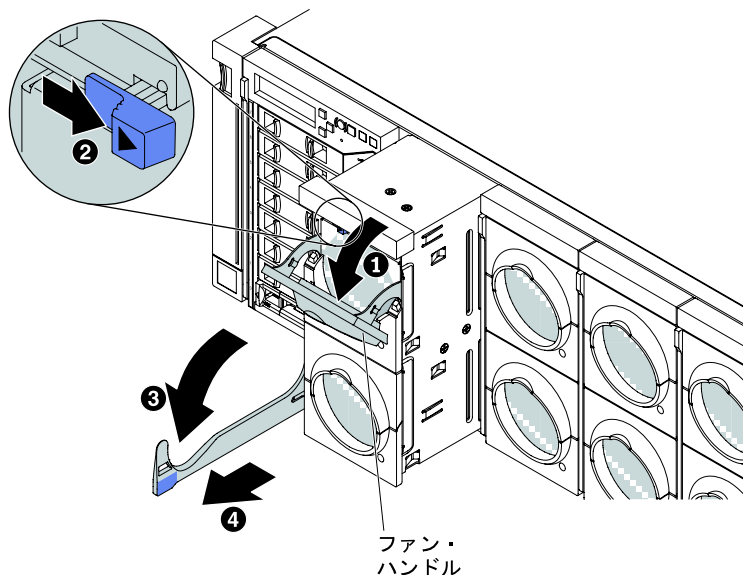
コンピュータ・ブックには、マイクロプロセッサと DIMM にアクセスするために左側と右側にそれぞれカバーがあります。どちらのカバーを取り外すのにも同じ手順を使用してください。

マイクロプロセッサおよび DIMM 1 から 12 にアクセスするには、左カバーを取り外します。

DIMM 13 から 24 にアクセスするには、右カバーを取り外します。

コンピュータ・ブック・カバーを取り外すには、次の手順で行います。

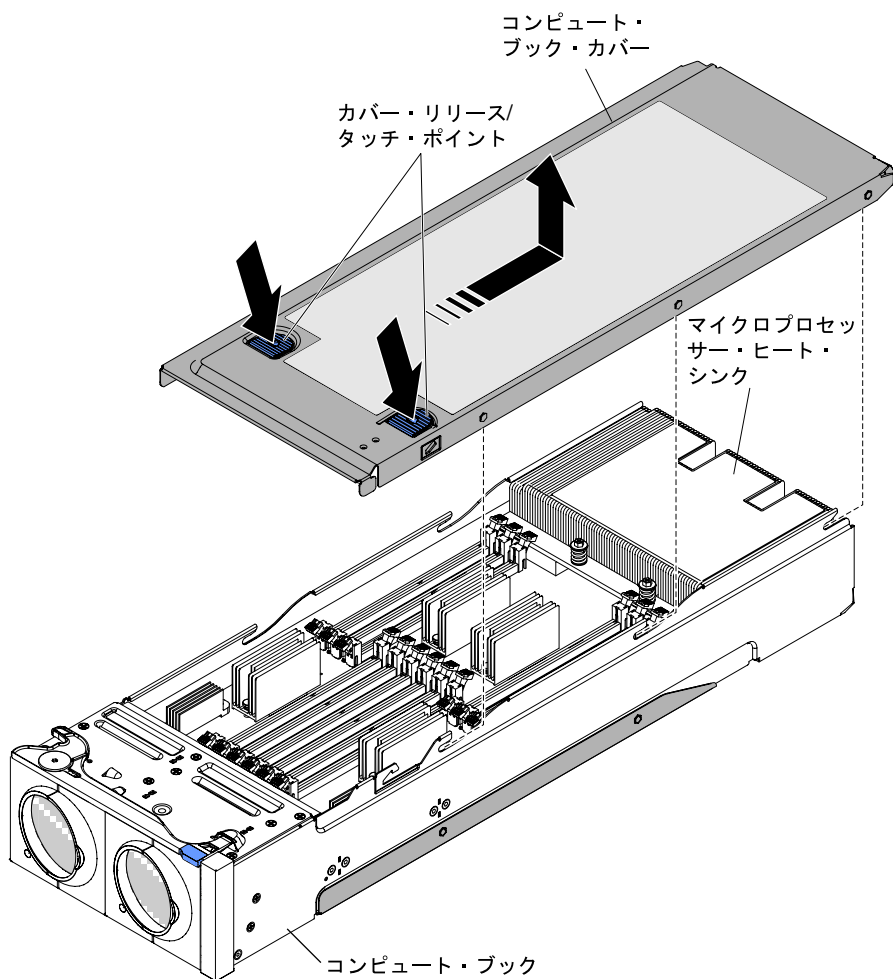
- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーからコンピュータ・ブックを取り外します。上部のファン・パック・ハンドルを下に引いて、青いリリース・ラッチ (ファン・ハンドルの背後にある) を右にスライドさせて、コンピュータ・ブックのカム・ハンドルを解放します。



- ステップ 4. カム・ハンドルを止まるまで下に回転させ、コンピュータ・ブックをサーバーから引き出します。

ステップ5. コンピュート・ブックを横に寝かせて、両方の青いタッチ・ポイントを押し、コンピューター・ブックの背面方向にカバーをスライドさせます。

注意：コンピューター・ブックのもう一方の側にあるコンピューター・ブック・コンポーネントが損傷しないように、一度に1つ(片側)のカバーのみを取り外してください。



ステップ6. カバーを持ち上げて外し、脇に置いておきます。

コンピューター・ブック・カバーの交換

ここでは、コンピューター・ブック・カバーの交換手順について説明しています。

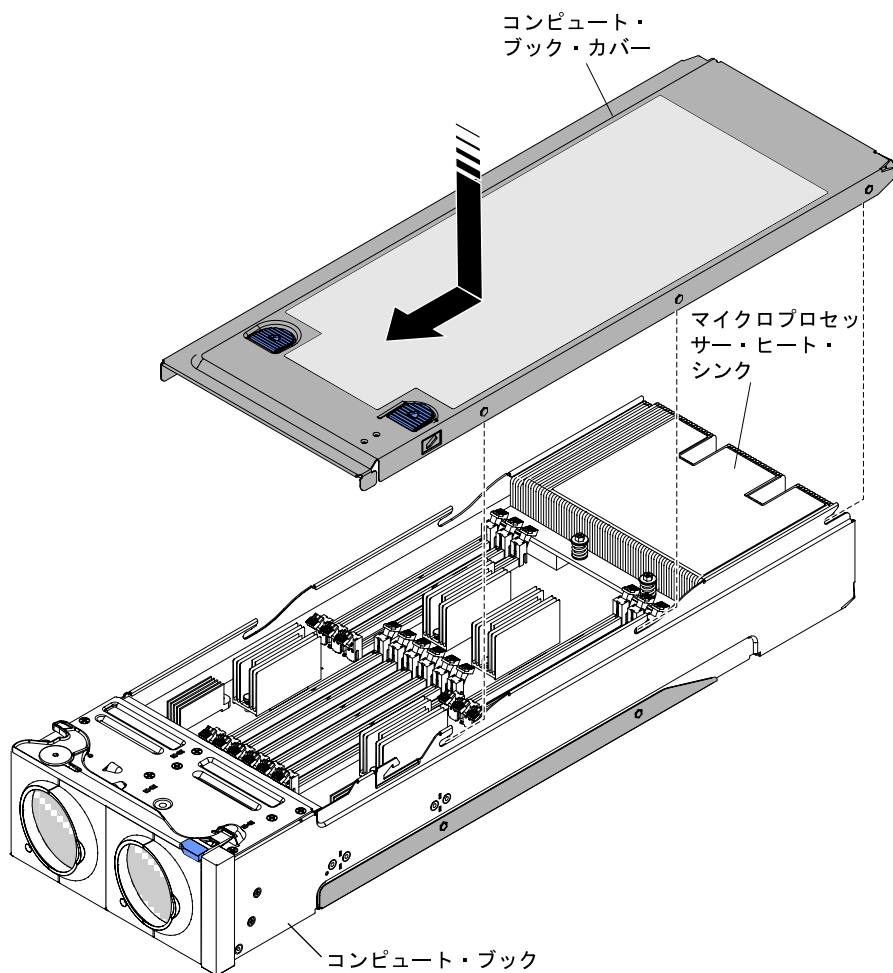
コンピューター・ブックには、マイクロプロセッサとDIMMにアクセスするために左側と右側にそれぞれカバーがあります。どちらのカバーを取り外すのにも同じ手順を使用してください。

マイクロプロセッサおよびDIMM 1から12にアクセスするには、左カバーを取り外します。

DIMM 13から24にアクセスするには、右カバーを取り外します。

コンピューター・ブック・カバーを交換するには、次の手順で行います。

ステップ1. コンピューター・ブックの背面にあるカバーを位置合わせして、固定されるまでコンピューター・ブックの前面方向にスライドさせます。



- ステップ2. サーバーにコンピュータ・ブックを再取り付けします。
- ステップ3. カム・ハンドルを止まるまで上に回転させて、所定の位置にロックします。
- ステップ4. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ5. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

標準 I/O ブックの取り外し

標準 I/O ブックの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

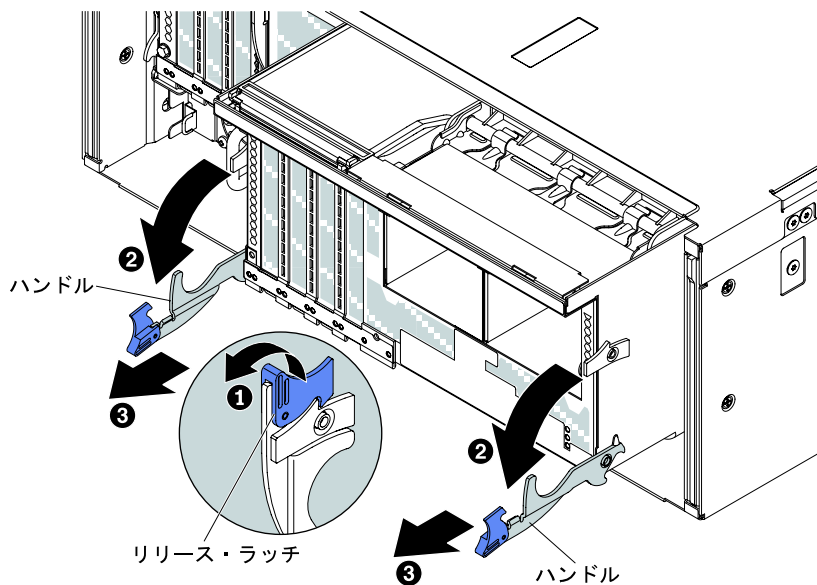
標準 I/O ブックを交換する前に、以下の手順を実行してデータ、ファームウェア、および構成データを保存してください。

- IMM IP アドレス、重要プロダクト・データ、およびサーバーのマシン・タイプ、型式番号、シリアル番号、固有 ID、資産タグなどのすべてのシステム構成情報を記録します。
- Advanced Settings Utility (ASU) を使用して、システム構成を外部メディアに保存します。
- システム・イベント・ログを外部メディアに保存します。

注：標準 I/O ブックを交換する場合は、最新のファームウェアを使用してサーバーを更新するか、お客様が提供する既存のファームウェア・イメージを復元する必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。

標準 I/O ブックを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. アダプターから外部ケーブルを切り離します。
4. ハンドルのリリース・ラッチを手前に回転させてから、標準 I/O ブックのハンドルを止まるまで下に回転させて、ミッドプレーンからモジュールを解放します。



5. 標準 I/O ブックをシャトルからスライドさせて、脇に置いておきます。
6. アダプター保持レバーを開きます。
7. 標準 I/O ブック・ボードからアダプターを取り外します (245 ページの「アダプターの取り外し」を参照)。
8. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外します (260 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し」を参照)。
9. フラッシュ電源モジュールをすべて取り外します (273 ページの「標準 I/O ブックからの RAID アダプター・フラッシュ電源モジュールの取り外し」を参照)。
10. ファンを取り外します (267 ページの「ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し」を参照)。
11. モジュールの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

標準 I/O ブックの交換

標準 I/O ブックの交換方法については、以下の情報を参照してください。

注：

- フラッシュ電源モジュールに付属している外部 RAID アダプターを取り付ける場合、これらのアダプターは、標準 I/O ブックの PCIe スロット 7、8、および 9 に取り付ける必要があります。アダプター・フラッシュ電源モジュールは、標準 I/O ブックのエア・バッフル内のスロットに取り付けます。フラッシュ電源モジュールに付属していない他の PCIe アダプターも、標準 I/O ブックに取り付けることができます。
- 標準 I/O ブックには、最大 3 つのフラッシュ電源モジュールを取り付けることができます。

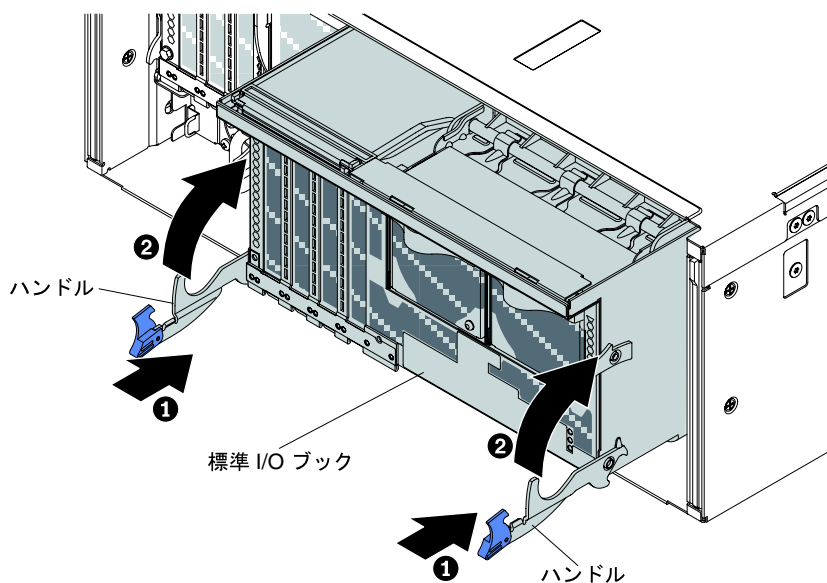
- 標準 I/O ブックの PCIe スロット 10 には、ML2 イーサネット・アダプターのみを取り付けることができます。イーサネット・アダプターの詳細については、95 ページの「サポートされる ML2 (イーサネット) アダプター」を参照してください。
- 標準 I/O ブックを交換する場合は、最新のファームウェアを使用して標準 I/O ブック・ボードを更新するか、お客様が提供する既存のファームウェア・イメージを復元する必要があります。最新のファームウェアまたは既存のファームウェアのコピーが手元にあることを確認してから、先に進んでください。詳しくは、127 ページの「ファームウェアの更新」および 151 ページの「汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データの更新」を参照してください。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

- Features on Demand (FoD) 機能をすべて再アクティブ化します。機能のアクティベーションの自動化およびアクティベーション・キーのインストールの手順については、『*System x Features on Demand ユーザーズ・ガイド*』に説明があります。資料をダウンロードするには、<http://www.ibm.com/systems/x/fod/>にアクセスしてログインし、「Help」をクリックします。
- 詳しくは、35 ページの「標準 I/O ブック」を参照してください。

標準 I/O ブックを交換するには、次の手順で行います。

1. 新しいモジュールが入っている帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。次に、標準 I/O ブックを持って、パッケージから取り出します。
2. フラッシュ電源モジュールを取り付けます (275 ページの「標準 I/O ブックへの RAID アダプター・フラッシュ電源モジュールの交換」を参照)。
3. USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けます (262 ページの「USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換」を参照)。
4. アダプターを取り付けます (246 ページの「アダプターの交換」を参照)。
5. アダプターにケーブルを配線します。
6. アダプター保持レバーを閉じます。
7. ファンを取り付けます (268 ページの「ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換」を参照)。
8. 標準 I/O ブックをつかみ、サーバー上のスロットと位置合わせし、スライドさせてシャーシ・シャトルに入れます。



9. 所定の位置にロックされるまで、ハンドルを完全に上へ回転させます。
10. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
11. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。
12. 最新のファームウェアを使用して標準 I/O ブック・ボードを更新するか、お客様が提供する既存のファームウェア・イメージを復元する必要があります。[127 ページの「ファームウェアの更新」](#)を参照してください。

注意：誤ったファームウェアまたはデバイス・ドライバー・アップデートをインストールすると、サーバーの誤動作の原因となることがあります。ファームウェアまたはデバイス・ドライバーの更新をインストールする前に、ダウンロードした更新に付属のすべての README および変更履歴ファイルをお読みください。これらのファイルには、更新に関する重要な情報および更新のインストール手順が記載されています。この手順には、以前のファームウェアまたはデバイス・ドライバーのバージョンから最新のバージョンに更新するための特殊な手順も含まれます。

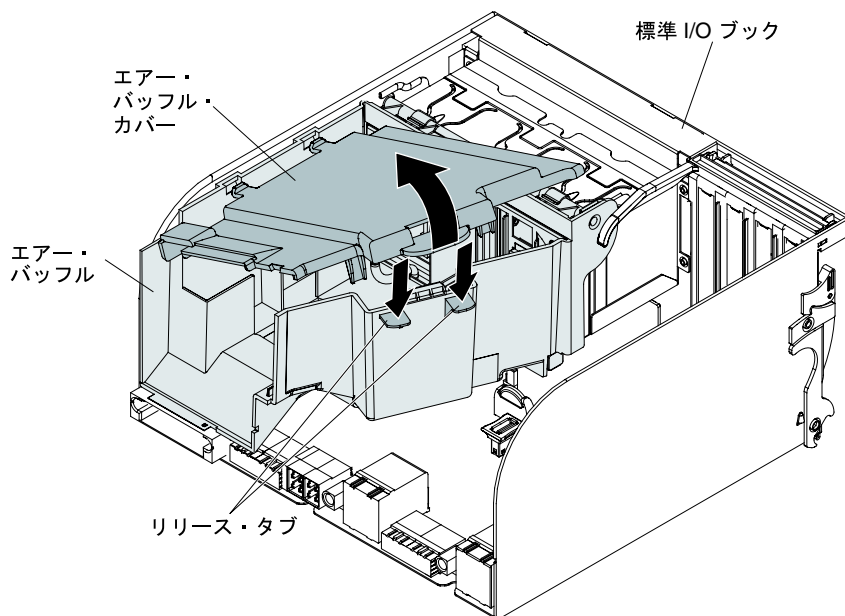
13. UUID および DMI/SMBIOS データを更新してください ([151 ページの「汎用固有 ID および DMI/SMBIOS データの更新」](#)を参照)。
14. サーバーを再起動します。

標準 I/O ブック・エアー・バッフルの取り外し

標準 I/O ブック・エアー・バッフルの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

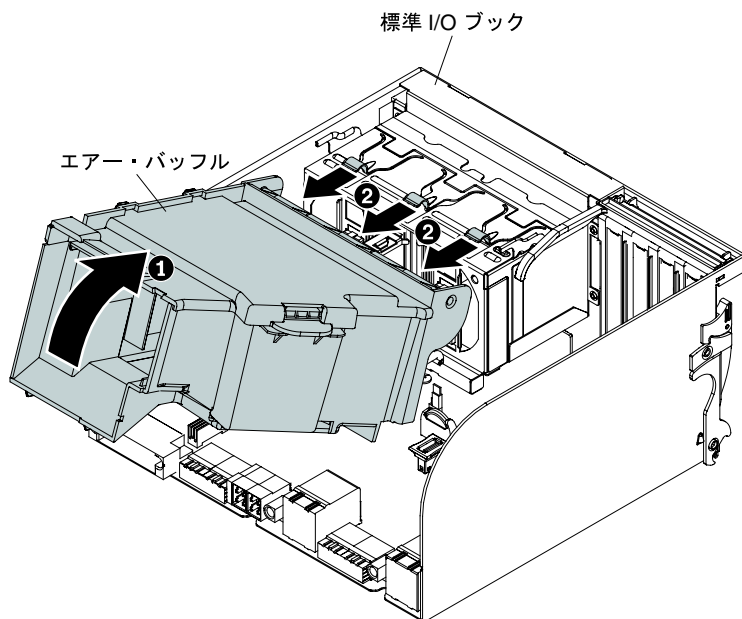
エアー・バッフルを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーから標準 I/O ブックを取り外します ([236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ 4. エアー・バッフルのカバーを開きます。エアー・バッフルの本体の下部タブを押し下げながら、エアー・バッフルのトップ・カバー・タブを引き上げます。



ステップ 5. アダプターからフラッシュ電源モジュール・ケーブルを切り離し、エアー・バッフルからフラッシュ電源モジュールを取り外します。

ステップ 6. エアー・バッフルを上回転させてから、エアー・バッフルの両側を外側に押して I/O ブックから外して、脇に置いておきます。



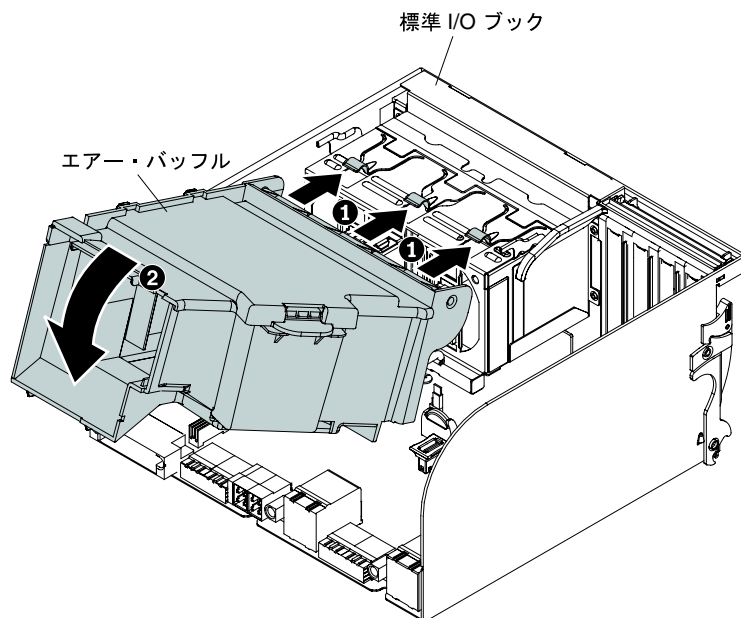
ステップ 7. モジュールの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

標準 I/O ブック・エアー・バッフルの交換

標準 I/O ブック・エアー・バッフルの交換方法については、以下の情報を参照してください。

エアー・バッフルは標準 I/O ブックに置かれています。エアー・バッフルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

ステップ1. エアー・バッフルのタブを、ファン・ケージの両側にあるタブの下に合わせて、カチッと音がしてファン・ケージに固定されるまでタブを押し込みます。次にエアー・バッフルを下に回転させて標準 I/O ブックの所定の位置に収めます。



ステップ2. 新しいエアー・バッフルにフラッシュ電源モジュールを再取り付けし、ケーブルをアダプターに再接続します (107 ページの「標準 I/O ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照)。

ステップ3. エアー・バッフルのカバーを再取り付けします。

ステップ4. サーバーに標準 I/O ブックを再取り付けします。

ステップ5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ6. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

注意：適切な冷却と通気のために、前にエアー・バッフルを交換してからサーバーの電源をオンにしてください。エアー・バッフルを取り外したままサーバーを作動させると、サーバーのコンポーネントが損傷する可能性があります。

ハーフサイズ I/O ブックの取り外し

ここでは、ハーフサイズ I/O ブックの取り外し手順について説明しています。

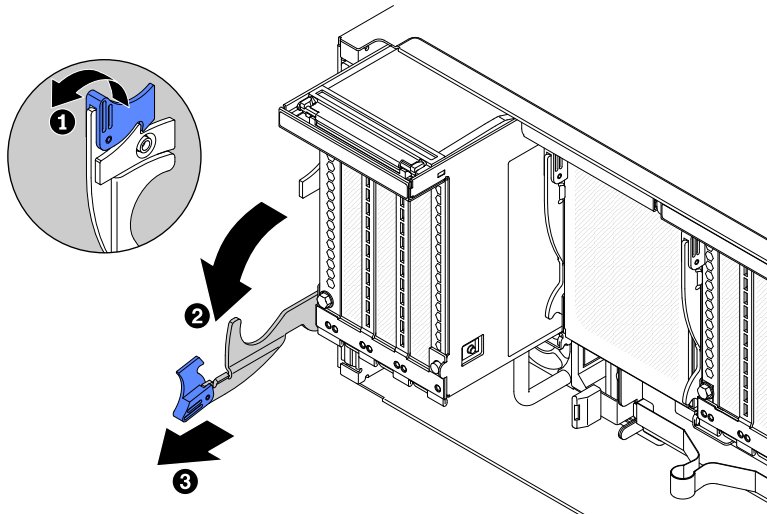
ハーフサイズ I/O ブックを取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

ステップ2. I/O ブックにアダプターが取り付けられていない場合、ハーフサイズ I/O ブックはホット・スワップ可能です。I/O ブックにアダプターが取り付けられている場合は、I/O ブックをサーバーから取り外す前に、最初に I/O ブックの電源ボタンを押して (または、オペレーティング・システムを使用して)、3 つの PCIe アダプター・スロットをすべて電源オフしておく必要があります。スロットがオフラインになると、スロット LED ライトが消えます。

ステップ3. アダプターに接続されている外部ケーブルをすべて取り外します。

ステップ4. 青いリリース・ラッチを下に押してから、ハンドルを止まるまで下に回転させ、I/O ブックをサーバーから引き出します。



ステップ5. アダプター保持ラッチを開きます。

ステップ6. I/O ブックからアダプターを取り外します (245 ページの「アダプターの取り外し」を参照)。

他に取り付けまたは取り外すデバイスがある場合、ここで実行します。そうでない場合は、126 ページの「取り付けの完了」に進みます。

ハーフサイズ I/O ブックの交換

ここでは、ハーフサイズ I/O ブックの交換手順について説明しています。

注：

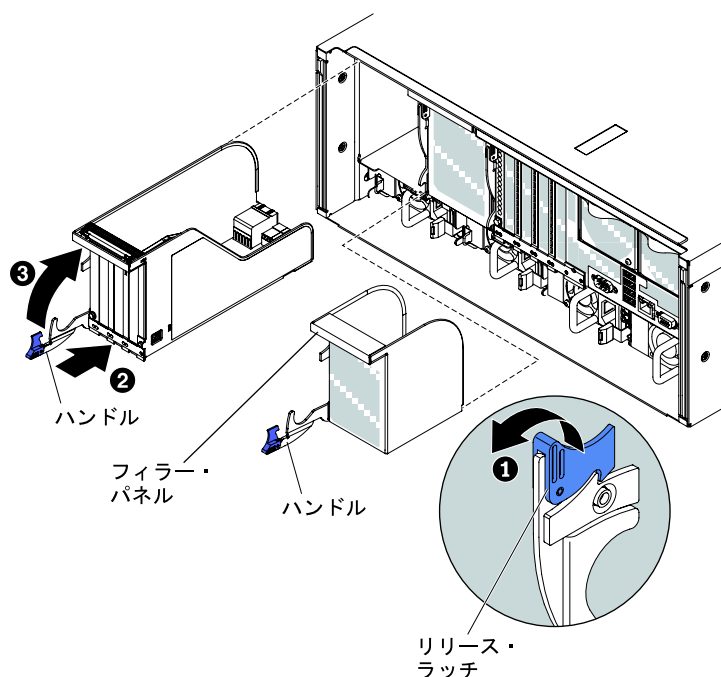
- この I/O ブックを取り付けるときに考慮する必要のある注意および情報については、86 ページの「ハーフサイズ I/O ブックの取り付け」を参照してください。
- ハーフサイズ I/O ブックをフルサイズ I/O ブックと交換しようとする場合は、88 ページの「フルサイズ I/O ブックの取り付け」を参照してください。

ハーフサイズ I/O ブックを交換するには、次の手順で行います。

ステップ1. アダプターを再び取り付けます (90 ページの「アダプターの取り付け」を参照)。

ステップ2. アダプター保持レバーを閉じます。

ステップ3. I/O ブックをサーバーの I/O ベイと位置合わせし、スライドさせてサーバーに入れます。



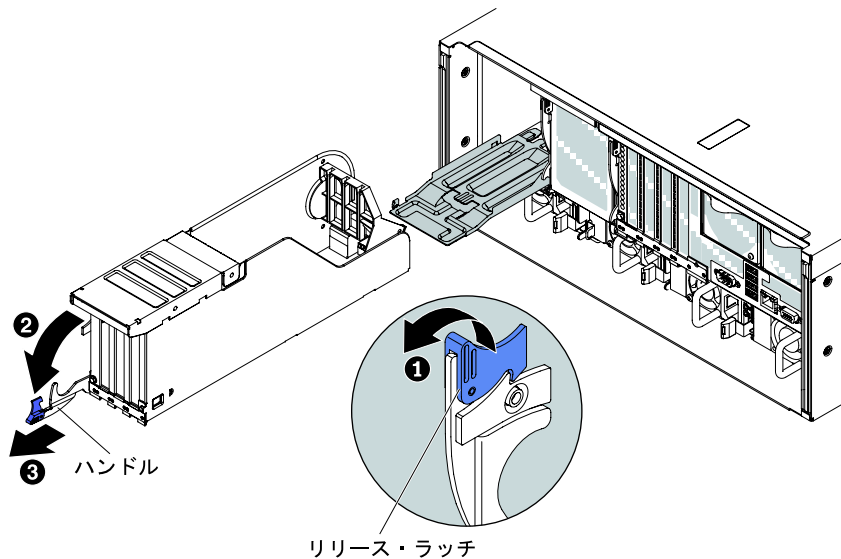
- ステップ4. ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。
- ステップ5. 以前に取り外した場合は、すべての外部ケーブルをアダプターに再接続します。
- ステップ6. I/O ブック上の電源ボタンを押して、アダプター・スロットへの電源をオンにします。緑色のLEDが点滅し始めます。緑色のLEDが点滅を停止したら、アダプターはいつでも使用できます。

フルサイズ I/O ブックの取り外し

ここでは、フルサイズ I/O ブックの取り外し手順について説明しています。

フルサイズ I/O ブックを取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ2. I/O ブックにアダプターが取り付けられていない場合、フルサイズ I/O ブックはホット・スワップ可能です。I/O ブックにアダプターが取り付けられている場合は、I/O ブックをサーバーから取り外す前に、最初に I/O ブックの電源ボタンを押して、3つの PCIe アダプター・スロットをすべて電源オフしておく必要があります。スロットがオフラインになると、スロット LED ライトが消えます。
- ステップ3. アダプターに接続されている外部ケーブルをすべて取り外します。
- ステップ4. 青いリリース・ラッチを下に押してから、ハンドルを止まるまで下に回転させ、I/O ブックをサーバーから引き出します。



ステップ5. 以下のようにして、I/O ブックのカバーを取り外します。カバーをサーバー前面方向にスライドさせ、持ち上げてI/O ブックから取り外します。

ステップ6. アダプター保持レバーを開きます。

ステップ7. I/O ブックからアダプターを取り外します (245 ページの「アダプターの取り外し」を参照)。

I/O ブックの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

フルサイズ I/O ブックの交換

ここでは、フルサイズ I/O ブックの概要を示します。

注：

- このI/O ブックを取り付けるときに考慮する必要がある注意および情報については、88 ページの「フルサイズ I/O ブックの取り付け」を参照してください。
- フルサイズ I/O ブックをハーフサイズ I/O ブックと交換しようとする場合は、86 ページの「ハーフサイズ I/O ブックの取り付け」を参照してください。
- フルサイズ I/O ブックのホット・アドを行う機能は、オペレーティング・システムによって異なります。オペレーティング・システムがホット・プラグをサポートしていない場合、フルサイズ I/O ブックの追加または取り外しを行うと、リカバリー不能なシステム・エラーが発生する可能性があります。

注意：

- オペレーティング・システムがブート時、またはオペレーティング・システムがまだ実行されているときに、I/O ベイにフルサイズ I/O ブックが装着されていない場合、(リソースが十分でないため) フルサイズ I/O ブックを I/O ベイにホット・アドすることはできません。
- オペレーティング・システムのブート時に I/O ベイにフルサイズ I/O ブックが取り付けられている場合は、フルサイズ I/O ブックをホット・スワップすることができます。

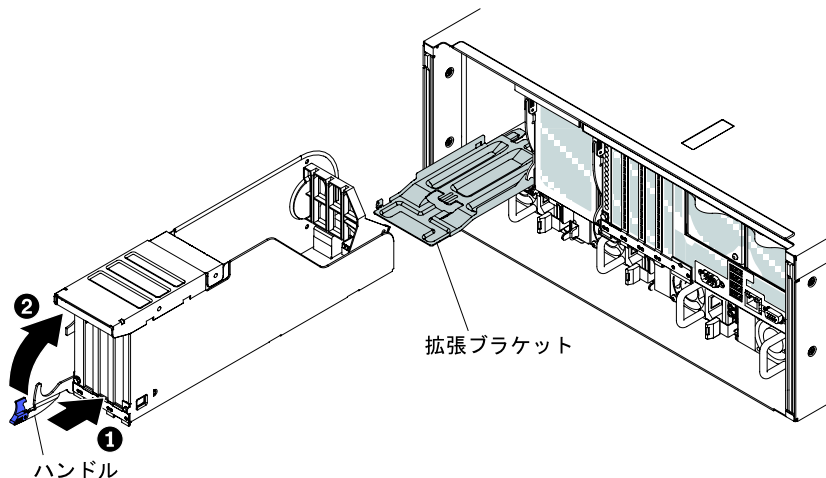
フルサイズ I/O ブックを交換するには、次の手順で行います。

ステップ1. アダプターを再び取り付けます (90 ページの「アダプターの取り付け」を参照)。

ステップ2. アダプター保持レバーを閉じます。

ステップ3. I/O ブック・カバーを交換します。

ステップ4. I/O ブックをサーバーの I/O ベイと位置合わせし、スライドさせてサーバーに入れます。



ステップ 5. ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。

ステップ 6. 以前に取り外した場合は、すべての外部ケーブルをアダプターに再接続します。

ステップ 7. I/O ブック上の電源ボタンを押して、アダプター・スロットへの電源をオンにします。緑色の LED が点滅し始めます。緑色の LED が点滅を停止したら、アダプターはいつでも使用できます。

アダプターの取り外し

アダプターの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

アダプターを取り外すには、以下の手順を実行します。

ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

ステップ 3. 障害が起きたアダプターが取り付けられている I/O ブックを取り外します。I/O ブックについて記載されている取り外し手順に従ってください。

ステップ 4. アダプターからケーブルをすべて切り離します。

ステップ 5. アダプターを固定しているアダプター保持ラッチを持ち上げます。

ステップ 6. アダプターの上端または上部の隅を慎重につかみ、アダプターをコネクタから引き抜いて、脇に置いておきます。

ステップ 7. アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

アダプターの交換

アダプターの交換方法については、以下の情報を参照してください。

注：

- 以下の説明は、サポートされているどのアダプター(たとえば、ネットワーク・アダプター)にも適用されます。
- サーバーにアダプターを取り付けるときに考慮する必要があるその他の注意および情報については、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#)を参照してください。

アダプターを交換するには、以下のステップを実行します。

注：アダプターが既に構成されている場合は、可能な場合はアダプターを交換する前に構成情報をバックアップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用のアダプターの資料を参照してください。

- ステップ 1. アダプターに配線指示書がある場合は、その指示に従います。アダプターを取り付ける前に、内部アダプターのケーブルを配線します。
- ステップ 2. アダプター保持レバーが開いた位置にあることを確認します。
- ステップ 3. アダプター・スロット・フィラーをまだ取り外していなかった場合は、ここで取り外します。
- ステップ 4. 内部ケーブルをすべてアダプターに接続します。
- ステップ 5. アダプターをコネクタに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクタをボード上のコネクタの位置に合わせます。
- ステップ 6. アダプター上のコネクタの端をボード上のコネクタにしっかり押し込みます。アダプターがコネクタにカチッと音を立ててしっかり収まったか確認してください。

注意：アダプターを取り付けるときに、アダプターが正しくボード上のコネクタに接続されていることを確認してから、サーバーの電源をオンにしてください。アダプターを正しく取り付けないと、ボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。

- ステップ 7. アダプターの保持レバーを閉じて、アダプターを所定の場所にしっかり固定します。
- ステップ 8. 必要があれば、ケーブルをアダプターに接続します。
- ステップ 9. サーバーに I/O ブックを再取り付けします。
- ステップ 10. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
- ステップ 11. 取り外してあった電源コードとすべてのケーブル(アダプターとの外部ケーブルを含む)を再接続します。
- ステップ 12. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。
- ステップ 13. ServeRAID アダプターを交換する場合は、外部構成として交換用アダプターに RAID 構成をインポートします。手順については、『[ServeRAID-M ソフトウェア・ユーザー・ガイド](#)』(<https://support.lenovo.com/us/en/documents/migr-5086126>)を参照してください。

2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し

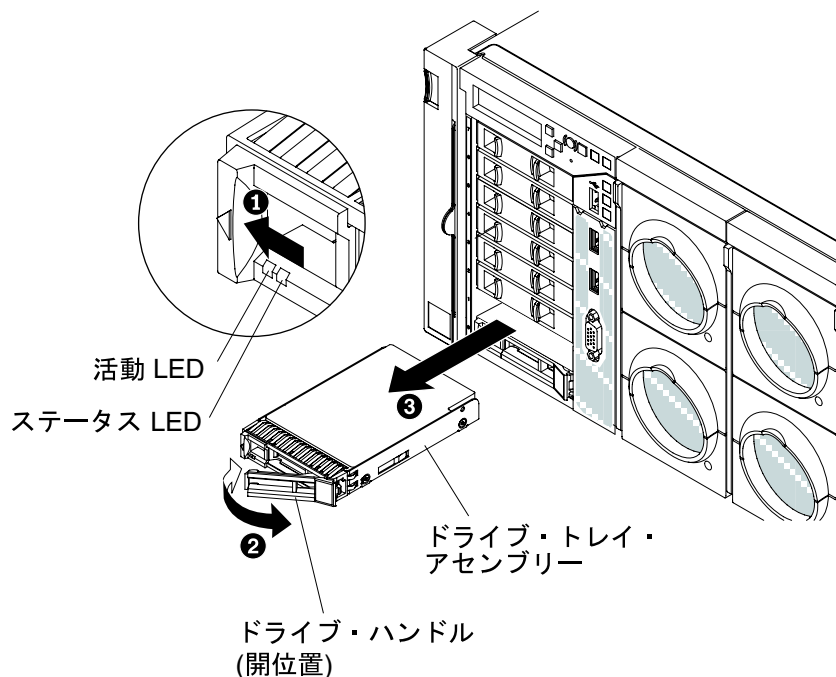
ここでは、2.5 型および 1.8 型ホット・スワップ・ドライブの取り外し手順について説明しています。

ホット・スワップ・ドライブを取り外すには、次のステップを行います。

注意: システムを適切に冷却するために、各ベイにドライブかフィラー・パネルを取り付けられない状態で、2 分を超えてサーバーを動作させないでください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. 2.5 型ホット・スワップ・ドライブを、次のようにして取り外します。

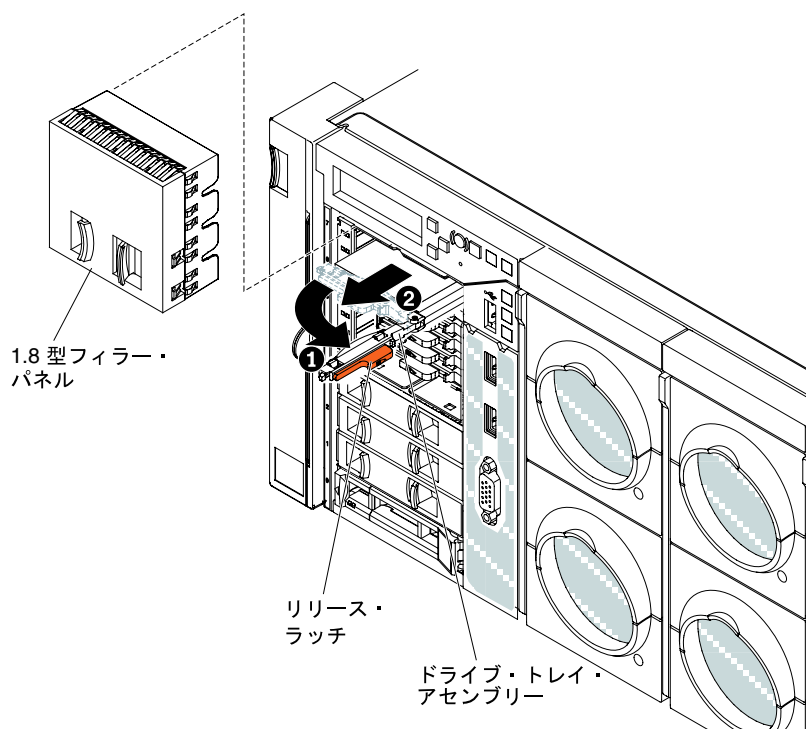
- a. リリース・ラッチ (黒色とオレンジ色) を左方向にスライドさせて、交換したいドライブのドライブ・ハンドルをロック解除します。



- b. ハンドルを外側に回転させます。
c. このハンドルをつかんで、ドライブをドライブ・ベイから引き出します。
d. ステップ 5 に進みます。

ステップ 3. 1.8 型ホット・スワップ・ドライブを、次のようにして取り外します。

- a. フィラー・パネルを取り外します。
b. 取り外すドライブのドライブ・トレイ・ハンドル上で、黒色とオレンジ色のリリース・ラッチをつかみ、リリース・ラッチを下にスライドさせてドライブ・トレイ・ハンドルのロックを解除します。次に、ドライブ・トレイ・ハンドルを右に回転させてからハンドルを手前に引き、ドライブをスライドさせてベイから取り外します。ドライブを持ち上げてドライブ・トレイから取り出します。



ステップ4. ドライブ・アセンブリーの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

ここでは、2.5 型および 1.8 型ホット・スワップ・ドライブの交換手順について説明しています。

以下に、サーバーがサポートするドライブのタイプの説明と、ドライブを取り付けるときに考慮すべき事項を示します。サポートされるドライブのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。

- このセクションの説明のほかに、ドライブに付属の資料に記載されている説明に従ってください。
- ドライブに付属の説明書で指定されたすべてのケーブルと他の装置が揃っているかどうかを確認します。
- サーバーはサポートされる SAS\SATA バックプレーン構成を使用して、最大 8 個の 2.5 型ドライブ、最大 16 個の 1.8 型ドライブ、または 2.5 型および 1.8 型ホット・スワップ・ドライブの組み合わせをサポートすることができます。このサーバーでは、2.5 型のホット・スワップ SAS またはホット・スワップ SATA ハードディスク・ドライブ、2.5 型のホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ、あるいは 1.8 型のホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブをサポートします (詳しくは [76 ページ](#)の「サポートされるドライブ・バックプレーン構成」を参照してください)。
- 2.5 型のホット・スワップ SAS と SATA ハードディスク・ドライブ、2.5 型のホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブ、および 1.8 型のホット・スワップ・ソリッド・ステート・ドライブは、それらが同一アレイ上に存在していない場合のみ、同一サーバー内で混用できます。
- ドライブ・バックプレーンの構成を混合する場合は、すべての 1.8 型 SSD ドライブ・バックプレーンを、すべての 2.5 型ドライブ・バックプレーンの上に取り付ける必要があります。ドライブ ID の割り当て情報については [74 ページ](#)の「ドライブ ID」を、サポートされるドライブ・バックプレーン構成の組み合わせに関する情報については [76 ページ](#)の「サポートされるドライブ・バックプレーン構成」を参照してください。
- サーバーの電磁気干渉 (EMI) 保全性および冷却は、すべてのベイおよび PCI Express スロットをカバーするか、占拠することによって保護されます。ドライブを取り付けるときは、後でデバイスを取り外す場合に備えて、ベイから外した EMC シールドとフィラー・パネルを保存しておきます。

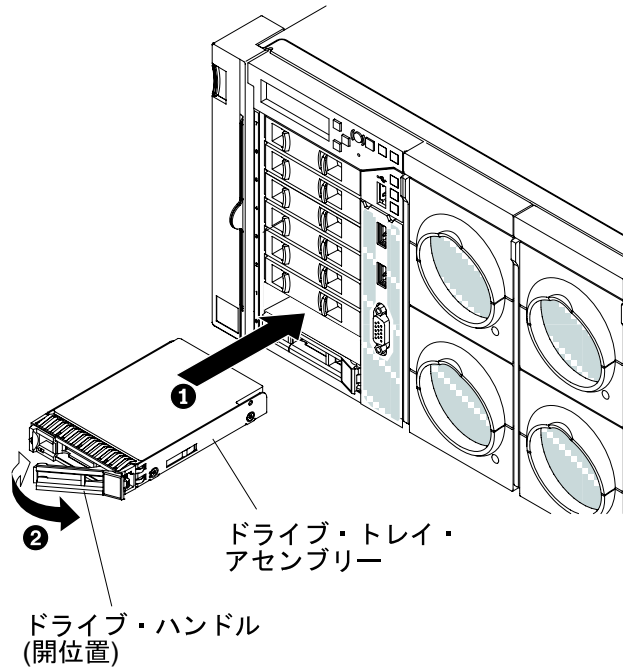
- サーバーでサポートされているオプション・デバイスの完全なリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。

ホット・スワップ・ドライブを取り付けるには、次のステップを行います。

ステップ 1. ドライブが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に接触させます。次に、ドライブをパッケージから取り出し、それを帯電防止面の上に置きます。

ステップ 2. 2.5 型ホット・スワップ・ドライブを、次のようにして取り付けます。

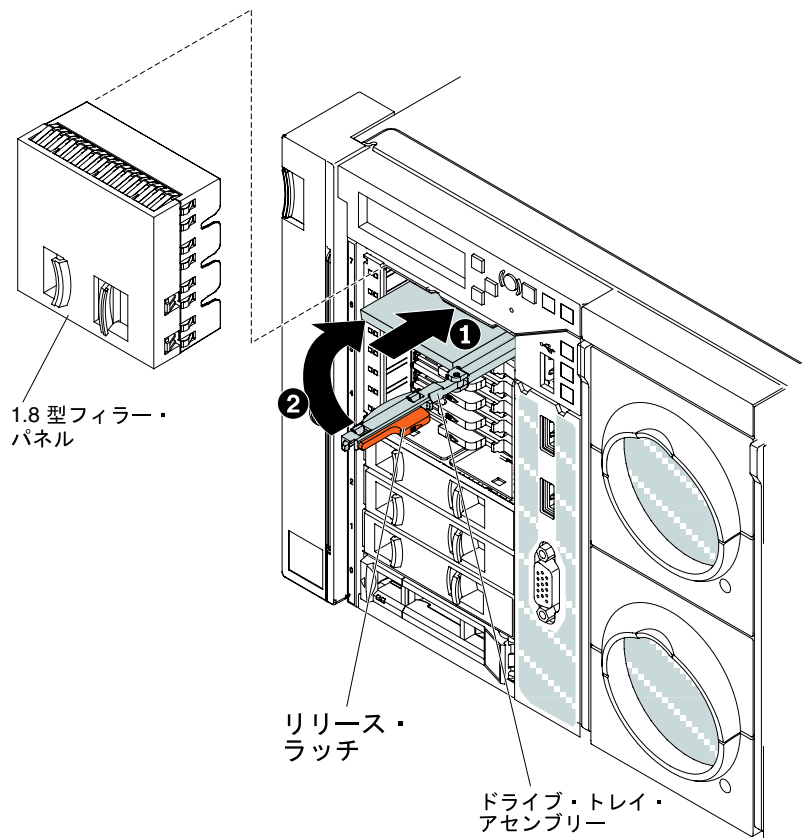
- a. ドライブ・トレイのハンドルが開いた(ロック解除)位置にあることを確認します。
- b. ドライブ・アセンブリーをベイのガイド・レールと位置合わせします。



- c. ドライブ・トレイ・アセンブリーが所定の位置にしっかり収まるまで、慎重にベイに押し入れます。
- d. ドライブ・トレイのハンドルを「閉」位置(ロック位置)に回転させます。
- e. [250 ページの ステップ 4](#)にスキップします。

ステップ3. 1.8 型ホット・スワップ・ドライブを、次のようにして取り付けます。

- a. ドライブのラベル側の面が上を向くように、ドライブをドライブ・ベイに挿入します。



- b. ドライブをドライブ・ベイに押し込み、ドライブ・トレイ・ハンドルを閉じた位置まで回転させて、ラッチを確実にロックされた位置にします。
- c. ドライブ・フィルター・パネルを再取り付けします。

ステップ4. ドライブのステータス LED をチェックして、ドライブが正しく作動しているか確認します。ドライブのオレンジ色のドライブ・ステータス LED が点灯したままの場合は、ドライブに障害があり、交換する必要があります。緑色のドライブ活動 LED が点滅している場合、そのドライブはアクセスされています。

注：ServeRAID アダプターを使用してサーバーが RAID アダプター用に構成されている場合は、ドライブを取り付けた後にディスク・アレイを再構成しなければならない場合があります。RAID 操作の追加情報、および ServeRAID アダプターの使用に関する完全な説明については、ServeRAID アダプター資料を参照してください。

ステップ5. 追加のホット・スワップ・ドライブを取り付ける場合は、ここで実行してください。

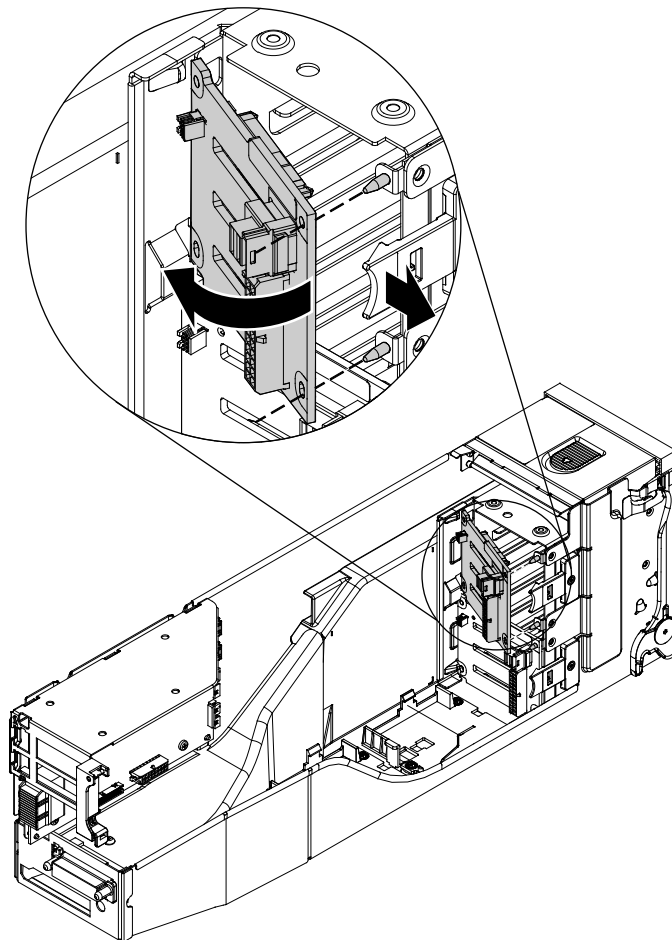
4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの取り外し

4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンを取り外すには、次のステップを実行してください。

ステップ1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

- ステップ2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します (281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ4. ドライブ・フィラー・パネルを取り外します。
- ステップ5. ドライブをストレージ・ブックから少しだけ引き出して、ドライブ・バックプレーンから取り外します。
- ステップ6. 電源ケーブルをバックプレーンから外します。SAS 信号ケーブルがドライブ・バックプレーンに接続されている場合は、切り離します。
- ステップ7. バックプレーン・ケージの右側にある保持ラッチを外側に持ち上げてから、バックプレーンを左側に回転させ、ケージの-slotから引き抜いてストレージ・ブックから取り外します。



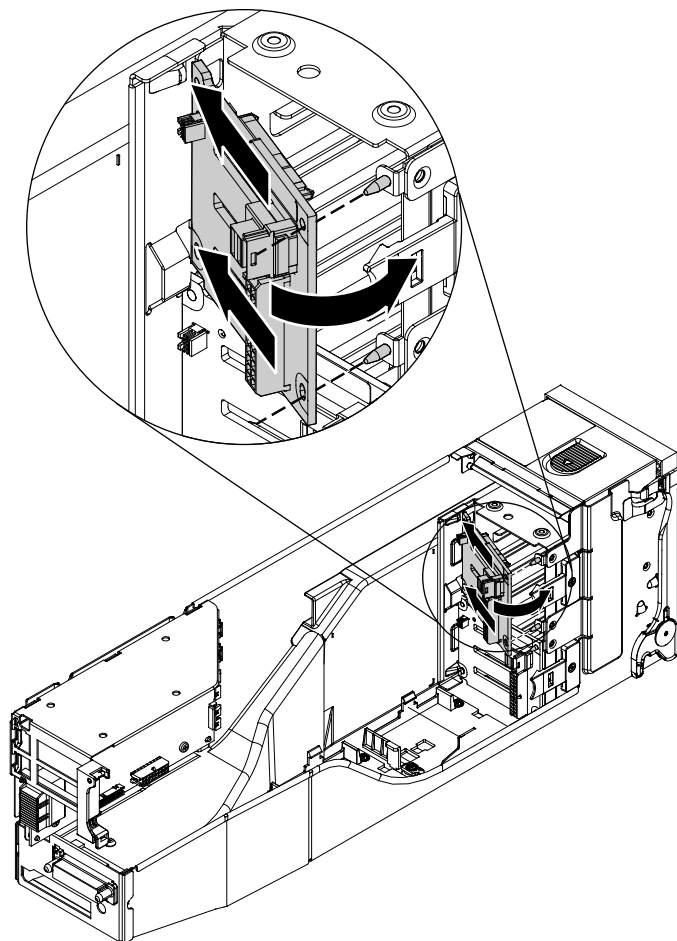
- ステップ8. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの交換

4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの交換方法については、以下の情報を参照してください。

交換用のホット・スワップ 2.5 型ドライブ・バックプレーンを取り付けるには、次のステップを実行します。

1. ドライブ・バックプレーンの側面にあるタブと、バックプレーン・ケージの左側にあるスロットとを位置合わせします。
2. ドライブ・バックプレーンのタブをバックプレーン・ケージのスロットに挿入し、保持ラッチを引き戻してから、ドライブ・バックプレーンを前方に押し、バックプレーン・ケージの右側にある保持ラッチに入れ、バックプレーンを所定の位置にロックします。



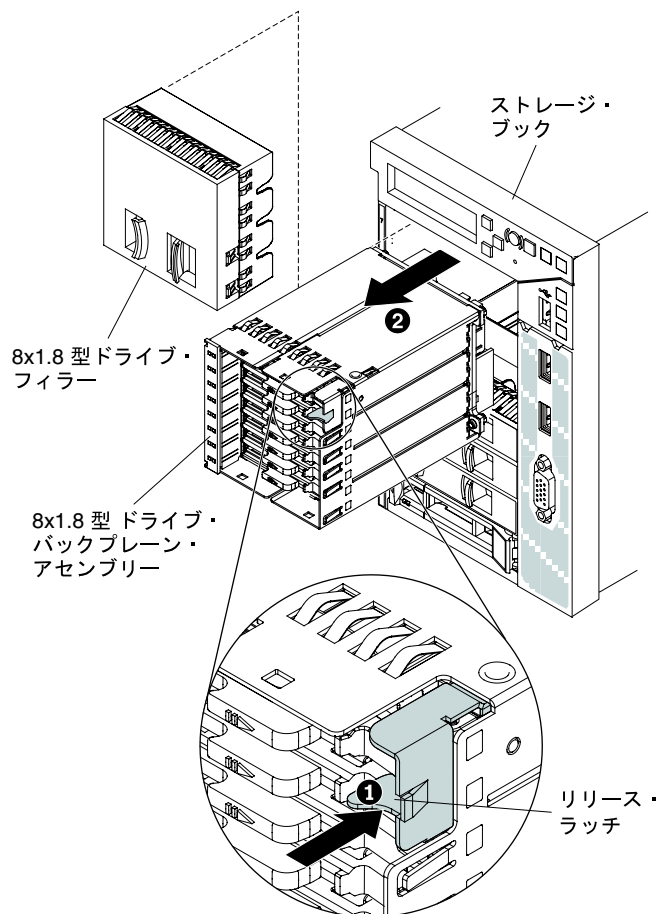
3. 前の手順で取り外したケーブルをドライブ・バックプレーンに再接続します。
4. 古いアセンブリーから取り外したドライブを、新しいドライブ・バックプレーン・アセンブリーにまだ再取り付けしていない場合は、ここで再取り付けします (248 ページの「[2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)」を参照)。
5. フィラー・パネルを再取り付けします。
6. サーバーにストレージ・ブックを再取り付けします。
7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
8. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの取り外し

8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

8x1.8 型のホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#) を参照)。
- ステップ 4. ドライブ・フィラー・パネルを取り外します。
- ステップ 5. ドライブ・バックプレーン・アセンブリからドライブを取り外し ([246 ページの「2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し」](#) を参照)、そのドライブを新しいバックプレーン・アセンブリに取り付けます。
- ステップ 6. ケーブルを既存のドライブ・バックプレーンから切り離します。
- ステップ 7. ドライブ・バックプレーンの背面を押しながら、ドライブ・バックプレーン・アセンブリでリリース・ラッチを左に押して、ドライブ・バックプレーン・アセンブリをスライドさせてストレージ・ブックから取り出します。



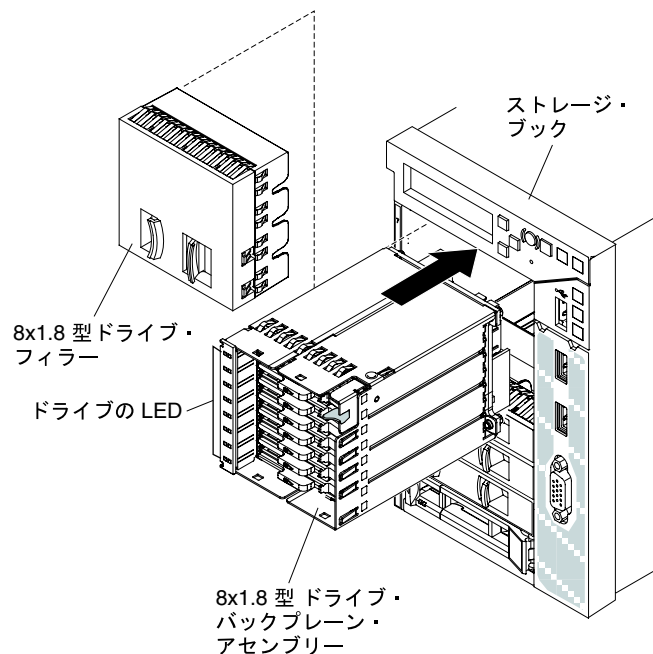
ステップ 8. ドライブ・バックプレーンの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの交換

8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリの交換方法については、以下の情報を参照してください。

8x1.8 型のホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリを交換するには、次のステップを実行してください。

ステップ 1. ドライブ・バックプレーン・アセンブリを、ストレージ・ブックのバックプレーン・スロットと位置合わせします。



ステップ 2. ストレージ・ブックの前面から、所定の位置に収まるまでドライブ・バックプレーン・アセンブリをストレージ・ブックのスロットにスライドさせます。

ステップ 3. 前の手順で切り離したケーブルをバックプレーン・アセンブリに再接続します。

ステップ 4. 古いアセンブリから取り外したドライブを、新しいドライブ・バックプレーン・アセンブリにまだ再取り付けしていない場合は、ここで再取り付けします (248 ページの「2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換」を参照)。

ステップ 5. ドライブ・フィラー・パネルを取り付けます。

ステップ 6. サーバーにストレージ・ブックを再取り付けします。

ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 8. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

メモリー・モジュールの取り外し

このトピックでは、メモリー・モジュールを取り外す方法を示しています。

デュアル・インライン・メモリー・モジュール (DIMM) を取り外すには、次のステップを行います。

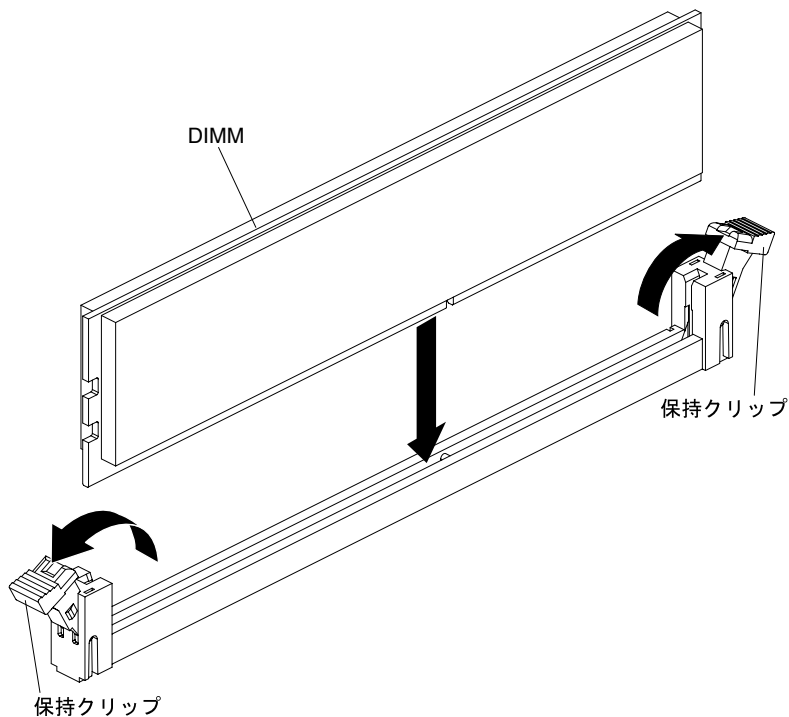
注：コンピュータ・ブックがサーバーから取り外されているときに、コンピュータ・ブック上の **Light path ボタン** を押すと、ボード上の LED を点灯させることができます。コンピュータ・ブックがサーバーから取り外される前に点灯していた LED はすべて、**light path ボタン** を押すと点灯します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. コンピュート・ブックを取り外します (300 ページの「コンピュート・ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. 障害が起きた DIMM が置かれている コンピュート・ブックの側面にあるカバーを取り外します。2つの青色のタッチ・ポイントを押し、コンピュート・ブックの背面方向にカバーをスライドさせてから、脇に置いておきます。

注意：コンピュート・ブックのもう一方の側にあるコンピュート・ブック・コンポーネントが損傷しないように、一度に1つ (片側) のカバーのみを取り外してください。

- ステップ 5. 慎重に DIMM コネクターの各端にある保持クリップを開き、DIMM を取り外します。

注意：保持クリップを破損したり、DIMM コネクターを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



- ステップ 6. DIMM を返却するよう指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

メモリー・モジュールの交換

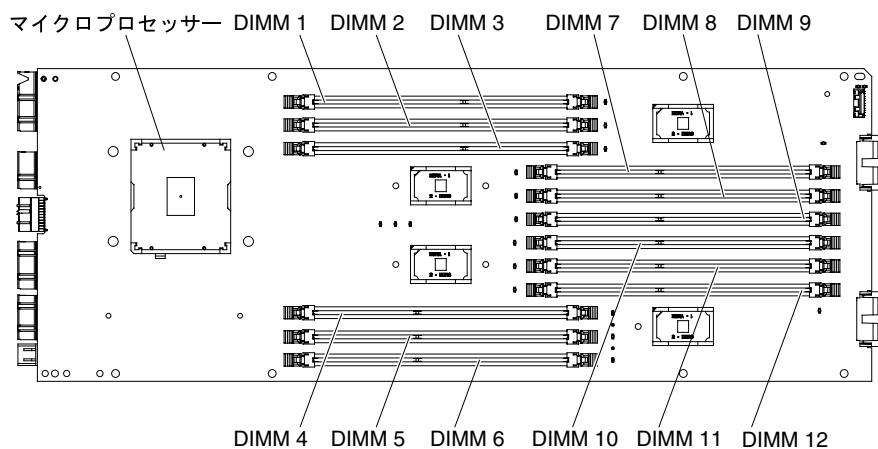
このトピックでは、メモリー・モジュールを交換する方法を示しています。

注：

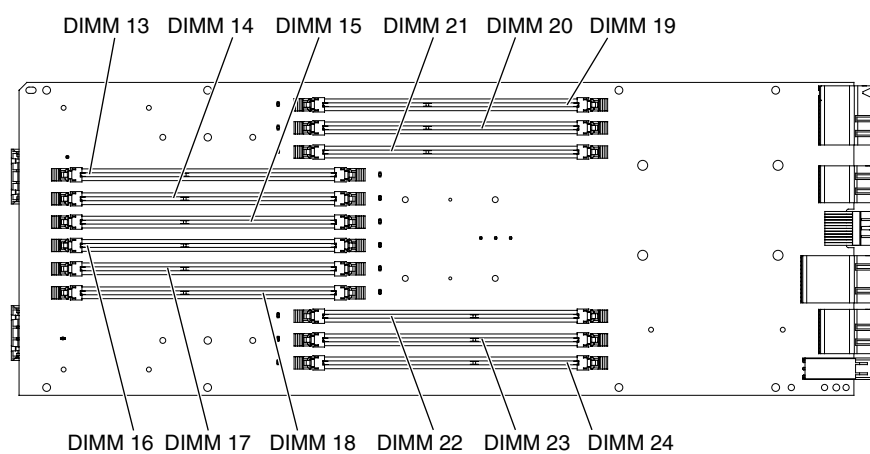
- DIMM を取り付けるときに考慮する必要がある注意および情報については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。DIMM の装着については、58 ページの「独立メモリー・モード」、62 ページの「ロック・ステップ・メモリー・モード」、56 ページの「メモリー・ミラーリング」、および 57 ページの「メモリー・ランク・スペアリング」を参照してください。

- 取り付ける DIMM をサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。

次の図は、コンピュータ・ブック・ボードの左側にある DIMM コネクターの位置を示しています。



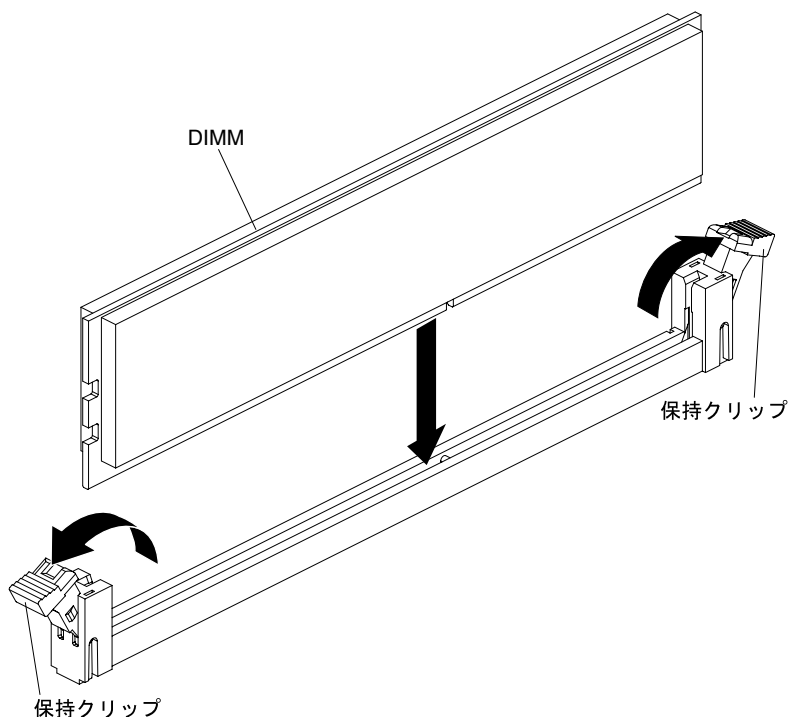
次の図は、コンピュータ・ブック・ボードの右側にある DIMM コネクターの位置を示しています。



DIMM を取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. DIMM が入っている静電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない金属面に接触させます。次に DIMM をパッケージから取り出します。
- ステップ 2. DIMM コネクター両端にある保持クリップを開きます。

注意：保持クリップを破損したり、DIMM コネクタを損傷しないように、クリップは丁寧に開閉してください。



- ステップ 3. DIMM のキーがコネクタの位置に正しく合うように、DIMM の方向を合わせます。
- ステップ 4. DIMM の両端を DIMM コネクタの両端のスロットに位置合わせして、DIMM をコネクタに挿入します。
- ステップ 5. DIMM の両端に同時に圧力を加えて、DIMM をコネクタにまっすぐ押し下げ、しっかり押し込みます。DIMM がコネクタにしっかり収まると、保持クリップがカチッという音を立て、ロック位置に固定されます。

注：DIMM と保持クリップの間にすき間がある場合は、DIMM が正しく挿入されていません。保持クリップを開いて DIMM を取り外し、挿入し直してください。

- ステップ 6. コンピュート・ブック・カバーを交換します。カバーをコンピュート・ブックに位置合わせし、コンピュート・ブックにしっかり収まるまでカバーを前方にスライドさせます。
- ステップ 7. サーバーにコンピュート・ブックを再取り付けします (300 ページの「コンピュート・ブックの交換」を参照)。
- ステップ 8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 9. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) の取り外し

ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラーの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプターを取り外すには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

- ステップ 3. アダプターを取り付けるI/O ブックを取り外す手順を実行します。
- ステップ 4. アダプター保持レバーを開きます。
- ステップ 5. 外部ケーブルを既存のアダプターから切り離します。
- ステップ 6. アダプターにキャッシュ・カードが取り付けられている場合は、RAID キャッシュ・カードからケーブルを取り外します。
- ステップ 7. アダプターの端を慎重につかんで、拡張モジュール・ボード上のコネクタから引き抜きます。
- ステップ 8. RAID キャッシュ・カードが取り付けられている場合は、アダプターからそれを取り外します (275 ページの「RAID キャッシュ・カードの取り外し」を参照)。
- ステップ 9. アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) の交換

ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラーの交換方法については、以下の情報を参照してください。

注：

- アダプターの取り付けの詳細および注意事項については、90 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。
- アダプターおよびドライブ・バックプレーンへの SAS 信号ケーブルの接続に関する一般規則に従い、アダプターのポート 0 からドライブ・バックプレーンのポート 0、アダプターのポート 1 からドライブ・バックプレーンのポート 1 (サーバーに取り付けたドライブ・バックプレーンのタイプによって異なります) に接続します。
- このアダプターには RAID キャッシュ・カードが付属しています。キャッシュ・カードにはフラッシュ電源モジュールが付属しており、ストレージ・ブックの下部にあるスロットに取り付ける必要があります (詳細については、106 ページの「ストレージ・ブックへの RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールの取り付け」を参照)。
- このアダプターは外部 RAID 用で、サーバーに外部ストレージ拡張ユニットが接続されている場合に使用することができます。

オプションの ServeRAID M5120 SAS/SATA コントローラー (System x 用) を購入することができます。ServeRAID M5120 アダプターは、ベース RAID レベル 0、1、および 10 のサポートを提供します。詳細については、93 ページの「サポートされる RAID アダプター」を参照してください。構成情報については、ServeRAID 資料 (<http://www.lenovo.com/support>) を参照してください。

注意：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプターを取り付けるには、以下のステップを実行します。

注：可能な場合はアダプターを交換する前に RAID 構成情報をバックアップまたは記録します。詳しい手順については、ご使用の RAID アダプターの資料を参照してください。ServeRAID アダプターの資料は <http://www.lenovo.com/support> からダウンロードできます。

- ステップ 1. 新しい ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプターの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、アダプターの上端または上部の隅をつかんで、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 2. RAID キャッシュ・カードを以前に取り外した場合は、それを再び取り付けます (276 ページの「RAID キャッシュ・カードの交換」を参照)。
- ステップ 3. 切り欠きが I/O ブックのボード上のコネクタの位置に正しく合うように、ServeRAID M5120 アダプターの位置を合わせます。

ステップ 4. アダプターをコネクタに挿入します。その際、アダプター上のエッジ・コネクタをI/O ブックのボード上のコネクタの位置に合わせます。アダプター上のコネクタの端をコネクタにしっかりと押し込みます。アダプターがI/O ブックのボード上のコネクタにカチッと音を立ててしっかりと収まったか確認してください。

注意: サーバーの電源を入れる前に、アダプターがコネクタに正しく取り付けられていることを確認します。アダプターを正しく取り付けないと、I/O ブックのボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。

ステップ 5. PCIe 保持レバーを閉じます。

ステップ 6. ケーブルをアダプターおよび RAID キャッシュ・カードに再接続します。

ステップ 7. アダプターを交換した PCIe I/O ブックを交換する手順を実行します。

ステップ 8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 9. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

ステップ 10. 外部構成として交換用 ServeRAID アダプターに RAID 構成をインポートします。手順については、『[ServeRAID-M ソフトウェア・ユーザー・ガイド](https://support.lenovo.com/us/en/documents/migr-5086126)』(<https://support.lenovo.com/us/en/documents/migr-5086126>)を参照してください。

System x 向けの N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターの取り外し

N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターを取り外すには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。

ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#)を参照)。

ステップ 4. 取り外すアダプターからケーブルを切り離します。

ステップ 5. PCIe 保持レバーを開きます。

ステップ 6. アダプターの端を慎重につかんで、ストレージ・ブックのボード上のコネクタから引き抜きます。

ステップ 7. アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

System x 向けの N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターの交換

N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターの交換方法については、以下の情報を参照してください。

注: アダプターの取り付けの詳細および注意事項については、[90 ページの「アダプターの取り付け」](#)を参照してください。

System x 向けの N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターをオプションで購入することができます。このソリッド・ステート・ドライバ・コントローラーは RAID をサポートしていませんが、RAID のサポートを必要としないアプリケーションで最適化されたパフォーマンスの提供に役立ちます。このアダプターの詳細については、[92 ページの「サポートされるホスト・バス・アダプター」](#)を参照してください。構成情報については、資料 (<http://www.lenovo.com/support>) を参照してください。

注意：一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整されたコード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

アダプターを取り付けるには、次の手順に従ってください。

注：このアダプターは、ストレージ・ブックにのみ取り付けることができます。

- ステップ 1. 新しい N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプターの入った帯電防止パッケージを、サーバーの外側の塗装されていない面に接触させます。その後で、アダプターの上端または上部の隅をつかんで、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 2. 切り欠きがストレージ・ブックのボード上のコネクターの位置に正しく合うように、アダプターの位置を合わせます。
- ステップ 3. しっかり固定されるまで、アダプターをストレージ・ブック・ボードのコネクターに挿入します。

注意：アダプターが正しく取り付けられていることを確認してください。挿入が不完全な場合、ストレージ・ブック・ボードまたはアダプターが損傷する可能性があります。

- ステップ 4. PCIe 保持レバーを閉じます。
- ステップ 5. ケーブルをアダプターに再接続します。
- ステップ 6. ストレージ・ブックを再取り付けします。
- ステップ 7. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
- ステップ 8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 9. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し

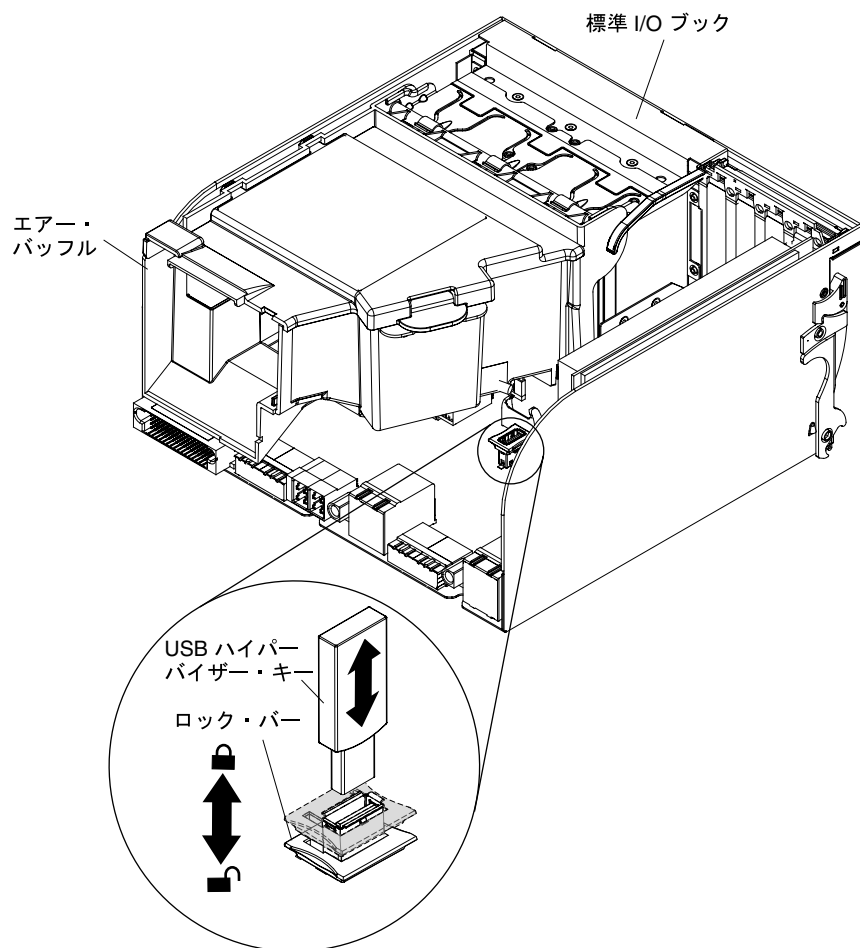
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り外すには、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーから標準 I/O ブックを取り外します ([236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ 4. 標準 I/O ブック・ボード上の USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクターを見つけます (コネクターの位置については、[35 ページの「標準 I/O ブック」](#)を参照してください)。

注：必要に応じて、標準 I/O ブックのエア・バッフルを上回転させると、USB フラッシュ・デバイス・コネクターにアクセスできます。

- ステップ 5. USB フラッシュ・デバイス・コネクター上のロック・バーを下方のロック解除位置にスライドさせ、USB フラッシュ・デバイスをコネクターから引き抜きます。



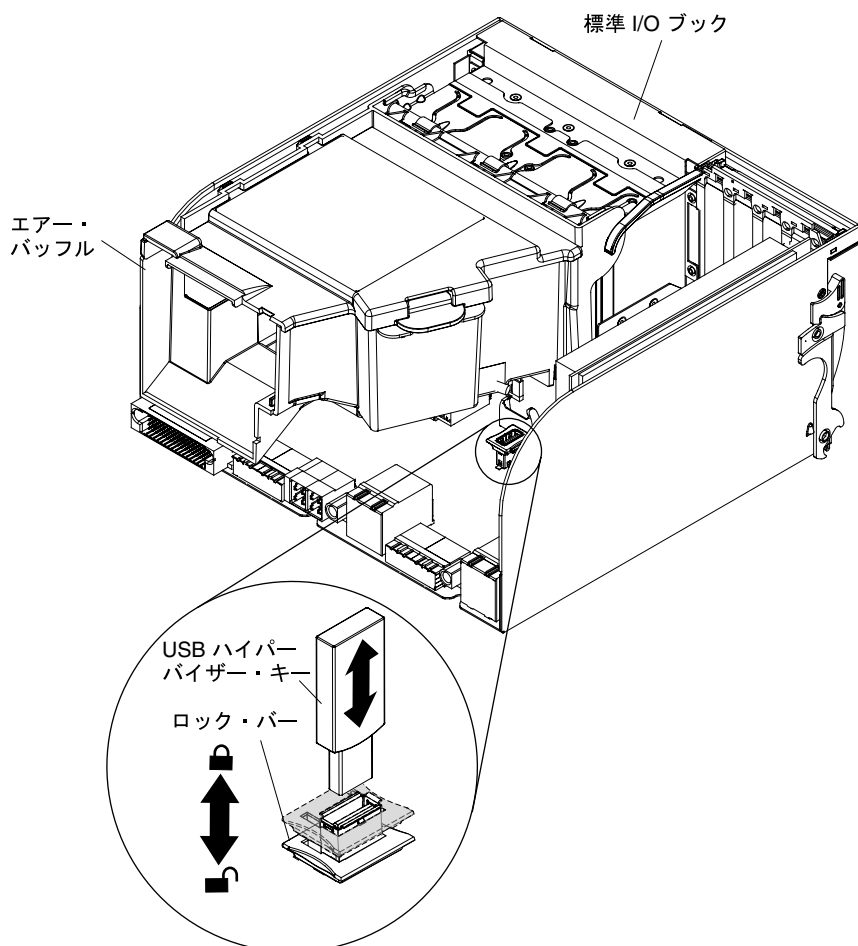
ステップ 6. USB フラッシュ・デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

USB 組み込みハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換

USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスの交換方法については、以下の情報を参照してください。

内部 USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス・コネクタは、標準 I/O ブックにあります (コネクタの位置については、35 ページの「標準 I/O ブック」を参照してください)。USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイスを取り付けるには、次のステップを行います。

- ステップ 1. USB フラッシュ・デバイスを標準 I/O ブックのボード上のコネクタと位置合わせし、しっかりと装着されるまでコネクタに押し込みます。
- ステップ 2. ロック・バーがしっかりと収まるまで、ロック・バーをロック位置までスライドさせます。エアー・バッフルを以前に回転させて上げていた場合は、エアー・バッフルを回転させて下げます。



- ステップ 3. サーバーに標準 I/O ブックを再取り付けします (237 ページの「標準 I/O ブックの交換」を参照)。
- ステップ 4. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 5. 周辺デバイスの電源をオンにし、サーバーの電源をオンにします。

1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し

1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

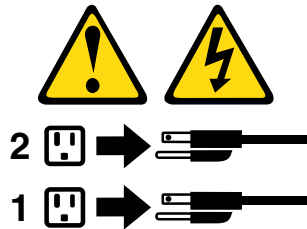
ホット・スワップ電源の取り外しまたは取り付けを行う場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 5



警告：

デバイスの電源制御ボタンおよび電源の電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



警告：

電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



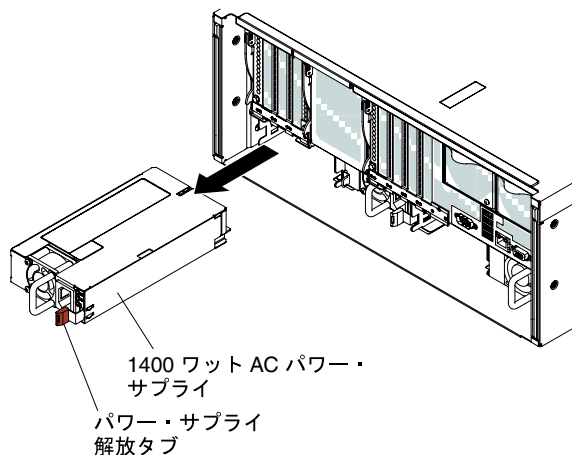
このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合はサービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ電源を取り外すには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。

ステップ 2. 1400 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し

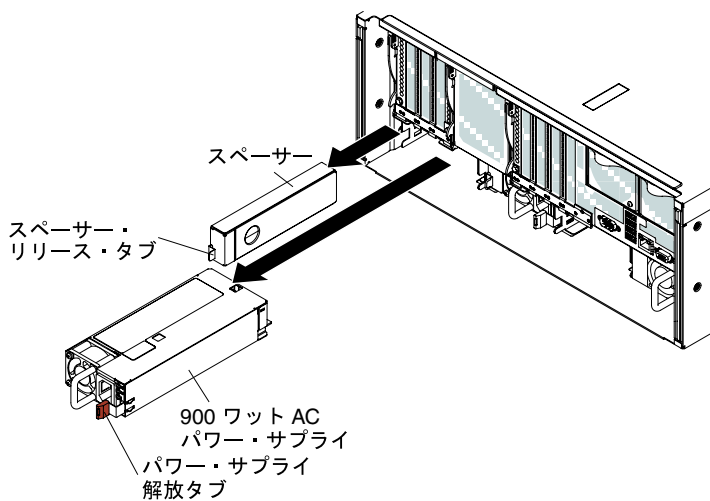
- a. オレンジ色のリリース・タブを左に向かって押したままにします。ハンドルをつかんで電源をサーバーから引き出します。



- b. 電源を脇に置いておきます。
c. 264 ページの **ステップ 4** に進みます。

ステップ 3. 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し

- a. オレンジ色のリリース・タブを左に向かって押したままにします。電源ハンドルをつかんで電源をサーバーから引き出します。



注：スペーサーを取り外す必要があるのは、750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源または 900 ワットの電源をすべて取り外し、1400 ワットの電源を取り付ける場合のみです。

- b. 電源スペーサーを脇に置いておきます。

ステップ 4. 電源の返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換

1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換方法については、以下の情報を参照してください。

注：以下の情報および手順は、4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの両方に適用されます。

以下に、サーバーがサポートする電源のタイプ、および電源を取り付ける際に考慮すべき事項について示します。

- 電源の電源ポリシーとシステム電源構成の設定および変更を行うには、IMM を使用する必要があります。IMM2 Web インターフェース、CIM、または Advanced Settings Utility を使用して、ポリシーおよび構成を設定および変更することができます。UEFI Setup Utility を使用して電源ポリシーまたはシステム電源構成の設定も変更も行うことはできません。AC と DC の両方の電源モデルのデフォルト構成設定値は、スロットルが有効になった非冗長です。
- サーバーに電源を取り付けるときに考慮する必要があるその他の注意および情報については、108 ページの「電源の取り付け」を参照してください。
- 取り付ける電源をサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。
- 次の表に、各 4 ソケット・ノードのサポートされる AC 電源構成 (220 V AC と 110 V AC の両方) をリストします。これらの構成は、8 ソケット・サーバーのそれぞれの 4 ソケット・ノードに適用されます。

表 56. 各 4 ソケット・ノードのサポートされる AC 電源構成 (220 V AC および 110 V AC の両方)

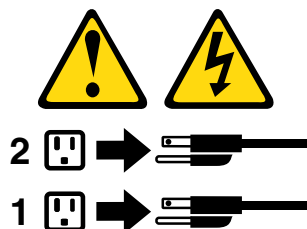
電源数	電源のワット数
1	900 ワット
1	1400 ワット
2	900 ワット
2	1400 ワット
4	900 ワット 2 つと 1400 ワット 2 つ
4	900 ワット
4	1400 ワット

安全 5



警告：

デバイスの電源制御ボタンおよび電源の電源スイッチは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには 2 本以上の電源コードが使われている場合があります。デバイスから完全に電気を取り除くには電源からすべての電源コードを切り離してください。



安全 8



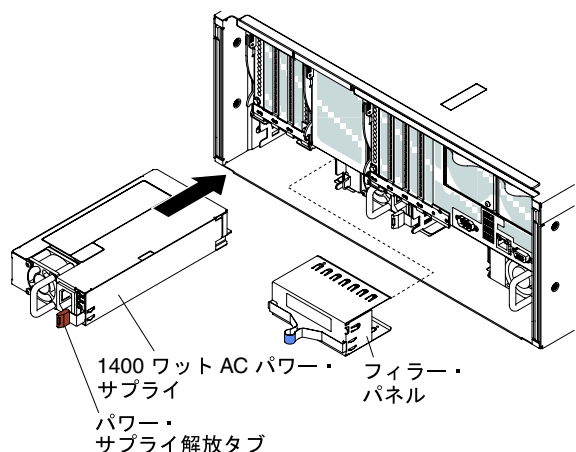
警告：
電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部には、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

ホット・スワップ電源を取り付けるには、以下のステップを実行してください。

1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. サーバーの塗装されていない金属面に、ホット・スワップ電源が入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、電源をパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
3. ホット・スワップ電源を空のベイに取り付ける場合は、電源ベイから電源フィルター・パネルを取り外します。
4. 1400 ワット・ホット・スワップ電源の交換
 - a. 電源背面にあるハンドルをつかみ、電源を、所定の位置にカチッと音がして収まるまで前方にスライドさせて、電源ベイに挿入します。

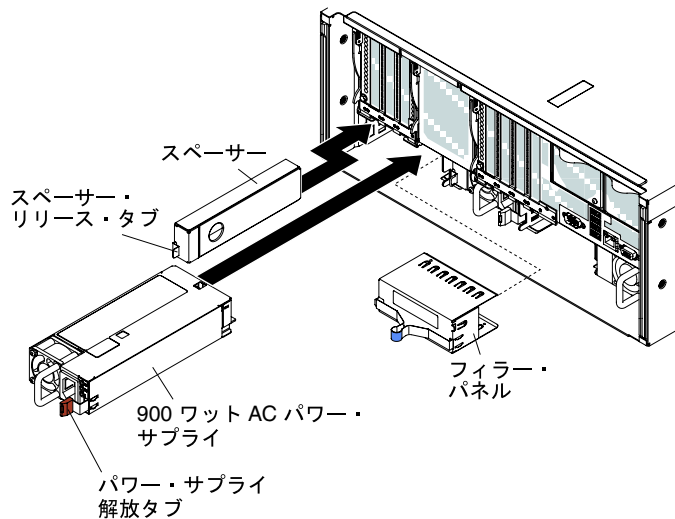


電源が電源コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。

- b. [ステップ 267 ページのステップ 6](#) に進みます。

5. 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換

- a. 電源スペーサーを取り外した場合は、サーバーの背面から、電源ベイの左側壁面に向かって電源スペーサーを挿入します。電源スペーサーをスライドさせてベイの中に入れ、電源ベイの側面にあるタブにはまってカチッと音がするまで押します。



注：スペーサーがまだ取り付けられていない場合のみ、スペーサーを取り付けてください。

- b. 電源後部のハンドルをつかみ、電源の前方にスライドして、しっかり収まるまで電源ベイに入れます。電源が電源コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
6. 電源コードを面ファスナー付きストラップに通して、誤って抜けないようにします。
 7. 新しい電源の電源コードを、電源の電源コード・コネクタに接続します。
 8. 電源コードのもう一方の端を、正しく接地されたコンセントに接続します。
 9. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。
 10. 電源の AC 電源 LED と DC 電源 LED が点灯して、十分な電力が電源コードを通して電源に供給されていることを示していることを確認します。通常の動作時には、AC と DC の両方の電源 LED が点灯します。その他の LED の組み合わせについては、[170 ページの「電源 LED」](#)を参照してください。

ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

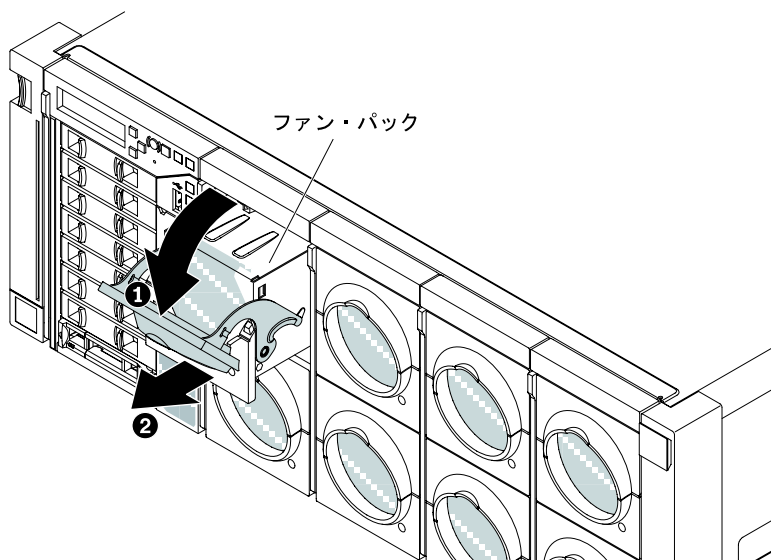
ホット・スワップ・ファンをサーバーから取り外す方法については、以下の情報を参照してください。

注意：サーバーの正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

ホット・スワップ・ファンを取り外すには、次のステップを行います。

注：ホット・スワップ・ファン・アセンブリーを取り外すための以下の手順は、標準 I/O ブックとコンピュータ・ブックの両方に適用されます。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. ファンハンドルを下ろして、ファン・パックをファン・ベイから引き出します。
- ステップ 3. ファンを横に置いておきます。



注意：正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは30秒以内に交換してください。

ステップ4. ファンの返却を指示された場合は、梱包の指示に従って、提供されている配送用の梱包材を使用してください。

ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換

ファンの概要、およびホット・スワップ・ファンをサーバーに取り付ける方法については、以下の情報を参照してください。

サーバーは、デュアル・モーター、反転、速度制御ホット・スワップ冷却ファンを備えた最大10個のファン・パックをサポートします(各ファン・パックに2つのファンで、合計20個のファン)。

注：

- コンピュート・ブックと標準I/Oブック上のファン・パックは交換できません。ファン・パックには、ファンの前面でファン・ハンドルの上に、どのブックにこのファン・パックを取り付けるかを示すテキストが印刷されています。たとえば、コンピューターブック用のファン・パックには、「Top - Compute Book Only」というテキストがあります。標準I/Oブック用のファン・パックには、「Top - Standard I/O Book Only」というテキストがあります。
- ファン・パック1から8は、コンピューターブックにあります(ファン・パックごとに2つのファン)。サーバーは、最大4つのコンピューターブックをサポートします。
- ファン・パック9および10は、標準I/Oブックにあります。

次の表は、ファン・ゾーン、ファン・パック番号、およびファンによって冷却されるコンポーネントを示しています。

表 57. ファン・ゾーン、ファン番号、およびファンによって冷却されるコンポーネント

ファン・ゾーン	ファン・パック番号	ファンによって冷却されるコンポーネント
1	9 および 10	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスク・ドライブ
2	1 および 2	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ・ブック 1 コンピュータ・ブック 1 に接続されている DIMM コンピュータ・ブック 1 の電圧調節装置 ML2 (イーサネット) アダプター (PCIe スロット 10) PCIe スロット 9
3	3 および 4	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ・ブック 2 コンピュータ・ブック 2 に接続されている DIMM コンピュータ・ブック 2 の電圧調節装置 PCIe スロット 7 および 8
4	5 および 6	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ・ブック 3 コンピュータ・ブック 3 に接続されている DIMM コンピュータ・ブック 3 の電圧調整装置 PCIe スロット 4、5、および 6
5	7 および 8	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータ・ブック 4 コンピュータ・ブック 4 に接続されている DIMM コンピュータ・ブック 4 の電圧調整装置 PCIe スロット、1、2、および 3

注：正しい作動を保証するには、故障したホット・スワップ・ファンは 30 秒以内に交換してください。

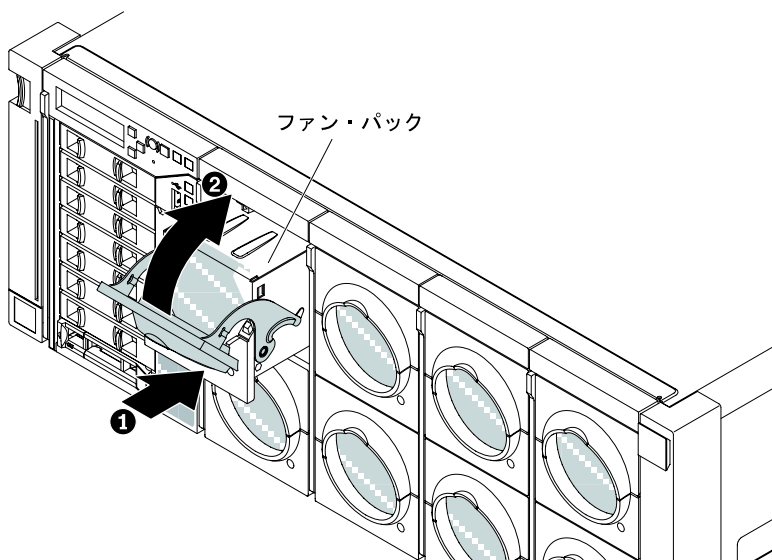
ホット・スワップ・ファン・パックの取り付けまたは交換を行うには、次のステップを実行してください。

注：ホット・スワップ・ファン・アセンブリーを交換するための以下の手順は、標準 I/O ブックとコンピュータ・ブックの両方に適用されます。

1. I/O ブック用に適切なファン・パックを取り付けようとしていることを確認します。

注：ファン・パックには、ファンの前面でファン・ハンドルの上に、どのブックにこのファン・パックを取り付けるかを示すテキストが印刷されています。たとえば、コンピュータ・ブック用のファン・パックには、「Top - Compute Book Only」というテキストがあります。標準 I/O ブック用のファン・パックには、「Top - Standard I/O Book Only」というテキストがあります。これらのファン・パックは交換できません。

2. 新規のファンが入っている帯電防止パッケージをサーバー上の塗装されていない金属面に触れさせます。次に、新しいファンをパッケージから取り出します。
3. ファンの位置をファン・ベイに合わせ、しっかり固定されるまでベイにスライドさせて押し込みます。ファンのハンドルを上回転させて、スロット内でファンを固定します。



ML2 (イーサネット) アダプターの取り外し

ML2 (イーサネット) アダプターの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

ML2 (イーサネット) アダプターを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーから標準 I/O ブックを取り外します ([236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」](#) を参照)。
- ステップ 4. アダプター保持レバーを開きます。
- ステップ 5. アダプターを慎重につかんで、標準 I/O ブックのボード上のコネクタから引き抜きます。
- ステップ 6. アダプターの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

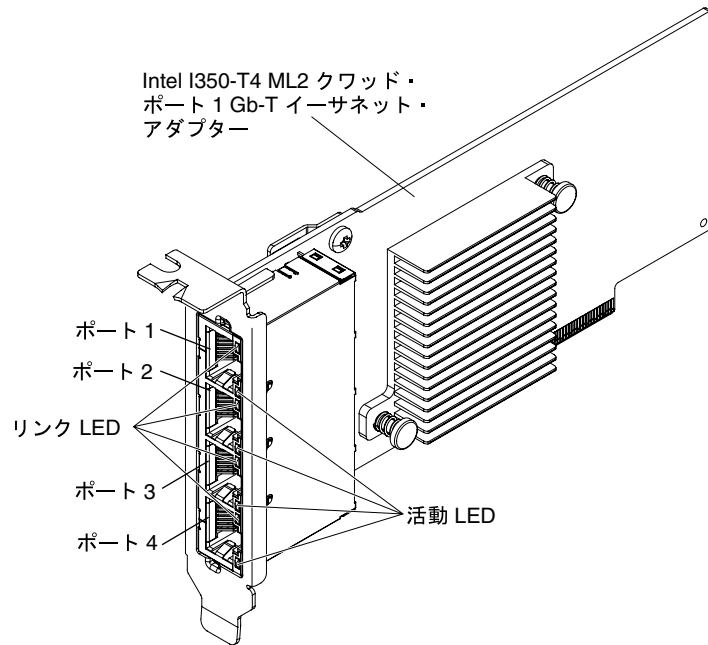
ML2 (イーサネット) アダプターの交換

ML2 (イーサネット) アダプターの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

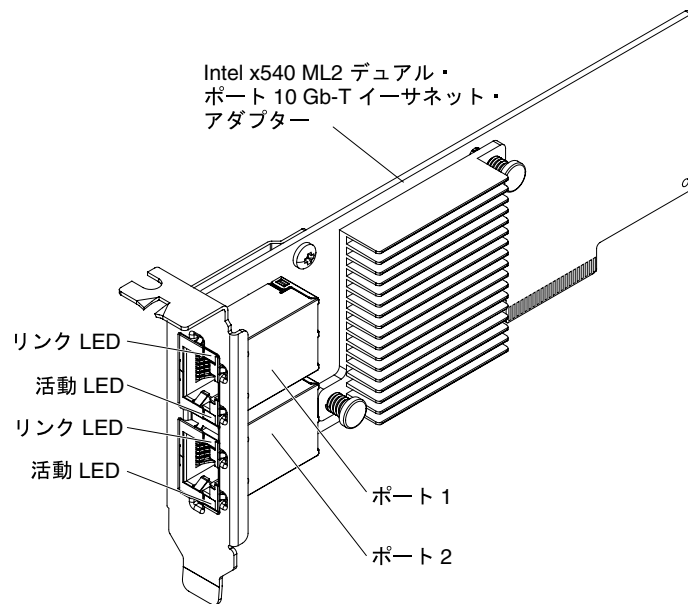
次の図は、サーバーがサポートする ML2 (イーサネット) アダプターを示しています。サポートされるイーサネット・アダプターの詳細については、[95 ページの「サポートされる ML2 \(イーサネット\) アダプター」](#) を参照してください。

注：<http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、ML2 イーサネット・アダプターの最新のデバイス・ドライバをダウンロードする必要があります。NIC アダプターの下でイーサネット・アダプターを探します。デバイス・ドライバのインストール方法については、[リリース・ノート](#) および [read.txt](#) ファイルを使用してください。

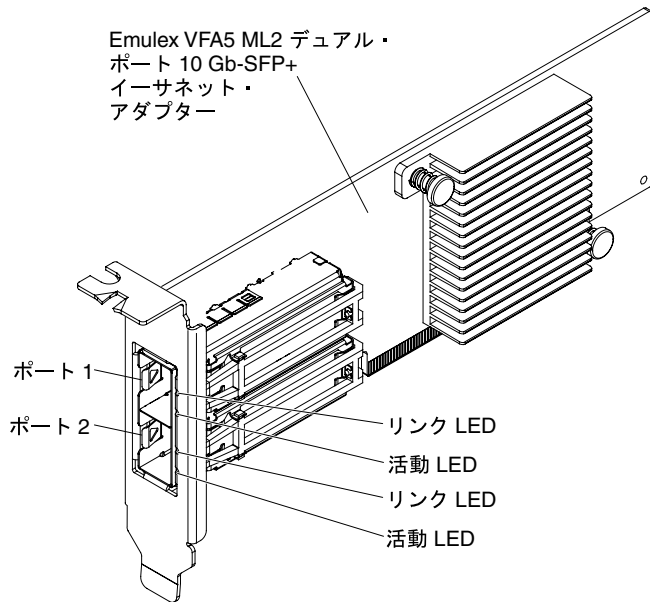
次の図は、System x 向けの Intel I350-T4 ML2 クワッド・ポート 1 Gb-T イーサネット・アダプターを示しています。



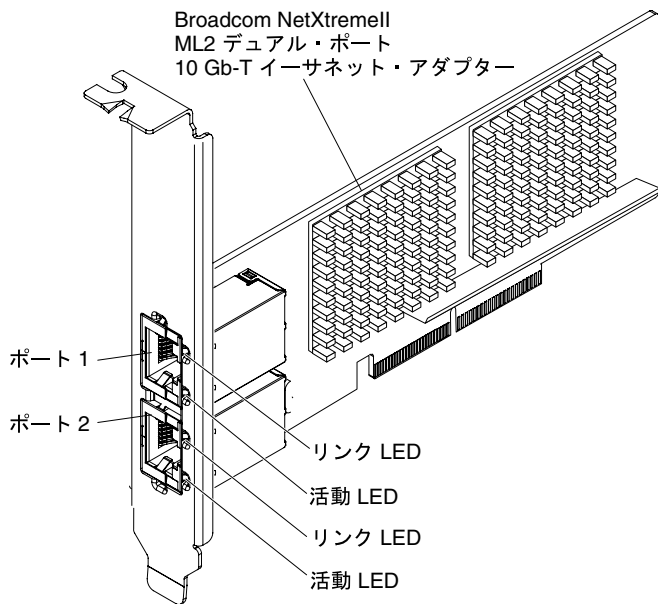
次の図は、System x 向けの Intel x540 ML2 デュアル・ポート 10 Gb-T イーサネット・アダプターを示しています。



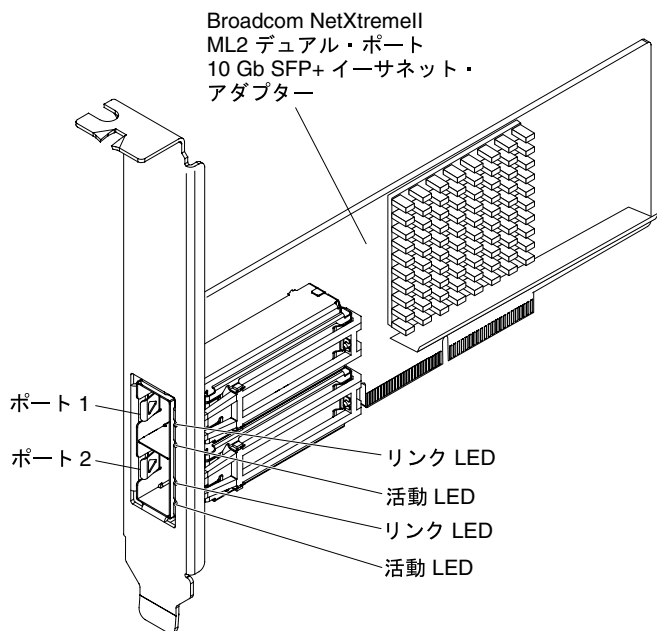
次の図は、System x 向けの Emulex VFA5 ML2 デュアル・ポート 10 Gb-SFP+ イーサネット・アダプターを示しています。



次の図は、System x 向けの Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10 Gb-T イーサネット・アダプターを示しています。



次の図は、System x 向けの Broadcom NetXtreme II ML2 デュアル・ポート 10 Gb-SFP+ イーサネット・アダプターを示しています。



イーサネット・アダプターを交換するには、以下のステップを実行します。

注：本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

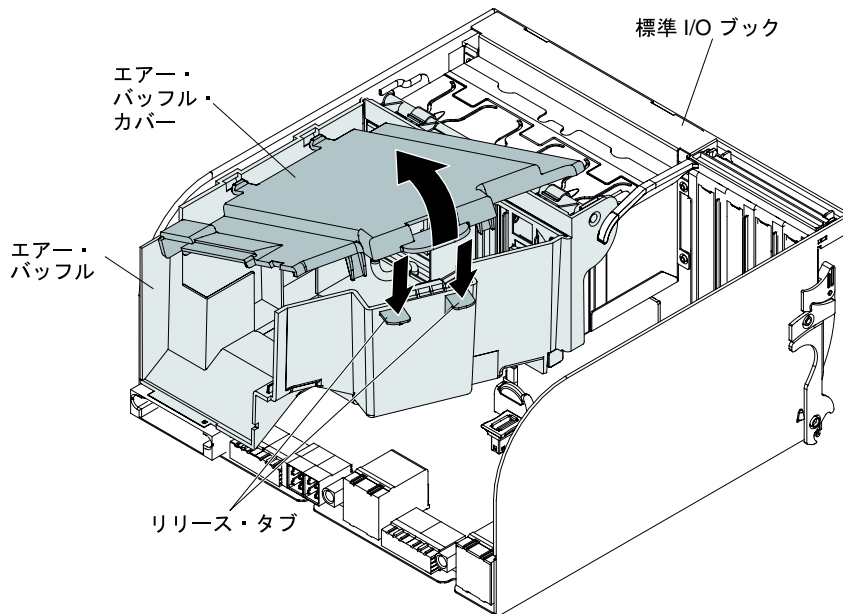
- ステップ 1. アダプター保持ラッチが開いた位置にあることを確認します。
- ステップ 2. 新しいアダプターが入っている帯電防止パッケージをサーバーの塗装されていない金属面に触れさせます。次に、アダプターをパッケージから取り出します。
- ステップ 3. アダプター上のエッジ・コネクタを標準 I/O ブックのボード上のコネクタに位置合わせします。コネクタの端を標準 I/O ブックのボードのコネクタにしっかり押し込み、アダプターがコネクタ内にカチッと音をたててしっかり収まったか確認します。
注意：アダプターを取り付けるときは、アダプターがコネクタに正しく収まっていることを確認してから、サーバーの電源をオンにします。アダプターを正しく取り付けないと、標準 I/O ブックのボードまたはアダプターが損傷するおそれがあります。
- ステップ 4. アダプター保持レバーを閉じます。
- ステップ 5. サーバーに標準 I/O ブックを再取り付けします ([237 ページの「標準 I/O ブックの交換」](#)を参照)。
- ステップ 6. アダプターに必要な構成タスクをすべて実行します。
- ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ 8. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

標準 I/O ブックからの RAID アダプター・フラッシュ電源モジュールの取り外し

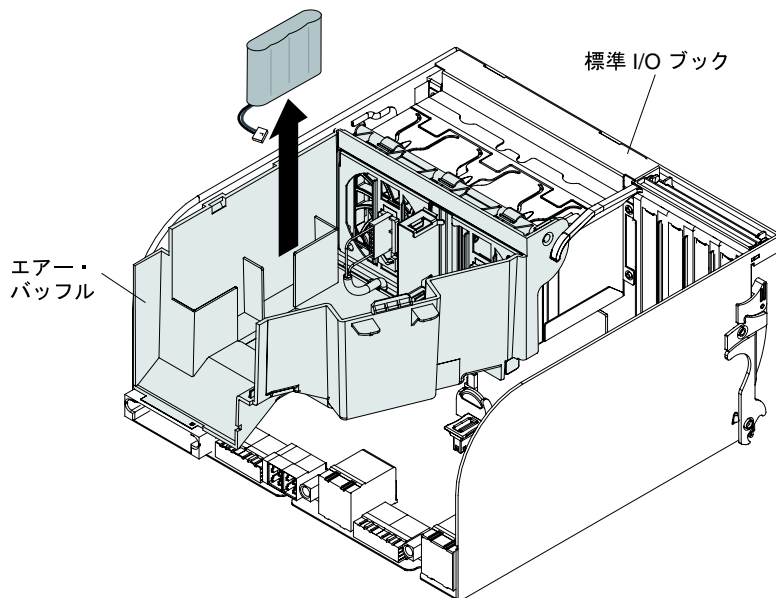
標準 I/O ブックから RAID アダプター・フラッシュ電源モジュールを取り外す方法については、以下の情報を参照してください。

RAID アダプターのフラッシュ電源モジュールが標準 I/O ブックに取り付けられているときに、そのフラッシュ電源モジュールを交換する必要がある場合は、以下のステップを実行します。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーから標準 I/O ブックを取り外します (236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. エアー・バッフルのカバーを取り外します。エアー・バッフルの本体の下部タブを押し下げながら、エアー・バッフルのトップ・カバー・タブを引き上げます。



- ステップ 5. アダプターからフラッシュ電源モジュール・ケーブルを切り離し、エアー・バッフルのロットからフラッシュ電源モジュールを取り外します。



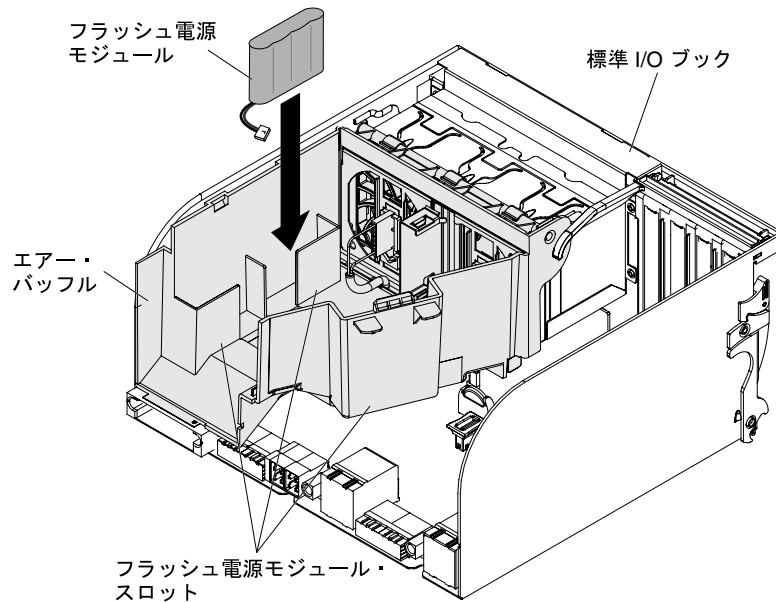
フラッシュ電源モジュールを返却するよう指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

標準 I/O ブックへの RAID アダプター・フラッシュ電源モジュールの交換

標準 I/O ブックに RAID アダプター・フラッシュ電源モジュールを交換する方法については、以下の情報を参照してください。

フラッシュ電源モジュールが付属している RAID アダプターを標準 I/O ブックに取り付ける場合は、過熱を防止するために、標準 I/O ブックのエアー・バッフル内のスロットにフラッシュ電源モジュールを取り付けてください。エアー・バッフルにフラッシュ電源モジュールを取り付けるには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. 新しいフラッシュ電源モジュールを、エアー・バッフル内のフラッシュ電源モジュール・スロットに入れます。



ステップ 2. フラッシュ電源モジュール・ケーブルをアダプターに接続します。

ステップ 3. エアー・バッフルのカバーを閉じます。カバーを下に回転させ、所定の位置にロックされるまで押します。

ステップ 4. 標準 I/O ブックを再取り付けします (237 ページの「標準 I/O ブックの交換」を参照)。

ステップ 5. 電源コードとすべての外部ケーブルを再接続し、サーバーと周辺デバイスの電源をオンにします。

RAID キャッシュ・カードの取り外し

RAID キャッシュ・カードの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

注：アダプターの詳細および注意事項については、90 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。

RAID キャッシュ・カードを取り外すには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。

ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。

ステップ 3. 障害が起きたキャッシュ・カードが取り付けられている I/O ブックの取り外し手順を実行します。

- ステップ4. アダプターおよびキャッシュ・カードからすべてのケーブルを切り離します。
- ステップ5. アダプターを固定しているアダプター保持レバーを持ち上げます。
- ステップ6. アダプターの上端または上部の両隅を注意しながら手でつかみ、コネクタからアダプターを引き出します。
- ステップ7. キャッシュ・カードをつかんで、アダプター上のコネクタから引き抜きます。
- ステップ8. キャッシュ・カードに返却の指示がある場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

RAID キャッシュ・カードの交換

RAID キャッシュ・カードの交換方法については、以下の情報を参照してください。

注：

- アダプターの取り付けの詳細および注意事項については、90 ページの「アダプターの取り付け」を参照してください。
- サポートされる RAID アダプターとキャッシュ・カードについては、93 ページの「サポートされる RAID アダプター」および 94 ページの「サポートされる RAID キャッシュ・カード」を参照してください。

RAID キャッシュ・カードを交換するには、以下のステップを実行します。

- ステップ1. 新しいキャッシュ・カードをアダプター上のスロットと位置合わせし、下ろしてコネクタにはめます。
- ステップ2. アダプターのコネクタに確実に収まるまで、キャッシュ・カードをしっかり押します。
- ステップ3. I/O ブックにアダプターを再取り付けします (90 ページの「アダプターの取り付け」を参照)。
- ステップ4. アダプターの保持レバーを閉じて、アダプターを所定の場所にしっかり固定します。
- ステップ5. ケーブルをアダプターに再接続し、フラッシュ電源モジュール・ケーブルをキャッシュ・カードに接続します。
- ステップ6. サーバーに I/O ブックを再取り付けします。
- ステップ7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
- ステップ8. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

システム・バッテリーの取り外し

システム・バッテリーの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

以下の注では、バッテリーの交換時に考慮すべき事項について説明します。

- Lenovo は安全性を考慮してこの製品を設計しました。リチウム・バッテリーは適切に取り扱い、危険を避ける必要があります。バッテリーを交換するときは、以下の指示に従ってください。

注：米国の場合、バッテリーの廃棄に関しては、1-800-IBM-4333 に電話してください。

- オリジナルのリチウム・バッテリーを、重金属バッテリーまたは重金属コンポーネントを含むバッテリーに交換する場合、以下の環境上の考慮事項に配慮する必要があります。重金属を含むバッテリーおよび蓄電池は、通常のごみと一緒に廃棄しないでください。製造者、流通業者、または販売代理人によって無料で回収され、再利用されるか、正しい方法で廃棄されます。
- 交換用バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-IBM-SERV に、カナダでは 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、サポート・センターまたは指定のビジネス・パートナーにご連絡ください。

注：バッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻を再設定する必要があります。

安全 2



警告：

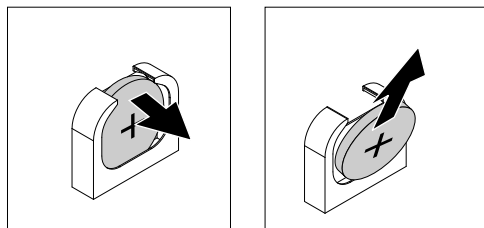
リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

標準 I/O ブック・ボードにあるシステム・バッテリーを取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーから標準 I/O ブックを取り外します ([236 ページの「標準 I/O ブックの取り外し」](#) を参照)。
- ステップ 4. 標準 I/O ブックのボードからバッテリーを取り外します。
 - a. バッテリーを指で水平方向に押して、ハウジングから引き出します。



- b. 親指と人差し指を使用してバッテリーをソケットから持ち上げます。
- ステップ 5. バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。詳細については、『[環境通知とユーザズ・ガイド](#)』を参照してください。

システム・バッテリーの交換

システム・バッテリーの交換方法については、以下の情報を参照してください。

以下の注では、標準 I/O ブック内でシステム・バッテリーを交換するときを考慮する必要のある事項について説明します。

- 標準 I/O ブック・ボード上のバッテリーを交換する場合、同一メーカーの同一タイプのリチウム・バッテリーと交換する必要があります。

- 交換バッテリーを注文するには、米国内では 1-800-426-7378 に、カナダ内では 1-800-465-7999 または 1-800-465-6666 に電話してください。米国およびカナダ以外では、Lenovo 営業担当員または認定リセラーに電話してください。
- 標準 I/O ブック・ボード上のバッテリーの交換後は、サーバーを再構成し、システム日付と時刻をリセットする必要があります。
- 起こり得る危険を回避するために、以下の安全の注記をお読みになり、それに従ってください。

安全 2



警告：

リチウム・バッテリーを交換する場合は、部品番号 33F8354 またはメーカーが推奨する同等タイプのバッテリーのみを使用してください。システムにリチウム・バッテリーが入ったモジュールがある場合、そのモジュールの交換には同じメーカーの同じモジュール・タイプのみを使用してください。バッテリーにはリチウムが含まれており、適切な使用、扱い、廃棄をしないと、爆発するおそれがあります。次のことはしないでください。

- 水に投げ込む、あるいは浸す
- 100°C (212° F) を超える過熱
- 修理または分解

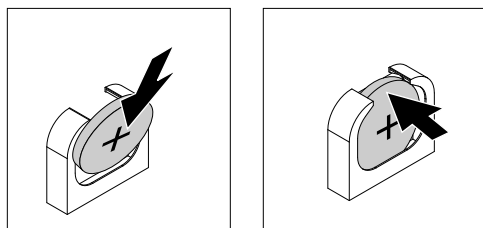
バッテリーを廃棄する場合は地方自治体の条例に従ってください。

標準 I/O ブック・ボードに交換用バッテリーを取り付けるには、以下のステップを実行してください。

ステップ 1. 交換バッテリーに付属している取扱説明書や手順書に従ってください。

ステップ 2. 新しいバッテリーを取り付けます。

- a. 正 (+) 記号が向こう側になるようにバッテリーを置きます。



- b. バッテリーをソケットに入れ、カチッと音がして所定の位置に収まるまでハウジングの方へ押します。バッテリー・クリップにバッテリーがしっかり収まっているか確認します。

ステップ 3. サーバーに 標準 I/O ブック を再取り付けします。

ステップ 4. 外部ケーブルを再接続します。次に電源コードを再接続して、周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

注：サーバーを入力電源に接続した後、約 10 秒待たないと、電源オン・ボタンがアクティブになりません。

ステップ 5. Setup Utility を始動して、構成をリセットします。

1. システムの日付と時刻を設定します。
2. 始動パスワードを設定します。

3. サーバーを再構成します。

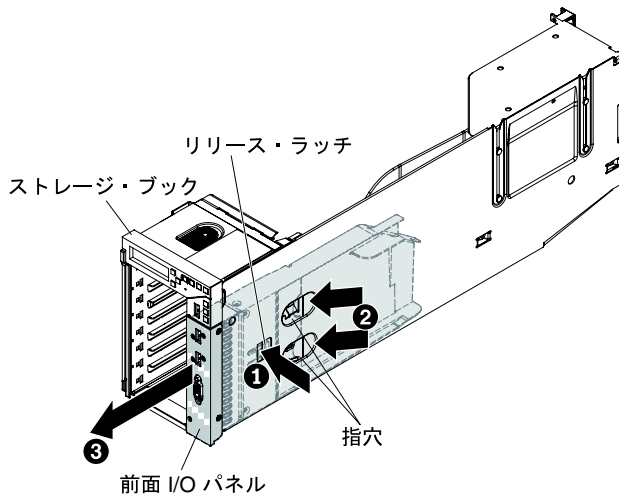
詳しくは、[132 ページの「Setup Utility の使用」](#)を参照してください。

前面 I/O パネル (USB/ビデオ) アセンブリーの取り外し

前面 I/O パネルを取り外す方法については、以下の情報を参照してください。

前面 I/O パネルを取り外すには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します (281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. USB/ビデオ・ケーブルをストレージ・ブック・ボードから切り離します。
- ステップ 5. ストレージ・ブックの右側にあるリリース・ラッチを押し、指穴に 2 本の指を入れて、ストレージ・ブックの前面方向に前面 I/O パネルを慎重にスライドさせて、取り外します。



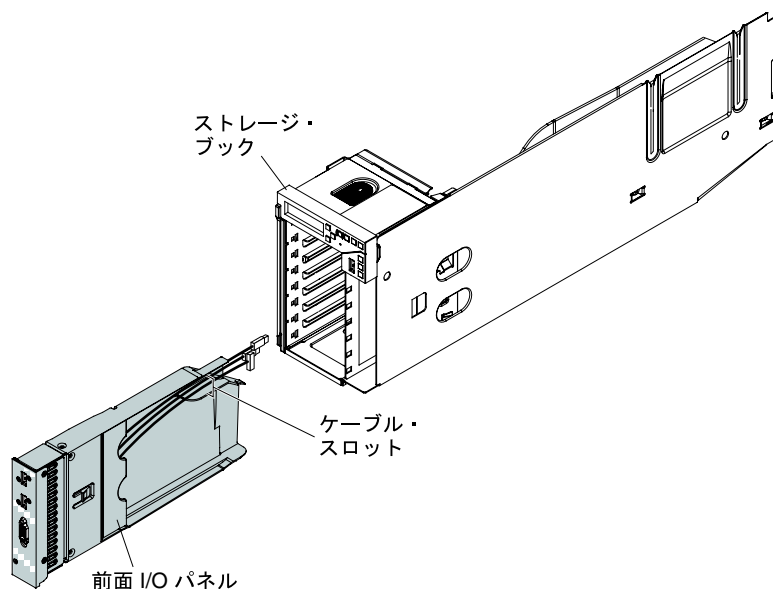
- ステップ 6. 前面 I/O パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

前面 I/O パネル (USB/ビデオ) アセンブリーの交換

前面 I/O パネルを交換する方法については、以下の情報を参照してください。

前面 I/O パネルを取り付けるには、次のステップを実行してください。

- ステップ 1. USB/ビデオ・ケーブルをエアー・バッフルのケーブル・スロットを通して配線して、ケーブルを所定の位置に保持します。
- ステップ 2. ストレージ・ブックの前面からストレージ・ブックのスロットにアセンブリーを位置合わせし、前面 I/O パネルをストレージ・ブックにスライドさせて、確実に固定されますようにします。



ステップ 3. USB/ビデオ・ケーブルをストレージ・ブック・ボードに再接続します。

注：コネクタ上のキーとケーブル上のキーを使用して、ケーブルが正しく取り付けられていることを確認してください。ケーブルを正しく取り付けないと、ストレージ・ブックが損傷する可能性があります。

ステップ 4. サーバーにストレージ・ブックを再取り付けします。

ステップ 5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 6. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

Tier 2 の CRU の取り外しと交換

このトピックでは、Tier 2 CRU の取り外しと交換について説明します。

Tier 2 CRU はお客様ご自身で取り付けることができますが、対象のサーバーに関して指定された保証サービスの種類に基づき、追加料金なしで Lenovo 認定保証サービス提供者に取り付けを依頼することもできます。

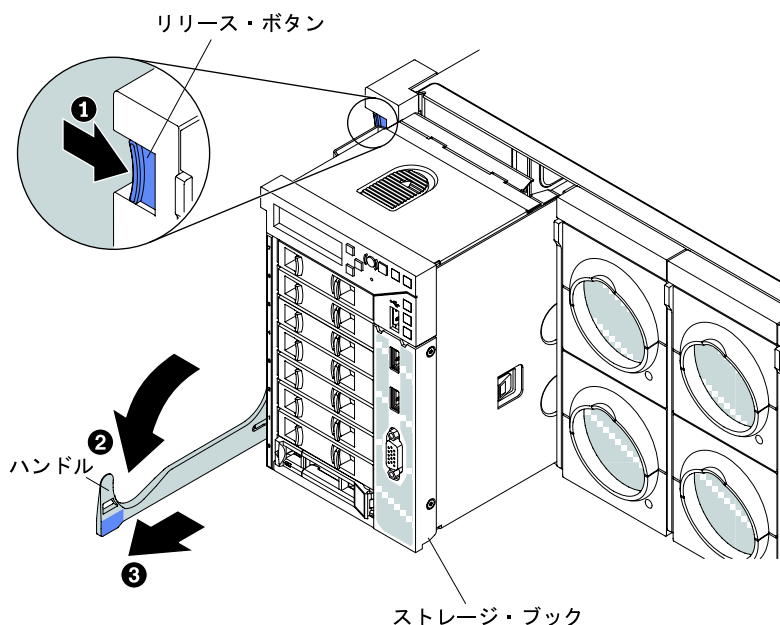
本書の図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

ストレージ・ブックの取り外し

ストレージ・ブックの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

ストレージ・ブックを取り外すには、以下のステップを実行してください。

1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. ストレージ・ブックを取り外します。
4. ストレージ・ブックの左 EIA ベゼルにある青いリリース・ボタンを押して、カム・ハンドルを解放します。次に、ハンドルを止まるまで下げます。



5. ストレージ・ブックをサーバーから引き出します。サーバーから引き出すときに、一方の手をストレージ・ブックの中央の下に置いて支えます。
6. ストレージ・ブック・ボード、ドライブ・バックプレーン、およびサーバーに取り付けられているアダプターから、ケーブルを切り離します。
7. アダプターを取り外します (245 ページの「アダプターの取り外し」を参照)。
8. ストレージ・ブックに格納されているすべてのフラッシュ電源モジュールを取り外します。
9. ストレージ・ブック・ボードを取り外します (283 ページの「ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの取り外し」を参照)。
10. バックプレーンを取り外します (250 ページの「4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの取り外し」および 253 ページの「8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの取り外し」を参照)。
11. 前面オペレーター・パネルを取り外します (285 ページの「前面オペレーター・パネル・アセンブリーの取り外し」を参照)。
12. 前面入出力パネルを取り外します (280 ページの「前面 I/O パネル (USB/ビデオ) アセンブリーの取り外し」を参照)。
13. アセンブリーに返却の指示がある場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

ストレージ・ブックの交換

ストレージ・ブックの交換方法については、以下の情報を参照してください。

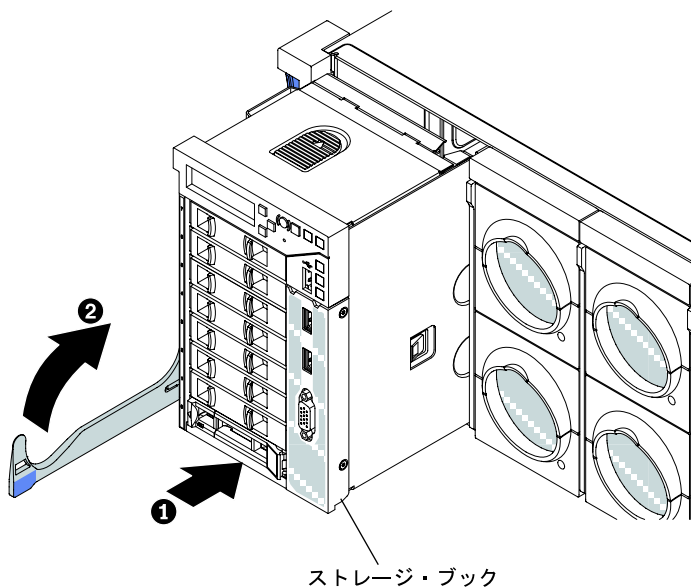
注：

- 追加情報については、27 ページの「ストレージ・ブック」を参照してください。
- このストレージ・ブックの PCIe スロットは、ストレージ・ホスト・バス・アダプターのみをサポートします。これ以外のアダプターをこれらのスロットに取り付けしないでください。これ以外のアダプターは、このストレージ・ブックでサポートされません。
- ストレージ・ブックの PCIe スロット内でアダプターの取り外しまたは追加を行うには、サーバーの電源を切る必要があります。PCIe スロットはホット・スワップ可能ではありません。
- スロット 12 (プライマリー・ストレージ・スロット) はコンピュート・ブック 1 に接続され、スロット 11 (セカンダリー・ストレージ・スロット) はコンピュート・ブック 2 に接続されます。

- このストレージ・ブックの PCIe スロットのみが、ロー・プロファイル RAID アダプターとホスト・バス・アダプターをサポートします。
- 内蔵 RAID アダプターおよびアダプターのバッテリーまたはフラッシュ電源モジュールは、ストレージ・ブック・コンポーネントに取り付けてください。

ストレージ・ブックを交換するには、次の手順で行います。

1. 新規ストレージ・ブックに前面オペレーター・パネルを取り付けます (286 ページの「前面オペレーター・パネル・アセンブリーの交換」を参照)。
2. 前面入出力パネルを再取り付けします (280 ページの「前面 I/O パネル (USB/ビデオ) アセンブリーの交換」を参照)。
3. ドライブ・バックプレーンを再取り付けします (251 ページの「4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーンの交換」および 254 ページの「8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリーの交換」を参照)。
4. ストレージ・ブックのボードを再取り付けします。(284 ページの「ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの交換」を参照)。
5. フラッシュ電源モジュールが取り外されていた場合は、再取り付けします。
6. アダプターを再び取り付けます (98 ページの「標準またはハーフサイズ I/O ブックへのアダプターの取り付け」を参照)。
7. アダプター、ドライブ・バックプレーン、およびストレージ・ブック・ボードにケーブルを再接続します。
8. ストレージ・ブックを再取り付けします。ストレージ・ブックをつかみ、サーバーの前面にあるベイと位置合わせし、ストレージ・ブックをスライドさせてサーバーに入れます。サーバーの中にスライドさせて入れる間、片手をストレージ・ブックの中央の下に置いて支えます。



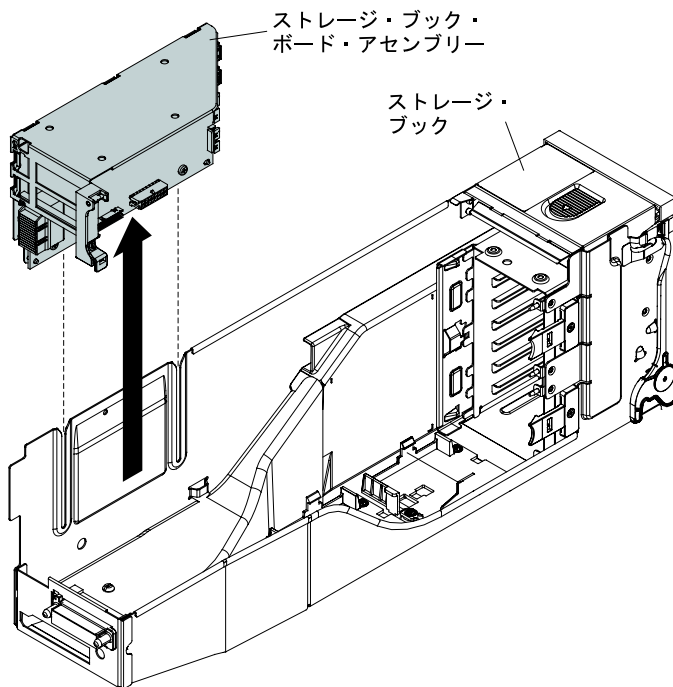
9. カム・ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。
10. ストレージ・ブックを再取り付けします。
11. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
12. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの取り外し

ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーを取り外すには、次の手順で行います。

1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。
2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
3. ストレージ・ブックの左 EIA ベゼルにある青いリリース・ボタンを押して、カム・ハンドルを解放します。次にハンドルを下げます。
4. ストレージ・ブックをサーバーから引き出します。
5. ケーブルをアダプターから切り離します。
6. ケーブルをストレージ・ブック・ボード・アセンブリーから切り離します。
7. アセンブリーを上にはスライドさせて、ストレージ・ブックの-slot から引き出します。



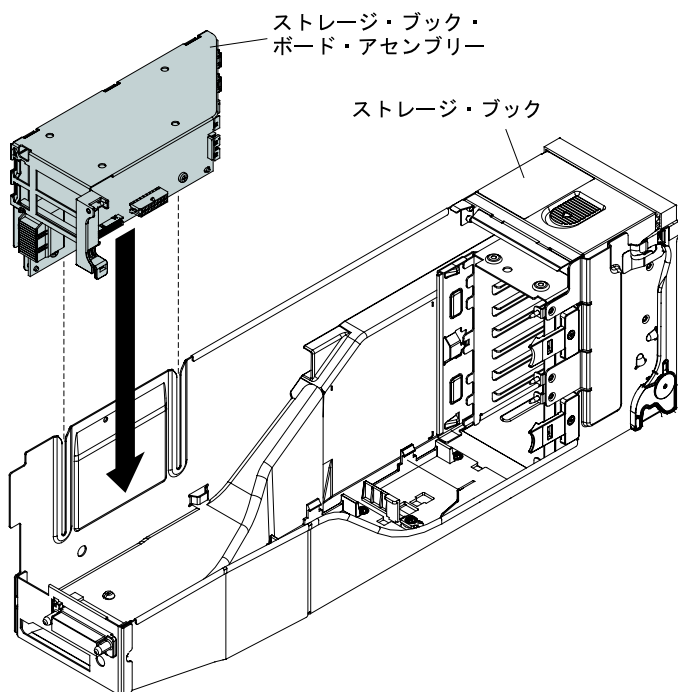
8. アダプター保持レバーを開きます。
9. ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーからアダプターを取り外します ([245 ページの「アダプターの取り外し」](#) を参照)。
10. ボード・アセンブリーの返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの交換

ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの交換方法については、以下の情報を参照してください。

ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーを交換するには、以下のステップを実行します。

1. 新しいストレージ・ブック・ボード・アセンブリーを、ストレージ・ブックの側面のスロットに位置合わせし、所定の位置に確実に固定されるまでボード・アセンブリーを下にはスライドさせます。



2. アダプターを取り付けます (90 ページの「アダプターの取り付け」を参照)。
3. ケーブルをアダプターに接続します。
4. ケーブルをボード・アセンブリーに接続します。
5. アダプター保持レバーを閉じます。
6. ストレージ・ブックをサーバーの I/O ベイと位置合わせし、スライドさせてサーバーに入れます。
7. ストレージ・ブックのカム・ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。
8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
9. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

前面オペレーター・パネル・アセンブリーの取り外し

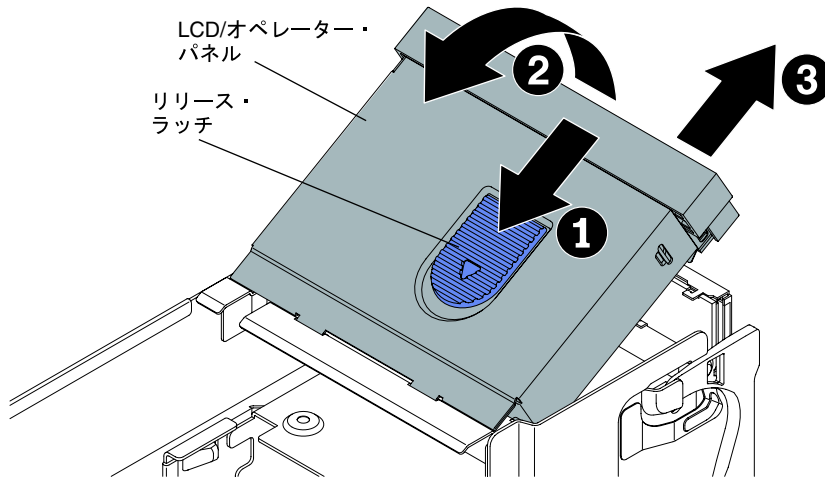
前面オペレーター・パネルの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

前面オペレーター・パネルを取り外すには、次の手順で行います。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します (281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」を参照)。
- ステップ 4. 前面オペレーター・パネルのケーブルをストレージ・ブック・ボードおよび背面エアール・バッフルから切り離します。

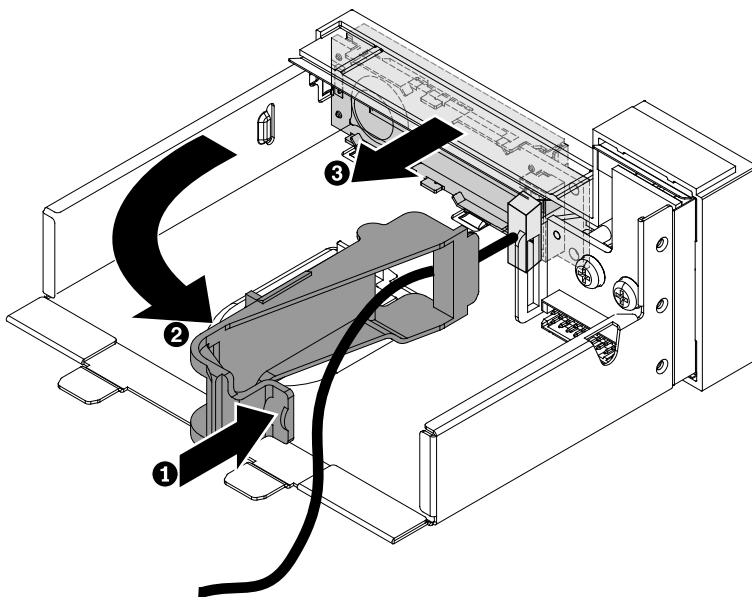
注：ケーブルのプラグのリップ (ケーブルのサーミスター側の端) の下で、プラグをエアール・バッフルから取り外し、新しいアセンブリーに取り付けるために脇に置いておくのに、小型のマイナス・ドライバーの使用が必要になる場合があります。

ステップ5. 前面オペレーター・パネルの上部にある青いリリース・ラッチを後方にスライドさせて、オペレーター・パネルを取り外します。



ステップ6. 前面オペレーター・パネルをひっくり返して、LCD システム情報表示パネルおよび前面オペレーター・パネルのケーブルを切り離します。

ステップ7. 前面オペレーター・パネルを元の位置に戻す場合は、前面オペレーター・パネル・アセンブリーから LCD 表示パネルを取り外します。LCD 保持ラッチのタブをつかみ、右側に引っ張ってラッチを外し、LCD 表示パネルを取り外します。



ステップ8. 前面オペレーター・パネル・アセンブリーの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

前面オペレーター・パネル・アセンブリーの交換

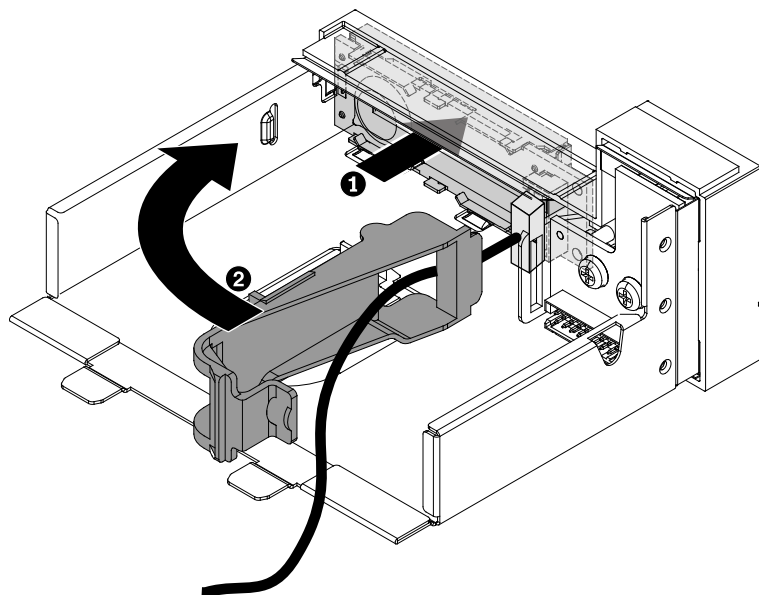
前面オペレーター・パネルの交換方法については、以下の情報を参照してください。

前面オペレーター・パネルを取り付けるには、次の手順で行います。

ステップ1. LCD システム情報表示パネルを前面オペレーター・パネルに再取り付けします。

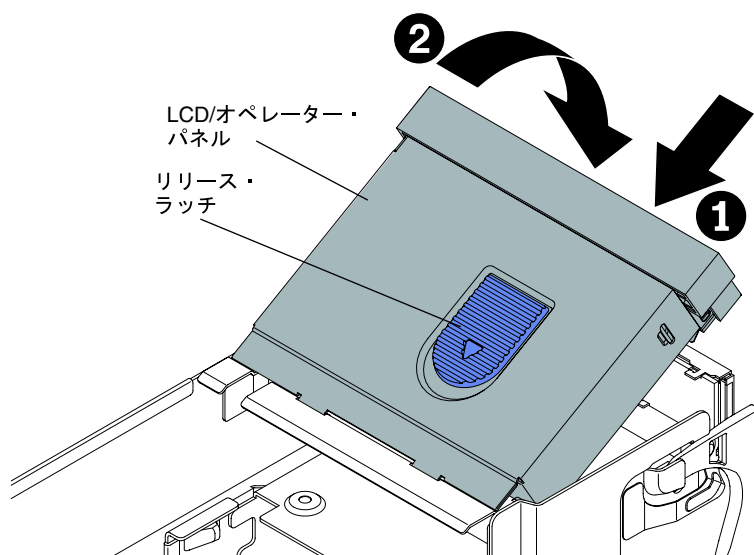
ステップ2. LCD 接続がオペレーター・パネルの LED の横になるように、LCD システム情報表示パネルの向きを合わせます。

ステップ3. LCD 保持ラッチを前面オペレーター・パネル上のスロットと位置合わせしながら、LCD システム情報表示パネルを下におろします。前面オペレーター・パネル上の所定の位置にカチッと音がして収まるまで押し込みます。



ステップ4. LCD 表示パネル・ケーブルを LCD 表示パネルに再接続します。

ステップ5. 前面オペレーター・パネルをストレージ・ブックのスロットと位置合わせして、所定の位置に収まるまで押し込みます。



ステップ6. 前面オペレーター・パネル・ケーブルをストレージ・ブック・ボードおよび背面エアー・バッフルに再接続します。旧アセンブリから取り外したプラグを、新しいエアー・バッフルの背面に再取り付けしていることを確認してください。

ステップ7. ストレージ・ブックを再取り付けします (282 ページの「ストレージ・ブックの交換」を参照)。

ステップ8. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

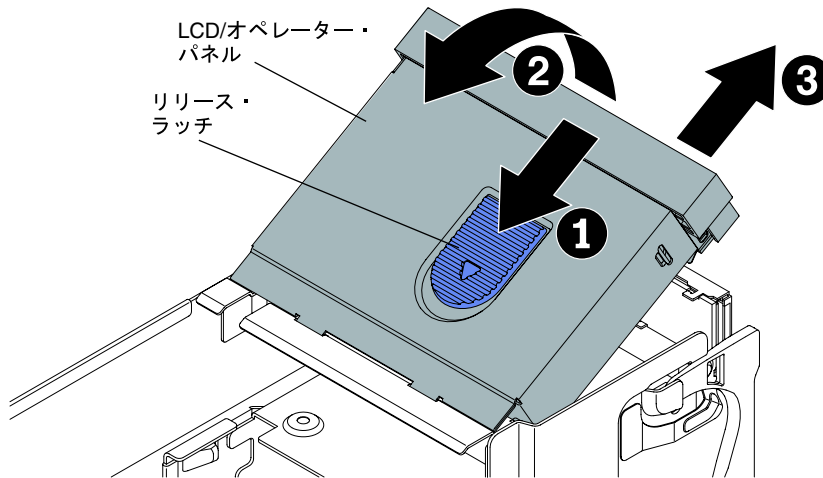
ステップ9. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

LCD システム情報表示パネルの取り外し

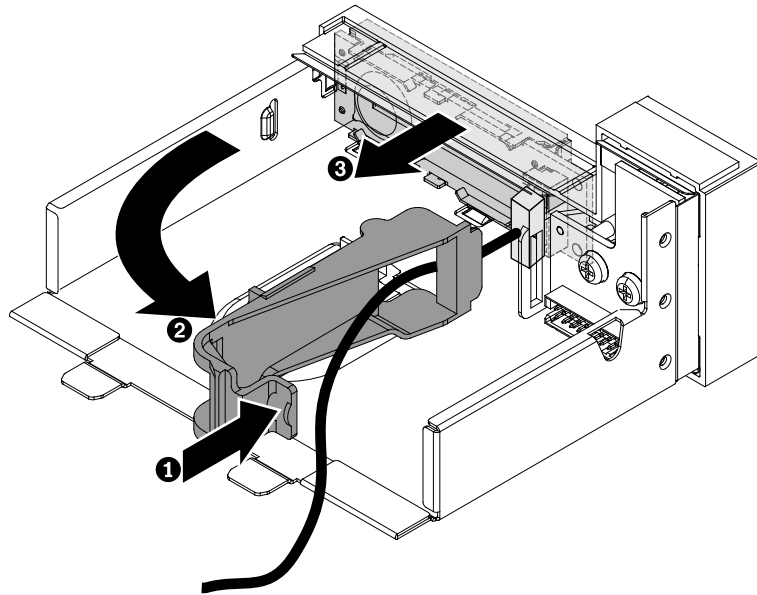
LCD システム情報表示パネルの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

LCD システム情報表示パネルを取り外すには、次の手順で行います。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーからストレージ・ブックを取り外します ([281 ページの「ストレージ・ブックの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ 4. 前面オペレーター・パネル・ケーブルをストレージ・ブック・ボードから切り離します。
- ステップ 5. 前面オペレーター・パネルの上部にある青いリリース・ラッチを後方にスライドさせて、オペレーター・パネルを取り外します。



- ステップ 6. 前面オペレーター・パネルをひっくり返して、LCD システム情報表示パネルのケーブルを LCD 表示パネルから切り離します。
- ステップ 7. LCD 保持ラッチのタブをつかみ、右側に引っ張ってラッチを外し、LCD 表示パネルを取り外します。



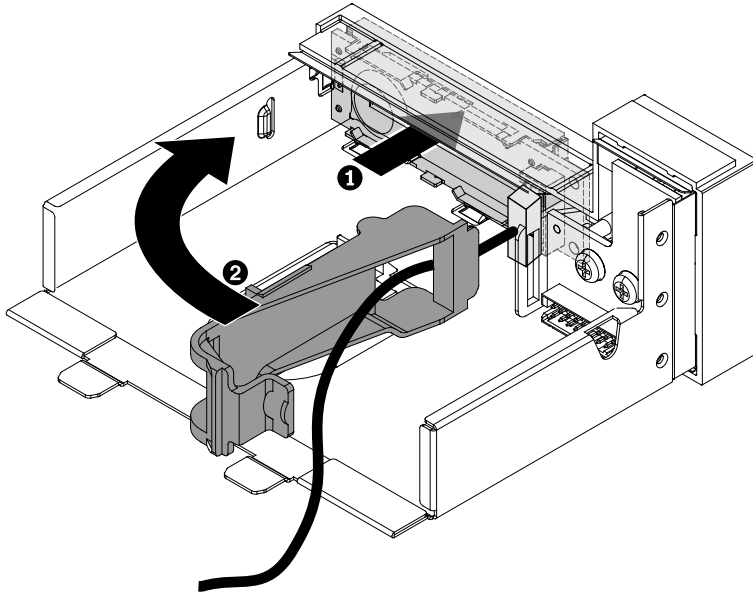
ステップ8. デバイスを返却するよう指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

LCD システム情報表示パネルの交換

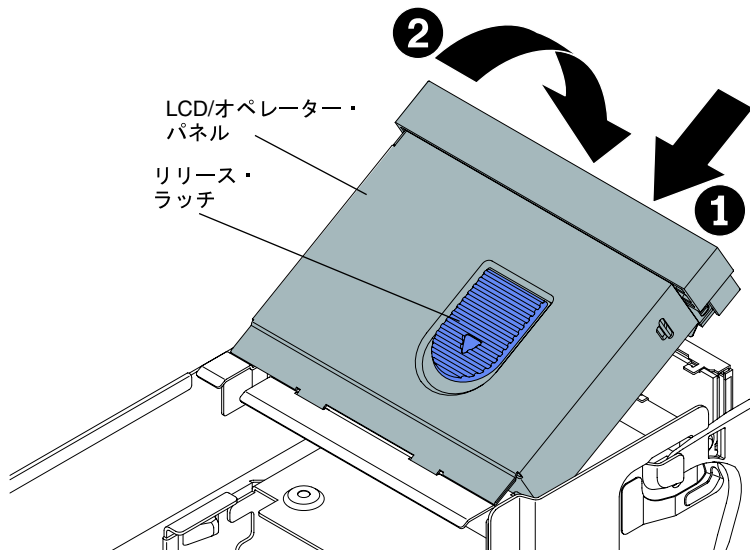
LCD システム情報表示パネルの交換方法については、以下の情報を参照してください。

LCD システム情報表示パネルを取り付けるには、次の手順で行います。

- ステップ 1. LCD 接続がオペレーター・パネルの LED の横になるように、LCD システム情報表示パネルの向きを合わせます。
- ステップ 2. LCD 保持ラッチを前面オペレーター・パネル上のスロットと位置合わせしながら、LCD システム情報表示パネルを下におろし、オペレーター・パネルの所定の位置にカチッと音がして収まるまで押します。



- ステップ 3. LCD 表示パネル・ケーブルを LCD 表示パネルに再接続します。
- ステップ 4. 前面オペレーター・パネルを再取り付けします。



- ステップ 5. 前面オペレーター・パネル・ケーブルをストレージ・ブック・ボードに再接続します。
- ステップ 6. サーバーにストレージ・ブックを再取り付けします。
- ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 8. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

FRU の取り外しと交換

このトピックでは、FRU の取り外しと交換について説明します。

FRU は、トレーニングを受けたサービス技術員のみが交換または取り付ける必要があります。

本書の説明図は、ご使用のハードウェアと多少異なる場合があります。

マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し

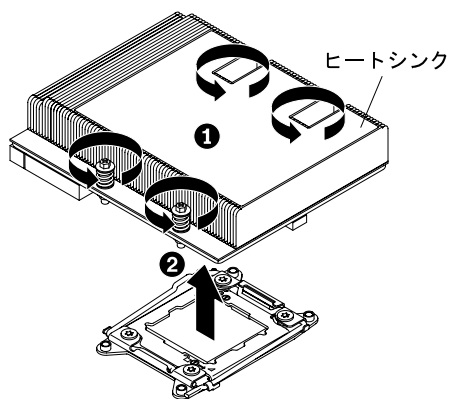
ここでは、マイクロプロセッサおよびヒートシンクの取り外し方法について説明しています。

注意：

- マイクロプロセッサ・ソケット接点は非常に壊れやすいので特に注意してください。
- マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
- マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサの取り外しおよび取り付けを行う際は、新しいマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。
- 速度、コア数、および周波数が同じマイクロプロセッサのみを取り付けるようにしてください。
- マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
- マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールのみを使用してください。他のツールを使用しないでください。
- マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまでは、ツールを使用したり、マイクロプロセッサからカバーを取り外したりしないでください。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外すには、次のステップを行います。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. サーバーから コンピュート・ブック を取り外します。
- ステップ 4. コンピュート・ブック・カバーを取り外します ([234 ページの「コンピュート・ブックのカバーの取り外し」](#)を参照)。
- ステップ 5. 以下の手順で、ヒートシンクを取り外します。
 - a. ドライバーを使用してヒートシンクの片側の拘束ねじを緩め、マイクロプロセッサのシールを破ります。
 - b. ヒートシンク上のすべての拘束ねじを、それぞれのねじがゆるむまで完全に 1 回転させて緩めます。



- c. ヒートシンクをマイクロプロセッサからゆっくり持ち上げます。

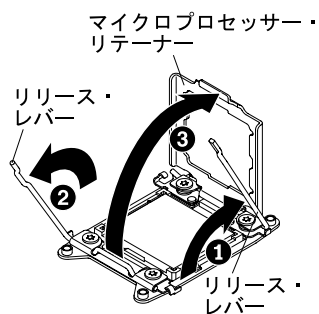
ステップ6. 取り外し後は、ヒートシンクを清潔で平らな面に置きます。

ステップ7. マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーおよびマイクロプロセッサ保持器具を開きます。

注意: マイクロプロセッサ・ソケットのリリース・レバーを持ち上げるのに、ツールや、先がとがった物を使用しないでください。これらを使用すると、ボードに永久的な損傷を与える可能性があります。

- マイクロプロセッサ・ソケット上の2つのリリース・レバーを見付けます。
- 右側のリリース・レバーをソケットに向けて内側に押し下げ、完全に開いた位置まで持ち上げます。次に左側のリリース・レバーをソケットに向けて内側に押し下げ、完全に開いた位置まで開きます。
- 保持器具のタブを上を持ち上げて、マイクロプロセッサ保持器具を開きます。

注意: マイクロプロセッサおよびマイクロプロセッサ・ソケット上の接点には触らないでください。

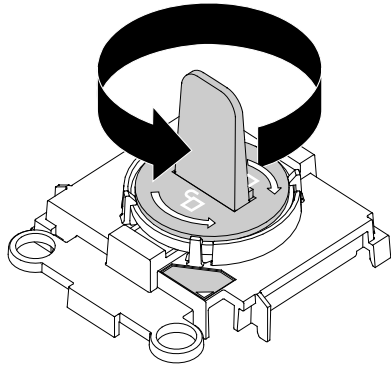


ステップ8. 新しいマイクロプロセッサ・キットに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを見つけてます。空のツールを使用して、障害のあるマイクロプロセッサを取り外します。

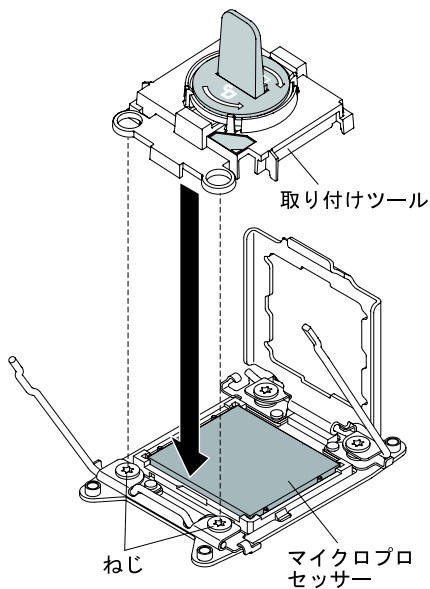
注: マイクロプロセッサ FRU には2つのマイクロプロセッサ取り付けツールが付属しています。1つのツールは空で、1つのツールにはツール下部にマイクロプロセッサとカバーが付いています。

ステップ9. ソケットからマイクロプロセッサを取り外します。

- 空の取り付けツールを使用し、ハンドルが開いた位置になっていることを確認します。ツールのハンドルが開いた位置にない場合は、マイクロプロセッサ取り付けツールのハンドルを左回りに回転させて開いた位置にします。

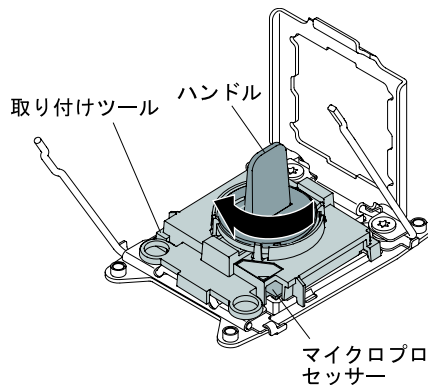


- b. 取り付けツールにある穴とマイクロプロセッサ・ブラケットのねじを位置合わせし、マイクロプロセッサ取り付けツールをマイクロプロセッサの上に引き下げます。取り付けツールは、適切に位置合わせしなければソケット上に平坦に載りません。



- c. 取り付けツールのハンドルを右回りに閉じた位置まで慎重に回転させ、マイクロプロセッサを持ち上げてソケットから取り外します。

ステップ 10. マイクロプロセッサを帯電防止面に置きます。ハンドルを左回りに回転させて、マイクロプロセッサを取り付けツールから取り外します。



ステップ 11. マイクロプロセッサを返却するよう指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。マイクロプロセッサ取り付けツールは返却しないでください。

マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換

ここでは、マイクロプロセッサおよびヒートシンクの交換方法について説明しています。

マイクロプロセッサおよびヒートシンクを交換するには、以下の手順を実行してください。

注意: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う際には、静電気による損傷を避けるための予防処置をとってください。これらの部品の取り扱い方法については、[50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」](#)を参照してください。

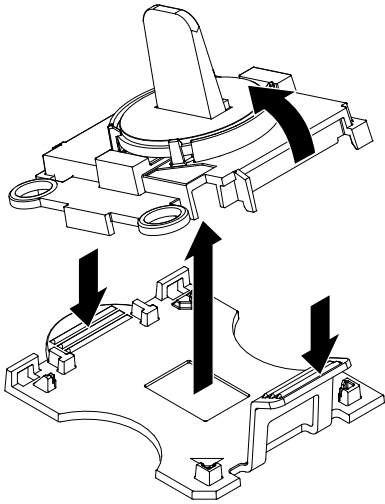
注：

- マイクロプロセッサをサーバーから取り外す際は、新しいマイクロプロセッサ・キットに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールを使用してください。
 - マイクロプロセッサを取り扱う際には、マイクロプロセッサ・ソケット接点部分がとても壊れやすいため、非常に慎重に取り扱ってください。
 - マイクロプロセッサおよびヒートシンクの熱伝導グリースが、何かと接触することのないようにしてください。何らかの面に接触すると、熱伝導グリースおよびマイクロプロセッサ・ソケットが劣化するおそれがあります。
 - マイクロプロセッサ接点には触れないでください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
 - 速度、コア数、および周波数が同じマイクロプロセッサのみを取り付けるようにしてください。
 - マイクロプロセッサの各ソケットには、常にソケット・カバーあるいはマイクロプロセッサとヒートシンクが取り付けられている必要があります。
 - マイクロプロセッサの取り外しや取り付けを行う際は、必ず新しいマイクロプロセッサに付属のマイクロプロセッサ取り付けツールのみを使用してください。他のツールを使用しないでください。
 - マイクロプロセッサ取り付けツールにはあらかじめマイクロプロセッサが取り付けられており、マイクロプロセッサには保護カバーが付いていることがあります。指示があるまでは、ツールを使用したり、マイクロプロセッサからカバーを取り外したりしないでください。
 - このサーバーは、(4U サーバーあたり) 最大 4 台の Intel Xeon デュアルコアまたはクアドコアのマイクロプロセッサをサポートします(各コンピュータ・ブックに 1 つのマイクロプロセッサ)。サポートされるマイクロプロセッサのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。
1. 以下の手順で、マイクロプロセッサを取り付けます。
 - a. マイクロプロセッサ・ソケットのレバーと保持器具が開いた位置にあることを確認します。
 - b. 新しいマイクロプロセッサ・キットが入っているパッケージを開きます。
 - c. マイクロプロセッサ取り付けツール・アSEMBリーをパッケージから慎重に取り出します。

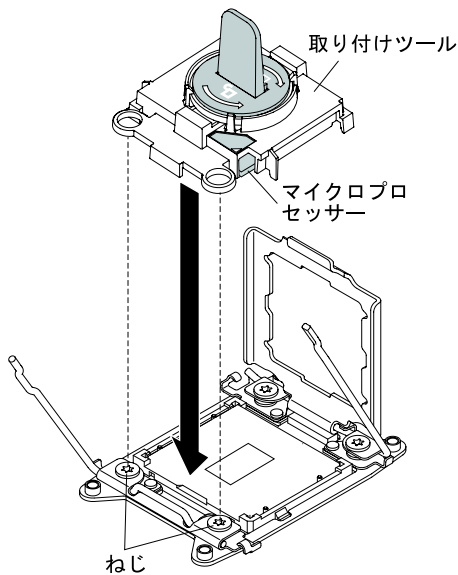
注意：

- マイクロプロセッサ FRU には 2 つのマイクロプロセッサ・ツールが付属しています。1 つのツールは空で、1 つのツールにはツール下部にマイクロプロセッサとカバーが付いています。
- マイクロプロセッサ・ソケットの接点には触れないようにしてください。マイクロプロセッサ接点の皮膚からの油脂などによる汚れは、接点とソケット間の接触不良の原因になることがあります。
- マイクロプロセッサの取り扱いは慎重に行ってください。取り付けあるいは取り外し中にマイクロプロセッサを落とすと接点を傷つけます。
- マイクロプロセッサをソケットに押し込むときには、力を入れすぎないようにしてください。
- レバーを閉じる前に、マイクロプロセッサがソケットの中で正しい方向を向き、位置合わせされ、位置付けられていることを確認してください。

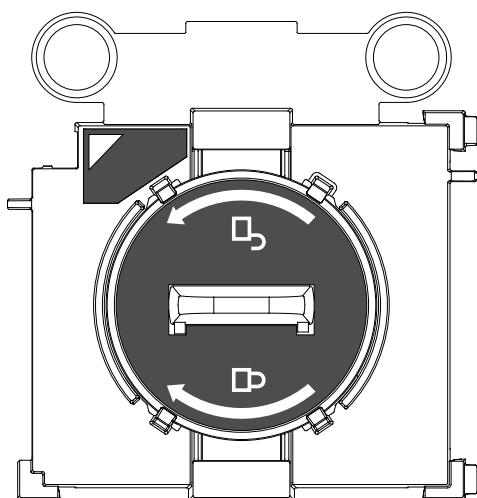
- d. マイクロプロセッサの下部にあるマイクロプロセッサ保護カバーの側面を解放し、取り付けツールからカバーを慎重に取り外します。マイクロプロセッサは、取り付けツールに事前に取り付けられています。



- e. マイクロプロセッサ・ソケットの上で、マイクロプロセッサ取り付けツールを慎重に位置合わせします。マイクロプロセッサには、確実にマイクロプロセッサを正しく取り付けることができるように、切り欠きがあります。

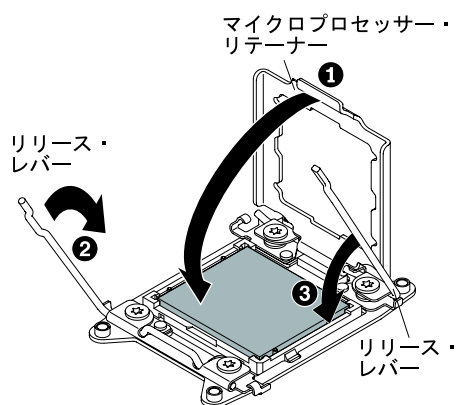


- f. マイクロプロセッサ・ツールのハンドルを左回りに開いた位置まで回転させ (図を参照)、マイクロプロセッサをソケットに挿入します。マイクロプロセッサは、適切に取り付けられなければソケット上に平坦に載りません。

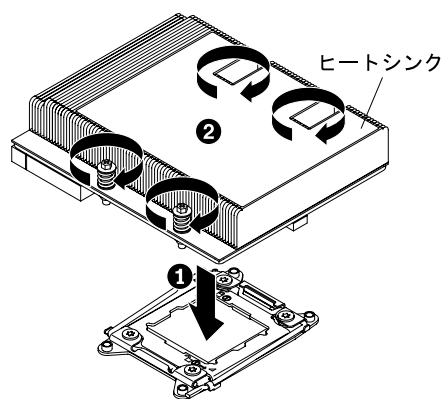


注：

- マイクロプロセッサをソケットに押し込まないでください。
 - ヒートシンクの下部あるいはマイクロプロセッサの上部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。
 - マイクロプロセッサ・ブラケット・フレームを閉じる前に、ソケット内のマイクロプロセッサの方向と位置が正しいことを確認してください。
- g. マイクロプロセッサ取り付けツールをソケットから持ち上げます。
- h. マイクロプロセッサ・ダスト・カバーを取り外します。



- i. マイクロプロセッサ保持器具を閉じます。
- j. マイクロプロセッサ・リリース・レバーを慎重に閉じた位置にして、マイクロプロセッサをソケット内に固定します。必ず左側のリリース・レバーを閉じてから、次に右側のリリース・レバーを閉じてください。
2. 新しいヒートシンクを取り付ける場合は、ヒートシンクの下部からプラスチックの保護カバーを取り外します。以前に取り外したヒートシンクを再取り付けする場合は、ヒートシンクの下部およびマイクロプロセッサの上部に熱伝導グリースが残っていることを確認します。注意：
- 新しいヒートシンクを取り付ける場合、プラスチックのカバーを取り外した後は、ヒートシンクを下に置かないでください。
 - ヒートシンクの下部にある熱伝導グリースに触れないでください。熱伝導グリースに触ると、品質が劣化します。
- a. マイクロプロセッサの上にヒートシンクを持っていきます。ヒートシンクには、正しく位置合わせするための切り欠きがあります。
- b. ヒートシンク上のねじを、ヒートシンクの保持モジュールの穴の位置に合わせます。



- c. ヒートシンクの中央をしっかり押してから、拘束ねじをしっかり押し、ヒートシンク・ラベル上に図示されている通りに数字の8のパターンで交互に締めながら、ドライバーでねじを締めます。それぞれのねじを一度に1回転ずつ、交替で締めてください。ねじがきつく締まるまでこのプロセスを繰り返します。ねじを交互に締めるのではなく、一方の側のねじを最初にきつく締めてしまうと、マイクロプロセッサの損傷が生じる場合があります。過度の力でねじを締めすぎないようにしてください。
3. コンピュート・ブック・カバーを再取り付けします (235 ページの「[コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)」を参照)。
4. サーバーにコンピュータ・ブック を再取り付けします。
5. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。
6. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

熱伝導グリース

このトピックでは、マイクロプロセッサ上の汚染した熱伝導グリースを交換する方法を示しています。

ヒートシンクをマイクロプロセッサ上部から取り外して再利用する場合、またはグリースにごみが付いている場合は、必ず熱伝導グリースを交換してください。

ヒートシンクを、取り外したときと同じマイクロプロセッサに取り付ける場合は、以下の要件が満たされていることを確認します。

- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上の熱伝導グリースが汚れていない。
- ヒートシンクおよびマイクロプロセッサ上に既に付いている熱伝導グリースに、熱伝導グリースを追加していない。

注:

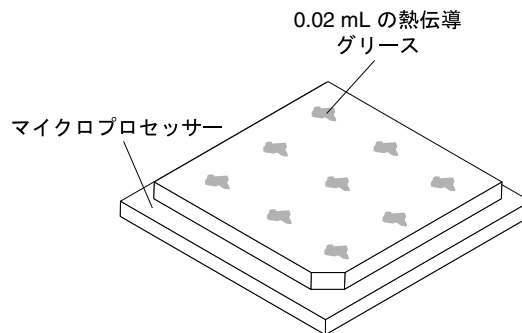
- [v ページの「安全について」](#) ページの安全情報をお読みください。
- [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- [50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」](#)をお読みください。

マイクロプロセッサとヒートシンクの黒ずんだり汚れている熱伝導グリースを交換するには、次のステップを実行してください。

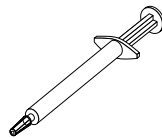
1. ヒートシンクを清潔な作業台に置きます。
2. クリーニング・パッドをパッケージから取り出し、完全に広げます。
3. クリーニング・パッドで、ヒートシンクの底に付いた熱伝導グリースをふき取ります。

注：すべての熱伝導グリースが除去されたことを確認してください。

4. クリーニング・パッドのきれいな部分を使って、マイクロプロセッサから熱伝導グリースを拭き取ります。熱伝導グリースがすべて除去された後で、クリーニング・パッドを廃棄してください。



5. 熱伝導グリースの注射器を使用して、マイクロプロセッサの上部に、等間隔の9カ所に点状に0.02 mL ずつグリースを配置します。最も外側のドットをマイクロプロセッサの端から約5 mm 内に置く必要があります。これは、グリースを均等に配置するためです。



注：グリースを適切に塗ると、注射器には約半分のグリースが残ります。

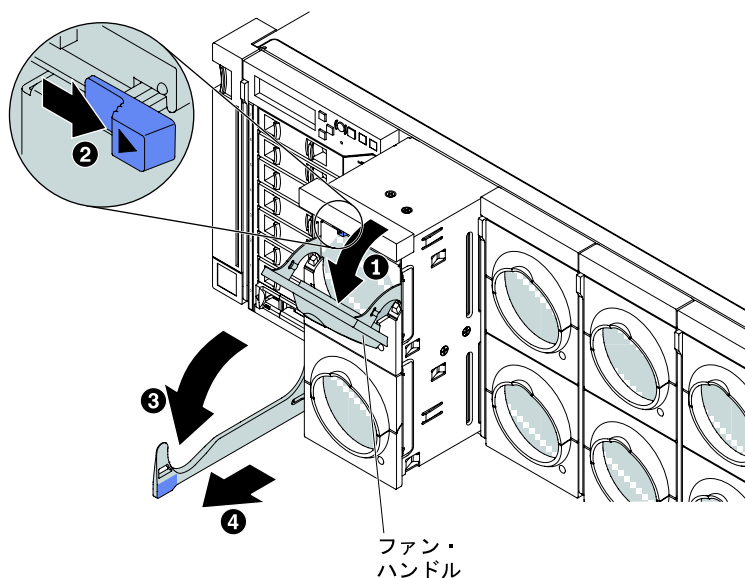
6. ヒートシンクをマイクロプロセッサに取り付けます ([295 ページの「マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換」](#)を参照)。

コンピュータ・ブックの取り外し

このトピックでは、コンピュータ・ブックを取り外す方法について説明します。

コンピュータ・ブックを取り外すには、以下のステップを実行してください。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、v ページの「安全について」、および 48 ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし (45 ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを取り外します。それから、デバイスを交換するための必要に応じて、すべての外部ケーブルを取り外します。
- ステップ 3. 上部のファン・ハンドルを下に引いて、ファンの上にある青いリリース・ラッチを右にスライドさせて、コンピュータ・ブックのカム・ハンドルを解放します。
- ステップ 4. カム・ハンドルを止まるまで下に回転させ、モジュールをサーバーから引き出します。サーバーから引き出すときに、一方の手をコンピュータ・ブックの中央の下に置いて支えます。



- ステップ 5. コンピュータ・ブック・カバーを取り外します。両方の青いタッチ・ポイントを押し、コンピュータ・ブックの背面方向にカバーをスライドさせます。
- ステップ 6. マイクロプロセッサおよびヒートシンクを取り外します (292 ページの「マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し」を参照)。
- ステップ 7. DIMM を取り外します (254 ページの「メモリー・モジュールの取り外し」を参照)。
- ステップ 8. ファンを取り外します (267 ページの「ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し」を参照)。

コンピュータ・ブックの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

コンピュータ・ブックの交換

ここでは、コンピュータ・ブックの交換方法を説明しています。

注：特に指定がない限り、本書に記載されている情報とインストール手順は、サーバーの 4 ソケット構成と 8 ソケット構成の両方に適用されます。本書に記載されている図のほとんどは、サーバーの 4 ソケット構成を示します。

下記は、コンピュータ・ブックをサーバーに取り付ける際に考慮する必要のある注意と情報です。

- コンピュータ・ブックは、(サーバーの前面に向かって)左から右に取り付ける必要があります。
- 4ソケット(x3850 X6)サーバーに少なくとも2つのコンピュータ・ブックを取り付ける必要があります。
- 8ソケット(x3950 X6)サーバーに少なくとも4つのコンピュータ・ブックを取り付ける必要があります。
- 各コンピュータ・ブックには、少なくとも1つのマイクロプロセッサと1つのDIMMが取り付けられていなければなりません。
- 4ソケット(x3850 X6)サーバーは、2つまたは4つのコンピュータ・ブック構成をサポートします。これらの構成のみがサポートされます。以下の表では、サポートされているコンピュータ・ブック構成の取り付け順序をリストします。

表 58. 4ソケット・サーバーの2コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序

コンピュータ・ブック	ベイ 1	ベイ 2	ベイ 3	ベイ 3
1	コンピュータ・ブック 1			
2		コンピュータ・ブック 2		

表 59. 4ソケット・サーバーの4コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序

コンピュータ・ブック	ベイ 1	ベイ 2	ベイ 3	ベイ 4
1	コンピュータ・ブック 1			
2		コンピュータ・ブック 2		
3			コンピュータ・ブック 3	
4				コンピュータ・ブック 4

- 8ソケット(x3950 X6)サーバーは、4つ、6つ、または8つのコンピュータ・ブック構成をサポートします。これらの構成のみがサポートされます。以下の表では、サポートされているコンピュータ・ブック構成の取り付け順序をリストします。

表 60. 8ソケット・サーバーの4コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序

コンピュータ・ブック	上部ノード (ベイ 1)	上部ノード (ベイ 2)	上部ノード (ベイ 3)	上部ノード (ベイ 4)	下部ノード (ベイ 1)	下部ノード (ベイ 2)	下部ノード (ベイ 3)	下部ノード (ベイ 4)
1	コンピュータ・ブック 1							
2		コンピュータ・ブック 2						

表 60. 8 ソケット・サーバーの 4 コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序 (続き)

コン ピュー ト・ブッ ク	上部ノー ド (ベイ 1)	上部ノー ド (ベイ 2)	上部ノー ド (ベイ 3)	上部ノー ド (ベイ 4)	下部ノー ド (ベイ 1)	下部ノー ド (ベイ 2)	下部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)
3					コン ピュー ト・ブッ ク 3			
4						コン ピュー ト・ブッ ク 4		

表 61. 8 ソケット・サーバーの 6 コンピュータ・ブック構成の場合の取り付け順序

コン ピュー ト・ブッ ク	上部ノー ド (ベイ 1)	上部ノー ド (ベイ 2)	上部ノー ド (ベイ 3)	上部ノー ド (ベイ 4)	下部ノー ド (ベイ 1)	下部ノー ド (ベイ 2)	下部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)
1	コン ピュー ト・ブッ ク 1							
2		コン ピュー ト・ブッ ク 2						
3					コン ピュー ト・ブッ ク 3			
4						コン ピュー ト・ブッ ク 4		
5							コン ピュー ト・ブッ ク 5	
6								コン ピュー ト・ブッ ク 6

表 62. 8 ソケット・サーバーの 8 コンピュート・ブック構成の場合の取り付け順序

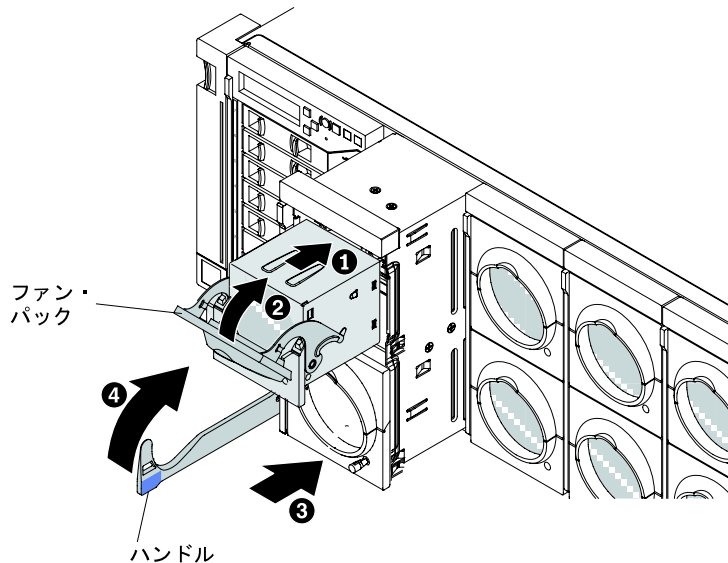
コン ピュー ト・ブッ ク	上部ノー ド (ベイ 1)	上部ノー ド (ベイ 2)	上部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)	下部ノー ド (ベイ 1)	下部ノー ド (ベイ 2)	下部ノー ド (ベイ 3)	下部ノー ド (ベイ 4)
1	コン ピュー ト・ブッ ク 1							
2		コン ピュー ト・ブッ ク 2						
3			コン ピュー ト・ブッ ク 3					
4				コン ピュー ト・ブッ ク 4				
5					コン ピュー ト・ブッ ク 5			
6						コン ピュー ト・ブッ ク 6		
7							コン ピュー ト・ブッ ク 7	
8								コン ピュー ト・ブッ ク 8

- コンピュート・ブックの詳細については、33 ページの「コンピューター・ブック」を参照してください。DIMM の取り付けに関する詳細については、50 ページの「メモリー・モジュールの取り付け」を参照してください。
- サポートされるデバイスのリストについては、<http://www.lenovo.com/serverproven/> を参照してください。

コンピューター・ブックを取り付けるには、次の手順で行います。

- ステップ 1. マイクロプロセッサとヒートシンクを新しいコンピューター・ブックに再取り付けします (295 ページの「マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換」を参照)。
- ステップ 2. DIMM を再び取り付けます (255 ページの「メモリー・モジュールの交換」を参照)。
- ステップ 3. コンピューター・ブック・カバーを元の位置に戻します。コンピューター・ブックの背面にカバーを位置合わせして、所定の位置に固定されるまで前方に (コンピューター・ブックの前面方向に) スライドさせます。
- ステップ 4. ファンを再取り付けします (268 ページの「ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換」を参照)。

ステップ 5. コンピュート・ブックをサーバーのスロットと位置合わせし、スライドさせてサーバーに入れます。サーバーの中にスライドさせて入れる間、片手をコンピュート・ブックの中央の下に置いて支えます。



ステップ 6. カム・ハンドルを止まるまで上に回転させ、所定の位置にロックされるまでサーバーに押し込みます。

ステップ 7. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ 8. 周辺デバイスとサーバーの電源をオンにします。

750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し

このトピックでは、750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し方法について説明します。

750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源を取り外す場合は、以下の予防措置を順守してください。

安全 8



警告：

電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。



このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部に、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

安全 31:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線された電源に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、デバイスのカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

1. 本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
2. 信号ケーブルを製品に接続します。
3. 電源コードを製品に接続します。
 - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
 - DC システムの場合、-48 V DC 接続の正しい極性であることを確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。アース接地には、安全のために 2 つ穴ラグを使用する必要があります。
4. 信号ケーブルを他のデバイスに接続します。
5. 電源コードを電源に接続します。
6. すべての電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

1. 本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
 - AC システムの場合は、AC 電力配分装置で電源を遮断するため、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外します。
 - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を切断するか、電源をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
2. 信号ケーブルをコネクタから取り外します。
3. すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源を取り外すには、以下のステップを実行します。

ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#) をお読みください。

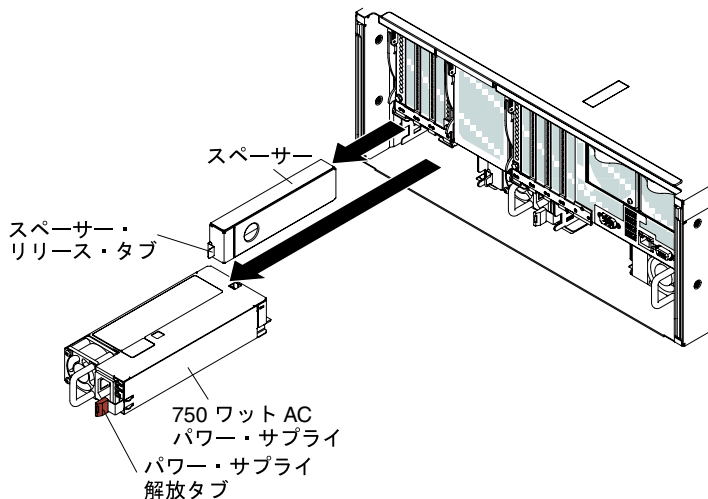
ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#) を参照)、電源のケーブルを除く周辺機器のケーブルを取り外します。サーバーからすべての外部ケーブルを切り離します。

注意: 静電気の影響を受けやすい部品を取り扱う場合、静電気により損傷を受けないように注意してください。これらの部品の取り扱い方法については、[50 ページの「静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い」](#) を参照してください。

ステップ 3. 電源の回路ブレーカー (複数の場合もあり) の電源をオフにします。

ステップ 4. サーバーがラックに取り付けられている場合は、サーバーの背面から、ケーブル管理アームを引いて、サーバー背面および電源にアクセスできるようにします。

ステップ 5. オレンジ色のリリース・タブを左に向かって押したままにします。電源ハンドルをつかんで電源をサーバーから引き出します。



ステップ 6. 電源から DC 電源ケーブルを取り外します。

ステップ 7. 新規の電源を取り付けない場合は、ベイに電源フィルターを再び取り付けます。

ステップ 8. サーバーの背面から、電源スペーサー上のスペーサー・リリース・タブを右に引き、指を使ってスペーサー側面の穴をつかみ、電源スペーサーをスライドさせてサーバーから引き抜きます。

注：スペーサーを取り外す必要があるのは、750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源または 900 ワットの電源をすべてサーバーから取り外し、1400 ワットの電源を取り付ける場合のみです。

ステップ 9. 電源スペーサーを脇に置いておきます。

ステップ 10. 電源の返却を指示された場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換

このトピックでは、750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換方法について説明します。

以下の注意書きでは、750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源を取り付ける際に考慮する必要がある事項について説明します。取り付ける電源をサーバーがサポートしていることを確認するには、<http://www.lenovo.com/serverproven/>を参照してください。

注意:

- 以下の情報は、4 ソケット・サーバーと 8 ソケット・サーバーの両方に適用されます。
- 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源の取り付けと取り外し、および 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源への接続およびここからの切り離しは、Lenovo サービス技術員以外の訓練を受けたサービス担当員のみ許可されています。
- Lenovo サービス技術員は、750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源ケーブルの取り付けまたは取り外しを認定もしくは許可されていません。-48 V から -60 V の DC 電源ケーブルの取り付けまたは取り外しは訓練を受けたサービス技術員のみが行うように、お客様の責任でご手配ください。
- 750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源を取り付ける際には、感電あるいは電力災害のリスクを減らすために、次の手順に従ってください。
 - 定格 40 アンペアの回路ブレーカーを使用します。
 - 4 mm² (10 AWG) 60° C 銅線を使用します。
 - 電源ケーブルを正しい長さに切断します。ただし、150 mm より短く切断しないでください。
 - 配線端子ねじを 0.50 から 0.60 ニュートンメートル (4.43 から 5.31 インチ・ポンド) のトルクで締めてください。

- 4つの750ワット、-48 DC電源は、サーバーがサポートする唯一の750ワット、-48ボルトのDC電源構成です(4ソケット・ノードごとに)。
- サーバーに電源を取り付けるときに考慮する必要があるその他の注意および情報については、108ページの「電源の取り付け」を参照してください。

安全 8



警告：
電源または次のラベルが貼られている部分のカバーは決して取り外さないでください。

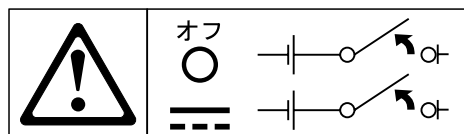


このラベルが貼られているコンポーネントの内部には、危険な電圧、強い電流が流れています。これらのコンポーネントの内部に、保守が可能な部品はありません。これらの部品に問題があると思われる場合は、サービス技術員に連絡してください。

安全 19:



警告：
デバイスの電源制御ボタンは、デバイスに供給されている電流をオフにするものではありません。デバイスには、DC電源への複数の接続がある場合もあります。デバイスから完全に電気を取り除くにはDC電源入力端子からすべてのDC電源接続を切り離してください。



安全 31:



危険

電源ケーブルや電話線、通信ケーブルからの電流は危険です。

感電を防ぐために次の事項を守ってください。

- 雷雨の間はケーブルの接続や切り離し、または本製品の 設置、保守、再構成を行わないでください。
- すべての電源コードは、正しく配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ご使用の製品に接続するすべての装置は、正しく配線された電源に接続してください。
- 信号ケーブルの接続または切り離しは可能なかぎり片手で行ってください。
- 火災、水害、または建物に構造的損傷の形跡が見られる場合は、どの装置の電源もオンにしないでください。
- 取り付けおよび構成手順で特別に指示される場合を除き、デバイスのカバーを開く場合は、その前に、接続されている AC 電源コード、DC 電源、ネットワーク接続、通信システム、およびシリアル・ケーブルを必ず切り離してください。
- ご使用の製品または接続されたデバイスの取り付け、移動、またはカバーの取り外しを行う場合には、次の表の説明に従ってケーブルの接続および切り離しを行ってください。

ケーブルの接続手順:

- 1.本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
- 2.信号ケーブルを製品に接続します。
- 3.電源コードを製品に接続します。
 - AC システムの場合は、電気製品用インレットを使用します。
 - DC システムの場合、-48 V DC 接続の正しい極性であることを確認します。RTN は + で、-48 V DC は - です。アース接地には、安全のために 2 つ穴ラグを使用する必要があります。
- 4.信号ケーブルを他のデバイスに接続します。
- 5.電源コードを電源に接続します。
- 6.すべての電源をオンにします。

ケーブルの切り離し手順:

- 1.本製品に接続されるすべての電源および機器の電源をオフにします。
 - AC システムの場合は、AC 電力配分装置で電源を遮断するため、シャーシの電源コンセントからすべての電源コードを取り外します。
 - DC システムの場合は、ブレーカー・パネルで DC 電源を切断するか、電源をオフにします。その上で、DC ケーブルを取り外します。
- 2.信号ケーブルをコネクタから取り外します。
- 3.すべてのケーブルをデバイスから取り外します。

安全 34:



警告:

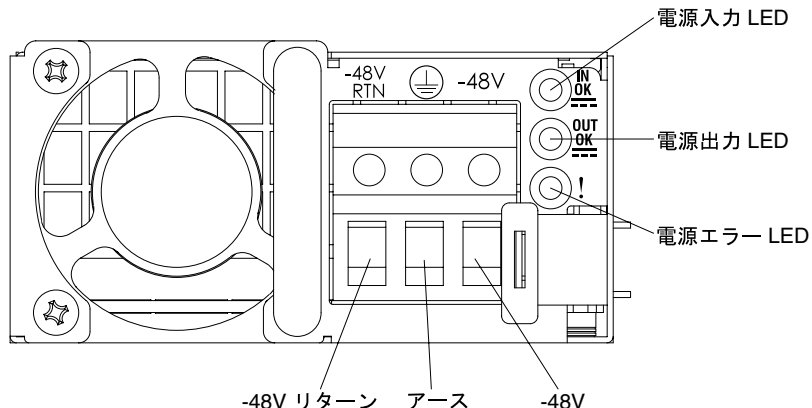
感電のリスクを避けるため次のようにしてください。

- この装置は、訓練を受けたサービス技術員が、NEC および IEC 60950-1 First Edition, The Standard for Safety of Information Technology Equipment で定義されたアクセス制限のある場所に設置する必要があります。
- 装置は適切に接地された safety extra low voltage (SELV) 電源に接続してください。SELV 電源とは、正常時、または単一の障害が発生してもその出力電圧が 60 VDC を超えないように設計された 2 次側の回路です。
- フィールド配線には市販品で容量が十分な切断機を設置してください。
- 分岐回路の過電流保護のために必要な回路ブレーカーの定格については、製品資料に記載の仕様を参照してください。
- 銅線のみを使用してください。必要なワイヤー・サイズについては、製品資料に記載されている仕様を参照してください。
- 配線端子ねじの締め付けトルクに必要な値については、製品資料に記載の仕様を参照してください。

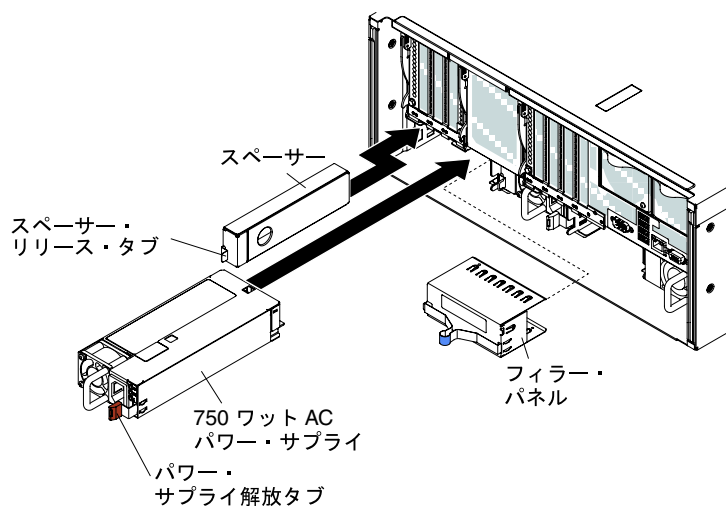
750 ワット、-48 V から -60 V の DC 電源を取り付けるには、以下のステップを実行します。

1. サーバーの塗装されていない金属面に、電源が入っている帯電防止パッケージを触れさせてから、電源をパッケージから取り出し、静電気防止板の上に置きます。
2. DC 電源の回路ブレーカーがオフになっていることを確認します。

- 新しい電源に DC 電源ケーブルを取り付けます。電源ケーブルのワイヤーが -48 V、アース、および -48 V リターン端子 (以下の図に示します) に確実に接続されていることを確認します。



- 電源スペーサーを取り外した場合には、サーバーの背面から、電源ベイの左側に電源スペーサーを (ベイの壁面に沿って) 挿入します。



- 電源スペーサーをスライドさせてベイの中に入れ、ベイの側面にあるタブにはまってカチッと音がするまで押します。
- 電源後部のハンドルをつかみ、電源の前方にスライドして、しっかり収まるまで電源ベイに入れます。電源が電源コネクタにしっかりと接続されていることを確認します。
- 電源コードを面ファスナー付きストラップに通して、誤って抜けないようにします。
- DC 電源の回路ブレーカー (複数の場合もあり) の電源をオンにします。
- 切り離れた外部ケーブルがある場合は、再接続します。
- サーバーおよび周辺デバイスの電源をオンにします。
- サーバーが正常に始動し、新規に取り付けたデバイスを認識すること、およびエラー LED が点灯していないことを確認してください。

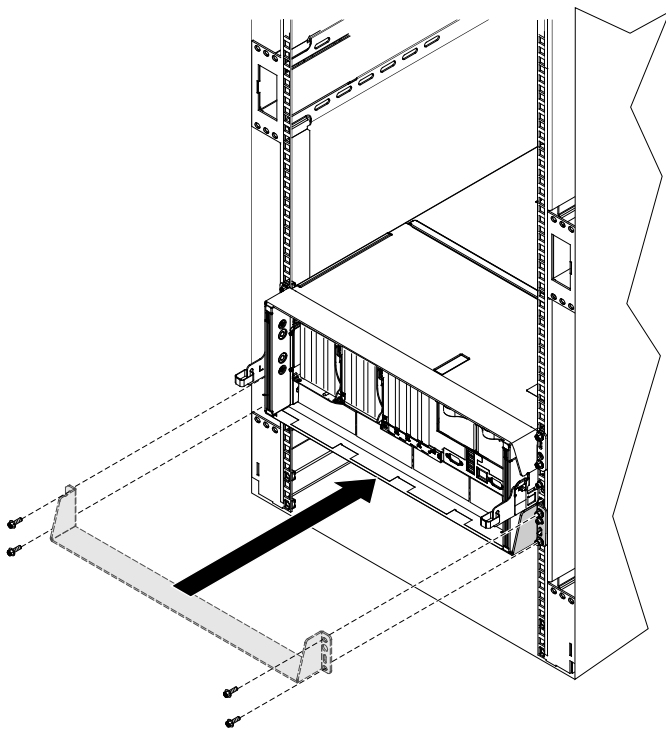
ミッドプレーンの取り外し

シャーシ・ミッドプレーンの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

シャーシ・ミッドプレーンを取り外すには、以下のステップを実行してください。

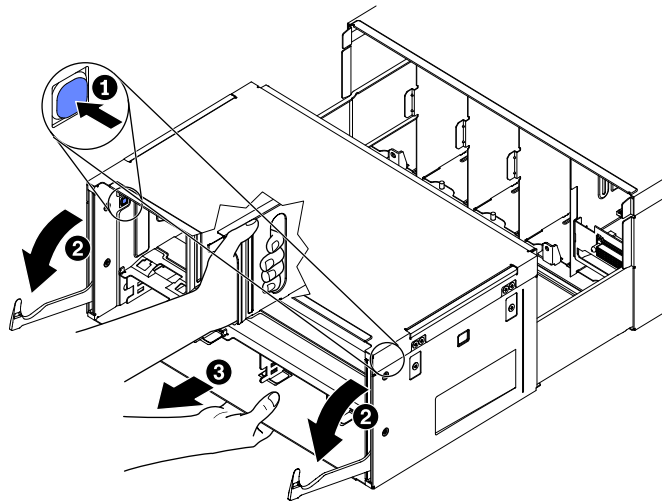
注：特に指定がない限り、このミッドプレーンの取り外し手順は、サーバーの4ソケット構成と8ソケット構成の両方に適用されます。

- ステップ 1. 作業を開始する前に、[v ページの「安全について」](#)、および [48 ページの「取り付け作業上の注意事項」](#)をお読みください。
- ステップ 2. サーバーの電源をオフにし ([45 ページの「サーバーの電源をオフにする」](#)を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ 3. コンピュート・ブック、コンピュート・ブックのフィルター、およびストレージ・ブックをすべて、サーバーの前面から少し引き出します。
- ステップ 4. サーバーの背面からすべてのコンポーネントを取り外します。
- ステップ 5. (オプション) System x3850 X6/x3950 X6 ラック搭載キットまたは交換用ミッドプレーンに付属する下部運送用ブラケットを取り付け、ミッドプレーンの取り外しと交換時にシャトルを支えます。手順については、[Lenovo System x3850 X6/x3950 X6 タイプ 6241 ラック搭載手順](#)を参照してください。

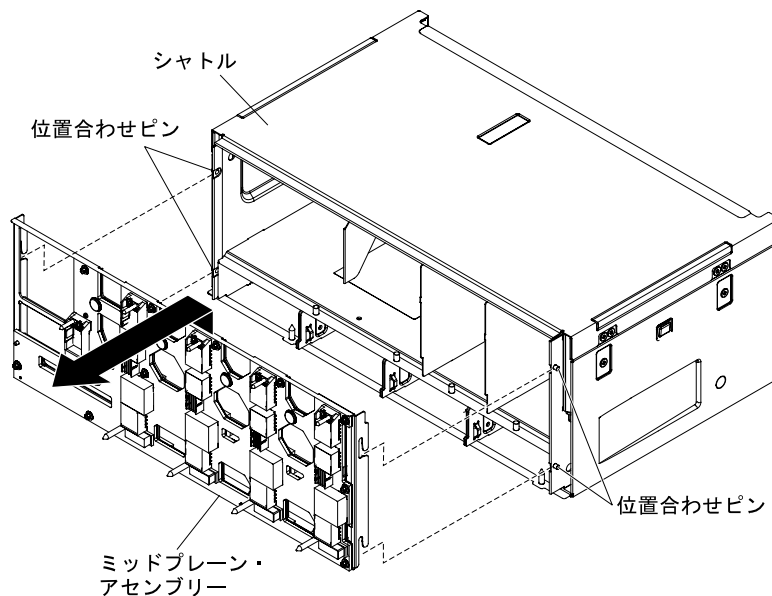


注：ミッドプレーンを交換した後、下部運送用ブラケットはラックに取り付けたままにすることができます。

- ステップ 6. シャトルの内部の壁面にある青いボタンを押して、シャトルのカム・ハンドルを解放し、ハンドルを止まるまで下に回転させます。
- ステップ 7. 一方の手でシャトルの中央にある穴からシャトルをつかみ、もう一方の手でシャトルの下部をつかんで、シャトルをシャーシから引き出します。



ステップ 8. ミッドプレーンを上いっぱいまで持ち上げて(シャトルの位置合わせピンから外し)、ミッドプレーンをシャトルから取り外します。



ミッドプレーンの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

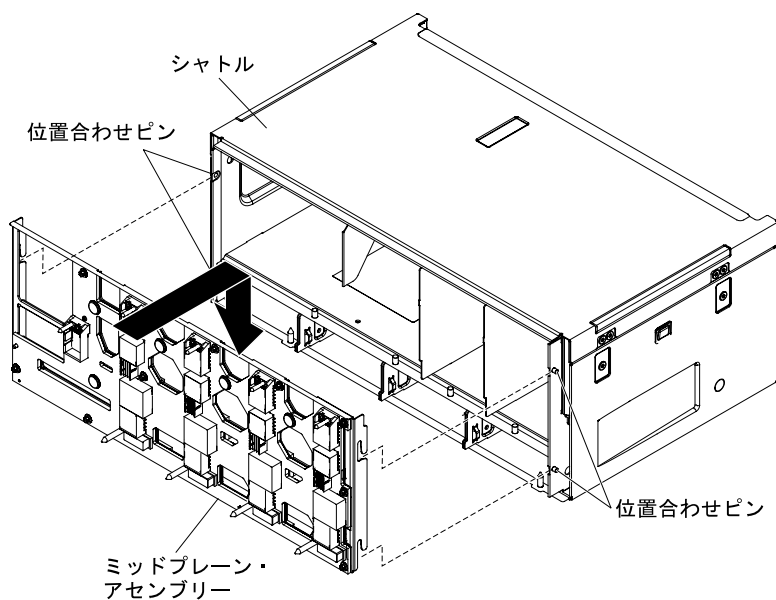
ミッドプレーンの交換

シャーシ・ミッドプレーンの交換方法については、以下の情報を参照してください。

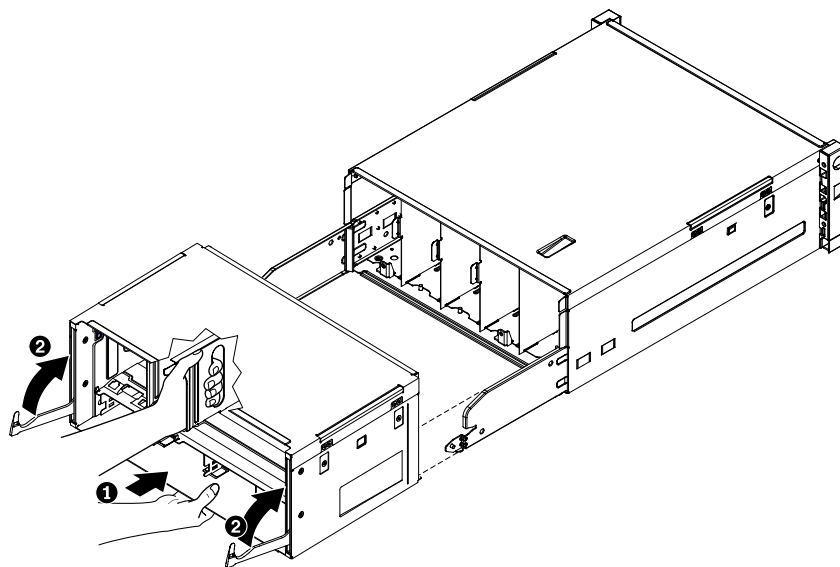
シャーシ・ミッドプレーンを交換するには、以下のステップを実行してください。

注：特に指定がない限り、このミッドプレーンの交換手順は、サーバーの4ソケット構成と8ソケット構成の両方に適用されます。

ステップ 1. ミッドプレーンの側面にあるスロットを、シャトルの位置合わせピンと位置合わせし、ミッドプレーンが所定の位置に収まるまでミッドプレーンをピンの上を下ろします。



ステップ2. 一方の手でシャトルの中央にある穴からシャトルをつかみ、もう一方の手でシャトルの下部をつかんで、シャトルのロットと位置合わせします。次に、確実に収まるまで、シャトルをシャーシに押し込みます。



ステップ3. シャーシ上の所定の位置にロックされるまで、シャトルのカム・ハンドルを上回転させます。

ステップ4. サーバーの背面にすべてのコンポーネントを再取り付けします。

ステップ5. サーバーの前面にあるコンポーネントをスライドさせて、サーバーに戻します。

ステップ6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ7. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

シャトルの取り外し

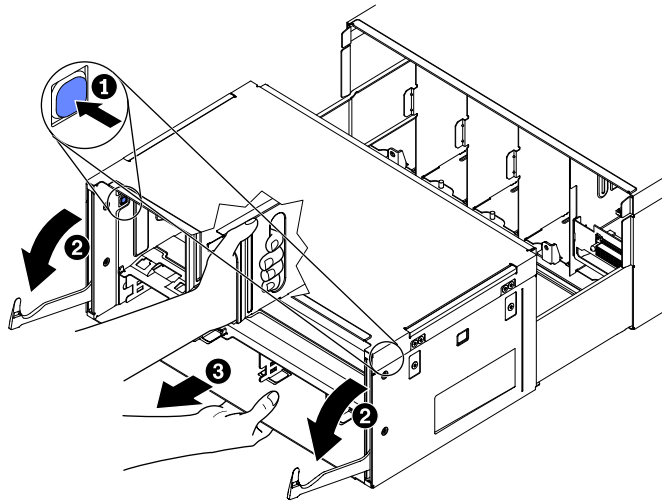
シャーシ・シャトルの取り外し方法については、以下の情報を参照してください。

シャーシ・シャトルを取り外すには、次の手順に従ってください。

- ステップ1. 作業を開始する前に、vページの「安全について」、および48ページの「取り付け作業上の注意事項」をお読みください。
- ステップ2. サーバーの電源をオフにし(45ページの「サーバーの電源をオフにする」を参照)、接続されたすべての周辺機器の電源をオフにします。すべての電源コードを外してから、すべての外部ケーブルをサーバーから外します。
- ステップ3. サーバーの前面にあるすべてのコンポーネントを少し引き出します。
- ステップ4. サーバーの背面からすべてのコンポーネントを取り外します。
- ステップ5. シャトルを取り外します。

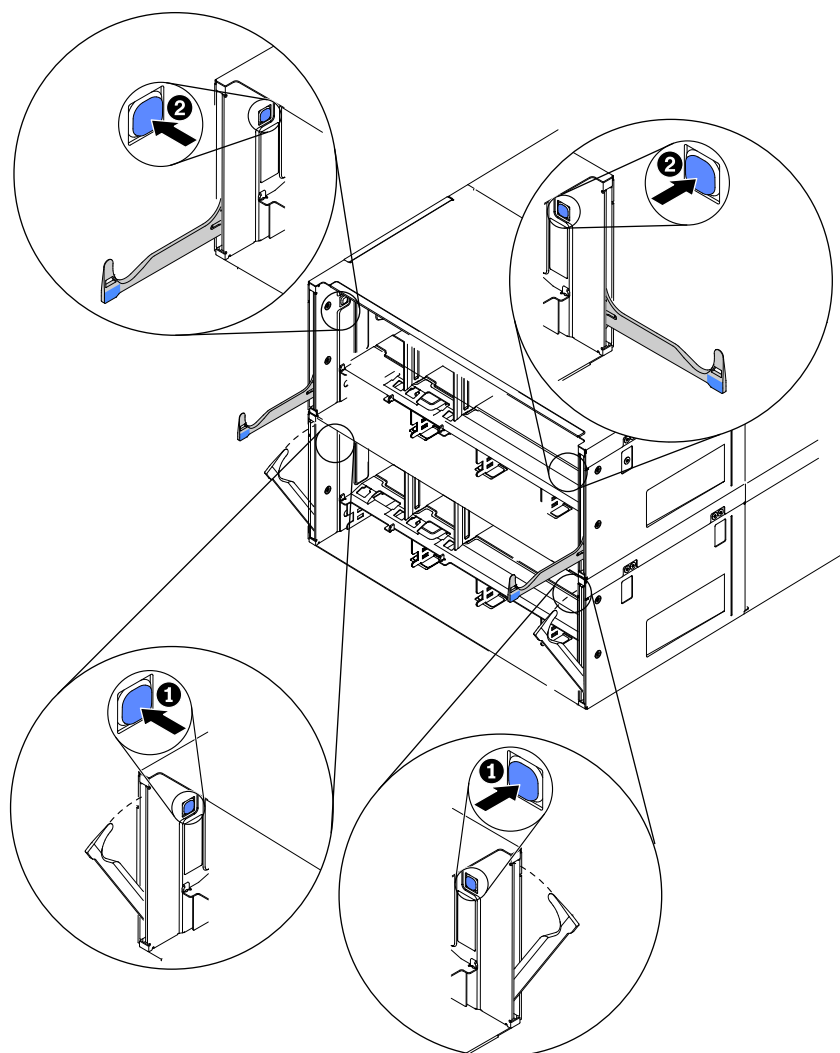
● 4U サーバー構成の場合は、以下を行います。

1. シャトルの内部の壁面にある青いボタンを押して、シャトルのカム・ハンドルを解放し、ハンドルを止まるまで下に回転させます。
2. 一方の手でシャトルの中央にある穴からシャトルをつかみ、もう一方の手でシャトルの下部をつかんで、シャトルをシャーシから引き出します。

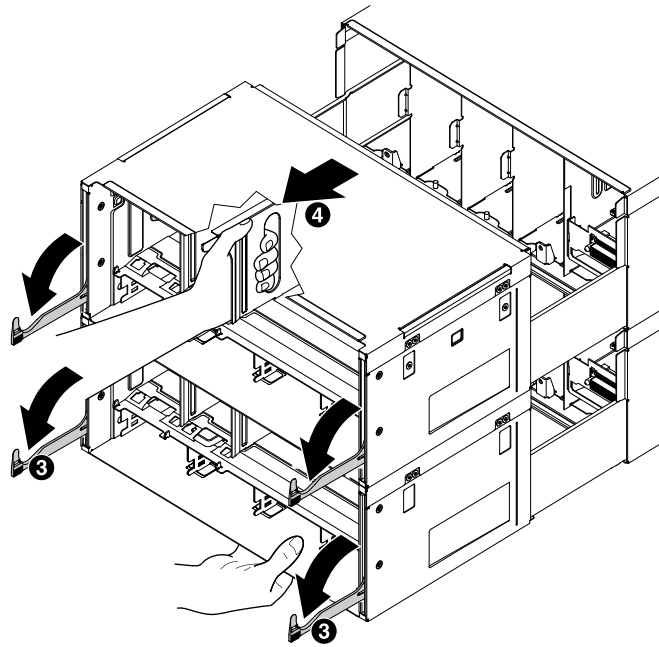


● 8U サーバー構成の場合は、以下を行います。

1. 下部ノードのシャトルの内壁にある青いボタンを押して、シャトルのカム・ハンドルを解放します(ハンドルを下に回転させないでください)。

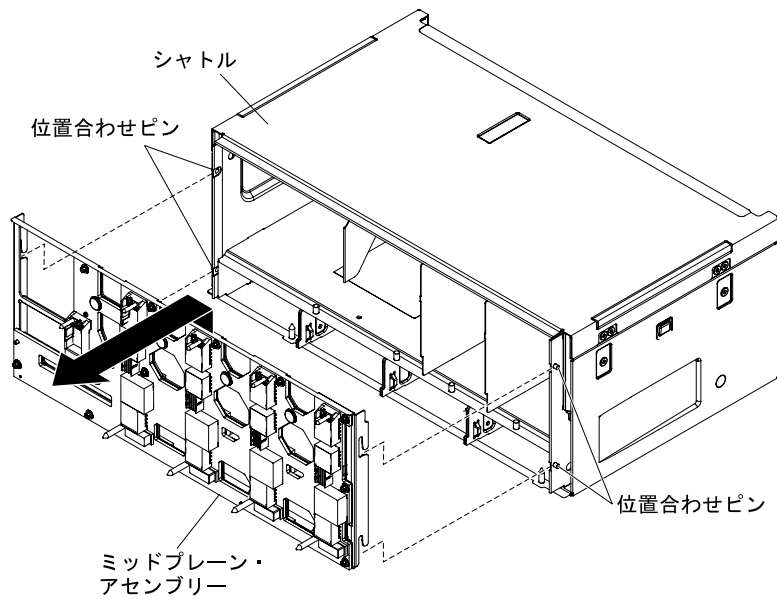


2. 上部ノードのシャトルの内壁にある青いボタンを押して、シャトルのカム・ハンドルを解放し、ハンドルを止まるまで下に回転させます。
3. ここで、下部ノードのシャトルのカム・ハンドルを止まるまで下に回転させます。



4. 一方の手でシャトルの中央にある穴からシャトルをつかみ、もう一方の手でシャトルの下部をつかんで、シャトルをシャーシから引き出します。

ステップ6. ミッドプレーンを上いっぱいまで持ち上げて(シャトルの位置合わせピンから外し)、シャトルから取り外します。



シャトルの返却を求められた場合は、すべての梱包の指示に従って、提供される配送用の梱包材を使用してください。

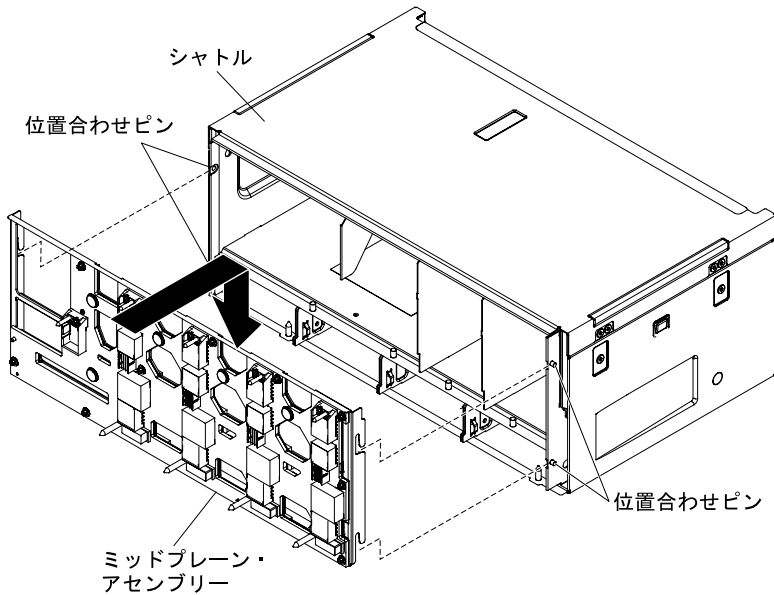
シャトルの交換

シャーシ・シャトルの交換方法については、以下の情報を参照してください。

シャーシ・シャトルを交換するには、以下のステップを実行してください。

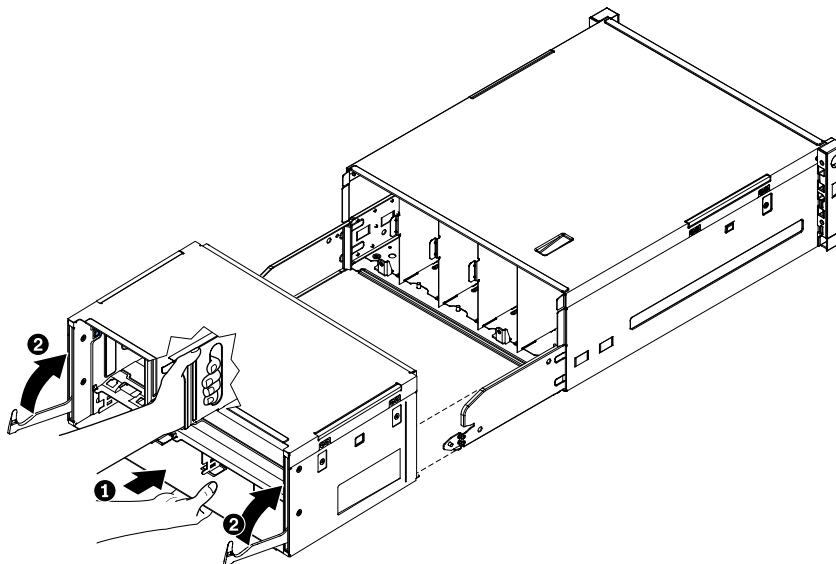
注：この手順は、4U (4 ソケット) と 8U (8 ソケット) の両方のサーバー構成を対象としています。

ステップ 1. ミッドプレーンを再取り付けします。ミッドプレーンの側面にあるスロットを、シャトルの位置合わせピンと位置合わせし、ミッドプレーンがシャトル上の所定の位置に収まるまでミッドプレーンをピンの上を下ろします。

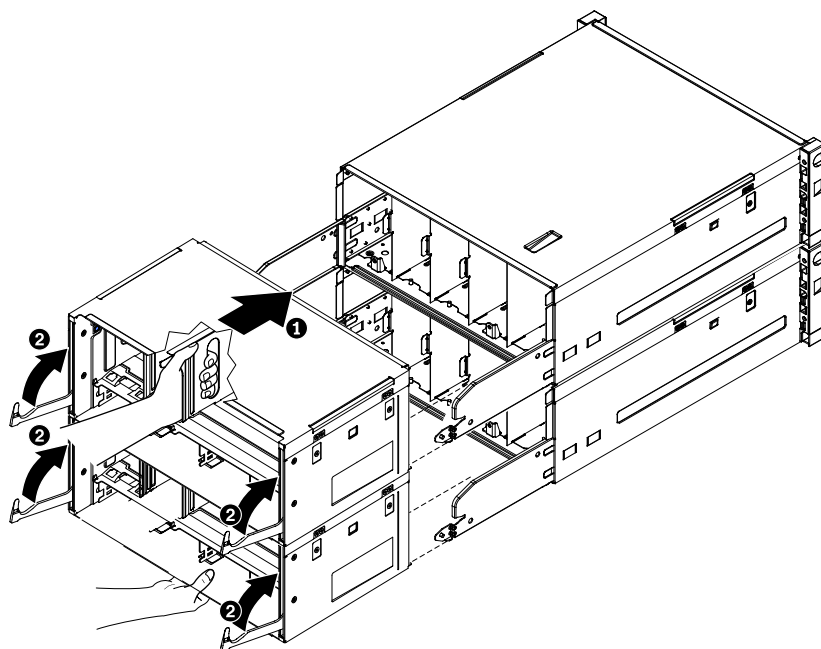


ステップ 2. カム・ハンドルが開いていることを確認します。一方の手でシャトルの中央にある穴からシャトルをつかみ、もう一方の手でシャトルの下部をつかんで、シャトルのスロットと位置合わせします。次に、確実に収まるまで、シャトルをシャーシに押し込みます。

次の図は、4U シャトルを示しています。



次の図は、8U シャトルを示しています。



ステップ3. シャーシ上の所定の位置にロックされるまで、シャトルのカム・ハンドルを上回転させます。

ステップ4. サーバーの背面にすべてのコンポーネントを再取り付けします。

ステップ5. サーバーの前面にあるコンポーネントをスライドさせて、サーバーに戻します。

ステップ6. 取り外した電源コードおよびすべてのケーブルを再接続します。

ステップ7. 周辺機器とサーバーの電源をオンにします。

付録 A LCD 表示パネル・メッセージ

このセクションでは、サーバーの LCD システム情報表示パネルに表示される可能性があるメッセージの内容とアクションについて説明しています。

サーバーの LCD システム情報表示パネルには、POST 中のサーバーの進行状況と問題を解決するためのアクション・プランについてのメッセージが表示されます。問題が解決されるまで、アクション列に示された順に推奨操作を実行します。LCD 表示パネルの詳細については、30 ページの「LCD システム情報表示パネル」を参照してください。

次の表に、サーバーの LCD 表示パネルに表示される可能性があるメッセージを示します。

表 63. LCD 表示パネル・メッセージ

メッセージ	説明	アクティビティーがない場合にシステムがタイムアウトするまでの時間	操作
SYS OFF/BLK PWR	システムはオフです。IMM によって電源許可が与えられていません。	-	正常。操作は不要です。
SYSTEM OFF	システムはオフです。	-	正常。操作は不要です。
UEFI: AUTH USER	ユーザーを認証中です。	-	正常。操作は不要です。
UEFI: F1 SETUP	F1 メニューで待機しています。	-	正常。操作は不要です。
UEFI: BOOT DIAGS	システムが pDSA からブートしています。	-	正常。操作は不要です。
UEFI: BOOT UEFI	制御がオペレーティング・システム・ブートローダーに渡されました。	-	正常。操作は不要です。
OPERATING SYS.	UEFI が制御をオペレーティング・システムに渡しました。	-	正常。操作は不要です。
UEFI: CSM INIT	レガシー・ブートの準備中です。	-	正常。操作は不要です。
UEFI: CSM DONE	レガシーをブートする準備ができました。	-	正常。操作は不要です。
IMM: READY	IMM がロードを完了しました。	-	正常。操作は不要です。
Power Fault XXh	システム電源障害が発生しました。	即時	1. VRD に関連する FRU を特定します。 2. IMM ログを確認します。

表 63. LCD 表示パネル・メッセージ (続き)

メッセージ	説明	アクティビティーがない場合にシステムがタイムアウトするまでの時間	操作
SYSTEM ON	システムはオンです。マイクロプロセッサが UEFI ROM からの取得を試みません。	1 分後	マイクロプロセッサを 検査します。
WAITING ON UEFI	UEFI がコードを取 得していません。	1 分後	1. サーバーを再起動し ます。 2. UEFI ファームウェ アをフラッシュしま す。 3. CMOS をクリアしま す。
UEFI: MEASUR.IMG	UEFI が実行中で す。	2 分後	1. サーバーを再起動し ます。 2. UEFI ファームウェ アをフラッシュしま す。 3. CMOS をクリアしま す。
UEFI: SIG.CHK.PR	プライマリー・バン クの署名を確認して います。	2 分後	UEFI プライマリー・バン クをフラッシュします。
UEFI: SIG.CHK.BK	バックアップ・バン クの署名を確認して います。	2 分後	UEFI バックアップ・バン クをフラッシュします。
UEFI: UPDATE PRI	UEFI がプライマ リー・バンクを更新 しています。	2 分後	1. サーバーを再起動し ます。 2. UEFI ファームウェ アをフラッシュしま す。 3. CMOS をクリアしま す。
UEFI: UPDATE BKP	UEFI がバックアッ プ・バンクを更新し ています。	2 分後	1. サーバーを再起動し ます。 2. UEFI ファームウェ アをフラッシュしま す。 3. CMOS をクリアしま す。

表 63. LCD 表示パネル・メッセージ (続き)

メッセージ	説明	アクティビティーがない場合にシステムがタイムアウトするまでの時間	操作
UEFI: END SEC	UEFI が実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: START PEI	UEFI が実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: MEM INIT	MRC が実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュート・ブックのメモリーを検査します。 2. IMM ログを確認します。
UEFI: DXE INIT	DXE が実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: PECI INIT	PECI データを IMM によって読み取る準備ができました。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: USB INIT	USB バスの初期化中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. USB サブシステムを検査します。 2. サーバーを再起動します。
UEFI: PCI INIT	PCIe の初期化を実行中です。	10 分後	PCIe サブシステムを検査します。

表 63. LCD 表示パネル・メッセージ (続き)

メッセージ	説明	アクティビティーがない場合にシステムがタイムアウトするまでの時間	操作
UEFI: VIDEO INIT	ビデオの初期化を実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: SMBIOS RDY	SMBIOS 表を IMM に転送する準備ができました。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: SMI INS	UEFI が実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
UEFI: BOOTLEG	レガシーをブート中です。	2 分後	ブート・オペレーティング・システムが正しくインストールされていることを確認します。
UEFI: UNMAP DSA	UEFI が実行中です。	2 分後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーを再起動します。 2. UEFI ファームウェアをフラッシュします。 3. CMOS をクリアします。
IMM: UBOOT	IMM が UBOOT をロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リポート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. IMM をリセットします。132 ページの「Setup Utility のメニュー選択項目」を参照してください。 3. 標準 I/O ブック を交換します。

表 63. LCD 表示パネル・メッセージ (続き)

メッセージ	説明	アクティビティーがない場合にシステムがタイムアウトするまでの時間	操作
IMM: LOADING	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リブート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。
IMM: SECURE BOOT	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リブート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. IMM をリセットします。132 ページの「Setup Utility のメニュー選択項目」を参照してください。 3. 標準 I/O ブック を交換します。
IMM: KERNEL BOOT	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リブート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. IMM をリセットします。132 ページの「Setup Utility のメニュー選択項目」を参照してください。 3. 標準 I/O ブック を交換します。
IMM: NETWORK	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リブート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。
IMM: BOOTING	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リブート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。

表 63. LCD 表示パネル・メッセージ (続き)

メッセージ	説明	アクティビティーがない場合にシステムがタイムアウトするまでの時間	操作
IMM: PWR ACTIONS	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リポート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。
IMM: THERMAL	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リポート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。
IMM: FLASH MNGR	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リポート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。
IMM: UEFI SYNC	IMM がカーネルをロードしています。	アクティビティーが 15 分間ない場合、または 10 回の IMM リポート・サイクルの後	<ol style="list-style-type: none"> 1. サーバーから電源を切り離します。 2. TFTP による焼き付けを使用して IMM ファームウェアの Web またはインバンド・フラッシュを実行します。

付録 B DSA 診断テスト結果

DSA 診断テストを実行後、この情報を使用して、検出された問題を解決してください。

DSA Broadcom ネットワーク・テスト結果

Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA Broadcom ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Broadcom ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 405-000-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

- 405-001-000 : BRCM:TestMIIRegisters のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

- 405-002-000 : BRCM:TestEEPROM のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-003-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-004-000 : BRCM:TestInterrupt のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-005-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-006-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● **405-007-000 : BRCM:TestLEDs のテストに合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● **405-800-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストが異常終了しました**

制御レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● **405-801-000 : BRCM:TestMIIRegisters のテストが異常終了しました**

MII レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **405-802-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが異常終了しました**
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">– IBM サポート Web サイト– 最新レベルの DSA– 最新レベルの BMC/IMM

- **405-803-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストが異常終了しました**
内部メモリー・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">– IBM サポート Web サイト– 最新レベルの DSA– 最新レベルの BMC/IMM

- **405-804-000 : BRCM:TestInterrupt テストが異常終了しました**
割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">– IBM サポート Web サイト– 最新レベルの DSA– 最新レベルの BMC/IMM

- **405-805-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが異常終了しました**
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-806-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが異常終了しました**
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-807-000 : BRCM:TestLEDs のテストが異常終了しました**
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-900-000 : BRCM:TestControlRegisters のテストが失敗しました**
内部 MAC レジスターのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **405-901-000 : BRCM:TestMIRegisters のテストが失敗しました**

内部 PHY レジスターのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **405-902-000 : BRCM:TestEEPROM のテストが失敗しました**

不揮発性 RAM のテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **405-903-000 : BRCM:TestInternalMemory のテストが失敗しました**

内部メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **405-904-000 : BRCM:TestInterrupt のテストが失敗しました**

割り込みのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 405-905-000 : BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました

BRCM:TestLoopbackMAC のテストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-906-000 : BRCM:TestLoopbackPhysical のテストが失敗しました**
物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **405-907-000 : BRCM:TestLEDs のテストが失敗しました**
状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

DSA Brocade テスト結果

Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA Brocade テストのテスト結果

DSA Brocade テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **218-000-000 : Brocade:MemoryTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-001-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-002-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-003-000 : Brocade:PCILoopbackTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-004-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-005-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-006-000 : Brocade:InternalLoopbackTest に合格しました**

テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● **218-800-000 : Brocade:MemoryTest が異常終了しました**

テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● **218-801-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が異常終了しました**

テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● **218-802-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が異常終了しました**

テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **218-803-000 : Brocade:PCILoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> – IBM サポート Web サイト – 最新レベルの DSA – 最新レベルの BMC/IMM

- **218-804-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> – IBM サポート Web サイト – 最新レベルの DSA – 最新レベルの BMC/IMM

- **218-805-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> – IBM サポート Web サイト – 最新レベルの DSA – 最新レベルの BMC/IMM

- **218-806-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が異常終了しました**
テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-900-000 : Brocade:MemoryTest が失敗しました**

アダプター・メモリーのテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **218-901-000 : Brocade:ExternalLoopbackTest が失敗しました**

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

-
- **218-902-000 : Brocade:SerdesLoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-903-000 : Brocade:PCILoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **218-904-000 : Brocade:ExternalEthLoopbackTest が失敗しました**
ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. SFP/ケーブルを調べるか、取り付け直します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 218-905-000 : Brocade:SerdesEthLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. テストを再実行します。
2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。
3. テストを再実行します。
4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 218-906-000 : Brocade:InternalLoopbackTest が失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー

保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. テストを再実行します。 2. ファームウェアが適切なレベルであるかどうか確認します。 3. テストを再実行します。 4. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

DSA チェックポイント・パネル・テスト結果

チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA チェックポイント・パネル・テストのテスト結果

DSA チェックポイント・パネル・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **180-000-000: チェックポイント・パネル・テストに合格しました**

チェックポイント・パネル・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **180-801-000: チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました**

チェックポイント・パネル・テストが異常終了しました。BMC は、オペレーター情報パネルのケーブルが接続されていることを確認できません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端を調べ、取り付け直します。
2. ベースボード管理コントローラー (BMC) が作動していることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **180-901-000: チェックポイント・パネル・テストが失敗しました**

チェックポイント・パネル・テストが失敗しました。オペレーターから、表示が正しくないという報告がありました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. オペレーター情報パネルのケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。
2. 損傷がある場合は、情報パネルのケーブルを取り替えます。
3. テストを再実行します。
4. オペレーター情報パネル・アセンブリーを取り替えます。
5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA CPU ストレス・テスト結果

CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA CPU ストレス・テストのテスト結果

DSA CPU ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **089-000-000** : CPU ストレス・テストに合格しました

CPU ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">– IBM サポート Web サイト– 最新レベルの DSA– 最新レベルの BMC/IMM

- **089-801-000** : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。内部プログラム・エラー。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。 <ol style="list-style-type: none">1. システムの電源をオフにして、再起動してください。2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。3. テストを再実行します。4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。このコンポーネント用の最新レベルのファームウェアは、以下の Web サイトでこのシステム・タイプを参照して検索できます。IBM サポート Web サイト。5. テストを再実行します。6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。

7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 089-802-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。システム・リソース使用不可エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 089-803-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました

CPU ストレス・テストが異常終了しました。テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **089-804-000 : CPU ストレス・テストが異常終了しました**

CPU ストレス・テストが異常終了しました。ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **089-901-000 : CPU ストレス・テストが失敗しました**

CPU ストレス・テストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルをチェックして、必要に応じてアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
5. テストを再実行します。
6. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をオフにして再起動してから、テストを再実行してください。

-
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Emulex アダプター・テスト結果

Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA Emulex アダプター・テストのテスト結果

DSA Emulex アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **516-000-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-001-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-002-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test にパスしました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **516-800-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が異常終了しました**
MAC 層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **516-801-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が異常終了しました**
物理層でのループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **516-802-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が異常終了しました**
ステータス LED の確認は取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- **516-900-000 : ELXUCNA: NIC MAC LoopBackTest が失敗しました**
MAC 層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-901-000 : ELXUCNA: NIC PHY LoopBackTest が失敗しました**
物理層でのループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)

-
- [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **516-902-000 : ELXUCNA: ELXUCNA: NIC LED(Beacon)Test が失敗しました**

状況 LED の動作を確認中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA EXA ポート ping テスト結果

EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA EXA ポート ping テストのテスト結果

DSA EXA ポート ping テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **401-000-000 : EXA ポート ping テストに合格しました**

EXA ポート ping テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **401-801-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました**

EXA ポート ping テストが異常終了しました。デバイス基底アドレスを取得できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **401-802-000 : EXA ポート ping テストが異常終了しました**

EXA ポート ping テストが異常終了しました。ポートの接続が正しくない可能性があります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **401-901-001 : EXA ポート ping テストが失敗しました**

EXA ポート ping テストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 電源ケーブルを取り外して 45 秒間待ってから、再接続してテストを再実行します。
2. スケーラビリティ・ケーブルの接続が仕様どおりであることを確認します。
3. スケーラビリティ・ケーブルの接続が緩んでいないか調べます。
4. 指定されたポート (複数の場合もあり) のスケーラビリティ・ケーブル (複数の場合もあり) を取り付け直します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA ハードディスク・ドライブ・テスト結果

ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA ハードディスク・ドライブ・テストのテスト結果

DSA ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **217-000-000 : HDD テストに合格しました**

HDD ストレス・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント

保守可能 いろいろ
自動的にサポートに通知 いろいろ
関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **217-800-000 : HDD テストが異常終了しました**

HDD テストが異常終了しました。テストは取り消されました。

リカバリー可能 いろいろ
重大度 警告
保守可能 はい
自動的にサポートに通知 いろいろ
ユーザー応答 次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ハードディスク・ドライブが自己診断テストおよび自己診断テスト・ロギングをサポートしていることを確認します。
4. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **217-900-000 : HDD テストが失敗しました**

HDD テストが失敗しました。ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能 いろいろ
重大度 エラー
保守可能 はい
自動的にサポートに通知 いろいろ
ユーザー応答 次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Intel ネットワーク・テスト結果

Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA Intel ネットワーク・テストのテスト結果

DSA Intel ネットワーク・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **406-000-000 : IANet:Registers のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-001-000 : IANet:EEPROM のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-002-000 : IANet:FIFO のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-003-000 : IANet:Interrupts のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-004-000 : IANet:Loopback のテストに合格しました**
テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-800-000 : IANet:Registers のテストが異常終了しました**
レジスター・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-801-000 : IANet:EEPROM のテストが異常終了しました**
EEPROM テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **406-802-000 : IANet:FIFO のテストが異常終了しました**

FIFO テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **406-803-000 : IANet:Interrupts のテストが異常終了しました**

割り込みテストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **406-804-000 : IANet:Loopback のテストが異常終了しました**

ループバック・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 406-900-000 : IANet:Registers のテストが失敗しました

レジスター・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 406-901-000 : IANet:EEPROM のテストが失敗しました

EEPROM テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)

-
- [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-902-000 : IANet:FIFO のテストが失敗しました**
FIFO テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **406-903-000 : IANet:Interrupts のテストが失敗しました**
割り込みテスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
2. テストを再実行します。
3. DSA Diagnostic Log の PCI Hardware セクションで割り込みの割り当てを調べます。イーサネットデバイスが割り込みを共有している場合は、可能であれば、F1 Setup を使用して割

り込みの割り当てを変更し、固有の割り込みをそのデバイスに割り当てます。

4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 406-904-000 : IANet:Loopback のテストが失敗しました

ループバック・テスト中に障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. イーサネット・ケーブルに損傷がないか調べ、ケーブルのタイプと接続が正しいことを確認します。
2. コンポーネント・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA LSI ハードディスク・ドライブ・テスト結果

LSI ハードディスク・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストのテスト結果

DSA LSI hard driveoutputfilename=DSA_LSI_hard_drive テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 407-000-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

- 407-800-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが異常終了しました
テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

- 407-900-000 : LSIESG:DiskDefaultDiagnostic のテストが失敗しました
ハードディスク・ドライブ自己診断テストで障害が検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. ケーブルの接続を確認します。
2. テストを再実行します。
3. ファームウェアが最新レベルであるかどうか確認します。
4. テストを再実行します。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Mellanox アダプター・テスト結果

Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA Mellanox アダプター・テストのテスト結果

DSA Mellanox アダプター・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 408-000-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストに合格しました
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 408-001-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストに合格しました
ポート・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **408-800-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストが異常終了しました**
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **408-801-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストが異常終了しました**
ポート・テストは取り消されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **408-900-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestEthernetPort のテストが失敗しました**
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **408-901-000 : MLNX:MLNX_DiagnosticTestIBPort のテストが失敗しました**
ポート・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. テスト中のポートの物理リンクがアクティブ状態であり、サブネット・マネージャーがポートの接続先であるファブリック上で実行していることを確認します。
2. 上記条件が満たされているのにテストが失敗し続ける場合は、ポートのアダプターに障害がある可能性があります。
3. アダプターを取り替えて、テストの繰り返しを試みます。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA メモリー分離テスト結果

メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA メモリー分離テストのテスト結果

DSA メモリー分離テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **201-000-000 : スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました**

すべての CPU のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-000-001: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました

CPU 1 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-000-002: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました

CPU 2 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none">- IBM サポート Web サイト- 最新レベルの DSA- 最新レベルの BMC/IMM

• 201-000-003: スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました

CPU 3 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-000-004 : スタンドアロン・メモリー・テストに合格しました**
CPU 4 のクイック/フル・メモリー・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-811-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-811-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-811-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

SMBIOS キー 「_SM_」 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-812-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-812-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-812-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-812-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー・テストはこのシステムではサポートされていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-813-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

● 201-813-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-813-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-813-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU 内での ECC エラー・レポート作成をオフにできません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-814-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-814-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-814-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-814-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: CPU について消し込み機能を無効にできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-815-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-815-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-815-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-815-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

クイック・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-816-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-816-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-816-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
フル・メモリー・メニューのオプション選択に関するプログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

- 201-818-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-818-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SMBIOS キー「_SM_」が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-819-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-819-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-819-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-819-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

START-END アドレス範囲がメモリーの制限された領域内にあります。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-820-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-820-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-820-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能
重大度
保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
警告
いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-820-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-821-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-821-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-821-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-821-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
可変範囲 MTRR レジスターが固定範囲 MTRR レジスターより大きいです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-822-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

- 201-822-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
MTRR サービス要求が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-824-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-824-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能 いいえ

重大度 警告

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-824-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能 いいえ

重大度 警告

保守可能 いいえ

自動的にサポートに通知 いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-824-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

ノード・インターリーブ機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、ノード・インターリーブ・オプションを無効にしてから、テストを再実行します。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-826-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-826-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能
重大度
保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
警告
いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-826-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-826-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: メモリー・コントローラーが無効になっています。セットアップに進み、メモリー・コントローラーを有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-827-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: ECC 機能が BIOS によって無効になっています。セットアップに進み、ECC 生成を有効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-844-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-844-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-844-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック・コントロール・マスクのレジスターをマスキング中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-845-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-845-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-845-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-845-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

チップ・セット・エラー: MSR マシン・チェック制御レジスターをクリア中に問題が発生しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能
重大度
保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
警告
いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-859-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

無効な XSECSRAT タイプ。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-860-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ1が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-860-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM0 タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
-

- 201-861-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-861-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
SRAT タイプ 1 が見つかりません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-862-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-862-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-862-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-862-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 構造が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-863-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-863-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-863-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-863-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 構造に IBMERROR キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-864-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-864-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEM1 に GAS が見つかりません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-865-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
OEMO 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

• 201-865-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-865-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

OEM0 構造に XSECSRAT キーがありません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-866-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-866-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-866-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-866-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI-SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-867-000: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-867-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-867-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能
重大度
保守可能
自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ
警告
いいえ
いいえ
次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-867-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

EFI/SAL: バッファが割り振られていません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-868-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-868-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-868-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-868-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL: GetMemoryMap に割り振られたバッファが小さすぎます。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-869-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-869-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
EFI/SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
-

● 201-869-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

EFI/SAL GetMemoryMap 関数からのパラメーターが無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-870-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-870-001: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-870-002: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-870-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

ACPI 内の CPU ドメインが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-871-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-871-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-871-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-871-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

データの比較誤りが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-877-003: スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

BIOS: 拡張 PCI レジスター内でのスペアリングはオフでなければなりません。セットアップに進み、スペアリングを無効にします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)

• 201-878-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-878-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-878-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-878-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

スペアリング機能をオフにする必要があります。セットアップに進み、スペアリング機能をオフにします。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-885-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

プロセッサでは MTRR レジスタ操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **201-885-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

プロセッサでは MTRR レジスタ操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-885-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **201-885-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**

プロセッサでは MTRR レジスター操作はサポートされていません。キャッシュなしでメモリーに書き込むことはできません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-886-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました

メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-886-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリーの上限は、16 MB 未満です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 201-899-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-899-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-899-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが異常終了しました**
メモリー診断テストがユーザーにより打ち切られました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **201-901-000 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました**
メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 201-901-001 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
 2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
 3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。DIMMを取り付け直します。電源に再接続します。
 4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
 5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
-

6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-901-002 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 201-901-003 : スタンドアロン・メモリー・テストが失敗しました

メモリー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。
2. 問題が解決しない場合は、技術サービス担当者に連絡してください。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。DIMM を取り付け直します。電源に再接続します。
4. DSA および BIOS/uEFI が最新レベルであることを確認します。
5. エラーに挙げられた DIMMS を、1つずつ交換します。
6. Configuration/Setup Utility プログラムで、すべての DIMM が有効になっていることを確認します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA メモリー・ストレス・テスト結果

メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA メモリー・ストレス・テストのテスト結果

DSA メモリー・ストレス・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 202-000-000 : MemStr テストに合格しました
テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 202-801-000 : MemStr テストが異常終了しました
内部プログラム・エラー。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの電源をオフにして、再起動してください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
6. メモリー診断を実行して、特定の障害のある DIMM を識別します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 202-802-000 : MemStr テストが異常終了しました

テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。少なくとも 1 GB は必要です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-803-000 : MemStr テストが異常終了しました
ユーザーが Ctrl-C を押しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-901-000 : MemStr テストが失敗しました
テストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
2. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
3. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。
4. メモリー・カードおよび DIMM を取り付け直します。
5. システムを電源に再接続して、システムの電源をオンにします。
6. テストを再実行します。
7. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
8. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 202-902-000 : MemStr テストが失敗しました
テストを実行するにはメモリー・サイズが足りません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DSA Diagnostic Event Log の「Resource Utilization」セクションの「Available System Memory」を調べて、すべてのメモリーが有効であることを確認します。
2. 必要に応じて、システム・ブート中に F1 を押して Configuration/Setup Utility プログラムにアクセスし、すべてのメモリーを有効にします。
3. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
4. テストを再実行します。
5. 標準 DSA メモリー診断を実行して、すべてのメモリーの妥当性検査を行ってください。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA Nvidia GPU テスト結果

Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA Nvidia GPU テストのテスト結果

DSA Nvidia GPU テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 409-000-000 : NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました
NVIDIA ユーザー診断テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
関連リンク

いいえ

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-003-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストに合格しました
Nvidia GPU 帯域幅テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-004-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストに合格しました
Nvidia GPU 照会テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-005-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストに合格しました
Nvidia GPU マトリックス・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-006-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストに合格しました
Nvidia GPU Binomial テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● 409-800-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが異常終了しました

NVIDIA ユーザー診断テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● 409-803-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが異常終了しました

Nvidia GPU 帯域幅テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

● 409-804-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが異常終了しました

Nvidia GPU 照会テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> - IBM サポート Web サイト - 最新レベルの DSA - 最新レベルの BMC/IMM

- 409-805-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが異常終了しました
Nvidia GPU マトリックス・テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> – IBM サポート Web サイト – 最新レベルの DSA – 最新レベルの BMC/IMM

- 409-806-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが異常終了しました
Nvidia GPU Binomial テストは取り消されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	<ul style="list-style-type: none"> – IBM サポート Web サイト – 最新レベルの DSA – 最新レベルの BMC/IMM

- 409-900-000 : NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました
NVIDIA ユーザー診断テストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	<p>次の手順を実行してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。 2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。 3. <code>nvidia-smi -q</code> を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。 4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行し

ます。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。

5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 409-903-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Bandwidth のテストが失敗しました

Nvidia GPU 帯域幅テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● 409-904-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Query のテストが失敗しました

Nvidia GPU 照会テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 409-905-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Matrix のテストが失敗しました

Nvidia GPU マトリックス・テストが失敗しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの様々な問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

-
- [IBM サポート Web サイト](#)
 - [最新レベルの DSA](#)
 - [最新レベルの BMC/IMM](#)

- 409-906-000 : Nvidia::DiagnosticServiceProvider::Binomial のテストが失敗しました
Nvidia GPU Binomial テストが失敗しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. GPU を取り付け直して、GPU が PCIe スロットに正しく取り付けられていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
2. GPU への電源コネクタがしっかりと接続されていることを確認します。次にシステムの電源サイクルを実行します。
3. `nvidia-smi -q` を実行します。これにより、電源ケーブルがきちんと接続されていないと報告される場合があります。
4. 作動していることがわかっているシステムで、同じ GPU を使用して、診断を再実行します。システムの問題により、診断が失敗することがあります。
5. 問題が解決しない場合は、IBM 技術サポート担当者に連絡してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA 光学式ドライブ・テスト結果

光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA 光学式ドライブ・テストのテスト結果

DSA 光学式ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- 215-000-000 : 光学式ドライブ・テストに合格しました
光学式ドライブ・テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **215-801-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライバーと通信できません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
6. テストを再実行します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **215-802-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました**

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。読み取りエラーが検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-803-000 : 光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。ディスクがオペレーティング・システムによって使用中である可能性があります。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

次の手順を実行してください。

1. システム・アクティビティが停止するのを待ちます。
2. テストを再実行します。
3. システムの電源をオフにして、再起動してください。
4. テストを再実行します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-804-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。メディア・トレイが開いています。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい

自動的にサポートに通知

ユーザー応答

いいえ

次の手順を実行してください。

1. メディア・トレイを閉じ、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
3. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
4. テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-901-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。ドライブ・メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-902-000 : 光学式ドライブ・テストが失敗しました

光学式ドライブ・テストが失敗しました。比較誤りを読み取りました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 215-903-000 : 光学式ドライブ・テストが異常終了しました

光学式ドライブ・テストが異常終了しました。デバイスにアクセスできませんでした。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 新しい CD または DVD をドライブに挿入し、メディアが認識されるまで 15 秒間待ちます。テストを再実行します。
2. ドライブ・ケーブルの両端が緩んでいたり、接続が外れていたりしていないか、またケーブルに破損がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
3. テストを再実行します。
4. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの [Firmware/VPD](#)

セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。

5. テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA システム管理テスト結果

システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA システム管理テストのテスト結果

DSA システム管理テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **166-000-001 : IMM I2C テストに合格しました**

IMM I2C テストに合格しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	イベント
保守可能	いいえ
自動的にサポートに通知	いいえ
関連リンク	

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-801-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

IMM が誤った応答の長さを返しました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	警告
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **166-802-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

不明な理由によりテストが完了できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **166-803-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

ノードは使用中です。後で試行してください。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-804-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
無効なコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-805-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
指定された LUN に無効なコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-806-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
コマンドの処理中にタイムアウトになりました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-807-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
スペース不足です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-808-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
予約が取り消されたか、予約 ID が無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-809-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
リクエスト・データが切り捨てられました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-810-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

リクエスト・データの長さが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-811-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

リクエスト・データ・フィールドの長さが限度を超えています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-812-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
範囲外のパラメーターです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-813-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
要求されたデータ・バイト数を返すことができません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-814-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

要求されたセンサー、データ、またはレコードは存在しません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-815-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

要求のデータ・フィールドが無効です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **166-816-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

指定されたセンサーまたはレコードのタイプに許可されていないコマンドです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **166-817-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

コマンドに対する応答を提供できませんでした。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-818-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

重複した要求は実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• **166-819-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

コマンドに対する応答を提供できませんでした。SDR リポジトリーは更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **166-820-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

コマンドに対する応答を提供できませんでした。デバイスはファームウェア更新モードです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

● **166-821-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**

コマンドに対する応答を提供できませんでした。BMC の初期化が進行中です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-822-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
宛先が使用できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-823-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
コマンドを実行できません。特権レベルが不十分です。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-824-001 : IMM I2C テストが異常終了しました**
コマンドを実行できません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-901-001 : IMM I2C テストが失敗しました**
IMM が RTMM バス (BUS 0) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-902-001 : IMM I2C テストが失敗しました**
IMM が TPM (BUS 1) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-903-001 : IMM I2C テストが失敗しました**
IMM が 9545A バス (BUS 2) での障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 166-905-001 : IMM I2C テストが失敗しました

IMM は 9545A バス (BUS 4) における障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **166-908-001 : IMM I2C テストが失敗しました**

IMM は 9545A バス (BUS 7) における障害を示しています。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

挙げられたアクションを1つずつ実行し、各アクションの後にテストを試行してください。

1. システムの電源をオフにして、電源から切り離します。45 秒間待ちます。電源に再接続します。
2. DSA および BMC/IMM が最新レベルであることを確認します。
3. テストを再実行します。
4. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

DSA テープ・ドライブ・テスト結果

テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが生成されます。

DSA テープ・ドライブ・テストのテスト結果

DSA テープ・ドライブ・テストを実行すると、以下のメッセージが表示される可能性があります。

- **264-000-000 : テープ・テストに合格しました**

テープ・テストに合格しました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

イベント

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-901-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・アラート・ログでエラーが検出されました。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. エラー・ログを消去します。
4. テストを再実行します。
5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-902-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-903-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。メディアが検出されません。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-904-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ドライブ・ハードウェア・エラーです。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. テープ・ドライブ・ケーブルの接続が緩んできたり、外れたりしていないか、またケーブルに損傷がないか確認します。損傷がある場合は、ケーブルを交換します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
3. テストを再実行します。
4. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
5. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
6. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-905-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。ソフトウェア・エラー: 要求が無効です。

リカバリー可能	いいえ
重大度	エラー
保守可能	はい
自動的にサポートに通知	いいえ
ユーザー応答	

次の手順を実行してください。

1. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。
2. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。インストール済みのファームウェア・レベルは、このコンポーネントの Firmware/VPD セクションにある DSA Diagnostic Event Log 内で見つかります。
3. テストを再実行します。
4. システムが応答を停止した場合は、システムの電源をいったんオフにし、再起動します。

5. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-906-000 : テープ・テストが失敗しました

テープ・テストが失敗しました。認識不能なエラーです。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。
2. テストを再実行します。
3. ドライブ・ファームウェアが最新レベルであることを確認します。
4. 最新のファームウェア・レベルにアップグレードした後で、テストを再実行します。
5. DSA 診断コードが最新レベルであることを確認します。
6. テストを再実行します。
7. システム・ファームウェア・レベルを確認し、必要な場合はアップグレードします。
8. テストを再実行します。
9. 障害が解決しない場合は、次に行う修正処置について、システムの『インストールとサービスのガイド』内の「現象別トラブルシューティング」を参照してください。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

• 264-907-000 : テープ・テストが失敗しました

ブロック・アドレスのどこかでエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

- **264-908-000 : テープ・テストが失敗しました**
テープ容量を取得中にエラーが検出されました。

リカバリー可能

いいえ

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メディアが存在していることを確認します。
2. 適切なクリーニング・メディアを使用してテープ・ドライブをクリーニングし、新しいメディアをインストールします。

関連リンク

- [IBM サポート Web サイト](#)
- [最新レベルの DSA](#)
- [最新レベルの BMC/IMM](#)

付録 C Integrated Management Module II (IMM2) エラー・メッセージ

このトピックでは、IMM イベントについて表示されるフィールドについて説明します。

ハードウェア・イベントがサーバー上の IMM によって検出されると、IMM はそのイベントをサーバー内のシステム・イベント・ログに記録します。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントあるいはイベントのクラスを一意的に識別する 16 進数の ID です。本書では、イベント ID は 0x で始まり、後に 8 文字が続きます。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列です。イベント・ログにイベント・ストリングが表示される場合、特定のコンポーネントなどの情報が表示されます。本書では、この追加情報を変数で示します ([arg1]、[arg2] など)。

説明

追加情報でそのイベントが発生した理由を説明します。

重大度

状態の懸念度が示されます。システム・イベント・ログでは、重大度は先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されることがあります。情報: イベントは監査目的で記録されたもので、通常はユーザー操作または正常に動作する状態の変更です。警告: このイベントは、エラーほど重大ではありませんが、可能であれば、エラーになる前に状態を修正する必要があります。追加の監視や保守が必要な場合もあります。エラー: このイベントは、サービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態です。

アラート・カテゴリー

同類のイベントがカテゴリーごとに分類されます。アラート・カテゴリーは以下の形式になります。重大度 - 装置 重大度は、以下の重大度レベルのいずれかです。クリティカル: サーバー内の主要コンポーネントが機能していません。警告: イベントがクリティカル・レベルに進行する可能性があります。システム: イベントは、システム・エラーあるいは構成の変更の結果です。デバイスは、イベント生成の原因となったサーバー内の特定のデバイスです。

保守可能

問題を修正するためにユーザー操作が必要かどうかを指定します。

CIM 情報

CIM メッセージ・レジストリーによって使用されるメッセージ ID のプレフィックスとシーケンス番号を提供します。

SNMP Trap ID

SNMP アラート管理情報ベース (MIB) にある SNMP Trap ID です。

自動的にサービスに連絡

このフィールドを「Yes」に設定すると、Electronic Service Agent (ESA) が有効になり、イベント生成時には Lenovo サポートに自動的に通知されます。Lenovo サポートからの連絡を待つ間に、そのイベントに対する推奨処置を実行することができます。この資料には、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、Lenovo System x 製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ユーザー応答

イベントを解決するために実行すべき処置を示します。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドに説明されている処置をすべて実行した後、まだ問題を解決できない場合には、Lenovo サポートにお問い合わせください。このリストには、このマシン・タイプおよびモデルに適用されない可能性があるエラー・コードとメッセージも含まれます。

IMM2 エラー・メッセージおよび検出されたサーバーの問題を修正するための推奨アクションのリストが本書に記載されています。IMM2 についての詳細は、「*Integrated Management Module II ユーザーズ・ガイド*」(http://publib.boulder.ibm.com/infocenter/systemx/documentation/topic/com.lenovo.sysx.imm2.doc/printable_doc.html) を参照してください。

IMM イベントのリスト

このセクションでは、IMM から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- 40000001-00000000 : 管理コントローラー [arg1] でネットワークの初期化が完了しました。

IMM ネットワーク・サブシステムの初期化が完了しました。

4000000100000000 または 0x4000000100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0001

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000002-00000000 : 証明機関 [arg1] が [arg2] 証明書エラーを検出しました。

IMM にインポートされている SSL サーバー、SSL クライアント、または SSL トラストド CA 証明書で問題が発生しました。インポートされた証明書は、以前に Generate a New Key and Certificate Signing Request リンクで作成された鍵ペアに対応する公開鍵を含んでいる必要があります。

4000000200000000 または 0x4000000200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0002

ユーザー応答

インポートしている証明書が正しく、適切に生成されていることを確認します。

- 40000003-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット・データ転送速度が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット・データ転送速度を指定された値に変更しました。

4000000300000000 または 0x4000000300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0003

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000004-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット二重化設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット二重化設定を指定された値に変更しました。

4000000400000000 または 0x4000000400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0004

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000005-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネット MTU 設定が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット最大伝送単位 (MTU) 設定を指定された値に変更しました。

4000000500000000 または 0x4000000500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0005

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000006-00000000 : ユーザー [arg3] によってイーサネットのローカル管理 MAC アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースのイーサネット・ローカル管理 MAC アドレスを指定値に変更しました。

4000000600000000 または 0x4000000600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0006

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000007-00000000 : ユーザー [arg2] によってイーサネット・インターフェースが [arg1] になりました。

指定されたユーザーがイーサネット・インターフェースを有効または無効にしました。

4000000700000000 または 0x4000000700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0007

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000008-00000000 : ユーザー [arg2] によってホスト名が [arg1] に設定されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module のホスト名を変更しました。

4000000800000000 または 0x4000000800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0008

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000009-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースの IP アドレスを指定された値に変更しました。

4000000900000000 または 0x4000000900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0009

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IP サブネット・マスクが [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースのサブネット・マスクを指定された値に変更しました。

4000000a00000000 または 0x4000000a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0010

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000b-00000000 : ユーザー [arg3] によってデフォルト・ゲートウェイの IP アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースのゲートウェイ・アドレスを指定された値に変更しました。

4000000b00000000 または 0x4000000b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0011

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000c-00000000 : [arg2] によって OS ウォッチドッグ応答が [arg1] になりました。

OS ウォッチドッグ・タイマーが、ユーザーによって有効または無効にされました。

4000000c00000000 または 0x4000000c00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0012

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000d-00000000 : DHCP [[arg1]] でエラーがありました。IP アドレスが割り当てられていません。DHCP サーバーが IMM に IP アドレスを割り当てることを失敗しました。
4000000d00000000 または 0x4000000d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0013

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができるネットワーク上に DHCP サーバーがあることを確認します。

- 4000000e-00000000 : リモート・ログインに成功しました。IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID: [arg1] です。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module にログインしました。
4000000e00000000 または 0x4000000e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID
30

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0014

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000000f-00000000 : ユーザー [arg3] がサーバー [arg2] を [arg1] にしようとしています。
指定されたユーザーが、管理コントローラーを使用してシステム上の電源機能を開始しました。
4000000f00000000 または 0x4000000f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0015

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000010-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID : [arg1] によって IP アドレス [arg3] の Web クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。
ユーザーによる Web ブラウザーからのログイン試行の失敗が最大許容数を超えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。
4000001000000000 または 0x4000001000000000 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0016

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 40000011-00000000 : セキュリティー: ログイン ID : [arg1] によって [arg3] の CLI から [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

ユーザーによるコマンド・ライン・インターフェースからのログイン試行の失敗が最大許容数を超えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。

4000001100000000 または 0x4000001100000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0017

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 40000012-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信したユーザー ID またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の Web ブラウザーのユーザー ID は [arg1] です。

ユーザーが無効なログイン ID またはパスワードを使用して Web ブラウザーからログインを試みました。

4000001200000000 または 0x4000001200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0018

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 40000013-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信したユーザー ID またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の TELNET クライアントのユーザー ID は [arg1] です。

ユーザーが無効なログイン ID またはパスワードを使用して Telnet セッションからログインを試みました。

4000001300000000 または 0x4000001300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0019

ユーザー応答

正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 40000014-00000000 : システム [arg2] の [arg1] はユーザー [arg3] によってクリアされました。指定されたユーザーが、システム・ログ・イベントまたは監査ログ・イベントを削除しました。

4000001400000000 または 0x4000001400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0020

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000015-00000000 : ユーザー [arg2] によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

Integrated Management Module がリセットされました。ログに追加の詳細が記載されています。

4000001500000000 または 0x4000001500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0021

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000016-00000000 : ENET[[arg1]] DHCP-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], SN=[arg5], GW@[arg6], DNS1@[arg7].

DHCP サーバーが IMM IP アドレスおよび構成を割り当てました。

4000001600000000 または 0x4000001600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0022

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000017-00000000 : ENET[[arg1]] IP-Cfg:HstName=[arg2], IP@[arg3] ,NetMsk=[arg4], GW@[arg5].
IMM IP アドレスおよび構成がクライアント・データを使って割り当てられました。
4000001700000000 または 0x4000001700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0023

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000018-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースはアクティブではなくなりました。
IMM イーサネット・インターフェースが無効にされました。
4000001800000000 または 0x4000001800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0024

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000019-00000000 : LAN: イーサネット [[arg1]] インターフェースがアクティブになりました。
IMM イーサネット・インターフェースが有効になりました。

4000001900000000 または 0x4000001900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0025

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001a-00000000 : ユーザー [arg2] によって DHCP 設定が [arg1] に変更されました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module の外部ネットワーク・インターフェースの DHCP 設定を変更しました。

4000001a00000000 または 0x4000001a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0026

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001b-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルから復元されました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module (IMM) 構成を以前に保存した構成ファイルからリストアしました。一部の構成設定を有効にするために IMM を再起動する必要がある場合があります。

4000001b00000000 または 0x4000001b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0027

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000001c-00000000 : ウォッチドッグ [arg1] のスクリーン・キャプチャーが発生しました。

オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面取りは正しく実行されました。

4000001c00000000 または 0x4000001c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0028

ユーザー応答

オペレーティング・システム・エラーがない場合は、問題が解決するまで以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。

オペレーティング・システム・エラーがあった場合は、インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- 4000001d-00000000 : ウォッチドッグ [arg1] がスクリーン・キャプチャーに失敗しました。

オペレーティング・システム・エラーが発生し、画面取りは失敗しました。

4000001d00000000 または 0x4000001d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0029

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
6. IMM ファームウェアを更新します。**重要:**一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

- 4000001e-00000000 : バックアップ管理コントローラー [arg1] のメイン・アプリケーションを実行中です。

IMM はプライマリー IMM イメージを実行できず、バックアップ・イメージを実行する手段を用いました。

4000001e00000000 または 0x4000001e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0030

ユーザー応答

IMM ファームウェアを更新します。**重要:**一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)

- 4000001f-00000000 : 管理コントローラー [arg1] が正しいファームウェアでフラッシュされていることを確認してください。管理コントローラーがファームウェアをサーバーと一致させることができません。

サーバーがインストールされた IMM のファームウェア・バージョンをサポートしません。

4000001f00000000 または 0x4000001f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0031

ユーザー応答

IMM ファームウェアを、サーバーがサポートするバージョンに更新します。**重要:**一部のクラスター・ソリューションには、特定のコード・レベルまたは調整コード更新が必要です。デバイスがクラスター・ソリューションの一部である場合は、コードを更新する前に、コードの最新レベルがクラスター・ソリューションでサポートされていることを確認してください。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)

- 40000020-00000000 : デフォルト値を復元するため、管理コントローラー [arg1] のリセットが発生しました。

Integrated Management Module にデフォルト構成がリストアされました。

4000002000000000 または 0x4000002000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0032

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000021-00000000 : 管理コントローラー [arg1] の時計が NTP サーバー [arg2] から設定されています。

IMM クロックが、Network Time Protocol サーバーから提供された日時に設定されました。

4000002100000000 または 0x4000002100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0033

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000022-00000000 : 管理コントローラー [arg1] 構成データの SSL データは無効です。構成データ領域をクリアし、SSL を無効にしています。

IMM にインポートされた証明書に問題があります。インポートされた証明書は、以前に Generate a New Key and Certificate Signing Request リンクで作成された鍵ペアに対応する公開鍵を含んでいる必要があります。

4000002200000000 または 0x4000002200000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0034

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. インポートしている証明書が正しいことを確認します。
2. 証明書のインポートを再試行します。

- 40000023-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに成功しました。指定されたファームウェア更新が完了しました。

4000002300000000 または 0x4000002300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0035

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000024-00000000 : ユーザー [arg3] が [arg2] からの [arg1] のフラッシュに失敗しました。指定されたファームウェアは更新されませんでした。

4000002400000000 または 0x4000002400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0036

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000025-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 75% 使用中です。

IMM イベント・ログが 75% フルです。イベント・ログが完全にフルになると、新しい項目が最も古い項目を上書きします。古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

4000002500000000 または 0x4000002500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - イベント・ログの満杯率

SNMP Trap ID

35

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0037

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000026-00000000 : システム [arg2] の [arg1] は 100% 使用中です。

IMM イベント・ログがフルです。ログの新しい項目が、最も古い項目を上書きします。古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

4000002600000000 または 0x4000002600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - イベント・ログの満杯率

SNMP Trap ID

35

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0038

ユーザー応答

古いログ項目がなくならないようにするには、古いログをテキスト・ファイルとして保存し、そのログを消去します。

- 40000027-00000000 : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。

プラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマー有効期限切れイベントが発生しました。

4000002700000000 または 0x4000002700000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - OS タイムアウト

SNMP Trap ID

21

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0039

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
4. ウォッチドッグを無効にします。
5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。

- 40000028-00000000 : [arg1] によって管理コントローラーのテスト・アラートが生成されました。

Integrated Management Module が、接続の検証を行うためにテスト・メッセージを送信しました。

4000002800000000 または 0x4000002800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0040

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000029-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID : [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SSH クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

ユーザーによる SSH からのログイン試行の失敗が最大許容数を超えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。

4000002900000000 または 0x4000002900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID
30

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0041

ユーザー応答
問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 4000002a-00000000 : [arg1] ファームウェアがシステム [arg2] と内部で一致しません。[arg3] ファームウェアのフラッシュを試みてください。

特定のタイプのファームウェア・ミスマッチが検出されました。

4000002a00000000 または 0x4000002a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0042

ユーザー応答
IMM ファームウェアを最新のバージョンに更新します。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)

- 4000002b-00000000 : ドメイン名が [arg1] に設定されました。
ユーザーがドメイン名を設定しました。

4000002b00000000 または 0x4000002b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0043

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002c-00000000 : ユーザー [arg2] によってドメイン・ソースが [arg1] に変更されました。
ユーザーがドメイン・ソースを変更しました。

4000002c00000000 または 0x4000002c00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0044

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002d-00000000 : ユーザー [arg2] によって DDNS 設定が [arg1] に変更されました。
ユーザーが DDNS 設定を変更しました。

4000002d00000000 または 0x4000002d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002e-00000000 : DDNS の登録が正常に完了しました。ドメイン名は [arg1] です。

DDNS の登録が正常に完了しました。

4000002e00000000 または 0x4000002e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0046

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000002f-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 が有効になりました。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module 上の IPv6 サポートを有効にしました。

4000002f00000000 または 0x4000002f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0047

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000030-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 が無効にされました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module 上の IPv6 サポートを無効にしました。
4000003000000000 または 0x4000003000000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0048

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000031-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が有効になりました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module 上の IPv6 固定アドレスの割り当てを有効にしました。
4000003100000000 または 0x4000003100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0049

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000032-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が有効になりました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module 上の DHCPv6 を有効にしました。
4000003200000000 または 0x4000003200000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0050

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000033-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が有効化されました。
指定されたユーザーによって、Integrated Management Module 上の IPv6 ステートレス・アドレス自動構成が有効になりました。
4000003300000000 または 0x4000003300000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0051

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000034-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 静的 IP 構成が無効化されました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module 上の IPv6 固定アドレスの割り当てを無効にしました。

4000003400000000 または 0x4000003400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0052

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000035-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 DHCP が無効にされました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module 上の DHCPv6 を無効にしました。
4000003500000000 または 0x4000003500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0053

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000036-00000000 : ユーザー [arg1] によって IPv6 ステートレス自動構成が無効化されました。
指定されたユーザーによって、Integrated Management Module 上の IPv6 ステートレス・アドレス自動構成が無効にされました。
4000003600000000 または 0x4000003600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0054

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000037-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-LinkLocal :HstName=[arg2], IP@[arg3] ,Pref=[arg4].
IPv6 リンク・ローカル・アドレスがアクティブです。
4000003700000000 または 0x4000003700000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0055

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000038-00000000 : ENET[[arg1]] IPv6-Static:HstName=[arg2], IP@[arg3], Pref=[arg4], GW@[arg5].
IPv6 固定アドレスがアクティブです。

4000003800000000 または 0x4000003800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0056

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000039-00000000 : ENET[[arg1]] DHCPv6-HSTN=[arg2], DN=[arg3], IP@[arg4], Pref=[arg5].
IPv6 DHCP 割り当てアドレスがアクティブです。

4000003900000000 または 0x4000003900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0057

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003a-00000000 : ユーザー [arg3] によってネットワーク・インターフェースの IPv6 静的アドレスが [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが管理コントローラーの IPv6 静的アドレスを変更しました。

4000003a00000000 または 0x4000003a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0058

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003b-00000000 : DHCPv6 エラーです。IP アドレスが割り当てられていません。DHCPv6 サーバーが、管理コントローラーへの IP アドレスの割り当てに失敗しました。

4000003b00000000 または 0x4000003b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0059

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM ネットワーク・ケーブルが接続されていることを確認します。
2. IMM に IP アドレスを割り当てることができる DHCPv6 サーバーがネットワーク上に存在することを確認します。

- 4000003c-00000000 : [arg1] のプラットフォーム・ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。IMM は、OS が予期される時間内に開始しなかったことを検出しました。
4000003c00000000 または 0x4000003c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

System - ローダー・タイムアウト

SNMP Trap ID

26

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0060

ユーザー応答

1. ウォッチドッグ・タイマーをより高い値に再構成してください。
 2. IMM Ethernet over USB インターフェースが有効になっていることを確認します。
 3. オペレーティング・システムに、RNDIS または cdc_ether デバイス・ドライバーを再インストールします。
 4. ウォッチドッグを無効にします。
 5. インストールされたオペレーティング・システムの整合性を検査します。
- 4000003d-00000000 : ユーザー [arg3] によって Telnet ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。
指定されたユーザーが、Telnet のポート番号を変更しました。
4000003d00000000 または 0x4000003d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0061

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003e-00000000 : ユーザー [arg3] によって SSH ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、セキュア・シェル (SSH) のポート番号を変更しました。

4000003e00000000 または 0x4000003e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0062

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000003f-00000000 : ユーザー [arg3] によって Web-HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、HTTP のポート番号を変更しました。新規の HTTP (Web) 接続は、新しいポート番号を使用する必要があります。

4000003f00000000 または 0x4000003f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0063

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000040-00000000 : ユーザー [arg3] によって Web-HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、HTTPS のポート番号を変更しました。新規の HTTPS (セキュア Web) 接続は、新しいポート番号を使用する必要があります。

4000004000000000 または 0x4000004000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0064

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000041-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTP ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、CIM HTTP のポート番号を変更しました。

4000004100000000 または 0x4000004100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0065

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000042-00000000 : ユーザー [arg3] によって CIM/XML HTTPS ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、CIM HTTPS のポート番号を変更しました。

4000004200000000 または 0x4000004200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0066

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000043-00000000 : ユーザー [arg3] によって SNMP エージェント・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Simple Network Management Protocol (SNMP) エージェントのポート番号を変更しました。

4000004300000000 または 0x4000004300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0067

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000044-00000000 : ユーザー [arg3] によって SNMP トラップのポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

指定されたユーザーが、Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップのポート番号を変更しました。

4000004400000000 または 0x4000004400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0068

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000045-00000000 : ユーザー [arg3] によって Syslog ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーが Syslog 受信側ポート番号を変更しました。

4000004500000000 または 0x4000004500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0069

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000046-00000000 : ユーザー [arg3] によってリモート・プレゼンス・ポート番号が [arg1] から [arg2] に変更されました。

ユーザーがリモート・プレゼンス・ポート番号を変更しました。

4000004600000000 または 0x4000004600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0070

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000047-00000000 : [arg3] によって LED の [arg1] 状態が [arg2] に変更されました。

指定された LED の状態が変更されました。

4000004700000000 または 0x4000004700000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0071

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000048-00000000 : デバイス [arg1] のインベントリー・データが変更されました。新しいデバイス・データ・ハッシュ=[arg2]、新しいマスター・データ・ハッシュ=[arg3] です。

物理インベントリーが変更されました。

4000004800000000 または 0x4000004800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0072

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000049-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が有効になりました。指定されたユーザーが、SNMPv1 または SNMPv3 エージェントを有効にしました。

4000004900000000 または 0x4000004900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0073

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004a-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMP [arg1] が無効にされました。指定されたユーザーが、SNMPv1 または SNMPv3 エージェントを無効にしました。4000004a00000000 または 0x4000004a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0074

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004b-00000000 : ユーザー [arg2] によって SNMPv1 [arg1] が設定されました。Name=[arg3]、AccessType=[arg4]、Address=[arg5] です。ユーザーが SNMP コミュニティー・ストリングを変更しました。4000004b00000000 または 0x4000004b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0075

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004c-00000000 : ユーザー [arg1] によって LDAP サーバー構成が設定されました。SelectionMethod=[arg2]、DomainName=[arg3]、Server1=[arg4]、Server2=[arg5]、Server3=[arg6]、Server4=[arg7] です。

ユーザーが LDAP サーバー構成を変更しました。

4000004c00000000 または 0x4000004c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0076

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004d-00000000 : ユーザー [arg1] によって LDAP が設定されました。RootDN=[arg2]、UIDSearchAttribute=[arg3]、BindingMethod=[arg4]、EnhancedRBS=[arg5]、TargetName=[arg6]、GroupFilter=[arg7]、GroupAttribute=[arg8]、LoginAttribute=[arg9] です。

ユーザーが LDAP 各種設定を構成しました。

4000004d00000000 または 0x4000004d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0077

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004e-00000000 : ユーザー [arg1] によってシリアル・リダイレクトが設定されました。Mode=[arg2]、BaudRate=[arg3]、StopBits=[arg4]、Parity=[arg5]、SessionTerminateSequence=[arg6] です。

ユーザーがシリアル・ポート・モードを構成しました。

4000004e00000000 または 0x4000004e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0078

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000004f-00000000 : ユーザー [arg1] によって日付と時刻が設定されました。Date=[arg2]、Time=[arg3]、DST Auto-adjust=[arg4]、Timezone=[arg5] です。

指定されたユーザーが、Integrated Management Module の日時を変更しました。

4000004f00000000 または 0x4000004f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0079

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000050-00000000 : ユーザー [arg1] によってサーバー全般設定が設定されました。Name=[arg2]、Contact=[arg3]、Location=[arg4]、Room=[arg5]、RackID=[arg6]、Rack U-position=[arg7] です。ユーザーがロケーション設定を構成しました。
4000005000000000 または 0x4000005000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0080

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000051-00000000 : ユーザー [arg2] によってサーバーの電源オフ遅延が [arg1] に設定されました。ユーザーがサーバー電源オフ遅延を構成しました。
4000005100000000 または 0x4000005100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0081

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000052-00000000 : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が [arg2] 日の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが特定の時刻の Server Power Action を構成しました。

4000005200000000 または 0x4000005200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0082

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000053-00000000 : ユーザー [arg4] によってサーバーの [arg1] が毎週 [arg2] の [arg3] 時にスケジュールされました。

ユーザーが反復 Server Power Action を構成しました。

4000005300000000 または 0x4000005300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0083

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000054-00000000 : ユーザー [arg3] によってサーバーの [arg1] [arg2] がクリアされました。ユーザーが、Server Power Action をクリアしました。

4000005400000000 または 0x4000005400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0084

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000055-00000000 : ユーザー [arg1] によって同期時刻が設定されました。Mode=[arg2]、NTPServerHost1=[arg3]:[arg4]、NTPServerHost2=[arg5]:[arg6]、NTPServerHost3=[arg7]:[arg8]、NTPServerHost4=[arg9]:[arg10]、NTPUpdateFrequency=[arg11] です。

ユーザーが日付と時刻の同期設定を構成しました。

4000005500000000 または 0x4000005500000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000056-00000000 : ユーザー [arg1] によって SMTP サーバーが [arg2]:[arg3] に設定されました。ユーザーが SMTP サーバーを構成しました。

4000005600000000 または 0x4000005600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0086

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000057-00000000 : ユーザー [arg2] による Telnet [arg1] です。指定されたユーザーが Telnet を有効または無効に設定しました。

4000005700000000 または 0x4000005700000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0087

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000058-00000000 : ユーザー [arg1] によって DNS サーバーが設定されました。
UseAdditionalServers=[arg2]、PreferredDNStype=[arg3]、IPv4Server1=[arg4]、IPv4Server2=[arg5]、
IPv4Server3=[arg6]、IPv6Server1=[arg7]、IPv6Server2=[arg8]、IPv6Server3=[arg9] です。
指定されたユーザーが、DNS サーバーを構成しました。

4000005800000000 または 0x4000005800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0088

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000059-00000000 : ユーザー [arg2] による LAN over USB [arg1] です。
ユーザーが USB-LAN を構成しました。

4000005900000000 または 0x4000005900000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0089

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005a-00000000 : ユーザー [arg1] によって LAN over USB ポート転送設定が設定されました。ExternalPort=[arg2]、USB-LAN port=[arg3] です。
ユーザーが USB-LAN ポート転送を構成しました。

4000005a00000000 または 0x4000005a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0090

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005b-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュア Web サービス (HTTPS) [arg1] です。
ユーザーがセキュア Web サービスを有効または無効にしました。

4000005b00000000 または 0x4000005b00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0091

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005c-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュアな CIM/XML(HTTPS) [arg1] です。
セキュア CIM/XML ポートが、有効または無効にされました。

4000005c00000000 または 0x4000005c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0092

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005d-00000000 : ユーザー [arg2] によるセキュアな LDAP [arg1] です。

ユーザーがセキュア LDAP サービスを有効または無効にしました。

4000005d00000000 または 0x4000005d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0093

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005e-00000000 : ユーザー [arg2] によって SSH [arg1] が無効にされました。

指定されたユーザーが、セキュア・シェル (SSH) サービスを有効または無効にしました。

4000005e00000000 または 0x4000005e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0094

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000005f-00000000 : ユーザー [arg1] によってサーバーのタイムアウトが設定されました。EnableOSWatchdog=[arg2]、OSWatchdogTimeout=[arg3]、EnableLoaderWatchdog=[arg4]、LoaderTimeout=[arg5] です。

ユーザーがサーバー・タイムアウトを構成しました。

4000005f00000000 または 0x4000005f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0095

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000060-00000000 : ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが追加されました。指定された機能へのアクセスを許可する Integrated Management Module ライセンスが、システムに追加されました。

4000006000000000 または 0x4000006000000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0096

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000061-00000000 : ユーザー [arg2] によって [arg1] のライセンス・キーが削除されました。
指定されたユーザーが、Integrated Management Module ライセンスを削除しました。指定されたフィーチャーへのアクセスは許可されなくなりました。
4000006100000000 または 0x4000006100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0097

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000062-00000000 : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインの全般設定が設定されました。
AuthenticationMethod=[arg2]、LockoutPeriod=[arg3]、SessionTimeout=[arg4] です。
ユーザーがグローバル・ログインの全般設定を変更しました。
4000006200000000 または 0x4000006200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0098

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000063-00000000 : ユーザー [arg1] によってグローバル・ログインのアカウント・セキュリティが設定されました。PasswordRequired=[arg2]、PasswordExpirationPeriod=[arg3]、MinimumPasswordReuseCycle=[arg4]、MinimumPasswordLength=[arg5]、MinimumPasswordChangeInterval=[arg6]、MaximumLoginFailures=[arg7]、LockoutAfterMaxFailures=[arg8]、MinimumDifferentCharacters=[arg9]、DefaultIDExpired=[arg10]、ChangePasswordFirstAccess=[arg11] です。

ユーザーがグローバル・ログインのアカウント・セキュリティ設定を Legacy に変更しました。

4000006300000000 または 0x4000006300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0099

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000064-00000000 : ユーザー [arg1] が作成されました。

ユーザー・アカウントが作成されました。

4000006400000000 または 0x4000006400000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0100

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000065-00000000 : ユーザー [arg1] が削除されました。
ユーザー・アカウントが削除されました。
4000006500000000 または 0x4000006500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0101

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000066-00000000 : ユーザー [arg1] のパスワードが変更されました。
指定されたユーザー・アカウントのパスワードが変更されました。
4000006600000000 または 0x4000006600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0102

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000067-00000000 : ユーザー [arg1] の役割が [arg2] に設定されました。
ユーザー・アカウント役割が割り当てられました。
4000006700000000 または 0x4000006700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0103

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000068-00000000 : ユーザー [arg1] のカスタム権限が設定されました : [arg2]。
ユーザー・アカウント特権が割り当てられました。
4000006800000000 または 0x4000006800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0104

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000069-00000000 : SNMPv3 セットにおけるユーザー [arg1]: AuthenticationProtocol=[arg2]、PrivacyProtocol=[arg3]、AccessType=[arg4]、HostforTraps=[arg5] です。

ユーザー・アカウント SNMPv3 の設定が変更されました。

4000006900000000 または 0x4000006900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0105

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006a-00000000 : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] に追加されました。

ユーザーが SSH クライアント鍵をローカルに定義しました。

4000006a00000000 または 0x4000006a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0106

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006b-00000000 : SSH クライアント・キーが [arg2] からユーザー [arg1] にインポートされました。ユーザーが SSH クライアント鍵をインポートしました。

4000006b00000000 または 0x4000006b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0107

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006c-00000000 : SSH クライアント・キーがユーザー [arg1] から削除されました。ユーザーが SSH クライアント鍵を削除しました。

4000006c00000000 または 0x4000006c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0108

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006d-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によって構成がファイルに保存されました。

ユーザーが管理コントローラー構成をファイルに保存しました。

4000006d00000000 または 0x4000006d00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0109

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006e-00000000 : ユーザー [arg1] によってアラート構成のグローバル・イベント通知が設定されました。RetryLimit=[arg2]、RetryInterval=[arg3]、EntryInterval=[arg4] です。

ユーザーが、グローバル・イベント通知設定を変更しました。

4000006e00000000 または 0x4000006e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0110

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000006f-00000000 : アラート受信者番号 [arg1] が更新されました。Name=[arg2]、DeliveryMethod=[arg3]、Address=[arg4]、IncludeLog=[arg5]、Enabled=[arg6]、EnabledAlerts=[arg7]、AllowedFilters=[arg8] です。

指定されたユーザーがリモート・アラート受信者の構成を変更またはリセットしました。

4000006f00000000 または 0x4000006f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0111

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000070-00000000 : ユーザー [arg1] によって SNMP トラップが有効になりました。EnabledAlerts=[arg2]、AllowedFilters=[arg3] です。

指定されたユーザーが、Simple Network Management Protocol (SNMP) トラップを有効にしました。

4000007000000000 または 0x4000007000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0112

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000071-00000000 : ユーザー [arg3] によって電源キャップ値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

電源キャッピング・レベルが変更されました。

4000007100000000 または 0x4000007100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0113

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000072-00000000 : 電源キャップの最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

電源キャップの最小値が変更されました。

4000007200000000 または 0x4000007200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0114

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000073-00000000 : 電源キャップの最大値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。
電源キャップの最大値が変更されました。

4000007300000000 または 0x4000007300000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0115

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000074-00000000 : 電源キャップ値のソフト最小値が [arg1] ワットから [arg2] ワットに変更されました。

電源キャップのソフト最小値が変更されました。

4000007400000000 または 0x4000007400000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0116

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000075-00000000 : 計測電力値が電源キャップ値を超えました。

計測電力値が電源キャップ値を超えました。

4000007500000000 または 0x4000007500000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0117

ユーザー応答

- IMM ファームウェアのレベルが最新であることを確認します。
- システムの電源キャップ値を上げるか、現在適用されている電源キャップより小さくなるようにシステムのワークロードを調整します。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)

- **40000076-00000000** : 新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。

新規の電源キャップの最小値が電源キャップ値を超えました。

4000007600000000 または 0x4000007600000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0118

ユーザー応答

ユーザーは、電源キャップ値が最小電源キャップ以上になるように調整が必要になる場合があります。

- 40000077-00000000 : ユーザー [arg1] によって電源キャップがアクティブ化されました。電源キャッピング制御が有効になりました。

4000007700000000 または 0x4000007700000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0119

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000078-00000000 : ユーザー [arg1] によって電源キャップが非アクティブ化されました。電源キャッピング制御が無効にされました。

4000007800000000 または 0x4000007800000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0120

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000079-00000000 : ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオンにされました。ユーザーが静的電力節減モードをオンにしました。

4000007900000000 または 0x4000007900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0121

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007a-00000000 : ユーザー [arg1] によって静的電力節減モードがオフにされました。ユーザーが静的電力節減モードをオフにしました。

4000007a00000000 または 0x4000007a00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0122

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007b-00000000 : ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオンにされました。ユーザーが動的電力節減モードをオンにしました。

4000007b00000000 または 0x4000007b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0123

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007c-00000000 : ユーザー [arg1] によって動的電力節減モードがオフにされました。ユーザーが動的電力節減モードをオフにしました。

4000007c00000000 または 0x4000007c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0124

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007d-00000000 : 電源キャップ・スロットルと外部スロットルが発生しました。電源キャップ・スロットルおよび外部スロットルが発生しました。

4000007d00000000 または 0x4000007d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0125

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007e-00000000 : 外部スロットルが発生しました。
外部スロットルが発生しました。
4000007e00000000 または 0x4000007e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0126

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000007f-00000000 : 電源キャップ・スロットルが発生しました。
電源キャップ・スロットルが発生しました。
4000007f00000000 または 0x4000007f00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000080-00000000 : ユーザー [arg1] によってリモート制御セッションが [arg2] モードで開始されました。

「Remote Control」セッションが開始されました。

4000008000000000 または 0x4000008000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0128

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000081-00000000 : ユーザー [arg1] によって PXE ブートが要求されました。

PXE ブートが要求されました。

4000008100000000 または 0x4000008100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0129

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000082-00000000 : 計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。
計測された電源値が電源キャップ値を下回りました。
4000008200000000 または 0x4000008200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000083-00000000 : 新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。
新規最小電源キャップ値が電源キャップ値を下回りました。
4000008300000000 または 0x4000008300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0131

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000084-00000000 : IMM ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード間の IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008400000000 または 0x4000008400000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0132

ユーザー応答

すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルに更新してください。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)

- 40000085-00000000 : FPGA ファームウェアがノード [arg1] と [arg2] の間で不一致です。すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルにフラッシュしてください。

ノード間の FPGA ファームウェアのミスマッチが検出されました。

4000008500000000 または 0x4000008500000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0133

ユーザー応答
すべてのノードの FPGA ファームウェアを同一レベルに更新してください。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)

- 40000086-00000000 : ユーザー [arg1] によってテスト・コール・ホームが生成されました。指定されたユーザーが、テスト用の自動サポート通知を生成しました。
4000008600000000 または 0x4000008600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0134

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000087-00000000 : ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム : [arg2]。
指定されたユーザーがサービス要求を送信しました。
4000008700000000 または 0x4000008700000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0135

ユーザー応答

IBM サポート が問題に対応します。

- 40000088-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了しました。

指定されたユーザーが、指定された管理コントローラーの構成をファイルから正常にリストアしました。

4000008800000000 または 0x4000008800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0136

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000089-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元が完了できませんでした。

指定されたユーザーによる指定された管理コントローラーの構成のファイルからのリストアは、完了しませんでした。

4000008900000000 または 0x4000008900000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0137

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
 2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
 3. 操作を再試行します。
- 4000008a-00000000 : 管理コントローラー [arg1]: ユーザー [arg2] によるファイルからの構成の復元を開始できませんでした。

指定されたユーザーによる指定された管理コントローラーの構成のファイルからのリストアは、開始されませんでした。

4000008a00000000 または 0x4000008a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0138

ユーザー応答

1. サーバーの電源をオフにして、電源から切り離します。IMM をリセットするには、サーバーを AC 電源から切り離す必要があります。
 2. 45 秒後にサーバーを電源に再接続し、サーバーの電源をオンにします。
 3. 操作を再試行します。
- 4000008b-00000000 : 1 つ以上のストレージ管理 IP アドレスが変更されました。
1 つ以上のストレージ管理 IP アドレスが変更されました。

4000008b00000000 または 0x4000008b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - IMM ネットワーク・イベント

SNMP Trap ID

37

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0139

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000008c-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の CIM クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

ユーザーによる CIM クライアントからのログイン試行の失敗が最大許容数を越えたため、ユーザーはロックアウト期間の間、ログインすることができません。

4000008c00000000 または 0x4000008c00000000 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0140

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. 正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。
2. システム管理者にログイン ID またはパスワードをリセットするように依頼してください。

- 4000008d-00000000 : リモート・アクセスの試みが失敗しました。受信したユーザー ID またはパスワードが無効です。IP アドレス [arg2] の CIM クライアントのユーザー ID は [arg1] です。
ユーザーが無効なログイン ID またはパスワードを使用して CIM クライアントからログインを試みました。

4000008d00000000 または 0x4000008d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID
30

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0141

ユーザー応答
正しいログイン ID およびパスワードが使用されていることを確認してください。

- 4000008e-00000000 : デバイス [arg1] の VPD が無効です。
デバイスの VPD が無効です。

4000008e00000000 または 0x4000008e00000000 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0142

ユーザー応答
VPD データが無効なデバイスを交換する必要があります。

- 4000008f-00000000 : ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

ベア・メタル接続プロセスが開始されました。

4000008f00000000 または 0x4000008f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000090-00000000 : ベア・メタル更新アプリケーションがステータス [arg1] を報告しました。
ベア・メタル更新アプリケーションのステータスです。

4000009000000000 または 0x4000009000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0144

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000091-00000000 : ユーザー [arg1] がアクティブ・コンソール・セッションを終了しました。
ユーザーが、アクティブなコンソール・セッションを終了しました。

4000009100000000 または 0x4000009100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000092-00000000 : TKLM サーバーがユーザー [arg1] によって設定されました。TKLMServer1=[arg2] Port=[arg3]、TKLMServer2=[arg4] Port=[arg5]、TKLMServer3=[arg6] Port=[arg7]、TKLMServer4=[arg8] Port=[arg9] です。

ユーザーが TKLM サーバーを構成しました。

4000009200000000 または 0x4000009200000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0146

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000093-00000000 : ユーザー [arg1] によって TKLM サーバーのデバイス・グループが設定されました。TKLMServerDeviceGroup=[arg2] です。

ユーザーが TKLM デバイスグループを構成しました。

4000009300000000 または 0x4000009300000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000094-00000000 : ユーザー [arg1] が新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。
ユーザーが新規暗号鍵ペアを生成し、TKLM クライアントの自己署名証明書をインストールしました。
4000009400000000 または 0x4000009400000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0148

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000095-00000000 : ユーザー [arg1] が新規暗号鍵と TKLM クライアントの証明書署名要求を生成しました。
ユーザーが新規暗号鍵と、TKLM クライアントに対する証明書署名要求を生成しました。
4000009500000000 または 0x4000009500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0149

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000096-00000000 : ユーザー [arg1] が [arg2] から TKLM クライアントの署名された証明書をインポートしました。
ユーザーが TKLM クライアントの署名済み証明書をインポートしました。
4000009600000000 または 0x4000009600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0150

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000097-00000000 : ユーザー [arg1] が TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。
ユーザーが TKLM サーバーのサーバー証明書をインポートしました。
4000009700000000 または 0x4000009700000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0151

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000098-00000000 : UEFI 定義が変更されました。
UEFI 定義の変更が検出されました。
4000009800000000 または 0x4000009800000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
なし

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0152

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 40000099-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID : [arg1] によって IP アドレス [arg3] の IPMI クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。
ユーザーが IPMI から管理コントローラーにログインできませんでした。
4000009900000000 または 0x4000009900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0153

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009a-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IP アドレス [arg3] の SNMP クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

ユーザーが SNMP から管理コントローラーにアクセスできませんでした。

4000009a00000000 または 0x4000009a00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0154

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009b-00000000 : セキュリティー: ユーザー ID: [arg1] によって IPMI シリアル・クライアントから [arg2] 回のログイン障害が発生しました。

ユーザーが IPMI シリアル・クライアントから管理コントローラーにログインできませんでした。

4000009b00000000 または 0x4000009b00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID
30

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0155

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009c-00000000 : リモート・ログインに成功しました。[arg2] シリアル・インターフェースからのログイン ID: [arg1] です。
ユーザーが正常に管理コントローラーにログインしました。
4000009c00000000 または 0x4000009c00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID
30

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0156

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009d-00000000 : IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。
ユーザーが管理コントローラーからログオフしました。
4000009d00000000 または 0x4000009d00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0157

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009e-00000000 : IP アドレス [arg3] の [arg2] からのログイン ID [arg1] はログオフしています。ユーザーが管理コントローラーからログオフされました。

4000009e00000000 または 0x4000009e00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - リモート・ログイン

SNMP Trap ID

30

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0158

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 4000009f-00000000 : ユーザー [arg1] がサーバー [arg2] との接続性を確認するために TKLM サーバー接続テストを開始しました。

ユーザーが TKLM サーバー接続テストを開始しました。

4000009f00000000 または 0x4000009f00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0159

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a0-00000000 : ユーザー [arg1] が SMTP サーバー接続テストを開始しました。
ユーザーが SMTP サーバー接続テストを開始しました。

400000a000000000 または 0x400000a000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0160

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a1-00000000 : UEFI の報告 : [arg1]。

UEFI 監査イベントがログに記録されました。

400000a100000000 または 0x400000a100000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

なし

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0161

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a2-00000000 : ユーザー [arg1] が [arg4] からのファイル [arg3] を [arg2] しました。
ユーザーが URL またはサーバーからファイルをマウント/アンマウントしました。
400000a200000000 または 0x400000a200000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a3-00000000 : ユーザー [arg1] が SMTP サーバーのリバースパスを [arg2] に設定しました。
ユーザーが SMTP サーバーのリバースパス・アドレスを設定しました。
400000a300000000 または 0x400000a300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0163

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a4-00000000 : ユーザー [arg1] が証明書を削除しました。

ユーザーが証明書を削除しました。

400000a400000000 または 0x400000a400000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0164

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a5-00000000 : 証明書が取り消されました。

証明書が取り消されました。

400000a500000000 または 0x400000a500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0165

ユーザー応答
新しい証明書をインストールします。

- 400000a6-00000000 : サーバーが不明の理由で再起動されました。

サーバーが不明の理由で再起動されました。

400000a600000000 または 0x400000a600000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0166

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a7-00000000 : サーバーがシャーシ制御コマンドによって再起動されました。

サーバーがシャーシ制御コマンドによって再起動されました。

400000a700000000 または 0x400000a700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a8-00000000 : サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました。

サーバーがプッシュボタンを介してリセットされました。

400000a800000000 または 0x400000a800000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0168

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000a9-00000000 : 電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。
電源プッシュボタンを介してサーバーに電源が入りました。

400000a900000000 または 0x400000a900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000aa-00000000 : ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。
ウォッチドッグが満了したときにサーバーが再起動されました。

400000aa00000000 または 0x400000aa00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ab-00000000 : サーバーが OEM の理由で再起動されました。

サーバーが OEM の理由で再起動されました。

400000ab00000000 または 0x400000ab00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ac-00000000 : 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

400000ac00000000 または 0x400000ac00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0172

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ad-00000000 : 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。
電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが自動的に電源オンされました。

400000ad00000000 または 0x400000ad00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0173

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ae-00000000 : サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。

サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介してリセットされました。

400000ae00000000 または 0x400000ae00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0174

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000af-00000000 : プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。

プラットフォーム・イベント・フィルターを介してサーバーの電源サイクルが実行されました。

400000af00000000 または 0x400000af00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b0-00000000 : サーバーがソフト・リセットされました。

サーバーがソフト・リセットされました。

400000b000000000 または 0x400000b000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0176

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b1-00000000 : リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。
リアルタイム・クロックを介してサーバーの電源が入りました (スケジュール電源投入)。
400000b100000000 または 0x400000b100000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b2-00000000 : サーバーが不明の理由で電源オフされました。
サーバーが不明の理由で電源オフされました。
400000b200000000 または 0x400000b200000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b3-00000000 : サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました。
サーバーがシャース制御コマンドによって電源オフされました。

400000b300000000 または 0x400000b300000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b4-00000000 : サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました。
サーバーがプッシュボタンを介して電源オフされました。

400000b400000000 または 0x400000b400000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0180

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b5-00000000 : ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。
ウォッチドッグが満了したときにサーバーが電源オフされました。
400000b500000000 または 0x400000b500000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0181

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b6-00000000 : 電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。
電源復元ポリシーが常に復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。
400000b600000000 または 0x400000b600000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0182

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b7-00000000 : 電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

電源復元ポリシーが以前の電源状態を復元するように設定されているため、サーバーが電源オフのままでした。

400000b700000000 または 0x400000b700000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0183

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b8-00000000 : サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。

サーバーがプラットフォーム・イベント・フィルターを介して電源オフされました。

400000b800000000 または 0x400000b800000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0184

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000b9-00000000 : リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。

リアルタイム・クロックを介してサーバーが電源オフされました (スケジュールされた電源オフ)。

400000b900000000 または 0x400000b900000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0185

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000ba-00000000 : 電源オン・リセットによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

電源オン・リセットによって管理コントローラーのリセットが開始されました。

400000ba00000000 または 0x400000ba00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0186

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bb-00000000 : PRESET によって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。
PRESET によって管理コントローラーのリセットが開始されました。

400000bb00000000 または 0x400000bb00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0187

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bc-00000000 : CMM ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

CMM によって管理コントローラーのリセットが開始されました。

400000bc00000000 または 0x400000bc00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0188

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000bd-00000000 : IMM ファームウェアによって管理コントローラー [arg1] のリセットが開始されました。

IMM ファームウェアによって管理コントローラーのリセットが開始されました。

400000bd00000000 または 0x400000bd00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0189

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000be-00000000 : [arg1] 証明書は有効期限切れで削除されました。

有効期限が切れた証明書が削除されました。

400000be00000000 または 0x400000be00000000 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: IMM ID: 0190

ユーザー応答
新しい証明書をインストールします。

- 400000bf-00000000 : オペレーティング・システムのステータスが [arg1] に変更されました。

オペレーティング・システムのステータスが変更されました。

400000bf00000000 または 0x400000bf00000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0191

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 400000c0-00000000 : [arg1] のインベントリー・データ収集および処理が完了しました。
インベントリー・データの収集と処理が完了しました。

400000c000000000 または 0x400000c000000000 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: IMM ID: 0192

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80010002-2801ffff : 数値センサー SysBrd VBAT が非クリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

CMOS バッテリーの電圧が、指定のしきい値を下回りました。

800100022801ffff または 0x800100022801ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - 電圧

SNMP Trap ID
13

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0476

ユーザー応答
CMOS バッテリーを交換します。

関連リンク

– [システム・バッテリーの取り外し](#)

- 80010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

電圧が指定のしきい値を下回りました (センサー SysBrd 12V、SysBrd 3.3V、または SysBrd 5V)。

800102020701ffff または 0x800102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID
1

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 指定のセンサーが SysBrd 3.3V または SysBrd 5V である場合は、システム・ボードを交換します。
2. 指定のセンサーが SysBrd 12V である場合は、電源関連の問題がないか IMM イベント・ログを調べて、それらの問題を解決します。問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

関連リンク

- 標準 I/O ブックの取り外し

- 80010202-2801ffff: 数値センサー SysBrd VBAT がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

CMOS バッテリーの電圧が、指定のしきい値を下回りました。

800102022801ffff または 0x800102022801ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

CMOS バッテリーを交換します。

関連リンク

- システム・バッテリーの取り外し

- 80010204-1d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 1A またはファン 1B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d01ffff または 0x800102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 80010204-1d02ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 2A またはファン 2B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d02ffff または 0x800102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 80010204-1d03ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 3A またはファン 3B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d03ffff または 0x800102041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 80010204-1d04ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 4A またはファン 4B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d04ffff または 0x800102041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

- 80010204-1d05ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 5A またはファン 5B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d05ffff または 0x800102041d05ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

- 80010204-1d06ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 6A またはファン 6B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d06ffff または 0x800102041d06ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 80010204-1d07ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 7A またはファン 7B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d07ffff または 0x800102041d07ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 80010204-1d08ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 8A またはファン 8B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d08ffff または 0x800102041d08ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 80010204-1d09ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 9A またはファン 9B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d09ffff または 0x800102041d09ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

- 80010204-1d0affff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。

IMM は、ファン 10A またはファン 10B の速度が下がったことを検出しました。

800102041d0affff または 0x800102041d0affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0480

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

- 80010701-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。

IMM は、周囲の温度が正常レベルを超えて上昇したことを検出しました。

800107012701ffff または 0x800107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。

PCH の温度が正常レベルを超えて上昇しました。

800107012d01ffff または 0x800107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0490

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80010901-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。

IMM は、周囲の温度が限界のしきい値を超えて上昇したことを検出しました。

800109012701ffff または 0x800109012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- 80010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。

PCH 温度センサーが限界のしきい値を超えて上昇しました。ソフト・シャットダウンが試行されます。

800109012d01ffff または 0x800109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。

電圧が指定のしきい値を超えて上昇しました (センサー SysBrd 12V、SysBrd 3.3V、または SysBrd 5V)。

800109020701ffff または 0x800109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0494

ユーザー応答

1. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 指定のセンサーが SysBrd 3.3V または SysBrd 5V である場合は、システム・ボードを交換します。
2. 指定のセンサーがプレーナー 12V である場合は、電源関連の問題がないか IMM Web イベント・ログを調べて、それらの問題を解決します。問題が解決しない場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

関連リンク

– [標準 I/O ブックの取り外し](#)

- 80010b01-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。

周囲の温度がしきい値を超えて上昇しました。ハード・シャットダウンが生じました。

80010b012701ffff または 0x80010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回ったことが検出されました。

PCH 温度センサーがしきい値を超えて上昇しました。ハード・シャットダウンが生じました。

80010b012d01ffff または 0x80010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0498

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. これが唯一の温度関連イベントであり、そのイベントが続く場合は、システム・ボードを交換します (トレーニングを受けたサービス担当員のみ)。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [標準 I/O ブックの取り外し](#)
- **80030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] が状態の解消を検出しました。**
セキュア UEFI (署名検査の失敗) 更新が正常に完了しました。
800300062101ffff または 0x800300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **80030108-1381ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。**
電源の負荷が通常の限度に達しました。
800301081381ffff または 0x800301081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

PS 高負荷: システムはスロットルを絞って負荷を下げます。通知メッセージ。操作は不要です。

- 8003010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。
IMM は、SMI レーン・フェイルオーバーまたは純正以外の DIMM エラーを報告しました。
8003010c2581ffff または 0x8003010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 8003010d-2101ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。
IMM と eXFlash IPMI Proxy Service との通信が失われています。eXFlash DIMM デバイスのステータスが不明です。
8003010d2101ffff または 0x8003010d2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

正しい作動を保証するには、OS 内の IPMI Proxy Service のステータスを確認してください。
eXFlash DIMM に同梱されている eXFlash IPMI Proxy Service のインストールとサービスのガイドを参照してください。

- 8003010e-2581ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。
IMM は、メモリー・サイズが変更されたことを報告しました。
8003010e2581ffff または 0x8003010e2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 8003010f-2101ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。
IMM ファームウェアが破損しました。
8003010f2101ffff または 0x8003010f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

プライマリー・ビルドが正しいことを確認し、プライマリー・ビルドを最新レベルに更新します。

- 80030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。

IMM は、システム保守モード (SMM モード、SMM 監視) に入りました。このモードでは、現行の電源状態が重要です。

800301120601ffff または 0x800301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答

保守処置で指示されない限り、この時点でシステム電源状態を変更しないでください。[ファームウェアの明滅など]

- 80040104-1d01ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。

IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 1 を交換する必要があることを予知しました。

800401041d01ffff または 0x800401041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d02ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 2 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d02ffff または 0x800401041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d03ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 3 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d03ffff または 0x800401041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 予知された障害

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答
できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d04ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 4 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d04ffff または 0x800401041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 予知された障害

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答
できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d05ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 5 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d05ffff または 0x800401041d05ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d06ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 6 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d06ffff または 0x800401041d06ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- **80040104-1d07ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。**
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 7 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d07ffff または 0x800401041d07ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- **80040104-1d08ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。**
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 8 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d08ffff または 0x800401041d08ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d09ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 9 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d09ffff または 0x800401041d09ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- 80040104-1d0affff: センサー [SensorElementName] が障害予知を検出しています。
IMM は、冷却の障害を防止するためにファン 10 を交換する必要があることを予知しました。
800401041d0affff または 0x800401041d0affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0510

ユーザー応答

できるだけ早くファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)
- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの交換](#)

- **8007000d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態に遷移しました。**

このメッセージは、センサーが通常の状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007000d2582ffff または 0x8007000d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0518

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- **80070101-0301ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。**

コンピュータ・ブック 1 の非クリティカルな温度過熱が報告されました。

800701010301ffff または 0x800701010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを調べて、ファンまたは冷却に関連する問題があれば解決します。
2. コンピュート・ブックの前面と背面の通気が妨げられていないことを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0302ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

コンピュート・ブック 2 の非クリティカルな温度過熱が報告されました。

800701010302ffff または 0x800701010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. コンピュート・ブックの前面と背面の通気が妨げられていないことを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0303ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

コンピュータ・ブック 3 の非クリティカルな温度過熱が報告されました。

800701010303ffff または 0x800701010303ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. コンピュータ・ブックの前面と背面の通気が妨げられていないことを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0304ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

コンピュータ・ブック 4 の非クリティカルな温度過熱が報告されました。

800701010304ffff または 0x800701010304ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. コンピュート・ブックの前面と背面の通気が妨げられていないことを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0b01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

PCI 1 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。

800701010b01ffff または 0x800701010b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0b02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

PCI2 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。
800701010b02ffff または 0x800701010b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0b03ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。
PCI3 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。
800701010b03ffff または 0x800701010b03ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-0b04ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

PCI 4 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。

800701010b04ffff または 0x800701010b04ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– サーバーの機能および仕様

- 80070101-0b05ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。
PCI 5 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。
800701010b05ffff または 0x800701010b05ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– サーバーの機能および仕様

- 80070101-0b06ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。
PCI 6 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。
800701010b06ffff または 0x800701010b06ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070101-2c01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

ML2 カードが非クリティカルな温度過熱状態を報告しました。

800701012c01ffff または 0x800701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. システムに付属しているすべてのバッフルが取り付けられていることを確認します。
5. ML2 カードのヒート・シンクを調べて、冷却効率を下げる可能性がある微粒子やごみが付着していないことを確認します。
6. ML2 カードのヒート・シンクを取り外して、ヒート・シンクとチップがしっかりと接触していることを確認してから、ヒート・シンクを再取り付けします。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンポーネントの取り外しと交換](#)
 - [熱伝導グリース](#)
- **80070107-0301ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。**
コンピュータ・ブック 1 がシステムから取り外されました。システム電源はブロックされました。
800701070301ffff または 0x800701070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

PCH および FPGA チップの適切な冷却を確保するために、ファンを備えたコンピュータ・ブック 1 を取り付けてください。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- **80070107-0302ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。**
コンピュータ・ブック 2 がシステムから取り外されました。
800701070302ffff または 0x800701070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- 80070107-0303ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

コンピュータ・ブック 3 がシステムから取り外されました。

800701070303ffff または 0x800701070303ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- 80070107-0304ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

コンピュータ・ブック 4 がシステムから取り外されました。

800701070304ffff または 0x800701070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- 80070107-2583ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

システムへの CPU の取り付け方法がサポートされている構成と一致しておらず、CPU がオペレーティング・システムからアクセス不能になり、ブートが妨げられる可能性があります。[CPU 装着]

800701072583ffff または 0x800701072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM ServerProven Web サイトを調べて、プロセッサがこのシステムに有効なオプションであることを確認します。有効なオプションでない場合は、そのプロセッサを取り外して、有効なオプションであるプロセッサを取り付けます。
2. 一致するプロセッサが、システムの正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。システムの資料を参照してください。
3. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. プロセッサを交換します。プロセッサの交換中にプロセッサ・ソケットを調べて、プロセッサ・ソケットが破損している場合は CPU/メモリー・ボードを交換します。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- 80070108-1381ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、電源構成エラー、PS 12V OC 障害、または PS CSF 障害を検出しました。

800701081381ffff または 0x800701081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

PS 12V OC 障害が報告された場合:

過電流状態をクリアします。

PS CSF 障害が報告された場合:

その他の電源イベントがないかを確認します。

PS AC 入力ソースの場合:

1. その他の電源イベントがないかを確認します。
2. Web GUI で電源ポリシーおよび構成設定を確認します。
3. 改行を確認します。
4. 正しい構成については、資料を参照してください。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)

- 8007010d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが正常な状態から非クリティカルな状態に変化したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007010d2582ffff または 0x8007010d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- 8007010d-2b810001: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 1 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810001 または 0x8007010d2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810002 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 2 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810002 または 0x8007010d2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810003 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 3 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810003 または 0x8007010d2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810004 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 4 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810004 または 0x8007010d2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810005 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 5 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810005 または 0x8007010d2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810006 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 6 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810006 または 0x8007010d2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810007 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 7 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810007 または 0x8007010d2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810008 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 8 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810008 または 0x8007010d2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810009 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 9 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810009 または 0x8007010d2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81000a : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 10 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b81000a または 0x8007010d2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81000b: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 11 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b81000b または 0x8007010d2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81000c: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 12 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b81000c または 0x8007010d2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81000d: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 13 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b81000d または 0x8007010d2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81000e : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 14 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b81000e または 0x8007010d2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81000f : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 15 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b81000f または 0x8007010d2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810010 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 16 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810010 または 0x8007010d2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810011 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 17 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810011 または 0x8007010d2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810012 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 18 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810012 または 0x8007010d2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810013 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 19 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810013 または 0x8007010d2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810014 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 20 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810014 または 0x8007010d2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810015 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 21 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810015 または 0x8007010d2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810016 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 22 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810016 または 0x8007010d2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810017 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 23 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810017 または 0x8007010d2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b810018 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 24 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b810018 または 0x8007010d2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy service は、コンピュータ・ブック 1 に書き込み保証の残りが 1% 未満である eXFlash DIMM が含まれていることを示しました

8007010d2b81ffff または 0x8007010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820001 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 1 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820001 または 0x8007010d2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820002 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 2 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820002 または 0x8007010d2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820003 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 3 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820003 または 0x8007010d2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820004 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 4 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820004 または 0x8007010d2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820005 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 5 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820005 または 0x8007010d2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820006 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 6 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820006 または 0x8007010d2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820007 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 7 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820007 または 0x8007010d2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820008 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 8 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820008 または 0x8007010d2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820009 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 9 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820009 または 0x8007010d2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82000a : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 10 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b82000a または 0x8007010d2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82000b : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 11 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b82000b または 0x8007010d2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82000c : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 12 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b82000c または 0x8007010d2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82000d : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 13 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b82000d または 0x8007010d2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82000e : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 14 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b82000e または 0x8007010d2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82000f: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 15 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b82000f または 0x8007010d2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820010: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 16 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820010 または 0x8007010d2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820011 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 17 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820011 または 0x8007010d2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820012 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 18 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820012 または 0x8007010d2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820013 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 19 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820013 または 0x8007010d2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820014 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 20 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820014 または 0x8007010d2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820015 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 21 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820015 または 0x8007010d2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820016 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 22 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820016 または 0x8007010d2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820017 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 23 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820017 または 0x8007010d2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b820018 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 24 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b820018 または 0x8007010d2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b82ffff : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy service は、コンピュータ・ブック 2 に書き込み保証の残りが 1% 未満である eXFlash DIMM が含まれていることを示しました

8007010d2b82ffff または 0x8007010d2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830001 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 1 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830001 または 0x8007010d2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830002 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 2 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830002 または 0x8007010d2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830003 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 3 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830003 または 0x8007010d2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830004 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 4 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830004 または 0x8007010d2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830005 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 5 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830005 または 0x8007010d2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830006 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 6 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830006 または 0x8007010d2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830007 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 7 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830007 または 0x8007010d2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830008 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 8 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830008 または 0x8007010d2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830009 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 9 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830009 または 0x8007010d2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83000a : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 10 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b83000a または 0x8007010d2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83000b : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 11 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b83000b または 0x8007010d2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83000c : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 12 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b83000c または 0x8007010d2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83000d : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 13 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b83000d または 0x8007010d2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83000e : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 14 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b83000e または 0x8007010d2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83000f: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 15 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b83000f または 0x8007010d2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830010: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 16 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830010 または 0x8007010d2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830011 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 17 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830011 または 0x8007010d2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830012 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 18 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830012 または 0x8007010d2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830013 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 19 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830013 または 0x8007010d2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830014 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 20 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830014 または 0x8007010d2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830015 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 21 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830015 または 0x8007010d2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830016 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 22 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830016 または 0x8007010d2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830017 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 23 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830017 または 0x8007010d2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b830018 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 24 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b830018 または 0x8007010d2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b83ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy service は、コンピュータ・ブック 3 に書き込み保証の残りが 1% 未満である eXFlash DIMM が含まれていることを示しました

8007010d2b83ffff または 0x8007010d2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840001: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 1 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840001 または 0x8007010d2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840002 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。
eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 2 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。
8007010d2b840002 または 0x8007010d2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840003 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。
eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 3 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。
8007010d2b840003 または 0x8007010d2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840004 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。
eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 4 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。
8007010d2b840004 または 0x8007010d2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840005 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 5 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840005 または 0x8007010d2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840006 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 6 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840006 または 0x8007010d2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840007 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 7 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840007 または 0x8007010d2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840008 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 8 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840008 または 0x8007010d2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840009 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 9 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840009 または 0x8007010d2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84000a : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 10 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b84000a または 0x8007010d2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84000b : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 11 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b84000b または 0x8007010d2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84000c : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 12 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b84000c または 0x8007010d2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84000d: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 13 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b84000d または 0x8007010d2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84000e: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 14 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b84000e または 0x8007010d2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84000f: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 15 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b84000f または 0x8007010d2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840010 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 16 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840010 または 0x8007010d2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840011 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 17 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840011 または 0x8007010d2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840012 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 18 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840012 または 0x8007010d2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840013 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 19 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840013 または 0x8007010d2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840014 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 20 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840014 または 0x8007010d2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840015 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 21 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840015 または 0x8007010d2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840016 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 22 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840016 または 0x8007010d2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840017 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 23 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840017 または 0x8007010d2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b840018 : センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 24 の書き込み保証の残りが 1% 未満であることを示しました。

8007010d2b840018 または 0x8007010d2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010d-2b84ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

eXFlash IPMI Proxy service は、コンピュート・ブック 4 に書き込み保証の残りが 1% 未満である eXFlash DIMM が含まれていることを示しました

8007010d2b84ffff または 0x8007010d2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。まもなく保証の有効期限が切れますが、操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8007010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

ディスク LUN (論理装置番号) の GPT (GUID パーティション・テーブル) が破損していて、LUN のデータがシステムからアクセス不能になり、ブートが妨げられる可能性があります。

8007010f2201ffff または 0x8007010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、この GPT エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI 設定「DISK GPT Recovery」を「Automatic」に設定します。
3. 破損したディスクを交換します。

GPT ステータス: セキュア・ロールバック・エラー: セキュア・ブート・エラー:

- 80070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

Trusted Platform Module (TPM) イベントが非クリティカルな状態に移行しました。

800701142201ffff または 0x800701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。TPM ロック: TPM 物理プレゼンス設定:

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 80070125-2583ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態に遷移しました。

A BP2 Pop エラー、X8 PCIe1 構成エラーまたは X8 PCIe2 構成エラーが検出されました。

800701252583ffff または 0x800701252583ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

NVME ドライブ・インターフェース・カードが誤ったスロットに取り付けられています。取り外してスロット 1 に置き換えてください。

- 80070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の温度がクリティカルな状態の温度まで上昇したことを検出しました。

800702010301ffff または 0x800702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070201-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の温度がクリティカルな状態の温度まで上昇したことを検出しました。

800702010302ffff または 0x800702010302ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070201-0303ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の温度がクリティカルな状態の温度まで上昇したことを検出しました。

800702010303ffff または 0x800702010303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070201-0304ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の温度がクリティカルな状態の温度まで上昇したことを検出しました。

800702010304ffff または 0x800702010304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070204-1381ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

電源は、電源ファン障害を検出しました。

800702041381ffff または 0x800702041381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

どの電源が障害を起こしたのかを IMM イベント・ログで調べます。

- 80070208-1381ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

電源は、クリティカルな PS 温度障害または PS の無効な CFG 障害を検出しました。

800702081381ffff または 0x800702081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

PS 温度障害の場合

1. IMM イベント・ログで、PS 障害がある電源がないか調べます。
2. PS 障害のある電源を交換します。

PS の無効な CFG

通信システムでは、4つの電源のすべてが装着されていて、DCのみが使用されている必要があります。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)

- 8007020c-2581ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、SMI レーンの障害を報告しました。

8007020c2581ffff または 0x8007020c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **8007020d-2582ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが比較的重大でない状態からクリティカルな状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007020d2582ffff または 0x8007020d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- **8007020f-2201ffff**: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、ドライブ・キー障害または TXT ACM モジュール障害を報告しました。

8007020f2201ffff または 0x8007020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 8007020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、十分な I/O リソースを割り振ることができないクリティカルな状態を報告しました。

8007020f2582ffff または 0x8007020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

UEFI は、クリティカルなシステム・ボード障害を検出しました。

800702190701ffff または 0x800702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 8007021b-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 QPI リンク・エラーを報告しました。

8007021b0301ffff または 0x8007021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 8007021b-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 QPI リンク・エラーを報告しました。

8007021b0302ffff または 0x8007021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 8007021b-0303ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 QPI リンク・エラーを報告しました。

8007021b0303ffff または 0x8007021b0303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 8007021b-0304ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 4 QPI リンク・エラーを報告しました。

8007021b0304ffff または 0x8007021b0304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070221-0b0affff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、ML2 アダプターの温度過熱状態を検出しました。

800702210b0affff または 0x800702210b0affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー
保守可能
はい
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
クリティカル - その他
SNMP Trap ID
50
CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522
ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、ML2 の障害状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

関連リンク

– [サーバーの機能および仕様](#)

- 80070221-1f01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 で外部 QPI リンク・エラーが起こっていることを報告しました。

800702211f01ffff または 0x800702211f01ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー
保守可能
はい
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
クリティカル - その他
SNMP Trap ID
50
CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070221-1f02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 で外部 QPI リンク・エラーが起こっていることを報告しました。

800702211f02ffff または 0x800702211f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070221-1f03ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 で外部 QPI リンク・エラーが起こっていることを報告しました。

800702211f03ffff または 0x800702211f03ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070221-1f04ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 4 で外部 QPI リンク・エラーが起きていることを報告しました。

800702211f04ffff または 0x800702211f04ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070221-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

入出力ブック 1 の不一致が検出されました。

800702212c01ffff または 0x800702212c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

PCIe レーンを割り当てた後で、異なるタイプの I/O ブックを交換しないでください。同じタイプと交換してください。

- 80070221-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からクリティカルな状態に遷移しました。

入出力ブック 2 の不一致が検出されました。

800702212c02ffff または 0x800702212c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

PCIe レーンを割り当てた後で、異なるタイプの I/O ブックを交換しないでください。同じタイプと交換してください。

- 80070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 の温度がリカバリー不能状態に移行したことを検出しました。

800703010301ffff または 0x800703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 1 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
 - [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
 - [熱伝導グリース](#)
- 80070301-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 の温度がリカバリー不能状態に移行したことを検出しました。

800703010302ffff または 0x800703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 2 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
- [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
- [熱伝導グリース](#)

- 80070301-0303ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 の温度がリカバリー不能状態に移行したことを検出しました。

800703010303ffff または 0x800703010303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 3 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 3 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 3 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
 - [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
 - [熱伝導グリース](#)
- 80070301-0304ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 4 の温度がリカバリー不能状態に移行したことを検出しました。

800703010304ffff または 0x800703010304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 4 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 4 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 4 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
 - [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
 - [熱伝導グリース](#)
- **80070301-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。**

ML2 カードがリカバリー不能な温度過熱状態を報告しました。

800703012c01ffff または 0x800703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0522

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. 室温が運用規格内であることを確認します。
3. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
4. システムに付属しているすべてのバッフルが取り付けられていることを確認します。
5. ML2 カードのヒート・シンクを調べて、冷却効率を下げる可能性がある微粒子やごみが付着していないことを確認します。

6. ML2 カードのヒート・シンクを取り外して、ヒート・シンクとチップがしっかりと接触していることを確認してから、ヒート・シンクを再取り付けします。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [ML2 \(イーサネット\) アダプターの取り外し](#)
 - [熱伝導グリース](#)
- 8007030d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態に遷移しました。

このメッセージは、センサーが比較的重大でない状態からリカバリー不能状態に移行したことが実装環境で検出された場合に使用されます。

8007030d2582ffff または 0x8007030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- 80070319-2201ffff: センサー S3 再開失敗が、さほど重大でない状態からリカバリー不能状態に遷移しました。

S3 Resume Fail センサーが、比較的重大でない状態からリカバリー不能状態に変化しました。

800703192201ffff または 0x800703192201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0524

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070603-1301ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に移りました。

IMM は電圧調節装置エラーを検出しました。

800706031301ffff または 0x800706031301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

- コンピュート・ブック 1 VRD: CPU1 の電圧調節装置か、マイクロプロセッサ 1 自体のどちらかの問題を示します。
- コンピュート・ブック 2 VRD: CPU2 の電圧調節装置か、マイクロプロセッサ 2 自体のどちらかの問題を示します。
- コンピュート・ブック 3 VRD: CPU3 の電圧調節装置か、マイクロプロセッサ 3 自体のどちらかの問題を示します。
- コンピュート・ブック 4 VRD: CPU4 の電圧調節装置か、マイクロプロセッサ 4 自体のどちらかの問題を示します。
- プレーナー VRD: プライマリー・システム・ボードの電圧調節装置の問題を示します。
- I/O ブック 1 VRD: I/O モジュールの電圧調節装置の問題を示します。
- I/O ブック 2 VRD: I/O モジュールの電圧調節装置の問題を示します。
- ストレージ・ブック VRD: ストレージ・ブック・ボードの電圧調節装置の問題を示します。
- IMM Web イベント・ログを調べます。このイベントは、この前に発生したエラーの現象である可能性があります。
- エラーに応じて、以下のステップを実行します。

CPU ブック 1 VRD、CPU ブック 2 VRD、CPU ブック 3 VRD、または CPU ブック 4 VRD のエラーの場合:

- IBM サポートサイトを参照し、このマイクロプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
- 影響を受けたコンピュータ・ブックを交換します。
- プレーナー VRD エラーの場合:
- プライマリー・システム・ボードを交換します。
- I/O ブック VRD エラーの場合:
- I/O ブック・ボードを交換します。
- ストレージ・ブック VRD エラーの場合:
- ストレージ・ブック・ボードを交換します。

関連リンク

- [標準 I/O ブックの取り外し](#)
 - [標準 I/O ブックの交換](#)
 - [ストレージ・ブックの取り外し](#)
 - [ストレージ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
- **80070607-2583ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。**
システムへのマイクロプロセッサの取り付け方法がサポートされている構成と一致していません。
800706072583ffff または 0x800706072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。[CPU の不一致、ブート CPU の欠落、CPU タイプ・エラー]

1. IBM サポートサイトを参照し、このマイクロプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. IBM ServerProven Web サイトを調べて、マイクロプロセッサがこのシステムに有効なオプションであることを確認します。有効なオプションでない場合は、そのマイクロプロセッサを取り外して、有効なオプションであるプロセッサを取り付けます。
3. 一致するマイクロプロセッサが、システムの製品資料に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。システムの資料を参照してください。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
- [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
- [熱伝導グリース](#)

- **80070607-2b01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。**

IMM は、コンピュータ・ブック 1 が存在しないことを検出しました。これは適切なシステムの冷却に影響を与えます。

800706072b01ffff または 0x800706072b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

1. コンピュータ・ブック 1 が意図的に取り外された場合は、コンピュータ・ブック 1 を取り付けます。
2. コンピュータ・ブック 1 が適切に取り付けられていることを確認します。
3. コンピュータ・ブック 1 が適切に取り付けられている場合、そのコンピュータ・ブック 1 を交換します。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- **80070608-1381ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。**

IMM は、電源に関連する障害を検出しました。(PS 12V OV 障害、PS 12V UV 障害、または PS AUX UV 障害)

800706081381ffff または 0x800706081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

PS 12V OV 障害、PS 12V UV 障害、または PS AUX UV 障害の場合:

1. 電源 LED を確認します。『電源 LED』を参照してください。
2. 障害のある電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
 - [電源の取り付け](#)
 - [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
 - [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
 - [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
 - [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)
- **8007060f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。**
Trusted Platform Module (TPM) 初期化エラーです。
8007060f2201ffff または 0x8007060f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 80070625-2583ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態に遷移しました。

A X8 PCIe1 構成または X8 PCIe2 構成の不一致が検出されました。

800706252583ffff または 0x800706252583ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0530

ユーザー応答

PCI 再送信カードのファームウェアと NVME ドライブ・インターフェースが一致しません。ファームウェアを更新します。

- 80070808-1381ffff: センサー [SensorElementName] が通知状態を示しました。

各ノードの電源ポリシーが一致しません。

800708081381ffff または 0x800708081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 電源

SNMP Trap ID

164

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0534

ユーザー応答

各ノードの電源ポリシーを同じにします。ノードの電源ポリシーは、IMM Web ページの「Server Management」メニューにある「Power Management」メニュー項目で編集できます。このメッセージを回避するには、区画内のすべてのノードを同じ電源ポリシーで構成する必要があります。

- 8008000f-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM で、TPM 物理プレゼンスの切り替えの解消が検出されました。

8008000f2101ffff または 0x8008000f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080025-2b01ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 がシステムから取り外されたことを検出しました。

800800252b01ffff または 0x800800252b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

1. コンピュート・ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. コンピュート・ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
3. コンピュート・ブックが適切に取り付けられている場合、そのコンピューター・ブックを交換します。

関連リンク

- [コンピューター・ブックの交換](#)
- [コンピューター・ブックの取り外し](#)

- 80080025-2b02ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、コンピューター・ブック 2 がシステムから取り外されたことを検出しました。

800800252b02ffff または 0x800800252b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

1. コンピューター・ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. コンピューター・ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
3. コンピューター・ブックが適切に取り付けられている場合、そのコンピューター・ブックを交換します。

関連リンク

- [コンピューター・ブックの交換](#)
- [コンピューター・ブックの取り外し](#)

- 80080025-2b03ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 がシステムから取り外されたことを検出しました。

800800252b03ffff または 0x800800252b03ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

1. コンピュータ・ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. コンピュータ・ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
3. コンピュータ・ブックが適切に取り付けられている場合、そのコンピュータ・ブックを交換します。

関連リンク

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- 80080025-2b04ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 がシステムから取り外されたことを検出しました。

800800252b04ffff または 0x800800252b04ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

1. コンピュート・ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. コンピュート・ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
3. コンピュート・ブックが適切に取り付けられている場合、そのコンピュート・ブックを交換します。

関連リンク

- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)

- 80080025-2c01ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、I/O ブック 1 が存在しなくなったことを検出しました。適切な冷却を確保するために、空の I/O ベイにはフィルターを取り付ける必要があります。

800800252c01ffff または 0x800800252c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

- I/O ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
- I/O ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
- I/O ブックが適切に取り付けられている場合、その I/O ブックを交換します。

関連リンク

- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの交換](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの交換](#)

- 80080025-2c02ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、I/O ブック 2 が存在しなくなったことを検出しました。適切な冷却を確保するために、空の I/O ベイにはフィルターを取り付ける必要があります。

800800252c02ffff または 0x800800252c02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0537

ユーザー応答

- I/O ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
- I/O ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
- I/O ブックが適切に取り付けられている場合、その I/O ブックを交換します。

関連リンク

- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの交換](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの交換](#)

- 80080125-2b01ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 がシステムに追加されたことを検出しました。

800801252b01ffff または 0x800801252b01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080125-2b02ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。IMM は、コンピュート・ブック 2 がシステムに追加されたことを検出しました。800801252b02ffff または 0x800801252b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080125-2b03ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。IMM は、コンピュート・ブック 3 がシステムに追加されたことを検出しました。800801252b03ffff または 0x800801252b03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080125-2b04ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。IMM は、コンピュート・ブック 4 がシステムに追加されたことを検出しました。800801252b04ffff または 0x800801252b04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080125-2c01ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。IMM は、I/O ブック 1 がシステムに追加されたことを検出しました。800801252c01ffff または 0x800801252c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080125-2c02ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。
IMM は、I/O ブック 2 がシステムに追加されたことを検出しました。
800801252c02ffff または 0x800801252c02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 80080128-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。
IMM は、低セキュリティー・ジャンパーが追加されたことを検出しました。
800801282101ffff または 0x800801282101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 800b0008-1381ffff: 冗長性 [RedundancySetElementName] が復元されました。
電源の冗長性が復元されました。

800b00081381ffff または 0x800b00081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0561

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 800b0108-1381ffff : [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。

電源の冗長性が失われました。

800b01081381ffff または 0x800b01081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 冗長電源

SNMP Trap ID

9

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. 電源装置: 電源が欠落していないか、電源コードが抜けていないかを確認します。
2. 電源 LED を確認します。『電源 LED』を参照してください。
3. 影響を受けた電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)

- 1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し
- 1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換

- 800b010a-1e81ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。

ゾーン 1 のファンの冗長性が失われました。

800b010a1e81ffff または 0x800b010a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b010a-1e82ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。

ゾーン 2 のファンの冗長性が失われました。

800b010a1e82ffff または 0x800b010a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b010a-1e83ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。
ゾーン 3 のファンの冗長性が失われました。

800b010a1e83ffff または 0x800b010a1e83ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b010a-1e84ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。
ゾーン 4 のファンの冗長性が失われました。

800b010a1e84ffff または 0x800b010a1e84ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b010a-1e85ffff : [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。

ゾーン 5 のファンの冗長性が失われました。

800b010a1e85ffff または 0x800b010a1e85ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し

- 800b010c-2581ffff : [RedundancySetElementName] の冗長性消失が検出されました。
バックアップ・メモリの冗長性が失われました。

800b010c2581ffff または 0x800b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0802

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 800b0208-1381ffff : [RedundancySetElementName] の冗長性低下が検出されました。
電源装置が冗長状態ではなくなりました。

800b02081381ffff または 0x800b02081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0804

ユーザー応答

1. 電源が欠落していないか、電源コードが抜けていないかを確認します。
2. 電源 LED を確認します。『電源 LED』を参照してください。
3. 影響を受けた電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
 - [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
 - [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
 - [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
 - [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)
- 800b0308-1381ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。
電源は十分な電力を供給していますが、冗長状態ではなくなりました。
800b03081381ffff または 0x800b03081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0806

ユーザー応答

1. 電源装置: 電源が欠落していないか、電源コードが抜けていないかを確認します。
2. 電源 LED を確認します。『電源 LED』を参照してください。
3. 影響を受けた電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)

- 800b0309-1381ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。

パワー・リソースは十分な電力を供給していますが、冗長状態ではなくなりました。

800b03091381ffff または 0x800b03091381ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0806

ユーザー応答

1. 電源装置: 電源が欠落していないか、電源コードが抜けていないかを確認します。
2. ログを確認し、電源の問題を解決してください。

関連リンク

– [電源の問題の解決](#)

- 800b030c-2581ffff: バックアップ・メモリーにおいて「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」が検出されました。

バックアップ・メモリーが「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分」に移行しました。

800b030c2581ffff または 0x800b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0806

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 800b0508-1381ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

電源装置が冗長状態ではなくなり、システムの稼働に必要な電力を供給できなくなりました。

800b05081381ffff または 0x800b05081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 冗長電源

SNMP Trap ID

9

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. 電源が欠落していないか、電源コードが抜けていないかを確認します。
2. 電源 LED を確認します。『電源 LED』を参照してください。
3. 影響を受けた電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)

- 800b0509-1381ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

パワー・リソース (電源) は、冗長状態ではなくなり、システムの稼働に必要な電力を供給できなくなりました。

800b05091381ffff または 0x800b05091381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 冗長電源

SNMP Trap ID

9

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. 電源が欠落していないか、電源コードが抜けていないかを確認します。
2. 電源構成と電源ポリシーを確認します。
3. 影響を受けた電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)

- 800b050a-1e81ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

ファン・ゾーン 1 によって提供される冷却が不十分です。

800b050a1e81ffff または 0x800b050a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b050a-1e82ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

ファン・ゾーン 2 によって提供される冷却が不十分です。

800b050a1e82ffff または 0x800b050a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b050a-1e83ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

ファン・ゾーン 3 によって提供される冷却が不十分です。

800b050a1e83ffff または 0x800b050a1e83ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

- [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b050a-1e84ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

ファン・ゾーン 4 によって提供される冷却が不十分です。

800b050a1e84ffff または 0x800b050a1e84ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b050a-1e85ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

ファン・ゾーン 5 によって提供される冷却が不十分です。

800b050a1e85ffff または 0x800b050a1e85ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

1. ファン上の点灯した LED が示す、障害が発生しているファンを取り付け直します。
2. ファンを交換します。

関連リンク

– [ホット・スワップ・ファン・アセンブリーの取り外し](#)

- 800b050c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性なし: リソース不足」が検出されました。

バックアップ・メモリー・センサーが「冗長性なし: リソース不足」に移行しました。

800b050c2581ffff または 0x800b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0810

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 1 に障害が起きた (IERR 状態) ことを報告しました。
806f00070301ffff または 0x806f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0007-0302ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 2 に障害が起きた (IERR 状態) ことを報告しました。
806f00070302ffff または 0x806f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0007-0303ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 3 に障害が起きた (IERR 状態) ことを報告しました。
806f00070303ffff または 0x806f00070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0007-0304ffff: [ProcessorElementName] で IERR 障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 4 に障害が起きた (IERR 状態) ことを報告しました。

806f00070304ffff または 0x806f00070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0042

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0008-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。

IMM は、電源 1 が追加されたことを検出しました。

806f00080a01ffff または 0x806f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0084

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0008-0a02ffff : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。

IMM は、電源 2 が追加されたことを検出しました。

806f00080a02ffff または 0x806f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0084

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0008-0a03ffff : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。

IMM は、電源 3 が追加されたことを検出しました。

806f00080a03ffff または 0x806f00080a03ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0084

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0008-0a04ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] に追加されました。

IMM は、電源 4 が追加されたことを検出しました。

806f00080a04ffff または 0x806f00080a04ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0084

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0009-1381ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オフになっています。

IMM は、システム電源がオフになったことを検出しました。

806f00091381ffff または 0x806f00091381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 電源オフ

SNMP Trap ID
23

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0106

ユーザー応答
ホスト電源: 通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0400ffff: [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 0 が取り付けられました。

806f000d0400ffff または 0x806f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0401ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 1 が取り付けられました。

806f000d0401ffff または 0x806f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0402ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 2 が取り付けられました。

806f000d0402ffff または 0x806f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0403ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 3 が取り付けられました。
806f000d0403ffff または 0x806f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0404ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 4 が取り付けられました。
806f000d0404ffff または 0x806f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0405ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 5 が取り付けられました。

806f000d0405ffff または 0x806f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0406ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 6 が取り付けられました。

806f000d0406ffff または 0x806f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0407ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 7 が取り付けられました。
806f000d0407ffff または 0x806f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-0408ffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 8 が取り付けられました。
806f000d0408ffff または 0x806f000d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **806f000d-0409ffff** : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 9 が取り付けられました。
806f000d0409ffff または 0x806f000d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **806f000d-040affff** : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 10 が取り付けられました。
806f000d040affff または 0x806f000d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-040bffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 11 が取り付けられました。

806f000d040bffff または 0x806f000d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-040cffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。

ハードディスク・ドライブ 12 が取り付けられました。

806f000d040cffff または 0x806f000d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-040dffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 13 が取り付けられました。
806f000d040dffff または 0x806f000d040dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-040effff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 14 が取り付けられました。
806f000d040effff または 0x806f000d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000d-040fffff : [NumericSensorElementName] が追加されました。
ハードディスク・ドライブ 15 が取り付けられました。

806f000d040ffff または 0x806f000d040ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0162

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f000f-220101ff: システム [ComputerSystemElementName] は、システムにメモリーがないことを検出しました。

IMM は、システムにメモリー (ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm, X8 PCIe2 Firm) が見つからないことを報告しました。

806f000f220101ff または 0x806f000f220101ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0794

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f000f-220102ff: サブシステム [MemoryElementName] に、操作に十分なメモリーがありません。**
IMM は、使用可能なメモリーが操作に不十分であることを報告しました。(ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm)

806f000f220102ff または 0x806f000f220102ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0132

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

- **806f000f-220103ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なブート・デバイスの障害です。**

IMM は、システム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能ブート・デバイス障害が生じたことを報告しました。(ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm)

806f000f220103ff または 0x806f000f220103ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0770

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f000f-220104ff: システム [ComputerSystemElementName] でマザーボードの障害が発生しました。IMM は、システムの致命的なシステム・エラー (ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm) を報告しました。

806f000f220104ff または 0x806f000f220104ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0795

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f000f-220107ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。リカバリー不能なキーボード・エラーです。

IMM は、システム・ファームウェア・エラーのリカバリー不能キーボード障害 (ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm) が生じたことを報告しました。

806f000f220107ff または 0x806f000f220107ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0764

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f000f-22010aff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアの障害が発生しました。ビデオ・デバイスが検出されませんでした。

IMM は、システム・ファームウェア・エラー「ビデオ・デバイスが見つかりません」(ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm) の発生を検出したことを報告しました。

806f000f22010aff または 0x806f000f22010aff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0766

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f000f-22010bff: POST 中にシステム [ComputerSystemElementName] でファームウェア BIOS (ROM) の破損が検出されました。

システムで POST 中にファームウェア BIOS (ROM) 破損 (ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm) が検出されました。

806f000f22010bff または 0x806f000f22010bff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0850

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f000f-22010cff: [ProcessorElementName] で CPU 電圧不一致が検出されました。

IMM は、マイクロプロセッサ・ソケットの電圧とのマイクロプロセッサの電圧の不一致 (ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm) を報告しました。

806f000f22010cff または 0x806f000f22010cff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0050

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f000f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] で POST エラーが発生しました。

IMM は、POST エラー (ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm) を報告しました。

806f000f2201ffff または 0x806f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0184

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0013-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] で診断割り込みが発生しました。

ユーザーが NMI ボタンを押したか、ボタンの誤動作がありました。

806f00131701ffff または 0x806f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0222

ユーザー応答

NMI ボタンを押していない場合は、以下の手順を実行してください。

1. NMI ボタンが押されていないことを確認します。
2. システム・ボードを交換します (訓練を受けたサービス担当員のみのみ)。

関連リンク

- [標準 I/O ブックの取り外し](#)

- 806f001e-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] に使用可能なブート可能メディアがありません。

システムでブート・デバイスが検出されませんでした。

806f001e2201ffff または 0x806f001e2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0286

ユーザー応答

ブート・メディアをインストールして構成し、サーバーの電源をオンにして、再度、ブートを試みてください。

- 806f0021-0b01ffff: システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 1 の障害を検出しました。

806f00210b01ffff または 0x806f00210b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- **806f0021-0b02ffff** : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 2 の障害を検出しました。

806f00210b02ffff または 0x806f00210b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b03ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 3 の障害を検出しました。

806f00210b03ffff または 0x806f00210b03ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b04ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 4 の障害を検出しました。

806f00210b04ffff または 0x806f00210b04ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答
PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b05ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 5 の障害を検出しました。

806f00210b05ffff または 0x806f00210b05ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答
PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b06ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 6 の障害を検出しました。

806f00210b06ffff または 0x806f00210b06ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b07ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 7 の障害を検出しました。

806f00210b07ffff または 0x806f00210b07ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)

- ハーフサイズ I/O ブックの取り外し
- フルサイズ I/O ブックの取り外し

- 806f0021-0b08ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 8 の障害を検出しました。

806f00210b08ffff または 0x806f00210b08ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b09ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 9 の障害を検出しました。

806f00210b09ffff または 0x806f00210b09ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b0affff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 10 の障害を検出しました。

806f00210b0affff または 0x806f00210b0affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b0bffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 11 の障害を検出しました。

806f00210b0bffff または 0x806f00210b0bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b0cffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 12 の障害を検出しました。

806f00210b0cffff または 0x806f00210b0cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b0dffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 16 の障害を検出しました。

806f00210b0dffff または 0x806f00210b0dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b0effff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 17 の障害を検出しました。

806f00210b0effff または 0x806f00210b0effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b0fffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 18 の障害を検出しました。

806f00210b0fffff または 0x806f00210b0fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-0b10ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は PCIe スロット 19 の障害を検出しました。

806f00210b10ffff または 0x806f00210b10ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

PCIe カードを交換します。

関連リンク

- [アダプターの取り付け](#)
- [ハーフサイズ I/O ブックの取り外し](#)
- [フルサイズ I/O ブックの取り外し](#)

- 806f0021-2201ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は No Op ROM Space を報告しました。

806f00212201ffff または 0x806f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0021-2582ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。

IMM は、PCI スロットまたは PCI バスの 1 つで障害を検出しましたが、障害のあるスロットを特定しませんでした。

806f00212582ffff または 0x806f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0330

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0023-2101ffff: [WatchdogElementName] のウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。IPMI ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。

806f00232101ffff または 0x806f00232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0368

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0028-2101ffff: 管理システム [ComputerSystemElementName] で [SensorElementName] が使用不可または機能低下状態です。

Trusted Platform Module (TPM) の初期化または開始コマンドが失敗しました。

806f00282101ffff または 0x806f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0398

ユーザー応答

1. システムをリブートします。
2. エラーが解決しない、またはブートが失敗する場合は、(トレーニングを受けたサービス技術員のみ) システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [標準 I/O ブックの取り外し](#)

- 806f002b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] でハードウェアの変更が発生しました。

スケール構成センサーは、ハードウェアが変更されたことを報告しています。

806f002b2101ffff または 0x806f002b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0436

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。

マイクロプロセッサ 1 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが起きました。

806f01070301ffff または 0x806f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 1 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 1 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
- [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
- [熱伝導グリース](#)

- 806f0107-0302ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。

マイクロプロセッサ 2 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。

806f01070302ffff または 0x806f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 2 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 2 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
- [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
- [熱伝導グリース](#)

- 806f0107-0303ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。

マイクロプロセッサ 3 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。

806f01070303ffff または 0x806f01070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0036

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 3 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 3 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 3 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
- [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
- [熱伝導グリース](#)

- **806f0107-0304ffff**: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が検出されました。

マイクロプロセッサ 4 の温度がクリティカル・レベルを超えて上昇し、ノードのハード・シャットダウンが生じました。

806f01070304ffff または 0x806f01070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー
保守可能
はい
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度
SNMP Trap ID
0
CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0036
ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. マイクロプロセッサ 4 のヒートシンクがしっかりと取り付けられていることを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 4 のヒートシンクが正しく取り付けられ、熱伝導材が正しく使用されていることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) マイクロプロセッサ 4 を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
- [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
- [熱伝導グリース](#)

- 806f0108-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。

IMM は電源 1 の障害を検出しました。

806f01080a01ffff または 0x806f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー
保守可能
はい
自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0086

ユーザー応答

1. その他の電源障害がないか、ログを調べます。
2. 必要な場合は、電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)

- 806f0108-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。

IMM は電源 2 の障害を検出しました。

806f01080a02ffff または 0x806f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0086

ユーザー応答

1. その他の電源障害がないか、ログを調べます。
2. 必要な場合は、電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)

- 電源の取り付け
- 1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し
- 1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換

- 806f0108-0a03ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。

IMM は電源 3 の障害を検出しました。

806f01080a03ffff または 0x806f01080a03ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0086

ユーザー応答

1. その他の電源障害がないか、ログを調べます。
2. 詳細な電源イベントに関するステップに従います。

関連リンク

- 電源の問題の解決
- 電源の取り付け
- 1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し
- 1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換

- 806f0108-0a04ffff: [PowerSupplyElementName] に障害が発生しました。

IMM は電源 4 の障害を検出しました。

806f01080a04ffff または 0x806f01080a04ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0086

ユーザー応答

1. その他の電源障害がないか、ログを調べます。
2. 必要な場合は、電源を交換します。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の取り外し](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の取り外し](#)
- [1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源の交換](#)
- [750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源の交換](#)

- 806f0109-1381ffff: [PowerSupplyElementName] の電源が再投入されました。
システムの電源が入れ直されました。

806f01091381ffff または 0x806f01091381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0108

ユーザー応答

ホスト電源: 通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、DIMM の 1 つのメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2581ffff または 0x806f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 1 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810001 または 0x806f010c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b810002** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 2 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810002 または 0x806f010c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b810003** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 3 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810003 または 0x806f010c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 4 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810004 または 0x806f010c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 5 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810005 または 0x806f010c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810006 または 0x806f010c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 7 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810007 または 0x806f010c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810008 または 0x806f010c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810009 または 0x806f010c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81000a または 0x806f010c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81000b または 0x806f010c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 12 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81000c または 0x806f010c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81000d または 0x806f010c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 14 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81000e または 0x806f010c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 15 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81000f または 0x806f010c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810010 または 0x806f010c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。
806f010c2b810011 または 0x806f010c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810012 または 0x806f010c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b810013** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810013 または 0x806f010c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b810014** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810014 または 0x806f010c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810015 または 0x806f010c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 22 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810016 または 0x806f010c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810017 または 0x806f010c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b810018 または 0x806f010c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b81ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b81ffff または 0x806f010c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 1 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820001 または 0x806f010c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 2 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820002 または 0x806f010c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 3 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820003 または 0x806f010c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 4 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820004 または 0x806f010c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 5 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820005 または 0x806f010c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 6 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820006 または 0x806f010c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 7 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820007 または 0x806f010c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820008 または 0x806f010c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。
806f010c2b820009 または 0x806f010c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 10 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82000a または 0x806f010c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b82000b** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82000b または 0x806f010c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b82000c** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 12 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82000c または 0x806f010c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 13 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82000d または 0x806f010c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 14 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82000e または 0x806f010c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 15 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82000f または 0x806f010c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820010 または 0x806f010c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 17 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820011 または 0x806f010c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 18 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820012 または 0x806f010c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 19 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820013 または 0x806f010c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピューター・ブック 2 の DIMM 20 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820014 または 0x806f010c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820015 または 0x806f010c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 22 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820016 または 0x806f010c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 23 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820017 または 0x806f010c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 24 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b820018 または 0x806f010c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b82ffff または 0x806f010c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 1 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。
806f010c2b830001 または 0x806f010c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 2 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830002 または 0x806f010c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 3 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830003 または 0x806f010c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 4 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830004 または 0x806f010c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 5 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830005 または 0x806f010c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 6 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830006 または 0x806f010c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 7 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830007 または 0x806f010c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 8 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830008 または 0x806f010c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 9 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830009 または 0x806f010c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 10 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83000a または 0x806f010c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 11 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83000b または 0x806f010c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83000c または 0x806f010c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83000d または 0x806f010c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83000e または 0x806f010c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b83000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83000f または 0x806f010c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 16 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830010 または 0x806f010c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830011 または 0x806f010c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。
806f010c2b830012 または 0x806f010c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830013 または 0x806f010c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b830014** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 20 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830014 または 0x806f010c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b830015** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 21 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830015 または 0x806f010c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 22 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830016 または 0x806f010c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 23 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830017 または 0x806f010c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010c-2b830018** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 24 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b830018 または 0x806f010c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b83ffff または 0x806f010c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b840001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840001 または 0x806f010c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840002 または 0x806f010c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 のメモリ修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840003 または 0x806f010c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840004 または 0x806f010c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 5 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840005 または 0x806f010c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 6 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840006 または 0x806f010c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 7 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840007 または 0x806f010c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 8 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840008 または 0x806f010c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840009 または 0x806f010c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。
806f010c2b84000a または 0x806f010c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 11 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b84000b または 0x806f010c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 12 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b84000c または 0x806f010c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 13 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b84000d または 0x806f010c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 14 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b84000e または 0x806f010c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b84000f または 0x806f010c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 16 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840010 または 0x806f010c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 17 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840011 または 0x806f010c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f010c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 18 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840012 または 0x806f010c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 19 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840013 または 0x806f010c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 20 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840014 または 0x806f010c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840015 または 0x806f010c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 22 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840016 または 0x806f010c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 23 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840017 または 0x806f010c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 24 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b840018 または 0x806f010c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f010c-2b84ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 のメモリー修正不能なエラーを報告しました。

806f010c2b84ffff または 0x806f010c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0138

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f010d-0400ffff: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 0 が無効 (機能不良) になりました。
806f010d0400ffff または 0x806f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
 - 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換
- 806f010d-0401ffff: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 1 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0401ffff または 0x806f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
 - 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換
- 806f010d-0402ffff: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 2 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0402ffff または 0x806f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- 806f010d-0403ffff : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 3 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0403ffff または 0x806f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。

4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f010d-0404ffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 4 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0404ffff または 0x806f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f010d-0405ffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 5 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0405ffff または 0x806f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f010d-0406ffff: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 6 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0406ffff または 0x806f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f010d-0407ffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 7 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0407ffff または 0x806f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f010d-0408ffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 8 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0408ffff または 0x806f010d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- 806f010d-0409ffff : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 9 が無効 (機能不良) になりました。806f010d0409ffff または 0x806f010d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- **806f010d-040affff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 10 が無効 (機能不良) になりました。806f010d040affff または 0x806f010d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- **806f010d-040bffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 11 が無効 (機能不良) になりました。

806f010d040bffff または 0x806f010d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- 806f010d-040cffff: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 12 が無効 (機能不良) になりました。806f010d040cffff または 0x806f010d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- **806f010d-040dffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 13 が無効 (機能不良) になりました。806f010d040dffff または 0x806f010d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f010d-040effff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 14 が無効 (機能不良) になりました。806f010d040effff または 0x806f010d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f010d-040fffff**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。コントローラーによって検出された障害のため、ドライブ 15 が無効 (機能不良) になりました。806f010d040fffff または 0x806f010d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、該当のドライブに関連するファームウェア更新がないかを確認します。
3. その他の RAID 関連エラーがないか確認します。
4. ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- 806f010d-2b810001 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。
eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 1 で障害を検出しました。
806f010d2b810001 または 0x806f010d2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810002 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 2 で障害を検出しました。

806f010d2b810002 または 0x806f010d2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b810003 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 3 で障害を検出しました。
806f010d2b810003 または 0x806f010d2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810004 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 4 で障害を検出しました。

806f010d2b810004 または 0x806f010d2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b810005 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 5 で障害を検出しました。
806f010d2b810005 または 0x806f010d2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810006 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 6 で障害を検出しました。

806f010d2b810006 または 0x806f010d2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b810007 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 7 で障害を検出しました。
806f010d2b810007 または 0x806f010d2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810008 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 8 で障害を検出しました。

806f010d2b810008 または 0x806f010d2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810009 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 9 で障害を検出しました。

806f010d2b810009 または 0x806f010d2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b81000a : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 10 で障害を検出しました。

806f010d2b81000a または 0x806f010d2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b81000b : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 11 で障害を検出しました。

806f010d2b81000b または 0x806f010d2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b81000c : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 12 で障害を検出しました。

806f010d2b81000c または 0x806f010d2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b81000d : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 13 で障害を検出しました。

806f010d2b81000d または 0x806f010d2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b81000e: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 14 で障害を検出しました。

806f010d2b81000e または 0x806f010d2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- **806f010d-2b81000f**: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 15 で障害を検出しました。

806f010d2b81000f または 0x806f010d2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810010 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 16 で障害を検出しました。

806f010d2b810010 または 0x806f010d2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810011 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 17 で障害を検出しました。

806f010d2b810011 または 0x806f010d2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810012 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 18 で障害を検出しました。

806f010d2b810012 または 0x806f010d2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810013 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 19 で障害を検出しました。

806f010d2b810013 または 0x806f010d2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810014 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 20 で障害を検出しました。

806f010d2b810014 または 0x806f010d2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810015 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 21 で障害を検出しました。

806f010d2b810015 または 0x806f010d2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810016 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 22 で障害を検出しました。

806f010d2b810016 または 0x806f010d2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b810017: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 23 で障害を検出しました。
806f010d2b810017 または 0x806f010d2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b810018 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 24 で障害を検出しました。

806f010d2b810018 または 0x806f010d2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820001 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 1 で障害を検出しました。

806f010d2b820001 または 0x806f010d2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820002 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 2 で障害を検出しました。

806f010d2b820002 または 0x806f010d2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b820003 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 3 で障害を検出しました。
806f010d2b820003 または 0x806f010d2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820004 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 4 で障害を検出しました。

806f010d2b820004 または 0x806f010d2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b820005 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 5 で障害を検出しました。
806f010d2b820005 または 0x806f010d2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820006 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 6 で障害を検出しました。

806f010d2b820006 または 0x806f010d2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820007 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 7 で障害を検出しました。

806f010d2b820007 または 0x806f010d2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820008 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 8 で障害を検出しました。

806f010d2b820008 または 0x806f010d2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b820009** : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 9 で障害を検出しました。
806f010d2b820009 または 0x806f010d2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b82000a : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 10 で障害を検出しました。

806f010d2b82000a または 0x806f010d2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b82000b : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 11 で障害を検出しました。
806f010d2b82000b または 0x806f010d2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b82000c: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 12 で障害を検出しました。

806f010d2b82000c または 0x806f010d2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b82000d: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 13 で障害を検出しました。

806f010d2b82000d または 0x806f010d2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b82000e: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 14 で障害を検出しました。

806f010d2b82000e または 0x806f010d2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b82000f: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 15 で障害を検出しました。

806f010d2b82000f または 0x806f010d2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820010 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 16 で障害を検出しました。

806f010d2b820010 または 0x806f010d2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820011 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 17 で障害を検出しました。

806f010d2b820011 または 0x806f010d2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820012 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 18 で障害を検出しました。

806f010d2b820012 または 0x806f010d2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820013 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 19 で障害を検出しました。

806f010d2b820013 または 0x806f010d2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820014 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 20 で障害を検出しました。

806f010d2b820014 または 0x806f010d2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820015 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 21 で障害を検出しました。

806f010d2b820015 または 0x806f010d2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820016 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 22 で障害を検出しました。

806f010d2b820016 または 0x806f010d2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820017 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 23 で障害を検出しました。

806f010d2b820017 または 0x806f010d2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b820018 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 24 で障害を検出しました。

806f010d2b820018 または 0x806f010d2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b830001 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 1 で障害を検出しました。
806f010d2b830001 または 0x806f010d2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830002 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 2 で障害を検出しました。

806f010d2b830002 または 0x806f010d2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b830003 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 3 で障害を検出しました。
806f010d2b830003 または 0x806f010d2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830004 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 4 で障害を検出しました。

806f010d2b830004 または 0x806f010d2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b830005 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 5 で障害を検出しました。
806f010d2b830005 または 0x806f010d2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830006 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 6 で障害を検出しました。

806f010d2b830006 または 0x806f010d2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830007 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 7 で障害を検出しました。

806f010d2b830007 または 0x806f010d2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830008 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 8 で障害を検出しました。

806f010d2b830008 または 0x806f010d2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b830009** : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 9 で障害を検出しました。
806f010d2b830009 または 0x806f010d2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b83000a : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 10 で障害を検出しました。

806f010d2b83000a または 0x806f010d2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b83000b: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 11 で障害を検出しました。

806f010d2b83000b または 0x806f010d2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b83000c: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 12 で障害を検出しました。

806f010d2b83000c または 0x806f010d2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b83000d : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 13 で障害を検出しました。
806f010d2b83000d または 0x806f010d2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b83000e: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 14 で障害を検出しました。

806f010d2b83000e または 0x806f010d2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b83000f: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 15 で障害を検出しました。

806f010d2b83000f または 0x806f010d2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830010 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 16 で障害を検出しました。

806f010d2b830010 または 0x806f010d2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830011 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 17 で障害を検出しました。

806f010d2b830011 または 0x806f010d2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830012 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 18 で障害を検出しました。

806f010d2b830012 または 0x806f010d2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830013 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 19 で障害を検出しました。

806f010d2b830013 または 0x806f010d2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830014 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 20 で障害を検出しました。

806f010d2b830014 または 0x806f010d2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830015 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 21 で障害を検出しました。

806f010d2b830015 または 0x806f010d2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830016 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 22 で障害を検出しました。

806f010d2b830016 または 0x806f010d2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b830017 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 23 で障害を検出しました。
806f010d2b830017 または 0x806f010d2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b830018 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 24 で障害を検出しました。

806f010d2b830018 または 0x806f010d2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b840001 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 1 で障害を検出しました。
806f010d2b840001 または 0x806f010d2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840002 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 2 で障害を検出しました。

806f010d2b840002 または 0x806f010d2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b840003 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 3 で障害を検出しました。
806f010d2b840003 または 0x806f010d2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840004 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 4 で障害を検出しました。

806f010d2b840004 または 0x806f010d2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b840005 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 5 で障害を検出しました。
806f010d2b840005 または 0x806f010d2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840006 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 6 で障害を検出しました。

806f010d2b840006 または 0x806f010d2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b840007 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 7 で障害を検出しました。
806f010d2b840007 または 0x806f010d2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840008 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 8 で障害を検出しました。

806f010d2b840008 または 0x806f010d2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b840009 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 9 で障害を検出しました。
806f010d2b840009 または 0x806f010d2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b84000a : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 10 で障害を検出しました。

806f010d2b84000a または 0x806f010d2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b84000b : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 11 で障害を検出しました。

806f010d2b84000b または 0x806f010d2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b84000c: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 12 で障害を検出しました。

806f010d2b84000c または 0x806f010d2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b84000d: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 13 で障害を検出しました。
806f010d2b84000d または 0x806f010d2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b84000e: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 14 で障害を検出しました。

806f010d2b84000e または 0x806f010d2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b84000f: [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 15 で障害を検出しました。

806f010d2b84000f または 0x806f010d2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840010 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 16 で障害を検出しました。

806f010d2b840010 または 0x806f010d2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f010d-2b840011 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 17 で障害を検出しました。
806f010d2b840011 または 0x806f010d2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840012 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 18 で障害を検出しました。

806f010d2b840012 または 0x806f010d2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840013 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 19 で障害を検出しました。

806f010d2b840013 または 0x806f010d2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840014 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 20 で障害を検出しました。

806f010d2b840014 または 0x806f010d2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840015 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 21 で障害を検出しました。

806f010d2b840015 または 0x806f010d2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840016 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 22 で障害を検出しました。

806f010d2b840016 または 0x806f010d2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840017 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 23 で障害を検出しました。

806f010d2b840017 または 0x806f010d2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010d-2b840018 : [NumericSensorElementName] は障害が検出されたため無効になりました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 24 で障害を検出しました。

806f010d2b840018 または 0x806f010d2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0164

ユーザー応答

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. eXFlash IPMI Proxy Service を再インストールします。
3. システムで AC 電源サイクルを完全に実行します。
4. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

5. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
6. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。
7. コンピュート・ブックを交換します。
8. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f010f-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェア・ハングが発生しました。

IMM がシステム・ファームウェアのハングを報告しました。

806f010f2201ffff または 0x806f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - ブート障害

SNMP Trap ID

25

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0186

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0113-1701ffff: バス [SensorElementName] でバス・タイムアウトが発生しました。
IMM は NMI に関連するバスの修正不能なエラーを報告しました。
806f01131701ffff または 0x806f01131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0224

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f011b-0701ffff: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。
IMM はインターコネクタ構成エラーを検出しました。
806f011b0701ffff または 0x806f011b0701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0266

ユーザー応答

FPGA 通信エラー:

1. マシンの AC 電源を入れ直します。
2. IMM FW を最新レベルに更新します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) エラーが続く場合は、システム・ボードを交換します。

関連リンク

- [IBM Flex System および IBM PureFlex ファームウェア更新のベスト・プラクティス](#)
- [標準 I/O ブックの取り外し](#)

- **806f011b-1f01ffff: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。**
IMM は、ストレージ I/O ブックにケーブル/相互接続の問題があることを検出しました。
806f011b1f01ffff または 0x806f011b1f01ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0266

ユーザー応答

ストレージ・ブック: カードまたはドライブ・バックプレーンのケーブル FP LCD ケーブル: 前面パネルの LCD ケーブル

1. ストレージ・ブックを取り外します。
2. ストレージ・ブックのケーブルが欠落していたり、緩んでいたたりしないかを確認します。
3. コネクタに損傷やごみの付着がないかを確認します。

関連リンク

- [ストレージ・ブックの取り外し](#)

- **806f0123-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] のリブートが開始されました。**
IPMI ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。システムのリブートが開始しました。

806f01232101ffff または 0x806f01232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0370

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0125-2c05ffff: [ManagedElementName] が存在しないことが検出されました。

IMM は、ストレージ・ブックが存在しないことを検出しました。

806f01252c05ffff または 0x806f01252c05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0392

ユーザー応答

1. ストレージ・ブックが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ストレージ・ブックが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ストレージ・ブックが適切に取り付けられている場合、そのストレージ・ブックを交換します。

関連リンク

- [ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの取り外し](#)

- ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの交換

- 806f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 1 の障害 (FRB1/BIST 状態) を報告しました。
806f02070301ffff または 0x806f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f0207-0302ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 2 の障害 (FRB1/BIST 状態) を報告しました。
806f02070302ffff または 0x806f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0207-0303ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 の障害 (FRB1/BIST 状態) を報告しました。

806f02070303ffff または 0x806f02070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0207-0304ffff: [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 4 の障害 (FRB1/BIST 状態) を報告しました。

806f02070304ffff または 0x806f02070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0207-2583ffff : [ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサの障害 (FRB1/BIST 状態) を報告しました。
806f02072583ffff または 0x806f02072583ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0044

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f020d-0400ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。
ハードディスク・ドライブ 0 で障害予知 (PFA) が検出されました。
806f020d0400ffff または 0x806f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0401ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 1 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0401ffff または 0x806f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0402ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 2 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0402ffff または 0x806f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0403ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 3 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0403ffff または 0x806f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f020d-0404ffff**: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 4 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0404ffff または 0x806f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f020d-0405ffff**: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 5 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0405ffff または 0x806f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0406ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 6 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0406ffff または 0x806f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0407ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 7 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0407ffff または 0x806f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0408ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 8 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0408ffff または 0x806f020d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-0409ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 9 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d0409ffff または 0x806f020d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-040affff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 10 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d040affff または 0x806f020d040affff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-040bffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 11 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d040bffff または 0x806f020d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-040cffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 12 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d040cffff または 0x806f020d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-040dffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 13 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d040dffff または 0x806f020d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-040effff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 14 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d040effff または 0x806f020d040effff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-040fffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

ハードディスク・ドライブ 15 で障害予知 (PFA) が検出されました。

806f020d040fffff または 0x806f020d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次回の保守期間にハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f020d-2b810801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 1 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810801 または 0x806f020d2b810801 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 2 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810802 または 0x806f020d2b810802 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 3 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810803 または 0x806f020d2b810803 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b810804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 4 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810804 または 0x806f020d2b810804 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 5 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810805 または 0x806f020d2b810805 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b810806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 6 で障害予知 (PFA) を報告しました。
806f020d2b810806 または 0x806f020d2b810806 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 7 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810807 または 0x806f020d2b810807 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b810808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 8 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810808 または 0x806f020d2b810808 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。

2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 9 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810809 または 0x806f020d2b810809 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に

関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b81080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 10 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b81080a または 0x806f020d2b81080a として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b81080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 11 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b81080b または 0x806f020d2b81080b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b81080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 12 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b81080c または 0x806f020d2b81080c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b81080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 13 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b81080d または 0x806f020d2b81080d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- コンピュート・ブックの取り外し
 - コンピュート・ブックの交換
 - コンピュート・ブックのカバーの取り外し
 - コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f020d-2b81080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 14 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b81080e または 0x806f020d2b81080e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し

- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f020d-2b81080f : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 15 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b81080f または 0x806f020d2b81080f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- eXFlash DIMM

- 806f020d-2b810810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 16 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810810 または 0x806f020d2b810810 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 17 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810811 または 0x806f020d2b810811 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 18 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810812 または 0x806f020d2b810812 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 19 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810813 または 0x806f020d2b810813 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 20 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810814 または 0x806f020d2b810814 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b810815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 21 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810815 または 0x806f020d2b810815 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 22 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810816 または 0x806f020d2b810816 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b810817: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 23 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810817 または 0x806f020d2b810817 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b810818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 24 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b810818 または 0x806f020d2b810818 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 1 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820801 または 0x806f020d2b820801 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 2 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820802 または 0x806f020d2b820802 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 3 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820803 または 0x806f020d2b820803 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物

がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- **806f020d-2b820804** : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 4 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820804 または 0x806f020d2b820804 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b820805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 5 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820805 または 0x806f020d2b820805 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- **806f020d-2b820806** : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 6 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820806 または 0x806f020d2b820806 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)

- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f020d-2b820807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 7 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820807 または 0x806f020d2b820807 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し

- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 8 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820808 または 0x806f020d2b820808 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 9 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820809 または 0x806f020d2b820809 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b82080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 10 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b82080a または 0x806f020d2b82080a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b82080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 11 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b82080b または 0x806f020d2b82080b として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b82080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 12 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b82080c または 0x806f020d2b82080c として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b82080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 13 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b82080d または 0x806f020d2b82080d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b82080e: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 14 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b82080e または 0x806f020d2b82080e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b82080f: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 15 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b82080f または 0x806f020d2b82080f として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b820810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 16 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820810 または 0x806f020d2b820810 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 17 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820811 または 0x806f020d2b820811 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 18 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820812 または 0x806f020d2b820812 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 19 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820813 または 0x806f020d2b820813 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。

2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b820814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 20 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820814 または 0x806f020d2b820814 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を

修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 21 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820815 または 0x806f020d2b820815 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b820816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 22 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820816 または 0x806f020d2b820816 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820817 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 23 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820817 または 0x806f020d2b820817 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b820818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 24 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b820818 または 0x806f020d2b820818 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f020d-2b830801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 1 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830801 または 0x806f020d2b830801 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換

- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b830802** : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。
- eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 2 で障害予知 (PFA) を報告しました。
- 806f020d2b830802 または 0x806f020d2b830802 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 3 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830803 または 0x806f020d2b830803 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 4 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830804 または 0x806f020d2b830804 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 5 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830805 または 0x806f020d2b830805 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 6 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830806 または 0x806f020d2b830806 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 7 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830807 または 0x806f020d2b830807 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 8 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830808 または 0x806f020d2b830808 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b830809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**
eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 9 で障害予知 (PFA) を報告しました。
806f020d2b830809 または 0x806f020d2b830809 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b83080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 10 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b83080a または 0x806f020d2b83080a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b83080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 11 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b83080b または 0x806f020d2b83080b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。

2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b83080c: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 12 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b83080c または 0x806f020d2b83080c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を

修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b83080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 13 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b83080d または 0x806f020d2b83080d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b83080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 14 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b83080e または 0x806f020d2b83080e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b83080f : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 15 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b83080f または 0x806f020d2b83080f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 16 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830810 または 0x806f020d2b830810 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)

- コンピュート・ブックの取り外し
 - コンピュート・ブックの交換
 - コンピュート・ブックのカバーの取り外し
 - コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f020d-2b830811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 17 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830811 または 0x806f020d2b830811 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再実行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し

- コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f020d-2b830812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 18 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830812 または 0x806f020d2b830812 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- eXFlash DIMM

- 806f020d-2b830813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 19 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830813 または 0x806f020d2b830813 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 20 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830814 または 0x806f020d2b830814 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 21 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830815 または 0x806f020d2b830815 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 22 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830816 または 0x806f020d2b830816 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b830817 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 23 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830817 または 0x806f020d2b830817 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b830818**: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 24 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b830818 または 0x806f020d2b830818 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 1 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840801 または 0x806f020d2b840801 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 2 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840802 または 0x806f020d2b840802 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 3 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840803 または 0x806f020d2b840803 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 4 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840804 または 0x806f020d2b840804 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 5 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840805 または 0x806f020d2b840805 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物

がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 6 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840806 または 0x806f020d2b840806 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- **806f020d-2b840807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 7 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840807 または 0x806f020d2b840807 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- **806f020d-2b840808** : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 8 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840808 または 0x806f020d2b840808 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)

- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f020d-2b840809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 9 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840809 または 0x806f020d2b840809 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し

- [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b84080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 10 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b84080a または 0x806f020d2b84080a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b84080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 11 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b84080b または 0x806f020d2b84080b として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b84080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 12 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b84080c または 0x806f020d2b84080c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b84080d: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 13 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b84080d または 0x806f020d2b84080d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b84080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 14 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b84080e または 0x806f020d2b84080e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b84080f: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 15 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b84080f または 0x806f020d2b84080f として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 16 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840810 または 0x806f020d2b840810 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b840811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 17 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840811 または 0x806f020d2b840811 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答
次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 18 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840812 または 0x806f020d2b840812 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f020d-2b840813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 19 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840813 または 0x806f020d2b840813 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 20 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840814 または 0x806f020d2b840814 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 21 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840815 または 0x806f020d2b840815 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 22 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840816 または 0x806f020d2b840816 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。

2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f020d-2b840817: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。**

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 23 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840817 または 0x806f020d2b840817 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を

修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポート サイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f020d-2b840818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。

eXFlash Proxy Service は、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 24 で障害予知 (PFA) を報告しました。

806f020d2b840818 または 0x806f020d2b840818 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0168

ユーザー応答

次の保守の機会に、以下を実行します。

1. インストールされている eXFlash DIMM ファームウェアと eXFlash IPMI Proxy Service が最新であることを確認します。
2. ノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードを最近行った場合は、eXFlash DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクターに異物がないことを視覚的に確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ eXFlash DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)

3. IBM サポートサイトを参照し、この eXFlash のエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. 問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0221-0b01ffff : パッケージはシステム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] にインストールされました。

IMM は、カードが PCIe スロット 1 に取り付けられたことを検出しました。

806f02210b01ffff または 0x806f02210b01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0334

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0221-0b02ffff : パッケージはシステム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] にインストールされました。

IMM は、カードが PCIe スロット 2 に取り付けられたことを検出しました。

806f02210b02ffff または 0x806f02210b02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0334

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0221-0b03ffff: パッケージはシステム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] にインストールされました。

IMM は、カードが PCIe スロット 3 に取り付けられたことを検出しました。

806f02210b03ffff または 0x806f02210b03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0334

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0221-0b04ffff: パッケージはシステム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] にインストールされました。

IMM は、カードが PCIe スロット 4 に取り付けられたことを検出しました。

806f02210b04ffff または 0x806f02210b04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0334

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0221-0b05ffff : パッケージはシステム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] にインストールされました。

IMM は、カードが PCIe スロット 5 に取り付けられたことを検出しました。

806f02210b05ffff または 0x806f02210b05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0334

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0221-0b06ffff : パッケージはシステム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] にインストールされました。

IMM は、カードが PCIe スロット 6 に取り付けられたことを検出しました。

806f02210b06ffff または 0x806f02210b06ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0334

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0223-2101ffff: [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源オフが開始されました。

IPMI ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。システムの電源がオフになりました。

806f02232101ffff または 0x806f02232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0372

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0308-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。

電源 1 の AC 入力 that 失われました。

806f03080a01ffff または 0x806f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0308-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。
電源 2 の AC 入力 が失われました。
806f03080a02ffff または 0x806f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0308-0a03ffff: [PowerSupplyElementName] の入力 が失われました。
電源 3 の AC 入力 が失われました。
806f03080a03ffff または 0x806f03080a03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0308-0a04ffff : [PowerSupplyElementName] の入力が失われました。

電源 4 の AC 入力 が失われました。

806f03080a04ffff または 0x806f03080a04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0100

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030c-2b810001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 1 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810001 または 0x806f030c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 2 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810002 または 0x806f030c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 3 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810003 または 0x806f030c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810004 または 0x806f030c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 5 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810005 または 0x806f030c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810006 または 0x806f030c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 7 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810007 または 0x806f030c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810008 または 0x806f030c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810009 または 0x806f030c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81000a または 0x806f030c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81000b または 0x806f030c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 12 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81000c または 0x806f030c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81000d または 0x806f030c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 14 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81000e または 0x806f030c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 15 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81000f または 0x806f030c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810010 または 0x806f030c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810011 または 0x806f030c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810012 または 0x806f030c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810013 または 0x806f030c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810014 または 0x806f030c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810015 または 0x806f030c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 22 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810016 または 0x806f030c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810017 または 0x806f030c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b810018 または 0x806f030c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b81ffff または 0x806f030c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 1 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820001 または 0x806f030c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 2 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820002 または 0x806f030c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 3 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820003 または 0x806f030c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 4 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820004 または 0x806f030c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 5 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820005 または 0x806f030c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 6 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820006 または 0x806f030c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 7 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820007 または 0x806f030c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 8 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820008 または 0x806f030c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820009: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820009 または 0x806f030c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 10 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82000a または 0x806f030c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82000b または 0x806f030c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 12 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82000c または 0x806f030c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 13 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82000d または 0x806f030c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 14 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82000e または 0x806f030c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 15 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82000f または 0x806f030c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820010 または 0x806f030c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 17 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820011 または 0x806f030c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 18 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820012 または 0x806f030c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 19 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820013 または 0x806f030c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820014 または 0x806f030c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820015 または 0x806f030c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 22 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820016 または 0x806f030c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 23 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820017 または 0x806f030c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 24 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b820018 または 0x806f030c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b82ffff または 0x806f030c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 1 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830001 または 0x806f030c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 2 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830002 または 0x806f030c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 3 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830003 または 0x806f030c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 4 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830004 または 0x806f030c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 5 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830005 または 0x806f030c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 6 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830006 または 0x806f030c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 7 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830007 または 0x806f030c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 8 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830008 または 0x806f030c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 9 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830009 または 0x806f030c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 10 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83000a または 0x806f030c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 11 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83000b または 0x806f030c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 12 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83000c または 0x806f030c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83000d または 0x806f030c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83000e または 0x806f030c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83000f または 0x806f030c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 16 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830010 または 0x806f030c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 17 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830011 または 0x806f030c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830012 または 0x806f030c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830013 または 0x806f030c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 20 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830014 または 0x806f030c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 21 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830015 または 0x806f030c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 22 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830016 または 0x806f030c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 23 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830017 または 0x806f030c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 24 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b830018 または 0x806f030c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b83ffff または 0x806f030c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840001 または 0x806f030c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840002 または 0x806f030c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840003 または 0x806f030c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 4 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840004 または 0x806f030c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 5 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840005 または 0x806f030c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 6 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840006 または 0x806f030c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 7 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840007 または 0x806f030c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 8 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840008 または 0x806f030c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840009: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 9 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840009 または 0x806f030c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84000a または 0x806f030c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 11 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84000b または 0x806f030c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 12 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84000c または 0x806f030c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 13 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84000d または 0x806f030c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 14 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84000e または 0x806f030c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84000f または 0x806f030c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 16 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840010 または 0x806f030c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 17 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840011 または 0x806f030c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 18 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840012 または 0x806f030c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 19 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840013 または 0x806f030c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 20 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840014 または 0x806f030c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 21 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840015 または 0x806f030c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 22 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840016 または 0x806f030c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 23 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840017 または 0x806f030c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 24 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b840018 または 0x806f030c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害が発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 のブート時のメモリー POST 障害 (実行時エラーではない) を報告しました。

806f030c2b84ffff または 0x806f030c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0136

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f030d-0400ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。

ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0400ffff または 0x806f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0401ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。
806f030d0401ffff または 0x806f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0402ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。
806f030d0402ffff または 0x806f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0403ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0403ffff または 0x806f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0404ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0404ffff または 0x806f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0405ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0405ffff または 0x806f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。

ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0406ffff または 0x806f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。

ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0407ffff または 0x806f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0408ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0408ffff または 0x806f030d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-0409ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d0409ffff または 0x806f030d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-040affff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d040affff または 0x806f030d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-040bffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d040bffff または 0x806f030d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-040cffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d040cffff または 0x806f030d040cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-040dffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d040dffff または 0x806f030d040dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-040effff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d040effff または 0x806f030d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f030d-040fffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが有効になりました。
ホット・スペア・ドライブは利用可能です。

806f030d040fffff または 0x806f030d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0170

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0313-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェア NMI が発生しました。ソフトウェア NMI が発生しました。構成設定値に応じて、システムがリブートした可能性があります。806f03131701ffff または 0x806f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0228

ユーザー応答

オペレーティング・システム・ログを調べて、NMI に関連した問題を解決します。

- 806f0323-2101ffff: ウォッチドッグ [WatchdogElementName] によってシステム [ComputerSystemElementName] の電源サイクルが開始されました。IPMI ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。システムの電源がオフになった後、電源がオンになりました。806f03232101ffff または 0x806f03232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0374

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f032b-210100ff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの非互換性が検出されました。

ノード間の IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

806f032b210100ff または 0x806f032b210100ff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードウェアの非互換性

SNMP Trap ID

36

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0442

ユーザー応答

すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- 806f032b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの非互換性が検出されました。

ノード間の IMM ファームウェアのミスマッチが検出されました。

806f032b2101ffff または 0x806f032b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードウェアの非互換性

SNMP Trap ID

36

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0442

ユーザー応答

すべてのノードの IMM ファームウェアを同一レベルにフラッシュするよう試行してください。

- 806f032b-2e01ffff: システム [ComputerSystemElementName] でファームウェアまたはソフトウェアの非互換性が検出されました。

FPGA ファームウェアがバックアップのためにブートしました。FPGA は、ファームウェア・フラッシュ中に障害が発生したか、破損しました。

806f032b2e01ffff または 0x806f032b2e01ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードウェアの非互換性

SNMP Trap ID

36

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0442

ユーザー応答

システム・ボードを交換する必要があります。

- 806f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、メモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2581ffff または 0x806f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810001 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810001 または 0x806f040c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810002 または 0x806f040c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 3 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810003 または 0x806f040c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 4 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810004 または 0x806f040c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810005 または 0x806f040c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 6 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810006 または 0x806f040c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810007 または 0x806f040c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810008 または 0x806f040c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810009 または 0x806f040c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81000a または 0x806f040c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81000b または 0x806f040c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81000c または 0x806f040c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81000d: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81000d または 0x806f040c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81000e: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 14 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81000e または 0x806f040c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81000f または 0x806f040c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810010: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810010 または 0x806f040c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810011 または 0x806f040c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810012 または 0x806f040c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810013 または 0x806f040c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810014 または 0x806f040c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810015 または 0x806f040c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 22 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810016 または 0x806f040c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810017 または 0x806f040c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b810018 または 0x806f040c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b81ffff : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b81ffff または 0x806f040c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820001 または 0x806f040c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820002 または 0x806f040c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820003 または 0x806f040c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820004 または 0x806f040c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820005 または 0x806f040c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 6 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820006 または 0x806f040c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 7 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820007 または 0x806f040c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820008 または 0x806f040c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820009 または 0x806f040c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 10 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82000a または 0x806f040c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82000b または 0x806f040c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 12 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82000c または 0x806f040c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 13 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82000d または 0x806f040c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 14 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82000e または 0x806f040c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82000f : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82000f または 0x806f040c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820010 または 0x806f040c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 17 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820011 または 0x806f040c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820012 または 0x806f040c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820013 または 0x806f040c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820014 または 0x806f040c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820015 または 0x806f040c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820016 または 0x806f040c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820017: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820017 または 0x806f040c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b820018 または 0x806f040c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b82ffff または 0x806f040c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830001 または 0x806f040c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 2 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830002 または 0x806f040c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 3 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830003 または 0x806f040c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830004 または 0x806f040c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830005 または 0x806f040c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830006 または 0x806f040c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830007 または 0x806f040c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830008 または 0x806f040c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 9 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830009 または 0x806f040c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 10 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83000a または 0x806f040c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83000b または 0x806f040c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b83000c: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 12 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83000c または 0x806f040c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b83000d: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83000d または 0x806f040c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83000e または 0x806f040c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83000f または 0x806f040c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830010 または 0x806f040c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830011 または 0x806f040c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 18 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830012 または 0x806f040c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830013 または 0x806f040c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 20 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830014 または 0x806f040c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830015 または 0x806f040c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830016 または 0x806f040c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830017 または 0x806f040c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b830018 または 0x806f040c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピューター・ブック 3 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b83ffff または 0x806f040c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840001 または 0x806f040c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840002 または 0x806f040c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840003 または 0x806f040c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[- UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 4 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840004 または 0x806f040c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 5 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840005 または 0x806f040c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 6 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840006 または 0x806f040c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840007 または 0x806f040c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840008 または 0x806f040c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840009 または 0x806f040c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 10 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84000a または 0x806f040c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84000b または 0x806f040c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b84000c: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84000c または 0x806f040c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b84000d: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84000d または 0x806f040c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84000e または 0x806f040c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84000f または 0x806f040c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840010: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 16 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840010 または 0x806f040c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840011 または 0x806f040c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840012 または 0x806f040c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840013 または 0x806f040c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840014 または 0x806f040c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840015 または 0x806f040c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840016 または 0x806f040c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f040c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840017 または 0x806f040c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 24 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b840018 または 0x806f040c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f040c-2b84ffff : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が無効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 でメモリーが無効になったことを報告しました。

806f040c2b84ffff または 0x806f040c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0131

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 1 のマイクロプロセッサ構成の不一致を報告しました。
806f05070301ffff または 0x806f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0507-0302ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 2 のマイクロプロセッサ構成の不一致を報告しました。
806f05070302ffff または 0x806f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0507-0303ffff : [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 3 のマイクロプロセッサ構成の不一致を報告しました。
806f05070303ffff または 0x806f05070303ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0507-0304ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 4 のマイクロプロセッサ構成の不一致を報告しました。
806f05070304ffff または 0x806f05070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0507-2583ffff: [ProcessorElementName] で構成不一致が発生しました。
IMM は、マイクロプロセッサ構成のミスマッチが生じたことを報告しました。
806f05072583ffff または 0x806f05072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0062

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、メモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2581ffff または 0x806f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810001 または 0x806f050c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810002 または 0x806f050c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 3 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810003 または 0x806f050c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 4 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810004 または 0x806f050c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 5 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810005 または 0x806f050c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810006 または 0x806f050c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810007 または 0x806f050c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810008 または 0x806f050c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 9 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810009 または 0x806f050c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81000a または 0x806f050c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81000b または 0x806f050c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81000c または 0x806f050c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81000d または 0x806f050c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81000e または 0x806f050c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 15 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81000f または 0x806f050c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810010 または 0x806f050c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810011 または 0x806f050c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810012 または 0x806f050c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810013 または 0x806f050c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810014 または 0x806f050c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810015 または 0x806f050c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810016 または 0x806f050c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810017 または 0x806f050c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b810018 または 0x806f050c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b81ffff または 0x806f050c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 1 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820001 または 0x806f050c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820002 または 0x806f050c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820003 または 0x806f050c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820004 または 0x806f050c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820005 または 0x806f050c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820006 または 0x806f050c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820007 または 0x806f050c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 8 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820008 または 0x806f050c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820009 または 0x806f050c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82000a: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 10 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82000a または 0x806f050c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82000b: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82000b または 0x806f050c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82000c または 0x806f050c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82000d または 0x806f050c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82000e または 0x806f050c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82000f または 0x806f050c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820010 または 0x806f050c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820011 または 0x806f050c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820012 または 0x806f050c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820013 または 0x806f050c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820014 または 0x806f050c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820015 または 0x806f050c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820016 または 0x806f050c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820017: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820017 または 0x806f050c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b820018: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b820018 または 0x806f050c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b82ffff または 0x806f050c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830001 または 0x806f050c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830002 または 0x806f050c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830003 または 0x806f050c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830004 または 0x806f050c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 5 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830005 または 0x806f050c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 6 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830006 または 0x806f050c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830007 または 0x806f050c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830008 または 0x806f050c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830009 または 0x806f050c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83000a または 0x806f050c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83000b または 0x806f050c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83000c または 0x806f050c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83000d または 0x806f050c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 14 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83000e または 0x806f050c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83000f または 0x806f050c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 16 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830010 または 0x806f050c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830011 または 0x806f050c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830012 または 0x806f050c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830013 または 0x806f050c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830014 または 0x806f050c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830015 または 0x806f050c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830016 または 0x806f050c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830017 または 0x806f050c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b830018 または 0x806f050c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b83ffff または 0x806f050c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840001 または 0x806f050c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840002 または 0x806f050c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840003 または 0x806f050c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840004 または 0x806f050c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840005 または 0x806f050c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840006 または 0x806f050c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840007 または 0x806f050c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840008 または 0x806f050c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840009 または 0x806f050c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84000a: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84000a または 0x806f050c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84000b: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 11 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84000b または 0x806f050c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84000c または 0x806f050c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84000d または 0x806f050c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84000e または 0x806f050c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84000f または 0x806f050c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 16 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840010 または 0x806f050c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840011 または 0x806f050c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840012 または 0x806f050c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840013 または 0x806f050c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 20 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840014 または 0x806f050c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 21 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840015 または 0x806f050c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840016 または 0x806f050c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840017 または 0x806f050c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b840018 または 0x806f050c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
はい

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度に到達しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 でメモリーのロギング限度に到達したことを報告しました。

806f050c2b84ffff または 0x806f050c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0144

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f050d-0400ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 0 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0400ffff または 0x806f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 1 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0401ffff または 0x806f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

- **806f050d-0402ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 2 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0402ffff または 0x806f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

- **806f050d-0403ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 3 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0403ffff または 0x806f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 4 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0404ffff または 0x806f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 5 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0405ffff または 0x806f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0406ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 6 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0406ffff または 0x806f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0407ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 7 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0407ffff または 0x806f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0408ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 8 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0408ffff または 0x806f050d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-0409ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 9 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d0409ffff または 0x806f050d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-040affff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 10 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d040affff または 0x806f050d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-040bffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 11 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d040bffff または 0x806f050d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-040cffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 12 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d040cffff または 0x806f050d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-040dffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 13 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d040dffff または 0x806f050d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-040effff**: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。

ドライブ 14 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d040effff または 0x806f050d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f050d-040fffff: アレイ [ComputerSystemElementName] がクリティカルな状態です。**

ドライブ 15 が、クリティカルな状態の RAID アレイの一部です。システム障害を回避するために、即時アクションが必要です。クリティカルな状態のアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f050d040fffff または 0x806f050d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0174

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- 806f052b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] で無効またはサポートされていないファームウェアまたはソフトウェアが検出されました。

IMM プライマリー・ファームウェア・イメージが破損しています。IMM はバックアップ・イメージで稼働しています。

806f052b2101ffff または 0x806f052b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0446

ユーザー応答

IMM ファームウェアを再消去するか、更新します。

- 806f0607-0301ffff: [ProcessorElementName] で SM BIOS 修正不能な CPU 複合エラーが検出されました。

UEFI は、マイクロプロセッサ 1 で構成タイプの問題を検出しました。

806f06070301ffff または 0x806f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0607-0302ffff : [ProcessorElementName] で SM BIOS 修正不能な CPU 複合エラーが検出されました。

UEFI は、マイクロプロセッサ 2 で構成タイプの問題を検出しました。

806f06070302ffff または 0x806f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0607-0303ffff : [ProcessorElementName] で SM BIOS 修正不能な CPU 複合エラーが検出されました。

UEFI は、マイクロプロセッサ 3 で構成タイプの問題を検出しました。

806f06070303ffff または 0x806f06070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0607-0304ffff: [ProcessorElementName] で SM BIOS 修正不能な CPU 複合エラーが検出されました。

UEFI は、マイクロプロセッサ 4 で構成タイプの問題を検出しました。

806f06070304ffff または 0x806f06070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0607-2583ffff: [ProcessorElementName] で SM BIOS 修正不能な CPU 複合エラーが検出されました。

UEFI は、取り付けられている複数のマイクロプロセッサで構成タイプの問題を検出しました。

806f06072583ffff または 0x806f06072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0816

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0608-1381ffff: [PowerSupplyElementName] で構成不一致が発生しました。

IMM は、電源構成エラーを検出しました。

806f06081381ffff または 0x806f06081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0104

ユーザー応答

1. その他の電源イベントがないかを確認します。
2. Web GUI で電源ポリシーおよび構成設定を確認します。

3. 改行を確認します。
4. 正しい構成については、資料を参照してください。

関連リンク

- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)

- **806f060d-0400ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 0 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0400ffff または 0x806f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0401ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 1 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0401ffff または 0x806f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0402ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 2 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0402ffff または 0x806f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。

- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0403ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 3 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0403ffff または 0x806f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0404ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 4 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0404ffff または 0x806f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0405ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 5 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0405ffff または 0x806f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0406ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 6 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0406ffff または 0x806f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0407ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 7 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0407ffff または 0x806f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-0408ffff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**

ドライブ 8 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0408ffff または 0x806f060d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

- **806f060d-0409ffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。

ドライブ 9 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d0409ffff または 0x806f060d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

- **806f060d-040affff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。

ドライブ 10 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d040affff または 0x806f060d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-040bffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。

ドライブ 11 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d040bffff または 0x806f060d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

- **806f060d-040cffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。

ドライブ 12 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d040cffff または 0x806f060d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し
- 2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換

- **806f060d-040dffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。

ドライブ 13 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d040dffff または 0x806f060d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
 - [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)
- **806f060d-040effff: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。**
ドライブ 14 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d040effff または 0x806f060d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f060d-040fffff**: アレイ [ComputerSystemElementName] が失敗しました。

ドライブ 15 が、障害の状態の RAID アレイの一部です。障害が発生したアレイ内のドライブを識別するために、すべてのメンバー・ドライブがこのメッセージを報告します。

806f060d040fffff または 0x806f060d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0176

ユーザー応答

- IMM ログを参照し、障害が発生しているハードディスク・ドライブを識別するのに役立つ PFA (障害予知) メッセージやその他のハードディスク・ドライブ・メッセージがないか確認します。
- 点灯しているステータス LED で示されているハードディスク・ドライブを交換します。
- アレイを再作成します。
- バックアップからデータをリストアします。

関連リンク

- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの取り外し](#)
- [2.5 型および 1.8 型のホット・スワップ・ドライブの交換](#)

- **806f070c-2581ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、メモリー DIMM 構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2581ffff または 0x806f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 1 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810001 または 0x806f070c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 2 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810002 または 0x806f070c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810003 または 0x806f070c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810004 または 0x806f070c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810005 または 0x806f070c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810006 または 0x806f070c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 7 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810007 または 0x806f070c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810008 または 0x806f070c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b810009 または 0x806f070c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b81000a または 0x806f070c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b81000b または 0x806f070c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 12 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b81000c または 0x806f070c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b81000d または 0x806f070c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 14 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b81000e または 0x806f070c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b81000f または 0x806f070c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810010 または 0x806f070c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810011 または 0x806f070c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810012 または 0x806f070c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810013 または 0x806f070c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810014 または 0x806f070c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 21 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810015 または 0x806f070c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810016 または 0x806f070c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810017 または 0x806f070c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b810018 または 0x806f070c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b81ffff または 0x806f070c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 1 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b820001 または 0x806f070c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 2 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b820002 または 0x806f070c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 3 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820003 または 0x806f070c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 4 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820004 または 0x806f070c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 5 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820005 または 0x806f070c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 6 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820006 または 0x806f070c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820007 または 0x806f070c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 8 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820008 または 0x806f070c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820009 または 0x806f070c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 10 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82000a または 0x806f070c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82000b または 0x806f070c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 12 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82000c または 0x806f070c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82000d または 0x806f070c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82000e または 0x806f070c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 15 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82000f または 0x806f070c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820010 または 0x806f070c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820011 または 0x806f070c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 18 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b820012 または 0x806f070c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820013: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 19 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b820013 または 0x806f070c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820014 または 0x806f070c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820015 または 0x806f070c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 22 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820016 または 0x806f070c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 23 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820017 または 0x806f070c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f070c-2b820018** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b820018 または 0x806f070c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b82ffff または 0x806f070c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 1 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830001 または 0x806f070c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 2 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830002 または 0x806f070c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 3 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830003 または 0x806f070c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830004 または 0x806f070c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830005: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830005 または 0x806f070c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830006 または 0x806f070c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 7 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830007 または 0x806f070c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 8 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830008 または 0x806f070c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830009: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830009 または 0x806f070c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83000a: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 10 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b83000a または 0x806f070c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 11 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b83000b または 0x806f070c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 12 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b83000c または 0x806f070c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b83000d または 0x806f070c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b83000e または 0x806f070c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b83000f または 0x806f070c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830010 または 0x806f070c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 17 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830011 または 0x806f070c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830012 または 0x806f070c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830013 または 0x806f070c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 20 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830014 または 0x806f070c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b830015 または 0x806f070c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830016 または 0x806f070c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830017 または 0x806f070c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 24 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b830018 または 0x806f070c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b83ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b83ffff または 0x806f070c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840001 または 0x806f070c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b840002 または 0x806f070c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b840003 または 0x806f070c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 4 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840004 または 0x806f070c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 5 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840005 または 0x806f070c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 6 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840006 または 0x806f070c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 7 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840007 または 0x806f070c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840008 または 0x806f070c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f070c-2b840009** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 9 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840009 または 0x806f070c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

[UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f070c-2b84000a** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b84000a または 0x806f070c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b84000b: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 11 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b84000b または 0x806f070c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b84000c: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 12 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b84000c または 0x806f070c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b84000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b84000d または 0x806f070c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b84000e または 0x806f070c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答
これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b84000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b84000f または 0x806f070c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 16 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840010 または 0x806f070c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 17 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840011 または 0x806f070c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840012 または 0x806f070c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 19 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b840013 または 0x806f070c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 20 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。
806f070c2b840014 または 0x806f070c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 21 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840015 または 0x806f070c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 22 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840016 または 0x806f070c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 23 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840017 または 0x806f070c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

– [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f070c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 24 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b840018 または 0x806f070c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f070c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーが発生しました。**

IMM は、コンピュータ・ブック 4 でメモリー構成エラーが発生したことを報告しました。

806f070c2b84ffff または 0x806f070c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0126

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f070d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 0 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。
806f070d0400ffff または 0x806f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 1 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。
806f070d0401ffff または 0x806f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0402ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 2 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。
806f070d0402ffff または 0x806f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 3 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。
806f070d0403ffff または 0x806f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 4 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。

806f070d0404ffff または 0x806f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 5 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d0405ffff または 0x806f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0406ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 6 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d0406ffff または 0x806f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 7 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。
806f070d0407ffff または 0x806f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0408ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 8 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。
806f070d0408ffff または 0x806f070d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-0409ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 9 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d0409ffff または 0x806f070d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-040affff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 10 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d040affff または 0x806f070d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-040bffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 11 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d040bffff または 0x806f070d040bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-040cffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 12 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d040cffff または 0x806f070d040cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-040dffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 13 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d040dffff または 0x806f070d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-040effff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 14 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。806f070d040effff または 0x806f070d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f070d-040fffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が進行中です。IMM が、ドライブ 15 上のアレイの再構築が進行中であることを検出しました。

806f070d040fffff または 0x806f070d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0178

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f072b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。

ソフトウェアまたはファームウェアの変更の正常な完了 (IMM プロモーションまたは IMM リカバリー) が検出されました。

806f072b2101ffff または 0x806f072b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f072b-2201ffff: システム [ComputerSystemElementName] でソフトウェアまたはファームウェアの正常な変更が検出されました。

バックアップ自動更新または ROM リカバリーでソフトウェアまたはファームウェアの変更が正常に行われました。

806f072b2201ffff または 0x806f072b2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0450

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が無効になりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 が無効になったことを報告しました。

806f08070301ffff または 0x806f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0807-0302ffff : [ProcessorElementName] が無効になりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 が無効になったことを報告しました。

806f08070302ffff または 0x806f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0807-0303ffff : [ProcessorElementName] が無効になりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 が無効になったことを報告しました。

806f08070303ffff または 0x806f08070303ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f0807-0304ffff: [ProcessorElementName] が無効になりました。**
IMM は、マイクロプロセッサ 4 が無効になったことを報告しました。
806f08070304ffff または 0x806f08070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f0807-2583ffff: [ProcessorElementName] が無効になりました。**
IMM は、マイクロプロセッサが無効になったことを報告しました。
806f08072583ffff または 0x806f08072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0061

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0813-2581ffff: バス [SensorElementName] で修正不能なバス・エラーが発生しました。

IMM はバスの修正不能なエラーを報告しました。

806f08132581ffff または 0x806f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0813-2582ffff: バス [SensorElementName] で修正不能なバス・エラーが発生しました。
IMM はバスの修正不能なエラーを報告しました。
806f08132582ffff または 0x806f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- 806f0813-2583ffff: バス [SensorElementName] で修正不能なバス・エラーが発生しました。
IMM はバスの修正不能なエラーを報告しました。
806f08132583ffff または 0x806f08132583ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

はい

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0240

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- UEFI (POST) エラー・コードの検出

- 806f0823-2101ffff: [WatchdogElementName] でウォッチドッグ・タイマーの割り込みが発生しました。ウォッチドッグ・タイマーの期限が切れました。ウォッチドッグ割り込みが発生しました。806f08232101ffff または 0x806f08232101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0376

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 806f090c-2b810001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810001 または 0x806f090c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810002 または 0x806f090c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f090c-2b810003** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810003 または 0x806f090c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f090c-2b810004** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810004 または 0x806f090c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810005 または 0x806f090c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f090c-2b810006** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810006 または 0x806f090c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810007 または 0x806f090c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810008 または 0x806f090c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 9 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810009 または 0x806f090c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 10 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b81000a または 0x806f090c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b81000b または 0x806f090c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b81000c または 0x806f090c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b81000d または 0x806f090c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b81000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b81000e または 0x806f090c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b81000f または 0x806f090c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810010 または 0x806f090c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810011 または 0x806f090c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810012 または 0x806f090c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810013 または 0x806f090c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810014 または 0x806f090c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 21 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810015 または 0x806f090c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810016 または 0x806f090c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 23 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810017 または 0x806f090c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 24 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b810018 または 0x806f090c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。
DIMM センサーによって高温状態が検出されたことにより、コンピュータ・ブック 1 上のメモリーのスロットルが発生しています。
806f090c2b81ffff または 0x806f090c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の場合、それがこのイベントが記録された唯一の DIMM であれば、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の場合、それがこのイベントが記録された唯一の eXFlash DIMM であれば、デバイスを交換する必要があります。交換の前にその eXFlash DIMM の保証機関が有効であることを確認してください。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820001 または 0x806f090c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820002 または 0x806f090c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820003 または 0x806f090c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820004 または 0x806f090c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820005 または 0x806f090c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820006 または 0x806f090c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820007 または 0x806f090c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820008 または 0x806f090c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820009 または 0x806f090c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b82000a: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b82000a または 0x806f090c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b82000b または 0x806f090c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b82000c または 0x806f090c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b82000d または 0x806f090c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b82000e または 0x806f090c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b82000f または 0x806f090c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820010 または 0x806f090c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820011 または 0x806f090c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820012 または 0x806f090c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820013 または 0x806f090c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 20 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820014 または 0x806f090c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820015 または 0x806f090c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820016 または 0x806f090c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820017 または 0x806f090c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b820018 または 0x806f090c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

DIMM センサーによって高温状態が検出されたことにより、コンピュータ・ブック 2 上のメモリーのスロットルが発生しています。

806f090c2b82ffff または 0x806f090c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID
22

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
- 806f090c-2b830001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830001 または 0x806f090c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830002 または 0x806f090c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。

6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f090c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。**

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 3 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830003 または 0x806f090c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 4 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830004 または 0x806f090c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 5 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830005 または 0x806f090c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 6 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830006 または 0x806f090c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830007 または 0x806f090c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830008 または 0x806f090c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830009 または 0x806f090c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83000a: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b83000a または 0x806f090c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 11 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b83000b または 0x806f090c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b83000c または 0x806f090c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b83000d または 0x806f090c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b83000e または 0x806f090c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b83000f または 0x806f090c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830010 または 0x806f090c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 17 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830011 または 0x806f090c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830012: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 18 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830012 または 0x806f090c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830013 または 0x806f090c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830014 または 0x806f090c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 21 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830015 または 0x806f090c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830016 または 0x806f090c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 23 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830017 または 0x806f090c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b830018: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b830018 または 0x806f090c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

DIMM センサーによって高温状態が検出されたことにより、コンピュータ・ブック 3 上のメモリーのスロットルが発生しています。

806f090c2b83ffff または 0x806f090c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換

- 806f090c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840001 または 0x806f090c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し

- [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840002 または 0x806f090c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)

- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
 - コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f090c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840003 または 0x806f090c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)

- コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f090c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 4 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840004 または 0x806f090c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換

- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840005 または 0x806f090c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)

- [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f090c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840006 または 0x806f090c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

– [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840007 または 0x806f090c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840008 または 0x806f090c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840009 または 0x806f090c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 10 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b84000a または 0x806f090c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b84000b または 0x806f090c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b84000c または 0x806f090c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b84000d または 0x806f090c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b84000e または 0x806f090c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b84000f または 0x806f090c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840010 または 0x806f090c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840011 または 0x806f090c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840012 または 0x806f090c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840013 または 0x806f090c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840014 または 0x806f090c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840015 または 0x806f090c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840016 または 0x806f090c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840017: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840017 または 0x806f090c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 で高温状態によりスロットルが発生していると判別しました。

806f090c2b840018 または 0x806f090c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f090c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しました。

DIMM センサーによって高温状態が検出されたことにより、コンピュータ・ブック 4 上のメモリーのスロットルが発生しています。

806f090c2b84ffff または 0x806f090c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

22

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0142

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、スロットルが発生した DIMM の状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- 806f0a07-0301ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。

温度または電源の状態により、マイクロプロセッサ 1 でスロットルが発生しています。

806f0a070301ffff または 0x806f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

IMM イベント・ログを参照し、ファン、冷却機構、または電源に関連する問題がないか確認します。

温度の状態に関して:

1. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
2. 室温が運用規格内であることを確認します。

電源の状態に関して:

1. 電源装置の定格が 1400 ワットである場合は、この装置が 220V AC 入力に接続されていることを確認します。
2. 900 ワット定格の電源 (110V または 220V で接続) を使用している場合は、1400 ワット定格の電源へ (220V で接続) へのアップグレードが必要な場合があります。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [電源の問題の解決](#)
 - [電源の取り付け](#)
- 806f0a07-0302ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。
温度または電源の状態により、マイクロプロセッサ 2 でスロットルが発生しています。
806f0a070302ffff または 0x806f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

IMM イベント・ログを参照し、ファン、冷却機構、または電源に関連する問題がないか確認します。

温度の状態に関して:

1. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
2. 室温が運用規格内であることを確認します。

電源の状態に関して:

1. 電源装置の定格が 1400 ワットである場合は、この装置が 220V AC 入力に接続されていることを確認します。
2. 900 ワット定格の電源 (110V または 220V で接続) を使用している場合は、1400 ワット定格の電源へ (220V で接続) へのアップグレードが必要な場合があります。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)

- 806f0a07-0303ffff: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。

温度または電源の状態により、マイクロプロセッサ 3 でスロットルが発生しています。

806f0a070303ffff または 0x806f0a070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

IMM イベント・ログを参照し、ファン、冷却機構、または電源に関連する問題がないか確認します。

温度の状態に関して:

1. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
2. 室温が運用規格内であることを確認します。

電源の状態に関して:

1. 電源装置の定格が 1400 ワットである場合は、この装置が 220V AC 入力に接続されていることを確認します。
2. 900 ワット定格の電源 (110V または 220V で接続) を使用している場合は、1400 ワット定格の電源へ (220V で接続) へのアップグレードが必要な場合があります。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [電源の問題の解決](#)
 - [電源の取り付け](#)
- **806f0a07-0304ffff**: [ProcessorElementName] が機能低下状態で動作しています。
温度または電源の状態により、マイクロプロセッサ 4 でスロットルが発生しています。
806f0a070304ffff または 0x806f0a070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0038

ユーザー応答

IMM イベント・ログを参照し、ファン、冷却機構、または電源に関連する問題がないか確認します。

温度の状態に関して:

1. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
2. 室温が運用規格内であることを確認します。

電源の状態に関して:

1. 電源装置の定格が 1400 ワットである場合は、この装置が 220V AC 入力に接続されていることを確認します。
2. 900 ワット定格の電源 (110V または 220V で接続) を使用している場合は、1400 ワット定格の電源へ (220V で接続) へのアップグレードが必要な場合があります。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [電源の問題の解決](#)
- [電源の取り付け](#)

- 806f0a0c-2b810001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 1 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810001 または 0x806f0a0c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810002 または 0x806f0a0c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810003 または 0x806f0a0c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。

3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810004 または 0x806f0a0c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810005 または 0x806f0a0c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 6 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810006 または 0x806f0a0c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810007 または 0x806f0a0c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810008 または 0x806f0a0c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810009 または 0x806f0a0c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し

- コンピュート・ブックの交換
 - コンピュート・ブックのカバーの取り外し
 - コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f0a0c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b81000a または 0x806f0a0c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し

- コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f0a0c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b81000b または 0x806f0a0c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)

- [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b81000c: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b81000c または 0x806f0a0c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b81000d または 0x806f0a0c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b81000e または 0x806f0a0c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 15 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b81000f または 0x806f0a0c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810010 または 0x806f0a0c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810011 または 0x806f0a0c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- **806f0a0c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。**
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b810012 または 0x806f0a0c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810013 または 0x806f0a0c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810014 または 0x806f0a0c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 21 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b810015 または 0x806f0a0c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810016 または 0x806f0a0c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b810017 または 0x806f0a0c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 24 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b810018 または 0x806f0a0c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 上のメモリーの温度過熱状態を検出しました。

806f0a0c2b81ffff または 0x806f0a0c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- 806f0a0c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820001 または 0x806f0a0c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820002 または 0x806f0a0c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820003 または 0x806f0a0c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなにかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820004 または 0x806f0a0c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820005 または 0x806f0a0c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 6 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820006 または 0x806f0a0c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し

- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 7 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820007 または 0x806f0a0c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)

- コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f0a0c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 8 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b820008 または 0x806f0a0c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)

- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820009: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820009 または 0x806f0a0c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b82000a または 0x806f0a0c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b82000b または 0x806f0a0c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b82000c または 0x806f0a0c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b82000d または 0x806f0a0c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b82000e または 0x806f0a0c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b82000f または 0x806f0a0c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b820010 または 0x806f0a0c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820011 または 0x806f0a0c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b820012 または 0x806f0a0c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 19 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820013 または 0x806f0a0c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなにかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b820014 または 0x806f0a0c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820015 または 0x806f0a0c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 22 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b820016 または 0x806f0a0c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 23 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820017 または 0x806f0a0c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b820018 または 0x806f0a0c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 上のメモリーの温度過熱状態を検出しました。

806f0a0c2b82ffff または 0x806f0a0c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。

3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
- 806f0a0c-2b830001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 1 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830001 または 0x806f0a0c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830002 または 0x806f0a0c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830003 または 0x806f0a0c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 4 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830004 または 0x806f0a0c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し

- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 5 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830005 または 0x806f0a0c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)

- コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f0a0c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
 IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 6 が温度過熱状態であると判別しました。
 806f0a0c2b830006 または 0x806f0a0c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し

- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830007: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 7 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830007 または 0x806f0a0c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830008 または 0x806f0a0c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830009 または 0x806f0a0c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b83000a または 0x806f0a0c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b83000b または 0x806f0a0c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b83000c または 0x806f0a0c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b83000d または 0x806f0a0c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b83000e または 0x806f0a0c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b83000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 15 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b83000f または 0x806f0a0c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 16 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830010 または 0x806f0a0c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830011 または 0x806f0a0c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b830012 または 0x806f0a0c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830013 または 0x806f0a0c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b830014 または 0x806f0a0c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がな
いかなを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash
DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b830015 または 0x806f0a0c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830016 または 0x806f0a0c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830017 または 0x806f0a0c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。

3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がな
いかなを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash
DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度
過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b830018 または 0x806f0a0c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、
正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 上のメモリーの温度過熱状態を検出しました。

806f0a0c2b83ffff または 0x806f0a0c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- 806f0a0c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840001 または 0x806f0a0c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
 - コンピュート・ブックの取り外し
 - コンピュート・ブックの交換
 - コンピュート・ブックのカバーの取り外し
 - コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f0a0c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840002 または 0x806f0a0c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様

- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換
- メモリー・モジュールの取り外し
- メモリー・モジュールの交換
- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840003 または 0x806f0a0c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)

- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
 - コンピュート・ブック・カバーの交換
 - メモリー・モジュールの取り外し
 - メモリー・モジュールの交換
 - eXFlash DIMM
- 806f0a0c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
 IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 4 が温度過熱状態であると判別しました。
 806f0a0c2b840004 または 0x806f0a0c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- サーバーの機能および仕様
- コンピュート・ブックの取り外し
- コンピュート・ブックの交換
- コンピュート・ブックのカバーの取り外し
- コンピュート・ブック・カバーの交換

- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
 IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 が温度過熱状態であると判別しました。
 806f0a0c2b840005 または 0x806f0a0c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- eXFlash DIMM

- 806f0a0c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840006 または 0x806f0a0c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840007 または 0x806f0a0c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840008 または 0x806f0a0c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 9 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840009 または 0x806f0a0c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュート・ブックの取り外し](#)
- [コンピュート・ブックの交換](#)
- [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b84000a または 0x806f0a0c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b84000b または 0x806f0a0c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b84000c または 0x806f0a0c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 13 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b84000d または 0x806f0a0c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b84000e または 0x806f0a0c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b84000f または 0x806f0a0c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840010 または 0x806f0a0c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がな
いかなを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash
DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 17 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b840011 または 0x806f0a0c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がな
いかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash
DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840012 または 0x806f0a0c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 19 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b840013 または 0x806f0a0c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュート・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブックの交換](#)
 - [コンピュート・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュート・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 20 が温度過熱状態であると判別しました。
806f0a0c2b840014 または 0x806f0a0c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がなければ確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840015 または 0x806f0a0c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。

2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840016 または 0x806f0a0c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。

3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポートサイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840017 または 0x806f0a0c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。

4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)
- [eXFlash DIMM](#)

- 806f0a0c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 が温度過熱状態であると判別しました。

806f0a0c2b840018 または 0x806f0a0c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。

5. eXFlash DIMM の場合は、eXFlash DIMM FW が最新レベルに更新されていることを確認します。
6. DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。
7. eXFlash DIMM の問題が解決せず、同じ兆候を示す eXFlash DIMM が他にない場合は、eXFlash DIMM を交換する前にその保証期間が有効であることを確認します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [メモリー・モジュールの取り外し](#)
 - [メモリー・モジュールの交換](#)
 - [eXFlash DIMM](#)
- 806f0a0c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 上のメモリーの温度過熱状態を検出しました。

806f0a0c2b84ffff または 0x806f0a0c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0146

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. IMM イベント・ログを参照し、ファンまたは冷却機構に関連する問題がないか確認します。
2. サーバーの前面と背面の通気が妨げられていないこと、およびフィルターが所定の位置にあり、正しく取り付けられていることを確認します。
3. 室温が運用規格内であることを確認します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、温度過熱状態に関連する Service Bulletin/RETAIN tip がないかを確認します。
5. 問題が解決せず、同じ兆候を示す DIMM が他にない場合は、DIMM を交換します。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
- [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブックの交換](#)
- [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
- [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
- [メモリー・モジュールの取り外し](#)
- [メモリー・モジュールの交換](#)

- **806f0a13-2401ffff**: バス [SensorElementName] で致命的バス・エラーが発生しました。

IMM はバスの致命的エラーを報告しました。

806f0a132401ffff または 0x806f0a132401ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0244

ユーザー応答

これは UEFI が検出したイベントです。このイベントの UEFI 診断コードは、ログに記録された IMM メッセージ・テキストに含まれています。適切なユーザー応答については、インフォメーション・センターの『UEFI diagnostic code』セクションにある UEFI 診断コードを参照してください。

関連リンク

- [UEFI \(POST\) エラー・コードの検出](#)

- **806f0b13-0701ffff**: バス [SensorElementName] が機能低下状態で動作しています。

IMM は、DMI バスの機能低下を検出しました。

806f0b130701ffff または 0x806f0b130701ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0246

ユーザー応答

問題が解決するまで、以下のステップを実行します。

1. マシンの AC 電源を入れ直します。
2. マイクロプロセッサ 1 を取り外し、マイクロプロセッサ・ソケットのピンが曲がっていないか調べます。
3. マイクロプロセッサ 1 およびマイクロプロセッサ 2 を交換します。エラーが解決したら、元のマイクロプロセッサ 1 を再び取り付けます。
4. 問題が続く場合は、システム・ボードの交換が必要になる場合があります (トレーニングを受けたサービス担当員のみ)。

関連リンク

- [サーバーの機能および仕様](#)
 - [コンピュータ・ブックの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブックの交換](#)
 - [コンピュータ・ブックのカバーの取り外し](#)
 - [コンピュータ・ブック・カバーの交換](#)
 - [マイクロプロセッサとヒートシンクの取り外し](#)
 - [マイクロプロセッサ・ヒートシンクの交換](#)
 - [熱伝導グリース](#)
 - [標準 I/O ブックの取り外し](#)
 - [標準 I/O ブックの交換](#)
- 81010002-2801ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

CMOS バッテリーは、正常な電圧レベルに戻りました。

810100022801ffff または 0x810100022801ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 電圧

SNMP Trap ID
13

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0477

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010202-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

これまで低かった電圧が、指定されたしきい値より上に戻りました (センサー SysBrd 12V、SysBrd 3.3V、または SysBrd 5V)。

810102020701ffff または 0x810102020701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID
1

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010202-2801ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

CMOS バッテリーは、正常な電圧レベルに戻りました。

810102022801ffff または 0x810102022801ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 1A またはファン 1B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d01ffff または 0x810102041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d02ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 2A またはファン 2B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d02ffff または 0x810102041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d03ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 3A またはファン 3B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d03ffff または 0x810102041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d04ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 4A またはファン 4B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d04ffff または 0x810102041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d05ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 5A またはファン 5B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d05ffff または 0x810102041d05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d06ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 6A またはファン 6B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d06ffff または 0x810102041d06ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d07ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 7A またはファン 7B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d07ffff または 0x810102041d07ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d08ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 8A またはファン 8B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d08ffff または 0x810102041d08ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d09ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 9A またはファン 9B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d09ffff または 0x810102041d09ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010204-1d0affff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回った状態の解消を検出しました。

IMM は、ファン 10A またはファン 10B が低速状態から回復したことを検出しました。

810102041d0affff または 0x810102041d0affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0481

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010701-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

IMM は、周囲の温度が正常の範囲に戻ったことを検出しました。

810107012701ffff または 0x810107012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010701-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] が非クリティカルな状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

IMM は、PCH の温度が正常の範囲に戻ったことを検出しました。

810107012d01ffff または 0x810107012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0491

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010901-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

IMM は、周囲の温度が正常の範囲に戻ったことを検出しました。

810109012701ffff または 0x810109012701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答
周囲の温度: 通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010901-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

IMM は、PCH の温度が正常の範囲に戻ったことを検出しました。

810109012d01ffff または 0x810109012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010902-0701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

これまで高かった電圧が、指定されたしきい値より下に戻りました (センサー SysBrd 12V、SysBrd 3.3V、または SysBrd 5V)。

810109020701ffff または 0x810109020701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電圧

SNMP Trap ID

1

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0495

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010b01-2701ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

IMM は、周囲の温度が正常の範囲に戻ったことを検出しました。

81010b012701ffff または 0x81010b012701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答

周囲の温度: 通知メッセージ。操作は不要です。

- 81010b01-2d01ffff: 数値センサー [NumericSensorElementName] がリカバリー不能状態の上限を上回った状態の解消を検出しました。

IMM は、PCH の温度が正常の範囲に戻ったことを検出しました。

81010b012d01ffff または 0x81010b012d01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0499

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81030006-2101ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。

UEFI BIOS 内のファームウェア・ボリュームまたはカプセルの1つで、署名検査が失敗しました。

810300062101ffff または 0x810300062101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答
自動 BIOS リカバリー (ABR) によって、システムはバックアップ・バンク内の UEFI イメージから起動します。プライマリー・バンク内の UEFI イメージを再消去してください。エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。

- 8103000f-2101ffff: センサー [SensorElementName] が状態を検出しました。
IMM ファームウェアが破損しました。
8103000f2101ffff または 0x8103000f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0508

ユーザー応答
プライマリー・ビルドが正しいことを確認し、プライマリー・ビルドを最新レベルに更新します。

- 81030108-1381ffff: センサー [SensorElementName] が状況の解消を検出しました。
IMM は、PS 高負荷センサーが報告されたエラーをクリアしたことを検出しました。
810301081381ffff または 0x810301081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8103010c-2581ffff: センサー [SensorElementName] が状態の解消を検出しました。
IMM は、SMI レーン・フェイルオーバーまたは純正以外の DIMM エラーの解消が検出されたことを報告しました。

8103010c2581ffff または 0x8103010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8103010d-2101ffff: センサー [SensorElementName] が状況の解消を検出しました。

コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM で eXFlash DIMM ファームウェアの構成エラーの解消が検出されました。

8103010d2101ffff または 0x8103010d2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8103010e-2581ffff: センサー [SensorElementName] が状況の解消を検出しました。

IMM は、メモリー・サイズが以前の構成に戻ったことを報告しました。

8103010e2581ffff または 0x8103010e2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81030112-0601ffff: センサー [SensorElementName] が状態の解消を検出しました。
IMM は、システム保守モード (SMM モード、SMM 監視) を終了しました。このモードでは、現在の電源状態が重要です。
810301120601ffff または 0x810301120601ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0509

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81040104-1d01ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。
IMM は、ファン 1 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。
810401041d01ffff または 0x810401041d01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81040104-1d02ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 2 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。810401041d02ffff または 0x810401041d02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81040104-1d03ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 3 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。810401041d03ffff または 0x810401041d03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **81040104-1d04ffff**: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 4 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。
810401041d04ffff または 0x810401041d04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **81040104-1d05ffff**: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 5 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。
810401041d05ffff または 0x810401041d05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81040104-1d06ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 6 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。810401041d06ffff または 0x810401041d06ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 予知された障害

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81040104-1d07ffff: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 7 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。810401041d07ffff または 0x810401041d07ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 予知された障害

SNMP Trap ID
27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **81040104-1d08ffff**: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 8 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。810401041d08ffff または 0x810401041d08ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **81040104-1d09ffff**: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。IMM は、ファン 9 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。810401041d09ffff または 0x810401041d09ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 予知された障害

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **81040104-1d0affff**: センサー [SensorElementName] が障害予知の解消を検出しています。
IMM は、ファン 10 が予測障害 (PFA) から回復したことを検出しました。
810401041d0affff または 0x810401041d0affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 予知された障害

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0511

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **81070101-0301ffff**: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 が正常な温度に戻ったことを検出しました。
810701010301ffff または 0x810701010301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0302ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 が正常な温度に戻ったことを検出しました。

810701010302ffff または 0x810701010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0303ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 が正常な温度に戻ったことを検出しました。

810701010303ffff または 0x810701010303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0304ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 が正常な温度に戻ったことを検出しました。

810701010304ffff または 0x810701010304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0b01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PCI 1 の温度超過から回復しました。

810701010b01ffff または 0x810701010b01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0b02ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PCI 2 の温度超過から回復しました。

810701010b02ffff または 0x810701010b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0b03ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PCI 3 の温度超過から回復しました。

810701010b03ffff または 0x810701010b03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0b04ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PCI 4 の温度超過から回復しました。

810701010b04ffff または 0x810701010b04ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0b05ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PCI 5 の温度超過から回復しました。

810701010b05ffff または 0x810701010b05ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 温度

SNMP Trap ID
12

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-0b06ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PCI 6 の温度超過から回復しました。

810701010b06ffff または 0x810701010b06ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070101-2c01ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、ML2 カードが温度過熱状態から回復したことを検出しました。

810701012c01ffff または 0x810701012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 温度

SNMP Trap ID

12

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070107-0301ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

コンピュータ・ブック 1 がシステムに追加されました。

810701070301ffff または 0x810701070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070107-0302ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

コンピュータ・ブック 2 がシステムに追加されました。

810701070302ffff または 0x810701070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070107-0303ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

コンピュータ・ブック 3 がシステムに追加されました。

810701070303ffff または 0x810701070303ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070107-0304ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

コンピュータ・ブック 4 がシステムに追加されました。

810701070304ffff または 0x810701070304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070107-2583ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM で、CPU 装着エラーの解消が検出されました。

810701072583ffff または 0x810701072583ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070108-1381ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

PS 12V OC 障害、PS CSF 障害または PS AC 入力ソース障害が解消しました。

810701081381ffff または 0x810701081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - 電源

SNMP Trap ID
164

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107010d-2582ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

このメッセージは、センサーでの正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消が実装環境で検出された場合に使用されます。

8107010d2582ffff または 0x8107010d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- 8107010d-2b810001: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 1 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810001 または 0x8107010d2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- eXFlash DIMM

- 8107010d-2b810002 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 2 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810002 または 0x8107010d2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- eXFlash DIMM

- 8107010d-2b810003 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 3 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810003 または 0x8107010d2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810004 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 4 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810004 または 0x8107010d2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810005 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 5 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810005 または 0x8107010d2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810006 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 6 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810006 または 0x8107010d2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810007 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 7 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810007 または 0x8107010d2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810008 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 8 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810008 または 0x8107010d2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810009 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 9 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810009 または 0x8107010d2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81000a : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 10 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b81000a または 0x8107010d2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81000b : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 11 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b81000b または 0x8107010d2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81000c : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 12 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b81000c または 0x8107010d2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81000d: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 13 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b81000d または 0x8107010d2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81000e: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 14 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b81000e または 0x8107010d2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81000f: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 15 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b81000f または 0x8107010d2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810010 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 16 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810010 または 0x8107010d2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810011 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 17 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810011 または 0x8107010d2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810012 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 18 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810012 または 0x8107010d2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810013 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 19 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810013 または 0x8107010d2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810014 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 20 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810014 または 0x8107010d2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810015 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 21 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810015 または 0x8107010d2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810016 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 22 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810016 または 0x8107010d2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810017 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 23 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810017 または 0x8107010d2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b810018 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 24 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b810018 または 0x8107010d2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b81ffff: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM で、センサーの解消が検出されました。

8107010d2b81ffff または 0x8107010d2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107010d-2b820001: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 1 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820001 または 0x8107010d2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820002 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 2 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820002 または 0x8107010d2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820003 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 3 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820003 または 0x8107010d2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820004 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 4 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820004 または 0x8107010d2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820005 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 5 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820005 または 0x8107010d2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820006 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 6 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820006 または 0x8107010d2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820007 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 7 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820007 または 0x8107010d2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820008 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 8 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820008 または 0x8107010d2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820009 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 9 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820009 または 0x8107010d2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82000a : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 10 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b82000a または 0x8107010d2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82000b : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 11 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b82000b または 0x8107010d2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82000c : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 12 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b82000c または 0x8107010d2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82000d : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 13 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b82000d または 0x8107010d2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82000e: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 14 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b82000e または 0x8107010d2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82000f: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 15 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b82000f または 0x8107010d2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820010 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 16 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820010 または 0x8107010d2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820011 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 17 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820011 または 0x8107010d2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820012 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 18 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820012 または 0x8107010d2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820013 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 19 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820013 または 0x8107010d2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820014 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 20 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820014 または 0x8107010d2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820015 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 21 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820015 または 0x8107010d2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820016 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 22 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820016 または 0x8107010d2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820017 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 23 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820017 または 0x8107010d2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b820018 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 24 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b820018 または 0x8107010d2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b82ffff: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM で、センサーの解消が検出されました。

8107010d2b82ffff または 0x8107010d2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107010d-2b830001: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 1 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830001 または 0x8107010d2b830001 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830002 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 2 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830002 または 0x8107010d2b830002 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830003 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 3 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830003 または 0x8107010d2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830004 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 4 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830004 または 0x8107010d2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830005 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 5 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830005 または 0x8107010d2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830006 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 6 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830006 または 0x8107010d2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830007 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 7 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830007 または 0x8107010d2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830008 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 8 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830008 または 0x8107010d2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830009 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 9 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830009 または 0x8107010d2b830009 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83000a : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 10 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b83000a または 0x8107010d2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83000b : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 11 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b83000b または 0x8107010d2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83000c: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 12 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b83000c または 0x8107010d2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83000d: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 13 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b83000d または 0x8107010d2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83000e : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 14 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b83000e または 0x8107010d2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83000f : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 15 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b83000f または 0x8107010d2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830010 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 16 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830010 または 0x8107010d2b830010 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830011 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 17 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830011 または 0x8107010d2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830012 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 18 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830012 または 0x8107010d2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830013 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 19 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830013 または 0x8107010d2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830014 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 20 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830014 または 0x8107010d2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830015 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 21 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830015 または 0x8107010d2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830016 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 22 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830016 または 0x8107010d2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830017 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 23 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830017 または 0x8107010d2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b830018 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 24 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b830018 または 0x8107010d2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b83ffff : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM で、センサーの解消が検出されました。

8107010d2b83ffff または 0x8107010d2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107010d-2b840001 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 1 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840001 または 0x8107010d2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840002 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 2 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840002 または 0x8107010d2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840003 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 3 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840003 または 0x8107010d2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840004 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 4 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840004 または 0x8107010d2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840005 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 5 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840005 または 0x8107010d2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840006 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 6 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840006 または 0x8107010d2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840007 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 7 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840007 または 0x8107010d2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840008 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 8 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840008 または 0x8107010d2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840009 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 9 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840009 または 0x8107010d2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84000a : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 10 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b84000a または 0x8107010d2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84000b : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 11 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b84000b または 0x8107010d2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84000c : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 12 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b84000c または 0x8107010d2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84000d : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 13 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b84000d または 0x8107010d2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84000e : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 14 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b84000e または 0x8107010d2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84000f: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 15 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b84000f または 0x8107010d2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840010: センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 16 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840010 または 0x8107010d2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840011 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 17 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840011 または 0x8107010d2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840012 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 18 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840012 または 0x8107010d2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840013 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 19 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840013 または 0x8107010d2b840013 として表示される場合もあります。

重大度
警告

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

- [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840014 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 20 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840014 または 0x8107010d2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840015 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 21 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840015 または 0x8107010d2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840016 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 22 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840016 または 0x8107010d2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840017 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 23 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840017 または 0x8107010d2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b840018 : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

eXFlash IPMI Proxy Service は、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 24 が 10% の書き込み保証センサーの解消を検出したことを示しました。

8107010d2b840018 または 0x8107010d2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

関連リンク

– [eXFlash DIMM](#)

- 8107010d-2b84ffff : センサー [SensorElementName] が非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

IMM で、センサーの解消が検出されました。

8107010d2b84ffff または 0x8107010d2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

警告

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0520

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107010f-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

ディスク LUN (論理装置番号) の GPT (GUID パーティション・テーブル) が正常に戻りました。

8107010f2201ffff または 0x8107010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。GPT ステータス: セキュア・ロールバック・エラー: セキュア・ブート・エラー:

- 81070114-2201ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

Trusted Platform Module (TPM) イベントが正常な状態に戻りました。

810701142201ffff または 0x810701142201ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。TPM ロック: TPM 物理プレゼンス設定:

- 81070125-2583ffff: センサー [SensorElementName] が正常な状態から非クリティカルな状態への遷移の解消を検出しました。

BP2 Pop エラー、X8 PCIe1 構成エラーまたは X8 PCIe2 構成エラーが解消しました。

810701252583ffff または 0x810701252583ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0521

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070201-0301ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 がクリティカルな温度レベルより低い温度まで冷却されたことを検出しました。

810702010301ffff または 0x810702010301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070201-0302ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 が重大な温度レベルより低い温度まで冷却されたことを検出しました。

810702010302ffff または 0x810702010302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070201-0303ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 が重大な温度レベルより低い温度まで冷却されたことを検出しました。

810702010303ffff または 0x810702010303ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070201-0304ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 が重大な温度レベルより低い温度まで冷却されたことを検出しました。

810702010304ffff または 0x810702010304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070204-1381ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

電源は、PS ファン障害がクリティカルな状態から比較的重大でない状態に移行したと判別しました。

810702041381ffff または 0x810702041381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID
11

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070208-1381ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

電源は、クリティカルな PS 温度障害または PS の無効な CFG 障害から回復しました。

810702081381ffff または 0x810702081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107020c-2581ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、SMI レーンの障害の解消が検出されたことを報告しました。

8107020c2581ffff または 0x8107020c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107020d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

このメッセージは、実装環境でセンサーがクリティカルな状態から比較的重大でない状態に遷移したことが検出された場合に使用されます。

8107020d2582ffff または 0x8107020d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- 8107020f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、ドライブ・キー障害または TXT ACM モジュール障害の解消が検出されたことを報告しました。

8107020f2201ffff または 0x8107020f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107020f-2582ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、「I/O リソースなし」センサーが比較的重大でない状態に移行したことを報告しました。

8107020f2582ffff または 0x8107020f2582ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070219-0701ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

システム・ボード障害センサーがシステム・ボードの問題を検出しなくなりました。

810702190701ffff または 0x810702190701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107021b-0301ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 が QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。

8107021b0301ffff または 0x8107021b0301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107021b-0302ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 が QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。

8107021b0302ffff または 0x8107021b0302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107021b-0303ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。
IMM は、マイクロプロセッサー 3 が QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。
8107021b0303ffff または 0x8107021b0303ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107021b-0304ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。
IMM は、マイクロプロセッサー 4 が QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。
8107021b0304ffff または 0x8107021b0304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-0b0affff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、ML2 アダプターの温度過熱状態が解消したことを検出しました。

810702210b0affff または 0x810702210b0affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-1f01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 が外部 QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。

810702211f01ffff または 0x810702211f01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-1f02ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 が外部 QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。

810702211f02ffff または 0x810702211f02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-1f03ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 が外部 QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。

810702211f03ffff または 0x810702211f03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-1f04ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 4 が外部 QPI リンク・エラーから回復したことを検出しました。

810702211f04ffff または 0x810702211f04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IOBook1 の不一致が解消しました。

810702212c01ffff または 0x810702212c01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070221-2c02ffff: センサー [SensorElementName] がクリティカルな状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IOBook2 の不一致が解消しました。

810702212c02ffff または 0x810702212c02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070301-0301ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

マイクロプロセッサ 1 の温度が、指定のしきい値より下に戻りました。

810703010301ffff または 0x810703010301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070301-0302ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

マイクロプロセッサ 2 の温度が、指定のしきい値より下に戻りました。

810703010302ffff または 0x810703010302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070301-0303ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

マイクロプロセッサ 3 の温度が、指定のしきい値より下に戻りました。

810703010303ffff または 0x810703010303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070301-0304ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

マイクロプロセッサ 4 の温度が、指定のしきい値より下に戻りました。

810703010304ffff または 0x810703010304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070301-2c01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態からさほど重大でない状態に遷移しました。

IMM で、ML2 カードの温度過熱状態の解消が検出されました。

810703012c01ffff または 0x810703012c01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0523

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107030d-2582ffff: センサー [SensorElementName] がさほど重大でない状態からリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

このメッセージは、比較的重大でない状態からリカバリー不能状態へのセンサーの遷移の解消が実装環境で検出された場合に使用されます。

8107030d2582ffff または 0x8107030d2582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0525

ユーザー応答

RAID ボリュームの状態:

- 81070607-2583ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

IMM で、CPU の不一致/ブート CPU の欠落/CPU タイプ・エラーのイベントの解消が検出されました。

810706072583ffff または 0x810706072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070607-2b01ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 が存在しないことを検出しました。

810706072b01ffff または 0x810706072b01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070608-1381ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、センサーがリカバリー不能状態を報告しなくなったことを検出しました。[PS 12V OV 障害: PS 12V UV 障害: PS AUX UV 障害]

810706081381ffff または 0x810706081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 8107060f-2201ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

IMM は、Trusted Platform Module (TPM) が初期化エラーから回復したことを検出しました。

8107060f2201ffff または 0x8107060f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 81070625-2583ffff: センサー [SensorElementName] がリカバリー不能な状態への遷移の解消を検出しました。

A X8 PCIe1 構成または X8 PCIe2 構成の不一致が解消しました。

810706252583ffff または 0x810706252583ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0531

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 8108000f-2101ffff: デバイス [LogicalDeviceElementName] が追加されました。

IMM で、Trusted Platform Module (TPM) 物理プレゼンスの切り替えが検出しました。
8108000f2101ffff または 0x8108000f2101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
システム - その他
SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0536

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b0108-1381ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。
電源の冗長性が回復しました。
810b01081381ffff または 0x810b01081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
クリティカル - 冗長電源
SNMP Trap ID
9

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b010a-1e81ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。
ゾーン 1 のファンの冗長性が回復しました。
810b010a1e81ffff または 0x810b010a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b010a-1e82ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。ゾーン 2 のファンの冗長性が回復しました。

810b010a1e82ffff または 0x810b010a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b010a-1e83ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。ゾーン 3 のファンの冗長性が回復しました。

810b010a1e83ffff または 0x810b010a1e83ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b010a-1e84ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。ゾーン 4 のファンの冗長性が回復しました。

810b010a1e84ffff または 0x810b010a1e84ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b010a-1e85ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。ゾーン 5 のファンの冗長性が回復しました。

810b010a1e85ffff または 0x810b010a1e85ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b010c-2581ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性消失の解消が検出されました。メモリー・コンポーネント・グループが冗長性を回復しました。

810b010c2581ffff または 0x810b010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0803

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b0208-1381ffff: [RedundancySetElementName] の冗長性低下の解消が検出されました。電源は冗長状態に戻っています。

810b02081381ffff または 0x810b02081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0805

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b0308-1381ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。

電源は十分な電力を供給していて、冗長状態に戻っています。

810b03081381ffff または 0x810b03081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0807

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b0309-1381ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。

IMM は、電源の容量が最小消費電力を満たしているか、超えたことを検出しました。

810b03091381ffff または 0x810b03091381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

警告 - 冗長電源

SNMP Trap ID

10

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0807

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b030c-2581ffff: [RedundancySetElementName] において「冗長性低下」または「完全冗長」から「冗長性なし: 十分なリソース」の解消が検出されました。

メモリー・コンポーネント・グループが冗長性を回復しました。

810b030c2581ffff または 0x810b030c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0807

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b0508-1381ffff: [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

電源装置は冗長状態で、システムの稼働に必要な電力を供給できます。

810b05081381ffff または 0x810b05081381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 冗長電源

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b0509-1381ffff: [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

IMM は、電源の容量が最小消費電力より少ないことを検出しました。

810b05091381ffff または 0x810b05091381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 冗長電源

SNMP Trap ID

9

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

その他の電源障害、AC 電源コードの欠落などがないかを確認します。システム構成をサポートするために追加の電源が必要になる可能性があります。

- 810b050a-1e81ffff: [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

ファン・ゾーン 1 が冗長性を回復しました。

810b050a1e81ffff または 0x810b050a1e81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b050a-1e82ffff : [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

ファン・ゾーン 2 が冗長性を回復しました。

810b050a1e82ffff または 0x810b050a1e82ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b050a-1e83ffff : [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

ファン・ゾーン 3 が冗長性を回復しました。

810b050a1e83ffff または 0x810b050a1e83ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b050a-1e84ffff : [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

ファン・ゾーン 4 が冗長性を回復しました。

810b050a1e84ffff または 0x810b050a1e84ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b050a-1e85ffff : [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

ファン・ゾーン 5 が冗長性を回復しました。

810b050a1e85ffff または 0x810b050a1e85ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - ファン障害

SNMP Trap ID

11

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 810b050c-2581ffff: [RedundancySetElementName] で「冗長性なし: リソース不足」の解消が検出されました。

メモリー・コンポーネント・グループが冗長性を回復しました。

810b050c2581ffff または 0x810b050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0811

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0007-0301ffff: [ProcessorElementName] が IERR から回復しました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 が IERR 状態から回復したことを検出しました。

816f00070301ffff または 0x816f00070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f0007-0302ffff** : [ProcessorElementName] が IERR から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 2 が IERR 状態から回復したことを検出しました。
816f00070302ffff または 0x816f00070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f0007-0303ffff** : [ProcessorElementName] が IERR から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 3 が IERR 状態から回復したことを検出しました。
816f00070303ffff または 0x816f00070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0007-0304ffff : [ProcessorElementName] が IERR から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 4 が IERR 状態から回復したことを検出しました。
816f00070304ffff または 0x816f00070304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0043

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0008-0a01ffff : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。
IMM は、電源 1 が取り外されたことを検出しました。
816f00080a01ffff または 0x816f00080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0008-0a02ffff : [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、電源 2 が取り外されたことを検出しました。

816f00080a02ffff または 0x816f00080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0008-0a03ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、電源 3 が取り外されたことを検出しました。

816f00080a03ffff または 0x816f00080a03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0008-0a04ffff: [PowerSupplyElementName] がコンテナ [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

IMM は、電源 4 が取り外されたことを検出しました。

816f00080a04ffff または 0x816f00080a04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0085

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0009-1381ffff: [PowerSupplyElementName] が電源オンになっています。

IMM は、システム電源がオンになったことを検出しました。

816f00091381ffff または 0x816f00091381ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 電源オン

SNMP Trap ID

24

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0107

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f000d-0400ffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 0 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0400ffff または 0x816f000d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-0401ffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 1 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィラーが必要です。

816f000d0401ffff または 0x816f000d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度
エラー

保守可能
はい

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-0402ffff : [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 2 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0402ffff または 0x816f000d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-0403ffff : [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 3 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0403ffff または 0x816f000d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-0404ffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 4 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0404ffff または 0x816f000d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-0405ffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 5 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0405ffff または 0x816f000d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000d-0406ffff** : [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 6 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0406ffff または 0x816f000d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000d-0407ffff** : [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 7 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0407ffff または 0x816f000d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000d-0408ffff**: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 8 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0408ffff または 0x816f000d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。

2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000d-0409ffff**: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 9 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d0409ffff または 0x816f000d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000d-040affff**: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 10 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィルターが必要です。

816f000d040affff または 0x816f000d040affff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-040bffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 11 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィラーが必要です。

816f000d040bffff または 0x816f000d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-040cffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 12 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィラーが必要です。

816f000d040cffff または 0x816f000d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000d-040dffff**: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 13 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィラーが必要です。

816f000d040dffff または 0x816f000d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-040effff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 14 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィラーが必要です。

816f000d040effff または 0x816f000d040effff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- 816f000d-040fffff: [NumericSensorElementName] がユニット [PhysicalPackageElementName] から取り外されました。

ドライブ 15 の存在が検出されなくなりました。ドライブ・ベイにハードディスク・ドライブがない場合は、フィラーが必要です。

816f000d040fffff または 0x816f000d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

エラー

保守可能

はい

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0163

ユーザー応答

1. ドライブが意図的に取り外された場合は、操作は不要です。
2. ドライブが適切に取り付けられていることを確認します。
3. ドライブが適切に取り付けられている場合、そのドライブを交換します。

- **816f000f-2201ffff**: システム [ComputerSystemElementName] が POST エラーの解消を検出しました。
IMM で、POST エラーの解消が検出されました。(ABR ステータス、ファームウェア・エラー、システム・ブート・ステータス、X8 PCIe1 Firm、X8 PCIe2 Firm)

816f000f2201ffff または 0x816f000f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0185

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f0013-1701ffff**: システム [ComputerSystemElementName] が診断割り込みから回復しました。
システムは NMI / 診断割り込みから回復しました。

816f00131701ffff または 0x816f00131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0223

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b01ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 1 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b01ffff または 0x816f00210b01ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b02ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 2 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b02ffff または 0x816f00210b02ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b03ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 3 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b03ffff または 0x816f00210b03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b04ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 4 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b04ffff または 0x816f00210b04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b05ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 5 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b05ffff または 0x816f00210b05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b06ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 6 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b06ffff または 0x816f00210b06ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b07ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 7 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b07ffff または 0x816f00210b07ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b08ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 8 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b08ffff または 0x816f00210b08ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b09ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 9 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b09ffff または 0x816f00210b09ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b0affff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 10 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b0affff または 0x816f00210b0affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b0bffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 11 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b0bffff または 0x816f00210b0bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b0cffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 12 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b0cffff または 0x816f00210b0cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b0dffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。
IMM は、PCIe スロット 16 の障害状態が解消したことを検出しました。
816f00210b0dffff または 0x816f00210b0dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b0effff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。
IMM は、PCIe スロット 17 の障害状態が解消したことを検出しました。
816f00210b0effff または 0x816f00210b0effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b0fffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 18 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b0fffff または 0x816f00210b0fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-0b10ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロット 19 の障害状態が解消したことを検出しました。

816f00210b10ffff または 0x816f00210b10ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-2201ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、ROM スペースが使用可能になったことを検出しました。

816f00212201ffff または 0x816f00212201ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0021-2582ffff : システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorElementName] の障害状態が解消されました。

IMM は、PCIe スロットの障害状態が解消したことを検出しました。

816f00212582ffff または 0x816f00212582ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0331

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0028-2101ffff: 管理システム [ComputerSystemElementName] のセンサー [SensorElementName] が正常に戻りました。

Trusted Platform Module (TPM) の初期化と開始が正常に行われました。

816f00282101ffff または 0x816f00282101ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - その他

SNMP Trap ID
60

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0399

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0107-0301ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。

マイクロプロセッサ 1 の温度が、クリティカル・レベルより下に戻りました。

816f01070301ffff または 0x816f01070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0107-0302ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。

マイクロプロセッサ 2 の温度が、クリティカル・レベルより下に戻りました。

816f01070302ffff または 0x816f01070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0107-0303ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。マイクロプロセッサ 3 の温度が、クリティカル・レベルより下に戻りました。816f01070303ffff または 0x816f01070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 温度

SNMP Trap ID

0

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0107-0304ffff: [ProcessorElementName] で温度過熱状態が解消されました。マイクロプロセッサ 4 の温度が、クリティカル・レベルより下に戻りました。816f01070304ffff または 0x816f01070304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0037

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0108-0a01ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。
IMM は、電源 1 が正常な稼働ステータスに戻ったことを検出しました。
816f01080a01ffff または 0x816f01080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0087

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0108-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。
IMM は、電源 2 が正常な稼働ステータスに戻ったことを検出しました。
816f01080a02ffff または 0x816f01080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0087

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0108-0a03ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。
IMM は、電源 3 が正常な稼働ステータスに戻ったことを検出しました。
816f01080a03ffff または 0x816f01080a03ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - 電源

SNMP Trap ID

4

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0087

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0108-0a04ffff: [PowerSupplyElementName] が OK 状態に戻りました。
IMM は、電源 4 が正常な稼働ステータスに戻ったことを検出しました。
816f01080a04ffff または 0x816f01080a04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0087

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2581ffff または 0x816f010c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 1 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810001 または 0x816f010c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 2 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810002 または 0x816f010c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 3 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810003 または 0x816f010c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 4 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810004 または 0x816f010c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 5 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810005 または 0x816f010c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810006 または 0x816f010c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 7 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810007 または 0x816f010c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810008 または 0x816f010c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810009 または 0x816f010c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81000a: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81000a または 0x816f010c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81000b: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81000b または 0x816f010c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 12 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81000c または 0x816f010c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81000d または 0x816f010c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 14 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81000e または 0x816f010c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 15 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81000f または 0x816f010c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810010 または 0x816f010c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810011 または 0x816f010c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810012: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810012 または 0x816f010c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810013: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810013 または 0x816f010c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810014 または 0x816f010c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810015 または 0x816f010c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810016: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 22 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810016 または 0x816f010c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810017: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810017 または 0x816f010c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b810018 または 0x816f010c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b81ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b81ffff または 0x816f010c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 1 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820001 または 0x816f010c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 2 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820002 または 0x816f010c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 3 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820003 または 0x816f010c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 4 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820004 または 0x816f010c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 5 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820005 または 0x816f010c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 6 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820006 または 0x816f010c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 7 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820007 または 0x816f010c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 8 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820008 または 0x816f010c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 9 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820009 または 0x816f010c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 10 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82000a または 0x816f010c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82000b または 0x816f010c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 12 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82000c または 0x816f010c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 13 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82000d または 0x816f010c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 14 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82000e または 0x816f010c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 15 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82000f または 0x816f010c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820010 または 0x816f010c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 17 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820011 または 0x816f010c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 18 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820012 または 0x816f010c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 19 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820013 または 0x816f010c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820014 または 0x816f010c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 21 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820015 または 0x816f010c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 22 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820016 または 0x816f010c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 23 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820017 または 0x816f010c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 24 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b820018 または 0x816f010c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b82ffff または 0x816f010c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 1 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830001 または 0x816f010c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 2 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830002 または 0x816f010c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 3 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830003 または 0x816f010c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 4 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830004 または 0x816f010c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 5 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830005 または 0x816f010c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 6 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830006 または 0x816f010c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 7 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830007 または 0x816f010c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 8 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830008 または 0x816f010c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 9 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830009 または 0x816f010c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 10 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83000a または 0x816f010c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 11 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83000b または 0x816f010c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 12 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83000c または 0x816f010c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83000d または 0x816f010c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83000e または 0x816f010c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83000f または 0x816f010c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 16 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830010 または 0x816f010c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 17 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830011 または 0x816f010c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830012 または 0x816f010c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830013 または 0x816f010c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 20 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830014 または 0x816f010c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 21 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830015 または 0x816f010c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 22 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830016 または 0x816f010c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 23 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830017 または 0x816f010c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 24 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b830018 または 0x816f010c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b83ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b83ffff または 0x816f010c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840001 または 0x816f010c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840002 または 0x816f010c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 3 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840003 または 0x816f010c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 4 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840004 または 0x816f010c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 5 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840005 または 0x816f010c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 6 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840006 または 0x816f010c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 7 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840007 または 0x816f010c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 8 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840008 または 0x816f010c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 9 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840009 または 0x816f010c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84000a または 0x816f010c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 11 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84000b または 0x816f010c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 12 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84000c または 0x816f010c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 13 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84000d または 0x816f010c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 14 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84000e または 0x816f010c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84000f または 0x816f010c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 16 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840010 または 0x816f010c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 17 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840011 または 0x816f010c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 18 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840012 または 0x816f010c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 19 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840013 または 0x816f010c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 20 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840014 または 0x816f010c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 21 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840015 または 0x816f010c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 22 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840016 または 0x816f010c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 23 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840017 または 0x816f010c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 24 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b840018 または 0x816f010c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーからの回復が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の修正不能メモリー・エラーからのリカバリーを報告しました。

816f010c2b84ffff または 0x816f010c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0139

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-0400ffff: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 0 が有効になりました。

816f010d0400ffff または 0x816f010d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-0401ffff: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 1 が有効になりました。

816f010d0401ffff または 0x816f010d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-0402ffff: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 2 が有効になりました。

816f010d0402ffff または 0x816f010d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0403ffff** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 3 が有効になりました。
816f010d0403ffff または 0x816f010d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0404ffff** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 4 が有効になりました。
816f010d0404ffff または 0x816f010d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0405ffff**: [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 5 が有効になりました。
816f010d0405ffff または 0x816f010d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0406ffff**: [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 6 が有効になりました。
816f010d0406ffff または 0x816f010d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0407ffff**: [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 7 が有効になりました。

816f010d0407ffff または 0x816f010d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0408ffff**: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 8 が有効になりました。

816f010d0408ffff または 0x816f010d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-0409ffff**: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 9 が有効になりました。

816f010d0409ffff または 0x816f010d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-040affff : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 10 が有効になりました。
816f010d040affff または 0x816f010d040affff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-040bffff : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 11 が有効になりました。
816f010d040bffff または 0x816f010d040bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-040cffff: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 12 が有効になりました。

816f010d040cffff または 0x816f010d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-040dffff: [NumericSensorElementName] が有効になりました。

以前に無効であったドライブ 13 が有効になりました。

816f010d040dffff または 0x816f010d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-040effff : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 14 が有効になりました。
816f010d040effff または 0x816f010d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-040fffff : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
以前に無効であったドライブ 15 が有効になりました。
816f010d040fffff または 0x816f010d040fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810001** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 1 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810001 または 0x816f010d2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810002** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 2 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810002 または 0x816f010d2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b810003 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 3 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810003 または 0x816f010d2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b810004 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 4 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810004 または 0x816f010d2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810005** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 5 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810005 または 0x816f010d2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810006** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 6 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810006 または 0x816f010d2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b810007 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 7 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810007 または 0x816f010d2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b810008 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 8 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810008 または 0x816f010d2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810009** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 9 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810009 または 0x816f010d2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b81000a** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 10 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b81000a または 0x816f010d2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b81000b** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 11 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b81000b または 0x816f010d2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b81000c** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 12 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b81000c または 0x816f010d2b81000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b81000d : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 13 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b81000d または 0x816f010d2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b81000e : [NumericSensorElementName] が有効になりました。
eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 14 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b81000e または 0x816f010d2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b81000f : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 15 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b81000f または 0x816f010d2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810010** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 16 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810010 または 0x816f010d2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810011** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 17 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810011 または 0x816f010d2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810012 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 18 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810012 または 0x816f010d2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810013 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 19 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810013 または 0x816f010d2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810014 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 20 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810014 または 0x816f010d2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810015 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 21 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810015 または 0x816f010d2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810016 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 22 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810016 または 0x816f010d2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810017 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 23 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810017 または 0x816f010d2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b810018** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 24 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b810018 または 0x816f010d2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820001** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 1 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820001 または 0x816f010d2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820002 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 2 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820002 または 0x816f010d2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820003 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 3 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820003 または 0x816f010d2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820004** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 4 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820004 または 0x816f010d2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820005** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 5 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820005 または 0x816f010d2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820006 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 6 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820006 または 0x816f010d2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820007 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 7 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820007 または 0x816f010d2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820008** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 8 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820008 または 0x816f010d2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820009** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 9 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820009 または 0x816f010d2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b82000a** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 10 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b82000a または 0x816f010d2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b82000b** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 11 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b82000b または 0x816f010d2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b82000c : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 12 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b82000c または 0x816f010d2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b82000d : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 13 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b82000d または 0x816f010d2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b82000e** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 14 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b82000e または 0x816f010d2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b82000f** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 15 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b82000f または 0x816f010d2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820010** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 16 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820010 または 0x816f010d2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820011** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 17 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820011 または 0x816f010d2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b820012 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 18 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820012 または 0x816f010d2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b820013 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 19 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820013 または 0x816f010d2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820014** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 20 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820014 または 0x816f010d2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820015** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 21 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820015 または 0x816f010d2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820016** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 22 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820016 または 0x816f010d2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820017** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 23 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820017 または 0x816f010d2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b820018** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 24 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b820018 または 0x816f010d2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830001** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 1 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830001 または 0x816f010d2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b830002 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 2 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830002 または 0x816f010d2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b830003 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 3 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830003 または 0x816f010d2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830004** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 4 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830004 または 0x816f010d2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830005** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 5 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830005 または 0x816f010d2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830006 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 6 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830006 または 0x816f010d2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830007 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 7 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830007 または 0x816f010d2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830008** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 8 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830008 または 0x816f010d2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830009** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 9 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830009 または 0x816f010d2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b83000a** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 10 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b83000a または 0x816f010d2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b83000b** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 11 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b83000b または 0x816f010d2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b83000c : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 12 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b83000c または 0x816f010d2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b83000d : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 13 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b83000d または 0x816f010d2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b83000e : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 14 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b83000e または 0x816f010d2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b83000f : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 15 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b83000f または 0x816f010d2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830010** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 16 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830010 または 0x816f010d2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830011** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 17 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830011 または 0x816f010d2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830012** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 18 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830012 または 0x816f010d2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830013** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 19 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830013 または 0x816f010d2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830014** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 20 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830014 または 0x816f010d2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830015** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 21 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830015 または 0x816f010d2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830016** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 22 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830016 または 0x816f010d2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830017** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 23 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830017 または 0x816f010d2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b830018** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 24 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b830018 または 0x816f010d2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840001** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 1 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840001 または 0x816f010d2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b840002 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 2 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840002 または 0x816f010d2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b840003 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 3 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840003 または 0x816f010d2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840004 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 4 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840004 または 0x816f010d2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840005 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。**

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 5 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840005 または 0x816f010d2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b840006 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 6 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840006 または 0x816f010d2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b840007 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 7 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840007 または 0x816f010d2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840008** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 8 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840008 または 0x816f010d2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840009** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 9 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840009 または 0x816f010d2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b84000a : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 10 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b84000a または 0x816f010d2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b84000b : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 11 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b84000b または 0x816f010d2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b84000c : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 12 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b84000c または 0x816f010d2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b84000d : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 13 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b84000d または 0x816f010d2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b84000e : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 14 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b84000e または 0x816f010d2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b84000f : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 15 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b84000f または 0x816f010d2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840010** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 16 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840010 または 0x816f010d2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840011** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 17 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840011 または 0x816f010d2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840012** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 18 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840012 または 0x816f010d2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840013** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 19 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840013 または 0x816f010d2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b840014 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 20 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840014 または 0x816f010d2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f010d-2b840015 : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 21 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840015 または 0x816f010d2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840016** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 22 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840016 または 0x816f010d2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840017** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 23 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840017 または 0x816f010d2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010d-2b840018** : [NumericSensorElementName] が有効になりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 24 上の以前に報告された障害の解消が検出されました。

816f010d2b840018 または 0x816f010d2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0167

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f010f-2201ffff** : システム [ComputerSystemElementName] がファームウェア・ハングから回復しました。

IMM がシステム・ファームウェアのハングから回復しました。

816f010f2201ffff または 0x816f010f2201ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0187

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f0113-1701ffff**: バス [SensorElementName] がバス・タイムアウトから回復しました。IMM は、システムが NMI 状態のバス・タイムアウトから回復したことを検出しました。816f01131701ffff または 0x816f01131701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0225

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f011b-0701ffff**: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] の構成エラーが修復されました。IMM は、FPGA 通信エラーの相互接続構成エラーが修復されたことを検出しました。816f011b0701ffff または 0x816f011b0701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0267

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f011b-1f01ffff: コネクタ [PhysicalConnectorElementName] の構成エラーが修復されました。IMM で、ストレージ・ブック内のケーブル/コネクタの問題の解消が検出されました。816f011b1f01ffff または 0x816f011b1f01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0267

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0125-2c05ffff: [ManagedElementName] が存在していることが検出されました。IMM は、ストレージ・ブックが現在は存在していることを検出しました。816f01252c05ffff または 0x816f01252c05ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0390

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0207-0301ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 1 が FRB1/BIST 状態から回復したことを報告しました。
816f02070301ffff または 0x816f02070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0207-0302ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 2 が FRB1/BIST 状態から回復したことを報告しました。
816f02070302ffff または 0x816f02070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0207-0303ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 3 が FRB1/BIST 状態から回復したことを報告しました。
816f02070303ffff または 0x816f02070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0207-0304ffff: [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサ 4 が FRB1/BIST 状態から回復したことを報告しました。
816f02070304ffff または 0x816f02070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0207-2583ffff : [ProcessorElementName] が FRB1/BIST 状態から回復しました。
IMM は、マイクロプロセッサが FRB1/BIST 状態から回復したことを報告しました。
816f02072583ffff または 0x816f02072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0045

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0400ffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。
ドライブ 0 について予知された障害が存在しなくなりました。
816f020d0400ffff または 0x816f020d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0401ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 1 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0401ffff または 0x816f020d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0402ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 2 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0402ffff または 0x816f020d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0403ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 3 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0403ffff または 0x816f020d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0404ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 4 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0404ffff または 0x816f020d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0405ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ5について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0405ffff または 0x816f020d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0406ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ6について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0406ffff または 0x816f020d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0407ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ7について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0407ffff または 0x816f020d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0408ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ8について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0408ffff または 0x816f020d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-0409ffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 9 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d0409ffff または 0x816f020d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-040affff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 10 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d040affff または 0x816f020d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-040bffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 11 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d040bffff または 0x816f020d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-040cffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 12 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d040cffff または 0x816f020d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-040dffff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 13 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d040dffff または 0x816f020d040dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-040effff: [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 14 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d040effff または 0x816f020d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-040fffff : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

ドライブ 15 について予知された障害が存在しなくなりました。

816f020d040fffff または 0x816f020d040fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 1 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810801 または 0x816f020d2b810801 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 2 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810802 または 0x816f020d2b810802 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 3 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810803 または 0x816f020d2b810803 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 4 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810804 または 0x816f020d2b810804 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 5 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810805 または 0x816f020d2b810805 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 6 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810806 または 0x816f020d2b810806 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 7 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810807 または 0x816f020d2b810807 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 8 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810808 または 0x816f020d2b810808 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 9 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810809 または 0x816f020d2b810809 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b81080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 10 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b81080a または 0x816f020d2b81080a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b81080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 1 の eXFlash DIMM 11 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b81080b または 0x816f020d2b81080b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b81080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 12 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b81080c または 0x816f020d2b81080c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b81080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 13 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b81080d または 0x816f020d2b81080d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b81080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 14 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b81080e または 0x816f020d2b81080e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b81080f : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 15 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b81080f または 0x816f020d2b81080f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 16 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810810 または 0x816f020d2b810810 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 17 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810811 または 0x816f020d2b810811 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 18 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810812 または 0x816f020d2b810812 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 19 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810813 または 0x816f020d2b810813 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 20 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810814 または 0x816f020d2b810814 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 21 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810815 または 0x816f020d2b810815 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 22 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810816 または 0x816f020d2b810816 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810817 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 23 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810817 または 0x816f020d2b810817 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b810818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 1 の eXFlash DIMM 24 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b810818 または 0x816f020d2b810818 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 1 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820801 または 0x816f020d2b820801 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 2 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820802 または 0x816f020d2b820802 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 3 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820803 または 0x816f020d2b820803 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 4 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820804 または 0x816f020d2b820804 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 5 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820805 または 0x816f020d2b820805 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 6 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820806 または 0x816f020d2b820806 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 7 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820807 または 0x816f020d2b820807 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 8 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820808 または 0x816f020d2b820808 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 9 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820809 または 0x816f020d2b820809 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b82080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 10 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b82080a または 0x816f020d2b82080a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b82080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 2 の eXFlash DIMM 11 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b82080b または 0x816f020d2b82080b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b82080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 12 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b82080c または 0x816f020d2b82080c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b82080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 13 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b82080d または 0x816f020d2b82080d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b82080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 14 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b82080e または 0x816f020d2b82080e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b82080f : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 15 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b82080f または 0x816f020d2b82080f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 16 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820810 または 0x816f020d2b820810 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 17 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820811 または 0x816f020d2b820811 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 18 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820812 または 0x816f020d2b820812 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 19 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820813 または 0x816f020d2b820813 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 20 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820814 または 0x816f020d2b820814 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 21 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820815 または 0x816f020d2b820815 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 22 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820816 または 0x816f020d2b820816 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820817 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 23 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820817 または 0x816f020d2b820817 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b820818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 2 の eXFlash DIMM 24 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b820818 または 0x816f020d2b820818 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 1 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830801 または 0x816f020d2b830801 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 2 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830802 または 0x816f020d2b830802 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 3 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830803 または 0x816f020d2b830803 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 4 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830804 または 0x816f020d2b830804 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 5 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830805 または 0x816f020d2b830805 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 6 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830806 または 0x816f020d2b830806 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 7 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830807 または 0x816f020d2b830807 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 8 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830808 または 0x816f020d2b830808 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 9 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830809 または 0x816f020d2b830809 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b83080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 10 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b83080a または 0x816f020d2b83080a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b83080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 11 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b83080b または 0x816f020d2b83080b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b83080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 12 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b83080c または 0x816f020d2b83080c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b83080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 13 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b83080d または 0x816f020d2b83080d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b83080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 14 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b83080e または 0x816f020d2b83080e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b83080f : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 15 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b83080f または 0x816f020d2b83080f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 16 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830810 または 0x816f020d2b830810 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 17 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830811 または 0x816f020d2b830811 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 18 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830812 または 0x816f020d2b830812 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 19 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830813 または 0x816f020d2b830813 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 20 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830814 または 0x816f020d2b830814 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 21 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830815 または 0x816f020d2b830815 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 22 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830816 または 0x816f020d2b830816 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830817 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 3 の eXFlash DIMM 23 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830817 または 0x816f020d2b830817 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b830818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 3 の eXFlash DIMM 24 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b830818 または 0x816f020d2b830818 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840801 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 1 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840801 または 0x816f020d2b840801 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840802 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 2 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840802 または 0x816f020d2b840802 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840803 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 3 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840803 または 0x816f020d2b840803 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840804 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 4 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840804 または 0x816f020d2b840804 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840805 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 5 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840805 または 0x816f020d2b840805 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840806 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 6 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840806 または 0x816f020d2b840806 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840807 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 7 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840807 または 0x816f020d2b840807 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840808 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 8 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840808 または 0x816f020d2b840808 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840809 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 9 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840809 または 0x816f020d2b840809 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b84080a : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 10 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b84080a または 0x816f020d2b84080a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b84080b : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 11 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b84080b または 0x816f020d2b84080b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b84080c : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 12 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b84080c または 0x816f020d2b84080c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b84080d : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 13 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b84080d または 0x816f020d2b84080d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - 障害予知

SNMP Trap ID

27

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b84080e : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 14 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b84080e または 0x816f020d2b84080e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b84080f : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 15 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b84080f または 0x816f020d2b84080f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840810 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 16 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840810 または 0x816f020d2b840810 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840811 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュート・ブック 4 の eXFlash DIMM 17 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840811 または 0x816f020d2b840811 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840812 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 18 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840812 または 0x816f020d2b840812 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840813 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 19 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840813 または 0x816f020d2b840813 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840814 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 20 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840814 または 0x816f020d2b840814 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840815 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 21 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840815 または 0x816f020d2b840815 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840816 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 22 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840816 または 0x816f020d2b840816 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840817 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 23 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840817 または 0x816f020d2b840817 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f020d-2b840818 : [NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の予知される障害はなくなりました。

eXFlash Proxy Service で、コンピュータ・ブック 4 の eXFlash DIMM 24 について以前に報告された、予知された障害の解消が検出されました。

816f020d2b840818 または 0x816f020d2b840818 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - 障害予知

SNMP Trap ID
27

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0169

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0308-0a01ffff : [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。

IMM は、電源 1 の入力電力が復元されたことを検出しました。

816f03080a01ffff または 0x816f03080a01ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0308-0a02ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。
IMM は、電源 2 の入力電力が復元されたことを検出しました。
816f03080a02ffff または 0x816f03080a02ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0308-0a03ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。
IMM は、電源 3 の入力電力が復元されたことを検出しました。
816f03080a03ffff または 0x816f03080a03ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0308-0a04ffff: [PowerSupplyElementName] が正常入力状態に戻りました。
IMM は、電源 4 の入力電力が復元されたことを検出しました。

816f03080a04ffff または 0x816f03080a04ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0099

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b810001** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810001 または 0x816f030c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b810002** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810002 または 0x816f030c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810003 または 0x816f030c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810004 または 0x816f030c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810005 または 0x816f030c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 6 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810006 または 0x816f030c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810007 または 0x816f030c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810008 または 0x816f030c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 9 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810009 または 0x816f030c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 10 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b81000a または 0x816f030c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b81000b または 0x816f030c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b81000c または 0x816f030c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b81000d** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b81000d または 0x816f030c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b81000e** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b81000e または 0x816f030c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b81000f または 0x816f030c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810010 または 0x816f030c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810011 または 0x816f030c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810012 または 0x816f030c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810013 または 0x816f030c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810014 または 0x816f030c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 21 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810015 または 0x816f030c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b810016 または 0x816f030c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 23 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810017 または 0x816f030c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 24 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b810018 または 0x816f030c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラ
ブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 1 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b81ffff または 0x816f030c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスク
ラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820001 または 0x816f030c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820002 または 0x816f030c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820003 または 0x816f030c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820004 または 0x816f030c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820005 または 0x816f030c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b820006** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b820006 または 0x816f030c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b820007** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b820007 または 0x816f030c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b820008** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b820008 または 0x816f030c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b820009** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b820009 または 0x816f030c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b82000a** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b82000a または 0x816f030c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b82000b** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b82000b または 0x816f030c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b82000c: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b82000c または 0x816f030c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b82000d または 0x816f030c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b82000e または 0x816f030c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b82000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b82000f または 0x816f030c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820010 または 0x816f030c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820011 または 0x816f030c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820012 または 0x816f030c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820013 または 0x816f030c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 20 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820014 または 0x816f030c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820015 または 0x816f030c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820016 または 0x816f030c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b820017 または 0x816f030c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b820018**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b820018 または 0x816f030c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030c-2b82ffff**: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 2 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b82ffff または 0x816f030c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830001 または 0x816f030c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830002 または 0x816f030c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830003 または 0x816f030c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830004 または 0x816f030c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830005 または 0x816f030c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830006 または 0x816f030c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830007: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830007 または 0x816f030c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830008: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830008 または 0x816f030c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830009 または 0x816f030c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b83000a または 0x816f030c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b83000b または 0x816f030c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b83000c または 0x816f030c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b83000d または 0x816f030c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 14 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b83000e または 0x816f030c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 15 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b83000f または 0x816f030c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830010 または 0x816f030c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830011 または 0x816f030c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 18 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830012 または 0x816f030c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 19 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830013 または 0x816f030c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b830014 または 0x816f030c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830015 または 0x816f030c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830016 または 0x816f030c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830017: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830017 または 0x816f030c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b830018: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b830018 または 0x816f030c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 3 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b83ffff または 0x816f030c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840001 または 0x816f030c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840002 または 0x816f030c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840003 または 0x816f030c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840004 または 0x816f030c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840005 または 0x816f030c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840006 または 0x816f030c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840007 または 0x816f030c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840008 または 0x816f030c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840009 または 0x816f030c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 10 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84000a または 0x816f030c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84000b または 0x816f030c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84000c または 0x816f030c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84000d または 0x816f030c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84000e または 0x816f030c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84000f または 0x816f030c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840010 または 0x816f030c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840011 または 0x816f030c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b840012 または 0x816f030c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。
816f030c2b840013 または 0x816f030c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840014 または 0x816f030c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840015 または 0x816f030c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840016 または 0x816f030c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラブ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840017 または 0x816f030c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b840018 または 0x816f030c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030c-2b84ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスクラップ障害から回復しました。

コンピュータ・ブック 4 でのブート中に検出されたメモリー POST 障害から回復しました。

816f030c2b84ffff または 0x816f030c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0137

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0400ffff : [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。

ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0400ffff または 0x816f030d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030d-0401ffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0401ffff または 0x816f030d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030d-0402ffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0402ffff または 0x816f030d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0403ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。
816f030d0403ffff または 0x816f030d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0404ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。
816f030d0404ffff または 0x816f030d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0405ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0405ffff または 0x816f030d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0406ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0406ffff または 0x816f030d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0407ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0407ffff または 0x816f030d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0408ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0408ffff または 0x816f030d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-0409ffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d0409ffff または 0x816f030d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-040affff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d040affff または 0x816f030d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-040bffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。
816f030d040bffff または 0x816f030d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-040cffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。
816f030d040cffff または 0x816f030d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030d-040dffff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d040dffff または 0x816f030d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f030d-040effff**: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。ホット・スペア・ドライブは使用可能です。

816f030d040effff または 0x816f030d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f030d-040fffff: [ComputerSystemElementName] でホット・スペアが無効になりました。
ホット・スペア・ドライブは使用可能です。
816f030d040fffff または 0x816f030d040fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
システム - その他
SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0171

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0313-1701ffff: システム [ComputerSystemElementName] が NMI から回復しました。
IMM は、ソフトウェア NMI から回復したことを検出しました。
816f03131701ffff または 0x816f03131701ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知
保守可能
いいえ
自動的にサポートに通知
いいえ
アラート・カテゴリ
クリティカル - その他
SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0230

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f032b-2101ffff: システム [ComputerSystemElementName] のファームウェアまたはソフトウェアは互換性があります。
スケール構成はファームウェアおよびソフトウェアに互換性があることを報告しました。

816f032b2101ffff または 0x816f032b2101ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - ハードウェアの非互換性

SNMP Trap ID

36

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0443

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、メモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2581ffff または 0x816f040c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810001 または 0x816f040c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810002 または 0x816f040c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810003 または 0x816f040c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810004 または 0x816f040c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810005 または 0x816f040c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 6 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810006 または 0x816f040c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810007 または 0x816f040c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810008 または 0x816f040c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810009 または 0x816f040c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 10 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81000a または 0x816f040c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 11 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81000b または 0x816f040c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81000c または 0x816f040c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81000d または 0x816f040c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81000e または 0x816f040c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81000f または 0x816f040c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810010 または 0x816f040c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810011 または 0x816f040c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810012 または 0x816f040c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b810013 または 0x816f040c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b810014 または 0x816f040c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810015 または 0x816f040c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 22 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810016 または 0x816f040c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 23 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810017 または 0x816f040c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 24 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b810018 または 0x816f040c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b81ffff または 0x816f040c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820001: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 1 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820001 または 0x816f040c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820002 または 0x816f040c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820003 または 0x816f040c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820004 または 0x816f040c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820005 または 0x816f040c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b820006 または 0x816f040c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b820007 または 0x816f040c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b820008 または 0x816f040c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820009 または 0x816f040c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82000a または 0x816f040c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82000b または 0x816f040c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82000c または 0x816f040c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82000d または 0x816f040c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82000e または 0x816f040c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82000f または 0x816f040c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820010: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820010 または 0x816f040c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 17 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820011 または 0x816f040c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 18 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820012 または 0x816f040c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820013 または 0x816f040c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 20 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820014 または 0x816f040c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820015 または 0x816f040c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820016 または 0x816f040c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820017 または 0x816f040c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 24 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b820018 または 0x816f040c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b82ffff : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b82ffff または 0x816f040c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830001 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b830001 または 0x816f040c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b830002 または 0x816f040c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830003 または 0x816f040c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830004 または 0x816f040c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830005 または 0x816f040c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830006 または 0x816f040c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830007 または 0x816f040c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830008 または 0x816f040c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830009 または 0x816f040c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b83000a または 0x816f040c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b83000b または 0x816f040c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b83000c または 0x816f040c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 13 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b83000d または 0x816f040c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b83000e または 0x816f040c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b83000f または 0x816f040c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830010 または 0x816f040c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830011 または 0x816f040c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830012 または 0x816f040c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830013 または 0x816f040c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830014 または 0x816f040c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830015 または 0x816f040c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 22 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830016 または 0x816f040c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 23 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830017 または 0x816f040c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b830018 または 0x816f040c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b83ffff : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b83ffff または 0x816f040c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840001 または 0x816f040c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840002 または 0x816f040c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840003 または 0x816f040c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840004 または 0x816f040c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 のメモリーが有効になったことを報告しました。
816f040c2b840005 または 0x816f040c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840006 または 0x816f040c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840007 または 0x816f040c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840008 または 0x816f040c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840009 または 0x816f040c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84000a または 0x816f040c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 11 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84000b または 0x816f040c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84000c または 0x816f040c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84000d または 0x816f040c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 14 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84000e または 0x816f040c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84000f : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 15 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84000f または 0x816f040c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840010 または 0x816f040c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840011 または 0x816f040c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840012 または 0x816f040c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840013 または 0x816f040c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840014 または 0x816f040c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840015 または 0x816f040c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840016 または 0x816f040c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840017 または 0x816f040c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b840018 または 0x816f040c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f040c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] で [PhysicalMemoryElementName] が有効になりました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 のメモリーが有効になったことを報告しました。

816f040c2b84ffff または 0x816f040c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0130

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0507-0301ffff: [ProcessorElementName] が構成不一致から回復しました。

マイクロプロセッサ 1 はマイクロプロセッサ構成のミスマッチから回復しました。

816f05070301ffff または 0x816f05070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0507-0302ffff : [ProcessorElementName] が構成不一致から回復しました。
マイクロプロセッサ 2 はマイクロプロセッサ構成のミスマッチから回復しました。
816f05070302ffff または 0x816f05070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0507-0303ffff : [ProcessorElementName] が構成不一致から回復しました。
マイクロプロセッサ 3 はマイクロプロセッサ構成のミスマッチから回復しました。
816f05070303ffff または 0x816f05070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0507-0304ffff : [ProcessorElementName] が構成不一致から回復しました。
マイクロプロセッサ 4 はマイクロプロセッサ構成のミスマッチから回復しました。
816f05070304ffff または 0x816f05070304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0507-2583ffff : [ProcessorElementName] が構成不一致から回復しました。
1 つ以上のマイクロプロセッサがマイクロプロセッサ構成のミスマッチから回復しました。
816f05072583ffff または 0x816f05072583ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0063

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、メモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2581ffff または 0x816f050c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810001 または 0x816f050c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810002 または 0x816f050c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810003 または 0x816f050c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 4 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810004 または 0x816f050c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 5 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810005 または 0x816f050c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810006 または 0x816f050c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 7 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810007 または 0x816f050c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810008 または 0x816f050c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810009 または 0x816f050c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 10 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81000a または 0x816f050c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81000b または 0x816f050c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 12 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81000c または 0x816f050c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81000d または 0x816f050c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81000e または 0x816f050c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81000f または 0x816f050c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810010 または 0x816f050c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810011 または 0x816f050c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810012 または 0x816f050c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810013 または 0x816f050c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810014 または 0x816f050c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810015 または 0x816f050c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 22 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810016 または 0x816f050c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 23 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810017 または 0x816f050c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b810018 または 0x816f050c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b81ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b81ffff または 0x816f050c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820001 または 0x816f050c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820002 または 0x816f050c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 3 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820003 または 0x816f050c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 4 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820004 または 0x816f050c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820005 または 0x816f050c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820006 または 0x816f050c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 7 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820007 または 0x816f050c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 8 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820008 または 0x816f050c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820009 または 0x816f050c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82000a または 0x816f050c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 11 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82000b または 0x816f050c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 12 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82000c または 0x816f050c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82000d または 0x816f050c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82000e または 0x816f050c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 15 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82000f または 0x816f050c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 16 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820010 または 0x816f050c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820011 または 0x816f050c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820012 または 0x816f050c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 19 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820013 または 0x816f050c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 20 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820014 または 0x816f050c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820015 または 0x816f050c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820016 または 0x816f050c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 23 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820017 または 0x816f050c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 の DIMM 24 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b820018 または 0x816f050c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b82ffff または 0x816f050c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830001 または 0x816f050c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830002 または 0x816f050c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830003 または 0x816f050c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830004 または 0x816f050c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830005 または 0x816f050c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830006 または 0x816f050c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830007 または 0x816f050c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830008 または 0x816f050c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830009 または 0x816f050c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 10 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83000a または 0x816f050c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 11 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83000b または 0x816f050c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83000c または 0x816f050c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83000d または 0x816f050c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 14 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83000e または 0x816f050c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 15 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83000f または 0x816f050c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830010 または 0x816f050c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830011 または 0x816f050c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 18 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830012 または 0x816f050c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 19 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830013 または 0x816f050c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830014 または 0x816f050c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830015 または 0x816f050c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 22 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830016 または 0x816f050c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 23 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830017 または 0x816f050c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b830018 または 0x816f050c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b83ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b83ffff または 0x816f050c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 1 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840001 または 0x816f050c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 2 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840002 または 0x816f050c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840003 または 0x816f050c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840004 または 0x816f050c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 5 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840005 または 0x816f050c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 6 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840006 または 0x816f050c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840007 または 0x816f050c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840008 または 0x816f050c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 9 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840009 または 0x816f050c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 10 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b84000a または 0x816f050c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b84000b または 0x816f050c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b84000c または 0x816f050c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 13 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b84000d または 0x816f050c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 14 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b84000e または 0x816f050c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b84000f または 0x816f050c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840010 または 0x816f050c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 17 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840011 または 0x816f050c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 18 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840012 または 0x816f050c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840013 または 0x816f050c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840014 または 0x816f050c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 21 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840015 または 0x816f050c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュート・ブック 4 の DIMM 22 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840016 または 0x816f050c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840017 または 0x816f050c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID

43

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。

816f050c2b840018 または 0x816f050c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリーのロギング限度が取り除かれました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 のメモリーのロギング限度が削除されたことを報告しました。
816f050c2b84ffff または 0x816f050c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
警告 - メモリー

SNMP Trap ID
43

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0145

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0400ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。
RAID アレイのドライブ 0 がクリティカルな状態ではなくなりました。
816f050d0400ffff または 0x816f050d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0401ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID アレイのドライブ 1 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0401ffff または 0x816f050d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0402ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID アレイのドライブ 2 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0402ffff または 0x816f050d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0403ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID アレイのドライブ 3 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0403ffff または 0x816f050d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0404ffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID アレイのドライブ 4 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0404ffff または 0x816f050d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0405ffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 5 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0405ffff または 0x816f050d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0406ffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 6 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0406ffff または 0x816f050d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0407ffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ7がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0407ffff または 0x816f050d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0408ffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ8がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0408ffff または 0x816f050d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-0409ffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 9 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d0409ffff または 0x816f050d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-040affff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 10 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d040affff または 0x816f050d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-040bffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 11 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d040bffff または 0x816f050d040bffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-040cffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 12 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d040cffff または 0x816f050d040cffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-040dffff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 13 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d040dffff または 0x816f050d040dffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-040effff: クリティカルな状態の阵列 [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID 阵列のドライブ 14 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d040effff または 0x816f050d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f050d-040fffff: クリティカルな状態のアレイ [ComputerSystemElementName] の状態の解消を検出しました。

RAID アレイのドライブ 15 がクリティカルな状態ではなくなりました。

816f050d040fffff または 0x816f050d040fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0175

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0607-0301ffff: CPU 1 で SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。

マイクロプロセッサ 1 について、SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。

816f06070301ffff または 0x816f06070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0607-0302ffff: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。

マイクロプロセッサ 2 について、SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。
816f06070302ffff または 0x816f06070302ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0607-0303ffff : [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。
マイクロプロセッサ 3 について、SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。
816f06070303ffff または 0x816f06070303ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - CPU

SNMP Trap ID
40

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0607-0304ffff : [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。
マイクロプロセッサ 4 について、SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。

816f06070304ffff または 0x816f06070304ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f0607-2583ffff**: [ProcessorElementName] の SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。

SM BIOS 修正不能 CPU 複合エラーの解消が検出されました。

816f06072583ffff または 0x816f06072583ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - CPU

SNMP Trap ID

40

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0817

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f0608-1381ffff**: [PowerSupplyElementName] の構成は正常です。

IMM は、電源構成が正常であることを検出しました。

816f06081381ffff または 0x816f06081381ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 電源

SNMP Trap ID
4

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0105

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 0) が復元されたことを検出しました。816f060d0400ffff または 0x816f060d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 1) が復元されたことを検出しました。816f060d0401ffff または 0x816f060d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f060d-0402ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 2) が復元されたことを検出しました。816f060d0402ffff または 0x816f060d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f060d-0403ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 3) が復元されたことを検出しました。816f060d0403ffff または 0x816f060d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 4) が復元されたことを検出しました。816f060d0404ffff または 0x816f060d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 5) が復元されたことを検出しました。816f060d0405ffff または 0x816f060d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f060d-0406ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 6) が復元されたことを検出しました。
816f060d0406ffff または 0x816f060d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f060d-0407ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 7) が復元されたことを検出しました。
816f060d0407ffff または 0x816f060d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f060d-0408ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 8) が復元されたことを検出しました。
816f060d0408ffff または 0x816f060d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f060d-0409ffff**: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 9) が復元されたことを検出しました。
816f060d0409ffff または 0x816f060d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-040affff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 10) が復元されたことを検出しました。
816f060d040affff または 0x816f060d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-040bffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 11) が復元されたことを検出しました。
816f060d040bffff または 0x816f060d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-040cffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 12) が復元されたことを検出しました。

816f060d040cffff または 0x816f060d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-040dffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 13) が復元されたことを検出しました。816f060d040dffff または 0x816f060d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID

5

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-040effff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 14) が復元されたことを検出しました。816f060d040effff または 0x816f060d040effff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f060d-040fffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイが復元されました。IMM が、障害が発生したアレイ (ドライブ 15) が復元されたことを検出しました。816f060d040fffff または 0x816f060d040fffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル-ハードディスク・ドライブ

SNMP Trap ID
5

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0177

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0707-0301ffff: スロット [SlotElementName] の [ProcessorElementName] が取り外されました。IMM は、マイクロプロセッサ 1 が取り外されたことを検出しました。816f07070301ffff または 0x816f07070301ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0035

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2581ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、メモリー DIMM 構成エラーの解消が検出されたことを報告しました。

816f070c2581ffff または 0x816f070c2581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810001 または 0x816f070c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f070c-2b810002** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810002 または 0x816f070c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f070c-2b810003** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810003 または 0x816f070c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810004 または 0x816f070c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810005 または 0x816f070c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 6 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b810006 または 0x816f070c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 7 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b810007 または 0x816f070c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 8 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810008 または 0x816f070c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 9 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810009 または 0x816f070c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 10 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b81000a または 0x816f070c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b81000b または 0x816f070c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 12 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b81000c または 0x816f070c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 13 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b81000d または 0x816f070c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 14 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b81000e または 0x816f070c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 15 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b81000f または 0x816f070c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 16 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810010 または 0x816f070c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 17 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810011 または 0x816f070c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 18 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810012 または 0x816f070c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 19 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810013 または 0x816f070c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 20 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810014 または 0x816f070c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 21 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810015 または 0x816f070c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b810016 または 0x816f070c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 1 の DIMM 23 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b810017 または 0x816f070c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 の DIMM 24 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b810018 または 0x816f070c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b81ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 1 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b81ffff または 0x816f070c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820001 または 0x816f070c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820002 または 0x816f070c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820003 または 0x816f070c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820004 または 0x816f070c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820005 または 0x816f070c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820006 または 0x816f070c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820007 または 0x816f070c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820008 または 0x816f070c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820009 または 0x816f070c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b82000a または 0x816f070c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b82000b または 0x816f070c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b82000c または 0x816f070c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b82000d または 0x816f070c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b82000e または 0x816f070c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b82000f または 0x816f070c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820010 または 0x816f070c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820011 または 0x816f070c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820012 または 0x816f070c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820013 または 0x816f070c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 20 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820014 または 0x816f070c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820015 または 0x816f070c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b820016 または 0x816f070c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820017 または 0x816f070c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b820018 または 0x816f070c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 2 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b82ffff または 0x816f070c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュート・ブック 3 の DIMM 1 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830001 または 0x816f070c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830002 または 0x816f070c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830003 または 0x816f070c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830004 または 0x816f070c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830005 または 0x816f070c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830006 または 0x816f070c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830007 または 0x816f070c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830008 または 0x816f070c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830009 または 0x816f070c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b83000a または 0x816f070c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b83000b または 0x816f070c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b83000c または 0x816f070c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b83000d または 0x816f070c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 14 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b83000e または 0x816f070c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 15 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b83000f または 0x816f070c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830010 または 0x816f070c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830011 または 0x816f070c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 18 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830012 または 0x816f070c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 19 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830013 または 0x816f070c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830014 または 0x816f070c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830015 または 0x816f070c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID

41

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830016 または 0x816f070c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b830017 または 0x816f070c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b830018 または 0x816f070c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b83ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 3 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b83ffff または 0x816f070c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840001 または 0x816f070c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840002 または 0x816f070c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840003 または 0x816f070c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840004 または 0x816f070c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840005 または 0x816f070c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840006 または 0x816f070c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b840007 または 0x816f070c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b840008 または 0x816f070c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840009 または 0x816f070c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 10 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b84000a または 0x816f070c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b84000b または 0x816f070c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b84000c または 0x816f070c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b84000d または 0x816f070c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b84000e または 0x816f070c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b84000f または 0x816f070c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840010 または 0x816f070c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840011 または 0x816f070c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840012 または 0x816f070c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b840013 または 0x816f070c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b840014 または 0x816f070c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840015 または 0x816f070c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b840016 または 0x816f070c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840017: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b840017 または 0x816f070c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b840018: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。
IMM は、コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。
816f070c2b840018 または 0x816f070c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で構成エラーの解消が検出されました。

IMM は、コンピュータ・ブック 4 でメモリー構成エラーから回復したことを報告しました。

816f070c2b84ffff または 0x816f070c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - メモリー

SNMP Trap ID
41

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0127

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0400ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。

IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 0) が完了したことを検出しました。

816f070d0400ffff または 0x816f070d0400ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0401ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。

IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 1) が完了したことを検出しました。

816f070d0401ffff または 0x816f070d0401ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0402ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 2) が完了したことを検出しました。

816f070d0402ffff または 0x816f070d0402ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0403ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 3) が完了したことを検出しました。

816f070d0403ffff または 0x816f070d0403ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0404ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 4) が完了したことを検出しました。

816f070d0404ffff または 0x816f070d0404ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0405ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 5) が完了したことを検出しました。

816f070d0405ffff または 0x816f070d0405ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0406ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 6) が完了したことを検出しました。816f070d0406ffff または 0x816f070d0406ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0407ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 7) が完了したことを検出しました。816f070d0407ffff または 0x816f070d0407ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0408ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 8) が完了したことを検出しました。
816f070d0408ffff または 0x816f070d0408ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-0409ffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 9) が完了したことを検出しました。
816f070d0409ffff または 0x816f070d0409ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-040affff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 10) が完了したことを検出しました。
816f070d040affff または 0x816f070d040affff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-040bffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 11) が完了したことを検出しました。
816f070d040bffff または 0x816f070d040bffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-040cffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 12) が完了したことを検出しました。
816f070d040cffff または 0x816f070d040cffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-040dffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 13) が完了したことを検出しました。
816f070d040dffff または 0x816f070d040dffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-040effff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 14) が完了したことを検出しました。
816f070d040effff または 0x816f070d040effff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f070d-040fffff: システム [ComputerSystemElementName] のアレイで再構築が完了しました。IMM は、アレイの再構築 (ドライブ 15) が完了したことを検出しました。
816f070d040fffff または 0x816f070d040fffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0179

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0807-0301ffff: [ProcessorElementName] が有効になりました。
IMM は、マイクロプロセッサ 1 が有効になったことを報告しました。

816f08070301ffff または 0x816f08070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0807-0302ffff: [ProcessorElementName] が有効になりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 2 が有効になったことを報告しました。

816f08070302ffff または 0x816f08070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0807-0303ffff: [ProcessorElementName] が有効になりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 3 が有効になったことを報告しました。

816f08070303ffff または 0x816f08070303ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0807-0304ffff : [ProcessorElementName] が有効になりました。
IMM は、マイクロプロセッサ 4 が有効になったことを報告しました。
816f08070304ffff または 0x816f08070304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0807-2583ffff : [ProcessorElementName] が有効になりました。
IMM は、1 つ以上のマイクロプロセッサが有効になったことを報告しました。
816f08072583ffff または 0x816f08072583ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0060

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0813-2581ffff: バス [SensorElementName] が修正不能なバス・エラーから回復しました。IMM は、システムがバスの修正不能なエラーから回復したことを検出しました。816f08132581ffff または 0x816f08132581ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

クリティカル - その他

SNMP Trap ID

50

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0813-2582ffff: バス [SensorElementName] が修正不能なバス・エラーから回復しました。IMM は、システムがバスの修正不能なエラーから回復したことを検出しました。816f08132582ffff または 0x816f08132582ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0813-2583ffff: バス [SensorElementName] が修正不能なバス・エラーから回復しました。IMM は、システムがバスの修正不能なエラーから回復したことを報告しました。816f08132583ffff または 0x816f08132583ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0241

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 上の DIMM スロットルがオフにされました。816f090c2b810001 または 0x816f090c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810002 または 0x816f090c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810003 または 0x816f090c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810004 または 0x816f090c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810005 または 0x816f090c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 6 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b810006 または 0x816f090c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b810007 または 0x816f090c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b810008 または 0x816f090c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f090c-2b810009** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 9 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810009 または 0x816f090c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f090c-2b81000a** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 10 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81000a または 0x816f090c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81000b または 0x816f090c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81000c または 0x816f090c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81000d または 0x816f090c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81000e または 0x816f090c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b81000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81000f または 0x816f090c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810010 または 0x816f090c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810011 または 0x816f090c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810012 または 0x816f090c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b810013 または 0x816f090c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b810014 または 0x816f090c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 21 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810015 または 0x816f090c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810016 または 0x816f090c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 23 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810017 または 0x816f090c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b810018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 24 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b810018 または 0x816f090c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b81ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b81ffff または 0x816f090c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820001 または 0x816f090c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820002 または 0x816f090c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b820003 または 0x816f090c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b820004 または 0x816f090c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820005 または 0x816f090c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820006 または 0x816f090c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820007 または 0x816f090c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820008 または 0x816f090c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b820009 または 0x816f090c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b82000a または 0x816f090c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b82000b または 0x816f090c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b82000c または 0x816f090c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82000d: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b82000d または 0x816f090c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82000e: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b82000e または 0x816f090c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b82000f または 0x816f090c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820010 または 0x816f090c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820011 または 0x816f090c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b820012 または 0x816f090c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b820013 または 0x816f090c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 20 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820014 または 0x816f090c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820015 または 0x816f090c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820016 または 0x816f090c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820017 または 0x816f090c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b820018 または 0x816f090c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b82ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b82ffff または 0x816f090c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830001 または 0x816f090c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830002 または 0x816f090c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b830003 または 0x816f090c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b830004 または 0x816f090c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b830005 または 0x816f090c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830006 または 0x816f090c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830007 または 0x816f090c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830008 または 0x816f090c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830009 または 0x816f090c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b83000a または 0x816f090c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b83000b または 0x816f090c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b83000c または 0x816f090c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b83000d または 0x816f090c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 14 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b83000e または 0x816f090c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 15 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b83000f または 0x816f090c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b830010 または 0x816f090c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b830011 または 0x816f090c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 18 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830012 または 0x816f090c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 19 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830013 または 0x816f090c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830014 または 0x816f090c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830015 または 0x816f090c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830016 または 0x816f090c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f090c-2b830017** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830017 または 0x816f090c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- **816f090c-2b830018** : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b830018 または 0x816f090c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b83ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 3 の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b83ffff または 0x816f090c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b840001 または 0x816f090c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840002 または 0x816f090c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840003 または 0x816f090c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840004 または 0x816f090c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840005 または 0x816f090c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840006 または 0x816f090c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840007 または 0x816f090c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840008 または 0x816f090c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840009 または 0x816f090c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 10 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b84000a または 0x816f090c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b84000b または 0x816f090c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b84000c または 0x816f090c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b84000d または 0x816f090c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b84000e または 0x816f090c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b84000f または 0x816f090c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b840010 または 0x816f090c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840011 または 0x816f090c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840012 または 0x816f090c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840013 または 0x816f090c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840014 または 0x816f090c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840015 または 0x816f090c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 上の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b840016 または 0x816f090c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリー

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b840017 または 0x816f090c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。
コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 上の DIMM スロットルがオフにされました。
816f090c2b840018 または 0x816f090c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f090c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でスロットルが発生しなくなりました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM スロットルがオフにされました。

816f090c2b84ffff または 0x816f090c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

システム - その他

SNMP Trap ID

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0143

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a07-0301ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 1 が機能低下状態で稼働しなくなったことを検出しました。

816f0a070301ffff または 0x816f0a070301ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a07-0302ffff: プロセッサー [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。

IMM は、マイクロプロセッサー 2 が機能低下状態で稼働しなくなったことを検出しました。

816f0a070302ffff または 0x816f0a070302ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a07-0303ffff: プロセッサー [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。

IMM は、マイクロプロセッサー 3 が機能低下状態で稼働しなくなったことを検出しました。

816f0a070303ffff または 0x816f0a070303ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - CPU

SNMP Trap ID

42

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a07-0304ffff: プロセッサ [ProcessorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。

IMM は、マイクロプロセッサ 4 が機能低下状態で稼働しなくなったことを検出しました。

816f0a070304ffff または 0x816f0a070304ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
警告 - CPU

SNMP Trap ID
42

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0039

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 1 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810001 または 0x816f0a0c2b810001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 2 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810002 または 0x816f0a0c2b810002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 3 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810003 または 0x816f0a0c2b810003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 4 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810004 または 0x816f0a0c2b810004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 5 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810005 または 0x816f0a0c2b810005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 6 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810006 または 0x816f0a0c2b810006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 7 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810007 または 0x816f0a0c2b810007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 8 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810008 または 0x816f0a0c2b810008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 9 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810009 または 0x816f0a0c2b810009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 10 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81000a または 0x816f0a0c2b81000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 11 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81000b または 0x816f0a0c2b81000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 12 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81000c または 0x816f0a0c2b81000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 13 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81000d または 0x816f0a0c2b81000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 14 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81000e または 0x816f0a0c2b81000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 15 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81000f または 0x816f0a0c2b81000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 16 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810010 または 0x816f0a0c2b810010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 17 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810011 または 0x816f0a0c2b810011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 18 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810012 または 0x816f0a0c2b810012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 19 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810013 または 0x816f0a0c2b810013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 20 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810014 または 0x816f0a0c2b810014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 21 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810015 または 0x816f0a0c2b810015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 22 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810016 または 0x816f0a0c2b810016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 23 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810017 または 0x816f0a0c2b810017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b810018: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 の DIMM 24 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b810018 または 0x816f0a0c2b810018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b81ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 1 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b81ffff または 0x816f0a0c2b81ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 1 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820001 または 0x816f0a0c2b820001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 2 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820002 または 0x816f0a0c2b820002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 3 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820003 または 0x816f0a0c2b820003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 4 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820004 または 0x816f0a0c2b820004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 5 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820005 または 0x816f0a0c2b820005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 6 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820006 または 0x816f0a0c2b820006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 7 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820007 または 0x816f0a0c2b820007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 8 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820008 または 0x816f0a0c2b820008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 9 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820009 または 0x816f0a0c2b820009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 10 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82000a または 0x816f0a0c2b82000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 11 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82000b または 0x816f0a0c2b82000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 12 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82000c または 0x816f0a0c2b82000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 13 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82000d または 0x816f0a0c2b82000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 14 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82000e または 0x816f0a0c2b82000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 15 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82000f または 0x816f0a0c2b82000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 16 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820010 または 0x816f0a0c2b820010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 17 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820011 または 0x816f0a0c2b820011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 18 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820012 または 0x816f0a0c2b820012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 19 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820013 または 0x816f0a0c2b820013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 20 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820014 または 0x816f0a0c2b820014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 21 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820015 または 0x816f0a0c2b820015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 22 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820016 または 0x816f0a0c2b820016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 23 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820017 または 0x816f0a0c2b820017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b820018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 の DIMM 24 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b820018 または 0x816f0a0c2b820018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b82ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 2 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b82ffff または 0x816f0a0c2b82ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830001: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 1 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830001 または 0x816f0a0c2b830001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 2 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830002 または 0x816f0a0c2b830002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 3 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830003 または 0x816f0a0c2b830003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 4 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830004 または 0x816f0a0c2b830004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 5 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830005 または 0x816f0a0c2b830005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 6 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830006 または 0x816f0a0c2b830006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 7 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830007 または 0x816f0a0c2b830007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 8 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830008 または 0x816f0a0c2b830008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 9 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830009 または 0x816f0a0c2b830009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 10 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83000a または 0x816f0a0c2b83000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 11 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83000b または 0x816f0a0c2b83000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 12 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83000c または 0x816f0a0c2b83000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 13 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83000d または 0x816f0a0c2b83000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 14 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83000e または 0x816f0a0c2b83000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83000f : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 15 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83000f または 0x816f0a0c2b83000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830010 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 16 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830010 または 0x816f0a0c2b830010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 17 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830011 または 0x816f0a0c2b830011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 18 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830012 または 0x816f0a0c2b830012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 19 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830013 または 0x816f0a0c2b830013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 20 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830014 または 0x816f0a0c2b830014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 21 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830015 または 0x816f0a0c2b830015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 22 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830016 または 0x816f0a0c2b830016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 23 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830017 または 0x816f0a0c2b830017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b830018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 の DIMM 24 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b830018 または 0x816f0a0c2b830018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b83ffff : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 3 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b83ffff または 0x816f0a0c2b83ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840001 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 1 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840001 または 0x816f0a0c2b840001 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840002 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 2 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840002 または 0x816f0a0c2b840002 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840003 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 3 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840003 または 0x816f0a0c2b840003 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840004 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 4 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840004 または 0x816f0a0c2b840004 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840005 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 5 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840005 または 0x816f0a0c2b840005 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840006 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 6 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840006 または 0x816f0a0c2b840006 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840007 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 7 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840007 または 0x816f0a0c2b840007 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840008 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 8 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840008 または 0x816f0a0c2b840008 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840009 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 9 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840009 または 0x816f0a0c2b840009 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84000a : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 10 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84000a または 0x816f0a0c2b84000a として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84000b : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 11 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84000b または 0x816f0a0c2b84000b として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84000c : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 12 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84000c または 0x816f0a0c2b84000c として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84000d : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 13 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84000d または 0x816f0a0c2b84000d として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84000e : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 14 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84000e または 0x816f0a0c2b84000e として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84000f: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 15 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84000f または 0x816f0a0c2b84000f として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840010: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 16 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840010 または 0x816f0a0c2b840010 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840011 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 17 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840011 または 0x816f0a0c2b840011 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840012 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 18 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840012 または 0x816f0a0c2b840012 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840013 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 19 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840013 または 0x816f0a0c2b840013 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840014 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 20 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840014 または 0x816f0a0c2b840014 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840015 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 21 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840015 または 0x816f0a0c2b840015 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840016 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 22 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840016 または 0x816f0a0c2b840016 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリー
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840017 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 23 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840017 または 0x816f0a0c2b840017 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b840018 : サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 の DIMM 24 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b840018 または 0x816f0a0c2b840018 として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a0c-2b84ffff: サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で温度過熱状態が解消されました。

コンピュータ・ブック 4 でメモリー温度過熱状態の解消が検出されました。

816f0a0c2b84ffff または 0x816f0a0c2b84ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - 温度

SNMP Trap ID
0

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0147

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0a13-2401ffff: バス [SensorElementName] が致命的バス・エラーから回復しました。

IMM は、システムが致命的な SMBus エラーから回復したことを報告しました。

816f0a132401ffff または 0x816f0a132401ffff として表示される場合もあります。

重大度
通知

保守可能
いいえ

自動的にサポートに通知
いいえ

アラート・カテゴリ
クリティカル - その他

SNMP Trap ID
50

CIM 情報
Prefix: PLAT ID: 0245

ユーザー応答
通知メッセージ。操作は不要です。

- 816f0b13-0701ffff: バス [SensorElementName] は機能低下状態での動作ではなくなりました。

IMM は、DMI バスが機能低下状態でなくなったことを検出しました。

816f0b130701ffff または 0x816f0b130701ffff として表示される場合もあります。

重大度

通知

保守可能

いいえ

自動的にサポートに通知

いいえ

アラート・カテゴリ

警告 - その他

SNMP Trap ID

60

CIM 情報

Prefix: PLAT ID: 0247

ユーザー応答

通知メッセージ。操作は不要です。

自動的にサポートに通知する IMM イベント

特定タイプのエラーが検出された場合に自動的にサポートに通知する (コール・ホームとも呼ばれる) ように、Integrated Management Module II (IMM2) を構成することができます。この機能を構成してある場合、自動的にサポートに通知されるイベントのリストについては、表を参照してください。

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
40000086-00000000	ユーザー [arg1] によって、テスト用のコール・ホームが生成されました。	はい
40000087-00000000	ユーザー [arg1] による手動コール・ホーム : [arg2]。	はい
80010202-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。	はい
80010202-2801ffff	数値センサー SysBrd VBAT がクリティカルな状態の下限を下回ったことが検出されました。	はい
80010902-0701ffff	数値センサー [NumericSensorElementName] がクリティカルな状態の上限を上回ったことが検出されました。	はい
8005010d-2b810001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
8005010d-2b810007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b81000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b81000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b81000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b81000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b81000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b81000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b810018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b82000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b82000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b82000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b82000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b82000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b82000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
8005010d-2b820011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b820018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b83000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b83000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b83000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b83000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b83000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b83000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b830018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
8005010d-2b840003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b84000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b84000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b84000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b84000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b84000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b84000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8005010d-2b840018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
806f0021-0b01ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b02ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b03ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b04ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b05ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f0021-0b06ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b07ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b08ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b09ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b0affff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b0bffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b0cffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b0dffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b0effff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b0fffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-0b10ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-2201ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0021-2582ffff	システム [ComputerSystemElementName] のスロット [PhysicalConnectorSystemElementName] で障害が発生しました。	はい
806f0108-0a01ffff	[PowerSupplyElementName] が失敗しました。	はい
806f0108-0a02ffff	[PowerSupplyElementName] が失敗しました。	はい
806f0108-0a03ffff	[PowerSupplyElementName] が失敗しました。	はい
806f0108-0a04ffff	[PowerSupplyElementName] が失敗しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b81000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b81000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b81000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b81000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b81000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2b81000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b810018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b81ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2b820005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2b820014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b820018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b82ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2b83000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b83000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b83000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b83000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b83000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b83000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b830018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2b83ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b84000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b84000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b84000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b84000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b84000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010c-2b84000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b840018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010c-2b84ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] で修正不能なエラーが検出されました。	はい
806f010d-0400ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0401ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0402ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0403ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0404ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-0405ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0406ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0407ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0408ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-0409ffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-040affff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-040bffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-040cffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-040dffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-040effff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-040fffff	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810001	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810002	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810003	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810004	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810005	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810006	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810007	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810008	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810009	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b81000a	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-2b81000b	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b81000c	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b81000d	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b81000e	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b81000f	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810010	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810011	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810012	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810013	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810014	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810015	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810016	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810017	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b810018	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b81ffff	[StorageVolumeElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820001	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820002	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820003	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820004	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820005	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820006	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-2b820007	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820008	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820009	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82000a	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82000b	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82000c	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82000d	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82000e	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82000f	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820010	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820011	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820012	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820013	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820014	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820015	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820016	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820017	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b820018	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b82ffff	[StorageVolumeElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830001	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830002	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-2b830003	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830004	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830005	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830006	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830007	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830008	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830009	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83000a	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83000b	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83000c	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83000d	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83000e	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83000f	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830010	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830011	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830012	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830013	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830014	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830015	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830016	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b830017	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-2b830018	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b83ffff	[StorageVolumeElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840001	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840002	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840003	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840004	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840005	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840006	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840007	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840008	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840009	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84000a	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84000b	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84000c	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84000d	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84000e	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84000f	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840010	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840011	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840012	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840013	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f010d-2b840014	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840015	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840016	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840017	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b840018	[NumericSensorElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f010d-2b84ffff	[StorageVolumeElementName] は、障害が検出されたため無効になりました。	はい
806f011b-0701ffff	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。	はい
806f011b-1f01ffff	コネクタ [PhysicalConnectorElementName] で構成エラーが発生しました。	はい
806f0207-0301ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。	はい
806f0207-0302ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。	はい
806f0207-0303ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。	はい
806f0207-0304ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。	はい
806f0207-2583ffff	[ProcessorElementName] で FRB1/BIST 状態の障害が発生しました。	はい
806f020d-0400ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0401ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0402ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0403ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0404ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0405ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-0406ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0407ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0408ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-0409ffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-040affff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-040bffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-040cffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-040dffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-040effff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-040fffff	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810801	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810802	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810803	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810804	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810805	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b810806	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810807	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810808	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810809	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b81080a	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b81080b	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b81080c	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b81080d	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b81080e	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b81080f	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810810	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810811	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810812	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810813	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810814	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b810815	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810816	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810817	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b810818	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820801	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820802	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820803	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820804	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820805	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820806	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820807	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820808	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820809	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b82080a	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b82080b	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b82080c	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b82080d	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b82080e	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b82080f	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820810	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820811	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820812	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820813	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820814	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820815	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820816	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820817	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b820818	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830801	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830802	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b830803	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830804	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830805	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830806	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830807	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830808	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830809	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b83080a	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b83080b	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b83080c	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b83080d	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b83080e	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b83080f	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830810	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830811	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b830812	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830813	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830814	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830815	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830816	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830817	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b830818	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840801	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840802	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840803	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840804	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840805	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840806	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840807	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840808	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b840809	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b84080a	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b84080b	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b84080c	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b84080d	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b84080e	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b84080f	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840810	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840811	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840812	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840813	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840814	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840815	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840816	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f020d-2b840817	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f020d-2b840818	[NumericSensorElementName] でアレイ [ComputerSystemElementName] の障害が予知されました。	はい
806f050c-2581ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b81000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b81000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b81000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b81000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2b81000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b81000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b810018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b81ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2b820004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2b820013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b820018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b82ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2b830009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b830017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2b830018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b83ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840001	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840002	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840003	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840004	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840005	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840006	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840007	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840008	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840009	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b84000a	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b84000b	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b84000c	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b84000d	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f050c-2b84000e	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b84000f	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840010	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840011	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840012	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840013	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840014	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840015	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840016	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840017	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b840018	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f050c-2b84ffff	サブシステム [MemoryElementName] の [PhysicalMemoryElementName] でメモリー・ロギング限度に到達しました。	はい
806f060d-0400ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0401ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0402ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0403ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
806f060d-0404ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0405ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0406ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0407ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0408ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-0409ffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-040affff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-040bffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-040cffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-040dffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-040effff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f060d-040fffff	アレイ [ComputerSystemElementName] に障害が発生しました。	はい
806f0813-2581ffff	バス [SensorElementName] で修正不能なバス・エラーが発生しました。	はい
806f0813-2582ffff	バス [SensorElementName] で修正不能なバス・エラーが発生しました。	はい
806f0813-2583ffff	バス [SensorElementName] で修正不能なバス・エラーが発生しました。	はい
8105010d-2b810001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b81000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
8105010d-2b81000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b81000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b81000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b81000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b81000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b810018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b82000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b82000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b82000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b82000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b82000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b82000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
8105010d-2b820015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b820018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b83000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b83000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b83000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b83000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b83000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b83000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b830018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840001	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840002	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840003	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840004	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840005	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840006	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

表 64. 自動的にサポートに通知されるイベント (続き)

イベント ID	メッセージ・ストリング	自動的にサポートに通知
8105010d-2b840007	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840008	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840009	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b84000a	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b84000b	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b84000c	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b84000d	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b84000e	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b84000f	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840010	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840011	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840012	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840013	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840014	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840015	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840016	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840017	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい
8105010d-2b840018	[SensorElementName] が障害予知を検出しています。	はい

付録 D UEFI/POST エラー・コード

UEFI/POST エラー・コードの概要およびイベント・コードに表示されるフィールドの説明については、以下の情報を参照してください。

UEFI/POST 診断エラー・コードは、サーバーの始動時またはサーバーの実行中に生成されることがあります。UEFI/POST コードは、サーバー内の IMM イベント・ログに記録されます。

それぞれのイベント・コードごとに、以下のフィールドが表示されます。

イベント ID

イベントを一意的に識別する ID。

イベント記述

イベントについて表示される、ログに記録されたメッセージの文字列。

説明

イベントが発生した原因を説明する追加情報。

重大度

状態に示される懸念度。イベント・ログでは、重大度が先頭文字に省略されています。以下の重大度が表示されます。

表 65. イベントの重大度レベル

重大度	説明
通知	通知メッセージは監査目的で記録されたもので、通常は、正常な動作のユーザー操作あるいは状態の変化です。
警告	警告はエラーほど深刻ではありませんが、可能であればエラーになる前に状態を修正することが推奨されます。追加の監視や保守が必要な場合もあります。
エラー	エラーは、一般的にサービスあるいは期待された機能を悪化させる障害またはクリティカルな状態を示します。

ユーザー応答

イベントを解決するためにとるべき処置を示します。問題が解決するまで、このセクションの手順を順番に実行してください。このフィールドで説明されている操作をすべて実行しても問題が解決しない場合は、認可されたサービス提供者にお問い合わせください。

UEFI (POST) エラー・コードの検出

このトピックでは、UEFI/POST エラー・コードを見つける方法について説明します。

使用しているシステム管理プラットフォーム、あるいは DSA Preboot 診断プログラムによって生成されたテスト結果を表示しているかどうかに基づいて UEFI/POST エラー・コードを見つけるには、いくつかの方法が使用可能です。

注：すべてのイベントに UEFI (POST) エラー・コードが関連付けられているわけではありません。

表 66. UEFI (POST) エラー・コードの検出

UEFI (POST) エラー・コードへのインターフェース	操作
IMM Web インターフェースにログオンしている場合	<ol style="list-style-type: none"> 「Events」メニューを開き、「Event Log」をクリックします。 イベント・メッセージの横の「more」をクリックし、UEFI (POST) エラー・コードを見つけます。
DSA Preboot 診断プログラムのテスト結果を表示している場合	<ol style="list-style-type: none"> 「Event log」に進みます。 右にスクロールし、「Auxillary Data Column」を参照して UEFI (POST) エラー・コードを見つけます。

UEFI イベントのリスト

このセクションでは、UEFI から送信されるすべてのメッセージをリストしています。

- D.3108002 バックアップ GPT の破損から回復しました。

説明: バックアップ GPT の破損から回復しました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントに対するユーザー操作は不要です。これは、通知目的でのみ使用されます。

- I.11002 システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

説明: システム内の 1 つ以上のプロセッサ間でプロセッサの不一致が検出されました。1 つ以上のプロセッサの不一致が検出されました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このメッセージと一緒に、他のプロセッサ構成の問題を示すメッセージが発行される場合があります。最初に、それらのメッセージを解決してください。
2. 問題が解決しない場合は、取り付けられているプロセッサが一致していること (オプション部品番号が一致しているなど) を確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、プロセッサが正しいソケットに取り付けられていることを確認します。正しく取り付けられていない場合は、問題を修正してください。
4. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 一致しないプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。

- I.18005 システム内の 1 つ以上のプロセッサ・パッケージによって報告されたコアの数の矛盾が検出されました。プロセッサのコア数が一致していません。

説明: システム内の 1 つ以上のプロセッサ・パッケージによって報告されたコアの数の矛盾が検出されました。プロセッサのコア数が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。

- I.18006 1 つ以上のプロセッサ・パッケージで許容される最大 QPI リンク速度の不一致が検出されました。プロセッサの QPI 速度が一致していません。

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージで許容される最大 QPI リンク速度の不一致が検出されました。プロセッサの QPI 速度が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサ CPU が、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ CPU ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる RETAIN TipService Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。

- I.18007 1 つ以上のプロセッサ・パッケージで電源セグメントの不一致が検出されました。プロセッサの電源セグメントが一致していません。

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージで電源セグメントの不一致が検出されました。プロセッサの電源セグメントが一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. これが新しく取り付けられたオプションである場合は、一致するプロセッサが、本製品のサービス情報に従って正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. 消費電力が一致している場合は、IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。

- **I.18008** 現在、このイベントに関する追加情報はありません。プロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。

説明: 現在、このイベントに関する追加情報はありません。プロセッサの内部 DDR3 周波数が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. サポートされていて一致する DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序でチャンネルに取り付けられていることを確認します。{Add link to Memory chart.} 検出された構成の問題をすべて修正します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 関連するプロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。

- **I.18009** 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでコア速度の不一致が検出されました。プロセッサのコア速度が一致していません。

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでコア速度の不一致が検出されました。プロセッサのコア速度が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致の問題をすべて修正します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。

- **I.1800A** 複数のプロセッサ・パッケージで、QPI リンクに設定されている速度の不一致が検出されました。プロセッサのバス速度が一致していません。

説明: 複数のプロセッサ・パッケージで、QPI リンクに設定されている速度の不一致が検出されました。プロセッサのバス速度が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. プロセッサが、このシステムの Server Proven デバイスにリストされている有効なオプションであることを確認します。有効なオプションではない場合、そのプロセッサを取り外し、Server Proven にリストされているプロセッサを取り付けます。
 2. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
 3. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。プロセッサ・ソケットを調べて、ソケットが損傷している場合は、まずコンピュータ・ブックを交換します。
- **I.1800B 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。**
説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・サイズの不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでサイズが一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。検出された不一致をすべて修正します。
 2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 3. コンピュータ・ブックを交換します。
- **I.1800C 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。**
説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュ・タイプの不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルでタイプが一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
 2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 3. コンピュータ・ブックを交換します。
- **I.1800D 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。**
説明: 1つ以上のプロセッサ・パッケージでキャッシュの結合順序の不一致が検出されました。プロセッサの1つ以上のキャッシュ・レベルで結合順序が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. コンピュート・ブックを交換します。

- I.1800E 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサの型式の不一致が検出されました。プロセッサの型式番号が一致していません。

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサの型式の不一致が検出されました。プロセッサの型式番号が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. コンピュート・ブックを交換します。

- I.1800F 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。プロセッサのファミリーが一致していません。

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのファミリーの不一致が検出されました。プロセッサのファミリーが一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. コンピュート・ブックを交換します。

- I.18010 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

説明: 1 つ以上のプロセッサ・パッケージでプロセッサのステッピングの不一致が検出されました。同一モデルのプロセッサのステッピング ID が一致していません。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、一致するプロセッサが正しいプロセッサ・ソケットに取り付けられていることを確認します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. コンピュート・ブックを交換します。

- I.2018002 リソース制約のために、バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)。

説明: リソース制約のために、バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] で検出されたデバイスを構成できませんでした。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。OUT_OF_RESOURCES (PCI オプション ROM)

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアを更新するために、UEFI F1 Setup、ASU、またはアダプター製造元のユーティリティを使用して、未使用のオプション ROM を無効にする必要がある場合があります。

- I.2018003 バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。ROM チェックサム・エラー

説明: バス [arg1]、デバイス [arg2]、機能 [arg3] でデバイスの不正なオプションの ROM チェックサムが検出されました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。ROM チェックサム・エラー。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. この PCIe デバイスや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、アダプターおよび接続されているすべてのケーブルを取り付け直します。
2. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin、UEFI、またはアダプター・ファームウェア更新がないかを確認します。注: アダプター・ファームウェアをアップグレードするために、スロットを Gen1 に構成したり、特別なユーティリティ・ソフトウェアを使用する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。

3. アダプターを別のシステム・スロットに移動します (使用可能な場合)。
4. アダプターを交換します。

- **I.3048005 UEFI がバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。バックアップ UEFI イメージからブートしています。**

説明: UEFI がバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プライマリー UEFI イメージを再フラッシュします。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

関連リンク

- [ファームウェアの更新](#)
- [標準 I/O ブックの交換](#)

- **I.3808004 IMM システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。IPMI システム・イベント・ログがフルです。**

説明: IMM システム・イベント・ログ (SEL) がフルです。IPMI システム・イベント・ログがフルです。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM Web インターフェースを使用して、イベント・ログをクリアします。
2. IMM 通信が使用できない場合は、F1 Setup を使用して「System Event Logs Menu」にアクセスし、「Clear IMM System Event Log」を選択してサーバーを再起動します。

- **I.3818001 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。**

説明: 現在ブートされているフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。現行のバンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。バックアップ UEFI イメージが起動します。プライマリー UEFI イメージを再フラッシュします。

2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合、またはブートが失敗する場合は、標準 I/O ブックを交換します。

- **I.3818002** ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

説明: ブートされていないフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセル署名が無効です。対向バンク CRTM カプセル更新署名が無効です。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. バックアップ UEFI イメージを再消去します。
2. エラーが解決した場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合、またはブートが失敗する場合は、標準 I/O ブックを交換します。

- **I.3818003** CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーは、セキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。CRTM がセキュア・フラッシュ領域をロックできませんでした。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージをフラッシュし、バンクをプライマリーにリセットします (必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートに失敗する場合、またはフラッシュの試行が失敗する場合は、標準 I/O ブックを交換します。

- **I.3868000** BOFM: アダプターをリセットするためのシステム・リセットが実行されました。BOFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

説明: BOFM: アダプターをリセットするためのシステム・リセットが実行されました。BOFM: アダプターをリセットするためにシステム・リセットが実行されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは、通知目的でのみ使用されます。

- I.3868003 BOFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。BOFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。

説明: BOFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。BOFM: 互換モードを使用するには構成が大きすぎます。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは、通知目的でのみ使用されます。

- I.58015 メモリーのスペア・コピーが開始されました。スペア・コピーが開始されました。

説明: メモリーのスペア・コピーが開始されました。スペア・コピーが開始されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このイベントに対するユーザー応答は必要ありません。これは、通知目的でのみ使用されます。

- I.580A4 メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

説明: メモリー装着の変化が検出されました。DIMM 装着の変化が検出されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムで DIMM の追加または取り外しを行い、追加のエラーが検出されなかった場合は、このメッセージを無視してください。
2. システム・イベント・ログで修正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- I.580A5 ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM 番号 [arg1] は、ミラーリングされたコピーにフェイルオーバーしました。DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

説明: ミラーのフェイルオーバーが完了しました。DIMM 番号 [arg1] は、ミラーリングされたコピーにフェイルオーバーしました。DIMM ミラーリングのフェイルオーバーが検出されました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・イベント・ログで修正不能 DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- I.580A6 メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。スペア・コピーが完了しました。
説明: メモリーのスペア・コピーが正常に完了しました。スペア・コピーが完了しました。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- S.1100B CATERR(IERR) がプロセッサ [arg1] で検出されました。プロセッサ CATERR(IERR) が検出されました。

説明: CATERR(IERR) がプロセッサ [arg1] で検出されました。プロセッサ CATERR(IERR) が検出されました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このプロセッサ・エラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- S.1100C プロセッサ [arg1] で修正不能なエラーが検出されました。修正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

説明: プロセッサ [arg1] で修正不能なエラーが検出されました。修正不能プロセッサ・エラーが検出されました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin または UEFI ファームウェア更新がないかを確認します。
2. システムをリブートします。問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- S.2011000 修正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。PCI PERR が検出されました。

説明: 修正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。PCI PERR が検出されました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
 2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合:
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。
 3. 問題が解決しない場合は、このスロットのアダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
 4. システムが正常にリポートせず、同一ノード内の 2 番目のスロットにも PCIe エラーが記録された場合は、前の手順のアダプターを再度挿入して、2 番目のアダプターを取り外します。2 番目のアダプターがない状態でシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
 5. 問題が解決しない場合は、問題の PCIe スロットがある入出力ブックを交換します。
 6. 問題が解決しない場合は、その PCIe スロットに関連するコンピュート・ブックを交換します。
 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。
- S.2011001 修正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。PCI SERR が検出されました。
説明: 修正不能 PCIe エラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダー ID は [arg4] で、デバイス ID は [arg5] です。PCI SERR が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合:
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットを Gen1 または Gen2 に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2 の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、または ASU ユーティリティを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の 2 番目のスロットでも PCIe エラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順 a、b、c を実行してから次に進んでください。

3. 問題が解決しない場合は、このスロットのアダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
 4. システムが正常にリポートせず、同一ノード内の2番目のスロットにもPCIeエラーが記録された場合は、前の手順のアダプターを再度挿入して、2番目のアダプターを取り外します。2番目のアダプターがない状態でシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
 5. 問題が解決しない場合は、問題のPCIeスロットがある入出力ブックを交換します。
 6. 問題が解決しない場合は、そのPCIeスロットに関連するコンピュート・ブックを交換します。
 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
- S.2018001 修正不能PCIeエラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダーIDは [arg4] で、デバイスIDは [arg5] です。PCIe修正不能なエラーが検出されました。
説明: 修正不能PCIeエラーがバス [arg1] デバイス [arg2] 機能 [arg3] で発生しました。デバイスのベンダーIDは [arg4] で、デバイスIDは [arg5] です。PCIe修正不能なエラーが検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBMサポートサイトで、このエラーに適用できるデバイス・ドライバー、ファームウェア更新、サービス情報の改訂、あるいはその他の情報がないかを確認します。新規のデバイス・ドライバー、および必要なすべてのファームウェア更新をロードします。
 2. このノードや接続されているいずれかのケーブルの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合:
 - a. アダプターおよび接続ケーブルを取り付け直します。
 - b. デバイス・ドライバーを再ロードします。
 - c. デバイスが認識されない場合は、スロットをGen1またはGen2に再構成する必要がある場合があります。Gen1/Gen2の設定は、「F1 Setup」->「System Settings」->「Devices and I/O Ports」->「PCIe Gen1/Gen2/Gen3 Speed Selection」、またはASUユーティリティを使用して構成できます。
 - d. 同一ノード内の2番目のスロットでもPCIeエラーが報告されている場合は、そのアダプターでも上記の手順a、b、cを実行してから次に進んでください。
 3. 問題が解決しない場合は、このスロットのアダプター・カードを取り外します。アダプターがなければシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
 4. システムが正常にリポートせず、同一ノード内の2番目のスロットにもPCIeエラーが記録された場合は、前の手順のアダプターを再度挿入して、2番目のアダプターを取り外します。2番目のアダプターがない状態でシステムが正常にリポートする場合は、カードを交換します。
 5. 問題が解決しない場合は、問題のPCIeスロットがある入出力ブックを交換します。
 6. 問題が解決しない場合は、そのPCIeスロットに関連するコンピュート・ブックを交換します。
 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサーを交換します。
- S.3020007 UEFIイメージでファームウェア障害が検出されました。内部UEFIファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3028002 ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました。

説明: ブート許可のタイムアウトが検出されました。ブート許可のネゴシエーションがタイムアウトになりました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. CMM/IMM ログで通信エラーがないかを確認し、エラーを解決します。
2. システムを取り付け直します。
3. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- S.3030007 UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3040007 UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3050007 UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3058004 三振 (Three Strike) ブート障害が発生しました。システムはデフォルト UEFI 設定でブートしました。POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

説明: 三振 (Three Strike) ブート障害が発生しました。システムはデフォルト UEFI 設定でブートしました。POST 障害が発生しました。システムはデフォルト設定でブートしました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 元の UEFI 設定はまだ存在しています。お客さまが元の設定を引き続き使用することを希望する場合は、「Save Settings」を選択します。
2. ユーザーが意図的にリブートをトリガーしたのでない場合は、ログに推定原因がないか確認してください。たとえば、バッテリー障害イベントがある場合は、そのイベントを解決するステップを実行してください。
3. 最近行ったシステム変更 (設定やデバイスの追加) を元に戻します。システムがブートすることを確認します。次に、一度に1つずつオプションを再取り付けし、問題を特定します。
4. IBM サポート・サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。該当する場合は UEFI ファームウェアを更新します。
5. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。ブートが正常に行われたら、システム設定を復元します。
6. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3060007 UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3070007 UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

説明: UEFI イメージでファームウェア障害が検出されました。内部 UEFI ファームウェア障害が検出され、システムが停止しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. UEFI イメージを再フラッシュします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3108007 デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

説明: デフォルトのシステム設定が復元されました。システム構成がデフォルトに復元されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

- S.3818004 CRTM フラッシュ・ドライバがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。障害が発生しました。CRTM 更新が失敗しました。

説明: CRTM フラッシュ・ドライバがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。障害が発生しました。CRTM 更新が失敗しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. エラーが解決しない場合は、システムのブートおよびUEFI イメージの再フラッシュを続行します。このレベルのUEFIに更新するための追加の説明があるかどうかを確認してください。
4. 標準 I/O ブックを交換します。

- S.3818007 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

説明: 両方のフラッシュ・バンクのファームウェア・イメージ・カプセルを検査できませんでした。CRTM イメージ・カプセルを検査できませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムが正常にブートしない場合は、システムの DC サイクルを実行します。
2. システムがブートして F1 Setup を表示したら、UEFI イメージをフラッシュし、バンクをプライマリーにリセットします(必要な場合)。システムがエラーなしでブートする場合は、リカバリーは完了し、これ以上の処置は必要ありません。
3. システムがブートに失敗する場合、またはフラッシュの試行が失敗する場合は、標準 I/O ブックを交換します。

- S.51003 修正不能メモリー・エラーがランク [arg2] の DIMM スロット [arg1] で検出されました。プロセッサ [arg3] チャンネル [arg4] で、修正不能メモリー・エラーが検出されました。チャンネル内の障害のある DIMM を判別できませんでした。修正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

説明: 修正不能メモリー・エラーがランク [arg2] の DIMM スロット [arg1] で検出されました。プロセッサ [arg3] チャンネル [arg4] で、修正不能メモリー・エラーが検出されました。チャンネル内の障害のある DIMM を判別できませんでした。修正不能なメモリー・エラーが検出されました。致命的なメモリー・エラーが発生しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
2. IBM サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。

3. DIMM コネクタ上に問題が見つからず、この問題が解決しない場合は、Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。これがフラッシュ DIMM の場合は、交換する前に保証期間中であることを確認します。
4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を交換します。これがフラッシュ DIMM の場合は、交換する前に保証期間中であることを確認します。
5. コンピュート・ブックを交換します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。

- S.51006 メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

説明: メモリーの不一致が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。1 つ以上の DIMM の不一致が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 修正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. DIMM が、本製品のサービス情報に従って正しい装着順序で取り付けられていることを確認します。
3. メモリー・ミラーリングおよびスペアリングを無効にします。この処置によってミスマッチがなくなる場合には、IBM サポート サイトにこの問題に関連する情報がないか確認してください。
4. UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
5. DIMM を交換します。これがフラッシュ DIMM の場合は、交換する前に保証期間中であることを確認します。
6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

- S.51009 システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

説明: システム・メモリーが検出されませんでした。メモリーが検出されませんでした。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 1 つ以上の DIMM がサーバーに取り付けられていることを確認し、その他に、現在、既存のメモリー・エラーがあれば解決します。
2. メモリー障害がログに記録されておらず、DIMM コネクタのエラー LED が点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings Utility (ASU) を使用して、すべての DIMM コネクタが有効になっているかどうかを確認します。
3. 本製品のサービス情報に従って、正しい装着順序を確認してすべての DIMM を再取り付けします。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

5. コンピュート・ブックを交換します。

- S.58008 DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

説明: DIMM が POST メモリー・テストに失敗しました。DIMM がメモリー・テストに失敗しました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの AC サイクルを実行して、対象の DIMM コネクタを再度有効にするか、あるいは F1 Setup を使用して手動で対象の DIMM コネクタを再度有効にします。
 2. このノードの取り付け、保守、移動、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM がしっかりと装着されていること、および DIMM コネクタに異物が入っていないことを確認します。いずれかの状態が見つかった場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
 3. 問題が解決しない場合は、Lightpath あるいはイベント・ログ・エントリ (またはその両方) で示された DIMM を交換します。これがフラッシュ DIMM の場合は、交換する前に保証期間中であることを確認します。
 4. 同じ DIMM コネクタで問題が再び発生する場合は、同じメモリー・チャンネル上の他の DIMM を一度に 1 つずつ別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに入れ替えます。(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。異なるメモリー・チャンネルに移動した DIMM で問題が続く場合は、その DIMM を交換します。これがフラッシュ DIMM の場合は、交換する前に保証期間中であることを確認します。
 5. IBM サポート サイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 6. 元の DIMM コネクタで問題が解決しない場合は、DIMM コネクタに異物がないかを再検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、コンピューター・ブックを交換します。
 7. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはこれがアップグレード・プロセッサである場合は、コンピューター・ブックを交換します。複数のプロセッサがある場合は、それらのプロセッサをスワップして、エラーが生じたプロセッサを別のプロセッサ・ソケットに移動して再試行します。問題が対象のプロセッサに付随する場合 (あるいは、プロセッサが 1 つしかない場合) は、そのプロセッサを交換します。
- S.58009 すべての DIMM が無効になっており、これが訂正されるまでシステムはブートできません。すべての DIMM スロットが無効です。

説明: すべての DIMM が無効になっており、これが訂正されるまでシステムはブートできません。すべての DIMM スロットが無効です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- S.68005 バス [arg1] で I/O コア・ロジックによってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータスの登録に [arg2] が含まれています。グローバルな致命的ではないエラー・ステータスの登録に [arg3] が含まれています。その他のダウンストリーム・デバイス・エラーのデータがないか、エラー・ログを調べてください。クリティカルな IOH-PCI エラー。

説明: バス [arg1] で I/O コア・ロジックによってエラーが検出されました。グローバルな致命的エラー・ステータスの登録に [arg2] が含まれています。グローバルな致命的ではないエラー・ステータスの登録に [arg3] が含まれています。その他のダウンストリーム・デバイス・エラーのデータがないか、エラー・ログを調べてください。クリティカルな IOH-PCI エラー。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できるシステムまたはアダプターに関する Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. 関連する PCIe デバイスに関する個別のエラーがないかをログで確認し、そのエラーを保守します。
3. このエラーで報告された I/O ブックを交換します。
4. このエラーで報告されたコンピュート・ブックを交換します。

- S.680B8 内部 QPI リンク障害が検出されました。内部 QPI リンク障害が検出されました。

説明: 内部 QPI リンク障害が検出されました。内部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを検査します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
3. エラーが再発する場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、コンピュート・ブックを交換します。
4. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) プロセッサを交換します。

- S.680B9 外部 QPI リンク障害が検出されました。外部 QPI リンク障害が検出されました。

説明: 外部 QPI リンク障害が検出されました。外部 QPI リンク障害が検出されました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 2. プロセッサ・ソケットに異物や損傷がないかを检查します。異物が見つかった場合は、取り除きます。
 3. エラーが再発する場合、あるいはソケットの損傷が見つかった場合は、コンピュータ・ブックを交換します。
- W.3048006 自動ブート・リカバリー (ABR) イベントのため、UEFI はバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

説明: 自動ブート・リカバリー (ABR) イベントのため、UEFI はバックアップ・フラッシュ・バンクからブートしました。自動ブート・リカバリーにより、バックアップ UEFI イメージからブートしています。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 2. プライマリー UEFI イメージを再フラッシュします。本製品のサービス情報の『UEFI Recovery』セクションを参照してください。
 3. 標準 I/O ブックを交換します。
- W.305000A 無効な日時が検出されました。RTC の日付と時刻が誤っています。

説明: 無効な日時が検出されました。RTC の日付と時刻が誤っています。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM/シャーシ・イベント・ログを確認します。このイベントは、0068002 エラーの直前にあります。このイベントまたはその他のバッテリー関連エラーをすべて保守します。
 2. F1 Setup を使用して日時を再設定します。システム・リセットの後に問題が再発する場合は、CMOS バッテリーを交換します。
 3. 問題が解決しない場合は、IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
 4. 標準 I/O ブックを交換します。
- W.3058009 ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 構成が欠落しています。F1 から設定を変更する必要があります。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」 > 「System Settings」 > 「Settings」 > 「Driver Health Status List」に進み、構成が必要なステータスを報告しているドライバー/コントローラーを見つけます。
2. 「System Settings」からドライバー・メニューを検索し、設定を適切に変更します。
3. 設定を保存してシステムを再起動します。

- W.305800A ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」ステータスのコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「障害」状態のコントローラーが報告されました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

- W.305800B ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「リブート」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 操作は不要です - POST の最後にシステムがリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

- W.305800C ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」を必要とするコントローラーを報告しています。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」を必要とするコントローラーを報告しています。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 「システム・シャットダウン」が必要なコントローラーが報告されました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

- W.305800D ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断が失敗しました。「リブート」が必要です。ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断が失敗しました。「リブート」が必要です。ドライバー・ヘルス・プロトコル: コントローラーの切断に失敗しました。「リブート」が必要です。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートし、コントローラーを再接続します。
2. 問題が解決しない場合は、アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

- W.305800E ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。

説明: ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。ドライバー・ヘルス・プロトコル: 無効なヘルス・ステータスのドライバーが報告されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムをリブートします。
2. 問題が解決しない場合は、アダプター・ファームウェアを再フラッシュします。

- W.3108002 バックアップ GPT の破損が検出されました。

説明: バックアップ GPT の破損が検出されました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「Disk GPT Recovery」(F1 Setup Utility の「System Settings」および「Recovery and RAS」下にある)が「AUTO」に設定されている場合は、ユーザー操作は不要です。「NONE」に設定されている場合は、ユーザーは OS ベースのツールを使用してリカバリーする必要があります。

- W.3808000 IMM 通信障害が発生しました。IMM 通信に失敗しました。

説明: IMM 通信障害が発生しました。IMM 通信に失敗しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. IMM ネットワーク・ケーブルおよび構成を確認します。
2. システムの AC サイクルを実行します。
3. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
4. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
5. 標準 I/O ブックを交換します。

- **W.3808002 IMM への UEFI 設定の保存中にエラーが発生しました。IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。**

説明: IMM への UEFI 設定の保存中にエラーが発生しました。IMM へのシステム構成の更新でエラーが発生しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. IMM をリセットします。
3. システムの AC サイクルを実行します。
4. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. 標準 I/O ブックを交換します。

- **W.3808003 IMM からシステム構成を取得できません。IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。**

説明: IMM からシステム構成を取得できません。IMM からのシステム構成の取得でエラーが発生しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」、「Verify Settings」、および「Save Settings」を使用して設定をリカバリーします。
2. IMM をリセットします。
3. システムの AC サイクルを実行します。
4. IBM サポートサイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
5. IMM ファームウェアを再フラッシュします。
6. CMOS バッテリーを 30 秒間取り外して CMOS の内容を消去し、CMOS バッテリーを再取り付けします。
7. 標準 I/O ブックを交換します。

- W.3818005 CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

説明: CRTM フラッシュ・ドライバーがステージング域を正常にフラッシュできませんでした。更新が異常終了しました。CRTM 更新が異常終了しました。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムのブートを続行します。システムがリセットされない場合、手動でシステムをリセットします。
2. その後のブートでエラーが報告されない場合は、追加のリカバリー・アクションは必要ありません。
3. イベントが解決しない場合は、システムのブートおよび UEFI イメージの再フラッシュを続行します。このレベルの UEFI に更新するための追加の説明があるかどうかを確認してください。
4. 標準 I/O ブックを交換します。

- W.381800D TPM 物理プレゼンスが検出された状態です。

説明: TPM 物理プレゼンスが検出された状態です。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. TPM 物理プレゼンス・スイッチが「ON」位置にあることを必要とするすべての管理用タスクを実行します。
2. 物理プレゼンス・スイッチを「OFF」位置に復元して、システムをリブートします。
3. 標準 I/O ブックを交換します。

- W.3868001 BOFM: リセット・ループが回避されました。複数回のリセットは許可されていません。BOFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

説明: BOFM: リセット・ループが回避されました。複数回のリセットは許可されていません。BOFM: リセットのループが回避されました - 複数回のリセットは許可されていません。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- W.3868002 BOFM: BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - IFM が正常にデプロイされない可能性があります。BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - BOFM が正常にデプロイされない可能性があります。

説明: BOFM: IMM との通信中にエラーが発生しました。BOFM が正しくデプロイされていない可能性があります。BOFM: IMM との通信でエラーが発生しました - BOFM が正常にデプロイされない可能性があります。

重大度
エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. すべてのファームウェア (アダプター・ファームウェアを含む) を最新レベルに更新します。
2. 問題が解決しない場合は、次のレベルのサポートに連絡してください。

- W.3938002 ブート構成エラーが検出されました。ブート構成エラー。

説明: ブート構成エラーが検出されました。ブート構成エラー。

重大度
警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 「F1 Setup」 -> 「Save Settings」
2. OOB 構成更新を再試行します

- W.50001 POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が無効になりました。DIMM が無効です。

説明: POST 時にエラーが検出されたため、DIMM が無効になりました。DIMM が無効です。

重大度
通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. メモリー障害によって DIMM が無効にされている場合は、そのイベントに対する手順に従います。
2. ログにメモリー障害が記録されておらず、DIMM コネクターのエラー LED も点灯していない場合は、Setup Utility または Advanced Settings ユーティリティ (ASU) を使用して DIMM を再度有効にします。
3. 問題が解決しない場合は、管理コンソールからノードの電源サイクルを実行します。
4. IMM をデフォルト設定にリセットします。
5. UEFI をデフォルト設定にリセットします。
6. IMM および UEFI ファームウェアを再フラッシュします。
7. 無効になったスロットの DIMM を、一致する DIMM と入れ替えます。スロットが無効のままである場合は、コンピュータ・ブックを交換します。

- W.58001 PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス [arg2] の DIMM 番号 [arg1] で超えました。MC5 Status に [arg3] が含まれ、MC5 Misc に [arg4] が含まれます。DIMM PFA しきい値を超えました。

説明: PFA しきい値限界 (訂正可能エラー・ロギング限界) を、アドレス [arg2] の DIMM 番号 [arg1] で超えました。MC5 Status に [arg3] が含まれ、MC5 Misc に [arg4] が含まれます。DIMM PFA しきい値を超えました。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. このノードの取り付け、移動、保守、またはアップグレードが最近行われた場合、DIMM が適切に装着されていることを確認し、そのメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに異物がないことを目視で確認します。これらの状態のいずれかが検出された場合は、その状態を修正し、同じ DIMM を使用して再試行します。(注: イベント・ログには、この問題に関連している可能性がある DIMM 装着の変更が検出されたことを示す最近の 00580A4 イベントが記録されている場合があります。)
 2. IBM サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できるファームウェア更新がないかを確認します。リリース・ノートには、その更新で対応している既知の問題がリストされています。また、IBM サポートサイトを参照し、このメモリー・エラーに適用できる Service Bulletin がないかも確認します。(IBM サポートの Service Bulletin へのリンク)
 3. 上記のステップを実行しても問題が解決しない場合は、次の保守の機会に、同じメモリー・チャンネル上の DIMM を、別のメモリー・チャンネルまたはプロセッサに一度に1つずつ入れ替えます(スペアリング/ペアリング・モードでの装着要件については、本製品のサービス情報または「インストール・ガイド」を参照してください)。PFA が別のメモリー・チャンネルの DIMM コネクタに移動した DIMM に付随する場合は、その移動した DIMM を交換します。これがフラッシュ DIMM の場合は、交換する前に保証期間中であることを確認します。
 4. 同じ DIMM コネクタで問題が継続的に再発する場合は、DIMM コネクタに異物がないかを検査し、見つかった場合は除去します。コネクタが損傷している場合は、コンピュータ・ブックを交換します。
 5. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合、あるいはプロセッサがアップグレード部品である場合は、コンピュータ・ブックを交換します。
 6. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを交換します。
- **W.58002 メモリー・スペア・コピーが失敗しました。スペア・コピーが失敗しました。**

説明: メモリーのスペア・コピーが失敗しました。スペア・コピーが失敗しました。

重大度

通知

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。
- **W.58007 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。サポートされていない DIMM 装着です。**

説明: 無効なメモリー構成 (サポートされない DIMM 装着) が検出されました。メモリー構成が有効であることを確認してください。サポートされていない DIMM 装着です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 修正不能メモリー・エラーあるいはメモリー・テストの失敗に続いて発生した可能性があります。ログを確認し、最初にそのイベントの保守を行います。他のエラーあるいはアクションによって無効になっている DIMM が、このイベントの原因となっている可能性があります。
2. 実行しているメモリー・モードについて、本製品のサービス情報のガイドラインに従って、DIMM コネクタが装着されていることを確認します。

関連リンク

– [メモリー・モジュールの取り付け](#)

- W.58017 DIMM が再度有効になりました。

説明: DIMM が再度有効になりました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 関連する DIMM 障害がないかシステム・ログで確認します。

- W.580A1 ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

説明: ミラー・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。ミラーリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DIMM コネクタのエラー LED が点灯している場合は、その障害を解決します。
2. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがミラーリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

- W.580A2 スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

説明: スペアリング・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。スペアリング・モードでサポートされていない DIMM 装着です。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 本製品のサービス情報に従って、DIMM コネクタがスペアリング・モードとして正しく装着されていることを確認します。

- W.580A3 ロック・ステップ・モードのメモリー構成が無効です。メモリー構成を修正してください。ロック・ステップ・モードでサポートされない DIMM 装着です。

説明: ロック・ステップ・モードに無効なメモリー構成。メモリー構成を修正してください。ロック・ステップ・モードでサポートされない DIMM 装着です。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. DIMM コネクタが、この製品のサービス情報に従って、ロック・ステップ・モードとして正しく装着されていることを確認します。

- W.580A7 DIMM のサービス操作が検出されました。スロットが再度有効になりました。

説明: DIMM のサービス操作が検出されました。スロットが再度有効になりました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. 関連する DIMM 障害がないかシステム・ログで確認します。

- W.580A8 システム・メモリーのサイズが変更されました。

説明: システム・メモリーのサイズが変更されました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システム・ログで関連する DIMM 障害がないかを確認し、該当する DIMM を交換します。

- W.580B0 メモリー SMI リンク障害

説明: メモリー SMI リンク障害

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンピュート・ブックを取り外し、プロセッサのヒートシンクが完全にねじで留められていることを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合は、コンピュート・ブックを交換します。

- **W.580B1 メモリー SMI レーンの冗長性が失われました**

説明: メモリー SMI レーンの冗長性が失われました

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンピュート・ブックを取り外し、プロセッサのヒートシンクが完全にねじで留められていることを確認します。
2. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合は、コンピュート・ブックを交換します。

- **W.68002 CMOS バッテリー・エラーが検出されました。CMOS バッテリー障害。**

説明: CMOS バッテリー・エラーが検出されました。CMOS バッテリー障害。

重大度

エラー

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. システムの取り付け、移動、あるいは保守を最近行った場合は、バッテリーが正しく装着されていることを確認します。
2. IBM サポート サイトを参照し、このエラーに適用できる Service Bulletin またはファームウェア更新がないかを確認します。
3. CMOS バッテリーを交換します。
4. 標準 I/O ブックを交換します。

- **W.680B4 内部 QPI リンク幅の半分の減少が検出されました。**

説明: 内部 QPI リンク幅の半分の減少が検出されました。

重大度

警告

ユーザー応答

次の手順を実行してください。

1. コンピュート・ブックを取り外し、コンピュート・ブックに損傷したコネクタがないか確認し、ミッドプレーン上のピンの変形を確認します。損傷したハードウェアがあれば、交換します。
2. プロセッサのヒートシンクがすべて完全にねじで留められていることを確認します。
3. (トレーニングを受けたサービス技術員のみ) 該当するプロセッサを取り外し、そのプロセッサのソケット・ピンに損傷したピンや位置がずれているピンがないかを調べます。損傷が見つかった場合は、コンピュート・ブックを交換します。

付録 E ヘルプおよび技術サポートの入手

ヘルプ、サービス、技術サポート、または Lenovo 製品に関する詳しい情報が必要な場合は、Lenovo がさまざまな形で提供しているサポートをご利用いただけます。

この情報を使用して、Lenovo および Lenovo 製品に関する追加情報の入手、ご使用の Lenovo システムまたはオプションのデバイスで問題が発生した場合の対処方法の判別を行います。

注：このセクションには、IBM Web サイトへの言及、およびサービスの取得に関する情報が含まれています。IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

依頼する前に

連絡する前に、以下の手順を実行して、必ずお客様自身で問題の解決を試みてください。

ご使用の Lenovo 製品に保証サービスが必要であると思われる場合は、連絡される前に準備をしていただくと、サービス技術員がより効果的にお客様を支援することができます。

- ケーブルがすべて接続されていることを確認します。
- 電源スイッチをチェックして、システムおよびすべてのオプション製品の電源がオンになっていることを確認します。
- ご使用の Lenovo 製品用に更新されたソフトウェア、ファームウェア、およびオペレーティング・システム・デバイス・ドライバがないかを確認します。Lenovo 保証条件は、Lenovo 製品の所有者であるお客様の責任で、製品のソフトウェアおよびファームウェアの保守および更新を行う必要があることを明記しています (追加の保守契約によって保証されていない場合)。お客様のサービス技術員は、問題の解決策がソフトウェアのアップグレードで文書化されている場合、ソフトウェアおよびファームウェアをアップグレードすることを要求します。
- ご使用の環境で新しいハードウェアを取り付けたり、新しいソフトウェアをインストールした場合、<http://www.lenovo.com/serverproven/> でそのハードウェアおよびソフトウェアがご使用の製品によってサポートされていることを確認してください。
- <http://www.lenovo.com/support> にアクセスして、問題の解決に役立つ情報があるか確認してください。
- サービス技術員に提供するために、次の情報を収集します。このデータは、サービス技術員が問題の解決策を迅速に提供する上で役立ち、お客様が契約された可能性があるレベルのサービスを確実に受けられるようにします。
 - ハードウェアおよびソフトウェアの保守契約番号 (該当する場合)
 - マシン・タイプ番号 (Lenovo の 4 桁のマシン識別番号)
 - 型式番号
 - シリアル番号
 - 現行のシステム UEFI およびファームウェアのレベル
 - エラー・メッセージやログなど、その他関連情報
- http://www.ibm.com/support/entry/portal/Open_service_request にアクセスして、Electronic Service Request を送信してください。Electronic Service Request を送信すると、お客様の問題に関する情報をサービス技術員が迅速に入手できるようになり、問題の解決策を判別するプロセスが開始されます。Lenovo サービス技術員は、お客様が Electronic Service Request を完了および送信するとすぐに、解決策の作業を開始します。

多くの問題は、Lenovo がオンライン・ヘルプまたは Lenovo 製品資料で提供するトラブルシューティング手順を実行することで、外部の支援なしに解決することができます。Lenovo 製品資料にも、お客様が実行できる診断テストについての説明が記載されています。ほとんどのシステム、オペレーティン

グ・システムおよびプログラムの資料には、トラブルシューティングの手順とエラー・メッセージやエラー・コードに関する説明が記載されています。ソフトウェアの問題だと考えられる場合は、オペレーティング・システムまたはプログラムの資料を参照してください。

資料の使用

ご使用の Lenovo システム、およびプリインストール・ソフトウェア (ある場合)、あるいはオプションのデバイスに関する情報は、製品資料に記載されています。資料には、印刷された説明書、オンライン資料、README ファイル、およびヘルプ・ファイルがあります。

診断プログラムの使用方法については、システム資料にあるトラブルシューティングに関する情報を参照してください。トラブルシューティング情報または診断プログラムを使用した結果、デバイス・ドライバの追加や更新、あるいは他のソフトウェアが必要になることがあります。Lenovo は、お客様が最新の技術情報を入手したり、デバイス・ドライバや更新をダウンロードできるページを Web サイト上に設けています。これらのページにアクセスするには、<http://www.lenovo.com/support> に進んでください。

ヘルプおよび情報を WWW から入手する

Lenovo 製品およびサポートに関する最新情報は、WWW から入手することができます。

WWW 上の <http://www.lenovo.com/support> では、Lenovo システム、オプション・デバイス、サービス、およびサポートについての最新情報が提供されています。最新バージョンの製品資料は、次の製品固有のインフォメーション・センターにあります。

Flex System 製品: <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/flexsys/information/index.jsp>

System x 製品: <http://shop.lenovo.com/us/en/systems/>

NeXtScale System 製品: <http://pic.dhe.ibm.com/infocenter/nxtscale/documentation/index.jsp>

DSA データの送信方法

Enhanced Customer Data Repository を使用して、Lenovo へ診断データを送信できます。

診断データを Lenovo に送信する前に、<http://www.ibm.com/de/support/ecurep/terms.html> の利用条件をお読みください。

以下のいずれの方法でも、診断データを送信できます。

- 標準アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html
- システムのシリアル番号を使用した標準アップロード: http://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw
- セキュア・アップロード: http://www.ibm.com/de/support/ecurep/send_http.html#secure
- システムのシリアル番号を使用したセキュア・アップロード: https://www.ecurep.ibm.com/app/upload_hw

個別設定したサポート Web ページの作成

目的の Lenovo 製品を特定して、個別設定したサポート Web ページを作成することができます。

個別設定したサポート Web ページを作成するには、<http://www.ibm.com/support/mynotifications> にアクセスします。この個別設定したページから、最新の技術文書に関する E メール通知を毎週購読したり、情報やダウンロードを検索したり、さまざまな管理サービスにアクセスしたりすることができます。

ソフトウェアのサービスとサポート

Support ラインを使用すると、ご使用の Lenovo 製品の用法、構成、およびソフトウェアの問題について、電話によるサポートを有料で受けることができます。

サポート・ラインおよび各種の IBM サービスの詳細については、<http://www.ibm.com/services> をご覧になるか、あるいは <http://www.ibm.com/planetwide> でサポート電話番号をご覧ください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

ハードウェアのサービスとサポート

IBM は、System x、Flex System、および NeXtScale System の各製品に対する Lenovo の優先サービス・プロバイダーです。

ハードウェアの保守は、Lenovo 販売店を通じて、あるいは IBM から受けることができます。保証サービスを提供する Lenovo 認定販売店を見つけるには、<http://www.ibm.com/partnerworld> にアクセスし、「**Business Partner Locator**」をクリックします。IBM サポートの電話番号については、<http://www.ibm.com/planetwide> を参照してください。米国およびカナダの場合は、1-800-IBM-SERV (1-800-426-7378) に電話してください。

米国およびカナダでは、ハードウェア・サービスおよびサポートは、1日24時間、週7日ご利用いただけます。英国では、これらのサービスは、月曜から金曜までの午前9時から午後6時までご利用いただけます。

台湾の製品サービス

この情報を使用して台湾の製品サービスに連絡します。

委製商/進口商名稱: 荷蘭商聯想股份有限公司台灣分公司
進口商地址: 台北市內湖區堤頂大道2段89號5樓
進口商電話: 0800-000-702 (代表號)

付録 F 注記

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、Lenovo の営業担当員にお尋ねください。

本書で Lenovo 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その Lenovo 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、Lenovo の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、Lenovo 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

Lenovo は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

*Lenovo (United States), Inc.
1009 Think Place - Building One
Morrisville, NC 27560
U.S.A.
Attention: Lenovo Director of Licensing*

LENOVO は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。Lenovo は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書で説明される製品は、誤動作により人的な傷害または死亡を招く可能性のある移植またはその他の生命維持アプリケーションで使用されることを意図していません。本書に記載される情報が、Lenovo 製品仕様または保証に影響を与える、またはこれらを変更することはありません。本書の内容は、Lenovo またはサード・パーティーの知的所有権のもとで明示または黙示のライセンスまたは損害補償として機能するものではありません。本書に記載されている情報はすべて特定の環境で得られたものであり、例として提示されるものです。他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。

Lenovo は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本書において Lenovo 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この Lenovo 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

商標

Lenovo、Lenovo ロゴ、Flex System、System x、NeXtScale System、および x Architecture は、Lenovo の米国およびその他の国における商標です。

インテル、および Intel Xeon は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Internet Explorer、Microsoft、および Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

重要事項

プロセッサの速度とは、マイクロプロセッサの内蔵クロックの速度を意味しますが、他の要因もアプリケーション・パフォーマンスに影響します。

CD または DVD ドライブの速度は、変わる可能性のある読み取り速度を記載しています。実際の速度は記載された速度と異なる場合があります、最大可能な速度より遅いことがあります。

主記憶装置、実記憶域と仮想記憶域、またはチャンネル転送量を表す場合、KB は 1,024 バイト、MB は 1,048,576 バイト、GB は 1,073,741,824 バイトを意味します。

ハードディスク・ドライブの容量、または通信ボリュームを表すとき、MB は 1,000,000 バイトを意味し、GB は 1,000,000,000 バイトを意味します。ユーザーがアクセス可能な総容量は、オペレーティング環境によって異なる可能性があります。

内蔵ハードディスク・ドライブの最大容量は、Lenovo から入手可能な現在サポートされている最大のドライブを標準ハードディスク・ドライブの代わりに使用し、すべてのハードディスク・ドライブ・ベイに取り付けることを想定しています。

最大メモリーは標準メモリーをオプション・メモリー・モジュールと取り替える必要があることもあります。

各ソリッド・ステート・メモリー・セルには、そのセルが耐えられる固有の有限数の組み込みサイクルがあります。したがって、ソリッド・ステート・デバイスには、可能な書き込みサイクルの最大数が決められています。これを **total bytes written (TBW)** と呼びます。この制限を超えたデバイスは、システム生成コマンドに 응답できなくなる可能性があり、また書き込み不能になる可能性があります。Lenovo は、正式に公開された仕様に文書化されているプログラム/消去のサイクルの最大保証回数を超えたデバイスについては責任を負いません。

Lenovo は、他社製品に関して一切の保証責任を負いません。他社製品のサポートがある場合は、Lenovo ではなく第三者によって提供されます。

いくつかのソフトウェアは、その小売り版 (利用可能である場合) とは異なる場合があります、ユーザー・マニュアルまたはすべてのプログラム機能が含まれていない場合があります。

リサイクル情報

Lenovo では、情報技術 (IT) 機器の所有者に、機器が必要でなくなったときに責任を持って機器のリサイクルを行うことをお勧めしています。また、機器の所有者による IT 製品のリサイクルを支援するため、

さまざまなプログラムとサービスを提供しています。Lenovo 製品のリサイクルの詳細については、次を参照してください: <http://www.lenovo.com/recycling>

粒子汚染

注意: 浮遊微小粒子 (金属片や微粒子を含む) や反応性ガスは、単独で、あるいは湿気や気温など他の環境要因と組み合わせられることで、本書に記載されているデバイスにリスクをもたらす可能性があります。

過度のレベルの微粒子や高濃度の有害ガスによって発生するリスクの中には、デバイスの誤動作や完全な機能停止の原因となり得る損傷も含まれます。以下の仕様では、このような損傷を防止するために設定された微粒子とガスの制限について説明しています。以下の制限を、絶対的な制限として見なしたり、あるいは使用したりしてはなりません。温度や大気中の湿気など他の多くの要因が、粒子や環境腐食性およびガス状の汚染物質移動のインパクトに影響することがあるからです。本書で説明されている特定の制限が無い場合は、人体の健康と安全の保護に合致するよう、微粒子やガスのレベル維持のための慣例を実施する必要があります。お客様の環境の微粒子あるいはガスのレベルがデバイス損傷の原因であると Lenovo が判断した場合、Lenovo は、デバイスまたは部品の修理あるいは交換の条件として、かかる環境汚染を改善する適切な是正措置の実施を求める場合があります。かかる是正措置は、お客様の責任で実施していただきます。

表 67. 微粒子およびガスの制限

汚染物質	制限
微粒子	<ul style="list-style-type: none">● 室内の空気は、ASHRAE Standard 52.2 に従い、大気塵埃が 40% のスポット効率で継続してフィルタリングされなければならない (MERV 9 準拠)¹。● データ・センターに取り入れる空気は、MIL-STD-282 に準拠する HEPA フィルターを使用し、99.97% 以上の粒子捕集率効果のあるフィルタリングが実施されなければならない。● 粒子汚染の潮解相対湿度は、60% を超えていなければならない²。● 室内には、亜鉛ウィスカーのような導電性汚染があってはならない。
ガス	<ul style="list-style-type: none">● 銅: ANSI/ISA 71.04-1985 準拠の Class G1³● 銀: 腐食率は 30 日間で 300 Å 未満

¹ ASHRAE 52.2-2008 - 一般的な換気および空気清浄機器について、微粒子の大きさごとの除去効率をテストする方法。Atlanta: American Society of Heating, Refrigerating and Air-Conditioning Engineers, Inc.

² 粒子汚染の潮解相対湿度とは、水分を吸収した塵埃が、十分に濡れてイオン導電性を持つようになる湿度のことです。

³ ANSI/ISA-71.04-1985。プロセス計測およびシステム制御のための環境条件: 気中浮遊汚染物質。Instrument Society of America, Research Triangle Park, North Carolina, U.S.A.

通信規制の注記

本製品は、電気通信事業者の通信回線との責任分界点への、直接的な接続を想定した認定取得作業を行っていません。このような接続を行う前に、法律による追加の認定が必要な場合があります。ご不明な点がある場合は、Lenovo 担当員または販売店にお問い合わせください。

電波障害自主規制特記事項

このデバイスにモニターを接続する場合は、モニターに付属の指定のモニター・ケーブルおよび電波障害抑制デバイスを使用してください。

連邦通信委員会 (FCC) 宣言書

Note: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the

equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at his own expense.

Properly shielded and grounded cables and connectors must be used in order to meet FCC emission limits. Lenovo is not responsible for any radio or television interference caused by using other than recommended cables and connectors or by unauthorized changes or modifications to this equipment. Unauthorized changes or modifications could void the user's authority to operate the equipment.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that might cause undesired operation.

カナダ工業規格クラス A 排出量適合性宣言

This Class A digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Avis de conformité à la réglementation d'Industrie Canada

Cet appareil numérique de la classe A est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

オーストラリアおよびニュージーランド Class A 宣言書

注意： This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

EU EMC 指令適合性宣言書

This product is in conformity with the protection requirements of EU Council Directive 2014/30/EU on the approximation of the laws of the Member States relating to electromagnetic compatibility. Lenovo cannot accept responsibility for any failure to satisfy the protection requirements resulting from a non-recommended modification of the product, including the installation of option cards from other manufacturers.

This product has been tested and found to comply with the limits for Class A equipment according to European Standards harmonized in the Directives in compliance. The limits for Class A equipment were derived for commercial and industrial environments to provide reasonable protection against interference with licensed communication equipment.

Lenovo, Einsteinova 21, 851 01 Bratislava, Slovakia



Warning: This is a Class A product. In a domestic environment this product may cause radio interference in which case the user may be required to take adequate measures.

ドイツ Class A 宣言書

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit

Deutschsprachiger EU Hinweis: Hinweis für Geräte der Klasse A EU-Richtlinie zur Elektromagnetischen Verträglichkeit Dieses Produkt entspricht den Schutzanforderungen der EU-Richtlinie 2014/30/EU (früher 2004/108/EC) zur Angleichung der Rechtsvorschriften über die elektromagnetische Verträglichkeit in den EU-Mitgliedsstaaten und hält die Grenzwerte der Klasse A der Norm gemäß Richtlinie.

Um dieses sicherzustellen, sind die Geräte wie in den Handbüchern beschrieben zu installieren und zu betreiben. Des Weiteren dürfen auch nur von der Lenovo empfohlene Kabel angeschlossen werden. Lenovo übernimmt keine Verantwortung für die Einhaltung der Schutzanforderungen, wenn das Produkt ohne Zustimmung der Lenovo verändertert bzw. wenn Erweiterungskomponenten von Fremdherstellern ohne Empfehlung der Lenovo gesteckt/eingebaut werden.

Deutschland:

Einhaltung des Gesetzes über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln Dieses Produkt entspricht dem „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln“ EMVG (früher „Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten“). Dies ist die Umsetzung der EU-Richtlinie 2014/30/EU (früher 2004/108/EC) in der Bundesrepublik Deutschland.

Zulassungsbescheinigung laut dem Deutschen Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Betriebsmitteln, EMVG vom 20. Juli 2007 (früher Gesetz über die elektromagnetische Verträglichkeit von Geräten), bzw. der EMV EU Richtlinie 2014/30/EU (früher 2004/108/EC), für Geräte der Klasse A.

Dieses Gerät ist berechtigt, in Übereinstimmung mit dem Deutschen EMVG das EG-Konformitätszeichen - CE - zu führen. Verantwortlich für die Konformitätserklärung nach Paragraf 5 des EMVG ist die Lenovo (Deutschland) GmbH, Meitnerstr. 9, D-70563 Stuttgart.

Informationen in Hinsicht EMVG Paragraf 4 Abs. (1) 4: **Das Gerät erfüllt die Schutzanforderungen nach EN 55024 und EN 55022 Klasse A.**

Nach der EN 55022: „Dies ist eine Einrichtung der Klasse A. Diese Einrichtung kann im Wohnbereich Funkstörungen verursachen; in diesem Fall kann vom Betreiber verlangt werden, angemessene Maßnahmen durchzuführen und dafür aufzukommen.“

Nach dem EMVG: „Geräte dürfen an Orten, für die sie nicht ausreichend entstört sind, nur mit besonderer Genehmigung des Bundesministers für Post und Telekommunikation oder des Bundesamtes für Post und Telekommunikation betrieben werden. Die Genehmigung wird erteilt, wenn keine elektromagnetischen Störungen zu erwarten sind.“ (Auszug aus dem EMVG, Paragraph 3, Abs. 4). Dieses Genehmigungsverfahren ist nach Paragraph 9 EMVG in Verbindung mit der entsprechenden Kostenverordnung (Amtsblatt 14/93) kostenpflichtig.

Anmerkung: Um die Einhaltung des EMVG sicherzustellen sind die Geräte, wie in den Handbüchern angegeben, zu installieren und zu betreiben.

VCCI クラス A 情報技術装置

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

This is a Class A product based on the standard of the Voluntary Control Council for Interference (VCCI). If this equipment is used in a domestic environment, radio interference may occur, in which case the user may be required to take corrective actions.

1 相当りの電流定格が 20A を超える電源ドメインに接続する製品の適合宣言 (日本)

日本の定格電流が 20A/相 を超える機器に対する高調波電流規制
高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 準用品

韓国放送通信委員会 (KCC) 宣言書

이 기기는 업무용(A급)으로 전자파적합기기로
서 판매자 또는 사용자는 이 점을 주의하시기
바라며, 가정외의 지역에서 사용하는 것을 목
적으로 합니다.

This is electromagnetic wave compatibility equipment for business (Type A). Sellers and users need to pay attention to it. This is for any areas other than home.

ロシア電磁妨害 (EMI) Class A 宣言書

ВНИМАНИЕ! Настоящее изделие относится к классу А.
В жилых помещениях оно может создавать радиопомехи, для
снижения которых необходимы дополнительные меры

中華人民共和國 Class A 電子放出宣言書

中华人民共和国“A类”警告声明

声明

此为A级产品，在生活环境中，该产品可能会造成无线电干扰。在这种情况下，可能需要用户对其干扰采取切实可行的措施。

台灣 Class A 適合性宣言書

警告使用者：
這是甲類的資訊產品，在
居住的環境中使用時，可
能會造成射頻干擾，在這
種情況下，使用者會被要
求採取某些適當的對策。

台灣 BSMI RoHS 宣言

Taiwan BSMI RoHS declaration

單元 Unit	限用物質及其化學符號 Restricted substances and its chemical symbols					
	鉛Lead (Pb)	汞Mercury (Hg)	鎘Cadmium (Cd)	六價鉻 Hexavalent chromium (Cr ⁺⁶)	多溴聯苯 Polybrominated biphenyls (PBB)	多溴二苯醚 Polybrominated diphenyl ethers (PBDE)
機架	○	○	○	○	○	○
外部蓋板	○	○	○	○	○	○
機械組合作件	○	○	○	○	○	○
空氣傳動設備	-	○	○	○	○	○
冷卻組合作件	-	○	○	○	○	○
內存模塊	-	○	○	○	○	○
處理器模塊	-	○	○	○	○	○
鍵盤	-	○	○	○	○	○
調製解調器	-	○	○	○	○	○
監視器	-	○	○	○	○	○
滑鼠	-	○	○	○	○	○
電纜組合作件	-	○	○	○	○	○
電源	-	○	○	○	○	○
儲備設備	-	○	○	○	○	○
電池匣組合作件	-	○	○	○	○	○
電池	-	○	○	○	○	○
有mech的電路卡	-	○	○	○	○	○
無mech的電路卡	-	○	○	○	○	○
激光器	-	○	○	○	○	○

備考1. “超出0.1 wt %” 及 “超出0.01 wt %” 係指限用物質之百分比含量超出百分比含量基準值。
 Note1: “exceeding 0.1wt%” and “exceeding 0.01 wt%” indicate that the percentage content of the restricted substance exceeds the reference percentage value of presence condition.

備考2. “○” 係指該項限用物質之百分比含量未超出百分比含量基準值。
 Note2: “○” indicates that the percentage content of the restricted substance does not exceed the percentage of reference value of presence.

備考3. “-” 係指該項限用物質為排除項目。
 Note3: The “-” indicates that the restricted substance corresponds to the exemption.

索引

中国 Class A 電子放出宣言書 2230
台湾 Class A 電子放出宣言書 2230
韓国 Class A 電子放出宣言書 2230
標準 I/O ブック 35

交換 237-238

取り外し 236

標準 I/O ブック、サーバー 35

標準 I/O ブックの交換 237-238

標準 I/O ブック上の LED 169

標準 I/O ブックのエアー・バッフル

交換 240

取り外し 239

標準 I/O ブックの取り外し 236

標準 I/O ブック・ボード

SW1 スイッチ・ブロックの説明 43

スイッチ、ジャンパー、ボタン 42

始動パスワード・スイッチ 138

標準 I/O ブック・ボードのジャンパー

説明 43

4 ソケットから 8 ソケットへのアップグレード・キット

取り付け 46

4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライ

ブ・バックプレーン

4x2.5 型 PCIe ドライブ 76

取り付け 124

a

ABR、自動ブート障害リカバリー 208

AC 正常 LED 170

Advanced Settings Utility (ASU) 151

Advanced Settings Utility プログラム

概要 151

b

Boot Manager プログラム

使用 139

c

Class A 電磁波放出の注記 2228

CRU、交換

DIMM 254

メモリー 254

CRU、概要 233

CRU、Tier 2

取り外しと交換 281

CRU、取り外し

アダプター 245

システム・バッテリー 276

d

DC 正常 LED 170

DIMM

交換 255-256

取り外し 254

独立メモリー・モードでの取り付け順序 58

取り付けの順序

独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング 59

ロック・ステップ・メモリー・モードでの取り付け順序 62

DIMM コネクタ LED 167

DIMM コネクタ・スロット

各メモリー・チャンネル 53

DIMM の取り付け手順 65

DIMM の取り付け

手順 65

DIMM 取り付け順序

独立メモリー・モード 58

独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング 59

ロック・ステップ・メモリー・モード 62

DIMM、eXFlash

インストールと要件 54

DIMM、サポート

概要 50

DMI/SMBIOS データ

更新 151

DMI/SMBIOS データ、更新

LAN over USB をローカル側で使用 152

キーボード・コントローラー・スタイルをローカ

ル側で使用 152

リモート: LAN 経由 153

DSA

プログラム、概要 176

DSA Portable 161, 177

DSA Preboot 162, 177

DSA Preboot 診断プログラム 13

実行 178

DSA イベント・ログ 174

DSA テスト・ログ

表示 179

DSA データ

Lenovo への送信方法 48

DSA データの送信

Lenovo 48

DSA メッセージ 177

DSA ログ 13

DSA、データの送信 2222

Dynamic System Analysis (DSA) Preboot 診断プログラム 13

e

Electronic Service Agent 180

EU EMC 指令適合性宣言書 2228

eXFlash DIMM 54

f

FCC Class A の注記 2228

- Features on Demand
 - サーバーでのサポート 92
- Features on Demand、RAID ソフトウェア
 - 有効化 150
- Features on Demand、イーサネット・ソフトウェア・キー
 - 有効化 149
- Features On Demand、ソフトウェア RAID 98
- Features on Demandソフトウェア、サポート 97
- FFDC 機能、IMM 180
- FFDC ログ・データ
 - IMM CLI コマンドを使用した収集 180
 - IMM Web インターフェースを使用した収集 180
 - IPMI コマンドを使用した収集 181
- FFDC ログ・データ、IMM CLI コマンドを使用 180
- FFDC ログ・データ、IMM Web インターフェースを使用 180
- FFDC ログ・データ、IPMI コマンドを使用 181
- First Failure Data Capture 機能、IMM 180
- FlexNode サポート 22
- FOD
 - サーバーでのサポート 92
- FRU
 - 取り外しと交換 292
- FRU、概要 233
- FRU の交換 292
- FRU の取り外しと交換 292

i

- I/O パネル、前面
 - 交換 280
 - 取り外し 280
- I/O ブック、概要 86
- I/O ブック、サーバーの標準 35
- I/O ブック、ハーフサイズ
 - 交換 242
 - コネクタ 38
 - 取り外し 241
- I/O ブック、フルサイズ
 - 交換 244
 - 取り外し 243
- ID、SAS/SATA ホット・スワップ・ドライブ 74
- IMM CLI インターフェース
 - ログオン、SSH を使用 147
 - ログオン、Telnet を使用 146
- IMM CLI インターフェースへのログオン
 - SSH を使用 147
 - Telnet を使用 146
- IMM CLI コマンド
 - FFDC ログ・データを収集するための使用 180
- IMM CLI コマンドを使用した収集 180
- IMM First Failure Data Capture 機能
 - 使用 180
- IMM IP アドレス
 - 取得 145
- IMM web インターフェース
 - FFDC ログ・データを収集するための使用 180
 - ログオン 146
- IMM Web インターフェースへのログオン 146
- IMM Web インターフェースを使用した収集 180
- IMM イベント 473

- IMM システム・エラー・ログ 30
- IMM ネットワーク情報 30
- IMM ホスト名
 - 取得 145
- IMM2
 - リモート・プレゼンス機能およびブルー・スクリーン・キャプチャー機能 144
- IMM2 イベント・ログ 174
- IMM2 エラー・メッセージ 473
- IMM2 の概要 143
- Integrated Management Module
 - イベント・ログ 13
 - 概要 14, 143
- IP アドレス
 - 取得、IMM 用 145
- IPMI イベント・ログ 13
- IPMI コマンド
 - FFDC ログ・データを収集するための使用 181
- IPMI コマンドを使用した収集 181
- IPMItool 174

l

- LCD システム情報表示パネル、交換 290
- LCD システム情報表示パネル 30, 33
 - 交換 290
 - コネクタ 29
 - スクロールアップ・ボタン 31
 - スクロールダウン・ボタン 31
 - 取り外し 288
 - 選択ボタン 31
 - ・コネクタ 29
- LCD 表示パネル
 - コントロールおよび LED 30
 - メッセージ 319
- LCD 表示パネル・メッセージ 319
- LED 169
 - Light path 診断 163
 - イーサネット活動 36
 - イーサネット・リンク・ステータス 36
 - サーバー前面 27
 - システムの場所の検出 29
 - システム・エラー 29
 - 背面 37
 - システム・ロケータ
 - 背面 36
 - ソリッド・ステート・ドライブ動作 29
 - ソリッド・ステート・ドライブ・ステータス 29
 - 電源オン 29
 - ハードディスク・ドライブ動作 29
 - ハードディスク・ドライブ動作 LED 29
 - ハードディスク・ドライブ・ステータス 29
 - フルサイズ I/O ブック 上 40
- LED、電源 170
- LED エラー
 - 電源 170
- LED およびコネクタ
 - ストレージ・ブック 上 28
- LED、DIMM コネクタ 167
- LED、ストレージ・ブック 30

LED、マイクロプロセッサ 167
Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6
概要 1
Lenovo XClarity Administrator 23
Lenovo XClarity Energy Manager 13
Lenovo への DSA データの送信方法 48
Light path 診断 16, 163
LED
説明 171
Light path 診断 LED の説明 172
Light path 診断パネル
NMI ボタン 37
Light path ボタン
説明 44

m

ML2 (イーサネット) アダプター 95
ML2 アダプター 95
ML2 イーサネット・アダプター
取り外し 270
ML2 イーサネット・アダプター、交換 270

n

NIST 800-131A 準拠の記述 12
NMI ボタン 44
Light path 診断パネル 37
機能 44
NOS の取り付け
ServerGuide を使用しない場合 132
ServerGuide を使用する場合 130
NVMe PCIe ドライブ・バックプレーン
4 個の NVMe ドライブの構成 78
NVMe ドライブ・バックプレーン
4 個のドライブの構成 78
NVMe バックプレーン、ドライブ
4 個のドライブの構成 78
Nx 回ブートが失敗 208

p

PCI 拡張スロット 8
PCIe スロット
取り付け順序 91
PCIe スロット・エラー LED
ハーフサイズ I/O ブック 上 39
PCIe 拡張モジュール、ハーフサイズ
取り外し 241
POST
エラー・コード 2191
エラー・ログ 174
POST イベント・ログ 173
POST テスト 176
Preboot、DSA 診断プログラム 13

q

QR コードの位置

サービス・カード上 4

r

RAID アダプター
M5210 SAS/SATA 102
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール
標準 I/O ブックからの取り外し 273
標準 I/O ブックへの交換 275
標準 I/O ブックへの取り付け 107
RAID アレイ
構成 151
RAID キャッシュ・カード 94
取り付け 105
RAID ステータス情報 30
RAID ソフトウェア
Features on Demand 150
RAID フラッシュ電源モジュール
ストレージ・ブック 106
取り付け 106
RAID、ソフトウェア
Features On Demand 98
RAS 機能、サーバー 19

s

Safety Information 6
SAS/SATA ID
ホット・スワップ・ドライブ 74
SAS/SATA ドライブ
ホット・スワップ
取り外し 246
SAS/SATA バックプレーン
サポートされる構成 77
SAS/SATA ホット・スワップ・ドライブ
交換 248
取り付け 83
SEL、IMM システム・エラー・ログ 30
ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプター
取り付け 258
ServeRAID M5120 コントローラー
取り付け 101
取り外し 257
ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー
取り付け 102
ServeRAID サポート 18
ServerGuide
NOS の取り付け 130
機能 130
サーバーのセットアップと構成に使用 130
使用 129
セットアップ 130
ServerGuide DVD 5, 17
ServerGuide プログラム
機能 130
Service Advisor 機能、有効化 179
Service Advisor 機能、構成 179
Service Bulletin 158
Setup Utility
開始 132

- 使用 132
- メニュー選択 132
- SMBIOS データ
 - 更新 151
- SMBIOS データ、更新
 - LAN over USB をローカル側で使用 152
 - リモート: LAN 経由 153
- SMIBIOS データ、更新
 - キーボード・コントローラー・スタイルをローカル側で使用 152
- SMP 16
- SSH を使用
 - IMM CLI インターフェースへのログオン 147
- SSH、IMM CLI インターフェースへのログオンに使用 147
- System x 用ホスト・バス・アダプター
 - N2215 SAS/SATA
 - 交換 259
 - 取り外し 259

t

- Telnet
 - IMM CLI インターフェースへのログオンに使用 146
- Tier 1 CRU
 - 取り外しと交換 234
- TOE 10

u

- UEFI
 - エラー・コード 2191
 - ブート・リカバリー・ジャンパー 207
- UEFI イメージ破損
 - 回復 206
- UEFI イメージ破損からの回復 206
- UEFI 更新障害からの回復 206
- UEFI/POST エラー・コードの検出 2191
- Universal Serial Bus (USB) の問題 202
- UpdateXpress 140
- UpdateXpress System Pack Installer プログラム 140
- UpdateXpress システム・バック 127
- USB
 - コネクタ 37
- USB 2.0
 - コネクタ 30
- USB 3.0
 - コネクタ 30
- USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
 - 交換 262
 - 取り外し 260
- Utility プログラム
 - 拡張設定 151
- UUID、更新
 - LAN over USB をローカル側で使用 152
 - キーボード・コントローラー・スタイルをローカル側で使用 152
 - リモート: LAN 経由 153
- UUID ストリング 30
- UUID データ
 - 更新 151

V

- VCCI クラス A 情報技術装置 2229
- VPD 情報、システム 30

W

- Web インターフェース、IMM
 - ログオン 146
- Web サイト
 - UEFI フラッシュ CD 206

X

- XClarity Energy Manager 13

あ

- アセンブリー、ボード
 - 交換 284
 - ストレージ・ブック 284
- アダプター
 - PCI Express 245
 - PCIe 245
 - サポートされるタイプ 91
 - サーバーでのサポート 92
 - 取り外し 245
 - 取り付け手順 98
 - アダプター、交換 246
 - アダプター、ML2 (イーサネット)
 - サーバーでのサポート 95
 - アダプター、ML2 イーサネット
 - 交換 270
 - 取り外し 270
 - アダプター、N2215 SAS/SATA
 - System x 用ホスト・バス・アダプター 259
 - 交換 259
 - 取り外し 259
 - アダプター、N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプター
 - 取り付け 104
 - アダプター、RAID
 - サーバーでのサポート 93
 - フラッシュ電源モジュール
 - 標準 I/O ブックへの交換 275
 - アダプター、ServeRAID M5120
 - 取り付け 101
 - アダプター、ServeRAID M5120 SAS/SATA
 - 取り付け 258
 - 取り外し 257
 - 取り付け 258
 - アダプター、ServeRAID M5210 SAS/SATA
 - 取り付け 102
 - アダプターのインストール 92
 - アダプターの取り付け
 - オプション固有 101
 - フルサイズ I/O ブック 99
 - アダプターの取り付け手順
 - ハーフサイズ I/O ブック 98
 - 標準 I/O ブック 98

アダプター、フルサイズ I/O ブックへの取り付け 99
アダプター、ホスト・バス、サーバーでのサポート 92
アダプター、取り付けの概要 91
アダプター・フラッシュ電源モジュール
標準 I/O ブックからの取り外し 273
アップグレード・キット、取り付け 46
アレイ、RAID
構成 151
安全と注意 6
安全上の注意、サーバー v

い

I 相当の電流定格が 20A を超える電源ドメインに接続する製品の適合宣言 (日本) 2229
一般的な問題 184
イベント、IMM 473
イベント・ログ 173
Setup Utility を使用して表示 174
サーバーを再起動せずに表示 174
イベント・ログ、DSA 174
イベント・ログ、IMM2 174
イベント・ログ、POST 173
イベント・ログ、Web インターフェースから表示 174
イベント・ログ、システム 173
イベント・ログ、表示の方式 175
イメージ破損からの回復 206
インストールと要件
eXFlash DIMM 54
インフォメーション・センター 2222
イーサネット 17
コントローラー
トラブルシューティング 203
システム管理コネクタ 37
リンク・ステータス LED 36
イーサネット活動
LED 36
イーサネット・アダプター、交換 273
イーサネット・アダプター・スロット 36
イーサネット・コネクタ 36
イーサネット・コントローラー
構成 149
イーサネット・コントローラーの問題
解決 203
イーサネット・サポート 17
イーサネット・ソフトウェア・キー
Features on Demand 149

え

エア・ダクト、前面
取り外し 239
エネルギー管理 13
エラー
電源 LED 170
フォーマット、診断コード 178
エラーの現象
ServerGuide 199
USB ポート 202

一般 184
オプションのデバイス 196
キーボード、非 USB 189-190
サーバーの始動の問題 200
シリアル・ポート 198
接続の問題 182
ソフトウェア 202
電源 197
ネットワーク接続性の問題 193
ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 188
ハードディスク・ドライブ 184
ポインティング・デバイス、非 USB 189-190
マイクロプロセッサ 191-192
マウス、非 USB 189-190
メモリー 190-191
目視で確認できる問題 193
モニター 192
エラー・コード、UEFI/POST エラー・コードの検出 2191
エラー・コードとメッセージ 181
IMM2 473
UEFI/POST 2191
診断 177
エラー・メッセージ、IMM2 473
エラー・ログ
消去 176
表示 174

お

お客様交換可能ユニット 233
お客様交換可能ユニット (CRU)、サーバー 211
汚染、微粒子およびガス 11, 2227
オプション
取り付け 47
オプション固有のアダプターの取り付け 101
オプションのデバイスの問題 196
オプションの取り付け 47
オペレーション・システムのインストール
ServerGuide を使用しない 132
オペレーター・パネル、前面
交換 286
取り外し 285
前面オペレーター・パネル、前面
交換 286
前面オペレーター・パネル 30
交換 286
コントロールおよび LED 30
取り外し 285
オペレーター・パネル、サーバーの前面 30
オペレーティング・システム
ServerGuide を使用しないインストール 132
オペレーティング・システムのイベント・ログ 13
オペレーティング・システムのインストール
ServerGuide を使用した場合 130
電源オン LED 44
音響放出ノイズ 10
温度 11
オンライン資料 6
オンライン・ドキュメント 2
オーストラリア Class A 宣言書 2228

オーバーライド
始動パスワード 44

か

解決
イーサネット・コントローラーの問題 203

開始
Setup Utility 132
バックアップ・ファームウェア 139

解消検出イベント、システム・イベント・ログ 173

ガイドライン
オプションの取り付け 48
システムの信頼性 49
トレーニングを受けたサービス技術員向け xiii
電気機器の保守 xiii

概要
Integrated Management Module 143
Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6 サーバー 1
コンピュータ・ブック 33
サポートされる電源 42, 108
ハーフサイズ I/O ブック 38
フルサイズ I/O ブック 39, 88
メモリー・ミラーリング 56

拡張ベイ 7

ガス汚染 11, 2227

カスタム・サポート Web ページ 2222

カナダ Class A 電子放出宣言書 2228

可用性、サーバー 19

環境 11

環境情報、システム 30

管理、システム 14

管理者パスワード 137
設定 139

完了
オプションの取り付け 126

関連資料 5

き

危険な状態がないかサーバーを検査 xiii

危険の注記 6

機能 6
ServerGuide 130
ServerGuide プログラム 130

機能、サーバー 6

機能、リモート・プレゼンスおよびブルー・スクリーン 17, 128

キャッシュ・カード
サーバーでのサポート 94

キャッシュ・カード、RAID 94
交換 276
取り付け 105
取り外し 275

キーボードの問題 189-190

く

組み込みハイパーバイザー

使用 148
グリース、熱伝導 299

け

現行ファームウェアの適用
ベスト・プラクティスの使用 47

検索
更新された資料 6

検出イベント、システム・イベント・ログ 173

現象別トラブルシューティング 182

現場交換可能ユニット (field replaceable unit) 233

現場交換可能ユニット (FRU)、サーバー 211

こ

交換 242, 311, 316
標準 I/O ブック 275
標準 I/O ブック・エアー・バッフル 240
1.8 型ホット・スワップ SATA ドライブ 248
1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源 264-265
2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ 248
2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA バックプレーン 251
750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源 306
8x1.8 型 SSD ドライブ・バックプレーン・アセンブリー 254
LCD システム情報表示パネル 290
ML2 イーサネット・アダプター 270
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール 275
RAID キャッシュ・カード 276
System x 用ホスト・バス・アダプター
N2215 SAS/SATA 259
Tier 2 CRU 281
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス 262

イーサネット・アダプター 273

前面オペレーター・パネル 286

コンピュータ・ブック 303

シャーシ・シャトル 316

シャーシ・ミッドプレーン 311

消耗部品 233

ストレージ・ブック 283

前面 I/O パネル 280

バッテリー、システム 277

ハーフサイズ I/O ブック 242

ヒートシンク 295

ファン 269

フルサイズ I/O ブック 244

ホット・スワップ・ドライブ 248-249

ホット・スワップ・ファン 268

マイクロプロセッサ 295

マイクロプロセッサの熱伝導グリース 299

メモリー DIMM 255-256

交換、Tier 1 CRU 234

交換、アダプター 246

更新
DMI/SMBIOS データ 151
サーバー構成 126
汎用固有 ID 151

更新障害、UEFI
回復 206

構成	
RAID アレイ	151
ServerGuide を使用する場合	130
Service Advisor 機能	179
イーサネット・コントローラー	149
マルチノード・システム	140
構成、Nx 回ブートが失敗	208
構成、サーバー	
更新	126
構成、バックプレーン	
サポート	77
構成情報	127
コネクタ	
標準 I/O ブック上	35
USB	37
USB 2.0	30
USB 3.0	30
イーサネット	36
イーサネット・システム管理	37
コンピュート・ブック上	34
コンピュート・ブック、DDR3	34
サーバー前面	27
サーバー背面	35
シリアル	37
背面	35
ハーフサイズ I/O ブック上	38
ビデオ	
前面	30
背面	37
フルサイズ I/O ブック上	40
個別設定したサポート Web ページの作成	2222
コントローラー	
イーサネット	149
コントローラー、ホスト・バス	92
コントロール部	
サーバー前面	27
コントロールおよび LED	
LCD システム情報表示パネル上	30
前面オペレーター・パネル上	30
コンピュート・ブック	34
概要	33
交換	303
取り付け	69-70, 72, 300
取り外し	300
コンピュート・ブック LED	166
コンピュート・ブック、DDR3	33
コンピュート・ブック上の LED	166
コンピュート・ブック・カバー	
取り外し	234-235
コンポーネント	
サーバー	211
コンポーネント、主要	
サーバー	25
コール・ホーム機能	
Electronic Service Agent	180
コール・ホーム・ツール	179
サイズ、サーバー	10
サポート、入手	2221
サポート Web ページ、カスタム	2222
サポートされる電源	42, 108
サポートされる RAID アダプター	93
サポートされるアダプター	91
サポートされるイーサネット・アダプター	95
サポートされるドライブの概要	73
サポートされるホスト・バス・アダプター、サーバー	92
サーバー	
標準 I/O ブック	35
8 ソケット・サーバーの再構成	
2つの4ソケット・サーバー	22
エラー・コードとメッセージ	181
オフにならない	198
危険な状況の検査	xiii
構成	128
チェックアウト手順について	159
提供	13
電源をオフにする	45
電源機能	44
ボタンの機能	44
サーバー、前面図	27
サーバー、拡張	
4ソケットから8ソケット	22
サーバー構成	
更新	126
サーバー、Setup Utility	
開始	132
サーバーが提供する機能	13
サーバー上の主なコンポーネント	25
サーバー前面にあるコネクタ	27
サーバーでサポートされている RAID キャッシュ・カード	94
サーバーでサポートされる Features on Demand	92
サーバーでサポートされる FOD	92
サーバーでサポートされる RAID アダプター	93
サーバーでサポートされるアダプター	92
サーバーでサポートされるイーサネット・アダプター	95
サーバーの概要	1
サーバーの拡張	
4ソケットから8ソケット	22
サーバーの機能および仕様	6
サーバーの交換用部品	211
サーバーの交換可能部品リスト	211
サーバーの構成	128
ServerGuide を使用した場合	130
サーバーの主要コンポーネント	25
サーバーの再構成	22
サーバーのサービス・カード	
のロケーション	4
サーバーの始動の問題	200
サーバーのシャットダウン	45
サーバーのセットアップと構成	
ServerGuide を使用した場合	130
サーバーの前面図	27
サーバーのチェックアウト手順について	159
サーバーの電源をオフにする	45
内蔵ベースボード管理コントローラー	46
サーバーの電源をオンにする	45
サーバーの背面図	35
再現性の低い問題	189

さ

- サーバーの保守 xiii
- サーバー、バックアップ・ファームウェア
 - 開始 139
- サーバー、自動ブート・リカバリー 208
- サーバー、マルチノード
 - 構成 140
- サーバー・コンポーネント 211
- サーバー・コンポーネントの取り外しと交換 233
- サーバー・コンポーネント、取り外しと交換 233
- サーバー・ファームウェアの回復 (UEFI 更新の失敗) 206
- サーバー・ファームウェア、リカバリー 206
- サービス要求、自動 179
- 自動サービス要求 179
- サービスおよびサポート
 - 依頼する前に 2221
 - ソフトウェア 2223
 - ハードウェア 2223
- サービス技術員、トレーニングを受けた
 - ガイドライン xiii
- サービス・カード、サーバー
 - および QR コード 4

し

- 事項、重要 2226
- システム
 - エラー LED (前面) 29
 - システム・エラー LED
 - 背面 37
 - 場所の検出 LED、前面 29
- システム管理
 - イーサネット・コネクタ 37
- システム管理 14, 18
- システム情報
 - LCD 表示パネル 30, 33
- システム電源構成、電源
 - 設定 147
- システムの信頼性に関するガイドライン 49
- システム・イベント・ログ 173-174
- システム・イベント・ログ、解消検出イベント 173
- システム・イベント・ログ、検出イベント 173
- システム・ファームウェア情報 30
- システム・ロケータ
 - LED
 - 背面 36
- 室温 11
- 実行
 - DSA Preboot 診断プログラム 178
- 湿度 11
- 始動パスワード 137
 - 設定 138
 - オーバーライド 44
- 自動ブート障害リカバリー (ABR) 208
- 自動ブート・リカバリー (ABR) 208
- シャトル、シャーシ
 - 交換 316
 - 取り外し 312
- ジャンパー
 - 標準 I/O ブックのボード上 42
 - UEFI ブート・リカバリー 207

- ジャンパー、標準 I/O ブック・ボード上 43
- ジャンパー、スイッチ、ボタン
 - 標準 I/O ブックのボード上 42
- シャーシ・シャトル 312, 316
- シャーシ・ミッドプレーン 310-311
- 収集 180
 - FFDC ログ・データ、IMM CLI コマンドを使用 180
 - FFDC ログ・データ、IMM Web インターフェースを使用 180
 - FFDC ログ・データ、IPMI コマンドを使用 181
- 収集 181
- 重要な注意事項 6, 2226
- 重量、サーバー 10
- 出版物、関連した 5
- 取得
 - IMM 用の IP アドレス 145
 - IMM 用のホスト名 145
- 仕様 6
- 使用 180
 - Boot Manager プログラム 139
 - IMM First Failure Data Capture 機能 180
 - Setup Utility 132
 - 組み込みハイパーバイザー 148
 - 組み込みハイパーバイザーの機能 148
 - リモート・プレゼンス機能 144
- 仕様、サーバー 6
- 冗長
 - vNIC 17
 - イーサネット接続 17
 - イーサネット機能 20
 - ホット・スワップ電源 20
 - 冷却 17
- 冗長性サポート
 - 電源 17
- 商標 2226
- 消耗部品 228
 - 取り外しと交換 233
- シリアル番号 3
- シリアルおよびモデル番号
 - のロケーション 205
- シリアル・コネクタ 37
- シリアル・ポートの問題 198
- 資料、更新済
 - 検索 6
- 資料
 - 使用 2222
- 資料、関連した 5
- 新磁気ディスク制御機構 (RAID)
 - アダプター 85, 250
- 診断
 - エラー・コード 177
 - オンボード・プログラム、開始 178
 - ツール、概要 161
 - テキスト・メッセージ書式 178
 - テスト・ログ、DSA、表示 179
 - プログラムの概要 176
- 診断イベント・ログ 174
- 診断テキスト・メッセージ 178
- 診断データの送信 2222
- 診断プログラム

DSA Preboot 13
診断プログラム、DSA
実行 178
信頼性、サーバー 19

す

スイッチ、ジャンパー、ボタン
標準 I/O ブックのボード上 42
スイッチ・ブロック、標準 I/O ブックのボード上 43
スタンバイ状態 44
ストレージ・ブック
交換 282-283
コネクタおよび LED 28
コンポーネント 27
取り外し 281
ストレージ・ブック LED 30, 164
ストレージ・ブック・ボード・アセンブリー
交換 284
ストレージ・ブックの交換 282-283
ストレージ・ブック上の LED 27, 164
ストレージ・ブック上のコネクタ 27
ストレージ・ブック上のコントロール部 27
ストレージ・ブック上のコンポーネント 27
ストレージ・ブックの取り外し 281
ストレージ・ブック・ボード・アセンブリー
交換 284
取り外し 284
ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの交換 284
ストレージ・ブック・ボード・アセンブリーの取り外し 284
スペアリング、メモリー 57
独立メモリー・モード 60
ロック・ステップ・メモリー・モード 65
スロット
PCI 拡張 8
イーサネット・アダプター 36
スロット電源 LED、PCIe
ハーフサイズ I/O ブック 上 39
フルサイズ I/O ブック 上 41
スロット・エラー LED、PCIe
フルサイズ I/O ブック 上 41

せ

静電気の影響を受けやすいデバイス
取り扱い 50
静電気の影響を受けやすいデバイスの取り扱い 50
製品サービス、台湾 2223
接続の問題 182
設定
始動パスワード 138
電源ポリシーとシステム電源構成 147
設定
管理者パスワード 139
前面 I/O パネル
交換 280
取り外し 280
前面図
LED の位置 27

そ

ソフトウェアの問題 202
ソフトウェアのサービスおよびサポートの電話番号 2223
ソリッド・ステート・ドライブ
ホット・スワップ SAS/SATA
取り外し 246
ソリッド・ステート・ドライブ動作 LED 29
ソリッド・ステート・ドライブ・ステータス LED 29
ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーン・アセ
ンブリー、8x1.8 型
交換 254
取り外し 253

た

対称多重処理 16
台湾 BSMI RoHS 宣言 2231
台湾の製品サービス 2223

ち

チェックアウト手順 159
実行 160
チェックアウト手順について 159
チャンネル、メモリー
DIMM コネクタ・スロットに関連 53
注 6
注意の注記 6
中華人民共和国 Class A 電子放出宣言書 2230
注記 6, 2225
FCC、Class A 2228
電磁波放出 2228

つ

通信規制の注記 2227
ツール、診断 161
ツール、コール・ホーム 179

て

ディスプレイの問題 192
手順
DIMM の取り付け 65
手順、チェックアウト 160
実行 160
テスト・ログの表示、DSA 179
デバイス
取り付け 47
デバイス、返却 233
デバイス、静電気に弱い
取り扱い 50
デバイスまたはコンポーネントの返却 233
デバイス・ドライバ 140
更新 127
デバイス・ドライバ、インストール 140
電源

- 750 ワット -48 ボルト DC の取り付け 42, 108
- 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 110
- 900 ワット AC または 1400 ワット AC の取り付け 42, 108
- 900 ワットと 1400 ワットの混用 42, 108
- 900 ワットまたは 1400 ワットの取り付け 114
- サプライ 8
- サポートされる構成 42, 108
- 仕様 11
- 冗長性サポート 17
- 装着順序 42, 108
- 取り付け 110
- 電源 LED 170
- 電源 LED エラー 170
- 電源、1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ
 - 交換 264-265
- 電源、750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC
 - 交換 306
 - 取り外し 304
- 電源オン
 - ボタン 29
- 電源オン LED 29
- 電源オン・セルフテスト (POST) 176
- 電源コード 230
- 電源の概要 42, 108
- 電源の問題の解決 203
- 電源の取り付け
 - 概要 42, 108
- 電源、ホット・スワップ
 - 取り外し 263
- 電源ポリシー、電源
 - 設定 147
- 電源モジュール、フラッシュ
 - 標準 I/O ブックからの取り外し 273
 - 標準 I/O ブックへの取り付け 107
 - ストレージ・ブックへの取り付け 106
- 電源機能
 - サーバー 44
- 電源入力 11
- 電源問題 197, 203
- 電磁波放出 Class A の注記 2228
- 電話番号 2223
- データ収集 155
- データの収集 155

と

- ドイツ Class A 宣言書 2228
- 独立メモリー・モード 58
 - DIMM 装着 58
 - DIMM 取り付け順序 58
 - およびメモリー・ミラーリング 59
 - およびメモリー・ランク・スペアリング 60
- 独立メモリー・モードでのメモリー・ミラーリング 59
- ドライブ 14
 - 取り付け 73
 - 概要 73
 - ホット・スワップ SAS/SATA
 - 取り外し 246
- ドライブ、1.8 型ホット・スワップ
 - SCSI

- 取り付け 83
- 取り外し 246
- 交換 248
- ドライブ、2.5 型ホット・スワップ
 - SCSI 246
 - 取り付け 83
 - 交換 248
- ドライブ、SAS/SATA
 - ホット・スワップ 83
- ドライブの取り付け、概要 73
- ドライブの取り付け 73
- ドライブ、ホット・スワップ
 - SAS/SATA ID 74
 - 交換 248
 - 取り外し 246
- ドライブ、ホット・スワップの取り付け 249
- ドライブ・バックプレーン
 - 12 個のドライブの構成 82
 - 16 個のドライブの構成 83
 - 4 個のドライブの構成 79
 - 4x2.5 型ドライブ 76
 - 8 個のドライブの構成 80
 - 8x1.8 型ドライブ 77
 - サポートされる構成 76
- ドライブ・バックプレーン構成
 - サポートされる SAS/SATA 77
- ドライブ・バックプレーン、取り付け 119
- ドライブ・バックプレーン・アセンブリー、4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーン
 - 取り付け 124
- ドライブ・バックプレーン・アセンブリー、4x2.5 型ホット・スワップ
 - 取り付け 121
- ドライブ・バックプレーン・アセンブリー、8x1.8 型ホット・スワップ
 - 取り付け 119-120
- トラブルシューティング 155
- 取り付け、手順
 - アダプター 98
- 取り付け
 - 標準 I/O ブック 107
 - 1.8 型ホット・スワップ・ドライブ 83
 - 2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA バックプレーン 251
 - 2.5 型ホット・スワップ・ドライブ 83
 - 4x2.5 型 NVMe PCIe Gen3 ソリッド・ステート・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー 124
 - 4x2.5 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー 121
 - 750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源 110
 - 8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー 119-120
 - 900 ワットまたは 1400 ワットの AC ホット・スワップ電源 114
- N2215 SAS/SATA
 - ホスト・バス・アダプター 104
- RAID キャッシュ・カード 105
- RAID フラッシュ電源モジュール 106-107
- ServeRAID M5120 SAS/SATA アダプター 258
- ServeRAID M5120 コントローラー (System x 用) 101

ServeRAID M5210 SAS/SATA コントローラー (System x 用) 102
アダプター 91
オプションのアダプター 101
コンピュータ・ブック 69–70, 72, 300
ストレージ・ブック 106
ドライブ・バックプレーン・アダプター 119
内のフラッシュ電源モジュール標準 I/O ブック 107
ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 118
バッテリー、システム 277
ハーフサイズ I/O ブック 86–87
フラッシュ電源モジュール 106
フルサイズ I/O ブック 90
ホット・スワップ電源 114
ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ 83
ホット・スワップ・ドライブ 249
メモリー・モジュール 50
取り付け、DIMM 50
取り付け手順、アダプター
ハーフサイズ I/O ブック 98
標準 I/O ブック 98
取り付け、オプション
完了 126
取り付けのガイドライン 48
取り外し 241, 310, 312
標準 I/O ブック 236, 239
標準 I/O ブックから 273
1.8 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ 246
1400 ワットまたは 900 ワット・ホット・スワップ電源 263
2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ 246
2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA バックプレーン 250
750 ワット、-48 ボルトから -60 ボルトの DC 電源 304
8x1.8 型 SSD ドライブ・バックプレーン・アセンブリー 253
DIMM 254
LCD システム情報表示パネル 288
ML2 イーサネット・アダプター 270
N2215 SAS/SATA ホスト・バス・アダプター
System x 向け 259
RAID アダプターのフラッシュ電源モジュール 273
RAID キャッシュ・カード 275
ServeRAID M5210 SAS/SATA アダプター 257
USB ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス
アダプター 245
前面エア・ダクト 239
前面オペレーター・パネル 285
コンピュータ・ブック 300
コンピュータ・ブック・カバー 234–235
シャーシ・シャトル 312
シャーシ・ミッドプレーン 310
前面 I/O パネル 280
バッテリー、システム 276
ハーフサイズ I/O ブック 241
フルサイズ I/O ブック 243
ホット・スワップ・ドライブ 246
ホット・スワップ・ファン 267
マイクロプロセッサとヒートシンク 292
取り外しと交換
Tier 1 CRU 234
Tier 2 CRU 281

消耗部品 233

な

内蔵ベースボード管理コントローラー 46
内蔵機能 10

に

ニュージーランド Class A 宣言書 2228

ね

熱伝導グリース 299
ネットワーク情報、IMM 30
ネットワーク接続性の問題 193

の

のセキュリティ 12

は

排気量 11
ハイパーバイザーの問題 188
ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス
取り付け 118
問題 188
ハイパーバイザー・ソフトウェア、組み込み
USB フラッシュ・デバイス 148
ハイパーバイザー・フラッシュ・デバイス、USB
交換 262
取り外し 260
背面図 35
サーバー 35
パスワード 137
管理者 137
設定 137
電源オン 137
パスワード、管理者
設定 139
パスワード、始動
設定 138
標準 I/O ブックのボード上のスイッチ 138
バックアップ・ファームウェア
開始 139
バックプレーン
4x2.5 型 SAS Gen 3 ドライブ 76
8x1.8 型ドライブ 77
8x1.8 型ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー
RAID 拡張を使用 119–120
バックプレーン構成
サポートされる SAS/SATA 77
バックプレーン、2.5 型ホット・スワップ SAS/SATA
交換 251
取り外し 250

バックプレーン、ドライブ
12 個のドライブの構成 82
16 個のドライブの構成 83
4 個のドライブの構成 79
8 個のドライブの構成 80
サポートされる構成 76
バックプレーン、取り付け 119
バックプレーン・アセンブリー、8x1.8 型 SSD ドライブ
交換 254
取り外し 253
バッテリー、交換 277
バッテリー、システム
取り付け 277
取り外し 276
発熱量 (消費電力) 11
汎用固有 ID、更新
LAN over USB をローカル側で使用 152
キーボード・コントローラー・スタイルをローカル側で使用 152
リモート: LAN 経由 153
ハードウェアのサービスおよびサポートの電話番号 2223
ハードディスク・ドライブ
問題 184
ハードディスク・ドライブ・ステータス LED 29
ハーフサイズ I/O ブック 241-242
概要 38
コネクタ 38
取り付け 86-87
ハーフサイズ I/O ブック LED 168
ハーフサイズ I/O ブックブックの LED 168

ひ

ビジネス・パートナーの手順 47
ビジネス・パートナー用の手順 47
ビデオの問題 192, 203
ビデオ・コネクタ
前面 30
背面 37
ビデオ・コントローラー、内蔵
仕様 10
表示
イベント・ログ、Setup Utility を使用 174
表示、イベント・ログ
サーバーを再起動しない 174
ヒント、問題判別 205
ヒートシンク
交換 295
ヒートシンクとマイクロプロセッサ
取り外し 292

ふ

ファン 8, 17
交換、取り付け 269
ファン LED 168
ファン、ホット・スワップ
交換 268
取り外し 267
ファームウェア

バックアップ・コピーの開始 139
ファームウェア、更新 127
ファームウェア更新 2
ファームウェア、サーバー、リカバリー 206
ファームウェアの更新 127
ファームウェア更新、ベスト・プラクティス 47
ファームウェア・レベル、システム 30
ブック、標準 I/O
交換 237-238
ブック、I/O 86
部品リスト 211
部品リスト、Lenovo System x3850 X6 and x3950 X6Type 6241 213
部品リスト、サーバー 211
部品、消耗 228
フラッシュ電源モジュール
標準 I/O ブックからの取り外し 273
標準 I/O ブックへの取り付け 107
ストレージ・ブックへの取り付け 106
フラッシュ電源モジュール、RAID アダプター
標準 I/O ブックへの交換 275
フルサイズ
I/O ブック 243-244
PCIe 拡張モジュール 244
交換 244
取り外し 243
フルサイズ I/O ブック
概要 39, 88
コネクタおよびコントロール 40
取り付け 90
フルサイズ I/O ブック LED 169
フルサイズ I/O ブック上の LED 169
フルサイズ、I/O ブック
取り付け 90
ブルー・スクリーン機能 144
ブルー・スクリーン・キャプチャー機能 17, 128
概要 17, 129, 144
プレゼンス検出ボタン 29
文書化されていない問題 157
ブートが失敗、Nx 回 208

へ

ベイ 7
米国 FCC Class A の注記 2228
ベスト・プラクティス
現行ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用するために使用 47
ベスト・プラクティスの使用
ファームウェアおよびデバイス・ドライバー更新を適用 47
ヘルプ
WWW から 2222
診断データの送信 2222
ソース 2221

ほ

方式、イベント・ログの表示 175
保守容易性、サーバー 19
ホスト名

- 取得、IMM 用 145
- ホスト・バス、アダプター
 - 取り付け 104
- ホスト・バス・コントローラー 92
 - 「検索」ボタン/LED 29
- ボタン、light path 44
- ボタン、サーバー上で使用可能 44
- ボタン、プレゼンス検出 29
- ホット・スワップ
 - ファン、取り外し 267
- ホット・スワップ 2.5 型 SAS/SATA バックプレーン
 - 取り外し 250
- ホット・スワップ SAS/SATA ドライブ
 - 取り付け 83
- ホット・スワップ SAS/SATA バックプレーン、2.5 インチ
 - 取り付け 251
- ホット・スワップ・ドライブ
 - SAS/SATA ID 74
 - 交換 248
- ホット・スワップ・ドライブ、SAS/SATA
 - 取り外し 246
- ホット・スワップ・ドライブ、取り付け 249
- ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー、4x2.5 型ホット・スワップ
 - 取り付け 121
- ホット・スワップ・ドライブ・バックプレーン・アセンブリー、8x1.8 型ホット・スワップ
 - 取り付け 119-120
- ホット・スワップ・ファン上の LED 168

ま

- マイクロプロセッサ 16
 - 交換 295
 - 仕様 7
 - 熱伝導グリースの交換 299
 - 問題 192
- マイクロプロセッサ問題 191
- マイクロプロセッサ LED 167
- マイクロプロセッサとヒートシンク
 - 取り外し 292
- マルチノード・システム
 - 構成 140

み

- 未解決問題 204
- 未解決問題の解決 204
- 未解決問題、解決 204
- ミッドプレーン、シャーシ
 - 交換 311
 - 取り外し 310
- ミラーリング 16
- ミラーリング、メモリー 56, 63
 - 概要 56
 - ロック・ステップ・モード 63

め

- メッセージ

- LCD 表示パネル 319
- メッセージ、DSA 177
- メッセージ、エラー
 - POST 2191
- メッセージとエラー・コード 181
- メニュー選択
 - Setup Utility 132
- メモリー 16
 - 交換 255-256
 - 仕様 7
 - 取り外し 254
- メモリーの問題 190-191
- メモリーの取り付け順序
 - 独立メモリー・モードの場合 58
 - ロック・ステップ・メモリー・モード 62
- メモリー・サポート 16
- メモリー・スペアリング 16
- メモリー・ミラーリング 56, 63
- メモリー・モジュール
 - 概要 50
- メモリー・ランク・スペアリング 57
- メモリー・ランク・スペアリング、独立メモリー・モード 60
- メモリー・ランク・スペアリング、ロック・ステップ・メモリー・モード 65

も

- 目視で確認できる問題 193
- モジュール、基本 I/O
 - 取り外し 236
- モジュールストレージ・ブック
 - 取り外し 281
- モジュール・ストレージ・ブック・ボード・アセンブリー
 - 取り外し 284
- モジュール・ストレージ・ブック・ボード・アセンブリー
 - 取り外し 284
- モデルおよびシリアル番号のロケーション 205
- モニターの問題 192
- 問題、一般的 184
- 問題、接続 182
- 問題
 - USB ポート 202
 - イーサネット・コントローラー 203
 - オプションのデバイス 196
 - シリアル・ポート 198
 - ソフトウェア 202
 - 電源 197, 203
 - トラブルシューティング 155
 - ハイパーバイザー、フラッシュ・デバイス 188
 - ハードディスク・ドライブ 184
 - ビデオ 192, 203
 - ポインティング・デバイス 190
 - マイクロプロセッサ 192
 - マウス 189-190
 - 未解決 204
 - メモリー 191
 - モニター 192

問題、サーバー始動 200
問題、ネットワーク接続性 193
問題、ハイパーバイザー 188
問題、ビデオ 203
問題、再現性の低い 189
問題判別のヒント 205
問題判別表 182
問題、未解決
 解決 204
問題、目視で確認可能 193

ゆ

有効化

 Features on Demand RAID ソフトウェア 150
 Features on Demand イーサネット・ソフトウェア 149
 Features on Demand イーサネット・ソフトウェア・
 アップグレード・キー 149
 Service Advisor 機能 179
ユーティリティ、Setup
 開始 132
 使用 132
 メニュー選択 132

り

リセット・ボタン 29, 163

リモート・プレゼンス機能 128
 使用 144
粒子汚染 11, 2227

れ

冷却 17

ろ

ログ、FFDC の収集 180
ログ、イベント 173
ログ、イベント、Web インターフェースから表示 174
ログ・データ、FFDC 180-181
ロシア Class A 電子放出宣言書 2230
ロック・ステップ・メモリー・モード 62
 DIMM 装着 62
 DIMM 取り付け順序 62
 およびメモリー・ランク・スペアリング 65
ロック・ステップ・モードでのメモリー・ミラーリング 63
ロック・ステップ・モードとメモリー・ミラーリング 63
ローカル・エリア・ネットワーク (LAN) 17



部品番号: 00WA233

Printed in China

(1P) P/N: 00WA233

